

特例民法法人(国所管)の被災者支援、震災復興の活動、寄附について

(注1) 支援活動概要欄の凡例: ○は、既に活動しているもの、△は、検討中のもの、() 書きは実施時期を示す。なお、支援活動の概要は、法人からの申告をそのままに記載した。

平成25年3月8日現在

(注2) 薄黄色 で塗り潰しされている行は、前回公表時から追加又は変更があることを示す。

内閣府大臣官房公益法人行政担当室

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
あ 行					
(特財)アーバンハウジング	東京都千代田区神田小川町1-11-9 内藤 勲		○職員に対し、各個人での寄附等を呼びかけ、実施済。	03-3292-5252 (井上)	
(特社)愛知県観光協会	愛知県名古屋市中村区名駅四丁目4番38号 愛知県産業労働センター1階 会長 木村 操	○当協会が愛知県より指定管理を受け運営する犬山国際ユースホステルにおいて、一時避難所として客室一部を無償提供している。(期間:平成23年4月15日から6月30日まで)		052-581-5788 (国内誘客宣伝部 尾関 直人)	
(特財)愛知健康増進財団	愛知県名古屋市北区清水1丁目18番4号 理事長 土井 寛己		○100万円を愛知県に寄附(3月29日)	052-951-3331 (総務課 杉本 賢司)	http://www.ahpf.or.jp/
(特社)愛知県自家用自動車協会	愛知県名古屋市昭和区滝子町30番16号 会長 岩田 功		○東日本大震災緊急支援のための義捐金を、被災地に全国自家用自動車協会を通じ寄付。	052-872-4861	
(特社)愛知県自動車会議所	愛知県名古屋市昭和区滝子町30番16号 会長 山口 直樹		○東日本大震災緊急支援のための義援金を、職員に呼びかけて募集し、職員一同として50万円を中日新聞社会事業団へ寄附。(3月28日実施) それとは別に、会議所として100万円を中日新聞社会事業団へ寄附。(3月18日実施)	052-881-1501 (市川)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)愛知県自動車整備振興会	愛知県名古屋市中区 滝子町30番16号 会長 坪内 協致		<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金募集について、県下43支部及び24指定ブロックに傘下会員1名に付1000円以上を募り、目標値である500万円に達したので去る3月25日に中日新聞社会事業団に手交いたしました。</p> <p>○その後未定の支部、ブロック及び会員事業場単独による寄附が寄せられていて4月末に集計したものをもう一度中日新聞社会事業団へお渡しする予定です。</p> <p>○当会の本部である(特社)日本自動車整備振興会連合会が、特に被災が激しかった福島、宮城、岩手の各県自動車整備振興会への義援金を全国の振興会に募りましたのでこれに100万円を送付しました。</p>	052-882-3834 (安藤)	http://www.aiseishin.or.jp/
(特社)愛知県トラック協会	愛知県名古屋市中区 瑞穂区 新開町12-6 会長 川島 誠	<p>○自治体等からの要請を受け、当協会員による救援物資輸送を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市 3月13日～3月28日 粉ミルク・紙おむつ等の生活物資、災害用トイレ 車両15台 ・愛知県 3月15日～3月22日 カイロ・食料品等の生活物資、県備蓄物資等 車両23台 ・東海市 3月13日～4月8日 食料・毛布水等の生活物資 車両10台 ・全ト協 3月13日 A重油 車両数台、3月15日 医薬品等 車両1台 	△東日本大震災緊急支援のため、当協会員から義援金を募集し、全日本トラック協会を通じ、自治体及び関係団体へ寄附を行う予定(5月下旬実施予定)	052-871-1921 (総務課 中川)	
(特社)愛知県バス協会	愛知県名古屋市中区 中村区 名駅一丁目2-4 会長 木村 操	<p>○東日本大震災被災地(宮城県亘理町)へ、愛知県知事と当協会の緊急輸送契約に基づく愛知県防災局消防保安課からの要請を受け、県下各市町村の消防隊員の現地救援派遣輸送を行っている。</p> <p>○東日本大震災被災地(宮城県多賀城市)へ、愛知県知事と当協会の緊急輸送契約に基づく愛知県防災局危機管理課からの要請を受け、愛知県職員の現地支援派遣輸送を行っている。</p>	○公益社団法人日本バス協会が、平成23年3月25日(金)～6月30日(木)の間実施している、東日本大震災被災者救援義捐金の募集を、(特社)愛知県バス協会が加入会員事業者に直接の呼びかけを行う窓口となり取り組んでいる。募金は、(公益社団法人)日本バス協会がとりまとめを行い、日本赤十字社を通じて届けられることになっている。	052-551-5484 (長崎 三千男)	
(特社)愛知労働基準協会	愛知県名古屋市中区 栄 2-9-26 ポララ名古屋ビル内 会長 山本 亜土		○(特社)全国労働基準関係団体連合会より「東北地方太平洋沖地震等による被害に対する義援金の募集について」の案内が平成23年3月25日にあった。趣旨は、「東北地方太平洋沖地震等により被災された都道府県労働基準協会・同地区支部、同地区協会等について、その復興の一助とするため」。協会内で検討した結果、協会及び役員有志一同から寄附を行った。	052-221-1438 (総務部 太刀川)	http://www.airouki.or.jp/
(特社)会津労働基準協会	福島県会津若松市追手 町5-14 会長 高屋 安穂	○被災者・避難者からの申請による技能講習修了証の再交付手数料の無料化(8月31日まで)		0242-27-8511 (事務局長理事 猪俣和弘)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)青森県バス協会	青森県青森市大字浜田 字豊田139-21 山口 健六	<p>○震災の(間接被害燃料不足による運行中止、イベント中止による運行キャンセル等)により、会員企業の経営に悪影響を与え事業存続が危ぶまれているので、公共交通の維持かくほのため、会費の減免を行って負担の軽減を図っている。</p> <p>○青森県総務部生活再建・産業復興局に対して、被災者の避難等、復興支援のための援助協力を申し入れている。</p>	<p>○東日本大震災緊急支援のため、会員に義援金を募集し、社団法人青森県バス協会として公益社団法人 日本バス協会を窓口として日本赤十字社へ寄付。(4月22日)</p>	017-739-1571 (三國)	http://www.aomoribus.or.jp/
(特社)秋田県銀行協会	秋田県秋田市旭北錦町 1-47 藤原 清悦	<p>○平成23年3月11日付内閣府特命担当大臣(金融)および日本銀行総裁の連名による文書「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震にかかる災害に対する金融上の措置について」(秋田財務事務所経由)を受け、3月12日、当協会会員銀行(秋田県内12行)に対し、趣旨の徹底と適切な対応を文書により要請した。また、同日、秋田手形交換所参加全金融機関(代理交換金融機関を含み18金融機関)および秋田県内全手形交換所(12交換所)に対し、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震に伴う手形交換に関する特別措置について」を发出し、手形交換における特別措置1~3を当分の間適用すること、および、秋田手形交換所が3月14日(月)の手形交換を通常どおり実施する旨を通知した。あわせて、秋田県内12手形交換所に対し、3月14日における手形交換実施状況について報告を求め、状況の把握に努めた。</p> <p>○平成23年3月15日付秋田県生活環境部長からの文書「東北地方太平洋沖地震の発生に伴う節電・省エネの徹底について」を受け、同日、当協会会員銀行12行に対し、趣旨の徹底を図るとともに、東北電力の計画停電への協力および適切な対応について文書により要請した。</p> <p>○平成23年3月20日付東北財務局長からの文書「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震にかかる災害に対する金融上の措置の更なる周知徹底等について」を受け、3月22日、会員銀行12行に対し、同文書趣旨の更なる徹底、および、被災者に対するきめ細やかな対応を、文書により要請した。</p> <p>○平成23年3月23日付東北財務局長からの文書「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震にかかる災害を踏まえた年度末金融の円滑化について」を受け、同日、会員銀行12行に対し、同文書および既发出文書の趣旨の徹底と適切な対応を文書により要請した。</p> <p>○平成23年3月25日付東北財務局長からの文書「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震にかかる災害に対する金融上の措置の更なる周知徹底等について」を受け、同日、会員銀行12行に対し、同文書の趣旨の更なる徹底、および、適切な対応を、文書により重ねて要請した。</p>		018-863-9181 (大沼 文哉)	
(特社)秋田県自動車整備振興会	秋田県秋田市八橋大畑2 丁目12番63号 伊藤 哲之	<p>○会員からの東日本大震災義援金を取扱中</p> <p>○運輸支局が行った移動相談所「無料点検相談」に、会員から整備士4名及び職員1名が参加し協力活動を行った。</p>	<p>○義援金の取扱を行っている「秋田魁新報社、秋田放送、AKTテレビ」に寄附をした。(3月22日)</p>	018-823-6546 (小松、天野)	
(特社)秋田県トラック協会	秋田県秋田市寺内蛭根 1-15-20 嶋田 康子	<p>○緊急救援物資の輸送 行政等からの依頼に基づき、岩手・宮城等の被災地へ救援物資の輸送を行っている。</p>	<p>△東日本大震災支援のため義援金を募集し、全日本トラック協会を通じて、被災地へ寄附する予定。 (募集期間4/18~5/10)</p>	018-863-5331 (伊藤 旭)	http://www.ata.or.jp/
(特社)上尾法人会	埼玉県上尾市ニッ宮750 番地 山田 恵一		<p>○年度末に開催した理事会において義援金200万円を送金することを決議し、埼玉新聞社福祉事業団口座へ送金した。(3月29日)</p>	048-776-2573 (事務局長 斎藤)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)旭硝子奨学会	東京都千代田区有楽町 1-12-1 理事長 田中 鐵二	○被災地の学生が手続き上不利を被らないよう、募集において配慮		03-3218-5285 (岩崎)	
(特社)旭川観光協会	北海道旭川市常盤通1丁目 道北経済センター5階 会長 山崎 博幸		△東日本大震災の被災地及び被災者向けの義援金を旭川観光協会役員及び会員(約300件)に呼びかけ4月28日までに集約し、日本赤十字社を通じて被災地に送る活動を始めている。(4月19日から実施)	0166-23-0090 (越智)	
(特社)旭川銀行協会	北海道旭川市4条通9丁目 1703番地 旭川北洋ビル4階 水口 千秋		○全国銀行協会を通じ、東北被災地区3銀行協会に見舞金	0166-26-4628 (常務理事 小寺 幸郎)	
(特社)旭川地区トラック協会	北海道旭川市流通団地2-4 会長 窪田 明規夫	△被災地への緊急支援物資の輸送、又は復旧のための輸送に対応するための体制整備。(自治体からの要請により実施)	○東日本大震災緊急支援のため、会員から義援金を募集し、被災地の自治体へ寄附をする。(3月30日から実施)	0166-48-7244 (寺田)	
(特社)旭川地方自家用自動車協会	北海道旭川市春光町10番地 会長 吉田 裕		○各協会が納入している会費及び負担金を財源とし、上部団体である全国自家用自動車協会及び全国自動車標板協議会より義援金を取扱機関(日本赤十字社)等へ寄附している。	0166-51-1221 (総務 松井)	
(特社)旭川地方自動車整備振興会	北海道旭川市春光町10番地 会長 吉田 裕		○東日本大震災緊急支援のための義援金として、日本赤十字社へ寄附を行った。 ○道内7振興会より北整連に集約して、日整連に送金し、整備事業者向けに寄附を行った。	0166-51-2157 (上西)	
(特社)旭川中法人会	北海道旭川市常盤通1丁目 川島 崇則		○法人会春季講演会の際に、一般市民を含む来場者に対して会場入り口に義援金募金箱を設置し、受付の際に協力を呼びかけた。(3月31日) △今後は通常総会や青年部会・女性部会の定期総会などの際に義援金募集を行う予定である。	0166-29-3330(高花)	
(特社)旭川東法人会	北海道旭川市常盤通1丁目 高橋 秀樹		○法人会春季講演会の際に、一般市民を含む来場者に対して会場入り口に義援金募金箱を設置し、受付の際に協力を呼びかけた。(3月31日) △今後は通常総会や青年部会・女性部会の定期総会などの際に義援金募集を行う予定である。	0166-29-3330(高花)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)アジア会館	東京都港区赤坂8-10-32 谷川 寛三	○福島県南相馬市、相馬市、新地町の各避難所へ物資の支援(歯ブラシ、ヒゲソリ、ヘアブラシ等)	○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し(社)全日本シティホテル連盟を通じて日本赤十字社へ寄付を実施。(3月14日より実施)	03-3402-6111 (安藤 洋子) 03-3402-6111 (阿方 元)	www.asiacenter.or.jp
(特財)アジア政経学会	東京都文京区本郷7-3-1 東京大学 高原 明生	○会員の安否確認ができない場合や、海外からの研究者からのメッセージを広くシェアすべく、学会のホームページの中にメッセージ・ボードを用意した。 http://www.jaas.or.jp/ascgi-bin/bbs.cgi?bbs_no_val=1&bbstype_no_val=1 ○会員の中で被災地に居住している者については、「4年会費が未納であれば会員資格を剥奪する」というルールを適用せず、1年猶予を持たせる理事会決定を行った。		03-5841-5874(総務担当理事 園田 茂人)	http://www.jaas.or.jp/ascgi-bin/bbs.cgi?bbs_no_val=1&bbstype_no_val=1
(特財)アジア21世紀奨学財団	東京都渋谷区神山町5-5 理事長 角田 英一	○当財団の交流事業の一環として実施しているGlobal Voices from JapanのFacebookサイトを立ち上げ、留学生・外国人に対して震災及び原発事故に関する情報を多言語で発信している。 ○東北大学の留学生/外国人教員計3名に対して、一時避難宿舎として財団関係者(理事)の自宅を提供している。(4月23日まで)		03-3460-2100 (角田 英一)	http://www.facebook.com/pages/Global-Voices-from-Japan/117010025043757?sk=wall
(特財)アジア農業協同組合振興機関	東京都町田市相原町4771 茂木 守		○JAグループと一体となって東日本大震災緊急支援の募金活動を実施し、4月15日に「JA全中東北関東大震災募金」へ14万円を送金。 ○タイの元研修員9名から以前お世話になったJAいわて花巻へ義援金5万円を送金したいとの相談があり、仲介した(送金手数料分はアジア農業協同組合振興機関にて負担)。	042-782-4331 (総務部長 田中 照良)	WWW.idaca.or.jp
(特社)亜細亜美術交友会	東京都台東区三ノ輪2-15-5 モナークマンション三ノ輪302 理事長 板越 文雄		△東日本大震災緊急支援のため義援金を募集 5月19日～24日まで「第47回亜細亜現代美術展」を開催するので、会場にて義援金を募集し、日本赤十字社へ寄付予定	03-5604-3431 (事務局長 金森弘山人)	
(特財)安達峰一郎記念財団	東京都新宿区四谷1-13 オパス・ロイヤル307 理事長 大内 恒夫		△東日本大震災緊急支援のための義援金20万円を日本赤十字社へ寄附(4月18日の週中)	03-3341-5036 (大岩 直子)	
(特社)天草法人会	熊本県天草市栄町1-23 松原 正樹	△5月25日に開催予定の(社)天草法人会定期総会において、出席者1人当たり千円の義援金を拠出予定。また、定期総会会場に「募金箱」を設置予定である。		0969-24-4339(代表)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)天野工業技術研究所	静岡県浜松市北区細江町 気貫7955番地の98 理事長 小林 純一	<p>○岩手、宮城、福島3県の工業高等学校在校生のうち被災により修学困難となった生徒さんを対象とした奨学金制度を立ち上げ、3県の工業高等学校長会と打合せを行い、先方からの推薦待ちの状況で、推薦があり次第奨学金を支給する。支給人数は、岩手県24名、宮城県34名、福島県22名の予定。支給額は、年額24万円(返済義務無し)。3県の工業高等学校長会から、計80名の推薦書を5月末までに受領予定で、受領後理事会にて決定し支給する。</p> <p>○岩手、宮城、福島3県の大学に留学している大学院博士課程後期の被災学生を対象に奨学金を支給するべく対象者の有無を調査中(支給人数は2~3名の予定)。支給額は、年額144万円(返済義務無し)。留学生に帰国等の移動があるため、対象者の把握に時間を要するため、暫くの猶予をとの依頼があり、連絡待ちの状態。</p>		053-523-1171(常任理事・所長 鈴木 貴)	
(特社)雨水貯留浸透技術協会	東京都千代田区麹町3-7-1 半蔵門村山ビル5F 会長 高橋 裕	△今後の復興へ向けての支援のため、「まちづくりと雨水貯留浸透施設」をテーマに、環境・防災に配慮したまちづくりについて、専門家の知見を得て、季刊誌「水循環 貯留と浸透」に特集掲載する。(12月号、24年3月号)	<p>○公益財団法人公益法人協会が取りまとめている『東日本大震災被害者緊急支援のための救援基金』に寄付</p> <p>○3月21日に開催された「第8回慶南水オーラム(韓国)」にて、出席者有志より義援金を託され、当協会を通じて日本赤十字社へ寄付</p>	03-5275-9591(橋)	
(特社)あゆみの箱	東京都渋谷区恵比寿南3-1-20三王ビル5F 中村 メイコ	<p>○東日本大震災支援のための募金活動を、街頭で8回行い、また、ホームページで募集している。支援先は、障害児者施設を予定している。(3月18日から6月30日まで。)</p> <p>○被災地の障害児者に関する情報を、社会福祉協議会や障害児者施設に直接聞き取りをしている。最も聞き取りたい事は、被災施設の障害児者を受け入れた施設の状態と、居宅(通所)障害児者の状況である。</p> <p>△被災地の障害児者に関する情報が集まりにくいいため、調査票を直接施設に配布して、状況の把握に役立てたい。</p> <p>△義援金は、第一次募集の締め切りが6月30日であるが、以後、数年にわたって支援活動を継続する必要を感じているため、「街頭募金担当理事(仮称)」を設置し、7月以降も二次募集、三次募集として計画的に街頭及びホームページで義援金を募集する。</p>	△寄附先は被災地の障害児者施設やそれにかかわる事業を行っている組織を予定している。義援金募集の締め切りを6月30日としているため、寄附先を決定するための情報収集に努めている。	03-5721-7220(市川 顯)	
(特財)アリオン音楽財団	東京都渋谷区富ヶ谷1-46-9オーティビル2F 理事長 江戸 京子	△被災地の復興活動はインフラ整備から重点的に推進されると考えられるため、これまでにこの地域が持続的に活動を行ってきた音楽活動および音楽教育活動はいままでもおり全に行うことが出来る可能性は低くなると思われる。人々の精神的な支えとなる音楽文化への触れ合いと、未来を担う子供たちの音楽教育活動の持続は今こそ重要と考えられる。アリオン音楽財団理事長の江戸京子は昨年まで岩手県の久慈市アンバーホール館長および芸術監督を務め、久慈市を中心に岩手県の音楽文化普及および音楽教育へ尽力してきた。今回の被災を鑑みて、他地域と比較して被害が少なく復興の拠点となっている久慈市を軸に周辺地域の音楽文化、音楽教育活動に対する寄付「久慈アクション！」を立ち上げ、国内だけでなく広く世界各国の音楽家へ支援を呼びかける。(サイトの整備が完了次第、実施)	△「久慈アクション！」義援金を、PayPalを活用して募集(日本語、英語両サイトを立ち上げる。PayPalへ公益申請し、許可が下り次第、アリオンのURLで公示)	03-5465-0755(加藤 恭子)	http://www.arion-edo.org (サイトの整備が完了したいUP)
(特社)アルコール協会	東京都中央区銀座1-18-6 梅葉 芳弘	<p>○企業の被災者支援活動(衛生資材、宿泊施設等の提供)に関する情報交換を仲介</p> <p>○宮城県庁(災害対策本部)へエタノール除菌ウェットティッシュ(25,000パック/10枚入)を寄贈。(4月1日発送、同4日に到着)</p>		03-6228-8821(山田)	http://www.alcohol.jp

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)アルコール健康医学協会	東京都文京区本郷3-25-13 グラン・フォークスV本郷ビル4階 玉木 武			△東日本大震災緊急支援のため日本赤十字社へ寄附を行う。(4月中に実施予定)	03-5802-8761(古屋)
(特社)飯田法人会	長野県飯田市常盤町41 飯田商工会館5F 塚平 利久郎			○震災義援金として、長野県栄村に対して5万円を寄附した。(3月28日)	0265-52-5775 (事務局長 市瀬・隆)
(特社)いけばなインターナショナル	東京都千代田区神田小川町 3-28-9 三東ビル5階 会長 佐藤 ヴィエニア	○ いけばなお家元融資による「いけばなチャリティーライブ」5月6日銀座東京セントラル美術館開催への後援を行うことにより、義援金(入場料×入場者数全額)に協力する。 △ 第10回世界大会委員長より、大会中のいけばな展のチケット販売利益を全額義援金とすることを決議。(3月29日) その後開催予定が平成24年5月に先送りになったことから、来年の開催時これらの活動を行い被災地の子供たちへの寄付とする予定。	○ 東日本大震災緊急支援の募金寄付を、ホームページ、会員誌を通じ各支部へ呼びかけて募金集めを開始した。(3月22日 I.I.東日本義援金として口座開設) 尚、各I.I.支部の寄付活動は別途以下の通りです。 △東京支部 : 5月総会時にジャパンタイムス社を通して 30万円の寄付予定、およびいけばなインターナショナルフェア開催時に120万円寄付予定 △鎌倉支部 : 5月7日の被災者救援バザーに参加、収益金を寄付、又6月例会時に被災者救援募金行う予定 △札幌支部 : 5月のいけばな展期間中に募金活動し、日赤を通じて被災者に寄付予定 △名古屋支部 : 7月7日の例会に於いて募金を募り、中日新聞を通じて日赤に寄付予定 ○神戸支部 : 4月8日兵庫県共同募金会に20万円寄付。また4月5日支部内に募金箱を設置した。 ○大阪支部 : 5月予定の支部20周年行事を中止して、その予算100万円を産経新聞社を通じ寄付 △北米各支部 : 会員有志により\$6,000がI.I.本部を通じ日赤に寄付される予定	03-3293-8188 (中込 正喜)	
(特社)石垣市観光協会	沖縄県石垣市浜崎町1-4-4 宮平 康弘			○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、石垣市を経由して日本赤十字社へ寄附の予定。(4月1日に石垣市へは石垣市観光協会青年部名で寄付を行った)	0980-82-2809 (新城)

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)石川県自動車整備振興会	石川県金沢市入江3-1 60 会長 梁谷憲洋	<p>○3月17日現在、振興会窓口にて東北地方太平洋沖地震募金箱を設置し、登録業務、継続検査業務等で来会する会員各位に募金をお願いしている所である。</p> <p>○3月18日、FAXにて全会員に対し義援金の抛しをお願いをし現在受付中である。</p> <p>△当振興会の下部組織である支部(16支部)も現在総会等開催が予定されているが、各支部でも義援金抛しの動きがあり、これらを取りまとめ一括して北陸信越ブロック幹事県である新潟県に4月26日送金する予定である。</p> <p>△当振興会単独としては北陸信越ブロック幹事会で決定した金額を4月26日送金する予定である。</p> <p>△3月28日北陸信越ブロック幹事県である新潟県より要請のあった手工具等の支援について、会員にFAXにて支援の要請を行ったところ多数の会員から支援を戴き4月21日岩手県自動車整備振興会へ手工具等20セットを送付する事としている。</p> <p>○各支部並びに個人もすでに市役所、日赤等、地震支援関係機関を通じて義援金を送付している。</p>	<p>本部抛出 200万円 本部窓口募金 30万円 金沢支部 50万円 小松支部 30万円 輪島支部 10万円 七鹿支部 30万円 能美支部 30万円 計 380万円</p> <p>△全義援金は4月26日北陸信越ブロック幹事県事務局新潟県整振を通じ、東北ブロック幹事県である宮城整振へ送金し東北4県へ配分する。</p>	076-291-2001 (飯田 三郎)	http://www.issnet.ne.jp/
(特社)和泉大津地区労働基準協会	大阪府泉大津市池浦町 1-5-6 会長 永山 雅規		○義援金を寄附	0725-32-0668 (専務理事 岩下)	
(特社)板橋産業連合会	東京都板橋区仲宿54- 10 会長 吉川 宏		○平成23年3月23日から4月20日までの間、会員企業に対し、義援金の募集活動を行い、集まった義援金を日本赤十字社に寄附	03-3962-0131 (高橋)	
(特財)一新会	東京都文京区本郷3-37- 8 本郷春木町ビル5F 澤 充	△被災地域で石原色覚検査表を失い、整備が必要とされる小中学校等に対し検査表の無償提供を文部科学省・岩手県等の教育委員会に申し入れを行う。		03-3818-6411(石川)	
(特財)移動無線センター	東京都新宿区西新宿3- 7-1 新宿パークタワー34 F 森永 規彦	○MCA無線機(端末機)の貸出 当該センター備蓄のMCA無線機227台を確保し、被災自治体に120台貸出		03-5323-5501(板垣)	http://www.mrc.or.jp/
(特社)伊那法人会	長野県伊那市中央4605 番地8(伊那商工会館内) 北原 國人		○震災義援金として、法人会の会計から、(社)信濃中野法人会を通じて5万円を長野県栄村へ寄附した。(3月28日)	0265-73-8777 (事務局長 伊東 久)	
(特財)井上科学振興財団	東京都渋谷区南平台町1 5-15 南平台今井ビル6F 理事長 豊島 久真男		○東日本大震災被災者緊急支援のための救援基金に寄附 (寄付先) (公財)公益法人協会 寄附日 平成23年3月24日	03-3477-2738 (新井)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)茨城県銀行協会	茨城県水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館10階 理事長 鬼澤 邦夫	<p>○「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震にかかる災害に対する手形交換に関する特別措置」について、水戸手形交換所参加金融機関に対して周知(平成23年3月11日)</p> <p>○関東財務局からの通知「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震にかかる災害に対する金融上の措置の更なる徹底」について、会員銀行に対して周知(平成23年3月21日)</p> <p>○関東財務局からの通知「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震にかかる災害に対する金融上の措置の更なる徹底(休日対応)」について、会員銀行に対して周知(平成23年3月25日)</p>		029-221-3579 (矢田、小野、押手)	
(特社)茨城労働基準協会連合会	茨城県水戸市桜川2-2-35 会長 鬼沢 邦夫	<p>○被災者からの技能講習修了証の再交付及び書替の申請に対しては、手数料等を免除する措置を実施している(3月から実施)。</p>	<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金として、日本赤十字社へ寄附</p>	029-225-8881 (飛田)	
(特社)指宿市観光協会	鹿児島県指宿市湊2-5-33 山下 建二	<p>○鹿児島県観光連盟が主催の東日本大震災チャリティーイベントへ参加。募金活動を行った。(4月9日・10日)</p>	<p>○東日本大震災支援のため、理事の費用弁償を義援金として市社会福祉協議会を通じて寄附。他、チャリティーイベントの収益を併せて寄附した。</p>	0993-22-3252 (下吉)	
(特社)いわき労働基準協会	福島県いわき市郷ヶ丘二丁目30-3 会長 須能 則和	<p>○震災・津波による家屋・事務所の損壊・流出等及び東京電力株福島第一原子力発電所の事故による避難等により、当協会が交付した各種安全衛生教育の修了証を亡失した被災住民(労働者)に対して、再交付手数料(1件1,500円)を無料とする扱いを行い、避難住民(労働者)の就労支援を行っている(8月31日まで実施するが、それ以降については実施の有無を決めていない。)</p>		0246-29-0011 (専務理事 富山 隆)	
(特財)岩手県観光協会	岩手県盛岡市盛岡駅西通2-9-1 マリオス3階 佐藤 義正	<p>○当協会の賛助会員等を通じ会員の安否情報、観光・宿泊施設等の営業状況の確認を実施。HPでは、県内の交通情報等を集約した災害関連情報のリンクサイトを整備した他、県内で宿泊が可能な施設及び日帰り入浴が可能な施設について情報発信を行った。(3/14から実施、宿泊・日帰り入浴施設の情報4/15まで掲載。)</p> <p>○「つなげる・つながる まごころ運動」の展開 岩手県内の旅館、ホテル、観光施設及び飲食店などで売上の一部等を被災地への義援金として贈る「つなげる・つながる まごころ運動」に賛同していただける店舗等の輪を広げ、誘客促進、地域経済の活性化による被災地への支援を図ろうとするもの。(4/20県庁を訪問し、達増知事に対し同運動のスタートを宣言)</p>		019-651-0626 (ホームページ:菅原) (まごころ運動:柴田)	<p>○いわての旅 http://www.iwatetabi.jp/</p> <p>○「つなげる・つながる まごころ運動」 http://www.iwatetabi.jp/magokoro/</p>

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)岩手県銀行協会	岩手県盛岡市中ノ橋通1-1-25 高橋 真裕	<p>○ 平成23年3月11日付内閣府特命担当大臣(金融)および日本銀行総裁の連名による文書「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震にかかる災害に対する金融上の措置について」を受け、会員銀行に対し、趣旨の徹底と適切な対応を文書により要請した。また、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震に伴う手形交換に関する特別措置について」を发出し、手形交換における特別措置1~3を当分の間適用することを周知した。</p> <p>○ 平成23年3月20日付東北財務局長からの文書「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震にかかる災害に対する金融上の措置の更なる周知徹底等について」を受け、会員銀行に対し、同文書趣旨の更なる徹底、および、被災者に対するきめ細やかな対応を、文書により要請した。</p> <p>○ 平成23年3月23日付東北財務局長からの文書「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震にかかる災害を踏まえた年度末金融の円滑化について」を受け、会員銀行に対し、同文書および既发出文書の趣旨の徹底と適切な対応を文書により要請した。</p> <p>○ 平成23年3月25日付東北財務局長からの文書「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震にかかる災害に対する金融上の措置の更なる周知徹底等について」を受け、会員銀行に対し、同文書の趣旨の更なる徹底、および、適切な対応を、文書により重ねて要請した。</p>	○平成23年4月、災害復旧等の財源として、岩手県に寄付金の贈呈。	019-622-1842 (平賀 富比古)	
(特社)岩手県自動車会議所	岩手県紫波郡矢巾町流通センター南2-8-3 佐々木 利孝		○東日本大震災緊急支援のための義援金(1千万円)を、岩手県災害義援金募集委員会へ寄附。(4月11日)	019-637-2885 (竹田 剛久)	http://www4.ocn.ne.jp/~aba-iva/
(特社)ウォーターフロント開発協会	東京都港区芝浦3-11-9 武藤ビル3F 会長 川崎 裕康		○全国の会員関係者に対し、東日本大震災の支援のためのみたとオアシス義援金を募集している。集まった義援金は被災したみたとオアシスに贈呈する予定。	03-3453-4191 (山本)	
(特社)魚津法人会	富山県魚津市新金屋1-12-38 千田 則行		○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集している北日本新聞社へ168千円の寄附(3月28日新川支社へ持参)	0765-24-1188(代表)	
(特社)氏家法人会	栃木県さくら市氏家2379 東原 民範	○法人会員から日用品の支援物資を募り、法人会で取りまとめの上、那須烏山市の災害対策本部へ届けた。(3月15日)		028-682-5285(大橋)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)宇都宮法人会	栃木県宇都宮市鶴田2-21-14 高橋 文吉	<p>○法人会青年部会は、宇都宮商工会議所青年部及び宇都宮青年会議所のメンバーと合同で、東日本大震災救援街頭募金活動を「JR宇都宮駅」及び「オリオンスクエア」で実施(3月19日・20日)</p> <p>○法人会女性部会は、会員に対して支援物資の協力を依頼し、食料品・生活用品・衣類等を「NPO 法人ゆいの里」を通じ、石巻市内の中学校避難所へ届けた。(4月1日)</p> <p>○青年部会有志は、会員に対して支援物資の協力を依頼し、毛布・ガスコンロ・乾電池等の生活用品を3tトラックで、宮城県の支援物資集積場となっている気仙沼青果市場へ、直接届けた。(4月3日)</p> <p>○法人会女性部会は、福島原発事故退避地域から「宇都宮市姿川地区市民センター」に避難してきた方々に、卵100個とお菓子等を届けた。(4月4日)</p> <p>○青年部会有志は、会員に対して支援物資の協力を依頼し、宮城県山元町の避難所である「山元町体育文化センター」へ直接届けた。その際、おにぎり・豚汁1,000人分の炊き出しを実施した。(4月10日)</p> <p>○法人会青年部会は、宇都宮商工会議所青年部と合同で、福島県いわき市の体育館で避難生活を送っている方々に、炊き込みご飯約480人分、豚汁約600人分の炊き出しを実施した。(4月17日)</p>	<p>○街頭募金活動による募金約60万円を「日本赤十字社」へ寄附した。(3月21日)</p> <p>○法人会の会員から、義援金を募り約100万円を「下野新聞社」に寄附した。(4月20日)</p> <p>△総会・研修会等人的集まる機会を捉えて、会場内に募金箱をおいて、義援金を募集する。(4月以降)</p>	028-648-9466(宇都宮法人会事務局長代理 錦織文明)	
(特社)宇都宮労働基準協会	栃木県宇都宮市築瀬町1968-1 会長 藤井 昌一		○寄附金1万円を(特社)全国労働基準関係団体連合会を通じて日本赤十字社に寄附	028-633-4133 (専務理事 大森 良雄)	
(特社)宇都労働基準協会	山口県宇都市港町1-4-1 会長 松前 正久		○宇都日報(新聞社)を通じて寄附	0836-33-8495 (専務理事 長尾 聡)	
(特社)浦和法人会	埼玉県さいたま市浦和区高砂3-17-15 利根忠博		○東日本大震災の被災地支援のための義援金を募集し、中央共同募金会へ寄附(既寄附額904千円)を行う。 (募集期間:平成23年3月28日から平成23年9月22日)	048-838-7755 (事務局長 石田)	http://www.urawahoiinkai.or.jp
(特財)運行管理者試験センター	東京都新宿区荒木町20番地 インテック88ビル 長江 啓泰	○被災地(青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県)において、平成23年度第1回試験(8月実施予定)の実施が可能かどうか、各県の協会を通じて調査を実施した。調査の結果、現段階においては被災地全県で試験実施が可能と判断し、その旨の公示を行った。	○(公財)公益法人協会を通じて、被災地で復興支援活動に取り組んでいる公益法人等を支援するための資金を送付する(5月25日予定)。	03-5367-2357 (島崎)	
(特財)運輸振興協会	東京都千代田区麹町4-5 松井 和治	○東日本大震災支援基金の寄付募金(日本財団主催)のお願いを当協会情報紙で紹介(3月20日)	○東日本大震災支援基金(日本財団主催)に役員による支援金を寄付	03-3221-8431 (南)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)運輸政策研究機構	東京都港区虎ノ門3-18-19 会長 羽生 次郎		<p>○日本財団CANPANプロジェクト「東北地方太平洋沖地震支援基金」に役員及び関係者の寄附金を送付。現在も継続中。</p> <p>○日本財団、海上保安協会が実施している「海守支援物資募集」に支援物資を送付。現在も継続中。</p>	03-5470-8400 (塩野 勉)	
(特財)衛星測位利用推進センター	東京都千代田区麹町4-4-7 森 和廣	<p>△被災地では、位置の基準となる三角点や基準点も被災し、大幅にずれていたり、喪失したりしている箇所が多く、復旧、復興の大きな障害となっている。既存の三角点、基準点に依存しない新たな測位方式(準天頂衛星LEX補強信号)により復旧、復興を迅速に行うことができる。システム構成は、LEX補強情報配信システム、LEX信号受信機及びMMS(Mobile Mapping System)等。</p> <p>○上記の復旧、復興支援ツールとしての有効性を確認するために、新潟大学が宮古で行っている「センチメートル級の測量検証」について、支援を開始した。現在、東北地区にある有効な電子基準点網を確認し、そのデータを利用し、補強情報を生成し、LEX補強信号として配信する。オフラインでこれを検証し、4月中に検証結果を評価する予定。</p>		03-5216-0936 (近藤 夏樹) 03-5216-5459 (松岡 繁)	www.eiseisokui.or.jp/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL	
		活動	寄附			
(特社)衛星放送協会	東京都港区虎ノ門2-9-8 あまかすビル4F 和崎 信哉	<p>○衛星放送協会では今回の震災に対して当協会が行うべき活動の柱を「衛星放送を通じて復旧・復興に向けたメッセージや多様な番組を放送することで、視聴者各位を元気づけ、励みになるような活動をしていく」とし会長メッセージとして震災後2日目の営業日となる3月15日からホームページに掲載している。</p> <p>○避難所へのケーブルに対する鍵開け</p> <p>○各地(被災地以外も含む)のケーブル事業者が避難所に無償でテレビサービスを提供する際に衛放協正会員社のチャンネルについても権利処理が可能なものについては鍵開けを行い、避難所にいる被災者の方々が視聴出来る様になっている。</p> <p>○震災で特に激しい被害を受けた加入者からの視聴料徴収にも大きな影響を受けている宮城県、岩手県のケーブル事業者3社を中心に番組供給料金の免除、減額、支払い猶予等について事業者の要請に基づき対応している。</p>		03-3597-3211(高橋)	http://www.eiseihoso.org/images/donation.5.pdf	
		<p>○衛星放送協会に加盟している会員社から、復旧復興へのメッセージCMを公募し、選ばれた作品を加盟各社のCS/BSチャンネルで放送。衛星放送を通じて復旧・復興に向けたメッセージを発信し、被災地をはじめ、日本全国を元気づける活動を展開予定</p> <p>○現在、公募中で、6月中旬までに作品を完成させ、7月ごろから来年5月末日日まで放送。併せて、各社のWEBサイトを通じて展開</p> <p>○また、CMのイメージに合ったポスターを作成し、会員各社のオフィスに掲示して社員の活動意識を高める。</p>		03-3597-3211(辻)		
		<p>○日本赤十字社が実施している義援金募集を、会員社である放送事業者のチャンネルを通じ、告知スポットや番組内告知にて大量露出を図っている。</p> <p>○併せて、各チャンネルの運営している、WEBサイトやモバイル、イベント等を通じて展開中</p>		03-3597-3211(池田)		http://www.eiseihoso.org/images/donation.6.pdf (当協会分)
		<p>○衛星放送協会会員各社とスカパーJSAT(株)、(株)オプティキャストと共同で、東日本大震災により災害救助法が適用された市町村で、「スカパー！」、「スカパー！e2」、「スカパー！光」を契約中で、家屋の損壊等により、視聴が不可能となっているお客様を対象に、視聴料等の免除を実施。具体策は以下の通り。</p> <p>①3月から8月まで、基本料金、視聴料金、ガイド誌購読料金を免除。対象は東日本大震災及び長野県北部地震により災害救助法が適用された市町村(お申し出ベース)</p> <p>②基大な被災地域のお客様については、お申し出をいただかずとも、カスタマーセンターからのご連絡がつかなくなっているお客様に対し、3月分、4月分の視聴料等を免除し、5月分からの請求を停止</p>		03-3597-3211(池田)		http://www.eiseihoso.org/releases/pdf/20110323.pdf http://www.eiseihoso.org/releases/pdf/20110413.pdf
(特財)NHKエンジニアリングサービス	東京都世田谷区砧1-10-11NHK技研ビル6階 河口 正人	○NHK盛岡放送局に応援者1名を派遣。被災者の情報獲得手段確保のため、宮古市および山田町の避難所でのテレビ設置・衛星放送セーフティネットの開設等を実施(4月3日～4月9日)	○東日本大震災緊急支援のための義援金を財団内で有志を募って募集し、NHK厚生事業団を通じ寄附を行う。(4月上旬から実施)	03-5494-2405 (総務部長 中村 直樹)		
(特財)エヌエイチケイサービスセンター	東京都渋谷区宇田川町4-1-1 大島 敏男		○東日本大震災被災者支援のための義援金を日本赤十字社へ寄附(3月29日)	03-3464-1687 (企画総務部(総務)平塚)		

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)愛媛県自動車整備振興会	愛媛県松山市森松町 1075-2 小泉一郎		<p>○東日本大震災緊急支援の為、の義援金を被災地に日整連を通じて寄附した。</p> <p>○窓口に募金箱を設置して義援金を募集しており、今後まとめて愛媛新聞社等に送金して寄附する予定</p>	089-956-2181 (中川)	
(特社)愛媛県法人会連合会	愛媛県松山市大手町2丁目5番地7 愛媛中小企業指導センター内 森田 浩治		<p>○当会が主催する「平成24年新酒き酒会」の「入賞者発表式」参加者から受領した参加費全額及び会場内に設置した「募金箱」での募金を、愛媛県が創設した「東日本大震災被災者等支援基金」(えひめ愛顔(えがお)の助け合い基金)へ寄附</p>	089-941-7711(祖母井)	
(特社)愛媛労働基準協会	愛媛県松山市大手町1-10-1 岩本ビル3階 会長 北村 忍		<p>○被災した東北地方の労働基準協会への支援のために、(特社)全国労働基準関係団体連合会が募った義援金へ寄附</p>	089-921-7033 (専務理事 桑原敏治)	
(特財)エム・オー・エー健康科学センター	静岡県熱海市西熱海町1-1-60 鈴木 清志	<p>○鈴木理事長は、医師として医療法人財団玉川会、瑞泉会と協働し、3月27日に仙台、28日に石巻市のMOAセンターにて、健康増進セミナーを開催し、被災者の心身のケアを行った。また、29日には、100人以上が避難している石巻市内の幼稚園施設へ出向し、医療的支援をはじめ、食事、花による癒しとするケアを行った。(3月27日～29日)</p> <p>○片村常務理事は、医師として医療法人財団玉川会、瑞泉会と協働し、3月25日に福島市、26日に郡山市にて健康増進セミナーを開催した。(3月25日～26日)</p> <p>○佐久間常務理事は、医師として医療法人財団玉川会、瑞泉会と協働し、4月10日に岩手県内の会員宅にて、医療相談や、健康増進セミナーを、11日には、避難所である大船渡中学校に出向し、医療相談や炊き出し、お花、お茶、園芸、運動療法を行い、被災者の心身のケアを行った。(4月10日～11日)</p> <p>○財団職員は、東北地区内(福島、仙台、水沢、盛岡)における重点被災地へ向け、一般社団法人MOAインターナショナルと協働し、救援物資の運搬、支給を行った。(4月4日～5日)</p> <p>○財団職員は、協力団体である一般社団法人MOAインターナショナルと連携し、東北エリア内の会員世帯とその地域の安否確認や被災状況等を把握した。また、MOA災害対策本部にて、被災地にて使用する支援物資の入庫や仕分、輸送準備、支援チームのサポート等も行った。(4月6日～14日)</p>	<p>△今後は、毎月開催している、健康度測定や全国各地にて開催予定の健康増進セミナーや健康度測定にて、災害義援金を呼び掛けていく予定である。</p>	0557-86-0663 (安富)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)エルピーガス協会	東京都港区新橋1-18-6 川本 宣彦	<p>○東北・北関東地区を重点対象に、LPガス消費者及び事業者の被害状況調査を実施</p> <p>○会員に対し、LPガスを初め、支援可能物資の調査を実施(調査結果:LPガス容器5500本、調整器1700戸、LPガスコンロ5500台支援可能)</p> <p>○LPガス業界関係者から被災地に行われた支援状況の調査を実施(LPガス容器1300本、LPガス55トン、LPガス調整器480個、LPガスコンロ70台、カセットコンロ500個、カセットボンベ2100本、発電機8台)</p> <p>○ホームページに「地震時の対応」、「停電時におけるガス機器使用の注意事項」を掲載</p> <p>○(社)プレハブ建築協会に対し、応急仮設住宅の建設時には、LPガス業界として全面的に協力する旨伝達</p> <p>○緊急車両の登録(LPガス関係者で被災地への支援物資の配送を行う車両について登録を代行)</p> <p>○被災地県LPガス対策本部との支援打合せ及び現地調査のため職員を派遣</p> <p>○行政への要望(保安機関の更新・ガスメータの更新の延長等)</p> <p>△津波の被害より流出したLPガス容器の回収等に人的支援を検討中。被災地からの要望に基づき、道端に集積しているLPガス容器を回収し、指定場所に集約する作業を行うこととしている。なお、人的支援は山形、新潟、群馬、栃木、神奈川、秋田、埼玉、山梨、長野、東京の10県から合計140人登録し、待機中</p>	<p>△当協会として被災地6県のLPガス協会に合計1300万円を支援予定</p> <p>△会員に対し救援金を募り、4月19日現在で約1億円集まった。救援金は被災地のLPガス協会に分配予定</p>	03-3593-3500 (内倉、渡辺、瀬谷)	http://www.japanlg.or.jp/
(特財)沿岸技術研究センター	東京都千代田区豊町3-16 住友半蔵門ビル6F 理事長 小原 恒平	<p>○当センターの有する地震・津波や防災に関する高度な技術力を活かし、港湾施設に係る被災状況や被災要因の分析岸壁の地震に対する安定性や防波堤の津波防御効果の検討、復旧工法の検討に対して技術的な助言を行っている。</p> <p>○被災した東北地方の港湾施設の復旧に係る技術的相談に即応するため、仙台市に技術調査事務所を開設し、当センターの技術者を配置して、助言を行っている。</p> <p>○当センターの自主事業として、当センターの沿岸防災技術研究所長を中心として現地調査や関連情報の収集・分析等に基づく技術的検討を行い、今回の津波の発生メカニズムや被災の原因について情報の発信を行っている。</p> <p>△従来より津波に対する防災知識の発信と啓発についてはセンターの重要な普及・啓発活動と位置づけ、各国語による津波関連書籍の出版や国内外でのセミナー・ワークショップ等を通じて取り組んできているが、上記活動等を通じて得られた新たな知見や情報に基づき、その内容の見直しを行うことにより津波防災技術の向上を図るとともに、その普及に積極的に取り組んでいく。</p>		03-3234-5862 (林常務理事)	http://www.cdit.or.jp/
(特社)遠赤外線協会	東京都港区浜松町1-2-1 会長 小倉 忠		<p>△東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、寄附を行う。(5月16日開催運営委員会で、3万円の義援金を計上する事を提案し承認された。募金箱を設置し集めた義援金7千円と併せて6月2日以降に3万7千円の寄附を行う予定)</p>	03-3438-4108 (井上)	http://www.enseki.or.jp/top.html
(特社)塩那労働基準協会	栃木県大田原市本町2-2828-4 会長 君島 久造		<p>○寄附金3万円を(特社)全国労働基準関係団体連合会を通じて日本赤十字社に寄附</p>	0287-22-7100 (専務理事 鈴木 隆)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)応用物理学 会	東京都千代田区九段北1-12-3 会長 白木 靖寛	<p>○福島県で放射線線量計が極めて不足しているとの情報に基づき、本会の全会員に放射線線量計の寄付、貸与の呼びかけを行った。その結果8箇所の研究機関、個人から情報が寄せられ、20数台の提供が集まった。会津大学の先生を窓口とし、福島県災害対策本部に貸与を行った。</p> <p>○放射線の基礎知識を一般の方にも分かりやすく説明した解説をホームページに掲載した。放射線とはどういうもので、どの程度の被爆なら人体に影響があるのかなど、正しい判断となる情報を掲載した。</p> <p>○今回の東日本大震災で被害を受けた会員に対し、1年間の会費の免除を行うことを決定しホームページに掲載した。</p>		03-3238-1041 (芳野久士)	<p>○放射線について http://annex.isap.or.jp/radiation/20110317.html</p> <p>○会費の免除 http://www.isap.or.jp/news/news20110408.html</p>
(特社)大分青色申 告会	大分県大分市長浜町3-15-19 野田 皆子		△5月の定期総会時に義援金を募る予定である。	097-534-1016(代表)	
(特社)大分県自家 用自動車協会	大分県大分市大津町3-4-13 会長 山名 義弘	○東北、北関東地区を重点対象に協働団体を通じて被災状況の確認を行った。	○当協会上部団体を通じて被災団体に寄附を行った。 (3月29日実施)	097-552-0736 (片伯部)	
(特社)大分県自動 車整備振興会	大分県大分市大津町3-4-13 橋本 一郎	○3月18日に全会員に一口3000円(口数は任意)の義援金をお願いし、4月20日までに各支部長が集めて4月末までに本会に届き、本会の義援金を加算、合計し送付先、当会の上部団体(社)日本自動車整備振興会連合会等に送付する予定。本会の金額、送付先は三役一任。		097-551-3311 (専務理事 中山充孝)	http://www.jaspa-oita.or.jp
(特社)大分県バス 協会	大分県大分市大津町3-4-13 幸重 綱二		△東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社(直接か日本バス協会経由)へ寄附を行う。	097-558-3946 (扇谷 邦弘)	
(特社)大分県労働 基準協会	大分県大分市長浜町三丁目15番19号 会長 幸重 綱二		○東日本大震災緊急支援のための義援金として、会員である(特社)全国労働基準団体連合会を通じ、法人名で寄附	097-532-5763 (真部)	
(特財)大阪観光コ ンベンション協会	大阪府大阪市中央区南船場4-4-21 りそな船場ビル5階 会長 津田 和明		○東日本大震災緊急支援のための義援金を当協会職員から募り、日本赤十字社へ寄附。(4月15日ゆうちょ銀行を通じて振込をした。)	06-6282-5906 (経営企画部総務担当 梅田 英世)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)大阪銀行協会	大阪府大阪市中央区谷町3-3-5 服部盛隆	<p>○「東北地方太平洋沖地震に係る災害に対する金融上の措置」への対応として、今回の災害のため、①呈示期間が経過した手形でも交換持出等を行うこと、②不渡りとなった手形や小切手について、不渡報告への掲載等を猶予することを大阪手形交換所に参加する金融機関に対して周知した。</p> <p>○「中小企業倒産防止共済法施行規則」の一部改正に伴い、災害による不渡状況の証明依頼があった場合も対応することとした(従来は、取引停止処分の状況が対象)。</p> <p>○被災地の銀行を支払場所とする手形の取立方法など、震災との関連での銀行とりひき全般について相談・照会を受け付けている。</p>		06-6942-1377 (大阪手形交換所) 06-6942-1612 (銀行とりひき相談所)	
(特社)大阪国際見本市委員会	大阪府大阪市住之江区南港北1-5-102 会長 佐藤 茂雄		○東日本大震災緊急支援のため日本赤十字社へ寄附	06-6612-1717(横山)	
(特社)大阪市清港会	大阪府大阪市此花区常吉2-10-43 河村 元雄		○震災にて被害のあった、相馬、石巻、八戸、小名浜の各港にある清港会事務所に支援金として、大阪市清港会の経費から各港に1万円、合計4万円の送金を実施。	06-6460-4157 (常務理事兼事務局局長 津田 芳治)	
(特社)大阪タクシー協会	大阪府大阪市中央区博労町2-2-13 大阪堺筋ビル2階 会長 藤原 悟朗		○東日本大震災緊急支援のための義援金を当協会会員から募り第一弾として、4月18日に上部団体の全国乗用自動車連合会に送金。全国乗用自動車連合会より各県協会に送られる。また、当協会としては、岩手・宮城・福島各県協会へ義援金を送る。	06-6125-5400 (井田 信雄)	
(特財)大阪タクシーセンター	大阪府大阪市鶴見区鶴見4-5-9 会長 小池 俊二		○被災者に対する義援金を職場内で募り産経新聞社を通じて寄付をした。	06-6933-5611 (芳本)	http://www.osaka-tc.or.jp
(特社)大阪バス協会	大阪府大阪市北区堂島浜2-1-25 中央電気倶楽部内 会長 小津 正弘		○近畿バス協議会に所属する近畿2府4県の各バス協会は東日本大震災に被災された東北地区の各バス協会が所属している東北バス協議会に対して義援金200万円を送る。(大阪バス協会50万円)	06-6341-8006 (戎)	
(特社)大阪府雇用開発協会	大阪府大阪市中央区谷町3丁目1-9 MG大手前ビル2階 会長 井上 礼之	<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金の協力依頼(ホームページへ掲載し日本赤十字社大阪支部にリンク)</p> <p>○震災に伴う雇用調整助成金をはじめとする助成金の問い合わせが多いことから、周知についてホームページ上で案内を行い、労働局と共催しセミナーを開催</p> <p>○「日本はひとつ」大阪しごと協議会(会長:大阪労働局長)に参画し、震災の影響による雇用の維持、被災者を対象とした求人の確保、特に厳しい環境下にある被災した新規学卒者を対象とした求人の確保の各種支援を一体的に推進する要請文を会員企業あて送付し求人者を要請</p>	○協会職員より義援金を募集し、日本赤十字社大阪支部へ寄附(3月31日実施)	06-6942-5010 (総務部 比良井)	http://www.osaka-koyou.jp/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL	
		活動	寄附			
(特社)大阪府自家 用自動車連合協会	大阪府大阪市中央区大 手通1-1-11 中村 勉			○東日本大震災緊急支援の為、日本赤十字社へ 当連合協会より寄附を行う。(3月28日) ○また、役員一同より、義援金として日本赤十字 社へ寄附を行う。(3月28日)	06-6942-0435 (総務課 宮田)	
(特社)大阪府信用 金庫協会	大阪府大阪市中央区農 人橋1-4-34(信金中央金 庫ビル5F) 会長 梶田益男	○近畿地区信用金庫協会が実施した被災地への毛布、不織布マスク等支援物資(10トン積トラッ ク1台分)の輸送作業に協力(3月19日)		○全国信用金庫協会の呼びかけによる「東北地方 太平洋沖地震救援2千円募金」に役員一同で協 力 △全国信用金庫協会から依頼の支援見舞金の抛 出について近畿地区信用金庫協会と調整中	06-6941-8601(田中)	
(特社)大阪府信用 組合協会	大阪府大阪市中央区内 本町2-3-9 松本 精二			○東日本大震災による被災組合ならびに役員に 対する(特社)全国信用組合中央協会からの義援 金の呼びかけに対し、500,000円の寄付を行いま した。	06-6941-1441 (南口 陳之)	
(特社)大阪府清港 会	大阪府堺市西区築港新 町4丁目3番地 藤岡 大明			○震災にて被害のあった、相馬、石巻、八戸、小名 浜の各港にある清港会事務所に支援金として、大 阪府清港会の経費から各港に1万円、合計4万円 の送金を実施。	072-244-7571 (次長兼総務課長 吉 年 研一(よどし))	
(特社)大阪府トラッ ク協会	大阪府大阪市城東区鶴 野西2-11-2 会長 坂本 克己	○東北地方太平洋沖地震により被災した地域に向けた緊急救援物資の緊急輸送体制を確立す るため、協会本部内に坂本会長を本部長とする災害対策大阪地方本部を設置した。 ○大阪府、全日本トラック協会等からの緊急輸送要請を受け、平成23年3月13日から現在までに、 岩手・宮城・山形に向け、合計62台分の米・飲料水・毛布・生活用品等の緊急輸送を行なった。 (要請があれば、今後も継続して実施)		○東北地方太平洋沖地震により被災された多数 の皆様のために、社団法人大阪府トラック協会の 救援活動の一環として、会員事業者等に対し義援 金および災害見舞金を募り(目標額5000万円)、2 分の1を地方公共団体等(日本赤十字社を含む) へ、2分の1を被災地のトラック協会を通じて、被災 トラック運送事業者へ寄付する。(3月22日から募 集開始)	06-6965-4000 (総務部長 齋藤)	
(特社)大阪溶接協 会	大阪府大阪市西区京町 堀3-4-14 会長 宮城 秀明	○ステンレス加工した温水器3~4器を被災地に寄附		○義援金を寄附	06-6448-9977	
(特財)大阪陸運協 会	大阪府大阪市中央区天 満橋京町1番1号 京阪ビルディング4階 植井 繁	○当協会の友好団体を通じて被災状況の確認を実施。それらを踏まえて友好団体の被災者へ飲 料水を支援。		○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集 し、日本赤十字社を通じ寄附を行う。(3月22日 から当協会本部・支部において実施) ○協会として東日本大震災緊急支援のため、日 本赤十字社を通じ寄附を行う。	06-6944-0366 (総務部 福田)	http://www.osaka-rikuun.or.jp

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)大阪労働衛生センター第一病院	大阪府大阪市西淀川区 御幣島6-2-2 理事長 大森 成二	○日本透析医学会の要請があり、入院・透析患者の受け入れを行っている。4月26日現在1名の透析患者を受け入れている。		06-6474-1201	
(特社)大田労働基準協会	東京都大田区蒲田5-40-1 会長 渡邊 正禮		○協会として義援金を日本赤十字社に寄附	03-3738-0118 (折山)	
(特財)オートレース振興協会	東京都江東区有明3-4-10 TFTビル西館6階 斉藤 茂樹	○平成23年4月30日に社団法人全日本オートレース選手会並びに財団法人JKAと連携し、伊勢崎オートレース場において「オートレース関連グッズの販売及びチャリティーオークション」を実施する。(その売上金の全額が被災地への義援金となります。)	○日本赤十字社へ寄附(100万円)を行う。(5月12日)	03-3570-5373 (佐藤 君男)	
(特財)緒方医学化学研究所	東京都千代田区東神田1-11-4 内藤 修	△国内に発生した災害の復旧支援のための義援金を日本赤十字社へ寄附することが可能な寄付行為に改訂することを検討中	△法人としての義援金の支出が認められれば、日本赤十字社へ寄附を行う。	03-3865-7500 (加藤)	
(特財)岡本国際奨学交流財団	千葉県千葉市稲毛区緑町1-19-11 理事長 岡本 和久	当財団は千葉県内在住か千葉県内の大学に通学する留学生を対象にしている関係で、直接被害にあった学生はおりませんが、以下の活動をしております。 ①不安を感じている学生を当財団の宿舎に宿泊させている(3名) ②不安を感じている学生への相談業務、時間の許す限り深夜まで対応		043-248-8808 (岡本 和久)	http://www.osf-family.com
(特社)岡山県観光連盟	岡山県岡山市田町1-3-1 会長 石井 正弘	○東日本大震災緊急支援のための募金寄付を、メール・HP他で募集。(3月18日から実施)	○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行った。(3/18~4/13)	086-233-1802 (高橋)	
(特社)岡山県自動車整備振興会	岡山県岡山市中藤原25 会長 樋田 修	○東日本大震災被災支援のための義援金募金について、当会窓口で募金箱を設置し呼び掛け、また、当会会員に対し義援金を呼び掛けている。(3月14日から実施)	○会員事業者からの義援金を、社会福祉法人山陽新聞事業団へ寄附。(4月1日・4月18日)	086-272-5267 (門脇)	
(特社)岡山県タクシー協会	岡山県岡山市中区旭東町2-10-8 会長 梶川 政文		○東日本大震災緊急支援のための義援金を日本赤十字社へ寄附。(3月31日)	086-272-3451 (石井、福田)	
(特財)沖縄観光コンベンションビューロー	沖縄県那覇市字小祿 1831-1 沖縄産業支援センター2F 平良 哲	○東日本大震災緊急支援のための募金寄付を、当財団の賛助会員約500社へのメール呼びかけ及びHPで募集。 ○被災者受入プロジェクトチームを設置し、沖縄県が打ち出した被災者支援の方針に基づき、沖縄県ワーキングチーム、宿泊関連施設団体等とともに被災者受入の調整を実施。	○「東日本大震災被災者を支援する会」として、銀行口座を開設し、義援金を募集中。日本赤十字社へ寄附予定(4月28日)	098-859-6124 (喜瀬涼子:寄附関連) 098-859-6123 (宮城英克:被災者支援チーム関連)	http://www.ocvb.or.jp/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社) 沖縄県銀行協会	沖縄県那覇市松山2-2 7-1 (グレース松山2F)	○ 東北関東大震災支援協力会議設立総会への参加。 東北地方太平洋沖地震の被災者の県内受入れについて、県民一体となって取り組むため、県内各界の関係機関等で構成され災害復旧が長期にわたることを想定した協力会議である。(3月25日設立総会参加活動実施)	○ 東北地方3協会への見舞金拠出2万円(3月24日済)	098-866-5448 (事務局長 崎山朝徳)	
(特社) 沖縄県自動車整備振興会	沖縄県浦添市港川512-20 嘉手納徳助		○ 東日本大震災緊急支援のための義援金を日本赤十字社へ寄附(3月22日)。 ○ 全会員から義援金を募集し、上部団体(連合会)を介して被災地の整備業界に寄付。	098-877-7065 (喜友名)	
(特社) 沖縄県倉庫協会	沖縄県那覇市港町2-17-13 大嶺 秀宜	○ 被災状況を踏まえて、緊急に被災者支援をとの考えから、会員会社を招集しての緊急会議を開催し、支援物資提供を決定する。沖縄県担当部署と支援物資の内容を確認し募集品目の提供呼びかけ(3月22日~3月31日迄) ○ 被災地の長期に渡る避難所生活に必要な物資及び支援のための、支援物資ターミナル(保管倉庫)受け入れ態勢の整備 ○ 上部団体(日本倉庫協会/全国食糧保館協会)経由にて、被災地の会員会社の従業員・家族の方々への義援金募集に伴い、傘下の会員事業者へ募集開始 ○ 毛布/紙おむつ/ブルーシート/タオル/BOXティッシュ/他合計365PKGを4月4日に沖縄県知事立会いのもと引渡し。 ○ 沖縄県知事からの依頼を受け、会員会社の倉庫一部200坪を、支援物資保管倉庫として無償提供(現在実施提供中)	○ 緊急義援金募集、(社)日本倉庫協会及び(社)全国食糧保館協会へ託す(4月末日まで実施中)	098-869-6258 (勢理客)	
(特社) 沖縄県トラック協会	沖縄県那覇市港町2-5-23 九州沖縄トラック研修会館2F 國吉 保武	○ 各拠点事務所(県内8か所)において募金箱を設置し支援のための募金活動を実施。その一部を被災地(東北六県トラック協会連合会へ)寄附。(3月14日から実施、継続中) ○ 沖縄県からの依頼により、沖縄県内各地から寄せられた救援物資を被災地(福島県)及び沖縄県救援物資集積所へ、主に陸送を会員事業者中心に担当。延べ7回実施。(3月16日から実施、継続中) ○ 会員事業者等から寄せられた救援物資を被災地(宮城県)へ輸送。主に生活用品、医療用品。(3月24日) △ 沖縄県からの依頼により、被災地からの被災者受け入れのための県営住宅などの住居整備(家電製品の陸送)を会員事業者を中心に担当。(4月21日ごろから実施予定) ○ その他会員事業者による単独の義援金募集活動、救援物資の輸送協力など幾多で行っている。	○ 東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、東北六県トラック協会連合会へ寄附(3月17日、4月4日)。引き続き義援金を募集中。	098-863-0280 (知念)	
(特社) 沖縄県ハイヤー・タクシー協会	沖縄県那覇市泉崎2-1 03-4 金城 宏孝		○ 上部団体である(社)全国乗用自動車連合会より義援金の協力依頼があった。会員への呼びかけにより計43社から義援金(140万円)を上部団体と日本赤十字に寄付予定(4月20日)。	098-855-1344 (津波古)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)沖縄県バス協会	沖縄県那覇市泉崎1-2 0-1 中山 良邦			○会員から募集し、日本バス協会及び沖縄県の東日本大震災支援協力会議へ寄付。	098-867-2316 (高江洲) http://www.bus-okinawa.or.jp
(特社)沖縄県法人会連合会	沖縄県那覇市鏡原町27-1 鏡原産業ビル2階 松本 行雄	○東北関東大震災支援協力会議(沖縄県主催)に参加を表明(具体的な活動は未定)			098-857-0352 (専務理事 照屋)
(特財)沖縄県陸運協力会	沖縄県浦添市港川512-4 内村 宏義			△東日本大震災緊急支援のため義援金を日本赤十字社へ寄附を行う。	098-877-5142 (専務理事 田盛 善一)
(特社)沖縄県労働基準協会	沖縄県那覇市港町2-5-23 会長 呉屋 守將			○東日本大震災緊急支援のための義援金を、日本赤十字社へ寄附(3月18日 日本赤十字社 沖縄県支部へ持参) ○(特社)全国労働基準関係団体連合会より東北地方太平洋沖地震等による被害に対する義援金の募集があったため、寄附	098-868-2826 (総務部 仲地)
(特社)沖縄港運協会	沖縄県那覇市港町2-12-22 嘉数 昭			○中央団体である(特社)日本港運協会を通じて義援金(150万円)を寄付(4月5日)。	098-868-5421 (中井)
(特財)沖縄港湾福利厚生協会	沖縄県那覇市港町2-12-22 嘉数 昭			○全国の地方協会の懇親団体である全国専務理事会を通じて義援金(7万円)を寄付(4月5日)	098-862-2210 (中井)
(特社)沖縄市観光協会	沖縄県沖縄市上地1-1-1 コザミュージックタウン 105-1 仲村 雷吉	○東日本大震災緊急支援の為、臨時理事会において募金活動の実施が承認される。会員を中心に呼びかける(3月18日)。		○沖縄市役所市民生活課を通し、50万円を寄付(3月25日)。 ○青年部を中心に古紙回収などによるリサイクル金の収益を寄付予定(現在進行中9月22日までの半年間)	098-989-5566 (崎浜 秀嗣)
(特財)沖縄船員厚生協会	沖縄県那覇市前島3-25-50 翁長 雄志			○東日本大震災緊急支援の為の義援金(200万円)を沖縄タイムスを通じて沖縄県支援対策本部へ寄附。(3月31日)	098-868-2775 (伊波 孝博)
(特社)沖縄旅客船協会	沖縄県那覇市泊3-1-8 桃原 敏夫	○県が主催する「めんそーれ沖縄県民運動推進協議会」の構成員として関係機関や県民に支援を呼びかけ			098-868-4449 (久貝)

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)小田急電鉄 事業団	東京都新宿区西新宿1- 8-3 大須賀 頼彦			○平成23年3月31日 (特財)小田急電鉄事業団 義援金寄付 東日本大震災復興支援のため、義援金として金 100万円を日本赤十字をとおして寄付をした。	03-3349-2473 浜田(事務局)
(特社)小樽銀行協 会	北海道小樽市稲穂2丁目 2番4号 北洋銀行小樽中央支店 2階 富田 哲夫			○全国銀行協会を通じ、東北被災地区3銀行協会 に見舞金	0134-22-8377 (理事 小須田 洋)
(特社)小樽法人会	北海道小樽市稲穂2丁目 22-8 佐藤 公亮			○会員へFAXで振込若しくは事務局設置の募金箱 に募金のお願いをし、日本赤十字社へ振り込む予 定(4月28日)	0134-32-1749(村山) http://www.o-hojin.jp/
(特財)小原白梅育 英基金	東京都品川区五反田7- 2-3 理事長 加藤 寛	○今年度募集の奨学生については、被災地区の学生を優先するよう、指定大学14校に要請し、採 用32名中、11校から16名を採用した。			03-3493-8111 (柴川)
(特財)小原流	東京都港区南青山5-7- 17 理事長 小原 規容子	○東日本大震災寄附のため、チャルティエ花展を開催した。4月2日・3日の2日間で、場所は大阪 小原流研修会館。募金箱を設置し、来場者に募金をお願いした。	○集まった募金を日本赤十字社に、4月11日に振 り込んだ。		03-3499-1200 (斎藤) http://www.oharayu.or.jp/
(特社)帯広地方自 家用自動車協会	北海道帯広市西19条北 1丁目8番3号 会長 中島 雄介	○上部団体である北海道自家用自動車協会連合会、北海道自動車標板協議会を通じて物資を寄 付しております。	○上部団体である北海道自家用自動車協会連合 会、北海道自動車標板協議会を通じて義援金を寄 付しております。		0155-33-3400 (嵯峨)
(特社)帯広地方自 動車整備振興会	北海道帯広市西19条北 1丁目8番3号 会長 鈴木 享			○東日本大震災緊急支援のための義援金として、 日本赤十字社へ寄附を行った。 ○道内7振興会より北整連に集約して、日整連に 送金し、整備事業者向けに寄附を行った。	0155-33-3166 (及川)
(特社)帯広地方 法人会	北海道帯広市西3条南9 丁目2番地 大同生命ビ ル8階 高橋 勝坦			○理事会にて、役員に対し義援金募集活動を行っ た。	0155-23-7715(小西)
(特社)オリエンタル 労働衛生協会	愛知県名古屋市中千種 区今池1-8-4 会長 岡田 邦彦			○(公社)全国労働衛生団体連合会を通じ、義援 金を寄附(4月) △今後は義援金など募って支援していく予定	052-732-2200 (早川)

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
か行					
(特社)カーテンウォール・防火開口部協会	東京都港区西新橋1-1-21 日本酒造会館2階 会長 杉本 正和			〇(社)建設産業専門団体連合会からの要請を受け、同団体に義援金を送った。	03-3500-3891 (末永)
(特財)海外技術者研修協会	東京都足立区千住東1丁目30-1 理事長 金子 和夫	<p>〇震災直後の公共交通機関の大きな乱れから、首都圏帰宅困難者の支援(一時避難、トイレ等の提供)</p> <p>〇日本で研修中の当協会外国人研修生(19カ国、約891人)の安否確認を行い、結果を関係各国の駐日大使館に名簿と共に連絡。また、当協会海外事務所を通じて、現地の家族への安否情報の提供も併せて行った。</p> <p>〇当協会横浜研修センターにおいて、福島県いわき市からの避難者7名に一時宿泊地として提供(1泊)</p> <p>〇3月22日EPA(経済連携協定)看護師、介護福祉士有志(インドネシアおよびフィリピンの有志約50名)が被災者へのボランティアチームを結成。AOTS職員が両国メンバーのコーディネイト役として、所属施設の了解を取りながら、被災地の情報収集と活動資金を手配中。5月下旬から派遣予定</p> <p>〇被災した宮城県宮城病院のインドネシアEPA看護師候補者(第2陣)2名から、病院で孤立し、食料も不足。救出要請がAOTS職員に入った。そこでインドネシア大使館等を通じ、情報を伝えた結果、大使館救援チームが翌日派遣され、2名を無事保護、本国に一時帰国した。</p> <p>〇被災者の避難場所の確保のための研修所の提供(宿舍・食事の現物提供)について、経済産業省貿易経済協力局及び内閣府に申請 TKC:4月50室、5月100室(個室)、YKC:4月100名、5月250室(個室)</p> <p>〇当協会のジャカルタ同窓会が現地にてチャリティーイベントを開催。参加費用の一部を義援金として当協会を通じて日本赤十字社に寄附予定</p> <p>△当協会の同窓会、帰国研修生からの見舞い状をHPに掲載予定。また当協会フェイスブックへの見舞いメッセージについてもHPにて公開予定</p> <p>△岩手県釜石市役所と避難民の受入について相談対応、調整中</p> <p>△企業活動の復興に必要な新たな海外とのビジネス展開等に伴う人材育成プログラムの実施</p> <p>△震災の影響、節電などに伴い、工場の操業時間の短縮、夏期休暇の長期取得が予想されるため、それに伴う外国人研修生に対するフォロー(日本語研修等の提供)を検討中</p> <p>△当協会東京研修センターにてバザー等の震災復興支援イベントを計画。売上金を寄附する予定</p>	<p>〇義援金の受付を3月16日より開始 国内においては、当協会4ヶ所の研修センターにて募金箱を設置(東京、横浜、関西、中部) 海外においては、43ヶ所、70同窓会及び帰国研修生に対して、義援金の募集をHPで呼びかけた。 集まった義援金は日本赤十字社に寄附予定</p>	03-3888-8241(経営戦略グループ 田中 雅聡)	http://www.aots.or.jp/ip/osiras/e/20110316/20110316.html
(特社)海外建設協会	東京都中央区八丁堀2-24-2 会長 竹中 統一			〇東日本大震災緊急支援のための義援金について事務局で協議し、事務局役職員名で、日本赤十字社へ寄附を行った。	03-3553-1631 (総務部長 松井)

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)海外コンサルティング企業協会	東京都港区西新橋1-6-13 虎ノ門吉荒ビル8階 会長 草野 干夫	<p>○東日本大震災復興に向けた緊急提言 ECFA会員コンサルティング企業が、これまでODAを通じて海外で行ってきた地震・津波災害の復興支援活動について、その事例紹介(スマトラ沖地震:インドネシア国:アチェ州復興支援、パキスタン地震等)を行うとともに、実際に現地復興の際に用いた手法について今回の東日本震災復興への適用について提案を行った。具体的には、ア)強力なリーダーシップの下被災地に司令塔としての「復興庁」の設置、イ)新しい街づくりのため、ハザードマップ・防災計画の見直しとセクターを越えたハードとソフトの総合的復興計画の策定、ウ)被災地域の迅速な経済活動の復興のための大胆な戦略、投資誘致・企業誘致を促進する経済特区(SEZ)の指定、低利・柔軟な大型金融支援(設備投資、運転資金等)、国際化のためのワンストップセンターの設置等、エ)被災地のコミュニティ(住民組織)を直接支援すべく、「元氣のぞく」生計向上・雇用機会・住民参加型の復興計画の立案等を提案した。</p> <p>○内閣官房 国家戦略室への支援事例及び復興手法等の説明を実施(4月7日実施)</p>		03-3593-1171 (大塚 一雄)	
(特社)海外と文化を交流する会	東京都渋谷区代々木1-27-6 ベインヒル内 会長 ジョージ・W・ギッシュ	2011年4月15日に被災地支援のためのチャリティコンサートを開き、その収益金の一部をしかるべきところに義援金として供出することを計画している。		03-3370-3973 (大谷 俊介)	
(特財)海外貿易開発協会	東京都中央区銀座5-12-5 会長 岡村 正		○東日本大震災緊急支援のための義援金を、日本赤十字社へ寄附(3月30日実施)	03-3549-3050(東)	
(特財)海上保安協会	東京都中央区湊3-3-2 前田セントラルビル5階 栗林 貞一	<p>会員(海守会員)に対して</p> <p>○日本財団の募集した学生ボランティア活動に必要な物品(軍手、スコップ、石鹸等)を募集(現在仕分け中)</p> <p>○日本財団での支援募金の周知 集まった衛生用品、文房具、食料品等の支援物資を、品目毎に仕分け梱包(段ボール95箱)(日本財団倉庫に搬入し、日本財団の支援物資とともに被災者に配布)</p>	○各地方本部、支部に対し被災支部等への見舞金募集(4月末目途)	03-3297-7580 (鴨田 廣志)	
(特財)海洋架橋・橋梁調査会	東京都文京区音羽2-10-2 竹内 義人	<p>○東北地方太平洋沖地震による道路橋の損傷状況を把握するため、調査団を派遣(3月27日~3月30日、4月13日~4月14日、4月22日・25日(予定))。結果を国、道路管理者、国土技術政策総合研究所等に提供。ホームページに概要を掲載予定。</p> <p>○主に地方公共団体の道路管理者や民間の技術者が参加する橋梁点検技術研修会で、今回の東北地方太平洋沖地震を踏まえた橋梁の耐震対策に関する情報、技術等を提供(4月12日~4月14日、5月31日~6月2日(予定)、6月28日~6月30日(予定)、7月26日~7月28日(予定))</p> <p>○118カ国の道路行政機関等が加盟する世界道路協会(PIARC)の道路橋委員会(委員長:当調査会の加島常務理事)において、今回の東北地方太平洋沖地震による橋梁の被災状況等に関する情報を英語で提供(5月15日~5月19日:米国で開催予定)</p>		03-5940-7788 (企画部 麓)	http://www.ibec.or.jp

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)海洋生物環境研究所	東京都新宿区山吹町347番地 藤和江戸川橋ビル7階 弓削 志郎	<p>○福島第一原子力発電所周辺海域における緊急放射能調査及び拡散シミュレーションを文部科学省から委託を受けて実施した。(3月22日から)</p> <p>○福島第一原子力発電所の事故による海洋放射能影響に関するマスコミ関係者からの取材(問合せ)対応し、風評被害防止のための科学的知見を提供した。(3月18日から)</p> <p>○福島第一原子力発電所の事故に関する自治体や漁業者からの問合せに対して、科学的情報提供を実施した。(3月18日から)</p>	<p>○全国漁業協同組合連合会が募集した「がんばれ漁業募金-東北地方太平洋沖地震被害支援金等募金-」への寄付を行った。(3月22日)</p> <p>○社団法人日本原子力産業協会が募集した「福島県原子力避難者義捐金」への寄付を行った。(4月8日)</p> <p>○社団法人大日本水産会が募集した「東日本大震災救援義援金」について職員への寄付の呼びかけをして寄付を行った。(3月25日)</p> <p>△事業所内に東日本大震災被災地支援自販機の設置を準備中。(5月1日から)</p>	03-5225-1161 (坂上)	
(特社)海洋調査協会	東京都中央区日本橋本町2-8-6 川嶋 康宏	○平成23年3月11日の東日本大震災の災害発生に対応して、発生直後から震災対応の協力の申し出を行った。協会会員が災害対応への調査機器、人員等を調査し関係機関に情報提供を行うと共に、会員は既に現場で調査対応中である。	△東日本大震災緊急支援のための義援金として寄附を行う予定である。	03-5640-0373 (岩根 信也)	http://www.iamsa.or.jp
(特財)海洋博覧会記念公園管理財団	沖縄県国頭郡本部町字石川888 池田 孝之		<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を職員より募集し、日本赤十字社沖縄県支部へ寄附。(4月8日実施)</p> <p>△売店等の売り上げの一部を日本赤十字社沖縄県支部へ寄附。(6月実施予定)</p>	0980-48-3645 (伊波)	
(特社)科学技術と経済の会	東京都千代田区飯田橋3-3-1 佐々木 元	○この度の大地震から1ヶ月を経、当会では企業会員を中心に復旧・復興のためのご意見を頂き、討議を行い集約して「提言書」をまどめ4月11日に文科省・経産省・国交省の担当大臣に提言書として提出するとともにプレス発表(日刊工業新聞12日掲載)を行った。尚、本提言書は、当会ホームページ上にも掲載している。		03-3263-5501 (総括部 高橋 茂樹)	http://www.iates.or.jp
(特財)化学療法研究会	千葉県市川市国府台6-1-14 理事長 高木 邦格	<p>○岩手県陸前高田市へ当院医療救護班を4月中に派遣する。岩手県知事から千葉県に依頼があり、県から県内医療機関(公立病院、大学病院、主要病院等)に要請があったもの。当研究会として派遣。公立以外では東京女子医大と当院のみ。行先:陸前高田市。4月24日~28日(4泊5日)。8名(医師2、看護師2、薬剤師2、事務2)。公益財団病院として被災地での医療救護活動にあたりたい。6月にも要請あれば派遣を予定。</p> <p>○日本病院協会に対し、被災地からの結核患者の受入れに協力を表明。稼動病床45床あり、平常時でも9割強稼動しているが、誠意を持って対応する。</p> <p>○市川市救護センターと連携し、被災者の受診受け入れを表明した。全職員が病院理念「至善至愛」をモットーに協力体制に入っている。院内人工透析センターに福島県放射能避難者を受け入れ。通算2名受入れ、うち1名が継続中。他外来1名受診。放射線測定可能。</p> <p>○計画停電地域から外れたため、停電時の地域住民ステーションとしての位置づけを認識し、外来患者でなくとも当院施設(トイレ、休憩等)を頼って来院された方への親切的な対応を励行。</p>	○法人支出の義援金は、現状無いが、個人レベルでは看護師協会、提携大学先、職員被災者などいくつか組織的に義援金を実施	047-375-1111 (事務局長 安田 寛)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)香川県自動車整備振興会	香川県高松市鬼無町佐藤17-10 星合 洋一		<p>○3月29日に振興会本部より義援金を日整連へ送金し、日整連が被災地へ寄付。</p> <p>○振興会傘下の各支部からの義援金を振興会本部で取り纏め、日整連へ送金し、日整連が被災地へ寄付。(5月中に送金予定)</p> <p>○振興会傘下の各支部青年部会が義援金を募集し、四国新聞社又は日本赤十字社へ寄付。(5月中に寄付予定)</p> <p>○振興会事務所に募金箱を設置し、四国新聞社又は日本赤十字社へ寄付。(5月中に寄付予定)</p>	087-881-4321 (総務課 近藤 定則)	
(特社)香川県トラック協会	香川県高松市福岡町三丁目2-3 楠木 寿嗣	<p>○地方自治体との輸送協定に基づき、自治体からの依頼を受けた支援物資輸送を行う。4月19日現在で、被災地への支援物資輸送10両、県内集積所までの輸送7両の計17両を派遣した。(輸送経費はすべて当協会負担)。</p> <p>△今後も同様に輸送援助する。</p>	<p>○東日本大震災緊急支援の為、3月23日四国新聞社を通じて、義援金を日本赤十字社に寄付した。</p> <p>△東日本大震災支援のため、義援金専用口座を設け、会員からの義援金を募集約し、日本赤十字社に寄付する。(5月上旬実施)</p>	087-851-6381 (前谷)	
(特社)香川県バス協会	香川県高松市西の丸町1番26号 佐藤 邦明		<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を当協会会員から募集し、公益社団法人 日本バス協会を通じ、日本赤十字社へ寄附を行う。(5月中旬頃公益社団法人 日本バス協会へ送金予定)(目標100万円)</p>	050-3461-4418	
(特社)学士会福岡支部	福岡県福岡市中央区天神2-12-1 有川 節夫		<p>○東日本大震災支援のため義援金を募り、西日本新聞民生事業団を通じ日赤へ寄附(3月30日の評議員会で実施)</p>	092-721-3327 (永野 秀子)	
(特社)学術・文化・産業ネットワーク多摩	東京都日野市程久保2-1-1 明星大学20号館601 小川 哲生	<p>○各行政におけるボランティア募集状況など救済支援活動情報をホームページに掲載。救援物資受付、義援金募集スタッフの応募を全加盟機関(78)へ通知。</p> <p>△引続き、被災地へのボランティア(学生チーム)3~4名を加盟大学より募集予定。</p> <p>△東日本大震災緊急支援のための義援金募集活動を各事業開催時に実施予定(4月より開催の市民講座、多摩・武蔵野検定等より)</p>		042-591-8540 (緒方)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)鹿児島県観光連盟	鹿児島県鹿児島市名山町9-1 金子 萬壽夫		○東日本大震災被災地の復興支援のため、4月9日、10日に鹿児島中央駅前広場で「東日本大震災被災地復興支援チャリティ物産展・募金活動」を県内118社・団体等の協力のもと、(社)鹿児島県特産品協会と共催で実施した。 全売上額と募金の総額2,589,662円を日本赤十字社を通して被災地に届けた。 △5月3日4日に(社)鹿児島県観光連盟、(社)鹿児島県特産品協会、(株)焼酎維新館が鹿児島中央駅前「鹿児島風土ピア2011」を実施する際に「東日本大震災」復興支援義援金募金活動を行う。義援金は日本赤十字社を通して被災地に届ける。	099-223-5771 (田平)	
(特社)鹿児島県自家用自動車協会	鹿児島県鹿児島市谷山港2-4-10 金子 萬壽夫		○東日本大震災緊急支援のための義援金を、(社)全国自家用自動車協会を通じて5万円を寄附	099-261-9155 (川崎)	
(特社)鹿児島県自動車整備振興会	鹿児島県鹿児島市谷山港二丁目4番16号 会長 諏訪 秀治	○東日本大震災緊急支援のための義援金を本部から拠出、さらに県内支部及び支部会員に呼び掛け、現在募集中。	○東日本大震災緊急支援のための義援金を本部より拠出、並びに4月上旬から県内支部及び支部会員に呼び掛け、募集中。本部日整理へ送金する。	099-261-8515 (上田橋 泰)	
(特財)鹿児島県自動車標板協会	鹿児島県鹿児島市谷山港2-4-40 高須 博		○東日本大震災緊急支援のための義援金を、社会福祉法人鹿児島県共同募金会へ50万円寄附(平成23年3月28日)。	099-261-8566 (横内)	
(特社)鹿児島県タクシー協会	鹿児島県鹿児島市錦江町11-49 羽仁 正次郎		△東日本大震災緊急支援のため義援金を募集し、全タク連絡経由で寄附予定(4月末)	099-222-3255 (藤田 俊行)	
(特社)鹿児島県トラック協会	鹿児島県鹿児島市谷山港2-4-15 会長 外園 輝蔵	○鹿児島県や市町村からの救援物資輸送要請に対し、会員へ輸送受託の有無を確認し、輸送への協力を依頼した。	○協会本部に義援箱を設置して浄財を集めるとともに理事会を開催して義援金を支部に呼び掛け、6月中にまとめて寄付する予定。	099-261-1167 (専務理事 松元 健一)	http://www.kta.jp/
(特社)鹿児島県労働基準協会	鹿児島県鹿児島市新屋敷町16-16 会長 本坊 修		○東日本大震災緊急支援のための義援金として日本赤十字社へ寄附 ○東日本大震災緊急支援のための義援金として全国労働基準関係団体連合会、全国労働衛生団体連合会、日本作業環境測定協会へ寄附	099-226-3621 (油田)	
(特社)鹿児島県青色申告会	鹿児島県鹿児島市名山町9-1 八坂 泰司		△鹿児島県青色申告会独自で義援金を募る予定である。	099-223-1411(代表)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)鹿児島清港会	鹿児島県鹿児島市錦江町11-40 大津 学		○全国の清港会で構成されている全国清港連絡協議会(構成26港、内4港が被災)及び新規参加予定の(社)山口県周南清港会の23港で寄附をまとめ、被災清港会である(社)八戸清港会、石巻清港会、小名浜清港会、相馬清港会の4港に支援金を送る計画。 (5月下旬に各被災港に送金する予定。)	099-224-0120 (書記 三島 れい子)	
(特財)霞山会	東京都港区赤坂2-17-47 赤坂霞山ビル 理事長 山田 正	○過日、当会発行月刊雑誌「東亜」の取次会社から、被災地応援のためとして雑誌寄贈の依頼があり、「東亜」100冊及び季刊誌「Think Asia」120冊を寄贈した。	○東日本大震災緊急支援のため、日本赤十字社に寄付(4月7日実施) ○当会役職員がそれぞれの所属機関で寄付	03-5575-6301(事務局 長 山下 勝男)	
(特社)菓子・食品新素材技術センター	東京都台東区入谷1-18-7 東京菓子会館 小林 昭一	○食料等の無償提供 ・各会員各社にて自社製品(菓子、米菓等)の提供		03-3874-4500 (専務理事 勝本 宏子)	
(特社)霞会館	東京都千代田区霞が関3-2-5霞が関ビル34階 北白川 道久		○会員約800名の協力により、東日本大震災緊急支援のための義援金を3月22日日本赤十字社へ寄付実施。また、多くの会員が自主的に寄付を実施中である。	03-3581-9151 (総務課 佐藤)	
(特社)霞関会	東京都千代田区霞が関2-2-1 橋本 宏		○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集中。6月初旬に日本赤十字社へ寄附の予定	03-3581-0597(事務局 岩田 義正)	
(特社)仮設工業会	東京都港区芝5-26-20 建築会館 会長 鈴木 芳美	○被災した会員事業所に対し、被害状況の把握のための調査を実施し、支援の必要性等につき検討した。	○左記事項も踏まえて、東日本大震災緊急支援のための義援金を本会として、日本赤十字社を通じ寄附(3月24日実施)	03-3455-0448 (重野)	
(特財)河川環境管理財団	東京都中央区日本橋小伝馬町11-9 住友生命日本橋小伝馬町ビル 鈴木 藤一郎	○東北地方太平洋沖地震に伴う津波災害について、津波の痕跡調査、海岸及び河川施設の破壊状況調査を行い、津波の遡り範囲、運動エネルギー、施設に及ぼす波力等の推定作業の基礎資料を収集する。当該調査・研究を「国内で発生した甚大な水害等の緊急調査」として河川整備基金助成事業として3月25日付けで採択し、支援を行っている。 △平成23年度に河川整備基金の助成で「総合学習」に取り組む予定であった学校が、今回の津波等で甚大な被災があった場合に、その復興支援として、既に決定した助成費用に加えて、今後も総合学習による河川環境教育が継続的に行われるための資機材購入に対する助成を行うことを検討中		03-5847-8303 (清水)	
(特財)河川情報センター	東京都千代田区麹町1-3 藤井 友直	△被災地域においては、河川管理施設の被災も甚だしく、復旧が鋭意進められているところであるが、完全に復旧するにはまだ時間を要するものと考えられる。これから出水期を迎えるにあたり、ハード対応と並び、河川情報の提供等によるソフト対策も重要と考えられる。河川情報センターの持つ技術、ノウハウを生かし、被災地域に河川情報の提供について支援を行うことにより、出水に対する安全の確保に協力を行う。		03-3239-8447 (横森)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)家族計画国際協力財団	東京都新宿区市谷田町1-10 理事長 近 泰男	<p>東日本大震災被災者、とりわけ女性や妊産婦に対する支援活動を、(社)日本助産師会、(社)日本家族計画協会、(特活)オックスファム・ジャパンなどの連携協力で実施している。現地での活動の実施は、地元の助産師、産婦人科医などの協力を得て行っている。</p> <p>○日本国内の企業の支援を得て、女性と妊産婦及び新生児を対象にした緊急物資支援(3月中旬から5月末までの実施)</p> <p>○(社)日本助産師会と被災各県の支部及び地元の助産師による妊産婦ケアの実施のための交通費・通信費の補助(4月より実施)</p> <p>○(社)日本助産師会と連携し、被災された、産婦の産褥入院(県の内外)費用の一部補助(4月より実施)</p> <p>○地元の助産師及び産婦人科医の協力を得て、被災者に対する避妊器具薬品の提供(4月より実施)</p> <p>○ホームページ(和・英)による活動報告(震災直後より開始)</p> <p>○国連人口基金(UNFPA)の資金協力を得ての「女性支援パッケージ」5000セットの制作と配付(4月から5月にかけて実施)</p> <p>△岩手・宮城・福島3県で被災した資金的困難に直面している産婦に対し、一人あたり50,000円を出産に関わる諸経費の補助として支給する(H23年3月1日～12月31日までに出産した女性を対象、5月より開始予定)</p>	<p>○東日本大震災支援のための義援金の募集(H23年5月31日まで)し、左記の通り被災した産婦に支給する。</p>	03-3268-3150 (本間 真理子)	http://www.ioicfo.or.jp/iodonation/tohoku-earth-quake/
(特財)学校福祉協会	東京都文京区関口1-23-6 理事長 鴨下 一寿	<p>○平成23年3月11日の災害当日東京委託先(大学・高校等)の学校担当者より依頼があり帰宅できない生徒、教師のためにおにぎり等の炊き出しを実施</p> <p>△実践女子大学において食堂で販売している商品に10円もしくは20円上乗せして大学に提出その金額を義援金として学校側は「マッチングファンド」として同額を寄附する。(時期調整中)</p>	<p>△実践女子大学において食堂で販売している商品に10円もしくは20円上乗せして大学に提出その金額を義援金として学校側は「マッチングファンド」として同額を寄附する。(時期調整中)(再掲)</p>	03-5206-5201 (総務・人事部長 田中 敬一郎)	
(特社)家庭電気文化会	東京都港区新橋2-21-1 石井 威望		<p>○事業活動一部変更による事業支出削減分から、日本赤十字社「東北関東大震災義援金」に30万円寄附(3月28日)</p>	03-6280-6405(岡野)	
(特社)華道未生流	大阪府大阪市中央区高麗橋2-5-15 理事長 澤 とも子		<p>○華道未生流で募った義援金総額50万円を日本赤十字社に「東日本大震災義援金」として、4月19日に振り込みを実施。</p>	06-6231-1881	
(特社)神奈川県自動車会議所	神奈川県横浜市都筑区池辺町3757-3 会長 大野清一		<p>○東日本大震災支援のための義援金を神奈川県新聞厚生文化事業団を通じ寄附</p>	045-932-3249 (岩堀)	
(特社)神奈川県商工会議所連合会	神奈川県横浜市中区山下町2番地 会長 佐々木 謙二	<p>○日本商工会議所からの被災地商工会議所への職員派遣要請を受けて、県内商工会議所への協力要請を行った(4月7日依頼)。この結果、相模原商工会議所が経営指導員を大船渡商工会議所へ派遣。また、横浜、川崎商工会議所も派遣予定で待機中。</p>	<p>○日本商工会議所による募金への対応に加え、商工会議所の職員から被災地商工会議所の職員への義援金も必要という声が各商工会議所の職員から上がり、現在、当県連合会が県内商工会議所の職員有志からの義援金を取りまとめ中。</p>	045-671-7481 (事業課長 加藤 洋)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)神奈川県信用組合協会	神奈川県横浜市尾上町 5-80 会長 井上 勉		○東日本大震災緊急支援のための義援金を被災信用組合および関係者へ寄付しました。	045-633-5145(高井)	
(特社)鹿沼労働基準協会	栃木県鹿沼市戸張町 2365-5 会長 樽見 正衛		○寄附金3万円を(特社)全国労働基準関係団体連合会を通じて日本赤十字社に寄附	0289-62-8633 (専務理事 斎藤 安彦)	
(特社)上都賀法人会	栃木県鹿沼市日吉町 718-2 木村 剛考		○上都賀法人会鹿沼地区会において、東日本大震災に対する義援金として鹿沼市社会福祉協議会の善意銀行へ30万円の寄附を行った。(3月末)	0289-65-1201 (宇佐美)	
(特社)刈谷労働基準協会	愛知県刈谷市高松町1丁目29番地 ハートヒルズ刈谷ビル5F 会長 井坂 雅一		○(特社)全国労働基準関係団体連合会による「東北地方太平洋沖地震等の被害に対する義援金」の募集に3万円を義援金として寄附	0566-21-6337 (永坂 英文)	h.nagasaka@kariva-rouki.or.jp
(特社)火力原子力発電技術協会	東京都港区芝2-31-15 相澤 善吾	○東日本大震災に対し、協会が有する技術力やネットワークを最大限に活用し、被災した発電設備の速やかな復旧に向けた支援活動の実施した。(3月17日から) ・被災者の資材調達支援 ・被災者同士の連携、情報交換支援 ・定検延長、休廃止設備の復帰、設備更新等に関する手続き支援 ・阪神淡路大震災時の設備復旧記録等の情報提供	△協会主催の講演会・講習会で募金箱を設置する。	03-3769-3090 (総務部 熊倉) (技術部 田村)	
(特社)川口法人会	埼玉県川口市上青木3-12-18 (埼玉県産業技術総合センター7階) 堀越 徳一		○東日本大震災緊急支援のため、会員から義援金の募集を行い、日本赤十字社へ寄附を行う。(4月21日期限で実施中)	048-263-3474 (事務局長 市山)	http://www.kawaguchi-houinkai.or.jp/23.3ishin.pdf
(特社)川越法人会	埼玉県川越市松江町2-1-8 細村 淳		○法人会会費の中から1社当たり約460円の支出とし、当支部6,521社の総額300万円を、埼玉新聞「社会福祉事業団」へ寄附した。(3月18日)	049-225-4597(荒井)	http://www.kawagoehouinkai.or.jp

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)川崎清港会	神奈川県川崎市川崎区 千鳥町15番7号 畑中 政之		<p>○全国の清港会で構成されている全国清港連絡協議会(構成26港、内4港が被災)及び新規参加予定の(社)山口県周南清港会の23港で寄附をまとめ、被災清港会である(社)八戸清港会、石巻清港会、小名浜清港会、相馬清港会の4港に支援金を送る計画。 (5月下旬に各被災港に送金する予定。)</p> <p>○川崎港災害対策本部の要請により、被災地に対し、当会及び当会職員が、日用品(衣類・洗剤等)の寄附を行った。 (3月25日に川崎港災害対策本部に配送)</p> <p>○当会として、通常総会で承認されれば被災地に義援金として、日本赤十字社を介して寄附を行う予定。</p> <p>○義援金としての主旨に賛同する有志職員で、日本赤十字社を介して寄附を行う予定。 (4月下旬を予定)</p>	044-299-3477 (上妻 芳幸、川畑 信枝)	
(特社)川崎港振興協会	神奈川県川崎市川崎区 東扇島38-1 齋藤 文夫	○川崎港運協会、川崎港振興協会他7団体が川崎港災害救援対策本部を立ち上げ、各会員店社に協力要請を行った。3月18日～25日の一週間救援物資を募り、集計・仕分けして被災地あて4月4日送付。5日に宮城県の名取公民館及び亙理町公民館に届けた。		044-287-6005 (荒川)	
(特財)簡易保険加入者協会	東京都港区虎ノ門1-14-1 理事長 下和田 功	<p>○被災者への見舞金贈呈 災害見舞共済(簡易生命保険加入者の相互救済制度)加入者への見舞金の贈呈(平成23年3月～)</p> <p>△NPO法人全国ラジオ体操連盟に対する支援、避難所等におけるラジオ体操・みんなの体操の実施及びラジオ体操・みんなの体操の指導者派遣等</p>	△ 被災地への義援金贈呈(具体的内容は未定)	03-3502-4700 (総務部長 玉田)	
(特社)環境科学会	東京都江東区常盤2-9-7 グリーンプラザ 深川常盤201 会長 岡田 光正	<p>△東日本大震災に係る講演会やシンポジウムの開催を通じた情報発信</p> <p>△東日本大震災において被災された会員の年会費減免(5月17日理事会にて審議)</p>		03-3634-2942 (環境科学会事務局)	http://www.ses.or.jp/
(特財)環境情報普及センター	東京都港区浜松町1-10-11 八木橋 惇夫	○当財団はEICネット等を運営し、多くの国民に環境情報をご利用いただいております。当財団の発信機能を使ってそのネット上で東日本大震災に関して義援金・支援金の寄附に関する情報、節電に関する情報及び原子力発電所被害による放射線に関する情報の提供を行っている。		03-6695-1263 (原 陽司)	http://www.eic.or.jp/info/110317.html
(特社)環境生活文化機構	東京都港区西新橋1-20-10 竹馬 隼一郎		○(公財)公益法人協会が募集している「東日本大震災被害者緊急支援のための義援金」に金10万円の寄附を行った。	03-5511-7331 (吉澤秀明事務局長)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)関西環境管理技術センター	大阪府大阪市西区川口2-9-10 内藤 昇	○被災地において懸念される環境汚染に対応するため、震災により甚大な被害を被った地域を対象に、当財団の加盟団体である(社)日本環境測定分析協会を通じてボランティア環境測定分析(測定分析経費は不要)を実施。なお、サンプリング(試料採取)については、測定分析を依頼する方が、試料(サンプル)を採取して、それを環境測定分析事業者に郵送するか、あるいは持参することとさせていただいております(受付期間:平成23年4月1日(金)～平成23年5月31日(火))。		06-6583-7121 (環境技術部 門口)	
(特社)関西広告審査協会	大阪府大阪市西区鞠本町1-6-6 華東ビル4階 伊藤 隆範			○職員から寄付金を集め、合計3万円の寄付金を日本赤十字へ寄付	06-6444-5761 (大舟業務部長)
(特財)関西交通経済研究センター	大阪府大阪市西区西本町1-7-2 会長 野村 明雄			○東日本大震災緊急支援のための支援金として、公益財団法人 日本財団へ寄附。(3月21日振込)	06-6543-6291 (常務理事 坪倉)
(特財)関西社会経済研究所	大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル 代表理事 武田壽夫	○震災の被害額の推計、経済への影響など、あらゆる角度から日本経済、関西経済への影響を分析し、順次公表している。 ○震災の影響の実態を把握することで、経済界とタイアップし、関西としての日本経済復興に対する役割を明確化し、今後の復興計画に役立てていく予定である。		06-6441-0550(戸泉)	http://www.kiser.or.jp/ja/index.html
(特社)関西住宅地経営協会	大阪府大阪市北区堂山町1-5 大阪合同ビル4階 理事長 小林茂樹	○大阪府からの要請を受け、賃貸物件や持家などで、被災者のために家賃などを低減等をして、提供できる住宅の情報を会員へ呼びかけている。(3月17日から実施) ○東日本大震災金融支援のため協会から義援金の拠出を行うと共に、会員に対し義援金の募集を行っている。(3月18日から実施、5月末まで募集)		○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。(6月初めの予定)	06-6313-0321 (綾田)
(特社)関西電気管理技術者協会	大阪府大阪市中央区島町1-2-3 三和ビル5F 会長 木林 道夫			○平成23年3月22日開催の緊急運営評議委員会で東日本大震災の支援として次のとおり決定した。 (1)義援金を会員から募ることとし、その目標額は1,000万円とする。 (2)個人の義援金は一口5,000円とし、二口以上でお願いする。 (3)個人義援金が目標額に満たない場合は、その不足額については協会本部の予備費でもって充当する。 (4)義援金受付期限は4月30日とする。 △具体的な支援先については、義援金受付期限後に検討する。	06-6943-9577 (専務理事 原口 克己)
(特財)関西電気保安協会	大阪府大阪市北区菅根崎1-2-6 理事長 佃 郁朗	○電力会社、東北電気保安協会からの応援要請に対応できるよう、資機材を含め応援体制を整えた。 ○関西電力総連からの要請による被災地救援ボランティア活動に対して休暇取得等で配慮をする。 △東日本大震災の復興支援を目的としたチャリティコンサートを実施する。(5年間) △被災地の電気主任技術者を雇用する。		○全国の電気保安協会(被災した東北、関東を除く)で義援金を日本赤十字社へ寄附した。(3月23日)	06-6363-0731 (谷口) http://www.ksdh.or.jp/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)関西労働保健協会	大阪府大阪市北区梅田3-1-1 理事長 松岡 謙二			○東日本大震災緊急支援のための義援金を(公社)全国労働衛生団体連合会を通じ寄附	06-6345-2210 (総務部 高見)
(特社)関東建設弘済会	埼玉県さいたま市大宮区吉敷町4-262-16 マルキュービル10階 奥野 晴彦	○東日本大震災により被災した河川や道路などの社会資本の復旧、復興を早期に図ることを支援するため、災害の実態把握、緊急復旧の指導、本格復旧に向けての調査、設計、積算等の支援を行っている。 ○東北地方及び関東地方の国並びに茨城県等の地方自治体の所管施設に対しての人的支援は、東北地方に延べ約130人日、関東地方に延べ約630人日派遣している。 △4月25日から千葉県下の浦安市、香取市へ延べ約360人日派遣する。また、同市に対し引き続き支援を行う。 ○東北地方へ生活に必要な飲料水等の物的支援を行った。			048-600-4111 (高橋)
(特社)関東信用金庫協会	東京都中央区京橋3-8-1 会長 杉野 良介	○本会ホームページにおいて、震災に乗じた、義援金の募集を装った振り込み詐欺等の発生被害防止・防犯についての周知・注意喚起を行っている。(3月23日から実施) ○本会ホームページにおいて、東北地方太平洋沖地震により被災された信用金庫に口座をお持ちの皆さまへの預金払い戻しの取扱について周知を行っている。(4月6日から実施)		○信用金庫・関連団体等の役職員から「東北地方太平洋沖地震救援2千円募金」を募る全国信用金庫協会の活動に、本会役職員も協力募金を行った。(4月上旬に実施)	03-5524-5671(総務部)
(特社)関東ニュービジネス協議会	東京都港区赤坂1-6-8 井上赤坂ビル3階 池田 弘	○東北・北関東地域のニュービジネス協議会(NBC)の被害状況確認、地域間NBCの会員互助の情報収集及びホームページ掲載。ホームページは、関東NBCではなく、東北NBCのホームページを活用(3月30日から実施) ○会員企業が関わる震災復興・支援活動の情報を共有し、相互協力ができるよう、活動調査(4月8日から実施) △被災者雇用に積極的な企業の募集、紹介		○被災地域自治体または日本赤十字社へ寄附するための義援金募集開始(4月8日から) ○被災地へパンの缶詰を支援物資として届ける活動に団体として、協力する。活動資金の寄付金募集、受付。(3月16日から実施。4月15日終了)	03-3584-6080 (加藤・富田)
(特社)関東年金福祉協会	東京都品川区西五反田2-27-4 西川 雄二	○福祉医療機構の指導に基づき、震災地域で災害を受けた貸付先、個人債務者に対して元金および利息の返済猶予、元金の返済猶予および返済猶予期間中の利率の軽減、返済期間の延長を行っている。 ○被災地域の当協会年金住宅融資ユーザーに状況確認を目的とした見舞状の発送を行った。(5月18日実施) ○被災地域の関係協会支援のために寄附を行った。(7月14日実施)		○協会役員に対し、各自での寄附を呼びかけた。 ○被災地域の関係協会に義援金を送った。(3月29日実施) ○東日本大震災義援金政府窓口へ義援金の寄附を行った。(7月26日実施)	03-5759-1301 (高橋)
(特財)関東陸運振興財団	東京都新宿区四谷3-2-1 四谷三菱ビル 会長 松木 洋三			△被災地復興協力に向け、4月25日、開催「理事会」にて審議のうえ義援金を寄附する。	03-3357-1711 (総務課 松本)

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)広東同郷会	東京都中央区日本橋浜町1-5-13 会長 陸田 二郎			○東日本大震災緊急支援のため、義援金を募集し、日本赤十字社へ送付(4月23日)	03-5823-6556 (事務局長 南 洋介)
(特財)神流湖整備協会	群馬県藤岡市中栗須327 新井 利明	△震災地(主として避難所)へ出向き、避難者の方々に藤岡名物「とつちやなげ汁」を提供し、地元の方々とのふれあいと人間関係の絆を深める。(実施時期については訪問先と現在調整中)			0274-52-3111 (宮下)
(特財)機械産業記念事業財団	東京都港区北青山2-8-44 会長 福川 伸次	○被災地域内の当財団無償映像提供先(高等専門学校、展示館等)計15先に対し、お見舞い状を出状(3月31日) ○被災地内の当財団への展示来館中止先(小中学校等)9先に対し、お見舞い状を出状(4月15日)		△東日本大震災緊急支援のため、当財団法人から義援金(30万円)を日本赤十字社へ寄附(4月中に実施予定)	03-5474-6125 (中村)
(特財)菊葉文化協会	東京都千代田区千代田1-1 湯浅 利夫	○宮内庁と東京都が東京都内の施設に避難されている方々に、皇居東御苑の休園日に同園を見学していただく機会を提供し、当協会はボランティアガイドによる園内の案内を実施(4月8日、11日、15日)		○東日本大震災義援金として、10万円を日本赤十字社へ寄附(4月11日)	03-5222-0012 (矢澤)
(特財)気象業務支援センター	東京都千代田区神田錦町3-17 佐々木 建成	○気象庁と環境省が連携して開催した「この夏の気象情報利用に関する会議～熱中症対策～」において、当センターの職員が講師として協力し、夏の節電に取り組むときの熱中症対策について講演を行った。この会議には、気象情報を扱う事業者、報道機関、日本気象予報士会等が参加した。(平成23年4月22日開催) △地震災害の軽減、復旧活動の支援に資することを目的とし、当センターが事務局を担当する緊急地震速報利用者協議会及びその会員事業者と協力して、東北地方太平洋沖地震災害の被災地の防災機関等に対して緊急地震速報専用受信端末を余震活動が終息するまでの間無償で提供する計画を進めている。 内容は、緊急地震速報提供事業者と利用者間をインターネット回線で接続し、緊急地震速報(予報)を配信し、地震が発生して大きな揺れが予想されることをお知らせするものである。			○03-5281-0440 (関間 和俊) △03-3215-6110 (加藤 芳夫) http://www.ewrk.org/ http://www.imbsc.or.jp/
(特社)木曾法人会	長野県木曾郡木曾町福島5061-1 青木 一			○震災義援金として、法人会の会計から、長野県栄村へ寄附した。(3月28日)	0264-22-4243 (木戸 稔)
(特社)喜多方労働基準協会	福島県喜多方市諏訪227-1 会長 小野 瀬正			○東日本大震災により紛失した当協会が発行した技能講習等の修了証を無償で再発行(ホームページに掲載)(8月31日まで)	0241-22-4146 (専務理事 佐藤 正夫) http://www.kitakatakyokai.or.jp
(特社)北見地区自家用自動車協会	北海道北見市東三輪3丁目25番地6 永田 正記			○各協会が納入している会費及び負担金を財源とし、上部団体である全国自家用自動車協会及び全国自動車標板協議会より義援金を取扱機関(日本赤十字社)等へ寄付している。	0157-24-6271 (古谷 勇一)

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)北見地区トラック協会	北海道北見市光西町167番地 会長代行 小池 唯夫			○東日本大震災の為に義援金を募集(3/25~4/20)北海道トラック協会・全日本トラック協会を經由、関係自治体等へ寄附を行う。(4/15現在350万募金)	0157-24-4833 (専務理事 谷口)
(特社)北見地方自動車整備振興会	北海道北見市光西町167番地 会長 乾 禰貴			○東日本大震災緊急支援のための義援金を北見市を通じ、日本赤十字社へ寄附。(4月8日実施) ○東日本大震災緊急支援の業界支援のための義援金を北海道自動車整備連合会を通じ、(特社)日本自動車整備振興会連合会で集約後関係する被災のあった整備振興会に配賦の予定。(4月19日実施予定)	0157-24-4544 (山下)
(特財)君津健康センター	千葉県君津市君津1 会長 田中 壽一			○東日本大震災緊急支援のための義援金を職員から募集し、日本赤十字社へ寄附(4/12振込)	0439-55-6889 (総務部長 松本 正博) http://www.kimiken.com
(特財)喫煙科学研究財団	東京都港区赤坂2-5-7 理事長 石川 隆俊			○東日本大震災緊急支援のための義援金を日本赤十字社へ5/26に寄附。	03-5549-4536 (寺嶋 真之)
(特財)岐阜観光コンベンション協会	岐阜県岐阜市神田町2-2 理事長 堀江 博海	△当財団では、岐阜市(商工観光部)と連携し、岐阜市内や岐阜市近郊に避難された東日本大震災の被災者を、鶺鴒観覧船へ無料で招待することとした。 「ぎふ長良川の鶺鴒」は、5月11日から10月15日まで開催されるが、岐阜市の運営する鶺鴒観覧船に無料で乗船していただき、当財団が食事と飲み物を提供するなどにより、鶺鴒を見て元氣を出してもらいたいと考えている。 5月11日の鶺鴒開きには、まず岐阜市内や岐阜市近郊に避難された被災者の方々を招待し、その後順次、県内に避難された被災者の方々を招待する予定である。(5月11日に実施し、その後順次、希望者を招待する。)		○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社岐阜県支部を通じて寄附。(3月25日から当分の間実施)	058-266-5588 (葛西)
(特社)岐阜県自動車会議所	岐阜県岐阜市日置江2648-2 会長 加藤 昌弘			○東日本大震災復興支援のための義援金30万円を岐阜新聞・岐阜放送社会事業団へ寄付。(4月6日) ○東日本大震災復興支援のために、岐阜県自動車会館関係団体職員に対し、義援金募金の協力を要請し、20万円を取りまとめ岐阜新聞・岐阜放送社会事業団へ寄付。(4月6日)	058-279-3701 (総務課 曾我)
(特社)岐阜県自動車整備振興会	岐阜県岐阜市日置江2648番地の4 会長 田口 隆男	○東日本大震災緊急支援のための義援金を、当会傘下ブロック会員、情報誌、当会会館に募金箱の設置、その他呼びかけで募集。 ○東北、北関東の整備振興会関係の被災状況の確認を実施。		△集まった義援金を報道機関を通して寄付。 △宮城、岩手、福島、茨城の振興会へ当会より拋出し、見舞金を送付。	058-279-3721 (総務課 山元 隆雄)

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社) 岐阜県トラック協会	岐阜県岐阜市日置江26 48-2 会長 尾関 卓司	○東日本大震災緊急支援のための募金寄付を会員事業者に呼び掛けた。(4月11日から実施)		058-279-3771 (川瀬 文雄)	
(特財) 九州運輸振興センター	福岡県福岡市博多区博 多駅東3丁目10-17 会長 田中 浩一	○日本財団「東北地方太平洋沖地震支援基金」へ10万円寄付。(3月17日) ○当センター機関誌「九州うんゆジャーナル」(2011年春号)へ「日本財団「東北地方太平洋沖地震支援基金」への支援のお願いを掲載」 ○当センターホームページへ、日本財団「東北地方太平洋沖地震支援基金」への支援のお願いを掲載(3月16日) ○当センター海運振興関連施設整備対象賛助会員へ電話により「支援基金」への支援を要請(3月16日)		092-451-0469 (専務理事 師岡 照房)	http://kyushu-transport.or.jp/
(特財) 九州経済調査協会	福岡県福岡市中央区大名1-9-48 森本 廣	○大震災からの復興に寄与する調査事業を自主研究事業として実施中。具体的には、震災復興に関して、東北・関東の現地で課題となっている部品調達・OEM製造支援、事業移転先確保、物流支援などの経済・産業の状況を把握した上で、これに対して九州で支援できる内容や企業の情報を整理し、現地と結びつけて行くことを目指す。 ○第1弾として、自主研究事業として「東日本大震災の復興支援に対する緊急提言」をとりまとめ、4/8(金)に発表。現在は、九州の企業に対して、震災の影響や震災復興に協力できる情報の提供を呼びかけたアンケート調査等を実施中		092-721-4900 (調査研究部)	http://www.kerc.or.jp
(特社) 九州経済連合会	福岡県福岡市中央区天神1-10-24 松尾 新吾	○ホームページにお見舞文を掲載(3/14) ○会員企業へ「東北地方太平洋沖地震の被災地に対する支援のお願い」文書を送付(3/18) ○ホームページに「日本経団連からのお知らせ(東北地方太平洋沖地震の被災地支援について)」を掲載(3/23) ○ホームページに「企業等からの地方自治体等への寄付の方法について」を掲載(4/18) ○北陸以西の6経済連合会で構成される「西日本経済協議会」の中に、「震災復興支援本部」を発足(4/8)(本部長:下妻関経連会長)。被災地の一日も早い復旧と東日本の本格復興に向けて、日本の経済活動を西日本で支えていくための方策を提言し、その実現を働きかける。 △九州地方知事会と九州経済4団体で構成される「第18回九州地域戦略会議」(6/7)において、東日本大震災の九州への影響と対応について緊急協議を行う。		092-761-4261(業務部)	http://www.kyukeiren.or.jp
(特社) 九州建設弘済会	福岡市博多区博多駅東2丁目5番19号 理事長 熊谷 恒一郎	○東北地方整備局の仙台河川国道事務所及び北上川下流河川事務所管内の被災状況把握・災害復旧支援等に職員を派遣、交代制で第4次まで(3月24日～4月21日)派遣(延べ64人日を派遣)。		TEL 092-481-3781 (総務部長 竹田)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)九州小型船舶工業会	福岡県北九州市門司区 西海岸1丁目4-13 三浦 政信	<p>○東日本大震災緊急支援のため、平成23年3月18日付けで会員・賛助会員へ募金寄付を呼びかけた。</p> <p>△東日本大震災の影響で、東北地区の小型船舶工業会の会員のほとんどが被災し、仕事ができない状況にあるため、九州地区の造船所でこれら造船所の技術者を受け入れることができないか、各会員へ呼びかけ、受け入れ態勢を検討中。(東日本ブロック会議のメンバーには既に受け入れ依頼が出されている。四国小船工では、各会員への調査を実施し、受け入れの準備を進めている。九州においても要請があった場合、すぐに対応できるよう受け入れ可能な会員の把握しておくこととする。)</p>	<p>○会員、賛助会員の協力で、平成23年4月15日現在、合計1,461万5千円を日本財団・赤十字社・市町村役場・その他を通じて寄付した。(現在も継続中)</p> <p>○九州小型船舶工業会として理事会に諮り10万円を日本財団を通じて3月28日寄付した。</p>	093-321-7183 (事務局長 山村 文雄)	
(特財)九州産業技術センター	福岡県福岡市博多区博 多駅東2-13-24 鎌田 迪貞		○東日本大震災緊急支援のため、職員からの義援金を日本赤十字社へ寄附(4月22日)	092-411-7391 (本田)	
(特社)九州住宅建設産業協会	福岡県福岡市博多区博 多駅前2-11-16 第2大西ビル 緒方 賢作		○東日本大震災緊急支援のための義援金を、協会会員へ募集し、会員から集まった寄附と協会からの寄附を合わせ日本赤十字社へ寄附。(3月31日)	092-472-7419 (総務課長 尾西)	
(特財)九州生産性本部	福岡県福岡市中央区天神 2-8-49 小川 弘毅	<p>△全国の生産性本部と共同で全国紙にお見舞い・応援アピールを掲載する。</p> <p>△西日本地区5つの生産性本部の共催で、7月28、29日に広島市で開催する西日本生産性会議を東日本大震災復興支援事業として実施する。(具体的内容は今後検討)</p>	○当本部で東北関東大震災義援金として、中央共同募金会へ寄附を行った。(3月23日実施)	092-771-6481(伊藤)	
(特社)九州地方計画協会	福岡県福岡市博多区博 多駅前1丁目19-3 富永 茂穂		○岩手県、宮城県、福島県および日赤に寄附を実施	092-473-1057 (半田)	
(特社)九州鉄道営業会	福岡県福岡市博多区博 多駅東1-12-23 JR 九州1号ビル3階 会長 松尾 定亮		△平成23年4月22日理事会に諮り決定のうえ、同年5月20日開催の会員総会の席上義援金を募集し、日本赤十字社へ寄付を行う予定。	092-431-4317 (松尾)	
(特社)九州テレコム振興センター	〒860-0805 熊本市桜町4-20 NTT西日本桜町分局ビル 1F 会長 江端 正直	○岩手県岩手郡滝沢村東部体育館への特定救援物資の提供を行った。現地の担当者(滝沢村経済産業部産業政策課 主査 佐々木 敬志様)と電話で相談し、小学生向けのジャージ上下を119組を熊本市内で調達し、平成23年4月23日に宅急便で発送し、4月12日に現地に到着した。購入資金は、年に4回発行している機関紙「テレコム九州」の発行回数を3回に減らし、その印刷費を購入資金に当てた。		096-322-0120 (企画調整課長 日當 裕二)	http://www.kiai.or.jp
(特社)九州電気管理技術者協会	福岡県福岡市博多区博 多駅東2-4-30 今本 新		△東日本大震災緊急支援のため、会員を対象に義援金を募集し、寄附を行う。(5月30日総会で提案予定)	092-431-0067(川野)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)九州ニュー ビジネス協議会	福岡県福岡市中央区天神2-3-36 ibbfukuoka 5F 松尾 新吾	○平成23年4月1日に『東北地方太平洋沖地震災害義援金』の寄付依頼を会員361社に発信。募集期間は平成23年5月19日まで。集まった義援金は、平成23年5月20日宮城県へ振込みにて寄託予定	○平成23年4月1日に「東北地方太平洋沖地震災害義援金」の寄付依頼を会員361社に発信。平成23年4月28日まで募集し、集まった義援金は日本ニュービジネス協議会連合会(JNB)へ寄託 ○平成23年5月16日、JNB代表者が宮城県へ出向き、集まった義援金の目録を手渡した。その後、各NBCから宮城県へ直接振込み予定	092-771-3097 (滝)	
(特社)九州北部小 型船安全協会	福岡県北九州市門司区港町7-8 中田 定美		○当協会会員に対し東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、とりまとめのうえ4月中に日本財団を通じて寄付。	093-332-3578 (吉野)	
(特財)九州陸運協 会	福岡県福岡市博多区博多駅東3-10-17 山下 克之		○東日本大震災支援のための義援金を日本赤十字社へ寄附(100万円)。	092-451-1751 (釘崎)	
(特財)給水工事技 術振興財団	東京都中央区日本橋箱崎町4番7号 藤田 賢二	○震災により紛失した証書等の再発行の申請があった場合、罹災証明があれば発行手数料の免除を実施している。(平成24年3月末日まで) △5月下旬から予定している本年度の給水装置工事主任技術者試験の受験申し込みに際し、震災により提出が困難と考えられる書類について、受験者の負担軽減を実施していく予定である。		03-5695-2511 (諏訪)	
(特社)宮陵会	神奈川県横浜市神奈川区六角橋3-27-1 神奈川大学内 会長 狩野 七郎	△母校神奈川大学の在学生在で東日本大震災罹災者を対象に、経済的支援を図るため、神奈川大学が行う支援措置に対して、1,000万円を東日本大震災罹災学生への支援として寄付を行う。(5月実施予定)	△母校神奈川大学の在学生在で東日本大震災罹災者を対象に、経済的支援を図るため、神奈川大学が行う支援措置に対して、1,000万円を東日本大震災罹災学生への支援として寄付を行う。(5月実施予定)(再掲)	045-481-5661	
(特社)教育演劇研 究協会	静岡県浜松市東区子安町323-3 理事長 大久保 忠訓	△被災地の子どもたちを励ますためのチャリティー公演を、他の児童演劇創造団体とともに、日本児童・青少年演劇劇団協同組合のもとで、計画している。(8月頃。当社団法人は3~5ステージ程度)	△急遽創設された「子どものための舞台芸術創造団体の会」に参加し、東日本大震災救援募金の取りまとめに加わる。 △今後長期的にチャリティー公演を企画したり、自主公演をする売上金の一部を寄付することを検討している。	053-461-5395 (劇団たんぼぼ代表 上保 節子)	
(特社)教育文化協 会	東京都千代田区神田駿河台3-2-11 理事長 岡部 謙治	○「第7回 連合・ILEC幸せさがし文化展」で、「日本を、明るく、元気にするような作品」「被災地の仲間」にエールを送る作品」を募集中(会員組織、連合の地方連合会に依頼文書発信、ホームページの「第7回 連合・ILEC幸せさがし文化展」バナーを修正アップ、2011年4月20日の連合中央執行委員会報告) ○連合の諸活動(要請、ボランティア派遣、救援カンパ等)に、協力、参加	○連合が実施する東日本大地震救援カンパに役職員が寄附を行った。	03-5295-5421 (池田 直彦)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)協済会	北海道札幌市北区北14条西5丁目 北海道大学病院構内 理事長 杉原 平樹			〇東日本大震災緊急支援のための義援金を募集中(3月14日より実施)日本赤十字社へ寄附予定	011-717-2323 (常務理事 佐藤 誠)
(特財)矯正協会	東京都中野区新井3-37-2 西原 春夫	〇矯正職員による被災地(宮城県石巻市)での炊き出し支援に際し、食料品を提供した。(平成23年3月20日) △今回の震災によって、家屋が損壊したり、家族を失った矯正職員に対して見舞金等を贈呈する。(見舞金等受給申請を受けて、支給手続きを開始する。) 〇全国刑務所作業製品展示即売会(第53回全国矯正展)における売上金の一部を義援金として拠出する106万円を、日本赤十字社に義援金として寄附した。(寄附日:平成23年6月20日)	〇「東北地方太平洋沖地震被害者緊急支援基金」(公益財団法人 公益法人協会)へ20口:20万円の寄附を行った。(寄附日:平成23年4月20日) 〇全国刑務所作業製品展示即売会(第53回全国矯正展)における売上金の一部を義援金として拠出する106万円を、日本赤十字社に義援金として寄附した。(寄附日:平成23年6月20日)(再掲)		03-3319-0640 (齋藤)
(特社)競走馬育成協会	東京都港区新橋4-5-4 武田 暁朗			△被災した競走馬育成業者に対し見舞金を提供。	03-6809-1821 (北川総務部長)
(特社)行田法人会	埼玉県行田市忍2-1-8 鈴木 秀憲	△福島県双葉町の被災者の方々が加須市に避難されたことを受け、会員から不足が見込まれる靴下等の日用品の支援物資を募り、法人会で取りまとめの上、加須市双葉町支援対策本部へ届けることとしている。(4月22日予定)	〇加須市に避難された福島県双葉町の被災者の方々をご支援すべく、会の運営予算を調整し、加須市を窓口として総額20万円を支出した。 △福島県双葉町の被災者の方々をご支援すべく、本会の女性部会において部会員から義援金を募り、寄せられた総額55千円について加須市を窓口として届けることとしている。 △総会等により会員の賛同を得ることで、今後においても可能な限り寄附金による支援を計画している。		048-554-4535 (鎌滝) http://www.6.ocn.ne.jp/~gyohoin
(特財)競艇振興センター	東京都港区三田3-12-12 小高 幹雄	〇東日本大震災緊急支援のための街頭募金活動を、日本財団の呼びかけに応じ、3名×2日間派遣。(3月19日、20日に実施) 〇東日本大震災緊急支援のための弔慰金・見舞金の支給活動を、日本財団の呼びかけに応じ、気仙沼市へ2名×5日間派遣。(4月11日～15日に実施)	〇東日本大震災緊急支援のための寄付を役員から募り、日本財団へ寄付(3月14日) 〇東日本大震災緊急支援のための支援金を当財団より、日本財団へ寄付(4月15日)		03-5232-2511 (総務部総務課)
(特財)競艇保安協会	東京都港区三田3-12-12 竹内 俊夫	〇公益財団法人日本船舶振興会主催の下に開催された募金活動に参加(3月19日～20日) 〇日本財団とともに、東日本大震災緊急支援のための募金活動を街頭に立ち行う(3月19日、3月20日) 〇東日本大震災緊急支援のための募金を、職場内で呼びかけ	〇職員から寄附金を募り、公益財団法人日本船舶振興会へ寄附。(7万7千円)(3月16日) 〇日本財団が立ち上げた「東日本大震災支援基金」の募金活動に対し、職員に募金の呼びかけを行い寄附		03-3769-3181 (総務部長 横塚)

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)京都銀行協会	京都府京都市中京区木 屋町通二条下ル 専務理事 岡田博邦	<p>○金融庁からの金融上の措置に伴い、京都手形交換所では、災害時における手形交換に関する特別措置(呈示期間経過後の手形の決済、災害のため不渡となった手形・小切手にかかる不渡報告への掲載・取引停止処分の猶予等)を実施し、参加銀行ならびに京都府下の福知山、綾部、舞鶴、北京都の各手形交換所に徹底している。</p> <p>○被災地の金融機関を支払い場所とする手形の取立方法等、震災に関連する銀行取引全般について、相談・照会の受付を行っている。</p>		075-221-2134 (田中伸明)	
(特財)京都工場保健会	京都府京都市中京区 西ノ京北壺井町67番地 会長 田中 千秋	<p>○東北・北関東地区の医療従事者を対象に、当財団の医療従事者求人ハローワーク(京都・西陣)へ申し込み(3月31日)。なお、選考・赴任旅費は全額当会負担、また居住を当会にて準備・支援を条件。</p>	<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を京都新聞社会福祉事業団へ寄附(3月17日)</p> <p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を同業機関 社の都産業保健会へ寄附(4月2日)</p> <p>○東日本大震災緊急支援のための職員による義援金を京都新聞社会福祉事業団へ寄附(4月4日)</p> <p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を(公社)全国労働衛生団体連合会へ寄附(4月11日)</p> <p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を(社)日本作業環境測定協会へ寄附(4月22日)</p>	075-802-0131 (総務部 山下 清隆)	
(特社)京都市観光協会	京都府京都市左京区岡 崎最勝寺町13 京都會館内 会長 柏原 康夫	<p>○当協会と関連のある東北地方の観光協会や東北地方に末社を持つ神社を経由してサージカルマスクを救援物資として提供。</p> <p>○観光客や市民など多数の利用者のある当協会が受託運営する観光施設の窓口や事務所等に義援金箱を設置し、募金活動を実施。</p> <p>○京都市、財団法人京都伝統伎芸振興財団と共催で、JR京都駅ビル内にて東北出身者6名を含む京都の五花街の舞妓による募金活動を実施(3月21日)。また、各花街が実施する春のをどりへ被災者の招待を実施。(4月4日から開始)</p> <p>△多くの入浴客が見込まれる京の三大祭「葵祭」(5月15日開催)において、観覧席受付に義援金箱を設置し、募金活動を実施。また、財団法人国民公園協会京都御苑と共催で、京都御苑内に設置の観覧席へ被災者を招待。</p> <p>○京都府、京都市、京都商工会議所等とともに「経済復興対策京都官民合同会議」を立ち上げ、被災地の復興支援のためにも、自粛せず、京都産業と観光の振興に総力で取り組むべきの方針を確認(4月7日)。これを受け当協会会員に対し、イベント等自粛するのではなく、被災地復興支援を視野に入れて実施することを要請。</p>	<p>△左記のとおり、東日本大震災緊急支援のための義援金を募集、日本赤十字社へ寄附を行う。</p>	075-752-0225 (由井)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)京都府自動車整備振興会	京都府京都市伏見区竹田向代町51-5 会長 森 敬夫	<p>○東日本大震災の支援プロジェクト「LOVE FOR NIPPON」へガソリン携行缶65缶を提供。</p> <p>○宮城県自動車整備振興会へ義援金約90万を拠出。</p> <p>○京都商工会議所を通じて被災地へ義援金3万円を拠出</p> <p>△日本自動車整備振興会連合会を通じて被災地の自動車業界へ当会会員からの義援金約500万円を拠出予定。</p> <p>△日本自動車整備振興会連合会を通じて被災地の各自動車整備振興会へ義援金500万円を拠出予定。</p> <p>△被災した車両の検分、修理等を行うため、整備士の応援ができないか検討中。</p> <p>△救援車両の点検整備、故障修理のための要員が不足しており、応援ができないか検討中。</p>		075-691-6462 (田中)	http://www.kaspa.or.jp/
(特社)京都府トラック協会	京都府京都市伏見区竹田向代町48-3 金井 清治	○京都府との防災協定により、会員事業者に3回出動を要請した。	○全日本トラック協会が募集する義援金募集活動に対し、会員に協力を要請した。	075-671-3175 (茨木)	
(特社)京都府バス協会	京都府京都市伏見区竹田向代町51-1 会長 丹羽 敬		○近畿バス協議会に所属する近畿2府4県の各バス協会は東日本大震災に被災された東北地区の各バス協会が所属している東北バス協議会に対して義援金200万円を送る。(京都府バス協会20万円)	075-691-6517 (水田)	
(特社)京都南労働基準協会	京都府京都市伏見区本木町668-3 月桂冠酒蔵オフィス9号室 会長 奥田 泰三		○義援金を寄附	075-611-8286 (専務理事 平松 喜久治)	
(特社)京都労働基準連合会	京都府京都市右京区西院東中水町17番地 京都府中小企業会館6階 会長 位高 光司		○(特社)全国労働基準関係団体連合会の取りまとめにより、義援金9万円を寄附(4月21日)	075-321-2731 (専務理事 板坂 唯一)	
(特財)京都労働災害被災者援護財団	京都府京都市伏見区竹田真幡木町115番地 理事長 三宅 成恒	○医療支援として宮城県塩釜市の坂総合病院に4日間当法人診療所長を派遣した。また、被災者・避難所への支援として2名の事務職員を各4日間派遣。	○地区医師会経由で10万円を募金した。職員カンパを集め、約8万円を医療団体へ寄附した。伏見商店街大手筋で募金活動をし、約3万円を集めて医療団体へ寄附した。	075-623-1110 (専務理事 尾浦 邦彦)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)協力隊を育てる会	東京都渋谷区広尾4-2-24 JICA地球ひろば3階 会長 足立 房夫	<p>○東北・北関東地区を対象に、当会の県組織や協働者を通じて被災状況の確認を実施。これらに基づく情報を集約し全国組織へ発信するとともに、現地からの支援要請連絡を取りまとめて他団体へ繋ぐなどの連絡・調整を実施 (3/11夜から実施)</p> <p>○当会の機関紙に特集記事を連載、東北3県からのメッセージのほか全国組織関係者の取り組みや支援要請などの情報を取り上げ、幅広い層に支援を呼びかける。(4/15から実施)</p> <p>△被災者へのメンタルケアははじめ物資支援、避難所貸与などを実施している被災地県組織のスタッフに対し支援ニーズの調査を行い、復興に向けた足掛かりとして、日常生活や施設等の運営を支援する案件を集めていく。(福島県郡山市、二本松市、宮城県岩沼市、仙台市など4/29から現地派遣)</p> <p>△当会主催により「被災地からの現地報告会」を開催、一般市民向けの広報を行うとともに会場にて募金を募る。(5/25実施)</p>	<p>○当会内で東日本大震災支援を目的とした「小さなハート基金」を設立、当会からの拠出金に加え全国会員をはじめとする支援者から支援を募り、被災地からの要望に対して支援を実施していく。(HPや紙媒体など4/25から告知)</p>	03-6303-2055 (総務課:大石・伊藤)	http://www.sojocv.or.jp
(特財)漁船海難遺児育英会	東京都千代田区内神田2-2-5 光正ビル6階 鈴木 俊一	<p>○東日本大震災の大津波で死亡・行方不明となった漁業従事者、JF漁協職員及び海難救助中に死亡・行方不明となった人の子弟も、事業の対象として追加</p> <p>△本会の育英事業内容の周知徹底を図るためにホームページに掲載するとともに、学校教育関係団体等へ協力を要請を検討</p>		03-3256-1981 (事務局 大野、梶山)	http://www.jf-net.ne.jp/ikueikai/
(特財)近畿警察官友の会	大阪府大阪市中央区谷町3-1-9MG大手前ビル2階 小嶋 淳司	<p>○広域緊急援助隊等の隊員に激励として、3月15日に隊の窓口である奈良県警察本部警備第2課に対して、飲料水2Lボトル6本入りケースを50ケース寄贈した。</p>		06-6941-7638(木村)	
(特財)近畿健康管理センター	滋賀県大津市木下町10-10 理事長 木村 隆	<p>○被災地の医療資格者へ雇用機会を提供するため、関係機関(ハローワークや大学・専門学校等)に求職者情報の確認を行っている。ハローワークには求人票の提出を予定している。なお、条件面では遠隔地採用者として社宅規定を適用をすることとしている。(4月より活動開始)</p>	<p>○京都新聞社会福祉事業団を通じて寄附</p> <p>○全国労働衛生団体連合会を通じて寄附</p> <p>○大津商工会議所を通じて寄附</p> <p>○栗東商工会議所を通じて寄附</p> <p>○神戸市医師会を通じて寄附</p>	077-525-3233 (総務部 正岡または谷村)	
(特社)近畿建設協会	大阪府大阪市中央区大手前1-7-31 OMMビル7F 理事長 霧上 民生	<p>○東日本大震災地域に緊急物資を支援。(食料品等)</p> <p>○北上川、鳴瀬川等の河川施設の現地被災調査として調査員を派遣。(2名を1班編制として3月23日~4月18日で延べ4班、延べ約60人日)</p>	<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を日本赤十字社、中央共同募金会、宮城県災害対策本部、岩手県災害義援金募集委員会、福島県災害対策本部の5団体に寄付。(3月)</p> <p>○東日本大震災の被災調査費用として公益社団法人土木学会、公益社団法人地盤工学会2団体に寄付。(4月)</p>	06-6941-3477 (上田 正克)	http://www.kyokai-kinki.or.jp/suport.html
(特社)近畿圏不動産流通機構	大阪府大阪市中央区船越町2-2-1 大阪府不動産会館2F 会長 岡田 文夫	<p>○被災者における円滑な住宅の確保のため、レインズシステムで被災者向けに提供が可能な物件情報を的確に検索できるように、物件登録の際の統一ルールを設け、会員へ周知している。</p>		06-6943-5913 (事務局 福島)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)近畿地区信用金庫協会	大阪府大阪市中央区農人橋1-4-34 会長 橋本 博之	○緊急支援物資の提供(調達額約6百万円,10トン車1台分)被災者支援のため物資を調達し、被災信用金庫や地域住民に配布(3月19日) ○大震災に関連した対応について近畿地区信用金庫の連携を強化するため、「東日本大震災に係る対応策等検討部会」を設置し、全信協を通じた金融上の措置をはじめ、被災地支援について趣旨の徹底を図った。また、今後の対応について協議する。	○全国信用金庫協会の呼びかけによる「東北地方太平洋沖地震救援2千円募金」に役職員一同で協力 △全国信用金庫協会からの依頼により支援見舞金を拠出し、被災信用金庫に寄付(予定)	06-6949-3625(東谷)	
(特社)近畿地区不動産公正取引協議会	大阪府大阪市中央区谷町2-9-3 ガレリア大手前ビル6階 堤 純次		○理事会(平成23年3月15日)の際、義援金を募集し、日本赤十字社へ寄付を行った。 ○消費者モニター懇談会(平成23年3月22日)の際、義援金を募集し、日本赤十字社へ寄付を行った。 ○通常総会(平成23年3月29日)の際、義援金を募集し、日本赤十字社へ寄付を行った。	06-6941-9561(川崎)	http://www.katori.or.jp/
(特社)金融先物取引業協会	東京都千代田区神田小川町1-3 会長 奥 正之		○東日本大震災緊急支援のための義援金を、日本赤十字社へ寄附の予定。	03-5280-0881(河野)	
(特財)勤労青少年協会	東京都渋谷区広尾2-11-1 原 哲明	○本協会のホームページを通じ、会員の被災状況を確認した。 △開催予定の海外派遣勤労青少年交歓全国大会を復興支援大会と位置付け開催する。(7月2日)	△被災者に(見舞金)寄附を行う。(7月上旬予定)	03-3400-8001(原 秀子)	http://www.kinrouseishounen.or.jp/
(特財)勤労青少年躍進会	東京都新宿区新宿3-22-12 理事長 小林 莞待		○東日本大震災の義援金として、平成23年3月28日 日本赤十字社へ50万円寄附 ○平成23年6月5日に開催する『クロスカントリー大会』において、東日本大震災緊急支援のため、義援金を募集	03-3352-5604(杉崎 一郎)	
(特財)空港環境整備協会	東京都新宿区西新宿3-2-11 高橋 義典	○仙台空港駐車場が被災 駐車場施設が復旧するまでの間、駐車料金を無料にしている(仙台空港駐車場) ○被災地に派遣される医療従事者などの車について、公的機関等から要請があった場合、駐車料金を無料にしている(全国の駐車場)		03-5322-6152 総務部長 豆田	
(特財)空港保安事業センター	東京都大田区羽田空港1-6-5第5綜合ビル5階 大山 克己		○(社)東京都警備業協会を通じ東北地方太平洋沖地震復興支援義援金の寄付を行った。(平成23年3月25日)	03-3747-0511(総務課長 杉浦)	
(特財)区画整促進機構	東京都千代田区二番町12-12 BDA二番町ビル2階 下田 公一	△復興を支援するため情勢に応じ「専門家派遣事業」等、可能な支援を行う。		03-3230-4513(田中)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)釧路銀行協会	北海道釧路市北大通8丁目2番地 道銀ビル4階 福村 浩		○全国銀行協会を通じ、東北被災地区3銀行協会に見舞金	0154-22-1185 (事務局長 岩田 隆雄)	
(特社)釧路地方自動車整備振興会	北海道釧路市鳥取大通6丁目1-1 会長 河村 薫		○東日本大震災緊急支援のための義援金として、日本赤十字社へ寄附を行った。 ○道内7振興会より北整連に集約して、日整連に送金し、整備事業者向けに寄附を行った。	0154-51-5216 (遠藤)	
(特社)釧路地方法人会	北海道釧路市大町1丁目1番1号 道東経済センタービル2階 長江 文男		○「東日本大震災被災者支援のための義援金」募金活動を現在実施している。(4月1日～4月28日)寄附先:日本赤十字社	0154-41-3355(加藤)	http://www.khoujinkai.jp/
(特社)熊本東青色申告会	熊本県熊本市神水1-17-14 深川 新一		○(3月30日)(社)熊本東青色申告会名で義援金50千円を熊本日日新聞社・RKKテレビ・善意銀行主催の東日本大震災救済金あてに寄附した。	096-381-3101(代表)	
(特社)熊本県自動車標板協会	熊本県熊本市東町4-14-36 與繩 董		○「東日本大震災義援金」を中央募金会あて、100万円送付(H23. 4. 8)	096-367-1656 (森田)	
(特社)熊本県トラック協会	熊本県熊本市東町4丁目6-2 会長 坂本 洋一	○3月12日に震災対策本部を設置するとともに、熊本県、熊本市をはじめ地方自治体等からの緊急物資輸送依頼に対して対応し、事業者が緊急物資輸送を行うにあたり、標章の取得、給油情報や高速道路通行方法等の各種情報について指導を行い、被災地域への緊急物資輸送がスムーズに行われるよう対処した。 ○(社)熊本県トラック協会を通じての輸送は11回 福島県(5回)、宮城県(6回) ○その他上記以外で、会員事業所が荷主企業等からの依頼により行った緊急物資輸送は次のとおり (社)熊本県トラック協会での把握分 福島県(4回)、宮城県(8回)、岩手県(5回)、その他(5回)	○東日本大震災緊急救援のための義援金を熊本日日新聞社を通じて、寄附した。(3月18日) ○東日本大震災緊急救援のためのテレビ熊本が行った応援キャンペーンに協賛し、同社を通じて、軍手500双を寄贈した。(3月25日) ○(社)全日本トラック協会からの依頼により、東日本大震災緊急支援のための義援金募集を会員に対して周知するとともに、職員からも募金を募り、寄附を行った。 会員へのFAXホームページで通知(4月8日) 職員からの寄附(4月12日)	096-369-3968 (中村)	http://www.kuma-ta.com
(特社)熊本県労働基準協会	熊本県熊本市上通町7-32 (蚕糸会館内) 会長 與繩 董		○東日本大震災緊急支援のため3月18日、30万円を熊本日日新聞社を通じて寄附	096-356-1989 (岡崎 信一)	
(特社)くらしのりサーチャージャー	東京都新宿区新宿5-13-5 会長 福嶋 等	△主要被災地を視察(仙台市若林区、名取市等)し、現地地の状況を会員に周知することを検討中		03-5269-3337 (佐々木)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)蔵前工業会	東京都目黒区大岡山2-12-1東工大蔵前会館4階 理事長 庄山 悦彦	<p>○東北・北関東の6支部(青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県)と連携をとり安否確認、被災状況の確認を実施(3月14日から実施)</p> <p>○東日本大震災支援のための義援金を、広く会員並びに海外友好団体(海外同窓会)にメール・HP・会誌・各地での総会等イベント開催時に呼びかけて募集(4月1日から実施)</p> <p>○有志からの支援物資を震災地に送る橋渡し(支部と連携)をして、有効に活用できるよう支援(随時)</p>	<p>○東日本大震災支援のための義援金を7月末までの予定で募集し、その後被災学生、被災会員に手渡す予定</p>	03-3748-2211(本房常務理事・事務局長)	http://www.kuramae.ne.jp/1104_05_001_gienninn.html
(特社)群馬県銀行協会	群馬県前橋市大手町2-10-1 会長 四方 浩	<p>○平成23年東北地方太平洋沖地震にかかる災害に対する手形交換に関する特別措置の実施について、群馬県内交換参加金融機関に対し、通達発信(平成23年3月14日)し、災害のため不渡りになった手形、小切手にかかる不渡報告への掲載、取引停止処分の猶予の対応徹底を図った。</p> <p>○同災害に対する「金融上の措置の更なる徹底」(平成23年3月22日発信)「県内事業者に対する金融の円滑化の更なる徹底」(平成23年3月22日発信)「原発事故に伴う出荷停止、風評被害を受けている農業経営者への金融の円滑化への協力要請」(平成23年3月25日発信)等 会員を通じ県内傘下金融機関に対し周知徹底依頼を行った。</p>		027-221-4438(大澤)	
(特社)群馬県商工会議所連合会	群馬県前橋市大手町3-3-1 曾我 孝之	<p>○日本商工会議所の議決に基づき、通常総会において、会員が一体となって可能な限りの被災地支援に努めることを確認するとともに、各商工会議所における義援金募金箱の窓口設置を徹底。併せて、電力使用抑制について各商工会議所役員・議員等あて要請を行った。</p> <p>○3月18日付け経済産業大臣及び財務大臣あて「急激な円高に対する是正方について」、3月28日付け経済産業大臣あて「東北関東大震災被災者救済雇用助成制度の創設について」の提言要望を行った。</p> <p>○日本商工会議所で行っている被災地商工会議所への経営指導員等の派遣事業について、県下5つの商工会議所より有志10名の派遣登録を行い、現在1名が現地で活動中(4月20日現在)</p>	<p>○東日本大震災緊急支援のための募金箱を窓口設置、義援金を募集中。日本赤十字等へ寄付を行う予定</p>	027-232-1888(齋藤)	
(特社)群馬県信用組合協会	群馬県前橋市大手町3-3-1 会長 松井 誠	<p>○当協会傘下の各組合においては、全国信用組合中央協会の活動方針を受けて義援金の募集活動を行っている。</p> <p>1. 信組・関係団体役職員の募金 2. 組合員・一般顧客に対する募集活動 受付期間は3月14日～4月28日まで、義援金は全信組連の口座を経由(振込手数料は無料)して日本赤十字社へ寄付される。</p>	<p>○東日本大震災支援のため、義援金の寄付を行った。</p>	027-232-3120(伊能)	
(特社)群馬県トラック協会	群馬県前橋市野中町59-5 三浦 文雄	<p>○群馬県知事との災害協定に基づき緊急救援物資の輸送要請があり、3月15日(福島県1台)、3月26日(福島県1台、宮城県2台)、3月30日(福島県2台)、4月4日(県内移送4台)、4月22日(宮城県2台)に救援物資を輸送した。</p> <p>○市町村等自治体や企業等からの要請に基づき、発災以降4月18日現在221台の救援物資を輸送した。</p>	<p>△東日本大震災緊急支援のため各支部(14支部)単位で義援金を募集中である。寄附先については検討中。</p>	027-261-0244(吉田 三郎)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)軽仮設リース業協会	東京都千代田区神田小川町3-6 NKビル7階 会長 関山 正	○被災地域の復興工事に大きな需要が発生するであろうと思われる「建設工事用足場機材等」につき、供給可能な工場・センターの把握と出荷可能概算数量を、緊急に調査。供給不足が生じる場合は、当協会が窓口となり、全国の会員へ働きかけて、需要家への情報の提供を行う。	○東日本大震災緊急支援のための義援金(500万円)を日本赤十字社を通じて寄附。(3月28日銀行振込にて実施)	03-3293-3148	
(特財)経済調査会	東京都中央区銀座5-13-16 藤田 穰	被災地において必要とされる、需給状況や価格動向等資材情報をきめ細かく収集し、様々な媒体を通じて提供することにより、迅速かつ円滑な復旧・復興活動を全面的に支援する。 ○「災害復旧資材の供給情報提供窓口」を設置して情報を収集。主要建設資材のプラント稼働状況、出荷状況等の情報を関係する官公庁・地方自治体・マスコミに提供。あわせて当会ホームページ上で公表 ○北海道、東北6県(青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)と茨城県の購読者に、当会刊行物のPDF版の閲覧・単価変動データの提供のサービスを無償で実施		03-3543-1471(田口) 03-3542-9291(有泉)	http://www.zai-keicho.or.jp/
(特財)警察協会	東京都千代田区3-6-8 金澤 昭雄	○東北地方太平洋沖地震による殉職警察職員及び公務中行方不明警察職員が30名あり、今後、さらに殉職警察職員の増加を始め、公務受傷警察職員、警察協力殉難者及び警察協力受傷者が多数見込まれることから、これらの者への弔慰金、見舞金及び遺族への援助金に充てるため、救済援護等事業資金積立基金の取崩しを、3月22日の理事会で承認決議した。(交付申請書が提出され次第、所要の手続を開始する。)		03-5213-8414(佐藤)	
(特財)京阪ケーブルビジョン	大阪府大阪市中央区淡路町1-5-5 川上 哲郎	○被災CATV局に対しJCHITSを通じ、CS/BSトラモジHE機器一式を無償提供を提案	○日本ケーブルテレビ連盟東北支部へ義援金100万円贈呈	06-6222-3600(総務部 平井 良一)	http://www.kcv.or.jp/
(特財)京浜保健衛生協会	神奈川県川崎市高津区上作延611-1 矢作 淳		○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、川崎市を通じ日本赤十字社へ寄附 ○東日本大震災で被災された(協)川崎中小企業労務協会の被災企業の復興支援のため同労務協会へ寄附 ○東日本大震災で被災された(社)全国労働衛生団体連合会の被災企業の復興支援のため同連合会へ寄附	044-330-4561(岐阜)	
(特財)下水道業務管理センター	東京都文京区湯島3-26-9 理事長 松井 大悟	○下水道施設が被災を受けた地方公共団体の下水道復旧事業を担っている地方共同法人・日本下水道事業団の活動に対し支援業務を実施しているところ ○当センターに設置されている日本サンテーションコンソーシアムは、NPO法人トイレ研究所が主催する「災害時のトイレ対策検討会」の主要構成員として、災害時におけるトイレとし尿処理のあり方について応急対策、中長期対策の方向性について整理を行っているところ		03-6803-2700 (西田 泰秀)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)下水道新技術推進機構	東京都新宿区水道町3-1 理事長 石川 忠男	<p>○地震や津波による下水道施設の被災状況の調査を支援するため、岩手県、青森県に当財団の職員からなる調査隊を派遣(岩手県3月17日~23日及び3月22日~3月28日、青森県3月24日)</p> <p>○避難所等における公衆衛生の状況を調査し、公衆衛生の確保の観点を含めた復旧・復興の対策を提案するとともに、今後の災害に強い、また、災害時に迅速な対応が可能な下水道に係る地震対策を研究開発していくため、宮城県、岩手県、青森県に当財団の職員からなる調査隊を派遣(4月17日~24日)</p> <p>○液状化への対応を提案するとともに、新たな技術開発を視野に入れ、広域的な液状化の対策について研究開発していくため、東京湾岸部及び内陸部における地震による液状化の状況を調査(新浦安地区3月16日、新木場地区3月25日、その他の湾岸部や内陸部も今後実施予定)</p> <p>○現地情報を速やかに発信するとともに、復旧の支援等につながるよう、被災状況の調査結果等を当財団のHPや季刊誌に掲載。</p> <p>○震災に伴う長期的な電力不足の予想に対して、下水道の持つバイオマスエネルギー等の活用について普及啓発を実施。</p> <p>△地震に対して安全性や信頼性の高い下水道技術を検証し、その技術を推奨、普及等していくため、これまで当財団で研究開発及び審査証明した下水道に係る地震対策技術の効果の状況を調査する予定。</p>		03-5228-6511 (井上)	http://www.iwet.jp/saigai-higai.htm
(特財)研究学園都市コミュニティーケーブルサービス	茨城県つくば市竹園1丁目2-1 理事長 安達 常太郎	<p>○当財団の地域密着型CATVのコミュニティチャンネルを通じて一般視聴者に対し、義援金募集の告知放送を実施中(3月25日から実施)</p> <p>○当財団創立30周年を記念及び東日本大震災復興支援のN響によるコンサートを開催し、東日本大震災の復興支援を目的とする救援募金を行う。(7月2日に実施予定)</p>	○東日本災害緊急支援のための義援金を(社)日本ケーブルテレビ連盟を通じて公的機関へ寄附(3月25日に実施)	0298-52-6111 (業務部総務経理課 中村 栄司)	
(特社)研究産業協会	東京都文京区本郷3-23-1 クローシア本郷ビル2階 庄山 悦彦	○会員企業に対し、阪神淡路大震災時における研究施設に係る被災と復旧に関する情報を提供する。	○東日本大震災緊急支援のための義援金箱を事務所に設置し、日本赤十字社へ寄附(5月9日実施)。義援金箱は引き続き設置し、今後も寄附を行う。	03-6672-7324 (松田)	
(特財)健康医学協会	東京都千代田区紀尾井町4-1 理事長 大坪 修		<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、社会福祉法人中央共同募金会へ寄附(3月31日開催の健康医学研究会総会の講演会場において実施)</p> <p>○(公社)全国労働衛生団体連合会の呼びかけによる、東日本大震災緊急支援のための義援金募集に賛同し、4月8日に寄附</p>	03-3239-0015	
(特財)健康・生きがい開発財団	東京都文京区小石川5-2-2 わかさビル 4F 辻 哲夫	<p>○東北・北関東地区の当財団関係の「健康生きがいづくりアドバイザー協議会」と「生きがい情報士」の安否確認と地域の状況についての情報収集を行う。電話、Facebook、メールを活用(3月11日夜から実施)</p> <p>○上記項目の情報から義捐金専用口座を開設し、ホームページ、メール、書面を通じ全国の「健康生きがいづくり協議会」に義援金を募っている。(3月18日から実施)</p> <p>△被災された方(家族)の支援として、主として第一次産業(農漁業)従事者が、避難先・一時移住先で従来のしごとにおける活動を準備している。該当する受け入れ地と被災地の上記協議会が連携し、かつしごと協議会と情報交換等の連携を行う予定(6月もしくは7月からスタート予定) 長期にわたる取り組みとなるので活動費の捻出が課題。</p>		03-3818-1451(藤村 宣之)	http://www.ikigai-zaidan.or.jp

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)健康・体力づくり事業財団	東京都港区東新橋2-6-10 小澤 壯六	<p>△被災者支援を目的として被災者支援活動に運動指導者として従事する場合に必要なスキル、手続き方法、留意事項等を習得するカリキュラムの講習会を実施(6月15日)</p> <p>○被災者の資格維持・更新を支援する事業として、資格更新手数料の免除、資格証の破損・紛失に伴う再発行手数料の免除等を行う。</p> <p>○ホームページでの健康支援のための情報発信 当財団ホームページにおいては、トップページに『東日本大震災における健康支援情報』とタイトルを付けたコーナーを設け、その中に、 3月15日には、「震災支援ボランティアを希望する皆さん」への情報提供を開始し、 3月18日には、厚生労働省ホームページに掲載の「被災地での健康を守るために」(リンク)を案内し、 3月19日には、「避難生活で生じるエコノミークラス症候群の予防運動」や「搜索活動・掃除かたづけ等で生じる疲れをとるストレッチング」を図解やリンクで示すエビデンスのある情報の提供を開始し、 3月31日には、「震災に由来する不眠と睡眠問題」として対処法など(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所の三島和夫先生作成)を掲載し、 さらに、 4月4日には、文部科学省ホームページに掲載の震災における「子どもの学び支援ポータルサイト」(リンク)を案内する 他、震災関連情報を日々掲載してきており、特に健康に関連する情報の掲載を暫くは継続する予定である。</p>	<p>○講習会受講料は、被災地域の復興を願い、全額義援金として日本赤十字社に寄附を行う。</p>	03-6430-9115 (指導者養成部)	http://www.health-net.or.jp/news/view.php?news_id=fa9f79c614ac9de880a4e7cb9eba01c3&ft=0
(特財)建材試験センター	東京都中央区日本橋茅場町2-9-8 長田 直俊	<p>△被災地の復興支援として、大量に発生した木材等の有効活用策について関係団体等の連携又は支援の形で調査研究を行う。(平成23年度事業として検討中)</p>	<p>○東日本大震災緊急支援のため、日本政府を通じて寄附を行うとともに、役職員からも募集を行う。(4月7日から募集開始)</p>	048-920-3811 (荒井)	
(特財)建設業技術者センター	東京都千代田区二番町3番地 麹町スクエア4F 理事長 三谷 浩	<p>○東北地方太平洋沖地震により資格者証を亡失等した者に対し無償で資格者証の再発行を行う。</p>		03-3514-4711 (管理部 丹野)	http://www.cezaidan.or.jp/index.html
(特財)建設業情報管理センター	東京都中央区築地2-11-24 理事長 松井 邦彦	<p>○経営状況分析結果通知書は、公共事業への参入に不可欠な経営事項審査の申請に際し添付が義務づけられているものであるが、当財団の発行に係るものについて今回の震災のため破損、紛失した場合には無料で再発行している。</p>		03-5565-6191 (企画業務部事業推進課長 伊藤)	http://www.ciic.or.jp/
(特財)建設業福祉共済団	東京都港区虎ノ門1-22-15 虎ノ門NSビル 理事長 吉田 一彦	<p>○復興支援のための見舞金を被災された宮城他5県の建設業協会へ贈った。(4月8日実施)</p> <p>△一日も早い復興を図るため災害復旧活動に携わる共済契約者である建設業者等への支援方途を検討する。(関係機関と調整中)</p>	<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を日本赤十字社へ寄附(4月8日実施)</p>	03-3591-8451 (総務部長 鈴木 武)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)建設コンサル タツ協会	東京都千代田区三番町 一番地 会長 廣谷 彰彦	<p>○協会本部に災害対策本部、東北支部及び関東支部に現地対策本部、他の支部に災害対策支部を設置。</p> <p>○東北支部では、3月11日の地震発生日より、災害協定に基づき東北地方整備局、宮城県からの依頼を受け、約1400名が災害支援活動を行っている。</p> <p>○関東支部では、3月12日より災害協定に基づき関東地方整備局、千葉県からの依頼を受け、現地調査で約200人、対策検討・設計等で39社が災害支援活動を行っている。また、東北支部より本部を通じて、福島県の被害調査への支援の依頼があり、福島県域において約100人が災害支援活動を行っている。</p>	<p>○被災者支援のため、協会会員各社へ義援金の募集を行い、4月15日までの募集金のうち、被災の大きかった宮城県、岩手県、福島県へ第1回目の寄付として各800万円を寄付、現在、4月末日までの期間で再募集中であり、第2回目の寄付を行う予定である。</p> <p>○協会事務局からも第2回目の寄付のとき拠出する予定としている。</p>	03-3239-7992 (事務局 藤野、草野)	
(特社)建設産業専 門団体連合会	東京都港区虎ノ門4-2 -12 虎ノ門MTCビル2号館6階 会長 才賀 清二郎		<p>○東日本大震災緊急支援のため、会員団体及び会員団体企業に対して、義援金を募集中。主に日本赤十字社へ寄付を行う予定</p>	03-5425-6805 (事務局長 道用)	
(特財)建設物価調 査会	東京都中央区日本橋大 伝馬町11-8 理事長 清治 真人	<p>被災地において必要とされる、需給状況や価格動向等資材情報をきめ細かく収集し、様々な媒体を通じて提供することにより、迅速かつ円滑な復旧・復興活動を全面的に支援する。</p> <p>○発災後、速やかに「(財)建設物価調査会災害対策本部」設置。直ちに「災害復旧資材情報室」を立ち上げ、復旧工事に必要となる資材情報を収集し、「建設資材情報」を当会ホームページにて公開・提供</p> <p>○被災地の災害復旧、今後の復興対策に不可欠な資材関係情報等をインターネットを通じて広く無償で提供(「Web建設物価」等)</p>		03-3663-3892 (調査統括部 下村) 03-3663-5170 (情報システム部 藤井)	http://www.kensetu-bukka.or.jp/
(特社)現代工芸美 術家協会	東京都台東区上野7-9 -15 車坂ビル502 理事長 大樋 年朗		<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を金沢市の北國新聞社へ3月30日に寄託した。(①3月16日から25日の間、本会及び北國新聞社主催の第50回記念日本現代工芸美術展会場及び3月16日開催の授賞式・懇親会場に寄付箱を置き、義援金を募った。②会期中、会場内で販売したポストカードの売上げ、③受賞者からの寄附等)</p>	03-3841-8314 (青沼 佳忠)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)現代舞踊協会	東京都渋谷区恵比寿西 1-21-3 グレイス代官山402 会長 植木 浩	<p>○3月17日(木)於:東京芸術劇場大会議室 第49回通常総会 義援金を募った。</p> <p>○3月28日於:中京大学文化市民会館ブルニエホール(愛知県名古屋市) ジュニア舞踊公演で義援金を募った。</p> <p>○5月24日(火)～27日於:シアター1010(センジュ)(東京都足立区) モダンダンス5月の祭典 義援金の募集を行い、寄附者には福島のパラ園から取り寄せたバラを1本ずつ差し上げた。 義援金約18万円は劇場を管轄する足立区を通じ、日本赤十字社に寄附。</p> <p>△8月2日(土)於:なかのZEROホール(東京都中野区) 全国青少年 夏の舞踊祭2011 義援金募集を予定。</p> <p>△8月25日(木)於:名古屋市千種文化小劇場 Dance Emotion 義援金募集を予定。</p> <p>△8月27日(土)於:メルパルクホール東京(港区) 現代舞踊新進芸術家育成プロジェクト 全国新進舞踊家による現代舞踊フェスティバルin東京 義援金の募集を行うと共に、前述の5月の祭典の状況を見て、可能であれば物産展に協力したいと考えている。</p> <p>△夏以降も年内の主催公演・講習会などで義援金募集を検討している。</p>		03-5457-773 (事務局:武井 成之)	
(特財)建築環境・省エネルギー機構	東京都千代田区麹町3-5-1 理事長 村上 周三	△被災した住宅の修繕等に対する相談業務に応じるための職員を派遣する。(4月25日～5月2日)		03-3222-6684 (脇田)	
(特財)建築行政情報センター	東京都新宿区神楽坂1丁目15番地 松野 仁		○東日本大震災緊急支援のための義援金を、日本赤十字社へ寄附。(3月下旬実施)	03-5225-7701 (川島)	
(特財)建築コスト管理システム研究所	東京都港区西新橋 3-2-5-33 理事長 清水 令一郎	○東日本大震災の復旧・復興支援に使用する「営繕積算システム」を公共発注機関を対象に無償提供を実施。 また、被災地に所在する設計積算事務所のうち、「営繕積算システム」の契約者を対象に、破損または利用不可能になった「同システム」の無償提供を実施。(3月31日から実施)	○東日本大震災緊急支援のための義援金を所内にて募集し、日本赤十字社へ寄附。 (4月7日に第1回目寄付、現在第2回目募集中)	03-3434-1530 (柴尾)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)建築設備技術者協会	東京都港区新橋6-9-6 12 東洋海事ビル 牧村 功	<p>○東北地方太平洋沖地震と津波により甚大な被害を受けた東北地方の復興、支援に関する各種対応を迅速に行うために、震災復興支援会議(議長:川瀬貴晴会長)を設置</p> <p>○震災による電力不足・計画停電に対して、ビル設備の運営管理を如何に行っていくべきかについての具体策を検討するために、震災対策緊急提言委員会(委員長:奥村克夫副会長)を設置。これは電力不足が今後も続くことが予想される状況下で、6月以降の冷房期を見据えてビル側で採りうる対策を立案・提案するための委員会。検討結果は、広く一般に広報するとともに、関連機関および行政機関などにも周知する予定</p> <p>○震災を受けて、電力不足・計画停電に対するビル設備(空調・衛生・電気設備)の省エネ対策や様々な問題について、建築設備のプロである建築設備士(このうちJABMEE SENIORは約1070人)がビルオーナーやテナントなどに対して助言</p>	<p>△東日本大震災緊急支援のための義援金を日本赤十字社へ寄附を行う。(4月21日実施予定)</p>	003-5408-0063 (高橋)	http://www.iabmee.or.jp/
(特財)建築保全センター	東京都中央区新川1-24-8 理事長 尾島 俊雄	<p>○通常は、国及び自治体の公共組織を対象とする公共建築のFMと保全ネットワークニュースを月1回配信しているが、この度被災された自治体の方で支援や情報提供を必要とされている方、または、支援をしていただける方から情報を募り、3月15日から号外として6号まで配信した。その主な内容として、以下の情報等を掲載した。</p> <p>① ゴミ焼却場排ガス設備の温度管理について ② 油吸着分解剤の在庫情報 ③ 震災アスベスト緊急対策等</p> <p>△ 公共建築の緊急節電(電力需要抑制)対策説明会の開催 東京電力管内の都県庁所在地(8ヶ所)において、自治体(国も含む)の施設管理者等に対して、公共建築の緊急節電(電力需要抑制)対策説明会の開催を予定している。(5月以降順次)</p> <p>内容① 電力の使用実態の把握から効果的な削減方法の絞り込み、計画の立案方法の解説 ② 地球温暖化対策に寄与するための官公庁施設利用の手引の解説 ③ 緊急的な節電方法についての具体的対策等の解説を行う</p>		03-3553-0070 (島本)	
(特財)研友社	東京都国分寺市光町1-45-9 河田 博之	<p>○簡単な英文翻訳を当分の間無料で実施中(ホームページに掲載)</p>	<p>○東北地方太平洋沖地震被災者のための義援金を社内で募集し、日本赤十字社に寄附した。</p> <p>△当財団から日本赤十字社もしくは国分寺市役所経由で寄附する予定(5月中旬)。</p>	042-572-7157 (池本)	http://www.kenf.or.jp
(特社)公営交通事業協会	東京都千代田区日比谷公園1-3 金子 正一郎		<p>○営業車両及び地下鉄駅施設などに大きな被害をこうむった仙台市交通局に対し、見舞金を送った。(3月29日)</p>	03-3591-5063 (阿部)	
(特財)公園緑地管理財団	東京都文京区関口1-47-12 小野 邦久	<p>○震災当日、運営管理をしている公園が帰宅困難者700名を受け入れることになり、職員が翌朝まで、自治体や警察等と連携して、物資(毛布・食料)の配給や交通機関等の情報提供を行った。</p> <p>○宮城県の災害拠点病院にガスボンベ2台などを提供した。</p>	<p>△東日本大震災緊急支援のための義援金を当財団職員に募集するとともに、法人として義援金を4月末までに被災地の災害対策本部等に寄附する予定。</p>	03-6674-1188 (総務部 高田)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)公共用地補償機構	東京都千代田区麹町4-3-3 小高 剛	○被災地から不足している物資の連絡を受け、支援物資として発送している。(4月7日から実施)	○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集中	03-3239-9678 (川田)	http://www.hosyokukou.jp/tou/hokuchihouisin.pdf
(特財)航空科学振興財団	千葉県山武郡芝山町岩山1111-3 橋本 昌史	○航空科学博物館内に義援金箱を設置している。(4月上旬に第1回目送金済み) △地元芝山町に避難される方に航空科学博物館にご招待。無料でご覧いただく。今現在、避難されている方はいらっしゃらない。	○地震1週間後、当財団役員・アルバイト各個人より義援金を募り、日本赤十字社へ送金した。 ○3月から4月にかけての8日間臨時のジャンク市を実施し、売り上げの1割を日本赤十字に寄付。	0479-78-0557 (関本)	
(特財)航空振興財団	東京都千代田区神田小川町3-6-8 相原 力	○震災に遭遇し航空路誌原本が流失した航空事業者に対して航空路誌等の無償供与を行う。 ○岩沼航空少年団に対するお見舞いの要請および取りまとめを行う。		03-3259-2131 (吉澤) 03-3747-7676 (馬場)	
(特財)口腔保健協会	東京都豊島区駒込1-43-9 理事長 岡田 昭五郎	○東北・北関東地区の学会会員へお見舞いの葉書を送付予定	○歯科医師会の歯科医学会を通じて、義援金を10万円送付予定(4月下旬)	03-3947-8301(藤沼聡)	
(特財)好仁会	東京都文京区本郷7-3-1 東京大学附属病院内 理事長 小山 五朗	○被災直後、(財)辛酉会(東北大学病院内)が病院災害対策本部(本部長 里見附属病院長)と協議し、東北大学病院診療機能確保に必要な物資の取り纏めを行った。 ○国立大学病院内に設置されている32財団(※)に対し、(財)好仁会(東京大学病院内)が窓口となって支援物資の搬送協力要請を行った。(3月15日) ○支援物資は、米・味噌・塩・カップ麺・卵・缶詰等の食料品を始め、毛布・布団・下着の衣類や、おむつ・ミルク・手術用丁字帯・生理用品・ティッシュペーパー等衛生用品に至る約60品目にわたる総額約6,000万円に上り、3月20日以降、3月29日までに東北大学病院災害対策本部へ届けた。 (※)国立大学病院内に設置されている32財団は以下のとおり。 (一財)旭仁会、楽山会、同仁会、済美会、積善会、恵和会 (特財)辛酉会、協済会、弘仁会、丁酉会、桐仁会、同愛会、好仁会、和同会、協和会、信和会、誠仁会、共済団、三翠会、和進会、慈恵会、恵済団、恵仁会、緑風会、朋和会、厚仁会、愛信会、恵愛団、輔仁会、清仁会、親和会、徳明会		03-3811-7360 (村澤 彰)	
(特財)厚生年金事業振興団	東京都新宿区新宿5-5-1 理事長 渡辺 修	○医療支援として、石巻赤十字病院へ東京・大阪・九州厚生年金病院より医師・看護師・薬剤師・事務の医療支援チームを1週間のローテーションにて派遣(4月4日から実施)	○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄付を行った。(4月7日実施)	03-3354-6912 (病院課 霜村)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)高層住宅管理業協会	東京都港区虎ノ門1-13-3 虎ノ門東洋共同ビル2F 理事長 黒住 昌昭	<p>○マンションの被害状況調査を開始(3月14日)</p> <p>○ホームページに東京電力の停電関係の情報、当面の講習の実施予定等の情報を掲載(3月14日)</p> <p>○協会東北支部における会員社間の連絡・協力体制を構築(3月14日)</p> <p>○ホームページに「計画停電実施時のマンションにおける留意点について」を掲載(3月15日)</p> <p>○国交省住宅局の依頼を受け、各社に「計画停電に伴うエレベータ利用に関する注意喚起等について」を配布し、協力依頼を実施(3月15日)</p> <p>○ホームページに被災分譲マンションの管理に関する相談窓口の連絡先を掲載(3月16日)</p> <p>○3/16報道発表(口頭)内容 ・協会会員[東北地方:25社、1,584管理組合(受託戸数:92,241戸)]の被災状況(3月16日現在) ・被災した会員受託マンションに対する支援 東北支部に「東北地方太平洋沖地震災害対策本部」設置(3月16日) ・「被災分譲マンションの管理に関する相談」の協会本部での受付開始(3月16日HPに掲示) ・協会として義捐金 1,000万円を然るべき先に寄付する方針(会員への義捐金寄託を呼びかけ)</p> <p>○各社における「東北地方太平洋沖地震被災への救援金検討」の協力依頼を実施(3月17日)</p> <p>○ホームページに、地震災害に便乗した「震災詐欺」への注意喚起を掲載(3月18日)</p> <p>○ホームページに、「マンション内における節電について」を掲載(3月18日)</p> <p>○各社に対し、「共用部分の節電に関する管理組合への提案のお願い」を配布し、協力依頼を実施(3月24日)</p> <p>○「電力需給緊急対策本部(閣僚級)」の方針を受け、国土交通省総合政策局長(及び資源エネルギー庁)が開催した関係業界団体等に対する「今後の電力需給の見通しの説明と節電の要請」会に参加。(3月29日)</p> <p>○「震災時における各種対応上のQ&A」をホームページに掲載(3月30日)</p> <p>○各社に対し、「東北地方太平洋沖地震 被災状況調査者派遣」要請(3月31日)</p> <p>○「東北地方会員受託マンションの被害状況について」及び「マンション被災状況調査の実施について」について記者発表(4月1日)</p> <p>○「災害等緊急時の対応指針」の会員への発信及び会員専用ホームページに公開(4月4日)</p> <p>○「地震からマンションを守る～管理会社フロント社員用マニュアル～(販売書籍)」を会員専用ホームページに公開(4月5日)</p> <p>○「マンション被災状況調査マニュアル～地震被害の初期調査～(販売書籍)」を会員専用ホームページに公開(4月6日)</p> <p>○東北78物件の被災状況調査のため調査員10名を派遣(協会:1名、会員8社:9名)(4月6日～8日)</p> <p>○「災害等緊急時Q&A(業務対応版:3/30 Q&Aとは別)」の会員送信及び会員専用ホームページに公開(4月8日)</p> <p>○「東日本大震災被災の方を対象とする住込マンション管理員募集について」を公表(4月14日)</p> <p>○各社に対し、「東日本大震災等に伴い避難した住民の所在地等に係る情報を住所他の地方公共団体が把握するための協力について」を周知し、協力依頼を実施(4月19日)</p>	<p>○日本赤十字社を通じ、救援金寄託1000万円</p> <p>○会員26社による救援金寄託約2000万(グループ会社での救援金寄託は除く。)(4/19現在)</p>	03-3500-2721 (総務部長 加藤)	http://www.kanrikyo.or.jp/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)高速道路調査会	東京都港区南麻布2-1 1-10 OJビル2階 森 俊雄	<p>○当財団事業である「防災エキスパート制度」に登録している現地ボランティアが高速道路会社による高速道路構造物等の点検作業の支援(作業補助)を行った。(3月11日~3月17日)</p> <p>○被災した高速道路を緊急通路として確保するための現地作業員に飲料水(約1200リットル)や食料品(約550食(レトルト食品、カップラーメン、保存パンなど))などの支援物資を提供</p>		03-6436-2100 (山村)	
(特社)高知県自動車整備振興会	高知県高知市大津乙17 93番地1 川上 二男	○東日本大震災支援の為、募金箱を受付窓口に設置し、募金活動を実施		088-866-7300 (楠瀬)	
(特社)高知県トラック協会	高知県高知市南の丸町5 -17 三谷哲夫	○高知県からの要請をうけ、県内の緊急物資の集荷及び被災地への輸送を実施		088-832-3499 (西村)	
(特財)交通遺児育成基金	東京都千代田区麹町4- 5 海事センタービル7階 松尾 道彦	○岩手県、宮城県、福島県、茨城県に居住している交通遺児育成基金に加入している交通遺児に対して、震災見舞金を送金した。		03-5212-4511 (大矢)	
(特財)交通道徳協会	東京田千代田区丸の内3 -4-1 室賀 實	<p>○東日本大震災支援のため各鉄道少年団が募金活動を行う(3月26日実施)</p> <p>△鉄道少年団は学生が多いため休日を利用して募金活動を計画している。(5月の連休等)</p>	<p>○東日本大震災支援のため駅頭で募金活動を行う(5鉄道少年団)義援金779、934円を各新聞社を経由して日本赤十字社へ寄付</p> <p>△5月の連休を利用して他鉄道少年団も募金活動を計画している。</p>	03-3216-6050 (関口 昌伸)	
(特財)講道館	東京都文京区春日1-1 6-30 上村 春樹	<p>○各種の柔道全国大会等で、被災地への募金活動を実施</p> <p>○被災地で稽古できない方に柔道衣を寄贈</p> <p>○被災地で消失した柔道段証書を無償で再発行</p> <p>○地震発生当日に、東京地区の帰宅困難な方に講道館の休憩・宿泊施設等を提供</p>	○東北地方太平洋沖地震被災地の救援のため、(特財)全日本柔道連盟と共同して、義援金合計300万円を日本赤十字社に寄付させていただきました。	03-3811-7152 (総務部長 東 行雄)	http://www.kodokan.org

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)高度映像情報センター	東京都千代田区三番町6-14 久保田 致長	<p>○地震発生直後より、震が関地区の帰宅困難者を対象に施設の一部を開放して「AIDステーション」を開設した。テレビ映像を中継上映したほか、飲料、軽食、トイレ、毛布、また、PC、電源等を提供し、のべ300名ほどの方に休憩・仮眠所としてご利用頂いた。(3月11日16時～12日10時)</p> <p>△今回の震災の経験をもとに、明らかになった課題を踏まえ、より有効な支援ができるAIDステーションを目指し、持つべき機能、官民地域連携の強化等の研究に着手した。(平成23年度)</p> <p>○3月29日、新しい公共をつくる市民キャビネットの主催する「東日本大震災ボランティア講習会」に協賛し、会場を提供し、セミナーの様子をユーストリームにて中継した。セミナーは村井雅清氏(被災地NGO協働センター 代表)を講師に、学生を中心とした若い世代に災害ボランティアの心得等を語って頂いた。当日参加者は約50名。ユーストリーム視聴者は約230名。 (http://www.ustream.tv/channel/knowledgesquareにて、映像コンテンツを継続公開中)</p> <p>○4月5日、新しい公共をつくる市民キャビネット農都地域部会の主催する「東日本大震災対応緊急フォーラム“ニッポン農力向上&震災復興大作戦!”」に会場運営、技術協力を行い、セミナーの様子をユーストリームにて中継した。当日参加者は約110名。ユーストリーム視聴者は約170名。 (http://www.ustream.tv/channel/knowledgesquareにて、映像コンテンツを継続公開中)</p>	<p>△年間40件ほどを予定している自主企画セミナーについて、今年度は「震災復興支援プログラム」と位置づけ、参加者1名につき500円を義援金として被災地の自治体に贈ることとしている。(平成23年度)</p>	03-3239-1121 (丸山)	http://www.kk2.ne.jp/
(特社)光風会	東京都豊島区要町1-3-4 光風会館 理事長 寺坂 公雄		<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金として80万円を、4月14日、中日新聞を経由して日本赤十字社に寄付</p>	03-3957-8009 (清水 優)	
(特社)神戸銀行協会	兵庫県神戸市中央区江戸町91-1 大原 亘	<p>○東北地方太平洋沖地震にかかる災害に対する手形交換に関する特別措置について、神戸手形交換所および兵庫県下の姫路・淡路島・豊岡手形交換所に周知した。</p> <p>○被災地の金融機関を支払場所とする手形の取立方法など震災と関連する銀行取引全般について相談・照会の受付を行っている。</p>		078-331-2761(山野)	
(特財)神戸港湾福利厚生協会	兵庫県神戸市中央区新港町13-3 田副 忠亮	<p>△東日本大地震により被災された港湾関係者を支援するため、「神戸港東北大地震支援委員会」((財)神戸港湾福利厚生協会、兵庫県港運協会、神戸市、神戸港湾労働組合協議会)を設置し、東北地方の港湾物流機能の復旧、復興を支援し、早期の物流回復を目指すため、救援物資の輸送等、様々な支援を行っていくこととしている。</p>	<p>○平成23年4月12日～15日、第1弾の救援物資輸送(長期的な支援を行っていく予定)</p>	078-391-0939 (奥野)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)神戸国際観光コンベンション協会	兵庫県神戸市中央区港島中町6-9-1 神戸国際交流会館7F 会長 鶴崎 功		○財団法人仙台観光コンベンション協会へ災害見舞金10万円を寄附。	078-303-1010 (岩本)	
		△当協会が主管する、神戸まつりのメイン行事のひとつ「サンバストリート」(5/15)において、東北三県(岩手・宮城・福島)の物産事業者を招聘した物産展を開催して被災地域の物産のPR及び販売機会を設けるとともに、行事内では神戸のサンバチームが来場者に物産展の紹介や購買を呼び掛ける。これらを通じて被災地への支援意欲を盛り上げ、復興の一助とする。		078-303-1010 (小池)	
			△財団法人みやぎ産業交流センターへ災害見舞金10万円を寄附予定。 △公益財団法人福島県産業振興センター(ビッグパレットふくしま)へ災害見舞金10万円を寄附予定。	078-302-1020 (山崎)	
(特社)神戸清港会	兵庫県神戸市中央区港島3丁目5番 花崎 輝次	○兵庫県港運協会が中心となって作られた神戸港東北大震災支援委員会一員として、トイレットペーパーを400個、ビニール袋200枚を提供し、現地の東北港運協会へ送った。	○震災にて被害のあった、相馬、石巻、八戸、小名浜の各港にある清港会事務所に支援金として、神戸清港会の経費から各港に2万円、合計8万円の送金を実施。	078-302-5261 (総務課長 永田 國生)	
(特財)港湾近代化促進協議会	東京都港区新橋6-11-10 安富 正文	○被災した港運事業者の荷役機械の整備については既存の条件より有利な条件で助成することとし、また、被災した荷捌き施設等物流施設の整備については新たに低利融資又は利子補給を行うこととした。(4月18日)		03-3432-1080 (市川)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)港湾空港建設技術サービスセンター	東京都千代田区霞が関3-3-1 広瀬 宗一	<p>○地震発生後、直ちに理事長を本部長とする「東北地方太平洋沖地震対策本部」及び「同仙台支部、横浜支部」を設置(3月11日)</p> <p>○各地方整備局等からの要請を受け、全国12支部において緊急の施設点検調査を実施。(3月12日~)</p> <p>○国土交通省港湾局からの要請により、阪神淡路大震災時の対応について、経験メモを提供。(3月13日)</p> <p>○現地情報の収集及び支援物資搬送のため本部・新潟支部より調査団(第一次)を派遣(3月15日)</p> <p>支援物資については、宮古市役所、釜石市役所に配布。</p> <p>○国土交通省航空局からの要請により、羽田支部より仙台空港復旧方針検討のために職員派遣(3月15日)</p> <p>○新潟支部による2回目の支援物資(宮古市向け含む)搬送(3月19日)</p> <p>○仙台空港、仙台塩釜港の被災状況を調査。東北地整と復興に向けた連絡調整のため調査団(第二次)を本部・新潟支部より派遣。(3月21日)</p> <p>○当センター内に「東日本震災復興支援室」を立ち上げ(3月29日)。本部及び全国の各支部職員ならびに臨時職員の採用により4月15日に40名体制整備完了。順次現地派遣。 4月1日より支援室横浜対策部にて本部等より5名を増員して、鹿島港、茨城港の災害復旧関連業務開始。</p> <p>○茨城県から国土交通省を通じ職員派遣要請があり、職員4名を派遣。(4月18日から)</p>	<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を職員から募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。(3月中旬から募集中)</p> <p>義援金約37万円。(平成23年4月18日現在)</p>	03-3503-2081 (木崎)	
(特社)港湾荷役機械システム協会	東京都港区西新橋2-17-2 櫻井 眞	<p>○被災を受けた港湾荷役機械及びケーソンヤードの被災状況の本格調査と復旧工事の検討に先駆けて、事前調査を石巻港、小名浜港において実施した。(4月11日から実施し、15日に完了)</p> <p>△また、青森港、八戸港、むつ小川原港、大船渡港、宮古港、石巻港、仙台港、相馬港、日立港、小名浜港、常陸那珂港、鹿島港においても同様の事前調査を実施予定。(5月中旬までに実施予定)</p> <p>△設置者からの要請を受け港湾荷役機械の本格調査等を実施予定(要請があり次第実施予定)</p>	<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、(特社)日本港湾協会を通じて日本赤十字社へ寄附。(4月1日より開始し、6月下旬まで実施予定)</p>	03-5472-4791 (田原総務部長)	
(特社)郡山労働基準協会	福島県郡山市桜木町二丁目22-7 会長 長田 康男	<p>○震災・原発事故に起因する、当協会発行のすべての修了証の再発行を無料とする(平成24年3月31日まで)。</p>		024-932-3266 (専務理事 東城 忠則)	
(特社)古河法人会	茨城県古河市鴻巣1189-4 弓削 重次		<p>△茨城県へ5万円を寄附を行う予定(5/19総会決議後を予定)</p>	0280-48-6123(島田)	
(特財)国際医学情報センター	東京都新宿区信濃町35 信濃町煉瓦館 戸山 芳昭		<p>△震災遺児育英資金創設(平成24年度予定(新法人移行に合わせ創設))</p>	03-5361-7080 (総務 加藤)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)国際エメックスセンター	兵庫県神戸市中央区脇 浜海岸通1-5-2 理事長 井戸 敏三		○事務所内に東日本大震災兵庫県義援金募金箱を設置し、義援金を募集(3月22日設置し、6月30日まで募集の予定)	078-252-0234 (総務課 和田 成史)	
(特財)国際金融情報センター	東京都中央区日本橋小 網町9-9 理事長 加藤隆俊	○職員の海外出張に際して、東日本大震災に関する客観的な情報を先方に提供する。特に東北や北関東の復興支援に資するため、これらの地域や日本からの輸出品に関する放射能関連等の風評被害の防止に努める。(4月・5月の出張予定:ポーランド、オーストリア、クロアチア、米国、メキシコ、ブラジル、タイ、シンガポール)	△東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄付を行う。(4月中旬以降のセミナー開催時に参加者からの寄付を募るとともに、職員からも寄付を募る予定)	03-4330-1015(高橋)	
(特社)国際経済労働研究所	大阪府大阪市中央区 北浜東3-14 大阪府立労働センター 4階 前川 朋久	○労働調査運動を担う研究機関として、運動体としての労働組合が、震災後、どのような活動を行っているかの調査を開始した。	△寄附を検討中	06-6943-9490 (専務理事 八木)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)国際研修協力機構	東京都港区浜松町1丁目18番16号 理事長 栃木 庄太郎	<p>○ 技能実習生の消息確認情報などについて関係行政機関と連絡調整を図りながら、被災地域に傘下の実習実施機関を置く監理団体に対し技能実習生の安否状況の確認を実施。次いで震災当時在籍していた技能実習生のその後の状況確認に向けた調査を実施</p> <p>○ 技能実習生、受入れ監理団体・実習実施機関等からの入国在留手続き、帰国相談、外国政府の帰国勧告や避難勧告への対応等に関する相談に、的確、かつ丁寧な案内と相談を実施。特に技能実習生に対しては母国語による相談を実施</p> <p>○ 入国・在留手続きに関し、外務省及び法務省がとっている特別措置や国内外の関係機関から発信される震災関係の重要情報を監理団体や実習実施機関等が即座に入手できるようにホームページの中に特集ページを設置</p> <p>○ 送出国の政府窓口や大使館に対し、その必要に応じて被災地域における監理団体・実習実施機関・技能実習生の状況等に関する情報を提供。今後は、東日本大震災に伴う特例措置等の海外向けの情報提供や、受入れ側のニーズ情報を送出国へ提供することを準備</p> <p>○ 被災地域の監理団体・実習実施機関、技能実習生に対し、メンタルヘルス等に関するセミナー、母国語相談、入国在留手続等説明会等を開催するとともに、メンタルヘルスアドバイザーによる現地集合相談・訪問相談を実施(4/27水戸市、4/28福島市、5/13仙台市、5/20盛岡市など)</p> <p>○ 震災発生10日間経過しても電話・FAXが音信不通で安否の確認が取れない2団体に対しては、JITCO本部より現地の避難所まで職員を派遣して面談し、技能実習生・受入れ機関関係者の安否を確認(3月25日～26日:仙台市、石巻市、女川町へ職員派遣)</p> <p>○ 現地の受入れ機関の今後の事業再開への課題やニーズ、要望を直接聴取するため、JITCO本部より現地へ役員を派遣し、被災地の避難所や仮設事務所にて監理団体関係者と面談して打ち合わせを実施すると共に、仙台入管局、宮城労働局、宮城県庁とも最新の情報の共有などを目的として情報交換を実施(4月13日～14日:仙台市、石巻市、女川町、気仙沼市)</p> <p>○ 損害保険会社・損害保険代理店に対して、被災地域における技能実習生総合保険の支払い手続きの迅速化と弾力的運用の要望を提出</p> <p>○ 地方入国管理局に対する入国・在留関係諸申請に当たって、当機構が技能実習生、監理団体、実習実施機関に代わって取次申請を行っているところ、その取次料について、被災地域の7県に該当する事案の取次料請求に対する支払い延長への相談を実施</p> <p>○ 経済産業省の要請により、監理団体及び実習実施機関に対して【平成23年東北地方太平洋沖地震に伴う支援に関するお願い】をホームページにて広報し、物資支援を1件実施</p>	<p>○ 東日本大震災緊急支援のための義援金を日本赤十字社へ寄附(ベトナム・中国の送出国からの義援金を日本赤十字社への義援金としての提供)</p>	03-6430-1105 (総務部企画調整課 中村・大谷)	(財)国際研修協力機構ホームページ http://www.jitco.or.jp/index.cgi (同HP内地震関係情報ページ) http://www.jitco.or.jp/iishin/
(特社)国際建設技術協会	東京都千代田区麹町5-3-23 理事長 山川 朝生	<p>○ 当協会が3ヶ月に一度発行している英語による機関紙「IDIクォーターリー」4月号を東日本大震災特集号として編集し、今回の震災によるインフラの被災状況ならびに応急復旧の状況を中心に掲載するべく原稿作成中である。4月末までに原稿を完成させ、海外にメール配信する予定である。(IDIクォーターリーは当協会と関係有する世界95カ国の884人に登るインフラ関係機関担当者を中心にメール配信しているものである。)</p>		03-3263-7901 (研究第一部 笠松)	
(特社)国際厚生事業団	東京都新宿区富久町16-5 角田 隆	<p>○ EPA外国人看護師・介護福祉士候補者の安否について各受入れ施設に連絡をとり、全員無事を確認した。(3月12日～13日)</p> <p>△ 被災地において就労を続けるEPA外国人看護師・介護福祉士候補者のメンタルヘルス面の状況について、当事業団の専門相談員が電話等によるヒアリングを実施する。</p>		03-3225-6591 (稲垣)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)国際交流サービス協会	東京都千代田区霞が関2-2-1 会長 松田慶文	○災害ボランティア通訳の広報を当方のホームページ等により行い、災害ボランティア通訳を必要としている方々(団体)に対し案内及び紹介の実施(3月24日より実施し4月10日終了)	○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附(4月13日)	03-3580-0905 (管理部 利岡 聖二)	
(特財)国際港湾協会協力財団	東京都港区海岸1-16-1 会長 染谷 昭夫		○国際団体「国際港湾協会」に協力し、3月31日より、世界90ヶ国、350の会員にHP・メールマガジンで東日本大震災緊急支援のための義援金を募集、受け取った義援金は、日本赤十字社に送っている。4月15日現在、10,000米ドルを超える義援金が集まっている。	03-5403-2770 (三浦)	http://www.kokusaikowan.jp
(特財)国際石油交流センター	東京都豊島区東池袋3-1-1、サンシャイン60ビル58階 木村 彌一	○本センターホームページに被災地。被災者へのお見舞い文を掲載 ○ホームページに日本政府からの各種情報(節電計画の促進等)を掲載し、会員各企業等への周知を図っている(随時) ○本センターとしての夏期の節電行動計画を策定し公表の予定		03-5396-6000 (斉藤)	
(特財)国際調和クラブ	岐阜県羽島市福寿町平方7-33-2 青山 毅		○地元行政機関を通じ、岐阜県産ハツシモ精米(5Kg)4300袋の物資を支援(4月3日実施) ○地元行政機関を通じ、パックご飯45000食の物資を支援(4月20日実施)	058-397-0232 (奥田)	
(特財)国際花と緑の博覧会記念協会	大阪府大阪市鶴見区緑地公園2-136 三井 康壽		△東日本大震災の復興支援のため義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。(4/29~5/1に実施する鶴見緑地フラワーカーペットにおいて行う。)	06-6915-4513 (事業部 三谷)	
(特財)国際文化会館	東京都港区六本木5-11-16 理事長 明石 康		○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。(3月14日から実施)	03-3470-3212 (小野澤 究)	http://www.i-house.or.jp
(特財)国際平和機構	東京都千代田区永田町2-9-8-604 理事長 吉成 昇		△平成23年3月11日の東日本大震災当日、第2回文化フォーラムを開催していたが、講演途中で地震が発生し、講演会を中止とした。この開催にあたり参加費等の収入があり、これを支援金に活用すべく、出席者に呼びかけを行う活動を実施中	03-3580-1135 (水越 好治)	
(特財)国際保険振興会	神奈川県横浜市戸塚区品濃町880-8 第一生命東戸塚教育センター 代表者 山口公生	○主にアジアの国の保険事業者・保険監督当局・協会を通じ、在日者への支援の申出を行っている。現時点での支援要請は無い。(具体的な支援内容は明示していないが、要請があった場合には原状の枠組みの中で出来る限りの対応を行う予定) △(震災復興活動の広報)社団法人生命保険協会の協力を受け、震災時におけるわが国生保業界の対応状況を、アジアを中心とした海外の保険事業者等へ情報提供することを企画・準備中。損保業界についても検討中		045-827-2671 (担当 正井)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)国際臨海開発研究センター	東京都港区赤坂1-9-20 黒田 秀彦		○財団内及び外部団体内で有志を募り、被災者支援のための寄附を行った。	03-5570-5931 (大島)	
(特財)国際労働財団	東京都千代田区神田 神保町3-23-2 錦明ビル5F 理事長 高木 剛	○連合が実施する救援ボランティアに希望する職員を派遣(福島県・会津ベースキャンプ)	○連合が実施する東日本大震災救援カンパに役員が寄附を行った。(3月末)	03-3288-4188 (大島)	
(特財)国鉄労働会館	東京都港区新橋5丁目 15番5号 理事長 濱中 保彦	○被災地住民(宮城県)へ7名を派遣しボランティア活動。また、第2陣を4月24日から30日まで同様のボランティアを派遣し被災者復興活動に参加している。(4月17日~22日)	△寄附を検討中	03-3437-6733 (伊藤 秀樹)	
(特財)国土地理協会	東京都港区西新橋3-5-2 鶴田 定巳		○日本赤十字社を通じて200万円を寄附。(3月31日実施) △今後も年度毎に継続して寄附を行う予定。	03-3433-1561 (杉山 正剛)	
(特財)国民公園協会	東京都千代田区皇居外 苑1-1 会長 福澤 武	○京都御所の一般公開(4/6~4/10)時の臨時売店売上金の一部を義援金とします。金額については、現在調整中です。		075-211-6364(支部京都御苑 総務部長 加藤 悟)	
(特財)国民保健会	東京都新宿区左門町9番地 玉盛 やす子		△4月初旬から5月中旬までの間に開催する例会などの会合の席にて募集した「東日本大震災緊急支援のための義援金」をとりまとめ、5月下旬に日本赤十字社へ寄付を行う。	03-3351-2141(汐満悦郎)	
(特社)小倉労働基準協会	福岡県北九州市小倉北区 田町11-15 石川 昌弘		○門司労働基準協会と合併した記念行事を取りやめ、震災復興のため(特財)毎日新聞西部社会事業団へ300万円を寄附(4月18日実施)	093-583-3811 (事務局長 藤本 輝吉)	
(特財)古都飛鳥保存財団	奈良県高市郡明日香村 大字越13-1 山口 昌紀	○東日本大震災緊急支援のため、財団運営各施設(総合案内所・研修宿泊所・高松塚壁画館)において募金活動を実施(3/14から実施) <5月GW明け頃に一度取りまとめ、日本赤十字社を通じて寄附を行う予定>	○当財団が加入する公益財団法人公益法人協会が募集を行った「東日本大震災被害者緊急支援のための救援基金」に対し、寄附を行った。(3/22) ○東日本大震災緊急支援のため、財団運営各施設(総合案内所・研修宿泊所・高松塚壁画館)において募金活動を実施。(3/14から実施) <5月GW明け頃に一度取りまとめ、日本赤十字社を通じて寄附を行う予定>(再掲)	0744-54-3338 (藤原)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)ゴム産業会館	東京都豊島区目白2-3-3 北条 敏明	<p>○会員労組・企業に対し雇用調整助成金制度等の厚労省・経済産業省の震災支援制度の内容について情報提供を実施(各省庁から出された内容を随時情報提供)</p> <p>○福島原発事故の30km以内の労組・企業に対して、雇用調整助成金制度が適用されないため、従業員の雇用確保対策の一環として失業給付の特例を申請することも可能等、それらの情報提供を実施</p> <p>○東北地方に限らず、今回の大震災では鹿島コンビナート等も破壊されたことから、原材料の供給が大問題ともなっており、それらの情報を収集し提供。また、自動車関係部品会社も休業を余儀なくされており、それらの関係情報提供も実施</p> <p>○その他、随時、質問・問い合わせに対して対応実施</p>		03-3984-5656 (三浦 正義)	
(特財)雇用振興協会	東京都千代田区鍛冶町2-2-1 河合 輝欣	<p>○平成23年3月12日に厚生労働省が東日本大震災に係る被災者及び福島原発に係る避難者に対して、雇用促進住宅を一時的な入居及び緊急避難場所として家賃・敷金等を無償で活用としたことから、(独)雇用・能力開発機構の委託を受けて当協会が管理・運営をしている雇用促進住宅(東北3県(岩手、宮城、福島)においては113住宅)の被害状況を確認し、入居者の安全面、衛生面を考慮した緊急の修繕及び入居関連業務等を行っている。(被災者および避難者の受入について、ホームページ上にも掲載して周知している)</p> <p>○以後、当協会としては各自自治体の災害対策本部等へ空戸情報の提供及び雇用促進住宅の入居関連業務を行っている。 (4/14現在即入居可能戸数12,928戸、4/19現在入居決定数6,926人(2,143戸))</p> <p>○当協会が運営する駐車場についても、雇用促進住宅に一時的に入居した被災者等に対して無料で提供することとした。</p>	<p>○平成23年4月4日 平成23年東日本大震災被災者支援のための義援金を日本ユニセフ協会に寄附した。</p>	03-5294-1011 (室井)	http://www.e-d-a.or.jp/
(特社)コンクリートボール・パイル協会	東京都港区浜松町2丁目7番15号 日本工築二号館 会長 黒瀬 晃		<p>△東日本大震災の被災者に義援金50万円を送るべく5月19日の総会で決議。近日中に日本赤十字社を通じて寄附する予定。</p>	03-5733-7091 (専務理事 稲山 貞治)	
(特財)近藤記念海事財団	東京都港区南麻布5-9-3 兼坂 政樹		<p>△宮古海上技術短期大学校に対し、復旧支援活動の一つとして義援金を送る計画を検討している。 (5月下旬に実施予定)</p>	03-3473-5613 (柴田)	

さ 行

(特社)再開発コーディネーター協会	東京都港区西新橋2-16-2 会長 伊藤 滋	<p>△当協会では、阪神・淡路大震災の経験をもとに、会員を中心とする民間からの寄附により、大震災等の災害時における被災地の復興初期の支援活動をするための基金を保有している。その基金を活用し、被災地の復興に際し、まちづくりやマンション建替え等の経験を生かした支援活動の実施を検討中。 現在は、被害の大きかった県等の担当者との意見交換等を通じて地元のニーズの把握に努めている。</p>	<p>○当協会では、震度6強以上の地震により市街地及び建築物に大きな被害が発生し市民生活に多大な影響が生じた災害に対し、義援金の支援を行うこととしている。 その基準に従い、東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、被害の大きかった岩手県、宮城県、福島県、茨城県、仙台市へ寄附。(募集期間は5月31日までだが、順次実施中)</p>	03-3437-0261 (星崎)	
-------------------	---------------------------	--	---	----------------------	--

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)細菌製剤協会	東京都新宿区津久戸町3-11 TH1ビル飯田橋9階 荒井 節夫			〇東日本大震災緊急支援のための義援金50万円を日本赤十字社へ寄附(3月30日実施)	03-3269-6591 (事務局 稲田 裕二)
(特社)さいたま観光コンベンションビューロー	埼玉県さいたま市大宮区錦町682-2 JACK大宮3F 会長 清水 猛	〇被災地の避難者が、来県された際に周辺の各種情報の提供(ホームページ・ツイッター・パンフレット提供)などの支援を行った。		△東日本大震災支援のため、義援金箱を事務所窓口に設置。集まった義援金は、日本赤十字社に寄付をする予定。 △東日本大震災支援のため、お祭り・イベントの開催時に義援金箱を用意し、来場者に義援金の呼びかけを行い、集まった義援金は日本赤十字社に寄付をする予定。	048-647-8338 (総務担当 正野) 入浴施設 http://www.scvb.or.jp/mogitate/2011/03/onsen-sento.html 支援物資受付 http://www.scvb.or.jp/mogitate/2011/03/shienbussi.html
(特社)埼玉県銀行協会	埼玉県さいたま市浦和区仲町1-4-10 会長 上條 正仁	〇協会傘下金融機関に対し、3月11日に金融担当大臣及び日本銀行総裁の連名により要請があった「東北地方太平洋沖地震にかかる災害に対する金融上の措置について」各銀行傘下各支店に更なる周知徹底を行うよう、通知(3月22日) 〇地元銀行に対し、休日営業の店舗一覧・相談窓口についての店頭掲示及び新聞・ホームページへ掲載し、利用者への周知徹底を要請(3月25日)			048-829-2151(松本)
(特社)埼玉県商工会議所連合会	埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 松永 功	〇臨時総会において、日本商工会議所が東北関東大震災の義援金等の支援策を決定したことに伴い、連合会・15商工会議所も義援金対応について方針を決めておくべきであると緊急議案を提案、意見交換の場を設定した。(3月15日) 〇日本商工会議所からの被災地商工会議所への職員派遣要請を受けて、県内商工会議所への協力要請及び派遣リストの取りまとめを行う。(4月8日依頼)		〇東日本大震災緊急支援のための義援金を日本商工会議所を通して被災地商工会議所へ30万円振り込む。(4月26日付)	048-647-4115 (安原、井上)
(特社)埼玉県バス協会	埼玉県さいたま市浦和区高砂2-2-15 埼玉県交通会館2F 池田 敦	〇埼玉県からの避難者等輸送要請により実施 ①【福島県双葉町民の避難者輸送】 ・輸送年月日 :平成23年3月19日(土) ・輸送区間 :福島県川俣町～さいたまスーパーアリーナ ・輸送人員 :約1,180人 ・参加事業者数・車両数 :23社 40台 ②【福島県双葉町民の避難者輸送】 ・輸送年月日 :平成23年3月30日(水)及び31日(木) ・輸送区間 :①さいたまアリーナ～加須市(旧騎西町) ②さいたまアリーナ～県内施設 ・輸送人員 :約1,010人 ・参加事業者数・車両数:30日①6社 6台 31日①8社 8台 31日②4社 4台(ほか貨物1台) ③【被災地への看護師等輸送】 ・輸送年月日 :①平成23年3月22日(火)～23日(水) ②平成23年3月27日(日)～28日(月) ③平成23年3月31日(木)～ 1日(金) ④平成23年4月 5日(火)～ 6日(水) ⑤平成23年4月10日(日)～11日(月) ・輸送区間 :埼玉県内病院 ～ 宮城県気仙沼市立病院 ・輸送人員 :延べ100人 ・参加事業者数・車両数 :1社5台(延べ10台)			048-824-5539 (鶴岡)

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)細胞科学研究財団	大阪府大阪市中央区道修町3-1-8 塩野 元三			△義援金の拠出を検討中。理事会、評議員会(平成23年6月開催)の承認後、寄附金として拠出予定。拠出方法については全国LSFにて検討する。	06-6202-2139 (事務局 今津)
(特社)堺観光コンベンション協会	大阪府堺市堺区南瓦町3番1号 堺市役所2階 会長 和田 貞夫	△今年10月3週の土曜・日曜に開催する堺まつりで被災者支援・震災復興に向けた活動や義援金の募集などを行う予定			072-233-5258
(特社)佐賀県自動車整備振興会	佐賀県佐賀市若楠2丁目10-10 内田 健			○東日本大震災緊急支援のための義援金を、九州ブロックで取りまとめ、本部(日整連)を通じて被災地へ届ける予定。(4月下旬予定)・・・振興会 ○各支部で会員より見舞金(義援金)を募り、本会でまとめて日整連へ送金し、被災地の自動車整備振興会へ届ける予定。(5月下旬予定)・・・会員	0952-30-8181 (佐藤)
(特社)佐賀県バス・タクシー協会	佐賀県佐賀市若楠二丁目7番2号 会長 金子 晴信			○平成23年3月31日 東日本大震災被災者支援義援金として(公社)日本バス協会を通じ、日本赤十字社へ20万円寄付。また、(社)全国乗用自動車連合会を通じて、被災地タクシー協会へ義援金20万円を寄付。	0952-31-2341 (森川 直行)
(特社)佐久法人会	長野県佐久市中込2976-4 中沢 道保			○東日本大震災緊急支援のための義援金を法人会の会計から、10万円を日本赤十字社へ寄附した。(3月20日) ○東日本大震災緊急支援のための義援金を法人会南牧支部の会計から、10万円を日本赤十字社へ寄附した。(3月18日) ○東日本大震災緊急支援のための義援金を法人会望月支部の会計から、3万円を佐久市社会福祉協議会を通じて日本赤十字社へ寄附した。また、栄村震災義援金として同会計から3万円を佐久市社会福祉協議会を通じて日本赤十字社へ寄附した。(3月18日) △東日本大震災緊急支援のための義援金を法人会の会計から、10万円を日本赤十字社へ寄附を行う。(6月実施予定)	0267-63-2887(事務局 専務理事 小須田友二)

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財) 笹川記念保健協力財団	東京都港区赤坂1-2-2 紀伊國 献三	<p>○自治医科大学医学部同窓会東日本大震災支援プロジェクトに協力している。 (被害の大きい被災地の内長期的な支援を求めている3地域[宮城県登米地域、岩手県東磐城地域及び宮城気仙沼地域、岩手県釜石市地域]へ自治医大同窓会を中心とした医師ボランティア延96名を派遣し、医療支援を行う。)(3月15日～)</p> <p>○東北大学大学院医学系研究課微生物学分野押谷研究室が実施する東日本大震災の被災地・避難所における感染症対策に関する調査研究支援を行っている。 (被災地における衛生状況のリスク・アセスメントと感染症対策に伴う緊急調査を行う。)(4月上旬～)</p>		03-6229-5377 (松本)	
(特財) 笹川平和財団	東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル4階 羽生 次郎	<p>○日本財団東日本大震災支援基金への寄附の呼びかけ(電話・メール・HPなど)</p> <p>○日本財団(CANPANプロジェクト)が実施した街頭募金活動(3月19日～21日、都内10箇所)への参加</p> <p>○日本財団が実施する弔慰金・見舞金の支給活動へ職員派遣(4月14～17日:東松島市)</p> <p>○日本財団東日本大震災支援への寄附呼びかけを海外へ積極的に発信展開中(中東向けアラビア語HP、中国向け中国語HP、英語)、マーシャル諸島共和国大使による寄付金持参の受入</p>	○財団内において東日本大震災緊急支援のための救済金を募集し、日本財団東日本大震災支援基金に寄附(3月14日～31日実施)	03-6229-5428 (総務副部長 相澤)	http://www.spf.org/
(特社) 札幌観光協会	北海道札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所内2階 会長 星野 尚夫		○東日本大震災被災地支援の義援金募集のため、当協会運営の「さっぽろ羊ヶ丘展望台」に募金箱を設置、日本赤十字社へ寄附を実施。現在も引き続き実施中。 △ミスさっぽろによる義援金募集活動を実施予定。(4/29・30)集まった義援金は日本赤十字社へ寄附。	011-211-3341 (小熊)	
(特社) 札幌北法人会	北海道札幌市北区北24条西4丁目 第26桂和ビル5階 牧野 利春		○青年部会研修会で募集した義援金を寄附した。	011-709-8802(飯田)	
(特社) 札幌銀行協会	北海道札幌市中央区大通西3丁目7番地 北洋大通センター13階 横内 龍三		○全国銀行協会を通じ、東北被災地区3銀行協会に見舞金	011-251-9201 (事務局次長 平田 治)	
(特財) 札幌市交通事業振興公社	北海道札幌市中央区大通西5丁目 地下鉄大通駅西側コンコース内 理事長 下村 邦夫		△東日本大震災緊急支援のため、日本商工会議所へ義援金の寄贈をする。(4月下旬の予定)	011-251-0821 (米澤)	
(特社) 札幌地区自家用自動車協会	北海道札幌市東区北30条東1丁目1-1 会長 岩田 圭剛		○各協会が納入している会費及び負担金を財源とし、上部団体である全国自家用自動車協会及び全国自動車標板協議会より義援金を取扱機関(日本赤十字社)等へ支出している。	011-721-8203 (滝口)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)札幌地区トラック協会	北海道札幌市東区北28条東1丁目2-8 会長 伊藤 昭人	○北海道からの要請により、3月15日と18日に被災地へ緊急支援物資の輸送。札幌地区トラック協会と連携して後志総合振興局等6カ所から原子力防災資機材を新千歳空港まで輸送。 ○北海道からの要請により、3月20日に被災地へ緊急支援物資の輸送。札幌、函館、室蘭地区トラック協会と連携して札幌・函館・室蘭方面より食料品、医薬品等を車両15台に積み、宮城県・岩手県の被災地へ輸送。	○東日本大震災の為の義援金を募集(3/25～4/20)北海道トラック協会・全日本トラック協会を經由、関係自治体等へ寄附を行う。(4/15現在350万募金)	011-751-4231 (総務部 田中)	
(特社)札幌地方自動車整備振興会	北海道札幌市東区北24条東1-1-12 会長 高薄 浩志		○東日本大震災緊急支援のための義援金として、日本赤十字社へ寄附(50万)を行った。 ○道内7振興会より北整連に集約して、日整連に送金し、整備事業者向けに寄附を行った。	011-751-1411 (総務部総務課 鶴見)	
(特社)札幌中法人会	北海道札幌市中央区北3条西3丁目 札幌大同生命ビル11階 中山 菊雄		○青年部会臨時総会(3月22日)において募金箱を置き義援金を募い、仙台中法人会あて送金(3月25日) ○女性部会連絡協議会での募集。会長名で東日本大震災義援口座をつくり会員に募集している。(4月25日まで)寄附先は日本赤十字社。	011-221-5087(森)	
(特社)札幌ハイヤー協会	北海道札幌市中央区南8条西15丁目4-1 会長 加藤 欽也		○上部組織である全国乗用自動車協会を通じ、被災地のハイヤー協会へ義援金(150万)を寄附した。	011-561-1171 (総務部 鈴木)	
(特社)札幌南法人会	北海道札幌市中央区北1条西2丁目 北海道経済センター9階 安齋 允		○役員及び会員あて案内送付(3月18日) ・振込先～専用口座を開設 ・募集要綱作成～日本赤十字社へ拠出する。	011-251-7863(小川)	http://www.satsu-minami.jp/
(特社)茶道裏千家淡交会	京都府京都市上京区堀川通寺之内上る寺之内 堅町682 理事長 千 宗室	○今般の東北地方太平洋沖地震に際し、すぐに「裏千家対策本部」を設置して、会員の罹災状況に関する情報収集に務めるとともに、全国167支部(所)・青年部・学校茶道連絡協議会の下部組織へ被災された会員の救済・支援のための義援金の協力を呼びかけた。 ○各被災地の会員へ災害見舞金等の給付を実施した。5月29日には岩手県盛岡市で51名に対し785万円、6月2日には福島県郡山市で137名に対し991万円、6月3日には福島県いわき市で81名に対し882万円を給付した。今後も宮城県仙台市、気仙沼市、岩手県一関市、福島県福島市等で給付活動を継続する予定 △このほか、全国の下部組織及び会員から寄せられた義援金の一部を「京都新聞 社会福祉事業団」へ寄附を行い、罹災者への義援金として役立てていただく予定である。	○義援金として京都新聞福祉事業団を通じて4月19日に1千万円を日本赤十字社へ、宮城県仙台市を通じ5月16日に東北3県の復興のために1千万円を寄附した。	075-451-5166 (総務部 山田 行圓)	
(特社)佐渡法人会	新潟県佐渡市千種50-5 金子 忠		△今後開催する各種社会貢献活動(税金クイズや講演会、イベントなど)において、東日本大震災緊急支援のために募金活動を実施し、集まった義援金を日本赤十字社に寄附する。(5月22日開催のイベント活動から実施予定)	0259-63-4234(市野)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)佐野法人会	栃木県佐野市大和町 2687-1 佐野商工会議所内 島田 嘉内	○東日本大震災緊急支援のため、法人会員に対して3月末に佐野法人会のホームページに掲載するとともに、青年部・女性部・本会役員にはFAXで連絡し募金を募った。(募集期限は6月30日として、7月中旬には佐野市を通じて日本赤十字社へ寄附する予定である。)	○法人会員から1口千円の募金を募り、4月20日現在で39社、493千円の寄附金が集まっている。(6月30日期限で7月中旬寄附予定)	0283-22-8884(事務局 長 若田部 浩子)	http://www.sctv.jp/~sanohou/
(特社)佐野労働基準協会	栃木県佐野市富岡町 1296-3 会長 川崎 誠		○寄附金3万円を(特社)全国労働基準関係団体連合会を通じて日本赤十字社に寄附	0283-24-6470 (専務理事 中島秀夫)	
(特社)砂防学会	東京都千代田区平河町2 -7-5 鈴木 雅一	△東日本大震災で生じた土砂災害の実態の把握やその発生機構等の解明をはじめとして、急を要する課題、根源的課題の両者を検討対象とする委員会を設け、調査を行い、安全・安心な国土形成に役立つ成果の公表を行う。		03-3222-0747 (砂防学会事務局 阿部 宗平)	http://www.isece.or.jp/index.html
(特財)砂防・地すべり技術センター	東京都千代田区九段南 4-8-21 池谷 浩	○震災後に発生が危惧される土砂災害についての注意点等、被災地域に役立つ情報をテレビ、ラジオのメディアを通じ広く発信した。今後も機関誌「SABO」による広報も含め積極的に防災情報を発信する。 △H20年発生の岩手・宮城内陸地震等大規模地震の際に、国等からの要請により被災現地に赴き実態調査を行っており、今後、国、県から要請があり次第、同様の人的支援活動を行う。	△東日本大震災の被災地支援のため、財団としての義援金並びに職員から募集した義援金を合わせて、日本赤十字社へ寄附を行う。	03-5276-3271 (総務課 坂本)	
(特財)砂防フロンティア整備推進機構	東京都千代田区平河町2 -7-4 理事長 森 俊勇	△被災地の復興支援策(案)に関する資料等の作成及び資料等の主務官庁への提供	△東日本大震災支援のための義援金を役職員から募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。(3月中旬より募集) △機構として、被災された市町村を中心に寄附を実することを検討中。	03-5216-5871 (上野)	
(特財)産業医学振興財団	東京都港区赤坂2-5-1 理事長 櫻井 治彦	△メールマガジン等により、東日本大震災で被災した関係団体に対し、当財団発行の図書の取得希望を募り、無償配布することを予定	○東日本大震災緊急支援のため日本赤十字社へ寄附(3月31日実施)	03-3584-5421 (総務課 辻)	
(特社)産業環境管理協会	東京都千代田区鍛冶町 2-1-1 三井住友銀行神田駅前ビル 会長 南 直哉	○被災者等に配慮し、当協会が実施している公害防止管理者向け講習会の開催日程調整や環境マネジメントシステム審査員登録手続の期間延長などを実施 △環境問題に関する被災自治体やNPOからの相談や専門家紹介依頼等に対応するとともに、当協会の職員とOBの協力による廃棄物対策や土壌汚染除去などに関する支援活動を実施。また、被災地への支援活動を促進するため、協会職員に対してボランティア休暇を承認	△本年12月15日～17日に開催される「エコプロダクツ展2011」において義援金を拠出	03-5029-7701 (室長 松崎直樹)	http://www.jemai.or.jp
(特財)産業殉職者霊堂奉賛会	東京都千代田区神田 須田町2-6 会長 戸田 順之助	○東北大震災の犠牲者に対する慰霊と明記した上で「春の慰霊式」を実施(5月14日実施) △当会の被災地域の会員に対する会費を免除するとともに際しに関する当会の支援活動を積極的に広報する予定(23年度分から実施)	○来会者の「花いっぱい募金」の寄附相当額を日本赤十字社へ寄附(6月上旬)	03-3250-8323 (二俣)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)産業廃棄物 処理事業振興財団	東京都千代田区鍛冶町2 -6-1 堀内ビル3階 樋口 成彬	<p>○災害廃棄物処理の実務的支援を行うため、仮置き場等の災害廃棄物処理の状況把握を目的に、4月11日～14日に岩手県、宮城県、仙台市、福島県に担当者4名を派遣し、現状や要望に関するヒアリング、現地調査を行った。また、4月19日～21日にかけて、別途災害PCB廃棄物の処理の技術的支援を行うため、岩手県、宮城県の現地調査に3名の担当者を派遣し、状況を把握しているところである。</p> <p>○環境省と連携して災害廃棄物の処理技術に関する実務的支援を行うための専用電話・専用電子メールを4月12日に設置して、専門相談窓口の体制を整備した。</p> <p>○災害廃棄物の運搬・処分委託先の情報をホームページで確認できるようにするためのシステムの改良を行い、近日中にホームページに掲載する予定である。</p> <p>○環境省から災害PCB廃棄物の適正処理検討等業務を受託し、災害PCB廃棄物の確実かつ適正な処理等に係る検討を行うため、学識経験者及び専門家等を構成員とする「東日本大震災に係る災害PCB廃棄物の取り扱いに関する検討チーム」を設置して運営することとしている。</p> <p>△国土交通省所管の公益法人と、がれきの適正処理・リサイクル方策についての共同検討(勉強会)を行う方向で調整中。</p> <p>○4月28日に千葉県旭市において、土砂混じりの災害廃棄物の処理に関する技術的支援を実施した。</p> <p>○今後とも、災害廃棄物の適正処理が円滑に推進されるよう技術的支援(電話等相談及び専門家助言チームの現地派遣等)を行うこととしている。</p>	<p>○東日本大震災義援金として日本赤十字社へ100万円を寄付(5月9日)</p>	03-3526-0155 (事務局 稲垣)	http://www.sannpainet.or.jp/
(特社)三条法人会	新潟県三条市須頃1-20 中條 耕二		<p>○法人会事務局に東日本大震災緊急支援のための募金箱を設置し、集まった募金11万円を日本赤十字社へ寄附した。(4月21日)</p>	0256-35-6350 (鈴木専務理事)	
(特財)三徳庵	東京都新宿区左門町20 理事長 田中 博民	<p>○被災地(いわき市)からの要請により、会員によびかけて支援物資を送付</p> <p>○ボランティア茶会を行う会員を支援</p> <p>○本部教場に通う人が4月の最初の稽古の時に千羽鶴をおることで、被災者に対する思いを一つにして、茶を通じてできる支援のために備えている。</p> <p>△被災地域、あるいは都内の避難場所などで、お茶を通して被災者の励ましや支援の可能性を検討中。アート作品の販売やコンサートなど入場料の売り上げを義援金として提供する団体などとの提携も模索しているが、お茶の提供には、ある程度の水屋の設置など、条件がうまく揃う必要があることから、選択肢の吟味と被災地の状況把握が課題となっている。</p> <p>△毎年7月に当財団が都内で行っている茶道講習会は、全国から茶道に親しむ人々が、模範点前を確認しに参加する行事であるが、今年度はこの会を被災地域の人々を支援する会と位置づけ、義援金を募ると共に、被災地域からの参加者を優先的に招き、交流会を行う予定である。義援金は、被災地域の茶道人にお茶を通して復興の活性化に繋がるような活動に役立ててもらおうと考えている。</p>		03-5379-0753 (総務部普及課 洪川 雄二)	
(特社)ジェイエイバ ンク支援協会	東京都千代田区丸の内3 -3-1 石井 清		<p>△東日本大震災による緊急支援のため、全国農業協同組合中央会を通じて義援金の寄付を行う。(5月末までに実施予定)</p>	03-5223-8581 (長谷川)	
(特社)ジェイエフマリン バンク支援協会	東京都千代田区内神田 1-1-12コープビル 阿部 周一		<p>○東日本大震災緊急支援のため全国漁業協同組合連合会が実施している義援金募集に応募し寄付(抛出日は3月28日)</p>	03-3292-6835 (清水)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)JKA	東京都千代田区六番町 4-6 石黒 克巳	競輪・オートレースの売上げによる公益資金を財源として、 ○災害物資の支援として日本赤十字社を通じて3億円を補助(3月16日) ○東日本大震災の支援活動を行うNPO等に対し、総額1億円(1団体300万円を上限とし補助率1/1)を補助(5月10日募集開始)		03-3512-1258 (白土)	http://keirin.jp/pc/dfw/portal/guest/info/shien2011/index.html
(特財)塩事業センター	東京都品川区大井1丁目 47番1号 NTビル5階 今井 正	○塩事業法に基づく備蓄塩の供給を以下のとおり実施 ①3月17日:食品加工用向けに備蓄塩約900トン进行供給 ②3月28日:食品加工用向けに備蓄塩約6300トン进行供給 ③4月27日:食品加工用向けに備蓄塩約3000トン进行供給 ○岩手県及び福島県の災害対策本部等からの要請に基づき、備蓄塩約18トンを無償で提供	○東日本大震災緊急支援のための義援金を日本赤十字社へ寄附(4月28日)	03-5743-7711 (企画部:靱持)	http://www.shioijvvo.com/a200/bichiku/
(特社)滋賀県銀行協会	滋賀県大津市末広町1-1 日本生命大津ビル5F	○金融庁からの金融上の措置について、手形の不渡り処分に柔軟な対応を行う旨、各社員銀行に要請。(3月14日通知)	△東日本大震災支援のための義援金を日本赤十字社へ寄附することを検討中。	077-522-1295 (福井 勝巳)	
(特社)滋賀県トラック協会	滋賀県守山市木浜町22 98-4 会長 岡田 博	○緊急救援物資等の輸送活動の実施。 政府、滋賀県、市町、市民団体等からの輸送要請により被災地への救援物資輸送を実施している。	○会員に対し、東日本大震災復興支援のための義援金を募集中(5月20日を一応の締め切り日とし同業を営む事業者に対し災害見舞金として被災地のトラック協会を通じ寄附予定)	077-585-8080 (種村)	
(特社)滋賀県バス協会	滋賀県守山市木浜町 2298-4 会長 中村 隆司		○近畿バス協議会に所属する近畿2府4県の各バス協会は東日本大震災に被災された東北地区の各バス協会が所属している東北バス協議会に対して義援金200万円を送る。(滋賀県バス協会10万円)	077-585-8333 (樋口)	
(特財)滋賀保健研究センター	滋賀県野洲市永原字上 町664番地 理事長 大道 重夫		○滋賀県野洲市を通じて日本赤十字に義援金を寄附 ○日本作業環境測定協会の義援金募集に応じて寄附 ○全国医師連盟の義援金募集に応じて寄附	077-587-3588 (反田)	
(特社)詩吟朗詠錦城会	東京都港区麻布十番 2-4-14 会長 山本 錦城	○被災地の会員の被災状況及び避難状況の調査を実施	○5月末を期間とし義援金の募集を行い、義援金として日本赤十字社や被災された会員に寄附する予定	03-5484-3301	
(特社)示現会	東京都北区中里1-17-4 理事長 樋口 洋	○3月30日から4月12日まで国立新美術館において、展示会を開催し売上金(入場料)全額と来場者や会員、準会員、会友、関係者による義援金箱設置による協力依頼	○展示会を開催し売上金(入場料)全額と来場者や会員、関係者による義援金を日本赤十字社 東日本大震災に被災された方への義援金として寄附	03-3824-9128 (理事・庶務係 錦織 重治)	ホームページにも記載予定です。

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)資源・環境 観測解析センター	東京都中央区勝どき3丁目12-1 鎌田 吉郎	<p>○東日本大震災発生後、地球観測衛星(だいち)搭載 合成開口レーダ(PALSAR)による被災地の緊急観測を実施してきている。大震災前後のPALSAR画像から、東北地方の地殻変動量の解析、津波被害域の解析等を行い、これら情報を行政当局に迅速に提供してきている。また、これら画像や解析結果は当財団(以下「ERSDAC」という。)ホームページで公開している。</p> <p>○ERSDACは、日米連携(経済産業省と米国NASA)の下に、地球観測衛星(Terra)搭載センサ(ASTER)の運用(観測計画作成、データ取得、データ処理、配付)を行ってきており、大震災による被災状況や復興状況把握のための緊急時観測を実施した。大震災前後のASTER画像から津波浸水域変化図等を作成し、これら情報を行政当局に迅速に提供してきている。</p>			
(特社)四国小型船 舶工業会	香川県高松市丸の内13-22 井村 勝	○被災地に立地する造船所は壊滅的な被害を受けているとの情報により、被災地で就業していた造船技術者、造船工の離職が予想されるため、四国地区の造船所において離職被災者(造船技術者、造船工)の受け入れが可能かどうか、現在会員に対しアンケート調査(4月15日締切り)を実施中。調査終了後においては、関係機関と調整する予定。	○東日本大震災の被害者支援のため、日本財団を通じて義援金(寄附)10万円を3月25日に拠出。	087-851-2872 (篠原 良一)	
(特社)四国自動車 無線協会	愛媛県松山市大手町1-7-4 会長 川畑政廣		△東日本大震災緊急支援のための見舞金を、(特社)全国自動車無線連合会を通じ寄附を行うことを検討中(6月中に実施予定)	089-943-5354(山本)	
(特社)四国建設弘 済会	香川県高松市福岡町3丁目11-22 理事長 福田 昌史	<p>○東北地方整備局仙台河川国道事務所管内の国道4、6、45号の道路施設の被災状況、災害遺構調査等を実施。当会からは、2名づつ、1週間単位で交代の体制で延べ38人日参加。(3/23~4/1、3/31~4/8) また、同局北上下流河川事務所管内の、北上川、旧北上川、鳴瀬川の堤防等被災箇所の災害復旧支援、行方不明者捜索のための内水排除ポンプ車の稼働状況調査を実施。当会からは、2名づつ、1週間単位で交代の体制で延べ36人日参加。(4/7~4/15、4/14~4/22)</p> <p>○四国地方整備局と土木学会四国支部では、宮城県内のリアス式地形、平野部地形の津波被害、北上川・名取川などの河川遡上の津波被害の実態を四国の地形等に照らし合わせ、今後の対策検討のため大学教授等の学術調査団を2次に渡って結成し、津波痕跡調査を実施。当会会員もこれに参加するという形で協力支援。(3/30~4/2、4/16~4/20)</p>	○東日本大震災緊急支援のための義援金として、被災地の岩手県、宮城県、福島県及び日本赤十字社、中央共同募金会へ寄附を行った。	087-822-1177 (黒木 人士)	
(特社)四国地区信 用金庫協会	香川県高松市西の丸町13番5号 山本 泰正		○東日本大震災の被災信用金庫が、地域金融機関として被災地の復旧、復興に全力を挙げて取組みができるよう、信用金庫業界挙げて被災信用金庫を支援する制度の一つである支援見舞金について、5月16日に社団法人 全国信用金庫協会が取りまとめる預金口座に送金した。	087-821-1010 (岡)	
(特社)四国電気・管 工事業協会	香川県高松市天神前3-11 会長 後藤 伸雄		○東日本大震災緊急支援のための義援金として、(特社)日本空調衛生・工事業協会を通じて寄附を行った。(※(特社)日本空調衛生・工事業協会からの寄附先は4月末に決定する予定。)	087-863-4130 (大前 喜代志)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)四国電気保安協会	香川県高松市福岡町3丁目31-15 溝渕 昌弘	○電力会社、東北電気保安協会からの応援要請に対応できるよう、資機材を含め応援体制を整えた。 △四国電力総連からの「東北地方太平洋沖地震被災地支援ボランティア活動」への参加(1名9日間5月中旬に派遣)	○全国の電気保安協会(被災した東北、関東を除く)で義援金を日本赤十字社へ寄附した。(3月23日)	087-821-5615 (企画部企画グループ:中條)	
(特財)静岡観光コンベンション協会	静岡県静岡市葵区追手町4-16 理事長 小嶋 善吉		○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。(4月8日から事務所をはじめJR静岡駅構内案内所、各管理施設計8箇所に募金箱を設置)	054-254-2212 (総務課 佐野恵子)	
(特社)静岡県観光協会	静岡県静岡市駿河区南町14-1 水の森ビル2階 会長 川勝 平太	○静岡県では東部地域が計画停電の範囲にあり日常生活に少なからず影響が出ておりますが、復興支援は被災地以外の私たちがまず普通の生活をする事と考え、お得な料金で宿泊していただき、その中から義援金をお送りする宿泊利用キャンペーンを実施中です。 (実施期間) 平成23年4月11日(月)~7月22日(金) ※4/28~5/8は除く (対象) 静岡県内の本キャンペーン参加宿泊施設 ※参加施設は、静岡県観光ホームページ”ハローナビじょか”(URL:hellonavi.jp)に順次掲載中です。	○お客様がお支払した宿泊金額の中から、大人1人1泊500円、子供1人1泊300円を、義援金として日本赤十字社を通じ東日本大震災の被災者の方々に寄付します。(キャンペーン終了後)	054-202-5595 (永島)	
(特社)静岡県自動車会議所	静岡県静岡市駿河区国吉田2-4-26 会長 大須賀 正孝		○東日本大震災緊急支援のための義援金を役員から募集し、法人としての寄附と合わせて静岡新聞社を経由して日本赤十字社へ寄附。(3月30日)	054-263-0261 (片瀬 秀明)	
(特社)静岡県自動車整備振興会	静岡県静岡市駿河区中吉田10-36 会長 杉山 智彦		○東日本大地震緊急支援のため岩手県・宮城県・福島県の整備事業者に対し、各整備振興会に義援金を寄付。 ○東日本大地震緊急支援のため被災者に対し傘下各支部で義援金を募集し、日本赤十字社に寄付。	054-263-0123 (木村)	
(特社)静岡県商工会議所連合会	静岡県静岡市葵区黒金町20-8 会長 後藤 康雄	△関東経済産業局が、中小企業支援ネットワーク強化事業の中で、被災地における中小企業支援活動に協力出来る職員の登録を受付けている件について、専務理事・事務局長会議にて全商工会議所に呼び掛けた(4月15日実施済み)。まだ未登録であるが、静岡商工会議所から2名分(延べ4名)が近日中に登録される予定。また、浜松市と同調し浜松商工会議所から2名が大船渡商工会議所へ出向く。尚、その他2~3の商工会議所についても、現在登録を検討中 ○今回の震災により、計画停電のあった伊豆地区のみならず、自粛ムード等により、静岡県内全域でホテル・旅館の予約が激減している。しかし、他県から静岡県に旅行にお願いしたいと言いくらい状況があり、静岡県内の宿泊施設は、静岡県民で守ろうとの考えに基づき、当県連から、この4~7月にかけて、社員旅行を実施して欲しい旨、団体や企業に声かけをしている。(社)静岡県信用金庫協会、(財)静岡県銀行協会、静岡県信用保証協会、静岡県中小企業団体中央会、静岡県商工会連合会、(社)静岡県経営者協会、静岡県広告協会などをお願いをし、既に、具体的に実施に向けて動き出している団体や企業もある。	○日本商工会議所の実施する「東北関東大震災義援金募金」(目標10億円)に協力すべく、4月15日の専務理事・事務局長会議にて意見交換し、県内全商工会議所から合計約37百万円(年会費の4%相当額)を集めることにて合意し、各商工会議所にて募金運動を開始。余り長引かせずに、目標額に到達させる考え。	054-252-8161 (専務理事・事務局長 杉 雅俊)	
(特社)静岡県信用金庫協会	静岡県静岡市葵区追手町2-20 会長 御室 健一郎		○東日本大震災緊急支援のための義援金1億円を日本赤十字社静岡支部へ寄附。(3月28日開催の理事長会で決定し、3月31日会長から支部長に目録を手交)	054-255-5530(小木曾)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)静岡県バス協会	静岡県静岡市葵区追手町 54-1 会長 竹内善一郎	<p>○県からの緊急輸送依頼が想定されたことから、3月12日～4月3日まで土日祝日出勤し緊急連絡体制をとった。</p> <p>○会員が緊急輸送に対応できるよう道路の復旧状況及び緊急車両への給油所情報をFAXにて情報提供を行った。</p> <p>○被災地で被害を受けた会員事業者に中古バスの譲渡斡旋の情報提供を県内の会員事業者にお願いをした。</p>	<p>○日本バス協会が会員から東日本大震災への義援金を募集しているため会員に対して通知した。なお、義援金は日本赤十字社へ寄附を行うこととなっている。</p>	054-255-9281 (平野)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)自治体国際化協会	東京都千代田区麹町1丁目7 木村陽子	<p><自治体国際化協会(クレア)本部を中心とした支援></p> <p>○外国人住民に対する外国語による情報提供に寄与する活動等の支援事業を実施する地域国際化協会に対して、助成金を交付(平成22年度災害時外国人住民支援活動助成事業:12協会へ交付済) △平成23年度も上記助成事業を実施予定 ○都道府県・政令市が行うJETプログラム参加者の緊急避難支援事業に対して交付金を交付(平成22年度1県へ交付済) △平成23年度も上記交付金事業の実施を検討 ○震災直後、JETプログラム参加者(4,309名)の安否を確認し、外国在住の家族からの照会などに対応 ○被災し、不安を抱くJETプログラム参加者からの生活・勤務に関する相談に対応 ○JETプログラム参加者で被災・死亡された外国人2名の遺族の来日にかかるサポートを実施 ○多言語による情報提供 クレアが養成している多文化共生マネジャーの全国組織であるNPO法人「多文化共生マネジャー全国協議会」と連携して、被災した外国人住民を支援(「東北地方太平洋沖地震多言語支援センター」を開設し、災害情報や生活情報などを多言語(9ヶ国語)で提供するとともに、多言語ホットラインによる電話相談を開設し、被災外国人の不安解消に努める。) ○被災自治体の義援金等募集サイトの英語版の情報提供</p> <p><クレア海外事務所を中心とした支援></p> <p>○クレアのネットワーク(姉妹都市関係や国際交流・国際協力など)を活用し、世界各地の自治体が寄付金・物資支援・激励書などさまざまな形で支援を実施。特にフランスでは、クレアが深くかかわる日仏自治体交流会議の窓口(フランス都市連合)に日本支援のための緊急基金として特別口座を設置し、関係者4千名に支援金の呼びかけを行うとともに、クレアパリ事務所提供資料によりHP上に被害状況等が掲載されている。基金はクレアパリの協力で被災自治体に送付される。 ○被災自治体の寄付金等募集サイトの英語版の情報を海外事務所を通じて情報発信</p> <p><その他></p> <p>○JETプログラムに、英語補助教員(ALT)や国際交流員(CIF)等として参加した外国人の同窓会組織(世界17カ国、52支部、会員数約24000名)が震災支援のために各地で情報発信や義援金募集イベントなど様々な支援活動を実施</p>	○3月末に、岩手県、宮城県、仙台市、福島県の4団体に寄附	03-5213-1721(鷺岡)	http://www.clair.or.jp/
(特財)シップ・アンド・オーシャン財団	東京都港区虎ノ門1-15-16 秋山 昌廣	<p>○日本財団東日本大震災支援基金への寄附を、電話・メール・HPなどで呼びかけている。</p> <p>○日本財団が実施した街頭募金活動(3月19日～21日、都内10箇所)に職員10名が参加した。</p> <p>○日本財団が実施している遺族・親族に対する弔慰金・見舞金の支給活動(4月2日～6日:石巻市・女川町、4月13日～17日:宮古市、4月21日～24日:石巻市)に職員3名が参加した。</p>	○財団内において東日本大震災緊急支援のための救済金を募集し、日本財団東日本大震災支援基金に寄附(3月14日～16日実施)	03-3502-1828 (総務グループ長 仙頭)	http://www.sof.or.jp/index.php http://blog.canpaninfo.com/
(特財)実務技能検定協会	東京都新宿区高田馬場1-4-15 理事長 元吉 昭一		○日本赤十字社を通じて100万円を寄付予定	03-3205-0824	http://www.kentei.or.jp/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)自転車協会	東京都港区赤坂1-9-15 島野 壽三			○東日本大震災緊急支援のため義援金を当会より500万円を寄付予定。併せて正会員に呼寄せを呼びかけ募集した結果1,310万円が集まった。 ○合計1,810万円を日本赤十字社へ寄付予定です。(4月下旬寄付実施)	03-3585-5455 (大山) 掲載予定
(特財)自転車産業 振興協会	東京都港区赤坂1-9-3 阿部 忠壽	○被災地域での自転車点検修理のボランティアを行う者に対して、修理用資材(パンク修理用品、補修用タイヤ・チューブ等)の提供や交通費を支援する。(4月14日から実施) ○堺市を通じて堺市に避難している被災者に対して、幼児2人同乗用自転車17台を贈呈(4月18日) △被災した自転車小売業者等に緊急融資を行う。(7月1日から実施予定) △被災地域での救援活動支援の移動・運搬手段の確保に供するため、電動アシスト自転車等を提供する。(7月1日から実施予定)		○自転車キッズ検定会場及びパレスサイクリング会場で義援金を募る。(5月1日から実施)	03-5572-6409 (伊崎)
(特財)自転車セン ター	大阪府河内長野市天野 町1304番地 理事長 森本 龍男			○3月末に福島県庁 毛布100枚及び水ペットボトル1000本トラックで輸送	072-54-3100(永池)
(特財)自動車検査 登録情報協会	東京都中央区入船3-7 -2 中田 敏郎	△自動車諸手続の相談や無料点検を行う「移動自動車相談所」開設への協力 △自動車取得税免除のための各県税事務所へ無償による情報提供		○東日本大震災緊急支援のための義援金を日本赤十字社へ寄附。(3月25日100万円) △今後、役職員に対して義援金を募集して日本赤十字社へ寄附を行う	03-5542-5101 (市花)
(特財)自動車事故 被害者援護財団	東京都千代田区麹町6- 1-25 上智麹町ビル 松尾 道彦	○緊急時見舞金の支給 自動車事故被害者家庭のうち特に生計困難度の高い家庭に対して、当該家庭の子弟又はその扶養者等が死亡し、又は重度の後遺障害者となったとき及び災害等により家屋等に甚大な被害を受けた場合に緊急時見舞金を支給することとしており、現在、独立行政法人自動車事故対策機構の協力を得て、同機構の貸付を受けている交通遺児を中心に被災地区に住む交通遺児家庭の調査を実施中。(4月末から5月に支給予定) 調査対象地区:青森県(八戸市)、岩手県(宮古市、大船渡市、久慈市)、宮城県(気仙沼市、石巻市、東松島市、塩竈市、岩沼市、亶理市、栗原市、仙台市(泉区、青葉区、宮城野区、太白区)、多賀城市、名取市、松島町、七ヶ浜町、大崎市、富谷町)、福島県(南相馬市、郡山市、いわき市、川内村、川俣町、田村市)			03-3237-0158 (秋葉) http://iikohigai.org/
(特社)信濃中野法 人会	長野県中野市大字中野 1863-1 小林勇生	△今後開催を予定している通常総会、会員チャリティーゴルフ大会等において、募金活動を行う予定である。		○当法人会から20万円と県連、県下単位会からの見舞金と合わせ、総額57万円を被災地である栄村に寄附した。(3月28日) △また、その後、全法連、局連等から85万円の見舞金が出ており、栄村及び野沢温泉村に寄附する予定である。	0269-26-0748 (事務局長 永沢知之)

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)四宮育英奨学会	大阪府大阪市港区築港4-1-1 理事長 高森 昭	△被災地、各県の教育機関を通じ 奨学金の貸与事業(主に高校生対象)を行い 経済的支援を計画予定。 貸与額 12,000円/月額 (実施時期 平成23年度より)		06-6576-1821 (事務局 杉浦 昌子)	www.shinomivaikuei.or.jp
(特財)司馬遼太郎記念財団	大阪府東大阪市下小阪3-11-18 理事長 福田 みどり		○東日本大震災緊急支援のための義援金を日本赤十字社へ寄附(3月23日、20万円)	06-6726-3857 (福田)	
(特社)島根県公共嘱託登記司法書士協会	島根県松江市南田町26 理事長 吉村 信		△官公署からの受託した報酬額の1%を、寄附することになりました。(寄付先は日本赤十字社を予定しています。)	0856-23-6538 (横 英夫)	
(特社)島根県自動車整備振興会	島根県松江市馬潟町43-4 会長 櫻井 誠己		○東日本大震災緊急支援のため義援金を日本赤十字社へ寄附	0852-37-0041 (高橋)	
(特社)清水清港会	静岡県静岡市清水区日の出町9-25 西尾 忠久		○全国の清港会で構成されている全国清港連絡協議会(構成26港、内4港が被災)及び新規参加予定の(社)山口県周南清港会の23港で寄附をまとめ、被災清港会である(社)八戸清港会、石巻清港会、小名浜清港会、相馬清港会の4港に支援金を送る計画。 (5月下旬に各被災港に送金する予定。) ○静岡県被災者支援本部長である静岡県知事より、公益法人に対して、被災地への物資支援、義援金及びボランティア活動等の支援依頼があったので、「日本赤十字社東北関東大震災義援金」へ支援した。	054-353-1612 (中井 勝、鈴木 恵子)	
(特財)社会福祉振興・試験センター	東京都渋谷区渋谷1-5-6 SEMPOSビル 理事長 多久島 耕治	○東日本大震災の被災地である岩手県に対し、「除菌消臭剤」200mlを1,000本と同詰替えパック300mlを1,500本、義援物資として寄附を行った。	○東日本大震災支援のため、役職員から義援金を募集し、中央共同募金会へ寄附を行う。(寄附額30万円/一人当たり5,000円程度)	03-3486-7511 (総務部 加古)	
(特社)斜面防災対策技術協会	東京都港区新橋5-30-7 加賀ビル 会長 加藤 邦雄		△東日本大震災緊急支援のため、会員、役職員から義援金を募集し、日本赤十字社などに寄附を行う予定。(4月1日から4月30日まで募集)	03-3438-0493 (専務理事兼事務局 相浦 俊雄)	
(特財)住宅改良開発公社	東京都千代田区五番町14-1 国際中正会館3階 坂田 隆史		○東日本大震災緊急支援のための義援金100万円を日本赤十字社へ寄附。(3月23日)	03-3237-7411 (小田島)	http://www.kairyokousya.or.jp

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)住宅管理協会	東京都千代田区神田神保町2-5 北沢ビル 理事長 福田 秀文	<p>○都市機構の被災地現地調査団への災害対応物資支援(衛星携帯電話、自転車、発電機等)</p> <p>○首都圏地域におけるUR賃貸住宅の居住者、建物等の被害状況の現地確認作業及び応急措置、復旧作業を実施</p> <p>○首都圏地域における被災者向けに提供するUR賃貸住宅の準備、確認等業務を実施</p> <p>○首都圏地域における被災者向けに提供するUR賃貸住宅への入居希望者からの問合せ対応、申込受付</p> <p>○仙台地域におけるUR賃貸住宅の居住者、建物等の被害状況の現地確認作業、復旧作業</p> <p>○仙台地域におけるUR賃貸住宅居住者からの問合せ、相談対応</p>	<p>○公益財団法人公益法人協会の「『東日本大震災』被害者緊急支援のための救済基金」に寄附(3月31日実施)</p> <p>○従業員を対象に東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行う(現在、募集中)</p>	03-3239-3541 (山田、田口)	
(特財)住宅産業研修財団	東京都港区虎ノ門1-1-21 新虎ノ門実業会館2F 松田 妙子		○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。(4月15日から実施)	03-3504-6601 (小橋)	
(特財)住宅生産振興財団	東京都港区虎ノ門3-11-15 会長 高橋 進 理事長 村上 健治		○当財団が企画・運営しているモデル住宅展示場において義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。(4月14日から実施)	03-5733-6733 (岩石)	
(特社)住宅生産団体連合会	東京都港区虎ノ門1-6-6 6晩翠軒ビル4階 樋口 武男	<p>○東日本大震災緊急対策本部を3月12日に設置。大島国土交通大臣からの三度に亘る協力要請を受けて、以下の取り組みを実施。</p> <p>①応急仮設住宅の供給のため、住宅業界の取り組み及びこれに伴う諸課題に関する連絡調整を行っている。</p> <p>②被災した住宅の修繕等に対する相談業務に応じるため関係団体との調整・連携を行うとともに、現地窓口に職員を派遣している。</p>		03-3592-6441 (高野)	
(特財)住宅保証機構	東京都港区芝5-29-14 田町日エビル 羽生 洋治	<p>○財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センターにおける被災地専用フリーダイヤルにおいて東日本大震災で被災した住宅の補修・再建についての電話相談を行う人員として同センターに常時2名(延べ5名)の派遣を実施。(3月28日から実施中)</p> <p>○震災対応支援のため、一般社団法人住宅瑕疵担保責任保険協会への出向者1名の増員を実施。(3月25日より実施中)</p>		03-6435-4681 (奥)	
(特財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター	東京都千代田区紀尾井町6番-26-3 島崎 勉	<p>以下の業務を一般社団法人住宅瑕疵担保責任保険協会と連携して実施</p> <p>○財団内に被災地専用フリーダイヤルを設置し、東日本大震災で被災した住宅の補修・再建についての電話相談を実施(3月31日から実施中)</p> <p>○被災地各県の主要都市に相談員が対面で相談を行う窓口を設置し、被災住宅の補修方法、補修費用などの相談を実施。宮城県(仙台市/4月1日から実施中)。青森県(八戸市/4月1日から4月7日まで実施)。福島県(郡山市/4月8日から実施中)。茨城県(水戸市/4月8日から実施中)。</p>		03-3261-4604 (安井)	http://www.chord.or.jp/news/20110411.html

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)舟艇協会	東京都浜松町1-2-17 -1101 理事長 土肥 由夫	○東日本地方の漁船・プレジャーボート、係留施設、造船所等の被害状況を調査中。また、4月22日には、漁船・プレジャーボート、およびこれらの係留施設、造船所などへの復興支援に積極的に貢献すべく、当協会およびそのネットワークで何かできるか、を議題にした技術委員会を開催。従来の技術委員に加え、関連事業に関し専門的な知識・経験をお持ちの有識者各位の出席を依頼		03-3434-5185 (永井)	
(特財)出版文化産業振興財団(JPIC)	東京都千代田区神田神保町3-12-3 肥田 美代子	○「子どもの本の創り手による被災地支援プログラム」として、絵本作家・画家などから寄せられた応援メッセージ・直筆画をチャリティ・オークションにて販売(5月3日～7月末日)。売上は被災地の子どもの読書活動の支援に充当 ○「上野の森 親子フェスタ」にて「チャリティ・ブック・フェスティバル」を行い、収益を被災地の子どもの読書活動の支援に充当(会期:5月3日～5日) △被災地の読書ボランティアと連携し、避難所などでの読みきかせ活動を実践(現地の受け入れ状況が整い次第)		03-5211-7282 (尾崎)	
(特財)首都圏ケーブルメディア	東京都新宿区片町4番3号 松永 政和		○東日本大震災の被災者への義援金として、(特社)日本CATV技術協会を通じて100万円を寄付	03-3355-7580 (三澤)	
(特財)首都圏不燃建築公社	東京都港区新橋4丁目6-15 倉林 公夫		○東日本大震災緊急支援のための義援金100万円を、日本赤十字社へ寄附。(4月19日実施)	03-3436-2886 (和田)	
(特社)首都高速サービス推進協会	東京都港区虎ノ門1-1-21 新虎ノ門実業会館5階 渡辺 勝		○東日本大震災緊急支援のための義援金として、日本赤十字社へ100万円の寄附を行った。(3月31日)	03-3592-2071 (総務部 荒木)	http://www.mex-spa.or.jp
(特財)首都高速道路技術センター	東京都港区虎ノ門3-10-11 北川 久		○東日本大震災緊急支援のための義援金として、日本赤十字社へ100万円の寄附を行った。(3月31日) ○東日本大震災緊急支援のための義援金を募り、役職員有志として日本赤十字社へ102,089円の寄附を行った。(4月5日)	03-3578-5750 (企画担当部長)	
(特財)首都高速道路協会	東京都港区虎ノ門1-1-21 理事長 小鷲 茂		○東日本大震災緊急支援のための義援金として、日本財団へ100万円の寄附を行った。(3月25日)	03-3591-9634 (総務部 井上)	http://www.mexas.or.jp/
(特財)首都高速道路厚生会	東京都千代田区霞ヶ関1-4-1 野口 秀昭		△東日本大震災緊急支援のための義援金として、日本赤十字社へ寄附予定。(5月中)	03-3539-9282 (事務局 川口)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)首都高速道路補償センター	東京都港区虎ノ門1-1-3 磯村ビル6F 理事長 小平 申二			○東日本大震災緊急支援のための義援金として、日本赤十字社へ100万円の寄附を行った。(3月末) ○東日本大震災緊急支援のための義援金を募り、職員有志として日本赤十字社へ10万円余の寄附を行った。(4月6日)	03-3591-3991 (総務部総務課 矢川)
(特財)循環器病研究振興財団	大阪府吹田市藤白台5丁目7番1号 会長 秋山 喜久	○当財団が発行している予防啓発パンフレット「知っておきたい循環器病あれこれ」の一部(肺塞栓症・脳卒中関連)を国立循環器病研究センターの被災地医療支援チームを通じて現地で活用してもらえるように提供した。			06-6872-0010 (井上)
(特財)潤和リハビリテーション振興財団	宮崎県宮崎市大字小松1119番地 理事長 大野 和男	○被災地住民の医療支援のため宮崎県医師会からの要請に基づき、医師・看護師・理学療法士・作業療法士などの医療支援チーム(4~5名)を3チーム構成し、現地へ派遣する。1チーム6日間を単位として派遣(=JMAT) ①派遣場所: 宮城県宮城郡七ヶ浜町 ②派遣期間: 4/19~4/24(医師1名、看護師3名)、4/27~5/2(医師1名、看護師2名、PT1名、OT1名)、5/5~5/10(医師1名、看護師2名、PT2名) ○上記、宮崎県医師会からの要請に基づき、他の医療機関の医療支援チームとして、当財団より1名の理学療法士を被災地へ派遣 ①派遣場所: 宮城県宮城郡七ヶ浜町 ②派遣期間: 4/15~4/20 ○宮崎県看護協会の災害支援看護師として、1名の看護師を被災地へ派遣 ①派遣場所: 宮城県石巻市 ②派遣期間: 3/29~4/3		○当財団内において、東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行った。(H23.4.4振込)	0985-47-3744 (総務部 榎間章司)
(特財)松翁会	東京都中央区京橋1-3-1 津田 弘通	○当会診療所・歯科診療所では、被災者は被保険者証等の提示なしでも保険診療受診が可能、かつ、一定の条件に該当すれば窓口での一部負担金の支払いが不要となる受入体制を構築済。		○「東北地方太平洋沖地震被害者緊急支援基金」(公益財団法人公益法人協会募集の救援基金)に寄附(4月11日実施・法人名義) ○職員親睦会から「日本赤十字社東北関東大震災義援金」に寄附(4月11日実施)	03-3201-3225 (中山)
(特財)生涯学習開発財団	東京都港区虎ノ門一丁目1番21号 理事長 松田 妙子			○ACCJ Disaster Relief Fundを通じて50万円を寄附。 ※ACCJ(在日米国商工会議所)が東日本大震災の復興支援のために設立した基金で、寄附された義援金は福島県の学校再建などに用いられる予定	03-3508-4551 http://www.glc.or.jp/
(特社)浄化槽システム協会	東京都港区芝大門1-1-32 芝大門ビル5階 星田 慎太郎	○会員に対し震災対応への全面的な協力を要請(3月18日) ○緊急理事会・総会を開催し震災復興への全面的な支援を決議するとともに、災害対策専門部会を設置し、震災復興用仮設住宅の建設に必要な浄化槽の供給及び施工上の技術的留意事項に関する情報の提供(3月17日から実施)		○東日本大震災緊急支援のための義援金として、日本赤十字社へ寄附(3月30日)	03-5777-3611 (横矢)

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)商工総合研究所	東京都江東区木場5-1 1-17 児玉 幸治		○東日本大震災緊急支援のための義援金を商工中金グループ内で募集し、日本赤十字社へ寄附(4月20日実施)	03-5620-1691	
(特財)庄内自動車協会	山形県東田川郡三川町 大字押切新田字歌枕109 -2 長谷川 昌弘		△東日本大震災緊急支援のための義援金(100万円)を、(財)山新放送愛の事業団へ寄附を行う。(4月21日実施予定)	0235-66-4171 (石井 守)	
(特財)消防育英会	東京都港区虎ノ門2-9-16 高木 繁光	○被災した消防職団員等の子弟について、奨学規程に基づき学資金等の支給を行う。		03-3591-0543(鈴木)	
(特財)消防科学総合センター	東京都三鷹市中原3-14-1 天田 栄一	○当センターが運営しているインターネット上の「消防防災博物館」に、被害の全容を表す一助として死者・行方不明者が発生した市町村と火災が発生した市町村を地図表示し、逐次更新している。 ※データは、総務省消防庁が発表している災害情報に基づいている。(平成23年3月17日～) ○被災した各県ホームページの情報をもとに、「開設している避難所」のマップを作成し、(株)昭文社が開設している東日本大震災被災者支援サイトにおいて公開している。(平成23年4月6日～) ○当センターが実施している市町村防災研修事業において、市町村長等幹部職員、防災担当職員、自主防災組織等の防災リーダー及び地域住民の更なる防災力の向上に資するため、被災市町村の災害対策本部の対応、消防機関の対応等を中心に、現地調査を実施している。(平成23年3月23日～)		0422-49-1113 (総務課・人見)	○被災状況地図 http://www.bousaihaku.com/cgi-bin/hp/index4.cgi?ac1=Y208&ac2=Y20818&Page=hpd4_view ○避難所マップ http://assist.mapple.co.jp/
(特財)消防試験研究センター	東京都千代田区霞が関 1-4-2大同生命霞が関ビル19階 関口 和重	○宮城県に500万円、福島県に400万円、岩手県に300万円、青森県に100万円、茨城県に100万円及び千葉県に100万円を寄附(3月末)		03-3597-0220 (渡邊)	
(特社)昭和経済会	東京都中央区八重洲2-11-2 佐々木誠吾	○「東北地方太平洋地震お見舞い金のお願い」を会員に対して連絡(3月24日社員総会時)済み。阪神大震災時と同様に義援金を募集し、今後、災害義援金の協定を締結している機関(当会と交流のある先)に対して寄付を行う予定 ○見舞金 1口 1000円 振込先 東京三菱UFJ銀行 京橋支店 普通 0071026 社団法人昭和経済会		03-6820-6000(野田)	
(特財)食品環境検査協会	東京都中央区京橋3-7-4 江川 宏	○福島第一原子力発電所事故に伴い、食品中の安全確認のための放射性物質の検査に向け、機器の整備と24時間検査を行える体制等の業務強化をはかり迅速な対応に努め、依頼検査を開始(3月18日より実施) △福島第一原子力発電所事故の影響を受けた農水産業生産者に対して、出荷制限対象品目の解除後の安全確認のための放射性物質の検査手数料の支払い期日を猶予		03-3535-4351 (伊藤)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)書壇院	東京都港区麻布台1-1-12 理事長 柳田 純一	○被災地及びその周辺の在住の本院の会員、誌友等関係者の被災状況を調査 △本院の関係者が被災した場合の今後本院主催事業にかかる出品料等費用について免除することを検討	○東日本大震災緊急支援のための義援金を日本赤十字社へ寄託(23. 3.30)	03(3583)0762 (御子柴 洋子)	
(特財)書道芸術院	東京都千代田区東神田1-16-7 東神田プラザビル3 理事長 辻元 大雲	○会員の被害状況を各団体代表者に依頼し調査している。(3月15日発送)	○書道芸術院会員より義援金募集活動を実施している。(3月15日発送)	03-3862-1954 (事務局長 千葉 蒼玄)	
(特財)ジョン万次郎 ホワイトフィールド記念 国際草の根交流センター	東京都千代田区麹町2-12-18 グランアクス麹町602 渡辺 泰造	○過去の日米草の根交流サミット参加者のうち東北在住者の安否確認及び右情報のHP公表 ○被災地域に住む過去日米草の根交流サミット参加者と米国の方々とのコミュニケーションの手助け(メールの翻訳、伝言取次等) ○米国の草の根交流サミット参加者の救援活動に関するアドバイス ○救援活動のため現地入りした日本NGOと宮城県内の地域リーダーとの引き合わせ ○昨年のサミット開催地であるサンフランシスコの高校から、石巻の子どもへのリュックサック、学用品等の寄付の取次		03-3511-7171 (轟木 ひろ子)	http://www.maniiro.or.jp/ipn/information/topics.html
(特社)白河労働基準協会	福島県白河市郭内1-125 会長 高見 昌文	○東日本大震災に係る被災者支援対策として、当協会に出来る事は、被災者の技能講習修了証紛失のための再交付手続(無償)の支援を行う(期間は決めていない)。		0248-24-0961 (専務理事 大島 幸司)	
(特社)芝蘭会	京都府京都市左京区吉田近衛町 京都大学構内 会長 湊 長博	○岩手県、宮城県、福島県、茨城県在住の芝蘭会会員に被災状況の情報提供を依頼(3月18日から実施) ○京都大学医学研究科と連携を図りながら、被災された会員から要望のあった支援物資(冬用下着等)を送付(3月30日)		075-751-2713 (山田均)	http://www.shirankai.or.jp/
(特財)シルクセンター 国際貿易観光会館	神奈川県横浜市中区山下町1 会長 西田 義博		△東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。(5月中旬から実施予定)	045-641-0845 (管理部長 鈴木)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)シルバーサービス振興会	東京都港区赤坂1-9-3 多田 宏	<p>○厚生労働省と連絡を取り合い、関係団体とのネットワークを通じ、民間介護事業者の被災状況の把握及び要望や意見の集約に努めている。</p> <p>○被災地に向けた支援物資募集の取り纏めの実施 全国老人クラブ連合会からの依頼を受け、東日本大震災被災地に向けて、カレンダー・メモ帳・筆記用具等の支援物資を会員企業等へ電話や会員宛メールリストを通じて募集し、支援物資を取り纏めた上で全国老人クラブ連合会へ提供している。4月20日現在で、会員企業等から提供戴いたカレンダー等30,990点の支援物資を提供した。</p> <p>○厚生労働省からの東日本大震災に関する情報提供について、会員企業をはじめ広く周知が求められていることから、当会ホームページに同情報の専用ページを作成し、不特定多数の方が閲覧できるようにした。</p> <p>○この他、個々の活動状況については取り纏めていないが、当会の会員である企業・団体においては、それぞれ寄付や支援物資の送付、人員派遣等を行っている。</p>		03-3568-2861(寺尾)	http://www.espa.or.jp/
(特社)信越自動車無線協会	長野県長野市大字高田 字高田沖359-3 宇都宮 健雄		△東日本大震災緊急支援のための見舞金を、(特社)全国自動車無線連合会を通じ寄附を行うことを検討中(6月末までに実施する予定)	026-226-3866(小柳)	
(特社)新金属協会	東京都港区虎ノ門2-8-1 彌永 一二三	○復興を目的としたチャリティー形式の異業種交流会を開催した。(3月31日実施)	○「東北関東大震災義援金」として、日本赤十字社へ寄附(4月6日)	03-3591-0389(中山)	
(特社)しんきん保証基金	東京都中央区京橋2-8-7 坂戸 俊夫	<p>○災害復旧ローンの取扱いについて3月14日付で全国の信用金庫へ案内。取扱いを希望する信用金庫につき取扱開始</p> <p>○保証利用中の被災者に対して元金据え置き、返済期間の延長等返済条件の緩和</p>	<p>○東京都信用金庫協会を通じて支援物資(食料)を提供(3月23日)</p> <p>○全国信用金庫協会の「被災信用金庫への支援見舞金」を通じて支援見舞金を拠出(3月31日)</p> <p>○全国信用金庫協会「信用金庫役職員による2千円募金」を通じて募金(4月21日)</p>	03-3566-5791 (経営企画部 有泉)	
(特社)人工知能学会	東京都新宿区津久戸町4-7 OSビル402 会長 西田 豊明	△東日本大震災でご本人やご家族の被災、住居・財産損壊など被害に遭われた個人会員の年会費と全国大会参加費・発表費をお申し出により免除する。		03-5261-3401 (岩田 和秀)	準備中(会誌5月号で会告後、ホームページに掲載の予定)
(特社)新興美術院	埼玉県川越市大字大袋790-3 理事長 平田 博美		○6月より義援金を募集し、日本赤十字社へ7月上旬に寄附する予定。	049-244-3531(岡田) 044-855-8055(渡邊)	
(特財)新国立劇場運営財団	東京都渋谷区本町1-1-1 理事長 福地 茂雄	○新国立劇場合唱団による被災地巡回公演を5月13日千葉県旭市で実施した。今後も被災地巡回公演を検討している。	○3月13日から館内(総合インフォメーション及び主催公演会場)に義援金の募金箱を設置し、日本赤十字社に寄附。募金箱の設置継続中。	03-5352-5722 (総務課 田栗 浩)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)新情報センター	渋谷区恵比寿1-13-6 恵比寿ISビル4階 安藤 昌弘	△被災地の調査員、および当社が担当している統計調査の対象者に被害状況を確認し、見舞金・支援物資を支給する。	○東日本大震災緊急支援のため、200万円の義援金を日本赤十字社へ寄附(3月30日)	03-3473-5231 (事務局長 平谷)	
(特社)新都市ハウジング協会	東京都港区虎ノ門1-16-17 白石 達	○東北・北関東の津波被災市街地を重点対象に、府省連携プロジェクト「新構造システム建築物研究開発」(H16～H20年度)の成果を活用して復興モデル街区の提案を作成、「環境未来都市」構想に関する提案募集(内閣官房地域活性化統合事務局)に提案する予定(平成23年5月9日締切)。 ○そのほか、様々な機会を通じて、「新構造システム建築物」の特性である、①超耐震性(震度7クラス無損傷)、②省資源建築(鋼材3R)、③長寿命建築を、震災復興のために活用するよう、普及活動を実施していく予定。		03-3504-2381 (本橋)	http://www.anuht.or.jp/
(特財)新日本検定協会	東京都港区高輪3丁目25番23号 石田 隆丸	○地震発生の直後から、損害保険会社各社及び全国共済水産業協同組合連合会の要請を受け、家屋及び家財の地震被害調査のため40～50名の調査員を被災地へ緊急派遣し、地震により家屋、家財が損壊した被災者に、速やかな地震保険の保険金支払いを行えるよう最優先での人員体制を敷いている。 ○福島第一原発の放射能漏れにともない、諸外国より日本からの輸出品が放射能に汚染されていないことの証明を求められている国内の荷主等の依頼を受け、緊急に対応部署の人員を増強するとともに、測定器を調達し、食品、工業製品等広範な輸出品の放射線量を測定し証明書を発行している。	○社団法人日本港運協会の東日本大震災復興対策基金に対し、171万4千円を寄付(4月19日現在)。	03-3449-2611 (総務グループ 伊藤)	
(特社)水産土木建設技術センター	東京都中央区築地2-14-5 鹿田 正一	○水産庁他関係団体と協力し、青森、岩手、宮城県下の漁港漁場漁村の被災状況調査を行った(4月7日～13日) ○水産庁他関係団体と協力し、岩手県下の市町村管理漁港の応急復旧工事のための調査を実施した(4月16日～19日) ○水産庁他関係団体と協力し、宮城県下の市町村管理漁港の応急復旧工事のための調査を実施した(4月22日～28日) △水産庁他関係団体と協力し、市町村管理漁港の復旧復興のための技術的支援を予定	○被災した岩手県、宮城県、福島県及び同県管内11市町村に対し20～30万円/か所、合計330万円を3月末までに義捐金として贈呈した。また、被災地に対し関係団体を通じて20万円を寄付した。	03-3546-6858 (松岡 英二)	http://www.fidec.or.jp/
(特財)新日本フィルハーモニー交響楽団	東京都墨田区錦糸1-2-3 すみだトリフォニーホール内 理事長 宮内 義彦	○東日本大震災緊急支援のための募金寄附を自主演奏会場で呼びかけ募集(4月18日から実施) ○同上緊急支援のための義援金を公演主催者と共に演奏会以上で募集活動(3月24日、4月3日) ○5月初旬から発売予定のCD(クリスティアン・アルミンクとマルタ・アルゲリッチ)の発行権利を寄附 ○同上緊急支援のためのチャリティ・コンサートを開催(6月20日)	○東日本大震災緊急支援のための義援金を4月18日から募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。(6月下旬実施予定)	03-5610-3820 (白鳥 美代子)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)水道技術研究センター	東京都港区虎ノ門2-8-1 藤原 正弘	<p>○東北地方太平洋沖地震により被災を受けた浄水施設等の応急復旧及び本格復旧に向けて、当センター内に「浄水技術等支援チーム」を設置。(活動内容は、(1)浄水技術に関する相談受付(2)浄水施設に関する被害状況の把握(3)民間企業が保有する浄水プラント等の調査及び情報提供(4)浄水施設の復旧に向けた技術支援活動等) (3月22日に設置)</p> <p>○当センターのホームページ(ASWIN)を通じて、水道被害・復旧状況等について海外に情報発信中(3月15日から随時発信中)</p> <p>△平成23年度厚生労働科学研究費補助金により、老朽化浄水施設の耐震化促進等に関する検討を実施(5月を目途に開始予定)</p> <p>△当センターの平成23年度事業計画に、東北地方太平洋沖地震を踏まえた地震による水道施設の被害予測等に関する調査を追加実施予定(事業内容を確定後、速やかに実施予定)</p>		03-3597-0211(鈴木)	
(特社)須賀川労働基準協会	福島県須賀川市旭町227-1 会長 吉田 大二	<p>○被災者支援として技能講習修了証の再交付に際し、被災者は無料とする(8月31日まで)。</p> <p>○当協会で作っていたマスク350枚、タオル20枚を須賀川市の被災者避難場所(須賀川市体育館)へ寄附</p>		0248-75-2044 (専務理事 大倉 秀夫)	
(特財)スターダンサーズ・バレエ団	東京都港区南青山2-2-4 理事長 石坂 泰彦		<p>○長年にわたり、岩手県遠野市民センター・バレエスタジオにて教師派遣を行ない交流を深めていた関係もあり、平成23年3月末日に遠野市へ義援金を送る。</p> <p>また4月公演「シンデレラ」の会場において震災復興支援への義援金を募り、日本赤十字社へ義援金を送る。</p>	03-3401-2293 (紙透(かみすき))	http://www.sdballet.com
(特財)スポーツ安全協会	東京都港区虎ノ門1-12-1 会長 古村 澄一	<p>○スポーツ安全保険について、震災がもとで更新手続きを行えない団体に対し、更新手続きの猶予措置を実施</p> <p>○協会ホームページ(トップページ)に、「子どもの学び支援ポータルサイト」へのリンクバナーを設置</p>		03-5510-0022 (総務部 部長 山口)	http://www.sportsanzen.org/
(特社)諏訪法人会	長野県諏訪市小和田南10-29 小口 弘夫		<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を法人会の会計から、10万円を(株)長野日報社を通じて日本赤十字社へ寄附した。(3月29日)</p> <p>○震災義援金として、法人会の会計から、5万円を長野県栄村へ寄附した。(3月28日)</p>	0266-53-7810 (有賀 昭夫)	
(特財)政策医療振興財団	東京都港区虎ノ門3-17-7 細田 瑠一		<p>△東日本大震災支援のための義援金として日本赤十字社へ寄附を行う予定(6月開催の理事会に提案予定)</p>	03-5776-2525(千田)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)精神・神経科学振興財団	東京都小平市小川東町 4-1-1 杉田 秀夫	△被災地域の各保健所を通し、被災者パンフレットを配布し「心のケア」をする。(5月乃至6月頃)	○東日本大震災による緊急支援を3月31日開催の理事会・評議員会において決定。財団近隣の医療機関と被災地の関連大学と打合せした結果、被災地拠点病院の医療チームのニーズに応じた財政的支援。(東北大学が中心となり、医療器材等の援助) △財団にプロジェクトチームを立ち上げ、募金を公募し被災地へ(市町村)へ支援(5月乃至6月頃)	042-347-5266 (山口 嘉昭)	
(特社)生命保険協会	東京都千代田区丸の内3 -4-1 新国際ビル3階 渡邊 光一郎	○生命保険協会内に新たに「災害地域生保契約照会センター」を設置し、被災されたお客さまが、加入していた生命保険会社が判らず保険金の請求を行うことが困難な場合等において、生命保険会社に対して契約有無の調査依頼を行う、災害地域生保契約照会制度の運営を開始(4月1日から実施) ○会員会社全社の相談窓口および上記災害地域生保契約照会センターの連絡先を記載したポスターを作成し、避難所・自治体等におけるポスター掲示を実施(4月9日以降順次) ○災害救助法適用地域における被災されたお客さまのご契約について、①保険料払込猶予期間の延長、②保険金・給付金、契約者賞付金の簡易迅速なお支払い、を決定(3月12日) ○今般の震災に関し、会員会社全社が地震による免責条項等の不適用を確認(3月15日) ○当会ホームページに上記の各取組み等に関する情報を掲載した専用のホームページを開設するとともに、全国紙・地方紙・ラジオ・インターネット等における広告等を通じて上記取組みについて広く周知を実施(3月14日以降随時) ○「保険金等各種支払に関するガイドライン」の作成により、保険金等支払における簡易取扱基準やみなし入院等の特別取扱につき、認識共有(3月15日) ○会員会社の契約者賞付に対する特別金利の設定、被災地企業等への返済猶予・返済条件の変更等についての取組みについてアンケートを実施し、会員会社内で共有化(3月17日以降随時) ○会員会社のお客様安否確認活動の状況、周知活動等についてのアンケートを実施し、会員会社内で共有化(4月12日以降随時) ○確実に保険金をお支払するための取組みとして、被災死亡者等に関する業界共通データベースを構築し、各社の保険金等支払い実務を支援(4月13日) ○保険料払込猶予期間延長の追加的延長措置を講ずることを決定し、詳細な取扱を検討中(4月15日)	○東日本大震災の見舞金として、3億円の義援金を日本赤十字社へ寄附(3月30日) ○会員会社(47社)が実施している物的支援(被災地への支援物資の提供)、金銭的支援(義援金の寄贈、社内募金の実施等)、人的支援(ボランティア等)の状況について複数回のアンケートを実施し、会員各社内で共有化(3月14日以降随時)	03-3286-2651 (企画部企画グループ:在間)	http://www.seiho.or.jp/index.html

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)生命保険 ファイナンシャルア ドバイザー協会	東京都中央区日本橋室 町1-13-5 泉口亨子	<p>○東日本大震災緊急支援のための募金寄付を、会員・HP・情報誌その他呼びかけで募集(被災地での緊急支援物資の支給や義援金に使用。)(3月15日から実施中)</p> <p>○被災地(避難所・NPO)などを通じて、被災者の必要とされる衣料品、衛生用品、食品などの救援物資を搬送(3月下旬)</p> <p>△被災地(避難所・学校施設等)における避難した方々や、子供とのふれあいを推進し、心の交流を予定(4月下旬)</p> <p>△被災者支援のためのチャリティ催し(東日本大震災復興ハートフルディ)を開催し、被災者への支援エールや義援金、物資等を送る催しを予定(5月27日)</p> <p>△被災者に対する中・長期的ふれあい、物資支援などを継続(5月以降)</p> <p>△生命保険営業職員として、生命保険契約や手続き等にかかることで市民の方々からの相談対応などを実施(5月以降)</p>	<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集している。日本赤十字社へ寄附を行う。(5月末まで活動し6月上旬実施予定)</p>	03-3241-6633(町田)	http://www.jaifa.or.jp/event/1359.html
(特社)税理士事務 所職員退職年金共 済会	埼玉県さいたま市大宮区 大門町2-88 理事長 峯村 福督		<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を、日本赤十字社を通じて実施(4月28日)</p>	048-645-8720 (篠原)	
(特社)世界経済研 究協会	東京都港区赤坂5-2- 41 榎田松壁		<p>△福島県立図書館より従来、定期購読していた当協会出版の『世界経済評論』誌の今後1年間にわたる寄贈要請があり(本年4月18日)、快諾した。(来月発行の5-6月号から寄贈)</p>	03-6423-0185(市川)	
(特社)責任あるまぐ ろ漁業推進機構	東京都港区赤坂一丁目9 番13号 三会ビル9階 原田 雄一郎		<p>○東日本大震災緊急支援のため義援金を会員から募集し、日本かつお・まぐろ漁業協同組合株式会社へ10,000,000円寄付。</p>	03-3568-6388 (田端 事務局長)	http://www.oprt.or.jp/top.html
(特社)石膏ボード 工業会	東京都港区西新橋2丁目 13番10号 会長 須藤 永一郎		<p>△日本赤十字社へ100万円の義援金を手交(3月25日)</p>	03-3591-6774(宮谷 賢治)	http://www.gypsumboard-a.or.jp/
(特社)瀬戸内海環 境保全協会	兵庫県神戸市中央区脇 浜海岸通1-5-2 会長 井戸 敏三		<p>○事務所内に東日本大震災兵庫県義援金募金箱を設置し、義援金を募集(3月22日設置し、6月30日まで募集の予定)</p>	078-241-7720 (総務課 和田 成史)	
(特社)セメント協会	東京都中央区日本橋本 町1丁目9番4号 Daiwa日本橋本町ビル7 階 会長 徳植 桂治		<p>○日本赤十字社へ3000万円の義援金を寄附(3/28:1000万円、4/7:2000万円)</p>	03-5200-5051(山根)	http://www.jcassoc.or.jp/cement/4pdf/ja1.11.03.pdf

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社) 繊維評価技術協議会	東京都中央区日本橋小 伝馬町12-9 滋賀ビル 会長 佐々木 久衛			△東日本大震災の被災地支援のため、日本赤十字社に対して寄付を行う。(5月下旬に実施予定)	03-3662-4665 (中里)
(特財) 繊維貿易会館	東京都千代田区内神田2 -16-9 服部 良弘			△東日本大震災緊急支援のため義援金の寄附を行う。寄附先は検討中。	03-3256-4511 (常務理事 佐藤桂一)
(特財) 船員保険会	東京都渋谷区渋谷1-5 -6 会長 坂野 泰治	<p>○被災地住民の心身の慰労・保養のため、宮城県大崎市で当法人が経営する保養施設「鳴子船員保険保養所」から、気仙沼市内の被災者をマイクロバスでピストン輸送し、入浴と宿泊場所を提供(3月22日ほか)</p> <p>○同鳴子保養所が、大崎市からの要請を受け、南三陸町の被災者の宿泊を受け入れ(4月5日から10月までを予定)</p> <p>○医療支援として、当法人病院医師が、岩手医科大学の要請により、県立宮古病院で診療に従事(3月18日～3月22日)</p> <p>○当法人の各病院にて人工透析を含む被災者の入院等を受け入れ(3月14日～)</p> <p>○当法人看護師が、日本看護協会からの要請により、石巻市の避難所で看護業務に従事(3月4日～4月3日)</p> <p>○当法人管理栄養士が、各地区医師会へ協力し、いわき市等で栄養指導等に従事(3月30日ほか)</p> <p>○被災地区住民の健康管理のため、当法人健康管理センターが、青森県八戸港地区で生活習慣病予防健診を実施(4月11日～4月15日)</p> <p>△被災地区の各港等の健康診断・健康相談等の実施に向け、関係各所と調整を図っている。</p> <p>○東日本大震災被災者のための救援物資として、東京都福祉保険局を通じて、飲料水4千8百本を寄付(3月25日発送)</p> <p>○東日本大震災被災者のための支援物資として、衛生物資(マスク2千枚、消毒液)・カイロ(1千枚)・食料品等を、東京から自動車で搬送し、気仙沼市の支援物資受付へ寄附(4月6日)</p>	<p>○東日本大震災被災者のための当法人からの義援金を、海事関係団体である全日本海員組合を通じて寄付(3月31日送金)</p> <p>○東日本大震災被災者のための当法人からの義援金を、海事関係団体である大日本水産会を通じて寄付(3月31日送金)</p> <p>○東日本大震災被災者のための当法人からの義援金を、海事関係団体である全国漁業協同組合連合会を通じて寄付(3月31日送金)</p> <p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を当法人役員から募集し、日本赤十字社へ寄附(4月12日送金)</p>	03-3407-6061 (総務課 八田)	
(特社) 全沖縄検数協会	沖縄県那覇市港町2-12- 18 吉村 明雄			○東日本大震災で同業2社の東北事務所数箇所が壊滅的な被害を受けたため、社内にて義援金を募集し、各社設定の募金箱に義援金を寄付。送付先・(一社)全日検、(一社)日本貨物検数協会。(3月29日)	098-861-2331 (上間 通明)

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)全関東電気 工事協会	東京都中央区築地3-4- 13 中川 正則	<p>○会員に対して、東日本大震災緊急支援のための募金寄付を、インターネットのホームページを通じて呼びかけた。</p> <p>○被災地への資材供給優先のため、電気工事用資材が不足している情報について会員への周知をはかり、理解活動に努めた。</p> <p>△被災地の行政等の要請に対応できるよう復旧応動体制を整え、工事力の確保等における支援活動が実践できるようアンケートを実施・整備し先方と連絡を取り待機中</p> <p>△被災地の要望に対応できるよう復旧用重機車両の提供可能台数の調査を実施中(一部については、被災地と連絡・調整し待機中。)</p> <p>△電工用工具、計測器などが被災により不足していることから、予備品等の提供数の調査を実施中</p> <p>△震災後の電力不足に対応した節電・省エネの方法、停電時の注意事項等を、機関誌、ホームページ等により会員に周知する。(一部は実施済み。今後の電力需給状況により随時実施。)</p>	<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を日本赤十字社へ寄附した。(H23.3.29実施)</p> <p>△通常総会や諸会議等の開催内容の一部を見直し、費用削減を図り、削減した費用の一部を義援金として寄附する予定</p> <p>△今後開催する集会時等において募金活動を展開する予定</p>	03-3542-9841(専務理事 根本 敏明)	http://www.znkan.jp/
(特社)全国開拓振 興協会	東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル 戸田 久市	<p>○全日本開拓者連盟、全国開拓農業協同組合連合会及び当協会が共同して、同会員の役職員等に対し同会員の傘下の被災した農家への義援金を募集(募集団体に支給時期、金額等は今後協議)(4月13日から実施)</p>		03-3586-5843 (高橋専務理事)	
(特社)全国火薬類 保安協会	東京都中央区八丁堀4- 13-5 鶴田 欣也	<p>○津波により喪失した火薬類保安手帳を、無償で再交付していただけるよう各県の火薬類保安協会に呼びかけており、すでに再交付等の事務を実施している。</p>	<p>○全国の各都道府県火薬類保安協会に呼びかけて、震災に遭われた東北地区の火薬類保安協会に見舞金を送ることを決定。</p>	03-3553-8762 (業務課 増田)	
(特社)全国行政相 談委員連合協議会	住所:東京都千代田区外 神田2-13-7 ダイニ チ神田ビル5階 谷 昇	<p>△被災地の避難所等において、国民からの相談受付やその解決に尽力している行政相談委員(以下「委員」という。)の活動等を支援するため、各都道府県単体に置かれている委員協議会の協力を得て「募金箱」を設置し、同協議会を構成する委員を中心に「支援金」を募る。(23年5月)</p> <p>○被災された委員への支援策として、委員活動のために利用する委員手帳や書籍などの物品を委員が紛失した場合は、無償で当該物品を委員に提供</p>		03-3257-9538 (吉田)	
(特社)全国漁業無 線協会	東京都台東区台東3-1 5-4-1106 会長 八木 一弘	<p>○地震発生に伴い、漁船と通信を行う全国の漁業用海岸局の被災状況の確認に努めた。</p> <p>○特に被害の大きい東北地方の漁業用海岸局に所属する船舶局の通信を確保するため、全国の漁業用海岸局に協力を要請するとともに、バックアップ通信体制を構築した。(青森県から茨城県までの太平洋沿岸域に設置された漁業用海岸局は流失・浸水による機能停止・アンテナ落下他多数)</p>		03-5688-3371 (志田)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)全国勤労者福祉・共済振興協会	東京都渋谷区代々木2-11-17 理事長 高木 剛	○役員による事務局内部の募金カンパ活動の実施。集約金は日本赤十字社他へ寄附予定 ○連合派遣ボランティアに対する資金支援として義援金の寄附を実施 ○被災地域へのお見舞い訪問と状況視察の実施および被災地域の中小企業サービスセンター他への支援訪問(2011年4月～5月) △復興支援イベントの実施(時期未定)	○被災地域自治体等への義援金の寄附(2011年5月)	03-5333-5126	
(特社)全国空港ビル協会	東京都大田区羽田空港3-3-2 新堂 秀治		○各ターミナルビル会社において、東日本大震災緊急支援のための義援箱を設置し、日本赤十字社及び県庁を通して寄附を行う。	03-5757-9009 (椋原)	
(特社)全国クレーン建設業協会	東京都中央区八重洲2-7-9 会長 鶴岡 武		○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ500万円を寄附。	03-3281-5003 (田中 良隆)	
(特社)全国軽自動車協会連合会	東京都港区芝大門1-1-30 日本自動車会館11階 小谷 忠幸		○東日本大震災緊急支援のための義援金を日本赤十字社へ寄附を行った。(3月29日)	03-5472-7861 (村上)	
(特社)全国警備業協会	東京都新宿区西新宿1-9-18永和ビル7階 木村 昌平	○被災地支援として、宮城県塩釜署管内及び周辺の防犯パトロール、水や食料等必要な物資の運搬などを行うため、全警協で支援部隊を編成し、派遣(3月22日～3月28日)。また、各府県協会からの派遣に対する支援を実施	○東日本大震災支援のための義援金を加盟員から募集し、日本赤十字社へ寄附を行う(3月15日から実施)	03-3342-5821(小澤)	
(特社)全国警友会連合会	東京都千代田区3-6-8 鎌倉 節	○東北地方太平洋沖地震による殉職警察職員及び公務中行方不明警察職員が30名あり、今後、さらに殉職警察職員の増加を始め、公務受傷警察職員、警察協力殉難者及び警察協力受傷者が多数見込まれることから、これらの者への弔慰金に充てるため、殉職・殉難者援護基金の取崩しを、3月29日の理事会で承認決議した。(交付申請書が提出され次第、所要の手続を開始する。) ○警察協力費として120万円を支出し、岩手県警察本部、宮城県警察本部及び福島県警察本部に対し、それぞれの意向に従い、40万円相当の物品を寄附した。		03-5213-8414(佐藤)	
(特社)全国結核予防婦人団体連絡協議会	東京都千代田区三崎町1-3-12 中群 都舎子	○被災地の中期的支援の実施。(全国100万人の会員へ支援要請依頼の実施。) ○被災地へむけての募金活動、助け合い活動の実施。	○東日本大震災緊急支援のための義援金を3県(岩手・宮城・福島)へ実施	03-3292-9288 (事務局長 山下 武子)	
(特社)全国建設機械器具リース業協会	東京都千代田区神田美倉町12-1キヤビル5階 会長 角口 賀敏	○岩手、宮城、福島の被災地の要望を受けて、ストーブ300台、灯油11,600L(ドラム缶58本)、軽油2,800L(ドラム缶14本)、ガソリン5,000L(ドラム缶25本)、ポリ容器20L 400個、ブルーシート6,000枚等を被災地の学校や役場等に直接届けた。(3月18日から実施)	○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。(5月中旬から実施予定)	03-3255-0511 (小林)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)全国建設業協会	東京都中央区八丁堀2-5-1 会長 浅沼 健一	<p>○事務局内に「東北地方太平洋沖地震災害対策協力本部」を設置</p> <p>○東北各県建設業協会と情報・連絡を密にし、災害復旧活動の推進のための対策・要望事項を政府・国土交通省に要請</p> <p>○東北地方太平洋沖地震の義援金口座を開設し、寄附金税制措置をうけ、各協会等に義援金の拠出を依頼</p> <p>○宮城県災害対策本部からの要請を受け、ブルーシート1500枚を送付</p> <p>○福島原発事故20キロ圏内のガレキ処理に当たる建設業者の支援のため、線量計4台を贈る。</p> <p>○ご遺体の埋葬のため、政府より運搬と埋火葬への協力要請があり、床掘り作業等に協力</p> <p>○国土交通省からの要請を受け、損壊家屋のガレキ撤去に係る委託契約の枠組みを提出</p> <p>○民主党、自民党よりの復旧、復興事業推進に向けたヒアリングにおいて、被災地の再生に向けた災害に強い社会基盤整備のあり方を提言</p>	<p>△青森、岩手、宮城、福島、茨城、千葉各県の県庁の寄附金口座に災害復旧対策のための寄附を5/中旬から行う予定。</p>	03-3551-9396 (事務局長 長谷川)	
(特財)全国建設研修センター	東京都小平市喜平町2-1-2 藤田 真	<p>○震災被災地区の在住・在勤者又は災害普及等従事者を対象に、平成23年度土木施工管理技術検定試験の受験申込受付期間の延長 (1級 当初予定 4/1~4/15 → 延長 4/1~5/6) (2級 当初予定 4/14~4/28 → 延長 4/14~5/13)</p>	<p>△東日本大震災被災者支援のため、義援金を日本赤十字社へ寄附することを検討中</p>	042-321-1634 (木野・須見)	http://www.ictc.jp/
(特社)全国公営住宅火災共済機構	東京都港区虎ノ門2-3-17 虎ノ門2丁目タワー21階 河崎 広二	<p>△会員である地方公共団体(県及び市町村)の公営住宅が火災以外の風水雪害・地震などにより被災した場合、損害の程度に応じて住宅災害見舞金を交付する事業を行っているが、今回の大規模な災害に鑑み特例措置について検討中</p>	<p>△会員である被災県(5県)に対し、災害復旧及び復興事業の財源として活用できる寄付金を行う。(4月中に実施予定)</p>	03-3501-9479(富澤)	
(特社)全国高等学校PTA連合会	東京都千代田区神田佐久間町2-1 奥田ビル内 会長 高間 専逸		<p>○HP上で義援金募集活動を実施。東北地区を中心とした高等学校PTA連合会へ贈呈予定</p>	03-5835-5711	http://zenkoupren.org/
(特社)全国公立文化施設協会	東京都中央区銀座2-10-18 東京都中小企業会館4階 会長 大賀 典雄	<p>○東日本大震災の被災の有無について、全国の公立文化施設に対し、調査した。今後、この調査をベースに、被災した施設の詳細調査を行い、当協会の関係機関等に、被災者支援活動の活用を検討する。</p>		03-5565-3030 (小杉)	
(特社)全国国民健康保険組合協会	東京都新宿区四谷2-4 久保ビル2階 阿部 正俊	<p>○会員である国保組合に対し、医療保険者として被災地の住民の医療の確保が図られるよう要請した。 また、被災者の受診に係る被保険者証、一部負担金等の取扱いについて、適宜国から情報を収集し国保組合への提供に努めてきた。</p>		03-3353-7525 (齋藤)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)全国国民健康保険診療施設協議会	東京都港区芝大門2-6-6 会長 廣畑 衛	<p>○被災地及び災害拠点病院である国保直診に対する医療材料等の支援活動を行っている。(青森県、岩手県、宮城県、福島県の国保直診施設)</p> <p>○被災された国保直診ならびに施設職員に対する募金活動を行っている。(募金期間3月17日～5月31日)。</p> <p>△被災地及び災害拠点病院に対する国保直診に対して、医師・看護師等の人的支援を行うこととしている。(宮城県及び気仙沼市立本吉病院と調整中)</p>		03-6809-2466 (米田)	
(特社)全国さく井協会	東京都中央区八丁堀2-5-1 脇 雅史	<p>○被災された東北6県(青森、秋田、岩手、宮城、山形、福島)の県庁の災害対策本部に「緊急に井戸を掘る事態が生じた際に、協力態勢が整っている」ことを伝えた。</p> <p>△所有者が公(官庁、地方自治体など)の井戸について、要請があれば被害調査、支援に全面協力する。</p> <p>△震災地がもう少し落ち着いたら、避難先での“水”に関する問題点を調べ、復興に役立つ井戸を地方自治体に提案していく。</p>	<p>△東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。(現在募集中で、4月中に義援し、平成23年度中に再義援を予定している。)</p>	03-3551-7524 (岡崎 憲明)	http://www.sakusei.or.jp/
(特社)全国自衛隊父兄会	東京都新宿区市谷本村町5-1 会長 依田智治	<p>大災害で対処にあたる10万人の自衛隊部隊に対し、</p> <p>○派遣自衛隊の活躍を紹介 救援任務及び原発対処に邁進する自衛隊に対する激励文(号外)(3月29日)を活動中の部隊に送付するとともに月刊広報紙4月号(4月15日)を震災特集号とし、派遣活動を紹介・激励した。</p> <p>○ 現地派遣部隊を慰問・激励 (陸:4月18・21日、海:4月6日、空:4月4日)するとともに、新たに派遣される部隊に対しても、部隊が所在する地域ごとに出発、交代時期に慰問・激励を逐次実施し、カップラーメン合計4,000個、野菜ジュース合計1,100本を贈っている。</p>	<p>○会として、義援金募金活動を7月末日途に実施中</p> <p>○各県支部の地域活動として義援金の募金を実施中・・・以下、現在までの実績。それぞれの新聞社等を通じ寄附。島根(3月14日、山陰中央新報)、秋田(3月23日、秋田魁新報)、静岡(4月1日、静岡新聞社)、京都(4月3日、日本赤十字社)</p>	03-5227-2468 (事務局長 安藤 正武)	http://www.zenijhu.jp
(特社)全国市街地再開発協会	東京都港区虎ノ門1-19-10 第6セントラルビル3階 会長 岡村 正	<p>△東日本大震災における激甚災害指定地域を対象に、平成23年度の会費免除を検討中</p>		03-3591-2361 (藤本)	
(特財)全国市町村振興協会	東京都千代田区麹町4-3-3 谷合 靖夫	<p>△ 災害見舞金・・・災害救助法が適用された被災市町村に対し、基準(最高限度額:1市町村ごとに500万円)に基づき交付する。(4月下旬～)</p> <p>△ 災害対策支援金・・・被災者の自立及び被災地域の総合的な復興対策を支援し、もって被災地域の早期復興に資するため、地方協会と調整の上、基準(最高限度額:1都道府県ごとに10億円)に基づき交付する。(平成23年度中)</p> <p>△ 消防広域応援交付金・・・被災市町村への消防車両等の無償譲渡に係る経費を被災市町村に代わって負担する。(7月)</p>		03-3237-9741(西川)	
(特社)全国自動車運転教育協会	東京都豊島区南池袋2-30-12 笠原 隆		<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。(5月27日通常総会後の6月上旬を予定。)</p>	03-5992-3516(山下)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)全国自動車 標板協議会	東京都文京区本郷2-1 5-13 松木 洋三			○東日本大震災緊急支援のための義援金を日本赤十字社へ寄附を行った。(4月14日)	03-3813-5911 (穂積)
(特社)全国自動車 部品商団体連合会	東京都台東区上野7-12 -13 協和ビル5階 会長 新戸部 八州男	○当連合会の会員企業に対して都道府県毎の義捐金募集への協力依頼を行うとともに、当連合会の被災会員企業の実態調査を随時行い、かつ、被災企業への義捐見舞金の募集を実施している。(募集活動は4月30日を目途に実施→現在募集期間の延長を検討) ○当連合会のHP及び機関誌「全部連ニュース」を活用し、被災地中小企業等に国の被災対策事業の情報を提供している。(3月14日から実施) ○被災者支援活動の一環として被災者の足回りとなる自動車の補修整備のため、取引先のメーカー系部品販売会社及び部品卸商社に協力依頼を行うとともに、会員である地域部品商が連携して在庫部品を融通しあうなどの協力体制を構築し、被災自動車の修理・整備工場に必要な補修部品を積極的に配送供給している。			03-3847-8682 (福田、及び船場)
(特社)全国自動車 無線連合会	東京都千代田区九段南4 -8-13 藤本 國男		△東北地方及び関東地方で被災されたタクシー事業者に対して、見舞金を予定		03-3262-5261 (倉谷 康和)
(特社)全国住宅建 設産業協会連合会	東京都千代田区麹町5- 3 麹町中田ビル8階 神山 和郎			○東日本大震災緊急支援のための義援金を日本赤十字社へ寄附。(4月11日実施)	03-3237-7537 (細貝)

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)全国社会 保険協会連合会	東京都港区高輪3-22 -12 理事長 伊藤 雅治	<p>○被災地へ医師、薬剤師、看護師等医療スタッフ並びに事務職等バックアップスタッフで構成する医療チームを派遣し、避難所での診療あるいは被災地域における巡回診療、健康相談等の医療活動を通して、被災者の救護、健康管理等の支援を実施 岩手県(九戸郡野田村他)県外3施設より派遣 【社会保険桜ヶ丘総合病院 四日市社会保険病院 総合病院社会保険徳山中央病院】 宮城県(大槻町、南三陸町、石巻市、仙台医療センター、霞目駐屯地他)県外7施設より派遣 【北海道社会保険病院 金沢社会保険病院 福井社会保険病院 社会保険中京病院 四日市社会保険病院 健康保険諫早総合病院 健康保険人吉総合病院】 秋田県(能代市)県内1施設より派遣【秋田社会保険病院】 福島県(若松市)県外1施設より派遣【社会保険滋賀病院】 栃木県(宇都宮市)県内1施設より派遣【宇都宮社会保険病院】</p> <p>○南三陸町スーパーアリーナ(避難所)を拠点として、周辺被災地域の各公民館及び各戸への巡回診療等を通して中期的な健康支援活動を実施 県内1施設、県外6施設より派遣 【仙台社会保険病院 札幌社会保険総合病院 社会保険群馬中央総合病院 社会保険中京病院 星ヶ丘厚生年金病院 社会保険神戸中央病院 全国社会保険協会連合会】</p> <p>○被災地における老人介護支援活動を実施 宮城県(東松島市)県外1施設より派遣【金沢社会保険介護老人保健施設】</p> <p>○空港でのSCU活動を実施 岩手県花巻空港 県外1施設より派遣【健康保険鳴門病院】 福岡県福岡空港 県外1施設より派遣【健康保険人吉総合病院】</p> <p>○福島第一原発事故に対する放射線スクリーナー、サーベイ要員の派遣 福島県 県外2施設より派遣【埼玉社会保険病院 福井社会保険病院】</p> <p>○県外避難所での診療等による医療支援活動を実施 埼玉県(さいたまスーパーアリーナ)県内2施設より派遣 【埼玉社会保険病院 社会保険大宮総合病院】</p> <p>△医師会、看護協会、姉妹都市からの要請を受け医師等の派遣に向け待機中 3施設【北海道社会保険病院 社会保険久留米第一病院 健康保険南海病院】</p>	<p>○宮城県並びに仙台市に対し義援金を寄附(3月16日 各々の東京事務所長へ手渡した)</p> <p>△各施設において、職員等から集められた義援金について、公的機関へ寄附を行う。</p>	03-3445-0800 (総務部次長 森田和哉)	
(特財)全国社会 保険共済会	東京都千代田区神田鍛 冶町3-4-2 神田東洋ビル 会長 片野 紘二	<p>○年金住宅融資について、平成23年東北地方太平洋沖地震にかかる災害救助法の適用該当地区貸付者に対し、り災状況の把握、返済猶予制度の周知を図るためHPで広報し、案内文を送付した。(4月1日から実施)。</p> <p>○福祉医療機構が定めた震災被害を受けた年金住宅融資返済者への返済猶予等に基づき対応している。</p>		03-3253-6966(債権管理 部)	
(特社)全国市有物 件災害共済会	東京都千代田区平河町 2-4-1日本都市センター 会館 平松 邦夫	<p>○帰宅困難者への対応 避難場所の提供(3/11~3/12) ・会議室の開放 ・情報提供のためのテレビを設置 ・公共交通機関の運行状況の提供(掲示板) ・軽食、お茶、水の提供 ・防寒用ブランケットの貸出 ・乳児をお連れの方にベビーベッドの貸出</p>	<p>○緊急救援金の贈呈: 災害救助法の適用を受けた各市への贈呈</p> <p>○義援金の募集: 募金箱を設置し日本赤十字社に寄附</p>	03-5216-8712 (柿沼)	http://www.city-net.or.jp

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)全国浄化槽 団体連合会	東京都新宿区市谷八幡 町13 松下 鉄男	<p>○東日本大震災被災地の10会員団体(県浄化槽協会)に対し、「浄化槽の地震被害・津波被害の概況」「仮設住宅建設と浄化槽活用における課題・留意点等」「全浄連に対する要望」などの調査を実施し、今後の対応に役立てることとした。(3月15日緊急調査、4月22日までに再調査)</p> <p>○被災地の浄化槽汚泥の処理、並びに、被害を受けた浄化槽に対する業界としての協力に関して、①「県等との災害時協力協定がある被災地会員団体については、その内容を実行すること」②「県等との災害時協力協定を結んでいない被災地会員団体については、今後 どのような協力・支援が具体的に出来るかを県等と協議すること」③「被災地会員団体から、被災地以外の会員団体に対し、人員・機材等の協力要請があったときには対応出来るよう、前もって提供可能な範囲を検討し協力すること」を、被災地を含む47会員団体(都道府県浄化槽協会)に指示した。(3月22日)</p> <p>○林野庁長官・経済産業省製造産業局長・国土交通省住宅局長・環境省廃棄物リサイクル対策部長名の文書「東北地方太平洋沖地震に伴う住宅関連資材の不足への対応について」に基づき、応急仮設住宅の迅速・大量供給や被災住宅の補修を円滑に進めるため、住宅関連資材、建設機械、労働力等の適切な確保等について全面的な協力と特段の配慮をするよう、47会員団体(都道府県浄化槽協会)に指示した。(3月22日)</p> <p>○環境大臣政務官(環境省災害廃棄物対策特別本部長)名の文書「平成23年東北地方太平洋沖地震により生じた災害廃棄物の処理への御協力」に基づき、可能な限り被災地における災害廃棄物処理への協力をするよう、47会員団体(都道府県浄化槽協会)に指示した。(3月30日)</p> <p>○環境省浄化槽推進室文書「災害時の浄化槽被害等対策マニュアルの活用について」に基づき、災害応急対策や災害復旧・復興に関してチェックポイントやチェックシート等を収録し参考に供している同マニュアルを活用するよう、被災地会員団体(県浄化槽協会)に指示した。(3月30日)</p> <p>△今回の大震災に鑑み、被災地の復旧・復興において、「環境を保全し、経済面でも効率的な浄化槽の活用策」等々、全浄連としての対応を審議・策定するための特別委員会を設置することとしている。(4月27日に決定の予定)</p>	<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を、全国47会員団体(都道府県浄化槽協会、被災地協会を除く)を通じて、その傘下会員12,000社に呼びかけ募集する(1口5千円、何口でも可)。18特別会員団体からの義援金を含め、義援金を全浄連に集約した後に、日本赤十字社へ寄附を行う。(3月25日に決定し5月20日を期限として募集中)</p> <p>○東日本大震災において特に甚大な被害を被った、宮城・岩手・福島等の県浄化槽協会に対する見舞金を、全浄連の47会員団体(都道府県浄化槽協会、見舞金対象協会を除く)及び18特別会員団体から募り、復興の一助として、被災地の浄化槽の状況把握や今後の普及促進に役立てる。(3月25日に方針決定。見舞金は4月27日に配分を決定する予定)</p>	03-3267-9757 (石井)	
(特社)全国上下水道 コンサルタント協会	東京都荒川区西日暮里5 丁目26番8号 会長 木下 哲	<p>○大災害発生を受け、3月11日に協会内に対策本部を立ち上げ、情報の収集に努める。</p> <p>○国土交通省東北地方整備局の要請を受け、連絡支援要員を1名(交替制)東北地方整備局へ派遣(3月14日から実施)</p> <p>○国土交通省関東地方整備局の要請を受け、連絡支援要員を1名(交替制)関東地方整備局へ派遣(3月25日より実施)</p>	<p>○東日本大震災緊急支援のため、災害対策準備基金から義援金として1,000万円を3月17日に日本赤十字社へ拠出済み。</p>	03-6806-5751 (加藤 雅夫)	
(特財)全国商工会 議所共済会	東京都千代田区内神田1 -17-9 中村 利雄	<p>○本財団ホームページを通じて、電力使用抑制の要請や計画停電に関する情報の提供、復旧・復興支援情報等を提供している。(3月14日から実施)</p> <p>○本財団が運営する退職年金共済制度の掛金納付を、被災した契約者からの申請に基づき、当分の間中断できる特例規程を設けた。(3月17日から実施)</p> <p>○本財団が案内する引受保険会社運営の各種団体保険・グループ保険加入者が、被災により保険料の払込みが困難な場合、保険料の払込みを最長6ヵ月または9月末まで猶予できる特例措置を設けた。(3月17日から実施)</p>		03-3518-0181(市川)	http://www.cin.or.jp/kvosaitop/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)全国乗用自動車連合会	東京都千代田区九段南4-8-13 自動車会館 富田 昌孝	<p>○被災地で医療活動を行っている国境なき医師団のメンバーを地元タクシー会社がタクシーで送迎し、運賃は全タク連が全額負担した。(3月22日～4月11日)</p> <p>○被災地等で地方自治体等の要請に応え、地元タクシー会社がタクシーで患者、支援物質等の輸送を実施 詳細は別添参照</p>	<p>○東日本大震災支援のため日本赤十字社を通じ、50万円を寄附。(3月17日)</p> <p>○各県タクシー協会に募集し、全タク連からのものと一括して被災タクシー協会へ見舞金を送る。(3月16日から募集を開始し、現在募集中。5月中に送付予定。)</p> <p>○震災により、タクシー車両が失われた被災地協会に対し、各県協会から提供車両を募集して、無償提供する。(4月13日から募集を開始し、現在募集中。)</p>	03-3239-1531 (砂山)	
(特社)全国乗馬倶楽部振興協会	東京都世田谷区上用賀2-1-1 細野 利昭	<p>○国の重要無形民俗文化財である相馬野馬追用の馬を預る乗馬クラブや飼養者を含め、被災地の乗用馬の飼養者に対し、飼料の提供や被災馬の避難先の提供などを実施(3月12日から実施)</p> <p>○会員や有志から義援金を募集(被災した馬牧場に復興支援として拠出予定)</p>	<p>○被災地の乗馬クラブに対し見舞金として100万円を拠出。</p> <p>○日本赤十字社へ義援金10万円を寄附。</p>	03-3427-0117 (森山総務部長)	http://www.jouba.iraio.ne.jp
(特社)全国消費生活相談員協会	東京都港区高輪3-13-22 及川 昭伍	△当協会東北支部において、「震災関連110番」を実施する予定。時期は5月14日、15日の2日間。仙台市内の会場にて、弁護士の協力の下、電話相談を行う。		03-3448-9736(菅)	
(特社)全国消防機器協会	東京都港区虎ノ門2-9-16 田上 征		○当会を含め傘下団体からの義援金を取りまとめ、日本赤十字社に270万円を寄附(3月30日)	03-3595-1868 (大久保)	
(特社)全国消防機器販売業協会	東京都中央区新川1-16-7-204 矢野 正剛	○台東区の災害担当部署に防塵マスクの寄付の申し出	○(社)全国消防機器協会社会貢献委員会を通じ日本赤十字社に義援金を寄附	03-5566-0821 (大島)	
(特財)全国消防協会	東京都千代田区麹町1-6-2 新井 雄治	○東日本大震災の発生に伴い、被災地の消防本部においては、多数の消防車両等が損壊しており、消防力を維持することが困難な状況となっている。当該消防本部における消防車両等の新規整備には、時間を要することから、整備されるまでの間、当面の措置として被災地消防本部への消防車両等の代替の補完調整並びに消防車両等に必要な資機材等の整備支援を行う。		03-3234-1321 (山根)	
(特社)全国食肉買参協会	大阪市住之江区南港南5-2-48 大阪市中央卸売市場南港市場 高橋 成暢	○会員等向け震災関連情報の提供 会員に対して、震災による食品衛生法等の特例措置に関する情報や国等が実施している被災地復興のための支援対策などについて情報提供を行っている。	○会員からの救援金の募集 会員に対し、被災地に向けた救援金を募集。救援金については、5月に被災地を訪問して、仙台の会員(仙台食肉買参事業協同組合)に贈呈する予定。	06-6613-2211 (岩橋)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)全国信用金庫協会	東京都中央区八重洲1-3-7 大前 孝治	<p>○「預金証書、通帳を紛失した場合でも預金者であることを確認して払戻しに応ずること」等について周知(信用金庫への連絡・HP掲載:3月13日)</p> <p>○被災地域へ物資(水、食料、衣料、衛生用品等)を東京都信用金庫協会と協力のうえ支援(3月18日、23日、24日、28日)。また、信金中央金庫(業界の中央金融機関)と共同で支援物資の配送スキームを策定し、これまでに配送を3回実施</p> <p>○被災地域信用金庫のお客様の預金について他の信用金庫、銀行での代理払いによる取扱いを決定・周知(信用金庫への連絡:3月24日 HPでの周知:3月25日、4月5日、4月7日、4月18日HP掲載)</p>	<p>○全国の信用金庫の窓口において東日本大震災の義援金の受付を実施している(受付期間:3月15日～9月30日)。受け付けた義援金は日本赤十字社を通じて被災地域へ寄付する。</p> <p>○全国の信用金庫役職員を対象に一口千円2口以上の「東北地方太平洋沖地震救援2千円募金」を募集(募集期間:3月24日～4月22日)。とりまとめた募金は被災地域の地区信用金庫協会を通じて被災地域へ寄付する。</p>	03-3517-5711 (総務部)	http://www.shinkin.org/
(特社)全国信用組合中央協会	東京都中央区京橋1-9-1全国信用組合会館4階 会長 中津川 正裕	<p>○信用組合の営業状況に関する問合せ先(当協会および全国信用協同組合連合会)について周知(3月14日HP掲載)</p> <p>○全国の信用組合における災害義援金の募集について周知(3月14日HP掲載)</p> <p>○被災地域における信用組合との取引に関する組合員の相談や、信用組合に関する情報提供(店舗の被災状況、信用組合職員の安否情報など)に関する受付窓口の設置(全国信用協同組合連合会)について周知(3月15日HP掲載)</p> <p>○石巻商工、いわき、相双の3信組について、全国の銀行でも預金の払出しができるよう、関係各方面と調整、当協会HP上で周知(4月7日、18日HP掲載、4月22日取扱開始)</p> <p>○被災者の生活資金確保の観点から、親族等本人以外への預金払出しについて、弾力的な対応を行っている金融機関の取組事例を会員組合に周知(4月7日会員組合宛周知、同日HP掲載)</p>		03-3567-2451(総務部) 03-3567-2452(広報部)	http://www.shiryokumiai.or.jp/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)全国信用保証協会連合会	東京都千代田区神田司町2-1 横山洋吉	<p>○東日本大震災の発生により、各地の中小企業者が経営困難に陥る可能性があることから、全国52の信用保証協会に対し、特別相談窓口の設置、年度末の休日対応及び親身な対応を要請(3月11日) (「特別相談窓口」継続中)</p> <p>○東日本大震災の激甚災害指定により、被災中小企業者に対する保証が災害関係保証の適用を受けることとなった旨、全国の信用保証協会に対し連絡するとともに、中小企業者の資金繰りに重大な支障が生じないよう、各信用保証協会に対し、既往債務の条件変更、担保徴求の弾力化等を要請(3月14日)</p> <p>○東日本大震災の影響により、東京電力管内において電力の供給力が不足するおそれが生じたことから、当該管内の各信用保証協会に対し電力使用の抑制を要請(3月14日) その後、計画停電の実施に伴い、当該計画に係る情報を東電管内の各信用保証協会に随時提供し、信用保証協会内の情報共有及び関係機関への周知を要請(3月19日～)</p> <p>○東日本大震災により直接、間接に影響を受けた中小企業者に対する資金繰り支援策を広く紹介するため、各信用保証協会に対し「中小企業向け資金繰り支援策ガイドブック」の備え置き及び中小企業者への配布を要請(3月29日)</p> <p>○東日本大震災により影響を受けた中小企業者に相談窓口を紹介するため、「中小企業電話相談ナビダイヤル」についてのチラシの備え置き及び中小企業者への配布を要請(3月30日)</p> <p>○東日本大震災により影響を受けた中小企業者からの資金繰り相談に対応するため、各信用保証協会に対し、電話窓口の時間延長及び土日祝日の相談対応を要請(3月31日)</p> <p>○東日本大震災により影響を受けた中小企業者の資金繰り需要に応えるため、被災地信用保証協会の要請を受け、国の「東日本大震災中小企業関係緊急連絡本部」の会合において、被災中小企業者に対する保証制度の拡充等について要望(3月22日、3月31日、4月13日)</p> <p>○東日本大震災により影響を受けた中小企業者の当面の資金需要に円滑に応えるため、岩手県、宮城県及び福島県の3信用保証協会に対し計75億8千万円を無利子で貸し付け、その財政基盤の強化を図ることとした(4月13日)。</p> <p>○夏期の電力供給悪化に対処するため、各信用保証協会に対し、夏期の電力使用の抑制について協力要請(4月15日)</p>	<p>○東日本大震災緊急支援のため、日本赤十字社へ義援金を寄付</p>	03-6823-1200 (機員)	
(特財)全国生活衛生営業指導センター	東京都港区新橋6-8-2 全国生活衛生会館2階 理事長 井元 弘	<p>○震災当日に帰宅困難となった外部の会館利用者に会議室を開放した。</p> <p>○被災地の事業者へ正確な情報を早く伝えるため、47都道府県生活衛生営業指導センター及び各業全国生活衛生同業組合連合会を通じて、組合・事業者への融資情報などの情報伝達を行った。</p> <p>○震災による生衛業の影響に関する実態を明らかにし、今後の生衛業に対する様々な支援策の検討に資する基礎データを得ることを目的として全国的な緊急調査を実施し公表した。</p> <p>○被災地域の再生に貢献する生衛業に対する国の支援策等を検討するための基礎資料を得ることを目的として、義援金・支援物資・営業資材の提供、被災者の受入れ・入浴施設の提供・衣類のクリーニング・炊き出し・理美容カットサービスなど、全国の生活衛生同業組合が実施している各種の支援策について、その状況調査を行った。</p>		03-5777-0341(渡部)	http://www.seiei.or.jp/db-cho/index.html (緊急調査を掲載)

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)全国生活衛生同業組合中央会	東京都港区新橋6-8-2 全国生衛会館2階 理事長 濱田 康喜	<p>○被災者及び被災生衛事業者に対する生衛業界団体としての義援金の取りまとめ方法、今後の支援方策等について、理事会において対応を協議した。</p> <p>○被災事業者の早期復旧を支援するため、関係する16業種の事業者団体から融資対策、業務用燃料の確保対策等に関する要望を取りまとめ関係省庁等へ提出した。</p> <p>○被災地の事業者へ正確な情報が伝わらないという現状から16業種の全国生活衛生同業組合連合会、47都道府県生活衛生同業組合連絡協議会へ各種情報伝達を行った。</p>		03-5777-0344(渡部)	
(特社)全国清涼飲料工業会	東京都中央区日本橋室町3-3-3 CMビル3F 前田 仁	<p>○会員企業に対し、食料・物資等の協力・支援を依頼</p> <p>○食料等の無償提供 ・各会員各社にて自社製品(ミネラルウォーター、スープ等)の提供</p> <p>○緊急通行車両確認標章の円滑な交付のために、農林水産省総合食料局長名の文書を会員企業に配信</p>	△5月の運営委員会で方針を決める予定	03-3270-7355 (専務理事 公文 正人)	
(特社)全国船舶無線工事協会	東京都豊島区駒込2-3-10 会長 石井 孝	○津波により無線設備等の登録点検に使用する測定器等を失った会員が円滑に事業を行えるよう、測定器等を用意し、これを共用利用できるよう手配している。		03-3915-0183 (宮崎)	http://www.zkk.or.jp/
(特社)全国タイル業協会	愛知県名古屋市中区代官町39番18号 川本 隆一		○東日本大震災緊急支援のための義援金を会員に呼び掛け募集中。募集期間は3月22日～4月30日。集まった義援金は日本赤十字社へ寄附を行う予定。	052-935-7941 (鈴木)	
(特財)全国タイル検査・技術協会	愛知県名古屋市中区代官町39番18号 藤沢 寿朗		△東日本大震災緊急支援のため義援金10万円を日本赤十字社などに寄附する予定(4月中に実施予定)	0572-43-5395 (日比野)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)全国宅地建物取引業協会連合会	東京都千代田区岩本町2-6-3 全宅連会館 会長 伊藤 博	<p>○3月11日に千葉県より千葉県宅建協会に災害協定に基づく支援要請</p> <p>○3月13日に宮城県、福島県及び岩手県より各県宅建協会に災害協定に基づく支援要請</p> <p>○3月15日に新潟県、青森県より各県宅建協会に災害協定に基づく支援要請</p> <p>○3月17日に長野県より長野県宅建協会に災害協定に基づく支援要請</p> <p>○3月24日に茨城県より茨城県宅建協会に支援要請</p> <p>○都道府県と各県宅建協会の間で締結されている「災害時における賃貸住宅の情報提供等に係る協定」及び国土交通省からの協力要請に基づく、 ・応急借上げ住宅の情報提供 ・空家情報の提供 ・媒介報酬無償での斡旋を実施。</p> <p>○4月20日時点で全国各宅建協会より都道府県庁等に対して52,309件の物件情報を提供</p> <p>○「電力需給緊急対策本部(閣僚級)」の方針を受け、国土交通省総合政策局長(及び資源エネルギー庁)が開催した関係業界団体等に対する「今後の電力需給の見通しの説明と節電の要請」会に参加(3月29日)</p> <p>○民主党国土交通部門・陳情要請対応本部 合同団体ヒアリングに参加し、今後の課題に対する要望を行った。(4月7日)</p> <p>○4月18日の官民連携した民間賃貸住宅の情報誌の発行に際し、不動産関係団体や民間企業とともに積極的に協力(震災対応物件の情報提供)</p> <p>○都道府県協会傘下会員に対し「全宅連不動産物件情報サイト(ハトマークサイト)」へ震災関連情報を付記した賃貸物件情報を積極的に登録。4月19日現在の物件現在の物件数1,763件。</p> <p>○「全宅連不動産物件情報サイト(ハトマークサイト)」において、「震災関連物件」の取り扱いがある旨掲載(4月1日)</p> <p>○細川厚生労働大臣、井上公明党幹事長に対して ・既に民間賃貸住宅に入居した被災者も災害救助法を適用し借上住居に入居可とすること。 ・被災地以外の地方自治体による借上げ推進 ・漁業・農業再建策、都市計画見直し等の復興ビジョンの早期策定等を要望した。(4月18日)</p>	<p>○全国47都道府県宅建協会と連携して義捐金の募集活動を実施中。</p> <p>○甚大な被害があった岩手、宮城、福島、青森、茨城、千葉の各地に宅建協会を通じて合計3,300万円の義援金を送付(4月11日)。</p> <p>○日本政府に4,000万円の義援金を送付(4月20日)。</p>	03-5821-8111 (管理部長 篠崎)	
(特社)全国宅地建物取引業保証協会	東京都千代田区岩本町2-6-3 全宅連会館 会長 伊藤 博		△3月28日開催の理事会において、義援金150万円を被災地に送付することを決定。	03-5821-8121 (事務局長 木幡)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)全国宅地擁壁技術協会	東京都千代田区鍛冶町1-6-16 神田渡辺ビル7階 権藤 勇夫	<p>○宮城県からの派遣要請により、当協会の東北支部の被災宅地危険度判定士が危険度判定を実施し、被害の発生状況を迅速かつ的確に把握することにより、宅地の二次災害の軽減・防止を図った。</p> <p>1. 宮城県 仙台市青葉区双葉ヶ丘2丁目8地区 7箇所 ・(3月28日) ・調査担当 計 3名 ・危険度判定 赤 2箇所、黄 1箇所、青 4箇所</p> <p>2. 宮城県 岩沼市平等地区他 7箇所 ・(4月8日) ・調査担当 計 3名 ・危険度判定 赤 3箇所、黄 4箇所</p> <p>3. 宮城県 利府町被災宅地の調査 ・(調査時期 4月16日、17日の2日間) ・調査箇所数 50宅地 ・班編成 2班(第一班 16日 2名、第二班 17日 2名) うち、第二班 利府町西部(山側)～東部(海側) 12箇所 危険度判定 赤 1箇所、黄 8箇所、青 3箇所</p>		03-5294-1481 (井澤)	
(特財)全国地域情報化推進協会	東京都港区虎ノ門2-9-14 大竹 伸一		△東日本大震災緊急支援のための義援金として寄附を検討中	03-5251-0311(本間)	
(特社)全国地質調査業協会連合会	東京都千代田区内神田1-5-13 会長 瀬古 一郎	<p>○事務局内に対策本部を設置した上で、全地連の会員団体である10の地区協会と連携して対応準備</p> <p>○ホームページに以下を掲載して情報発信を開始した。 ・地質に関する「相談窓口」の開設と紹介 ・関連情報ポータルサイトの公開</p>	△当連合会と会員(地区協会)と連携して、義援金等を寄附	03-3518-8873 (事務局長 池田)	
(特社)全国治水砂防協会	東京都千代田区平河町2-7-5 綿貫 民輔		○東日本大震災緊急支援のための義援金を日本赤十字社へ寄附。(3月25日実施)	03-3261-8386 (平山)	
(特社)全国地方銀行協会	東京都千代田区内神田3-1-2 会長 小川 是		○当協会の会員銀行ならびに役職員等は、東日本大震災で被災された方々の救援や被災地の復興に役立てていただくため、日本赤十字社や共同募金会、地元自治体等に義援金(約17億円)を寄贈(3月31日現在)	03-3252-5171 (総務部・秘書室 平井、守田)	http://www.chiginkyo.or.jp/pdf/data/11_newsrelease/2011/news_6.pdf
(特社)全国中小企業勤労者福祉サービスセンター	東京都港区芝公園1丁目7番6号 退職金機構ビル 別館4階 会長 野寺 康幸		○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、被災した地域のサービスセンターへ寄附を行う。(4月中旬から1ヶ月間の募集期間に加盟団体及びその会員へ義援金を募る。)	03-3433-2948 (業務課 出口)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)全国中小企業情報化促進センター	東京都中央区銀座4-1 0-5三幸ビル本館6階 見学 信敬	△東日本大震災の被災中小企業が戦略的情報化機器等整備事業(コンピュータ等の低料率リース事業)を利用している場合、そのリース料の支払猶予等について、柔軟かつ適切な対応を行うよう指定リース会社に要請する。		03-3549-1811 (須藤)	
(特財)全国中小企業取引振興協会	東京都中央区新川2-1 -9石川ビル2階 井出 亜夫	○関係団体、企業等に節電の喚起を行うとともに、計画停電の情報を提供(3月12日から実施) △被災地の中小企業向けに取引あっせんを行う商談会の実施を検討(被災地の中小企業の操業再開が本格化していく時期からと想定)		03-5541-6688 (総務グループ長 星野 満)	
(特社)全国中小建築工事業団体連合会	東京都中央区日本橋箱 崎町12-4 建設国保会館2F 会長 青木 宏之	○国及び被災地自治体等との連携により、当会会員工務店による応急仮設住宅(木造)の建設(第1次:300棟)に着手(岩手県、宮城県、福島県) ○国の要請により、被災家屋の診断等に当たる住宅相談員として、当会の団体検査員300名を配備(青森県、岩手県、宮城県、茨城県) ○国の要請により、被災住宅の改修を行う工務店として、当会の会員工務店450社を名簿登録により配備(青森県、岩手県、宮城県、茨城県) ○応急仮設木造住宅建設協議会を設立。地域材を利用した仮設住宅の建設をめざし、その施工体制の確保を含め、全建総連、建築士会と連携して稼働を開始 △住宅建設・改修等に従事する職方の不足に対応するため、全国の会員工務店に支援の要請を行い、体制を確保すべく準備中		03-5643-1065 (大槻)	
(特社)全国賃貸住宅経営協会	東京都中央区八重洲2- 1-5 東京駅前ビル5F 川口 雄一郎	(特財)日本賃貸住宅管理協会及び協働団体等との連携、協働により、東北・北関東地域を被災者支援の重点対象にするとともに、支部のネットワークを活かした全国的な支援活動を展開。 ○当社団の会員による被災状況の確認、救援物資送達を実施(3月12日より実施) ○国土交通省の協力要請により、民間賃貸住宅の空室情報提供を開始(3月15日より実施) ○当社団の会員にて、被災者を対象とした「災害時住宅支援検索サイト」 (http://www.saigaishienjutaku.com)へ 民間賃貸住宅の空室情報を提供中(3月21日からサイト公開)。掲載物件には礼金なし、家賃1ヶ月無料等の優遇措置を取られた物件もあり。 ○上記サイトの公開に併せてコールセンターを設置し、被災者からの入居相談に対応 ○福島県、宮城県からの協力要請により、県が借り上げる民間賃貸住宅の空室情報を随時提供 他県においても情報交換を実施しており、適宜対応予定 ○活動内容のご案内及び被災者支援通信等の発行による、会員への被災者支援協力依頼 ○東日本大震災緊急支援のための義援金を、電話・FAX・HPその他呼びかけで募集 (10万円以上は日赤等への寄附、10万円未満は被災地での緊急支援物資の支給、被災者生活支援のための活動に使用予定) ○顧問弁護士チームによる被災時のためのQ&Aを作成 ○会員への現地ボランティアの募集と実施(建物の損傷確認や事務作業のアシスト等) △賃貸マンションやアパートの共用部、専用部等々の節電を入居者、オーナーに啓発		03-3510-0088 (稲本)	http://top.zenivu.or.jp/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)全国中央市場水産卸協会	東京都港区赤坂1-9-13 三倉ビル8階 伊藤 裕康			○会員に対し、被災地への義援金を任意で募集中。被災した漁港のある三陸地方の市町村や漁協の支援に活用予定(4月末まで募集)	03-3583-3642 (専務理事 尾崎 健)
(特社)全国中央市場青果卸売協会	東京都千代田区神田練堀町3 TSKビル5階 川田 一光			○会員に対し、被災地への義援金を任意で募集中。日本赤十字社に出す予定	03-3251-6221 (専務理事 茅沼 茂實)
(特社)全国中小建設業協会	東京都中央区日本橋茅場町1-6-12-504 会長 岡本 弘	○東北・北関東地区の被災県において、当該地区の会員団体を通じて、国及び地方公共団体と連携を図りつつ、災害救助・応急危険度判定・応急復旧工事等の支援活動を実施		○東日本大震災緊急支援のため、全国の会員団体に対して、義援金を募集中	03-3668-7917 (宮崎)
(特財)全国町村議員会館	東京都千代田区一番町25 野村 弘			△東日本大震災緊急支援のための災害救助法認定町村(98町村)へ義援金寄附予定。 (5月11日実施予定)	03-3264-8185 (管理部 堀内)
(特社)全国動物薬品器材協会	東京都千代田区飯田橋3-11-5 20 山京ビル4階 高橋 勇四郎			△東日本大震災に伴う動物救護活動等支援の義援金を、日本獣医師会を通じ法人として寄附予定。	03-2615-5451 (小川 信雄)
(特社)全国登録教習機関協会	東京都港区芝5-27-14 会長 藤井 方園	○東日本大震災に対応するため4月20日に開催した常務理事会において①被災者支援、②災害復旧、③被災地の復興について会員の意向調査を行い、その結果を事務局においてとりまとめ6月6日の理事会において支援の方策を協議			03-3456-4787 (水野)
(特社)全国道路標識・標示業協会	東京都千代田区麴町4-2-6 第二泉商事ビル2階 遠藤 芳郎	○群馬県協会では物資による援助をし、長野県協会では道路・橋梁の点検等の協力並びに会員個人による毛布等の救援物資の拠出を積極的に行っている。		○本部、各支部、各県協会から日本赤十字社等関係先へ義援金として既に総額542万円を贈った。△引き続き当協会として義援金活動を続けている。	03-3262-0836 (南雲)
(特社)全国特定法面保護協会	東京都港区新橋5丁目7-12 魚本 健人	○宮城県との災害協定に基づき、県内被災箇所急傾斜地の緊急危険度調査を90名体制で実施中。東北地方整備局及び関東地方整備局にも必要性を申し出中。出動要請があれば対応することとしている。		○青森県、宮城県、岩手県、福島県の開設する災害義援金口座に各100万円を協会として拠出した。	03-3437-2588 (専務理事 小久保)

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)全国都市清掃会議	東京都文京区本郷3-3-11 林 文子	3/13 会員へ人員・機材の支援を要請(4/21現在237団体から協力の申し出あり) 3/16 薬剤、燃料の要望書を提出 3/23 再度通知 3/25施設の被害調査実施 ○会員都市から被災地域に提供可能な人員・機材(パッカー車、バキュームカー等)リストを提出いただき、被災地への支援内容として整理し被災地、環境省(ホームページにも公開)へ送付 ○被災地からの支援要請に基づき、会員都市から提出いただいた支援内容リストにより支援都市を選択し支援要請に対応(参考として支援内容リストを添付する。) ○被災地域の理事都市の盛岡市、仙台市を核として支援に係る情報交換を行っている。		03-5804-6821 (福島・矢作)	http://www.ivma-tokvo.or.jp
(特社)全国土木コンクリートブロック協会	東京都文京区本郷3丁目17番13号 本郷タナベビル 会長 本間 丈士		○日本赤十字社へ100万円の義援金を寄附(3月末)	03-5689-0491 (事務局長 江口 是清)	
(特社)全国土木施工管理技士会連合会	東京都千代田区九段南4-8-30 アルスマケ谷3F 会長 小林 康昭		△今回震災の特に大きかった岩手、宮城、福島県に対し、義援金の拠出を検討中。	03-3262-7421 (中島)	
(特社)全国肉用牛振興基金協会	東京都千代田区紀尾井町3-27 剛堂会館5F 小里 貞利	○東北地方太平洋沖地震の義援金を生産者・消費者に対して募集中(募集期間:3月17日~5月31日、4月14日現在の支援金額345,850円)		03-3234-3100 (内藤事務局長)	http://www.nbafa.or.jp/pdf/touhoku_110317.pdf
(特社)全国日本学士会	京都府京都市左京区田中大久保町7 森田 嘉一		△会員に対し東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。(6月開催の総会において実施予定)	075-724-6500 (専務理事 黒木 一郎)	
(特社)全国年金住宅融資法人協会	東京都港区虎ノ門1-16-17 虎ノ門センタービルディング2F 会長 藤井 範弘	○会員協会において、それぞれ管理されている年金貯蓄住宅融資の返済被保険者が、この度の東北地方太平洋沖地震の被害に見舞われた際に、下記のように団体信用生命保険の取り扱いを行う。(2011年4月14日現在) ・被災者に係る保険料の支払いを震災月の翌月から最大6ヶ月(2011年9月30日迄)延長する。 ・死亡保険金を請求する所定の必要書類(死亡診断書、死体検案書ならびに除籍謄本等)が用意できない場合、保険金請求時にその事情明記し、必要書類を一部省略して迅速な取り扱いを行う。 ①新聞等で死亡者氏名が公表されている場合は「記事等のコピー」を公的証明書の代用とする。 ②新聞等で死亡者氏名が公表されていない場合は死亡が確認できる「埋葬証明書」等を公的証明書の代用とする。		03-3591-7282(安井)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)全国年金受給者団体連合会	東京都新宿区西新宿4-32-12 会長 若杉 史夫			〇東日本大震災緊急支援のための義援金を、会員である都道府県年金受給者団体を対象として募集し、4月22日現在、約400万円が寄せられている。(近日中に、日本赤十字社へ寄附の予定)	03-5371-5541 (大熊 祐治)
(特社)全国燃料協会	東京都中央区銀座8-12-15 全国燃料会館3階 遠藤 悦弘	〇被災地への緊急支援物資の供給 農林水産省林野庁と連携し、全国の当協会会員及び関係団体会員に呼び掛け、被災地における暖房ならびに煮炊き用として燃料用木炭16トンと木炭燃焼器具(コンロ)1,000個を、支援要請のあった宮城県、福島県に供給搬送した。(3月22日から実施) 〇東北地方太平洋沖地震への支援リリースを農林水産省記者クラブに提示。併せて、当協会ホームページに掲載した。 〇当協会会員及び関係団体会員に対し、引き続き当協会への支援物資の情報提供と併せて被災地への直接支援の呼び掛けを行った。 △東北地方太平洋沖地震の長期支援を図るべく杉本専務理事を3月28・29・30日、岩手県に派遣。今後、学識者を含む専門員会の設置を検討		〇東北地方太平洋沖地震緊急支援のための義援金を寄附。 寄附先:日本特用林産振興会 寄附日:4月20日 △被災状況により更なる支援を検討。	03-3541-5711 (杉本・梅田)
(特社)全国農業改良普及支援協会	東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル 井上 清	〇都道府県普及職員向け震災対策情報の共有・提供 国や各都道府県等が有している被災地の復興に役立つ除塩対策などの技術情報や経営指導情報等を収集し、都道府県普及職員を対象に情報共有・提供を行っている。(3月23日から実施)			03-5561-9561 (草間)
(特社)全国農協観光協会	東京都千代田区大手町1-3-1 会長 坂根 國之	〇被災地住民の移動手段や被災地区への資材運搬などの緊急支援のため、本会が資金を拠出し各県の中央会の災害対策本部を窓口として、都度要請に応じて(株)農協観光の各支店が運行管理を行った。岩手県大型貸切バス2車両、宮城県同5車両、福島県同1両を提供した。 〇期間は3月20日より3月31日までの間実施した。			03-6665-0008(次長 嶋村 文昭)
(特社)全国農業共済協会	東京都千代田区一番町19 全国農業共済会館 竹中 美晴	〇全国の農業共済団体の役員等から、被災した農業共済組合連合会への義援金を募集(使途については連合会で検討のうえ活用。)(3月15日から実施) △被災した農業共済団体の事務所及び役員への見舞金の支給(具体的な支給時期、対象者及び金額は検討中)			03-3263-6411 (中村総務部長)
(特社)全国はちみつ公正取引協議会	東京都中央区日本橋本町4-8-17 共同ビル(室町)5階 早川 幸男	△東日本大震災無償義援物資として、平成23年3月19日、岩手県保健福祉部地域福祉課に対して、はちみつ(180グラム)500本(15万円相当分)提供の申し出。(申し出はしているところ、未だ提供には至っていない。)			03-3279-0893(増田)
(特財)全国避難設備工業会	東京都港区虎ノ門1-16-9 齋田 治男			〇(社)全国消防機器協会社会貢献委員会を通じ日本赤十字社に30万円を寄附(3月30日)	03-3591-0655(黒田)

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)全国標識・ 標示業協会	東京都千代田区麹町4- 2-6 遠藤 芳郎			〇 東日本大震災被災者支援のため、日本赤十字社に対し義援金を寄附(3月23日)	03-3262-0836(南雲)
(特社)全国ビルメン テナンス協会	東京都荒川区西日暮里5 -12-5 狩野 伸彌	<p>〇政府支援の諸施策をいち早く徹底するため、3月14日に災害対策本部を設置するとともに、当協会ホームページに同本部のサイトの特設し、種々の情報を掲載。また、ファックスでも情報を流した。</p> <p>〇当協会の連携法人である岩手、宮城、福島及び茨城の協会を対象に、当協会が積み立ててきた『災害対策準備預金』を取り崩し「災害援助金」を提供、4協会を通して被災者の支援を行った。</p> <p>〇被災協会を除く43の連携協会等に、被災4協会への支援金の募金を呼びかけ、上記当協会の災害援助金とともに4協会に配分した。</p> <p>〇当協会が実施している資格・講習のスケジュール変更や資格期限の延長措置などを行った。</p> <p>〇学校用の清掃用具提供を文科省サイトに掲載、ユネスコスクールを通じて被災地学校に送致した。今後も、当協会の会員に呼びかけを行い、必要に応じて清掃用具の学校への提供活動を行う予定。</p> <p>△当協会が毎年実施している『子供絵画コンクール』のテーマを「未来のおそうじ 取り戻そう元気な日本！ ～きれいな環境、美しい“まち”街づくり!」にして、被災地へのエールを送る企画として第5回コンクールを実施する予定。</p> <p>△被災地における建築物被害への震災対応や復旧対策、経営及び雇用における災害時の対応など、被災状況や対応策などの調査を行い、「東日本大震災ビルメンテナンス影響調査報告書」をまとめる予定。</p> <p>△福島原発事故によって本年夏の節電・省エネルギーが強く要請されているところだが、当協会はビルメンテナンス事業者を通じて運用チューニングで相当の節電が可能であることの啓発と、業界の技術アップを図るためのセミナー開催をはじめとする節電・省エネルギー推進活動を予定している。</p>	△当協会の『災害対策準備預金』の中から日本赤十字社に寄付する(4月中予定)	03-3805-7560(市川)	
(特社)全国防災協 会	東京都中央区日本橋大 伝馬町3-11バイランダ 日本橋ビル 会長 陣内 孝雄	<p>〇本協会が実施している災害復旧技術専門家派遣制度により、被災地の公共土木施設の復旧工法の技術支援を行うため、3月22日及び29日に1名ずつ計2名を千葉県へ派遣し、4月1日から30日にかけて茨城県へ2名を派遣中である。また、地方公共団体からの要請に対し速やかな派遣が行えるよう、71名の技術専門家が待機中である。なお、派遣に要する経費については、全額本協会の専門家派遣支援基金をもって支弁している。</p> <p>〇現地での災害査定が迅速かつ効率的に行えるよう、国土地理院の航空写真画像をパソコン上で拡大し設計図書化するシステムを構築し、申請者(地方公共団体)及び査定実施者(国土交通省)に提供している。</p> <p>〇当協会の月刊誌「防災」4月号(4月1日発行)に、速報版として地震及び津波の概要の記事を掲載</p> <p>△被害の著しい宮城県等には、現地に技術専門家を派遣し、復旧工法の相談窓口を開設することを検討中</p>		03-6661-9730 (加藤 浩己、又は勝田 隆治)	
(特財)全国防犯協 会連合会	東京都千代田区紀尾井 町3-29 岡田 俊邦	<p>〇防犯ボランティアの腕章、ベスト等防犯活動に必要な資材の購入を支援するため、全国の防犯協会に対して、被災県の防犯協会への寄附を呼び掛けている。</p> <p>〇防犯ボランティアの腕章、ベスト等防犯活動に必要な資材の購入を支援するため、被災県の防犯協会へ1,100,000円を寄附</p>		03-3239-0257(河野)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)全国訪問看護事業協会	新宿区新宿1-2-12番 丁目参番館402 長沼 明	<p>○被災地訪問看護ステーションの被害状況を把握する為に被災県の訪問看護連絡協議会を通じ被害情報を収集し報告してくれるよう依頼した。それに基づき訪問看護事業が一刻も早く元の活動が出来るよう支援を実施している(宮城県・岩手県・福島県の被災訪問看護ステーションから支援要請があった事業所へ直接支援物資を輸送し、話を聞いた。)。今後さらに要請があれば、協会の人員が許す限り支援する予定</p> <p>○災害関係の関連通知を全国の訪問看護ステーションに連絡するため協会のHPに災害関連の特設欄を設けて案内している。また、会員にはFAX通信で情報をとどけている。</p> <p>○被災訪問看護ステーションの原状回復や支援のため、全国の会員に3月17日より2ヶ月間の予定で義援金の募集を実施しており、被災した訪問看護ステーションの支援のために使用する予定である。</p>		03-3351-5898 (事務局長 清水 範明)	http://www.zenhokan.or.jp
(特社)全国保護司連盟	東京都渋谷区千駄ヶ谷5-10-9 谷川 和穂	<p>○被災した更生保護関係者等(保護観察対象者等を含む)を支援するため、全国の保護司(約5万人)から義援金を募集している。(4月~6月)</p>	<p>○中央共同募金会東北関東大震災義援金へ寄附</p> <p>○岩手県の保護司会・更生保護女性会・BBS会を通じて、「被災した子どもたちに文房具(小学一年生用の国語ノート)を送った。</p>	03-3356-5724(打越)	
(特社)全国有料老人ホーム協会	東京都中央区八重洲2-10-12 理事長 和田 四郎	<p>○被災した会員の有料老人ホームに対して、3月16日から4月1日にかけて、応援物資を送付。 (宮城県・福島県・茨城県の23ホームについて、全国の会員からの応援物資・協会購入の応援物資等を 2トン・4トンのトラックで延べ12回・34トン程度送付 紙おむつ・水・コメ・食料品・その他日常生活物資等を送付)</p> <p>○全国の会員ホームに対して、原発等の動向によって、受入可能な入居者数や価格等の条件を調査 (200ホーム以上・700人以上の受け入れ表明あり)</p> <p>○3月26日に事務局長、4月2日に副理事長・事務局長・事務局次長で、3~4ホームを慰問</p> <p>△今後協会加盟以外のホームについての状況確認、避難希望者受入希望等に関する確認の予定</p>		03-3272-3781 (灰藤)	http://www.yurokoyo.or.jp/topics/20110322.html
(特社)全国霊柩自動車協会	東京都新宿区四谷4-1-4 東昭ビル3階 坂下 成行	<p>○岩手県、宮城県、福島県からの要請により、東日本大震災による被害者のご遺体搬送のための緊急出動を実施。岩手県については、3月17日から25日までの間、地元岩手県支部の他、北海道、青森、秋田、新潟、群馬、埼玉、千葉の各県支部から延べ582両の霊柩車が出動し、遺体収容所、遺体安置所、火葬場間の遺体搬送を実施。 宮城県については、3月21日から28日までの間、東京、栃木、山梨、神奈川、茨城、山形の各県支部から延べ126両の霊柩車が出動し、同様の遺体搬送を実施。 福島県については、3月18日以降地元事業者が搬送を実施した。</p> <p>△宮城県から東京都内の火葬場へのトラックによる搬送が実施されており、当協会は、都内の拠点から各火葬場までの搬送を東京都から要請を受けて待機中</p> <p>△福島県は原発問題により遺体収容が遅れているが、今後収容が多数に及んだ場合には福島県から搬送要請がある旨の通知を受けて待機中</p>	<p>△東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行う予定。(5月中旬から実施予定)</p>	03-3357-7281 (専務理事 岩淵)	http://www.09net.jp/top.html

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)全国老人クラブ連合会	東京都千代田区霞が関3-3-2 会長 齋藤 十朗	<p>○都道府県・指定都市老連を中心に東日本大震災救援拠金の募集を実施(実施期間は平成23年3月～最終取りまとめ8月末を予定)</p> <p>○「被災地に“元氣袋”(高齢者のまごころ)を届けよう!」全国に呼びかけ、取り組んでいる。 ※“元氣袋”:小袋に筆記具、メモ用紙、ソーイングセット、メッセージ等、会員が思い思いの品々を詰め、被災者に届ける運動</p> <p>○「被災者にカレンダーを届けるプロジェクト」、全国の企業団体等からカレンダーを提供いただき、被災者に届けるプロジェクトを立ち上げ、第1段階のカレンダーの収集から、被災者に届ける段階に入り、被災地の行政、関係機関、介護支援専門員協会などボランティア団体等に呼びかけ、被災者にカレンダーを届ける取り組みを開始した。(仮設入居時以降に実施予定)</p> <p>○東日本大震災被災地の支援体制を整え「被災県別サポート班体制」を組み、被災地老連(岩手・宮城県・福島県・茨城県・千葉県)と幹事老連を中心に具体的な支援の相談、協議し、全国組織をあげて支援に取り組んでいる。</p> <p>○震災情報を全国の老人クラブに配信(「東日本大震災関連情報」/第1報～第10報)</p>		03-3581-5658(岡本)	
(特社)全国老人保健施設協会	東京都港区芝2-1-28成旺ビル7階 会長 山田 和彦	<p>○3月12日に災害対策本部を設置し、岩手県、宮城県、福島県について、それぞれ専属の担当職員をおいて情報収集、支援活動の調整等を行っている。</p> <p>○本協会ホームページに安否情報確認のためのページを開設</p> <p>○3月14日より、被災した介護老人保健施設等の支援のための義援金募集を開始</p> <p>○厚生労働省、当該県との調整のもと、岩手・宮城・福島県で合計823人の被災施設等に入所していた要介護高齢者等を、全国の本協会会員施設で分散受け入れ(4月12日現在)</p> <p>○人的支援:厚生労働省、当該県との調整のもと、岩手・宮城・福島県内の被災施設や避難所等の支援のために、全国から延べ376名の介護職員等を派遣(4月12日現在)</p> <p>○物的支援:被災施設等からの要請に合わせ、医薬品、食品、紙おむつ、マスク、車椅子等を本協会や会員施設から送付</p>		03-3455-4165(業務部)	http://www.roken.or.jp/
(特社)全国労働基準関係団体連合会	東京都千代田区神田小川町3-28-2 会長 羽矢 惇	<p>○被災した組織の早期復興、公益活動の早期再開を支援するため、全国の都道府県労働基準協会・都道府県労働基準協会連合会・地区支部・地区協会から被災組織を対象とする義援金を募集。</p>	<p>△当連合会発行の人事労務管理に関する実務図書の一部(新刊書籍2冊を予定)の一定期間内の売上(5月初日から当面9月末日までを予定)の一部を、日本赤十字社へ寄附する予定(準備中)。</p>	03-5283-1030 (水早修司)	
(特社)全国労働金庫協会	東京都千代田区神田駿河台2-5-15 理事長 岡田 康彦		<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を寄附 寄附先:日本赤十字社 寄附日:3月30日</p>	03-3295-6721 (総務統括部)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)ゼンコロ	東京都中野区江原町2-6-7 勝又 和夫	<p>○ゼンコロが加入している「日本障害者協議会(JD)」の加盟団体で、全国規模の障害者団体である「日本障害フォーラム(JDF)」が3月30日、宮城県仙台市に立ち上げた被災障害者支援を事業目的とする「みやぎ支援センター」(6月末まで活動予定)に、ゼンコロ事務局から1名を派遣し、開所式に立会い、4月1日まで現地での被災障害者に関する情報収集を被災自治体、避難所などから集め、被災障害者の必要物資を運ぶなど支援活動に参加した。(訪問先:多賀城市、塩釜市、七ヶ浜町、南三陸町)</p> <p>○「みやぎ支援センター」へ、ゼンコロ会員法人に対して支援員の派遣を4月5日に要請し、ゼンコロとして、会員法人から現地までの旅費を負担することを決定した。財源は、当法人の公益事業基金を当てる補正予算を6月総会で提案することになっている。</p> <p>○「みやぎ支援センター」へ、会員法人の山形県コロニー協会、ながのコロニーが1名ずつ派遣し、4月10日から17日までの1週間、被災障害者のための支援活動を行なった。(訪問先:気仙沼市、南三陸町、栗原市、大崎市、仙台市亶理町、石巻市)</p> <p>○「みやぎ支援センター」へ、会員法人の福岡コロニー(2名)、熊本県コロニー協会(1名)を派遣し、4月16日から23日まで、被災障害者のための支援活動を行なっている。(訪問先:石巻市、登米市、松島町、南三陸町、気仙沼市、名取市、亶理町、仙台市)</p> <p>△「みやぎ支援センター」へ、会員法人の沖縄コロニー(5名)を派遣し、4月24日から30日まで、被災障害者の支援のための活動を予定している。</p> <p>△岩手県野田村の「おしかわ内科クリニック」(診療所は流失したが、医師は健在で孤軍奮闘中)へ、支援のためゼンコロ事務局1名を4月30日から5月4日まで派遣。ゼンコロ会員法人の「あかつきコロニー」の職員の父親がその医師であることが判明したため、職員と同行して医師の手伝いととともに、被災障害者の情報収集を予定している。</p> <p>△「みやぎ支援センター」へ、ゼンコロ会員法人の福岡コロニー(2名)が第2陣として派遣し、5月7日から14日まで、被災障害者の支援活動を予定している。</p> <p>△「みやぎ支援センター」へ、ゼンコロ会員法人のあかつきコロニー(3名)が派遣し、5月14日から21日まで被災障害者の支援活動を予定している。</p> <p>△「みやぎ支援センター」へ、ゼンコロ会員法人の東京コロニー(7名)が派遣し、5月27日から30日まで被災障害者の支援活動を予定している。</p>	<p>△「日本障害フォーラム(JDF)」へ、活動支援金として100万円の寄付金支出を予定している。</p>	03-5273-0601 (日本障害者リハビリテーション協会内 原田 潔)	http://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/JDF_shienhonbu.html
(特社)釧根地区トラック協会	北海道釧路市鳥取大通6丁目1-4 会長 北島 正博		○東日本大震災の為に義援金を募集(3/25~4/20)北海道トラック協会・全日本トラック協会を経由、関係自治体等へ寄附を行う。(4/15現在350万募金)	0154-51-3108 (鈴木)	
(特財)専修学校教育振興会	東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館 理事長 鎌谷 秀男		○寄附事業を実施 金額:1000万~2000万円 寄附予定先:被災県の専修学校・各種学校協会	03-3230-4814	http://www.ssec.or.jp/index.cgi

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)仙台観光コンベンション協会	宮城県仙台市青葉区錦町一丁目3番9号 丸森 仲吾	<p>○宿泊施設及び日帰り入浴施設等から随時、情報を収集し、仙台市や宮城県を通じて被災者等へ情報を提供。</p> <p>○震災により甚大な被害を受けた公共交通機関(JR、地下鉄、路線バス、高速バスなど)に関する交通情報等を収集し、電話等による照会に対応。</p> <p>○土・日・祝日も職員を事務所に配置し、被災者や復興支援者等からの電話による問い合わせ等に対し案内を実施。</p> <p>○避難所の被災者を対象に、バスによる秋保・作並温泉旅館への日帰り入浴サービスを提供(3月28日～4月1日、4月4日～8日)。</p>		022-268-6251 (早坂総務課長)	http://www.stcb.or.jp/
(特財)煎茶道小笠原流瑞峰庵	兵庫県芦屋市東山町12-2 理事長 花田 博明	△全国各地より義援金を募り、法人から寄贈の予定であるが寄贈先を目下検討中	○義援金65万396円を芦屋市を通じ石巻市に寄附	0797-22-5405 (花田 博明)	
(特社)全日本愛犬技術者指導協会	東京都目黒区上目黒5-21-1 嶋田 久美子	<p>○情報収集 現在、被災地のペットの安否及び飼い主との生活に関する情報が、自治体毎によって違い、把握できておらず、現地関係者も調査など実態把握できる状況にはない。よって少しづつではあるが、本協会よりスタッフを派遣し、個人及び法人並びに団体に関わらず、一人でも多く被災地で支援をしている方とコンタクトをとり、現場がリアルタイムに必要な物の把握及び情報の公開を目指している。</p> <p>○情報の公開 ホームページに「支援ページ」を作成し、支援金の募集及び使用先並びに被災地の状況を公開予定。しかしながら、被災地は少人数で多頭を面倒見ているため、その情報の催促は最低限にする予定。</p> <p>○支援金の募集 人に対する義援金等の募集は大きな効果を得ているように見えるが、ペット及びペットを保護している方への支援金(ペットは金銭の使用が不可能なため、保護等実施している方への費用)は十分とはいえない。そこで本協会の関係各所及び会員へ募集及び協力の依頼を呼びかけて支援金を募集し、政府の制定した緊急災害時動物救援本部をはじめとする、被災地への支援活動を行う各団体へ一部寄附。(現在募集中、ある程度集まり次第実施) また、緊急災害時動物救援本部等から孤立してしまっている個人ボランティア等への寄付及び支援物資購入・運搬等へ使用予定。(情報収集後、支援の内容が確定し次第実施)</p>		03-3715-2709 (嶋田)	http://www.ida-dog.or.jp
(特社)全日本愛鱈会	大分県別府市石垣西9-1-47 会長 瀧川 信夫	<p>○当社は全国に会員が居るため、東北・北関東地区を重点対象に、当社団の現地代表者等を通じて被災状況の確認を実施。それらを踏まえて現地情報を関係者等へ発信(震災直後より実施)</p> <p>○3月・4月に実施予定であった当社団の各地区の錦鯉品評会は全て中止したが、数支部においては余剰金を全て義援金とすることで錦鯉品評会を実施した。また、品評会場に募金箱を設置し、義援金を募った。(義援金は当社団に寄せられ日本赤十字社に寄附を行う予定)</p>	○東日本大震災緊急支援のため、国内全会員(約1,100名)に郵送で義援金の募集をしており、日本赤十字社へ寄附を行う予定にしている(3月22日から実施、現在募集中)。また、当社団の会報誌やホームページにも義援金募集の案内をし、広く募っている。国外支部からも義援金の申し入れがある。	0977-21-4151 (宮森 誠一)	http://www.zna.jp
(特社)全日本アミューズメント施設営業者協会連合会	東京都千代田区九段南3-8-11飛栄九段ビル8階 飯澤 幸雄		○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附(200万円)(3月18日)	03-6272-9401(河野)	http://www.aou.or.jp

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)全日本医薬品登録販売者協会	東京都文京区小石川5-20-17 岩元 龍治	<p>○東北・関東の各登録販売者協会における被害状況及び会員の安否確認を実施</p> <p>○都道府県登録販売者協会において、薬剤師会等と協力の上、医薬品等を無償で被災県あて送付しているところもある。</p>	<p>○全国の都道府県登録販売者協会に働きかけ、義援金の募集を行っている。</p>	03-3813-5353(笠原)	
(特社)全日本印章業協会	東京都千代田区神保町2-4 会長 中島 正一	<p>○東北・北関東地区を重点対象に、当協会の東北ブロック長、関東ブロック長・並びに県連会長を通じて現地被災状況の確認を実施。それらを踏まえて現地の必要な支援ニーズを整備(3月12日から実施)</p> <p>○東日本大震災緊急支援のための募金活動を、全国47都道府県会員にFAX網で同報発信。電話でも連絡(3月15日から実施)</p> <p>△緊急避難から暮らしに重点が移っていく時期から、被災者向け「印章」の無償・または奉仕価格での提供を検討</p> <p>△東北及び北関東地方を中心に、現地の当協会会員を通じて被災者の「実印・認め印」等の需要に応え、無償または奉仕価格での受注を実施</p> <p>△昨年から本年初頭に各行政の印鑑登録受付窓口に当協会編集発行の参考書、「新常用漢字印章字林」を無償配布したが、被災により失われた事案も相当数あることが予想されるので、調査の上再配布を検討中</p>	<p>○東日本大震災の義援金の募集については、5月末及び9月末を締め切りとし現在進行中</p>	03-3261-1015(事務局 長 久保 幸一郎)	
(特社)全日本オートレース選手会	東京都千代田区飯田橋3-9-8 相田ビル 梅内 幹雄	<p>○本会船橋支部が、千葉県旭市においてゴミの撤去など被災地支援ボランティア活動を行う。(3月24日)</p>	<p>○本会所属選手が、日本赤十字社に100万円寄附。(3月15日より)</p> <p>○本会各支部において、チャリティ・グッズ販売、街頭募金活動を実施し、復興支援のための義援金を日本赤十字社等支援団体を通じて寄付(3/15日より)</p> <p>○4月開催レースの出場選手がレース1走につき、2,000円を日本赤十字社等支援団体を通じて寄付</p>	03-3264-8766 (課本)	
(特社)全日本かるた協会	東京都文京区大塚4-39-12 内藤ビル1階 会長 山下 義		<p>○東日本大震災緊急支援の為の義援金を募集し、朝日新聞社を通して寄付(3月13日開催の全国選抜かるた大会にて実施)</p> <p>○東日本大震災緊急支援の為の義援金を募集し、日本赤十字社を通して寄付の予定である。(下部組織全国大学かるた連盟で実施)</p> <p>○東日本大震災緊急支援の為の義援金を募集し、日本赤十字社を通して寄付(3月21日開催の全国かるた松山大会にて実施)</p> <p>○東日本大震災緊急支援の為の義援金を募集し、中日新聞社会事業団を通して寄付(3月20日・4月3日開催の全国かるた桑名大会にて実施)</p>	03-3943-3100 (鶴谷 智子)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)全日本冠婚葬祭互助協会	東京都港区新橋1-18-16 日本生命新橋ビル9F 柴山 文夫	○被災地域に対して、棺・日用品等の物資を提供 ○全国の互助会から被災地域に人材を派遣し、納棺・葬儀等の人的支援を実施中		03-3596-0061	http://www.zengokyo.or.jp/
(特社)全日本きものコンサルタント協会	東京都千代田区麹町4-4-1 山中 典士	○仙台の当協会普及担当及び現地支部を通じて情報収集にあたらせている(3月11日夜より実施) ○全国会員に義援金を募集(3月18日より実施)	△義援金を被災会員に支援(5月予定)	03-3230-3015 (荒井)	
(特財)全日本交通安全協会	東京都千代田区九段南4-8-13 今井 敬		○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄付(3月17日)	03-3264-2641(福地)	
(特社)全日本コーヒー協会	東京都中央区日本橋箱崎町6-2 マックス本社ビル別館3F 太田 敬二	○会員企業に対し、食料・物資等の協力・支援を依頼 ○食料等の無償提供 ・各会員各社にて自社製品(インスタントコーヒー、ミネラルウォーター等)の提供 ○緊急通行車両確認標章の円滑な交付のために、農林水産省総合食料局長名の文書を会員企業に配信	○法人として、東日本大震災緊急支援の義援金を日本赤十字社へ1000万円送付(4月19日)	03-5649-8377 (専務理事 西野 豊秀)	
(特社)全日本ゴルフ練習場連盟	東京都渋谷区神宮前6-2-6 原宿あかねビル2F 境野 匡	○全国のゴルフ練習場(会員)に募金活動の協力を呼び掛けている。(3月25日から実施)	△(特社)全日本ゴルフ練習場連盟東北支部を通じてゴルフ練習場や地域の支援団体に寄付を行う。 △被災によりゴルフ道具を無くされたゴルフ練習場に対して、中古クラブを寄付。	03-3486-0753 (事務局 田坂 陽介)	http://www.igra.or.jp/news/don22/23_3_2.pdf
(特社)全日本シティホテル連盟	東京都千代田区神田東松下町43 工業ビル4階 清水 信夫	○①会員ホテルのフロントに募金箱の設置を指示。(期間:3月14日~5月31日) ○②会員ホテルに被災者義援金募金ポスター(ロビー等、掲示用)配布。(3月24日) ○③津波被災者及び原発避難者へ客室を低価格で提供。3000円~通常価格の50%引き。(期間:3月24日~4月28日) ○④会員ホテルに、震災による金融支援、税務、雇用等対策情報を提供(第一報;3月18日、以降随時更新)	△活動①について、全会員ホテルから集めた募金全額を日本赤十字社に6月上旬送金予定。	03-3258-1090 (中山専務理事)	活動③ <全日本シティホテル連盟HP> http://www.icha.or.jp/shinsai/index.html <観光庁HPリンク先> http://www.mlit.go.jp/kankocho/topics06_000025.html
(特社)全日本鍼灸学会	東京都豊島区南大塚3-44-14 会長 後藤 修司	△震災地(主として避難所・仮設住宅地)における被災者の心身疲労を緩和する目的に関係団体と協調して鍼灸師団を結成して現地に派遣する組織を計画	○被災者支援のため義援金を募集中。 △6月19日開催学術大会の参加費を義援金に充当。	03-3985-6188 (事務局 稲見)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL	
		活動	寄附			
(特社)全日本特殊鋼流通協会	東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 竹内 誠二			〇東日本大震災緊急支援のため会員に対して義援金を募集したところ、1,400万円寄せられ、日本赤十字社へ送付予定	03-3669-2633 (桑原 克己)	
(特社)全日本土地区画整理士会	東京都千代田区平河町2-4-13 ノーブルコート平河町4階 大川 勝敏	〇東日本大震災被災地域における復興のあり方及び土地区画整理士が果たすべき役割について至急検討するため、東日本大震災災害復興まちづくり研究会を立ち上げたところ。(4月20日に第1回研究会、5月9日に第2回研究会を開催)		〇協会ホームページにおいて、土地区画整理事業関係者に対し、東北地方太平洋沖地震に対する義援金の協力を依頼(日本赤十字社のホームページをリンク先に設定)	03-3262-2600 (富岡)	http://www.lrex.or.jp/news/detail.asp
(特社)全日本トラック協会	東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー19階 会長 中西 英一郎	〇震災当日より当協会内に、中西会長を本部長とする災害対策本部を設置、国の要請により翌日の12日から24時間体制で国との連絡調整を行い、緊急物資輸送を開始。4月18日現在までに緊急物資輸送を行った輸送先数は2,026地点、支援物資として食料品1,897万食、飲料水460万本、毛布等45万枚を輸送し、手配台数1,723台(都道府県の自治体要請分を含めると延べ6,219台)が被災地に救援物資を輸送するなど支援を展開。緊急物資輸送については、現在も継続中であり、引き続き、今後も迅速な対応を図る。		△東日本大震災緊急支援のための各都道府県トラック協会会員から義援金を募集し、正副会長会議・総務委員会にて配布先・配分基準等決定後、被災地域の自治体、関係団体等に対し、寄贈を行う(5月下旬)。	03-5323-7240 (村田)	http://www.ita.or.jp
(特社)全日本ネオン協会	東京都港区浜松町1-21-4 港ビル5階 高村 徹			△各支部を通じて会員から義援金を募集し、当協会東北支部へ寄附を行う。(近日中実施予定) △通常総会(5月19日開催)会場にて、協会所属事業者に対して義援金の募集を行う。	03-3447-1526 (南都)	
(特社)全日本病院協会	東京都千代田区三崎町3-7-12 清話会ビル 西澤 寛俊	<p>〇第1次医療救護班は、宮城県気仙沼市に派遣し、公立気仙沼総合病院を活動拠点として、負傷者のトリアージ等の医療救護活動を実施(3月14日～3月31日)</p> <p>〇第1次医療救護班は、宮城県宮城郡松島町に派遣し、松島町役場を拠点に、各避難所における医療救護活動を実施(3月24日～3月31日)</p> <p>〇第2次医療救護班は、宮城県気仙沼市に派遣し、気仙沼市役所保健福祉部健康増進課を拠点に、各避難所における医療救護活動を実施(4月1日～4月30日)</p> <p>〇第2次医療救護班は、福島県相馬市に派遣し、相馬市保健センターを拠点に、各避難所における医療救護活動を実施(4月1日～4月18日)</p> <p>〇第2次医療救護班は、福島県福島市飯坂温泉に派遣し、福島県相馬市から移動してきた避難者への医療支援の実施(4月18日～4月20日)</p> <p>〇第2次医療救護班は、福島県相馬郡新地町に派遣し、各避難所における医療救護活動を実施(4月15日～当面の間)</p> <p>※21日現在で66班を派遣</p> <p>△第3次医療救護班は、宮城県気仙沼市に派遣し、気仙沼市役所保健福祉部健康増進課を拠点に、各避難所における医療救護活動を実施予定(4月30日～当面の間)</p> <p>〇被災地への医療機関(福島県ひらた中央病院)に看護師19名の派遣を実施(3月22日～4月29日)</p>			03-3234-5165(浦川)	<p>第2次派遣について(宮城県気仙沼市) http://www.aiha.or.jp/topics/110311earthquake/110330_5.pdf</p> <p>第2次派遣について(福島県相馬市) http://www.aiha.or.jp/topics/110311earthquake/110406_1.pdf</p> <p>第3次派遣については、21日に掲載予定</p>

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)全日本不動産協会	東京都千代田区紀尾井 町3-30 全日会館3F 理事長 川口 貢	<p>○各都道府県と全日各県本部の間で締結されている「災害時における民間賃貸住宅の媒介等に関する協定」及び国土交通省からの協力要請に基づく、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応急借上げ住宅の情報提供 ・空家情報の提供 ・媒介報酬無償での斡旋を実施 <p>○「電力需給緊急対策本部(閣僚級)」の方針を受け、国土交通省総合政策局長(及び資源エネルギー庁)が開催した関係業界団体等に対する「今後の電力需給の見通しの説明と節電の要請」会に参加(3月29日)</p> <p>○民主党国土交通部門・陳情要請対応本部 合同団体ヒアリングに参加に参加し、今後の課題に対する要望を行った。(4月7日)</p> <p>○4月18日の官民連携した民間賃貸住宅の情報誌の発行に際し、不動産関係団体や民間企業とともに積極的に協力(震災対応物件の情報提供)</p>	<p>○日本赤十字社を通じ、義援金5000万円を送付(3月25日)</p>	03-3263-7030 (事務局長 有川)	
(特社)全日本文具協会	東京都台東区浅草橋1-3-14 東京文具工業健保会館1階 長谷川 澄雄	<p>△被災地の学童にボランティアを通じて文具寄贈</p>	<p>△東日本大震災緊急支援のための義援金を寄附</p>	03-5687-0961 (大沼)	http://www.zenbunkyo.jp/
(特財)全日本労働福祉協会	東京都品川区旗の台6-16-11 会長 柳澤 信夫	<p>○(特社)日本作業環境測定協会の東日本大震災地域における大気中の石綿のボランティア測定の実施</p> <p>○生活必需品を寄付(3月15日)</p> <p>○生活必需品を寄付(3月23日)</p>	<p>○山形新聞、山形放送、山新放送愛の事業団を通じ東日本大震災義援金を寄附</p> <p>○(公社)全国労働衛生団体連合会を通じ東日本大震災義援金を寄附(4月10日)</p> <p>○(特社)日本作業環境測定協会を通じ東日本大震災義援金を寄附(4月1日)</p>	03-5767-1711 (小島 信介)	
(特財)全林野会館	東京都文京区大塚3-28-7 理事長 河田 伸夫	<p>○震災当日、帰宅困難者に宿泊施設を提供</p> <p>○被災中学校へのタオル・スリッパ等の物資支援</p>	<p>○東日本大震災緊急支援のため、義援金を日本赤十字社を通じて寄附(4月19日実施)</p>	03-3945-6871 (倉藤 将樹)	
(特財)全労連会館	東京都文京区湯島2-4-4 理事長 坂内 三夫	<p>○震災当日、帰宅困難者にホールや会議室を開放し、水・非常食の配布、寝具等の貸出を実施</p> <p>○被災地への「緊急車両」と「救援隊」の派遣や「救援物資」の搬送の準備を行う館内に事務所を置く団体(全日本民医連や全労連、国民救援会など)に協力するため、全国から来る救援隊と支援物資の集合・集積基地として、館内倉庫や会議室等を無料で提供</p>	<p>○東日本大震災緊急支援のため、義援金を日本赤十字社を通じて寄附</p> <p>○救援カンパ箱を会館施設に設置</p>	03-5842-5610 (池田 寛)	
(特財)草月会	東京都港区赤坂7-2-21 理事長 勅使河原 茜	<p>△今回の被災該当と思われる東日本地域の各都道府県の支部ごとに、会員の安否確認中。5月後半には会員全員に書面で状況の返信を依頼する予定。現況把握後に、いけばな教室再開のための支援策や現地講習会等を実施し、精神面での復旧活動をしていく。</p>	<p>○3月30日に、1千万円を日本赤十字社へ寄付。現在は公式ホームページにて一般の方から義援金を募り、6月末を目途に日本赤十字社へ送金する予定。また、会員より、被災地域の会員を対象とした募金を実施中。</p>	03-3408-1153 (総務部経理課 遠藤 清五郎)	http://www.sogetsu.or.jp

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)創元会	東京都豊島区南大塚1-50-7 会長 工藤 和雄		①東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄付を行った。実施は70周年記念創元展会期中(3月30日より4月11日まで)国立新美術館公募展覧会会場、募金額は77,625円。②東日本大震災緊急支援のため当会所属宮城県会員に義援金として100,000円を送った。(4月5日)	03-5976-4386 (事務局長 倉林 愛二郎)	www.sogenkai.or.jp
(特社)創玄書道会	東京都豊島区目白3-5-5 金子鶴亭記念 創玄会館 理事長 石飛 博光	○本会の主催する創玄展出品者および協力している毎日書道展出品者の被災状況を書類申請により調査を行っている。これにより今後の義援および救援の資料とする。また財団法人毎日書道会からの義援金の呼びかけに賛同して本会会員へ呼びかけている。	○財団法人毎日書道会の義援金の呼びかけに賛同し、本会より200万を、本会の個人・社中から99万1千円を寄附した。 △6月開催の通常理事会において本会被災者の被災状況の報告を検討し、義援を行う予定。6月開催の理事会において本会からの義援金を検討する。第50回記念事業をとりやめてこの準備資金を義援金にする案も一つ用意されている。	03-3953-8349	
(特社)総合デザイナー協会	大阪府大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞ビル4F 佐治 信忠		○現在、5月末をメ切として会員から寄付金を募集している。最低金額1000円として、自由な金額を振り込んでもらう対応。収集した寄付金を毎日新聞社内にある大阪社会事業団に入金予定 ○韓国のデザイン振興団体である韓国デザインセンターから総合デザイナー協会あてにUSD2,000の震災復興の寄付があったため、当該寄付金を日本赤十字社へ送金した。	06-6346-8695(松本専務理事)	
(特財)総評会館	東京都千代田区神田駿河台3-2-11 理事長 徳永 秀昭	○労働組合のナショナル・センター「連合」の災害対策救援活動に全面的に協力している。 ○連合災害対策救援本部の救援カンパ呼び掛け壁面広告掲載、国際組織や各国の労働組合からのメッセージのロビーパネル展示等、救援運動の広報活動に協力している。 ○会館内に設置された連合災害対策救援本部の活動の為、深夜・早朝利用の便宜を図り協力している。 △連合の救援ボランティア活動に会館職員を派遣することで準備中。	○連合が実施する東日本大震災救援カンパの募金箱を会館施設に設置 △寄附を検討中	03-3251-0311 (専務理事 小山 正樹)	連合災害対策救援本部 http://www.jtuc-rengo.or.jp/saigai/index.html
(特社)相馬労働基準協会	福島県相馬市中村字桜ヶ丘67 会長 遠藤 修		○東日本大震災による技能講習・特別教育の修了証の紛失等に対し、無償再交付(8月31日まで)	0244-36-5135 (専務理事 矢戸 信一)	
(特財)ソーシャルサービス協会	東京都百人町4-7-2 全日自労会館3階 赤羽目 寛	○東日本大震災による被災地における瓦礫等の撤去に伴う片付け・清掃等の援助に関し宮城県及び仙台市、塩釜市等4市、4町へ申し入れを行った。 △福島県、岩手県各被災自治体に関して申し入れる予定。		03-3227-5540 (神田)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)曾於法人会	鹿児島県曾於市大隅町 岩川6484-2 渡辺 紘三		○(3月23日)講演会会場における義援金の募集し、県連を通じて寄附した。 △(4月29日)お釈迦祭り会場(志布志市)における義援金の募集予定 △(5月12・17・19日)通常総会会場で義援金を募集予定	0994-82-3981(代表)	
(特財)測量専門教育センター	東京都北区中里1-15-7 上條 勝也	○会員(測量専門学校)に対し、「企業等から地方自治体等への寄付の方法」についての情報提供を行い、被災者支援及び震災復興の寄付等の活動を要請した。	○日本赤十字社へ寄附を行う。	03-3823-1075 (大塚事務局長)	
(特財)常磐奨学会	東京都中央区東日本橋 三丁目7番19号 理事長 斎藤 一彦	○奨学貸与金の返還者から、被災による延納の申し出があれば、その事情を参酌して、相当期間返還を猶予する。		03-3663-3411 (事務局長 磯上 満)	
(特財)ソロプチミスト日本財団	京都府京都市下京区 塩小路通烏丸東入ル 東塩小路町614 田中 田鶴子		○災害救援基金より救援金を拠出し、日本赤十字社へ寄附(3月実施)		
(特財)損保ジャパン記念財団	東京都新宿区西新宿1-26-1 理事長 佐藤 正敏	助成財団の活動として、以下を実施しています。 ○2010年3月 地域災害等緊急助成として、被災地の障害者を支援する活動を行う以下2団体に助成を実施。 ①きょうされん(障害者の共同作業所全国連絡会) 100万円 ②JDF(日本障害フォーラム) 50万円 ○2010年4月 地域災害等緊急助成として、以下2団体に助成を実施。 ①JDF(日本障害フォーラム) 110万円 被災障害者を支援する活動 ②ソーシャルケアサービス従事者研究協議会 200万円 被災された障害者・要介護者と、それらの方に福祉サービスを提供する団体(社会福祉法人やNPO)に、福祉の専門職を派遣する活動。 △2011年7月23日に開催の、損保ジャパン記念財団賞(社会福祉に関する優秀な学術文献を表彰する制度)の受賞記念講演会の際に、『「社会福祉が捉える「利用者像」—東日本大震災を踏まえて』をテーマとするシンポジウムを開催する。 △有識者のグループが行う被災地の災害弱者(障害者・高齢者など)の調査研究への助成による支援など、2011年度の助成事業を通じて被災地支援。 △損保ジャパングループとの連携、ボランティア促進のためのネットワーク「ひろがれボランティアの輪」連絡会などへの参加など通じ、災害ボランティアの機運の高まりを継続させるような方法の検討、長期にわたる被災地復興・復興への継続的な支援を喚起する活動を多くのセクターと協働して実施。		03-3349-9570 (岡林、丹保)	以下のURLで掲載準備中です。 http://www.si-foundation.org/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
た 行					
(特社)大学英語教育学会	東京都新宿区横寺町55 神保 尚武	△被災した会員の年会費等の免除を検討。	△東日本大震災緊急支援のための義援金を支部大会や全国大会で募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。(6月中旬から実施予定)	03-3268-9686 (事務局 荒川)	
(特財)対日貿易投資交流促進協会 (ミプロ)	東京都豊島区東池袋三丁目1-3 樋口 勉		○東日本大震災緊急復興支援のための義援金として日本赤十字社へ寄附を行う。(4月25日実施)	03-3988-2791 (持田)	
(特社)第二地方銀行協会	東京都千代田区三番町5 会長 小島 信夫	○会員銀行における災害義援金の取扱状況をHPで公表(3月22日HP掲載、3月31日・4月7日HP追加掲載) ○被災者の取引銀行以外での預金払戻しの取扱状況をHPで公表(4月1日記者発表・HP掲載、4月8日・4月20日HP追加掲載) ・4月6日より当協会会員37銀行で取扱開始 ・4月8日より当協会会員銀行全行(42行)に全銀協加盟の76銀行を加えた全国118銀行に取扱拡大(4月20日現在、全国119銀行で取扱中)	○東日本大震災の被災地支援のため、義援金(1,000万円)を日本赤十字社へ寄附	03-3262-2181 (業務部、総務部)	http://www.dainichiginkyo.or.jp
(特社)大日本水産会	東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル8F 白須 敏朗	○被災地への政府などの緊急的な支援に協力を図るとともに、水産分野の復興について、必要な支援、要請活動を行うため東日本大震災対策本部を設置。(3月13日) ○本会対策本部と全漁連対策本部で農林水産大臣に対して緊急要請を行った。(3月23日・30日) ○本会対策本部と全漁連対策本部で財務副大臣・農林水産大臣・総理官邸に対して緊急要請を行った。(4月4日)	○東日本大震災緊急支援のための救護物資を調査捕鯨船日新丸の輸送を通じて行った(3月25日) ○東日本大震災支援のための義援金募集を開始(3月14日)し、4月20日現在で11,790万円の募金を集め、水産業に関係が深い東北四県の地方自治体を中心に支援することとし、気仙沼市・大船渡市・塩釜市・石巻市・女川町・八戸市・久慈市に寄附を行った。 △さらにいわき市・相馬市・釜石市・宮古市に対して寄附を行う予定。	03-3585-6681 (長岡 漁政部長)	http://www.suisankai.or.jp
(特社)大日本農会	東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル 武政 邦夫		○日本赤十字社を通じ200,000円の東北関東大震災義援金を送付した。(3月22日)	03-3584-6739 (小町)	http://www.dainihon-noukai.jp/
(特社)大日本猟友会	東京都千代田区九段北3-2-11 会長 佐々木 洋平	○東日本大震災緊急支援のため、岩手・宮城・福島等の猟友会被災者を対象に、募金寄付を47都道府県猟友会へ呼びかけて募集	○4月14・15日に岩手・宮城・福島の各県猟友会へ各700万円、同19日に茨城・千葉の各県猟友会へ各100万円を寄付した。	03-3234-8080 (荒田)	
(特社)太平洋美術会	東京都荒川区西日暮里3-7-29 会長 澤村 みちる	△関東(東京)に避難している方々を会期中(第107回太平洋展(5月11日～5月23))展覧会に招待し会場作品を役員が説明案内する。	△展覧会会期中に東日本大震災の募金箱を会場に置き募金をつのる	03-3821-4100 (佐田 昌治)	http://www.taiheiyobijutu.or.jp

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL	
		活動	寄附			
(特社)大北法人会	長野県大町市大町2511-3 大町商工会館内 太田 純雄			○震災義援金として、法人会の会計から、2万円を長野県栄村へ寄附した。(3月28日)	0261-22-3493 (横澤 晴美)	
(特財)体力づくり指導協会	東京都江東区大島1-2-1 ザ・ガーデンタワーズ サンライズタワー1階 小室 博行	○被災地の皆さまの「エコノミー症候群」を防止するため、避難所ならびにご自宅等で簡単にできる“けんこう運動”をホームページにて紹介。(3月17日から実施) ○施設を有効活用していただくため近隣の被災者を受け入れ、風呂等を無償で提供／行政事業共催 △本会施設で開催する特別教室受講料を全額被災者支援のために寄附(5月3日～5日)		○本会施設(6箇所)に募金箱を設置し義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附(3月17日～)	03-5858-2111 (浦田)	http://www.tairyoku.or.jp/
(特社)高岡法人会	富山県高岡市丸の内1-40 要明 英雄			○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集している北日本新聞社へ30万円の寄附(3月25日高岡支社へ持参)	0766-23-8855(代表)	
(特社)高崎法人会	群馬県高崎市間屋町2丁目7-8 高崎商工会議所ビル506号 金井 功	○法人会事務局へ募金箱を設置し、東日本大震災への義援金を募集する。(3月14日から実施) ○会員企業に義援金を募る。(3月14日から実施) △高崎法人会として経費を削減し相当額を寄附する。(5月31日)		△総会終了後の5月末を目途に日本赤十字社へ寄附する。	027-363-4526(岡田)	
(特社)竹田法人会	大分県竹田市大字竹田1920-1 工藤 一勝			○(3月30日・31日)(社)竹田法人会は、活動費の中から、仙台市、大分合同新聞社、日本赤十字社に対して義援金を拠出した。	0974-64-0042(代表)	
(特財)たばこ総合研究センター	東京都港区虎ノ門3-2-2虎ノ門30森ビル 小幡 一衛			○東日本大震災緊急支援のため事務所に募金箱を設置し、義援金を募集。(日本赤十字社へ4/15に寄附。現在も継続中) ○東日本大震災支援のための義援金を日本赤十字社へ5/16に寄附。	03-3436-3771 (西山)	
(特社)ダム・堰施設技術協会	東京都文京区関口1-47-12 江戸川橋ビル3F 会長 中川 博次	△今後の復興支援の為、東日本大震災の被災地に於ける堰・水門設備等の、被災実態把握からその対策等の情報について、当協会機関誌にて公表して行く。		△東日本大震災緊急支援のための義援金として、日本赤十字社へ寄附を行う。	03-3267-0371 (横谷)	
(特財)ダム技術センター	東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F 理事長 大町 達夫	○ダム管理者により地震発生後の点検を踏まえ要請を受けた場合は、当財団法人が持つダムに関する高度な技術と豊富な経験に基づき、無償でダムの状況確認や管理者としてとるべき処置について助言を行う。 (4月13日、福島県の要請を受け、無償で現地調査を行い、必要な助言を行った。)		○東日本大震災緊急支援のため、3月末に岩手県・宮城県・福島県に義援金(各300万円)の寄附を行った。	03-5815-4161 (池田)	
(特財)ダム水源環境整備センター	東京都千代田区麹町2-14-2麹町NKビル 理事長 渡辺和足	△東日本大震災に対応した既設多目的ダム水力発電緊急増電のための技術的検討の実施。これまでの研究の蓄積を活かし、水力発電を有する既設多目的ダムについて、発電能力を最大限活用出来るような緊急的な運用措置について技術的検討を行い、多目的ダム等の管理者である国等へ提案を行うため、自主研究を緊急的に実施する。		○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し(3月17日～)、日本赤十字社へ寄附。	03-3263-9921 (萩原)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)淡水生物研究所	大阪府大阪市淀川区宮原2-11-22 森下 郁子	△災害の今後の復興を支援するために、被災地の現状調査の実施、水環境の評価と復興の過程を診断し、その知見を公表する。 △環境技術学会やNPO法人 環境技術支援センターと提携して事業を進め、地域特性を踏まえた効果的な水環境調査や環境保全技術等を提案する。		06-6396-3671 (森下)	
(特財)地域開発研究所	東京都文京区関口1-4 7-12 江戸川橋ビル 理事長 林 桂一		△東日本大震災被災者支援のため、義援金を日本赤十字社へ寄付する。 △職員互助会及び職員有志からの義援金を日本赤十字社等に寄付する。	03-3235-3610 (総務部長 清水)	
(特財)地域活性化センター	東京都中央区日本橋2-3-4 理事長 石田直裕	○東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響により、風評被害に悩む地域を支援するため、関係県が主体となって(財)地域活性化センター日本橋イベントスペース(「日本橋プラザビル」東京都中央区日本橋2-3-4)において農産物の販売促進事業を実施する。第一弾は以下の通り実施する。 ・日時:平成23年4月25日(月)、26日(火) 10:00~15:00 ・主催:茨城県農業法人協会 ・協賛:茨城県全農、茨城県本部、茨城県農業会議(予定) ・場所:日本橋プラザビル1階 イベントスペース 東京都中央区日本橋2-3-4 ・事業実施機関:(財)地域活性化センター		03-5202-6138(地域づくり情報課 平野副参事)	http://www.chiiki-dukuri-nyakka.or.jp/
(特社)地域環境資源センター (4月1日「地域資源循環技術センター」から名称変更)	東京都港区新橋5-34-4 農業土木会館内 田中 忠次	○被災県等の要請を受け、3月18日から4月20日までの約4週間にわたり、当センター職員及び当センター会員(市町村等)技術者を3市(千葉県香取市、福島県須賀川市、福島県白河市)に延べ155人を派遣、農業集落排水施設の緊急点検や被害状況調査を実施。今後も被災県等の要請に基づき職員等を派遣する予定 ○福島県の要請により、3月29日に新潟県中越沖地震を経験した新潟県柏崎市の技術者の協力を得て農業集落排水施設の災害復旧に係る対応経緯等について、関係市町村を対象とする説明会を実施(会員向けに新潟県柏崎市の申請資料一式をHPに掲載中)		03-3432-6286 (福留、濱井、秋)	http://www.jarus.or.jp/
(特財)地域総合整備財団	東京都千代田区平河町2-5-6 嶋津 昭	△ふるさと融資借入れ事業者に対し、償還猶予を検討 △平成23年度に当財団で実施する全事業において、被災市区町村からの申請があった場合は、優先的に採択を行う予定		03-3683-5731(北村)	
(特財)地域創造	東京都港区赤坂6-1-20 国際新赤坂ビル西館8階 林 省吾	○東日本大震災の被災地域の公立文化施設と全国の公立文化施設をつなぎ、少しでも被災地域の支えとなるよう、被災地域に関する情報やメッセージを収集・発信している。具体的には、「被災地域の公立文化施設からのメッセージ」「被災地域の公立文化施設の被災状況」「被災地域を支援する取り組みや役に立つ情報をまとめたトピックス」「全国から被災地域の公立文化施設へ向けたメッセージ」を収集し、発信している。(4月11日から実施) △地域再生の一助として文化・芸術活動を行いたいと考えている被災地域の公立文化施設に対する「被災地支援プログラム」の実施を検討する。実施時期、内容等については、被災地域の公立文化施設のニーズを踏まえ検討する。		03-5573-4173(村松)	http://www.jafra.or.jp/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)地域伝統芸能活用センター	東京都新宿区坂町5番地 8四谷クリエイティブビル 会長 中村 徹	△地域伝統芸能を活用した行事として「第19回地域伝統芸能全国フェスティバルあおもり」を開催し、「がんばろう日本！がんばろう東北！」をメインテーマとして東北の伝統芸能団体出演を通じた復興応援メッセージを全国に発信するとともに、県内外・海外の地域伝統芸能の競演を通じた伝統芸能による被災地の復興を応援する取組を実施する予定である。(開催予定日:9月24日(土)～25日(日)、開催地:青森県青森市) △VJC事業に参画し伝統芸能公演を通じてアジアの国・地域からの震災応援に対する感謝を伝える。 ○今回の震災の影響による日本各地の主なお祭りの中止等の状況を調査した。		03-5919-3665(総務部長 岩本 富久男)	http://www.dentogeino.or.jp/
(特財)地球環境戦略研究機関	神奈川県三浦郡葉山町 上山口2108-11 理事長 浜中 裕徳		○東日本大震災に対する支援のため、役職員から義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。(3月22日より募金実施)	046-855-3700(稲村)	
(特財)地球産業文化研究所(GISPRI)	東京都中央区日本橋箱崎町41-12日本橋第二ビル6階 理事長 南 直哉		○4月16日、当財団が主催する会合において、参加者の会費の一部を東日本大震災の被災者への義援金に充てることを提案し、同意が得られたことから、近日中(4月中)に100万円を日本赤十字社に寄付する。	03-3663-2500 (専務理事 蔵元 進)	
(特財)地球市民財団	東京都千代田区平河町 2-14-3 理事長 小田與之彦	○初動の被災地救援活動の為、物資・活動費用として100万円を公益社団法人日本青年会議所に助成した。(三月中旬) △年間の中期復興事業(子供のメンタルケア等)に充てるため数百万円単位での事業費計上を予定(2011年度中に支出予定) ○東日本大震災復旧、復興の為に支援金を募集中(3月下旬から実施)集まった募金はNGOの行う復興活動に充てる。		03-3234-5188 (春川 秀樹)	
(特社)畜産技術協会	東京都文京区湯島3-20-9 綿羊会館内 菅野 茂		○被災された畜産生産者救済のための資金として、一般社団法人都道府県畜産振興協議会(=全国の畜産協会等の生産者支援組織が会員の法人)に対し、義援金50,000円の寄付を実施。(3月29日)	03-3836-2301 (甲斐部長)	
(特財)畜産生物科学安全研究所	神奈川県相模原市緑区 橋本台3-7-11 松原 謙一		○東日本大震災緊急支援のための義援金を、法人として一般社団法人都道府県畜産振興協議会を通して寄附した。(4月11日) ○募金箱を設置し、職員一同から寄付を募っている。 △日本赤十字社を通して法人として義援金の寄附を予定(5月上旬) △全国公営競馬獣医師協会からの要請に応え義援金の寄附を予定(5月上旬)	042-762-2775 (前田 雄二)	http://www.riasbt.or.jp/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)秩父法人会	埼玉県秩父市宮側町1-7 西村 耕一	○秩父商工会議所が主催した、支援活動に共催して、会員から日用品や衣料品などの支援物資を募り、法人会で取りまとめの上、秩父商工会議所を通じて、陸前高田市の支援物資受付窓口へ届けた。(3月23日、25日)	○県外視察研修を中止し、その費用相当額30万円を日本赤十字社へ寄附した。(4月6日)	0494-25-1922 (事務局長 持田)	
(特社)千葉県観光物産協会	千葉県千葉市中央区富士見1-12-7 安田 敬一	○東北地方太平洋沖地震により被災・避難された方に対して特別料金を設定する宿泊施設を、千葉県がホームページで公表する際に調査協力を実施している。(23年3月24日～)	○東日本大震災緊急支援のための義援金について、県産品展示即売場2か所で募金を行っており、近日中に寄付を行う予定。	043-225-9170 (小倉)	http://www.pref.chiba.lg.jp/kankou/press/2010/shinsai1.html
(特社)千葉県銀行協会	千葉県千葉市中央区中央2-5-1 会長 佐久間英利	○東北地方太平洋沖地震にかかる災害に対する金融上の措置の更なる徹底について会員行に周知 (3月23日)		043-222-8009(原田)	
(特社)千葉県自動車整備振興会	千葉県千葉市美浜区新港156 会長 河田 守晃	○千葉運輸支局管内において、国土交通省関東運輸局が実施した「移動自動車相談所」に職員を派遣し協力した。(平成23年4月14日(木) 千葉県旭市にて実施) ○東日本大震災緊急支援のための義援金を当会会員より募集し、日本赤十字社等へ寄付をした。	○東日本大震災緊急支援のための義援金100万円を千葉県へ寄附した。	043-241-7254 (総務課 加瀬)	
(特社)千葉県法人会連合会	千葉県千葉市中央区千葉港4-2 石井俊昭		○県内の被災地支援のため、傘下の県内法人会に義援金を呼びかけた。義援金は被災地の各法人会で取りまとめ、それぞれ県内被災地に対し計155万円(自会拠出分32万円)を寄附した。	043-247-2084 (専務理事 藤崎吉彦)	
(特財)ちば県民保健予防財団	千葉県千葉市美浜区新港32-14 理事長 藤澤 武彦		○(公財)千葉日報福祉事業団が主催する東日本大震災義援金に対し、158,872円を寄附 ○東日本大震災によって甚大な被害を受けた千葉県旭市に対し、30万円を寄附 ○(公財)日本対がん協会が募った、岩手、宮城、福島のがん協会支部に対する東日本大震災義援金に対し、5万円を寄附 ○(公社)全国労働衛生団体連合会が募った、青森、岩手、宮城、福島、茨城の全国労働衛生団体連合会会員機関に対する東日本大震災義援金に対し、2万円を寄附	043-246-0350 (総務課 岡田 雅美)	http://www.konko-chiba.or.jp
(特社)千葉県労働基準協会連合会	千葉県千葉市中央区千葉港4-3 会長 山村 康		○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、(特社)全国労働基準関係団体連合会を経由し、被災県の労働基準協会へ寄附	043-241-2626 (専務理事 戸嶋 禮助)	http://chibaroukiren.com

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)ちば国際コンベンションビューロー	千葉県千葉市美浜区中瀬2-6 WBGマリブイースト14階 会長 鈴木 栄治	<p>○千葉県国際交流センターホームページに「東日本大震災に関する外国人向け情報」を掲載。</p> <p>○千葉県国際交流センターの語学ボランティアに対し、東日本大震災による外国人への対応可能なボランティアを照会し、登録。</p> <p>○千葉県国際交流センターの外国人テレホン相談を通じ、東日本大震災に関する相談に対応(日本語、英語、中国語、スペイン語による)。</p> <p>○千葉県国際交流センターでは、「多言語支援センター茨城」からの依頼に応じ、大震災に係る外国語翻訳に協力。</p>	<p>○東日本大震災被災者支援のための義援金を職員から募集し、社会福祉法人千葉県共同募金会及び千葉県ユニセフ協会へ寄附。</p> <p>△他団体と共催で、「東日本大震災チャリティコンサート」を開催し、義援金を募集する(4月27日に実施)</p>	043-297-4301 (総務部総務担当)	
(特財)地方公務員安全衛生推進協会	東京都千代田区麹町3-2 柳原 瑛	<p>△今回のような大規模災害では、被災自治体だけではなく全国各地の自治体が救援活動のため多数の職員を派遣しているが、これら救援活動に従事する職員が受ける心理的影響も甚大と思われる。</p> <p>被災地の地方公共団体の職員はもとより、被災地へ派遣された職員の身心両面にわたるケアが重要であり、惨事ストレス対策を中心とした研修会等を重点的に行っていく予定。</p>		03-3230-2021 (藤野)	http://www.jalsha.or.jp/
(特財)地方公務員等ライフプラン協会	東京都港区赤坂8-5-26 赤坂DSビル6階 山野 岳義	<p>△東日本大震災の被災者に対する「心のケア」が非常に重要な課題となっている。</p> <p>当協会では、これまでも地方公務員を対象にボランティア活動をテーマにした研修会を行ってきたが、今年度は、①心のケアボランティアを行うための基礎的な知識、技術を教える「60才からの災害ボランティア～心のケアボランティア」をテーマとし、②対象を地方公務員ばかりでなく地域の住民も参加できるオープンセミナー方式とした研修会を協会の自主事業として開催する。</p> <p>講師費用等は、協会が負担し、地方自治体には会場設営と参加者の募集をお願いすることとしている。</p>		03-3470-8711(谷口)	
(特財)地方財務協会	東京都千代田区平河町2-4-9 理事長 遠藤安彦	<p>○被害の大きかった岩手県、宮城県、福島県の市町村担当課を経由し、庁舎が被災した市町村に対し当協会が発行している資料や書籍を寄贈する準備がある旨の連絡をし、要望のあった団体には寄贈している。(4月7日から実施。継続中)</p>		03-3261-1729 (総務部 大森)	
(特社)地方税電子化協議会	東京都千代田区永田町1-11-32 石井 正弘	<p>○eLTAXの利用が不能、または一定期間停止した被災団体に対し、平成23年度の負担金等の納付猶予を講じることを決定</p> <p>また、個人住民税の公的年金からの特別徴収を中止する事務処理について、一括して中止を希望する被災団体に対し、対象となる住民の情報を記録媒体(CD)にして提供することを決定</p> <p>△上記の被災団体に対し、eLTAXが利用できなかった期間に応じて、負担金等の免除措置を講じる予定</p>		03-3507-0211(境原)	
(特社)中央畜産会	東京都千代田区外神田2-16-2 第2ディーアイシービル内 小里 貞利	<p>○義援金募集の事務局</p> <p>被災された畜産生産者救済のための資金として一般社団法人畜産生産者団体協議会と一般社団法人都道府県畜産振興協議会の行う義援金募集の事務局を担当(3月22日から実施)。</p> <p>併せて、中央畜産会ホームページを活用し、広く義援金募集を呼びかける。</p>	<p>○被災された畜産生産者救済のための資金として、一般社団法人都道府県畜産振興協議会口に義援金3,300万円(4月25日現在)を集める。</p>	03-6206-0842 (中胡次長)	http://jila.lin.or.jp/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)中央電気倶楽部	大阪府大阪市北区堂島 浜2丁目1番25号 理事長 山口 昌紀	<p>○東日本大震災復興支援のため、当倶楽部館内に募金箱を設置し、倶楽部月報による周知のほか、直接、倶楽部会員、来館者、倶楽部およびテナント等の職員などに呼びかけて、義援金を募集(3月15日～4月15日)</p> <p>○公開講演会(3/15)や復興支援チャリティコンサート開催(3/26)による募金活動の実施</p> <p>○3月13日の菅首相の節電協力呼びかけに応じ、節電による火力燃料の節約が東電の火力炊き増しへの燃料支援になることを説明し、倶楽部職員・業務委託先職員に節電の徹底を周知(3月14日)</p> <p>○倶楽部食堂での被災地産品(青森県産林檎ジュース[提供済]、東北6県酒類等)の提供(4月末予定)</p>	<p>○東日本大震災復旧支援のための募集した義援金と倶楽部からの義援金を日本赤十字社大阪府支部へ寄附(4月18日)</p>	06-6345-6353(田原)	http://www.chuodenki-club.or.jp/
(特社)中央味噌研究所	東京都中央区新川1-26-19 下村 飴爾	<p>○会員事業者に支援物資の協力要請を実施(3月12日から実施)</p> <p>○会員事業者による支援物資の無償提供</p>	○会員事業者による義援金の寄附	03-3551-7163 (小畑常任理事)	
(特社)中央酪農会議	東京都千代田区内神田 1-1-12 コープビル内 茂木 守	○被災地域の酪農家の復興・経営継続支援のための酪農経営復興支援義援金を募集中		03-3219-2611 (佐藤)	http://www.dairy.co.jp/archive/kulbvg000002rz1.html
(特財)中近東文化センター	東京都三鷹市大沢三丁目-10-31 理事長 阿部 知之	<p>○東日本大震災緊急支援のための募金寄付を、電話・メール・HP・情報誌その他呼びかけでチャリティコンサートを行う。</p> <p>○博物館内で募金箱を設置して募金活動を行っている。</p>	△日本赤十字社へ寄附を行う。	0422-32-7111 (末次)	
(特社)中高年齢者雇用福祉協会	東京都港区西新橋2-11-9 望月 衛	○義援金箱を事務所受付に設置し、当協会役員および研究員、その他来訪者への寄附の呼びかけを行っている。	○義援金の第1回目の締めを5月末とし、6月に日本赤十字社へ寄附を行う。なお、義援金の募集は引き続き行う。	03-3500-4381 (総務担当)	
(特社)中国建設弘済会	広島県広島市中区八丁堀15-10 理事長 菅原 信二	<p>○東北地方整備局北上川下流河川事務所において被災状況把握、災害復旧支援を実施、3月22日から4月19日まで間、順次班体制をつくり4班、延べ約60人日の支援職員を派遣した。</p> <p>○非常食、保存食等の救援物資を調達し、発送。</p>	○東日本大震災緊急支援のため義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附。(3月下旬実施)	082-221-6461 (小金)	
(特財)中国港湾福利厚生協会	広島県広島市南区宇品 海岸3丁目11-17 会長 小田 和之	<p>○被災した同一目的で設立された東北・関東の協会及び職員に対して、当協会、職員個人から見舞金を拠出した。</p> <p>○港湾運送業界では、被災地で従業する港湾労働者が就労を希望する場合、他の港での受け入れを検討中であり、当協会管内に就労希望者があれば協会が経営する独身寮及び宿泊施設を提供する準備がある。</p>	○東北港湾福利厚生協会、茨城港湾福利厚生協会へ見舞金拠出(4月上旬)	082-255-0735 (松下)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)中国残留孤 児援護基金	東京都港区虎ノ門1- 5-8オフィス虎ノ門1 ビル7階 理事長 多田 宏	○東日本大震災で被災した中国残留邦人とそのご家族に対する支援として、被災された方々からの問い合わせ、各種相談等を中国語でもお受けする「情報提供・相談電話」(電話窓口)を開設 【相談受付体制及び時間】 中国語が話せる職員3名を配置し、平日9:30から17:00迄の間、相談に応じている。(平成23年3月25日から実施)	○東日本大震災に被災された中国帰国者の方々への義援金を受け付けている。(受付期間:平成23年3月28日~9月30日)	03-3501-1050 (堀内)	http://www.engokikin.or.jp/
(特社)中国自動車 無線協会	広島市中区東白島町21- 16 会長 梶川 政文		△東日本大震災緊急支援のための見舞金を、(特社)全国自動車無線連合会を通じ寄附を行うことを検討中(6月末までに実施する予定)	082-221-9357 (風呂之春)	
(特社)中国船用工 業会	広島県広島市中区上八 丁堀8-26 メーブル八丁堀906 会長 黒木 正純	○3月30日 当会会員にメールにより東日本大震災に対する「公益財団法人日本財団」の取り組む支援金への協力を依頼した。(当会としても4月下旬に10万円支援する予定。)	○4月20日東日本大震災で被災した東北地区の造船、船用工業事業者支援のため「東北船用工業会」に対して10万円の支援を実施した。	082-221-9699 (井崎)	
(特社)中国船舶職 員養成協会	広島県広島市南区元宇 品町41-18 理事長 吉田 勉		○東日本大震災支援のための義援金を募集し、NHK広島へ寄付。(3月末までのもの4月1日に持参、現在も継続中。)	082-255-8700 (尾山 伸治)	
(特社)中国地域 ニュービジネス協議 会	広島県広島市中区鉄砲 町1-20 松坂 敬太郎	○東日本大震災緊急支援のための義援金募金を、会員企業やメールマガジン登録者に呼びかけ て募集(各県庁に寄託し、被災地での支援に使用)(4月7日から実施)	○東日本大震災緊急支援のための義援金の募集を、各地域のニュービジネス協議会とも協働して行い、各地域協議会で募集・收受後、(社)日本ニュービジネス協議会連合会で取りまとめ、被害を受けた協議会を通して被災された各県に届ける。	082-221-2929 (事務局長 林 修一)	http://www.cnbc.or.jp/event/110407.pdf
(特社)中国地区信 用金庫協会	広島県広島市中区田中 町6-5 高木 一之		△(社)全国信用金庫協会の呼びかけにより、東北地方太平洋沖地震の被災信用金庫へ支援見舞金を拠出する予定(平成23年5月予定)。 ○(社)全国信用金庫協会の呼びかけによる「東北地方太平洋沖地震救援2千円募金」に協力(平成23年3月30日)。(地区協会を通じ被災地へ) ○(社)全国信用金庫協会の呼びかけによる「東北関東大震災義援金」に協力(全信協を通じ日本赤十字へ)。(平成23年3月22日)	082-243-4857 (兼定事務局長)	
(特社)中国地方総 合研究センター	広島県広島市中区小町4 番33号 福田 昌則		△東日本大震災緊急支援のための義援金として職員一同より、寄付を行う。(日本赤十字社予定)	082-245-7900 (事務局長 白石)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL	
		活動	寄附			
(特社)中国電気管理技術者協会	広島県広島市中区八丁堀1-17 横田 修治	○当協会HPにおいて、お見舞いのメッセージを発信している。		△東日本大震災緊急支援のための義援金を同協会および同協会会員全員から徴収し、(特社)東北電気管理技術者協会へ寄附を行う。(現在、会員からの徴収を行っており、5月末までに寄附予定)	082-228-6981 (小草専務理事)	http://www2.ocn.ne.jp/~cg-dkgt/
(特財)中国電気保安協会	広島県広島市中区小町4-33 岡田 展	○電力会社、東北電気保安協会からの応援要請に対応できるよう、資機材を含め応援体制を整えた。		○全国の電気保安協会(被災した東北、関東を除く)で義援金を日本赤十字社へ寄附した。(3月23日)	082-242-7511 (重見)	
(特財)駐車場整備推進機構	東京都千代田区神田東松下町17番地 矢野 善章			○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集中。 (機構が管理している全国14箇所の駐車場に4月11日から募金箱を設置。) 市、区又は市の福祉協会への寄附を行う。	03-5256-2005 (茂木 和憲)	
(特財)中小企業災害補償共済福祉財団 (通称:あんしん財団)	東京都新宿区信濃町34番地 千葉 憲雄	△避難所での生活を余儀なくされている被災者の方々の健康維持に役立てていただくために弊財団所属のヘルスケアトレーナーを避難所に派遣し、運動指導にあたります。具体的には、避難所の運営責任者等からの要請に基づき、ヘルスケアトレーナーを派遣し、運動指導を行なうことにより、「エコノミークラス症候群」に繋がる血栓の予防や気分転換をしていただくことで被災者の方々の健康維持を支援します。 △避難所での生活を余儀なくされている被災者の方々に対する臨床心理士・産業カウンセラーの相談コーナーを避難所に設置し、カウンセリングサービスを提供します。具体的には、臨床心理士・産業カウンセラーの相談コーナーの設置を希望する1都3県(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)の避難所に対して、臨床心理士・産業カウンセラーを派遣し、カウンセリングサービスを提供することにより、被災者の方々の心のケアを支援します。		○東日本大震災緊急支援のための義援金を弊財団内部で募集し、社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団へ寄附させていただきました(4月5日)。 ○会員様から弊財団に寄せられた義援金については日本赤十字社へ寄附させていただきます。	ヘルスケアトレーナーの派遣(災害防止部三富) 03-5362-2325 臨床心理士・産業カウンセラーの派遣(福利厚生部 田中) 03-5362-2335	http://www.anshin-zaidan.or.jp/
(特社)中小企業診断協会	東京都中央区銀座1-14-11 銀松ビル 新井 信裕	○中小企業庁で実施している「中小企業支援ネットワーク強化事業」において、被災地支援のため現地に派遣可能な外部専門家の登録要請の協力依頼があり、協会に属している診断士において現地派遣可能な者を新たに381名確保し、要請に答えるべく体制を整えたところ。 ○国の震災関係の施策情報を会員診断士、中小企業者に広く啓発するため、行政サイトの情報を当会HP上で情報提供。(3月18日から実施)		○会員中小企業診断士を対象に東日本大震災緊急支援のための義援金を募集中(3月22日から受付開始)	03-3563-0851 (小沢)	http://www.ismea.jp/attach/koueki/gienki_n.pdf
(特財)中小企業レクリエーションセンター	東京都港区南青山5-12-4 秋山 昭八			○東日本大震災支援のため役員等から義援金を募集し、被災地である福島県国見町に寄附を行う(4月15日実施)。以後、継続中。	03-3400-8903 (尾山)	
(特社)中部経済連合会	愛知県名古屋市中区武平町5-1 川口 文夫	○会員への義援金協力の呼びかけを実施(3月15日) ○ホームページに行政からの支援要請等の各種情報を掲載し、会員に周知を諮る(随時)		○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附(3月28日)	052-962-8091(亀井)	http://www.chukeiren.or.jp/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)中部建設協会	愛知県名古屋市中区丸の内三丁目5番10号 福田 晴耕	<p>○東北地方整備局北上川下流河川事務所管内において、3月23日から4月19日の間、被災状況調査等を実施、土木技術者2名体制延べ68人日による調査を実施した。</p> <p>○道路、河川等の被災状況の調査・排水処理対策及び排水対策の調査のため出動した、東北地方整備局の防災エキスパート活動に対し、緊急支援物資を提供した。</p> <p>○中部建設協会の会員や来訪者を対象に募金箱を備え、募金活動を実施中。</p> <p>○中部「道の駅連絡会事務局」である中部建設協会は、各「道の駅」に「東日本大震災義援金」の募金箱を設置し募金活動を実施中。</p>	<p>○東日本大震災支援のための義援金を募集し、中央共同募金会へ寄附。(4月7日実施)</p>	052-962-2210 (前田 壽一)	http://www.cknet.jp
(特社)中部圏不動産流通機構	愛知県名古屋市中区城西5-1-14 愛知県不動産会館1F 会長 山田 美喜男	<p>○被災者支援物件を含む震災関連情報のレイズ登録について、登録促進を兼ねてその登録方法をIP型お知らせ欄に掲載(3月24日)</p> <p>○4月10日発行の会報誌「中部れいんず第56号」に上記を掲載。ホームページに掲載(4月19日)</p>	<p>○愛知県を通じ、義援金20万円を送付。(3月31日)</p>	052-521-8589 (事務局 小林)	http://www.chubu-reins.or.jp
(特社)中部航空宇宙技術センター	愛知県名古屋市中区栄2-9-26 ポラ名古ビル10階 会長 川口 文夫	<p>△大規模災害地域で情報収集・伝達、被災者救助等でヘリコプターに要求されるハード面(機体、装備品等)及びソフト面(運用方法、現地管制等)の課題とその対応策等について、機体及び防災関係の専門家を中心にした研究会活動を行う。</p>		052-221-6681 (中沢 隆吉)	http://c-astec.jp/
(特社)中部産業連盟	愛知県名古屋市中区三丁目12-13 池淵 浩介	<p>○中産連は、震災被害に対し、被災者と関係者のみなさまへの心のケアを通じて復興を支援、震災および原発での被災者の方々が勤める企業・事業所・工場を対象に、4月より7月11日(月)までの3カ月間、ボランティアでのカウンセリングを実施</p>	<p>○連盟職員とシンポジウム・セミナー参加者に募金を呼びかけ日本赤十字社へ寄付を行う。</p> <p>○連盟として中日新聞社を通じ寄付を行う。</p>	052-931-3181(永見)	http://www.chusanren.or.jp/
(特財)中部生産性本部	愛知県名古屋市中区栄2-10-19 会長 小澤 正俊		<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金として、100万円を中日新聞社を通じて寄付(3月23日実施)</p>	052-221-1261(雲井)	
(特社)中部電気管理技術者協会	愛知県名古屋市中区高見2-13-14 廣田 隼人		<p>△東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。(4月中に開催する9支部の各総会及び5月25日に開催する協会総会において実施予定)</p>	052-762-2838 (渡辺 孝司)	
(特財)中部電気保安協会	愛知県名古屋市中区丸の内三丁目19-12 田中 孝明	<p>○電力会社、東北電気保安協会からの応援要請に対応できるよう、資機材を含め応援体制を整えた。</p> <p>△被災地((財)東北電気保安協会)の電気主任技術者を雇用する。</p>	<p>○義援金を、中日新聞社会事業団へ寄附した。(3月18日)</p> <p>○全国の電気保安協会(被災した東北、関東を除く)で義援金を日本赤十字社へ寄附した。(3月23日)</p>	052-955-0781 (総務部総務グループ 副長 神村 佳高)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)中部日本プラスチック製品工業協会	愛知県名古屋熱田区6番3丁目4番41号 名古屋市工業研究所管理棟 4F 会長 後藤 勉一郎		○関連団体である「社団法人 東日本プラスチック製品工業協会」、「社団法人 神奈川県プラスチック工業会」に対して、それぞれ50万円の寄付金を送った。(3月30日に実施) ○震災以降のイベントで参加者から義援金を募っている。夏頃を目処に本協会からの義援金も加算して、日本赤十字社などに寄付を行う。(震災以降継続中)	TEL:052-654-8155(専務理事 葛谷 善信)	http://www.chubu-pla.or.jp/
(特社)土浦労働基準協会	茨城県土浦市中央2-14-11 会長 塚田 陽威		○東日本大震災緊急支援のための義援金として、日本赤十字社へ寄附	029-824-0324 (島田)	
(特社)底質浄化協会	東京都中央区新富1-12-7 陣内 孝雄		○「東北地方太平洋沖地震東京都義援金」を通じて、被災者支援のための寄付をした。	03-3555-1641 (深田)	
(特社)デジタル放送推進協会	東京都港区北青山1-2-3 青山ビル13F 理事長 間部 耕平	○タオルを5万枚準備し、順次被災地に届けている。		03-5785-4022 (総務部)	http://www.dga.or.jp/
(特社)デジタルラジオ推進協会	東京都港区芝公園4-4-7 東京タワースタジオビル7階 清水 洋二	○東日本大震災の被災地における文具として、メモ用紙1箱(@9cm四方)×200冊を7箱分、計1400冊と、ボールペン50本、寄付金として現金1万円を一般財団法人 NGO時遊人を通じて寄付した。(4月12日)		03-5776-2271(広見)	
(特財)鉄道弘済会	東京都千代田区麹町5-1 小島 紀久雄		○法人として東日本大震災の被災者支援のため、義援金100万円を中央共同募金会へ寄付。(3月31日実施)	03-5276-0311 (総務部総務課)	
(特社)哲泉流日本吟詠協会	大阪府豊中市東豊中1-22-13 会長 松井 淳		○東日本大震災緊急支援のための義援金を日本赤十字社へ寄附をした。		
(特社)電気倶楽部	東京都千代田区有楽町1-12-1 理事長 小島 啓示	○東日本大震災緊急支援のための募金寄付を、ホームページで呼びかけて募集し、さらに倶楽部入口に義援金箱を設置して募金の呼びかけを行い募集している。(内閣府による政府窓口への義援金振込を予定している。)(3月14日から実施) ○被災地復興イベントに出向き、物品の購入等の支援に積極的に行動している。 △電気倶楽部が今後実施予定の講演会等の各種行事において、義援金の募集寄附を呼びかけて募集を予定している。(内閣府による政府窓口への義援金振込を予定している。) △電気倶楽部主催の見学会・旅行会は、東北地方(被災地)を計画する。 △会員を対象として被災地の特産品の販売に協力する。	△東日本大震災緊急支援のため、電気倶楽部として100万円を寄附予定(内閣府による政府窓口への義援金振込を予定している。)	03-3201-0721(平山)	http://www.denki-club.or.jp

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)電気工事技術講習センター	東京都港区新橋4-24-8 長谷 好泰		○(社)日本電気協会新聞部広告を通して、日本赤十字社に被災地への復興支援金を支出(平成23年3月24日) △被災した電気工事組合への義援金の支出予定(平成23年4月25日)	03-5472-0185 (永田)	
(特社)電気通信協会	東京都新宿区西新宿3-20-2 宮津 純一郎		○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附(3月31日振込済み)	03-5353-0190 (佐藤)	http://www.tta.or.jp
(特財)電気通信振興会	東京都豊島区駒込2丁目3-10 岡井 元	○東北地方太平洋沖地震において、無線局免許状や無線従事者の免許証を紛失された被災者の方から、無線局免許状及び無線従事者免許証の再交付を申請するための申請用紙について購入の希望があった場合は、被災者支援の一環として、無料で提供することとした。 対象地域:青森(八戸)、岩手、宮城、福島、茨城の5県 対応期間:平成23年9月末まで		03-3940-3951 (事務局長:比留川)	http://www.dsk.or.jp/3menkvo/menkvo_03.htm
(特財)電源地域振興センター	東京都中央区堀留町2-3-3 理事長 新 欣樹	○福島第一原子力発電所の事故により避難している福島県6市町および地震津波被害により避難している宮城県女川町へ、衛生用品、生活必需品、レトルト食品等の生活支援物資を搬送(3月18日:富岡町・大熊町、3月23日:女川町・楡葉町、3月25日:広野町・浪江町・南相馬町) ○福島第一原子力発電所の事故により避難している福島県6市町に対して、震災等に係る諸情報をファックスにて毎日配信中 ○福島県大熊町からの要請に基づき、福島浜通り各市町の避難状況やその他の動きについて簡単な聞き取り調査を行い、大熊町に情報を提供 ○当センターに出向している大熊町職員を専任者として、福島第一原発事故により避難している自治体からの情報収集、ニーズ把握、情報交換等を実施中 ○福島県大熊町のホームページが機能していないため、大熊町からの要請に基づき、当センターのサーバーを利用して大熊町の臨時サイトを構築、運営 △ホームページ臨時サイトの構築、運営に関して、大熊町以外の被災自治体から要請があれば、運用に移せるよう準備中 △当センターのノウハウを以て支援できる事業について、様々な方面から検討中		03-6372-7311 (総務企画部長 長洲 孝勝) (調整管理課長 田村 一郎)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)電池工業会	東京都港区芝公園3-5-8 本間 充	<p>○東日本大震災の発生直後、会員企業に「電池および懐中電灯」の支援要請を実施。以下の物資を無償で提供頂き、会員会社が独自に輸送手段を確保し、物資を被災地へお届けした。(3月13日より順次実施。)</p> <p>○一次電池(乾電池等) 1,163千個 ○二次電池 723千個 ○懐中電灯 108千個 ○ランタン 5千台 ○蓄電システム 20台 ※これらの数量の多くは、提供会社にて既に公表しています。</p>		03-3434-0261 (廣瀬)	
(特財)伝統的工芸品産業振興協会	東京都豊島区西池袋1-11-1 メトロポリタンプラザビル 渡邊 隆夫	<p>○1 震災後、閉館していた全国伝統的工芸品センターにおいて、再開後、直ちに「がんばれ!東北!」コーナーを設け、特に被害の大きかった東北地方工芸品(雄勝硯、大堀相馬焼、宮城伝統こけし)を特別に値下販売し、売上金は全て当該産地組合に送金。(3月18日より実施) なお、同センター内においても支援のための義援金箱を設置し、センター来場者からの寄附を募集。義援金は、下記3と一緒に寄附する予定。</p> <p>○2 さらに同センターの特設会場において、4月15日より震災の影響が甚大な東北地方の伝統的工芸品及び栃木県の益子焼を上記1同様に、値下販売し、売上金は全て当該産地に送金予定。</p> <p>○3 国指定工芸品の産地組合に対し東日本大震災緊急支援のための義援金を募集。特に甚大な被害を受けた2工芸品産地組合(宮城県・雄勝硯、福島県・大堀相馬焼)に対し寄附予定。(3月25日より実施、寄附は4月中に実施予定) また、日本伝統工芸士会(当協会が事務局を預かり、実態は一体として運営)においても傘下の産地工芸士会に対し、義援金を募集し、被災産地に寄附する予定。(3月24日実施)</p> <p>△4 青森市において開催される「地域伝統芸能全国フェスティバル」において、地元青森を中心とする東北地方の工芸品を支援。 (9月の予定) 青森以外の地域についても、同様の復興支援を検討中。</p>		03-5954-6033 (三上、平間)	http://www.kougei.or.jp
(特財)電力中央研究所	東京都千代田区大手町1-6-1 各務 正博	<p>○研究機関として関係省庁・機関・企業からの問合せや依頼に対応し、震災対応に関連する技術的な支援・助言を実施(3月11日より継続的に実施)</p>	<p>○備蓄飲料水を自治体(我孫子市)に提供(3月24日)</p> <p>○福島第一原子力発電所事故による避難者支援のため義援金を社団法人 日本原子力産業協会へ寄付(4月)</p> <p>△被災地支援のための義捐金・支援金を役職員から定期的に募集し、継続的な寄付を実施予定(調整済み次第実施予定)</p>	03-3201-6601(総務グループ 田中)	
(特財)東海冠婚葬祭産業振興センター	愛知県名古屋市中区那古野2-7-20 理事長 牧野 昌司		△義援金の寄付を検討中	052-571-5021(本田)	
(特社)東海住宅地経営協会	愛知県名古屋市中区栄四丁目3番26号 理事長 馬場 研治		○東日本大震災緊急支援のため義援金を募集し、社会福祉法人中日新聞社会事業団へ寄付。(3月14日開催東住協オープン化セミナーにおいて実施)	052-251-8920 (尾河 満)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)東海信用組合協会	愛知県名古屋市中村区 椿町3番21号 信用組合会館内 兵藤 俊朗	○義援金の受付窓口を設置。(3月14日から実施)	○4月1日、全国信用組合中央協会を通して日本赤十字社へ寄附。(協会資金から寄附、会員組合は別途対応)。	052-451-2110(佐橋)	
(特社)東京青色申告会連合会	東京都千代田区九段南 4-8-36 川口 信吾		○青色申告会に求められる社会的責務を果たすべきであるとの判断から、被災者とその地域の支援及び復興のため、義援金募集活動を実施して、日本赤十字社に寄附する。(4月から実施)	03-3230-3401(事務局 長 佐久間)	http://www.tokyo-aioro.or.jp/index.html
(特社)東京アメリカンクラブ	東京都港区麻布台 2-1-2 ランス・リー	○会員、スタッフ、一般から集めた救援物資(食料品及び生活物資)の配送(2t コンテナ 14個分(70万米ドル相当))。(3月22日-4月22日)。物資収集には、会員ボランティアおよそ50名以上が仕分け作業に携わり、400名を越える人から物資寄付を受け付けた。 △東日本大震災救援基金チャリティーイベントを5月に実施予定	○会員及びスタッフから義援金募集(約150万円相当、3月19日から実施)	03-4588-0670 (婦人部)	http://www.tokyoamericanclub.org/
(特社)東京ガラス外装クリーニング協会	東京都台東区台東1-27-11 会長 西田 収		○会員企業に対し、義援金の募集活動を行い、集まった義援金を寄附	03-3835-3364 (森)	
(特社)東京倶楽部	東京都港区六本木1-9-14 吉澤建治		○東日本大震災緊急支援のための義援金を、日本赤十字社へ寄附(3月28日振込済み)	03-5114-0554(荒井 重正)	
(特社)東京港運協会	東京都港区海岸3-26-1 パーク芝浦4階 鶴岡 元秀	○社団法人日本港運協会からの「東日本大震災復興対策基金」への協力要請に対し、当協会として会員184社に協会会費の2カ月分を基準として義援金を要請している。特別枠で、会員2社より各500万円の申し出があった。現在、義援金の当協会あて銀行振り込みを受付中。	○社団法人日本港運協会「東日本大震災復興対策基金」への協力金として、会員184社に協会を加え、当協会として4月5日3,000万円を寄付した。	03-5444-2151 (菅原)	
(特社)東京乗用旅客自動車協会	東京都千代田区九段南4-8-13 富田 昌孝	△東日本大震災の被災地である東北地方のタクシー業界においては、約500台の車両が流出、水没などの被害で失われ、現地で公共交通機関として住民の移動に手を差し伸べるためのタクシー車両を緊急に必要としているとの要望から、タクシー中古車等を被災地に提供する支援事業を実施する予定。	○東日本大震災支援のための義援金を会員から募集し、日本赤十字社及び被災地タクシー協会へ寄附。(4月末まで実施) ○被災地に向けた応援ステッカーをタクシー内に貼付していただき、その購入代金を義援金として、日本赤十字社及び被災地のタクシー協会に寄付。(5月中旬まで実施)	活動: 03-3264-8080 (業務第2部 石井) 寄附: 03-3264-8080 (総務部 赤羽 広報 部 斉藤)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)東京タクシーセンター	東京都江東区南砂7-3-3 会長 渡邊 佳英	<p>○業務車両の提供 被災地での情報提供及び連絡用車両として、当センターが所有する「サインカー(情報表示車両)」を1年間程度無償提供。 貸し出し車両等について(車検期限:平成24年12月11日) ・車種 日産エクストレイル2000cc2WD 車色 青色 貸し出し期間等について ・貸し出し期間1年間程度、無償 貸し出し先 ・茨城県 日立市(災害対策本部) 1台:4月19日(現地配送) ・岩手県 釜石市(災害対策本部) 1台:4月21日(現地配送)</p>  <p>○移動式タクシー乗り場標識 被災地におけるタクシー乗り場標識損壊等の代用として移動式タクシー乗り場標識約6本の無償提供。 標識提供先は、岩手、宮城、福島 of タクシー業界で希望する協会等を予定。 岩手県タクシー協会へ移動式標識6基(4月21日貸し出し予定)</p>  <p>○臨時職員の雇用 被災者の中で、特に新卒者で採用の内定取り消しや採用を見送られた方の就労支援策として、当センターで、臨時職員2名を募集。 4月18日ハローワーク木場を通じて被災地において新卒者(高校・専門学校・短大・大学)2名の求人募集:21日までに就職希望者がある場合は、当日に現地にて面接予定、その後に就職希望者がある場合は、東京タクシーセンターにて面接予定:交通費等はタクシーセンター負担)。 なお、本件とは別に被災地のハローワークにおいて東京への就職希望者がある場合に、都内の地理案内のため、都内交通案内地図(タクシー運転者研修教材用)100冊を4月21日提供。</p>	<p>○救援支援物資 被災者への救援物資として、平成23年3月17日救援物資受付元の社団法人 東京青年会議所を通じて、タクシー利用者、乗務員への配布用として作製した絆創膏3枚入り(5,000個)、使い捨てカイロ(約700個)を寄付した。</p> <p>○震災義援金 被災された方々に少しでも役立てていただくために、センター役員・来所者による義援金として192,000円、コピー会社の協力金と合わせた計638,523円を『日本赤十字社』を通じて3月末に寄付しました。 長期にわたる支援が必要となることから、今後も救援物資、義援金等について支援をしていきたい。</p>	03-3648-5131 (総務課 伊藤)	
(特社)東京電機大学校友会	東京都千代田区神田錦町2-5-1 理事長 石塚 昌昭		△東日本大震災緊急支援のための義援金として、日本赤十字社へ寄附を行う。(5月の評議員会・総会での了承後)	03-5280-3512 (事務局長 小宮 耕一郎)	
(特社)東京都個人タクシー協会	東京都豊島区南大塚1-2-12 日個連会館5階 木村 忠義	○個人タクシー事業者の思いを込めて被災地応援ステッカー「がんばれ東北!がんばろう日本!」を(社)全国個人タクシー協会と協力して作成、4月中に個人タクシー営業車両に貼付。	○東日本大震災の被災地を支援するため全国規模で義援金を募っている。対象は個人タクシー事業者(東京地区は約16,600名)及び関係団体職員で1名1,000円を募金し、(社)全国個人タクシー協会を通じて、被災地の協会、支部及び自治体へ寄付を行う。 (参考) 全国個人タクシー事業連合会(でんでん虫マーク)、日個連事業協同組合(ちょうちんマーク)においても、それぞれ500万円の義援金を寄付しております。	03-3947-1461 (松浦)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)東京都信用金庫協会	東京都中央区京橋3-8-1 信用金庫会館京橋別館 会長 石原 哲夫	<p>○会員信用金庫より支援物資を集積し、被災した信用金庫へ支援物資を搬送し、その周辺被災地へも提供。(3月18日、23日、24日、28日に実施)</p> <p>○被災地支援のため宮城県災害対策本部、岩手県災害対策本部へ支援物資を提供。(宮城県へ3月18日、岩手県へ4月8日、15日に搬出)</p> <p>○被災した信用金庫への支援見舞金として700万円を送金し(4月27日)、周辺被災地への支援の一助に充てていただいた。</p> <p>○震災に乗じた振り込め詐欺、悪質商法、不審な訪問者の来訪、暗がりでのひったくり、その他不審事案等の発生被害防止・防犯についての周知・注意喚起(4月)</p>	<p>○全国の信用金庫窓口(東京都内の信用金庫窓口)で東北関東大震災義援金の受入をしてもらい、日本赤十字社を通じて各被災地へ寄付を行う(3月15日～9月30日)</p> <p>○全国信用金庫協会とともに、全国の信用金庫・関連団体等の役職員から「東北地方太平洋沖地震救援2千円募金」を募り、東北地区信用金庫協会を通じ全額を被災地域へ寄付(4月26日、27日に資金集約後、送金の予定)</p>	03-6228-8551 (総務部総務課)	
(特社)東京都信用組合協会	東京都中央区京橋1-9-1 会長 車田 和男	<p>○被災地域への緊急支援物資を会員信用組合より募り、現地に提供(3月17日)</p>	<p>○会員信用組合より義援金を取り纏め、全国信用組合中央協会経由で寄付を行った(4月)</p> <p>○東京都中小企業団体中央会経由で寄付を行った(4月)</p> <p>○協会事務所に募金箱を設置、4月末まで寄付を取り扱い中</p>	03-3567-6211(河合)	
(特社)東京都トラック協会	東京都新宿区四谷3-1-8 会長 星野 良三	<p>○東京都の指定地方公共機関として、本災害にかかる被災地等への緊急物資輸送を実施している。発災当日、緊急物資輸送対策本部を設置。同日より東京都財務局から救援物資の緊急輸送要請を受け、会員事業者車両を手配、都の備蓄倉庫等において、毛布、水、アルファ化米、簡易トイレ等を積載し、岩手、宮城、福島県等の被災地に輸送している。4月20日現在、出動車両数は、都の要請によるものが237台、この他、各支部における区及び市からの輸送要請によるものが113台で、計350台に上る。</p>	<p>○被災地域に対する義援金を広く会員事業者に募り、全日本トラック協会を通じて、同地域の自治体等に寄贈する。現在各支部を通じて募集中。(4月末日まで募集、5月下旬寄贈予定)</p>	03-3359-6252 (総務部 正岡)	
(特財)東京フィルハーモニー交響楽団	東京都新宿区西新宿3-2-2 東京オペラシティタワー8階 理事長 大賀 典雄	<p>○東日本大震災により被災地から都内へ避難した方々を対象に“とどげ心に”特別招待シートと題して、4月より主催公演に招待 ・対象避難所と対象人数 東京武道館(約190名)、味の素スタジアム(約130名)、東京ビックサイト(約140名)、赤坂プリンスホテル(人数未確定)、埼玉県加須市の旧騎西高校(約1400名)</p>	<p>○主催公演会場にて義援金箱の設置。お寄せいただいた義援金は、「東日本大震災 芸術・文化による復興支援ファンド」(公益社団法人 企業メセナ協議会)に寄付</p>	03-5353-9521 (工藤 真実)	http://www.too.or.jp/infomation/detail-71.html
(特社)東京法人会連合会	東京都新宿区坂町13番地4 大橋光夫		<p>○一般の被災者支援の義援金を傘下法人会から募集し、約550万円(自会拠出分約50万円)を取りまとめ、東京都を通じ寄附した。</p>	03-3357-0771 (事務局長 吉井節夫)	
(特財)東京メソニック協会	東京都港区芝公園4-1-3 池上 晴樹		<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を、日本グランドロτζ津波基金へ寄附(3月)</p> <p>○地震被害に関する緊急助成要請については、随時対応(4月以降)</p>	03-3431-0033 (永井)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)統計情報研究開発センター	東京都千代田区神田神保町3-6能楽書林ビル5F 伊藤 彰彦	<p>○地理情報システム学会 防災GIS分科会が実施する「東日本大地震支援活動」において、活動に必要な基盤地図として、当財団が保有する町丁字別境界データ、市区町村別境界データを提供した。また、当財団が開発した統計GISシステム「G-Census」の提供をいずれも無償で行った。 なお、地理情報システム学会 防災GIS分科会の活動は、(1)情報共有Webサイトの作成と他活動グループへの提供、(2)被災者データ、被災建物データ管理(具体的には罹災証明発行支援、倒壊家屋撤去申請支援など)に活用できるソフトウェアの開発・提供、(3)各機関から提供される被害情報と基盤情報の重ね合わせ分析マップの作成と公開(津波被害地域の町丁目判定マップなど)を目標に支援活動を行っている。(3月17日から実施)</p> <p>△当財団が主催する国際マイクロワークショップ(9月)などの会議の開催地は、関東圏の電力事情を考慮して、可能な限り当財団大阪事務所を中心とする関西圏で開催することとしている。(4月以降実施予定)</p>	<p>△東日本大震災緊急支援のための救援基金を「公益法人協会」を通じ寄附を行う。(5月上旬実施予定)</p>	03-3234-7471 (外谷)	
(特社)東光会	東京都豊島区西池袋2-39-3 理事長 三塩 清巳		<p>○NHK厚生文化事業団を通して、義援金を送りました。</p>	03-3988-1701 (柑子山)	
(特社)燈光会	東京都港区虎ノ門1-3-6 彩翠ビル 山田 隆英	<p>○被災地域に在住する会員全員について、震災直後から安否確認を行った。(4月15日時点1名消息不明)</p> <p>○当協会誌4月号にて、被災会員には被害程度に応じた見舞金を支給する事を周知。</p>	<p>△参観灯台において、東日本大震災支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄付(4月下旬から実施予定)</p>	03-3501-1054 (高村 芳宜)	
(特社)投資信託協会	東京都中央区日本橋兜町2-1 東京証券取引所ビル6階 稲野 和利		<p>○平成23年4月15日 日本赤十字社へ義援金を寄附</p>	03-5614-8402 (総務部 桜井 健司)	http://www.toushin.or.jp/topics/2011/5375/
(特社)同仁協会	東京都港区東新橋1-1-18 理事長 永田 徳博	<p>○当協会が実施している「業務疾病共済」および「傷害共済」の給付に際し、できる限り積極的な業務上災害、通勤災害の認定をし、給付している。</p> <p>○住居または人体に被害を受けた当協会の資格者に対し、その被害の程度により見舞金を支給している。</p>		03-3574-8975 (我妻)	
(特財)東南アジア文化友好協会	東京都千代田区神田駿河台2-1-19 アルベルゴお茶の水1012号 大野 克美	<p>○当協会保有の留学生寮において東北地方の留学生を一時的に住まわせている。3月中は4名程の留学生、卒業式参加予定の父兄を預かっていたものの、始業式が始まるまで順次帰国、4月21日現在では1名となっている。1ヶ月遅れで始業する学校が多いため、今月末まで仮住まいの予定</p>	<p>△義援金を機関誌「アジアの光」で募集予定。寄附先は今のところ未定</p>	03-3296-0192 (和氣 一樹)	http://homepage2.nifty.com/S_AFCA/
(特財)豆腐会館	東京都台東区上野1-16-12 全豆ビル 岩本 定夫		<p>○東日本大震災の被災地復興を応援するため義援金窓口を設置(3月16日から実施)</p> <p>○会員事業者等による義援金の寄附</p>	03-3833-9351 (橋本理事)	http://www.zentoren.jp/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)東北活性化 研究センター	宮城県仙台市青葉区中 央2-9-10 セントレ東北9F 高橋 宏明	<p>○(社)東北経済連合会と共同で「大震災復興対策特別委員会」を設置(4月1日)。復興の体制、まちづくり、産業振興、インフラ整備等の観点から検討し、復興に向けた提言を政府、与野党に申し入れた(5月13日)。今後、さらに必要な個別提言を行うことで準備中。</p> <p>△現行の「地域活性化特別積立金」および「研究基盤整備積立金」を一本化し、名称を「震災復興積立金」に、使用目的を震災復旧・復興に関する事業に変更するよう検討中(7月中目途)。</p> <p>△今年度事業計画を、震災復旧・復興に関する内容に修正するよう検討中(7月中目途)</p>		022-225-1426 (高谷)	
(特社)東北経済連 合会	宮城県仙台市青葉区中 央2-9-10 高橋 宏明	<p>○東北地方太平洋沖地震被災地からの緊急要望(3月25日実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」により東北の太平洋沿岸地域を中心に、広域にわたり未曾有の被害を受けたことから、人命救助・被災地支援、生活基盤の復旧、原子力災害対応、地域・経済基盤復旧等の7項目について、対策を早急に講ずるよう要望活動を実施 <p>○設備・備品等の提供(4月19日実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災した自治体(岩手県大槌町)の行政機能の復旧に向けて、設備・備品等の提供を当会会員に呼びかけ、寄贈 <p>○大震災からの復興・新生に向けた提言のとりまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大震災復興対策特別委員会」(4月1日設置。委員長:高橋宏明 会長)のもと、震災に強い都市づくり、農林水産業の再興や新たな産業の創出、災害に強い広域ネットワークの強化等、東日本大震災からの復興と新生のための新しい東北像をとりまとめるため、活動 <p>△震災復興支援プロジェクトの実施(検討中)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災からの早期の経済復興に向け、東北の地域産品の購入を促す「BUY東北運動」、震災によりダメージを受けた製造設備等を企業間連携により補完する「モノ作り・助けあいネットワーク東北」等の実施について検討 	<p>○寄附金寄贈(4月6日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員企業や関西経済連合会等の各地経済団体からお預かりした義援金に、当会拠出分を併せ、岩手県、宮城県、福島県の災害復旧および復興事業の財源として活用してもらうため、「寄附金」として寄贈 	022-224-1033(菅原)	http://www.tokeiren.or.jp/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)東北建設協会	宮城県仙台市青葉区八幡一丁目4-16 公益ビル 菅原 政一	<p>○防災活動支援 災害復旧支援、TEC-FORCE支援活動、震災対応記録の収集・整理等に、東北地方整備局の青森県内、岩手県内、宮城県内、山形県内、福島県内の9事務所管内に、3月11日から4月17日現在まで東北建設協会職員防災エキスパートを延べ約458人日、協会以外の防災エキスパートを延べ108人日派遣している。</p> <p>○被害調査等 被害状況把握、下水道被害調査、河川構造物点検調査、道路支障物件調査等に、3月11日から4月17日現在まで東北建設協会職員防災エキスパートを延べ235人日、協会以外の防災エキスパートを44人日派遣している。</p> <p>○リエゾン支援 自治体(岩手県内、宮城県内、福島県内)計23市町へのリエゾン支援として、3月23日から4月17日現在まで東北建設協会職員防災エキスパートを延べ374人日、協会以外の防災エキスパートを延べ103人日派遣している。</p> <p>○高知大学、愛媛大学、徳島大学、四国地方防災エキスパートと津波痕跡調査を実施している。</p> <p>○土木学会、地盤工学会、日本地すべり学会、日本コンクリート工学協会、日本建築学会、日本都市計画学会と合同で、東日本大震災に関する合同調査を実施している。</p> <p>○東日本大震災における支援活動及び被災状況写真等を、ホームページにおいて広く一般に公開している。</p> <p>○東北建設協会の会員及び職員を対象に、募金活動を実施中。</p>		022-268-4611 (総務部長 高田 良幸)	http://www.tohokukk.jp/tohoku-shinsai/bexpert.html
(特社)東北地区信用金庫協会	宮城県仙台市青葉区大町1-2-6 小野 隆	<p>○社)全国信用金庫協会と信金中央金庫、また、各県及び地区信用金庫協会に対し、被災信用金庫への物資支援の依頼と支援物資運搬にかかる車輛等の手配、日程等の連絡・調整(3月14日より実施)</p> <p>○被災信用金庫の被害状況を取り纏めし、(社)全国信用金庫協会と信金中央金庫、各地区信用金庫協会への情報提供と被災信用金庫に対する支援の依頼(3月23日より実施)</p> <p>○全国信用金庫協会を通じ宮城県へ支援物資の提供(3月19日実施)</p> <p>○東京都信用金庫協会を通じ被災信用金庫に車輛1台を提供(4月15日実施)</p> <p>○社)全国信用金庫協会を通じ、被災信用金庫へ移動店舗車輛の貸与支援(4月7日より実施)</p> <p>○(社)全国信用金庫協会を通じ、政府・金融庁等に対して、地域の復興・再生に向けた信用金庫業界の金融支援策を要望中 (1)預金の全額保護(ペイオフの一時凍結) (2)震災前の被災者債務の実質的減免(預金保険機構等による金融機関が有する被災者債権の買取り、政府による被災者債務の保証等) (3)復旧・復興のための新規貸出に対する信用保証</p>	<p>○当地区協会、関連団体の役職員からの東日本大震災による被災が特に甚大な信用金庫への見舞金を募り、6信用金庫へ持参。(3月29日より実施)</p> <p>○山形県信用金庫協会所属の4信用金庫から山形新聞、山形放送等を通じ被災者支援と被災地復興のための義援金を寄託。(3月17日より実施)</p> <p>○被災地域等支援のため、東北地区管内信用金庫、当地区協会、関連団体の役職員による二千万円募金を全国の信用金庫とともに実施。当地区協会を通じ被災地域等に全額を寄付。(3月29日より実施)</p> <p>○社)全国信用金庫協会を通じ全国の信用金庫から被災信用金庫への支援見舞金の拠出にかかる連絡・調整。(3月29日より実施)</p>	022-222-0588 (今壁 正見)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)東北電気保安協会	宮城県仙台市太白区あすと長町3-2-36 濱田 敏克	<p>当協会が電気設備の保安管理業務を受託しているお客さまの多くが、地震及び津波により電気設備の損壊、流失など甚大な被害を受けられました。また、当協会及び従業員も大きな被害を受けました。</p> <p>このようななか、当協会は次の様な活動を行っております。</p> <p>○保安管理業務を受託しているお客さま設備の復旧に当って安全点検を実施した。また、東北電力㈱の停電復旧にあわせ、同社からの要請に応じ、八戸、宮古及び塩釜管内の一般用電気工作物の安全点検を実施した。</p> <p>○電気設備が被災し電気供給に支障が出ているお客さまについて、当分の間、受託手数料を割引く又は無料とする。</p> <p>○停電により困っている一般の方々のため、本部建物の電源を活用して、携帯電話の充電サービスを実施した。(平成23年3月12日から近隣地域の停電復旧までの6日間)</p> <p>△保安管理業務を受託しているお客さまにデマンド監視装置の取付を拡大し、ピークシフトを実現するとともに、8月の経済産業省主催の電気使用安全月間をはじめ、あらゆる機会を通じて節電のPRを行う。</p> <p>△被災地において、お客さまからの電気に関する質問・要望に応じる電気移動相談所を開設する。</p>		022-748-0251 (志間、高橋)	
(特社)東北ニュービジネス協議会	宮城県仙台市青葉区中央2-8-13 大和證券仙台ビル10階 大山 健太郎	<p>○東北6県の会員企業350社へ被災状況のアンケートを行い(3月28日)、160社の返信分を基に「東日本大震災の復旧・復興のための提言要望書」を、当協議会と(特社)日本ニュービジネス協議会連合会と共同で内閣府、経済産業省等へ提出した。(4月11日)</p> <p>○会員企業による復旧支援メニューをまとめ、会員内外の企業支援を行っている。また、アンケートの被災大の会員企業に対し復旧支援の要望を確認、支援協力を行っている。(4月5日)</p> <p>○「東日本大震災の津波被害による提言要望書」を、当協議会と(特社)日本ニュービジネス協議会連合会と共同で内閣府、経済産業省等へ提出した。(4月19日)</p> <p>○当協議会メンバー数社より、雇用解雇者等を対象に採用検討の打診あり、現在取りまとめ中。また(特社)関東ニュービジネス協議会の会員企業数社より、雇用解雇者等を対象に被災地での採用検討の打診もあり4月27日来仙、打合せ予定。仙台に支社設置の案も有り。</p> <p>○当協議会内に「復興支援委員会」を設置した。目的は、企業の復興・再建資金を当協議会の会員企業から募る。また(特社)日本ニュービジネス協議会連合会ほか全国14団体に募った義援金を、当協議会から福島県、宮城県、岩手県へ寄付を行った。(3月30日より募集開始、5月16日及び19日実施。)</p> <p>△福島県の風評被害への対応要望が福島の多くの会員企業より寄せられており、今後の対応を検討中。</p>	<p>○(特社)日本ニュービジネス協議会連合会ほか全国14団体に募った義援金を、当協議会から福島県、宮城県、岩手県へ寄付を行う予定。(3月30日より募集開始、5月実施予定)</p>	022-261-5817	http://www.tnb.or.jp
(特財)道路管理センター	東京都千代田区平河町1-2-10 杉谷 洸大	<p>○当センターで所有する千葉市域の道路・地形図(A-0版)を被災した地区を所管する道路管理者及びライフライン事業者(NTT東日本など)に数百枚提供し、復旧活動に活用していただいた。</p>		03-3221-0411 (豊田、多久島)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)道路交通情報通信システムセンター	東京都中央区京橋2-5-7 渡辺 捷昭	<p>○津波等により防災無線が使用不能となった被災地の自治体においては、避難所に関する情報や飲料水の入手先などの生活情報が住民に周知できない状況であったことから、これらの自治体に対し、所有する可搬型のFM放送設備など臨時災害用放送設備を無償で貸し出し、地元のコミュニティ放送事業者(FM放送)を通じて特定の地域に限定した生活情報の提供を支援している。(大船渡市、陸前高田市では4月7日より、南相馬市では4月15日から電波利用可能とした。)</p> <p>○ 東日本大震災の直後から被災地や被災地に通じる道路における交通障害の発生状況・規制状況・渋滞状況等の交通情報をドライバーに提供し、道路利用者の安全と道路交通の円滑化を図っている。</p>		03-3562-1722(高浜)	
(特財)道路システム高度化推進機構	東京都千代田区二番町1-7 住友不動産二番町ビル 渡辺 捷昭	<p>○ETCお問合せ窓口においては、震災によってETCカードを紛失された方に対し、ETCカードの新規・再発行等についてお客様の状況に応じた適切なご案内を実施しています。</p>		03-5216-3856 (お問合せ窓口) 03-5216-4662 (業務部 瀧)	
(特財)道路新産業開発機構	東京都文京区関口1-23-6 プラザ江戸川橋ビル2F 理事長代行 田中 正章	<p>○当財団に設置されている学識経験者、賛助会員(民間企業)等で構成する研究会の活動の一環として、政策提言をとりまとめ、関係機関に提言する予定(平成23年夏頃予定)</p> <p>△更に、震災の教訓等を踏まえ、今後の防災・復興支援関連において想定される論点・役割を整理し、道路・まちづくり支援策等の観点から調査・検討の上、その成果を発表する予定</p>	<p>○東日本大震災のための義援金を役職員から募集し、日本赤十字社等へ寄附を行う。</p>	03-5843-2911 (佐藤)	http://www.hido.or.jp/
(特社)十勝地区トラック協会	北海道帯広市西19条北2丁目4 会長 沢本 輝之		<p>○東日本大震災の為の義援金を募集(3/25~4/20)北海道トラック協会・全日本トラック協会を経由、関係自治体等へ寄附を行う。(4/15現在350万募金)</p>	0155-36-8575 (中敷)	
(特財)徳島県観光協会	徳島県徳島市山城町東浜傍1 清重 泰孝	<p>○タオル450枚の送付(3月24日)</p> <p>○当協会からの義援金200,000円(3月28日)</p> <p>○当協会役職員からの義援金54,698円(3月28日)</p> <p>○当協会が徳島県から指定管理を受けている県立産業観光交流センターへの義援金箱設置(3月15日から設置)</p>		088-652-8777 (小川)	
(特社)徳島県自動車整備振興会	徳島県徳島市応神町応神産業団地1番地7 安宅 博	<p>○東日本大震災緊急支援のための募金寄付を、各種会議、情報誌、募金箱設置で募集。(3月2日から実施)</p>	<p>○東日本大震災支援のため上部団体((特社)日本自動車整備振興会連合会)を通じて被災地へ寄付(3/29実施)</p>	088-641-1500 (石本 武嗣)	
(特社)徳島県トラック協会	徳島県徳島市北田宮二丁目14-50 粟飯原 一平	<p>○地方自治体からの依頼を受けた支援物資輸送を行う。4月19日現在で、被災地への救援物資輸送19両を派遣した。</p>	<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を4月末まで募集している。</p>	088-632-8810 (桑平)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL		
		活動	寄附				
(特社)徳島県法人 会連合会	徳島県徳島市八百屋町3 丁目26 古川 武弘			○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附(3月下旬から5月13日までの間、徳島県下法人会の会員企業を通じて募集)	088-625-5534(山田)		
(特財)都市計画協 会	東京都千代田区紀尾井 町3番32号 近藤 茂夫	○東日本大震災に伴う復旧・復興まちづくりに関する様々な課題解決のための相談窓口を設けた。 ○地方公共団体の要請に応えるべく幅広いジャンルの専門家の紹介・派遣制度を設けた。現在、要請があった複数の地方公共団体について、具体的に派遣専門家、派遣時期等について調整中。 ○当協会及び専門家からなる4名の調査団を被災地に派遣(5月14日実施)。			03-3262-3491 (森田 雅文)	www.tokeikyou.or.jp/	
(特社)都市計画コ ンサルタント協会	東京都千代田区平河町2 -12-18 佐藤健正			△復興まちづくりについて、5月11日に「東日本大震災復興特別委員会」を開催し、協会活動方針、緊急提言を決定予定。	03-3261-6058 (樋貝 文雄)	http://www.toshicon.or.jp	
(特財)都市再生共 済会	神奈川県横浜市中区本 町六丁目50番地1 岡本 広明			○地震により住居家財等に損害を受けた会員に見舞金を支給(平成23年3月11日から) ○災害復旧費用等として会員に融資を実施(平成23年3月11日から)	045-650-0834 (西原)		
(特社)都市住宅学 会	東京都千代田区富士見 2-7-2 ステージビルディング7F 会長 山崎 福寿			△ 2011年度総会市民フォーラムにおいて、日本不動産学会との連携企画として「東日本大震災とまちづくり」というフォーラムを開催する。それに際して、事前に料学会会員や非会員の方宛に広く意見募集を行い、その結果をフォーラムで紹介する。また、集められた意見提案をとりまとめて、この後の被災地域への支援活動につながる学会活動に活用していく予定。	03-5211-0597 (樋口)	http://www.uhs.gr.jp	
(特財)都市農山漁 村交流活性化機構	東京都千代田区神田東 松町45番地 神田金子ビル5階 今村 奈良臣			○福島県下被災・被害地域の農林産物の販売支援(①被災・被害地域農産物の取扱地域(販売地)の募集、②生産地と販売地とのコーディネート、③全国展開に向けた広報活動等)(4月8日) ○農山漁村被災者緊急受け入れ調査(農林漁家民宿及び農林漁業体験民宿関連)への協力(施設情報の収集及びシステム登録情報の更新)(3月22日)	○職員有志による義援金を、読売光と愛の事業団を通じ拠出した。(当法人から事業団へは、4月6日に入金) △当法人が開催するセミナー参加費の10%を義援金として拠出予定(3月28日開催から実施)	03-4335-1988 (総務部 長谷川 恭 司)	http://www.kouryu.or.jp
(特財)都市防災研 究所	東京都千代田区丸の内 2-4-1 小出 治			△本研究所は、都市防災研究所アジア防災センターを通じ、5月末を目処に、東日本大震災の被災地が復旧・復興に役立てることを目的として、国際機関(ESCAP、HABITAT、世界銀行、FEMA、JICA)や国内の学識経験者等が参画した現地調査及びワークショップを実施する。	03-5218-0880 (暹野井 貴子)		
(特財)都市みらい 推進機構	東京都文京区音羽2-2 -2 内藤 勲			△復興を支援するため、地方公共団体等からのまちづくりに関する相談に応ずる。	03-5976-5860 (北山 和雄)		
(特財)都市緑化機 構	東京都千代田区外神田2 -15-2 興水 肇			△被災地における仮設住宅等において、コンテナ植えの花壇や緑のカーテンを提供する予定。(5月より募集し提供していく)	03-5256-7161 (松島)		

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)土地改良建設協会	東京都港区新橋5-34-4 中村 満義	<p>○当法人と会員企業からなる「東日本大震災対策連絡会」を発足し、今後の被災地支援をどのようにしていくかの検討を開始した。(3月31日連絡会発足。支援内容が決定次第活動を開始)</p> <p>○会員に対し災害発生後の農業施設の点検及び支援の取り組み実態をアンケート方式で把握(4月)</p> <p>○東北土地改良建設協会と合同で現地調査と今後の復旧・復興への協力について意見交換を実施(6月)</p> <p>○被災地域において、復旧に必要な資材・燃料等の提供活動を実施中の東北土地改良建設協会に対し、その活動費の一部として、100万円の拠出を決定</p>		03-3434-5961 (伊藤)	http://dokaikyo.or.jp/
(特社)土地改良測量設計技術協会	東京都港区新橋5-34-4 中野 芳輔	<p>○当協会専務理事等からなる3名の第1次調査団を派遣し、被害状況を調査、震災復興支援のために農林水産省及び土地改良関係団体で構成されている「土地改良大規模災害支援協議会」に報告した。(4月9日)</p> <p>○当協会会長を始め技術研究委員会の9名の土地改良技術者からなる第2次調査団を派遣し、報告書に取りまとめ、東北農政局計画部長に報告するとともに、「土地改良大規模災害支援協議会」に報告した。報告書はホームページに公表している。(5月31日~6月1日)</p> <p>△東日本大震災復興支援サイトをホームページ上に設置し、農業・農村復興のための情報交換の場を提供する予定。</p> <p>○当協会の会員に対して、支援金の募集を行った(6月30日まで)。支援金は以下の団体に寄附した。 ・被災地域において復旧に必要な測量等の支援活動を行っている東北土地改良測量設計技術協会に対し支援金100万円を寄託した。(7月7日) ・石巻市において農業地域の復興にあたっている被害農家、農業法人、土地改良区、農協、市、県等からなる「3.11北上地域農業復興会議」に対し支援金261,090円を寄附した。(9月7日)</p>	<p>○当協会の会員に対して、義援金の募集を行った(6月30日まで)。義援金は以下の団体に寄附した。 ・日本赤十字社を通じて義援金20万円を寄附した。(7月11日) ・岩手県災害対策本部に義援金20万円を寄附した。(7月14日) ・宮城県災害対策本部に義援金20万円を寄附した。(7月14日) ・福島県災害対策本部に義援金20万円を寄附した。(7月26日)</p>	03-3436-6800 (小松)	http://www.sderd.or.jp
(特社)栃木県観光物産協会	栃木県宇都宮市本町3-9 小松 正義	<p>○当協会ホームページにおいて、東日本大震災に伴う福島県等からの避難者の受入れに関する情報の提供。(3月18日から実施)</p> <p>○東日本大震災により影響を受けている栃木県内中小企業への金融支援に関する情報の周知(4月13日実施)</p>	<p>○当協会直営の「おいでよ！とちぎ館」において、東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。(3月28日から実施)</p>	028-623-3213 (観光課 石川隆)	http://www.tochigijii.or.jp/8656.html
(特社)栃木県銀行協会	栃木県宇都宮市中央3-1-4 会長 藤澤 智	<p>○福島県原発事故からの避難者に対する総合相談所の周知(3月16日 会員銀行各店舗にポスター掲示)</p> <p>○栃木県が行う東日本大震災被災者義援金(とちまる募金)募集の周知(3月29日 会員銀行各店舗窓口)</p>	<p>○当協会の積立金の一部(100万円)を、被災された方々の支援のために、義援金として栃木県に寄付を行う予定。</p> <p>○被災地の復興支援を目的に、23年度に実施する会議出席者から会議負担金の一部を積立て、23年度末に義援金として寄付を行う予定。</p>	028-637-3766(鈴木)	
(特財)栃木県健康倶楽部	栃木県宇都宮市東今泉2-3-5 理事長 皆川 俊廣	<p>○3月14日から3月25日にかけて、栃木県内の5被災自治体へ飲料水の寄付を実施</p>		028-660-2525 (理事 小室 史恵)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)栃木県自動車整備振興会	栃木県宇都宮市八千代1-4-11 荒川 光弘			○東日本大震災緊急支援のための義援金を、下野新聞社へ寄託。(4月13日実施) ○東日本大震災緊急支援のための義援金を、被災した4県(岩手、宮城、福島、茨城)の自動車整備振興会へ寄附。(4月13日実施)	028-659-4370 (菅沼 滋寛)
(特社)栃木県トラック協会	栃木県宇都宮市八千代1丁目5番12号 会長 関谷 忠泉	○栃木県・県内市町から依頼された緊急物資を被災地各地へ輸送			028-658-2515 (事務局長 吉澤)
(特社)栃木県バス協会	栃木県宇都宮市八千代1-4-12 半田 芳正	○栃木県最大のNPO法人栃木ボランティアネットワークが主宰する「日帰り家屋泥だしボランティア(宮城・石巻)」バス輸送の要請に対して、協会加盟バス会社の協力を得、これを全面的に提供しています(4月16日から当分の間週3便運行)。 ○栃木県災害対策本部が主宰する「福島県からの避難者に対する入浴サービス」及び「福島県からの被災者を対象としたお花見」バス輸送の要請に対して、協会加盟のバス会社の協力を得、これを全面的に提供しています(3月28日から随時)。 ○日本バス協会からの貸切バス車両貸与及び東北バス協議会からのバス車両譲渡の依頼に対して、協会加盟バス会社に協力を要請し幹旋しています(4月4日から随時)。			028-658-2622 (船木)
(特社)栃木県労働基準連合会	栃木県宇都宮市築瀬町1968-1 会長 藤井 昌一			○寄附金8万円を(特社)全国労働基準関係団体連合会を通じて日本赤十字社に寄附	028-622-5391 (専務理事 細谷 正英)
(特社)栃木法人会	栃木県栃木市片柳町2-1-46 白澤 正弘			○(社)栃木法人会栃木地区会が、地区会予算の中から10万円を栃木市商工会議所が行っている震災義援金募金に寄附した。 ○(社)栃木法人会小山地区会が、地区会予算の中から120万円を小山市に震災義援金として寄附した。	0282-24-3500 (上岡幸蔵事務局長)
(特社)栃木労働基準協会	栃木県栃木市沼和田町20-25 会長 小宅 俊行			○寄附金3万円を(特社)全国労働基準関係団体連合会を通じて日本赤十字社に寄附	0282-24-7758 (専務理事 飯村 博)
(特社)鳥取県トラック協会	鳥取県鳥取市丸山町219-1 会長 川上 和人	○鳥取県や鳥取市からの要請により、緊急物資輸送協定に基づき、各市町村の備蓄品・県民提供物資等、10トントラック25台を出動。		△東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、(社)全日本トラック協会へ寄附を行う。(募集中)	0857-22-2694 (宮本 達紀)

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)土木研究センター	東京都台東区台東1-6-4 タカラビル 理事長代行 中村 亮	○今回の震災・津波災害を受け、復興事業の円滑な実施に資するためがれき材を用いた道路及び堤防盛土構築技術の研究・開発に材料メーカー6社と急遽共同研究を開始した。 具体的な技術としては、弊センターで性能評価を行った「袋型根固め材」や「耐候性大型土のう」に、がれきを詰め応急・恒久復旧資材として用いるもので、仮設・本設道路や堤防盛土の迅速な構築とがれき材の有効利用に資するものである。		029-864-2521 (了戒 公利)	
		○弊センターでは補強土壁工法として、テールアルメ、多数アンカー、ジオテキ工法等の設計施工マニュアルを発刊し、安全で経済的な道路土工構造物の構築に寄与している。 今般の地震・津波災害を受け、より一層の耐震性・耐洪水性の向上を図るため災害直後から地震・津波による変状の実態調査を実施するとともに、その成果を受け設計・施工マニュアルの改訂に向けた作業を実施している。		029-864-2521 (了戒 公利)	
		○茨城県内の被災橋梁(16橋中15橋)について現地調査を実施し、損傷内容の分析と補修・補強方法の提案を行い、報告書を取りまとめ、茨城県の関係部局に報告した。		03-3835-3609 (中野 正則)	
		○2011年4月10日から12日には千葉県茨城県沿岸の津波遡上高の測定と被災状況を調べるとともに、海岸保全施設の破壊状況を調査した。また4月17日から20日には岩手県の宮古から宮城県および福島県沿岸についても同様の調査を行い、各調査結果と今後の方策について関係する国、地方公共団体に送付しつつある。現在までに5個の報告を既に送付した。		03-3835-3609 (宇多 高明)	
			○東日本大震災緊急支援のための義援金として、日本赤十字社を通じて被災地へ寄附。(3月30日実施)	03-3835-3609 (楯 守)	
(特社)富岡法人会	群馬県富岡市富岡1130 田村 茂一	△会員向けの親睦事業をチャリティ事業として開催し、その際に募金箱を設置して集まった募金を富岡市義援金窓口へ寄附する予定である。	△平成23年度予算(予備費)より、(社)富岡法人会として、富岡市義援金窓口へ10万円、下仁田町義援金窓口へ5万円及び甘楽町義援金窓口へ5万円寄附する予定である。(総会終了後5月下旬)	0274-64-2020 (富岡法人会 事務局 長 小林 良充)	
(特財)富山県自家用自動車協会連合会	富山県富山市新庄町97-3 会長 山口 輝男		○上部団体の全国自家用自動車協会のとりまとめにより、義援金15万円を負担した。(3月) ○協会窓口2ヶ所に義援金募金箱を設置し、募金を募っている。	076-424-2255 (市田)	http://www5.ocn.ne.jp/~iikakvo/
(特社)富山県自動車整備振興会	富山県富山市新庄町馬場24番地の2 白倉 三喜	○被災地の自動車整備工場に工具を支援するため、会員事業場に当面不要な整備用手工具類の提供を求めている。4月中に北陸信越管内分を新潟県整振にて取りまとめて提供。 ○被災地からの移住者である自動車整備士から就職斡旋相談があり、会員事業場に対し雇用を呼びかけた。採用希望事業場あり。	○北陸信越局管内4整備振興会にてまとめて、被災地ブロック整備振興会に対して義援金を拠出する旨を決定。当県分担当として200万円を4月中に送金予定。 ○会員事業場に被災地の整備事業場にたいする義援金拠出を提案。現在112万円余が寄せられ、日整連に送金預託する。 ○ナンバー交付窓口等に募金箱を設置。現在9万円余が預託され、4月末までとし北日本新聞社に預託する。	076-425-0882 (総務課 高尾 文教)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)富山県労働基準協会	富山県富山市金屋字川端767-30 会長 松岡 幸雄		○(特社)全国労働基準関係団体連合会から1口3万円の義援金の募集があり、2口6万円を全基連に4月28日に寄附	076-442-3966 (杉田昭良)	
(特社)十和田国立公園協会	青森県十和田市大字奥瀬字十和田湖畔休屋486 会長 小山田 久		○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附。各事業所にも募金箱設置をお願いする。(5月8日まで第1回目、その後継続して募金活動をする)	0176-75-2425(太田)	

な 行

(特財)長岡自動車協会	新潟県長岡市平島1丁目2番地 栗林 政一		○東日本大震災緊急支援のため、新潟県を通して義援金10万円を寄付。 ○東日本大震災緊急支援のため、長岡市を通して義援金1万円を寄付。 ○長野県北部震災緊急支援のため、津南町に義援金2万円を寄付。	0258-22-1133 (岡村 政幸)	
(特社)長崎県漁業無線協会	長崎県長崎市柿泊町2496 会長 川端一廣	○被災し無線局の運用が困難となった漁業用海岸局の支援のため、(社)全国漁業無線協会を通じて全国の漁業用海岸局がバックアップ体制をとり、被災地域の漁船が陸上との通信を確保できるようにしている。	○(社)全国漁業無線協会の呼びかけに応じて義援金を拠出 ○全国漁業無線局局長会による義援金の募集に参加	095-846-1810 (田中事務局長)	
(特社)長崎県自動車協会	長崎県長崎市中里町1576番地6 馬場 政廣		○東北関東大震災義援金として社会福祉法人長崎県共同募金会へ50万円を寄付(3月31日)	095-838-2244 (大森)	
(特社)長崎県自動車整備振興会	長崎県長崎市中里町1576-2 川上清記		○県下会員から義援金を集め、中央団体(日整連)を通じて、東日本地区振興会へ届ける。(23年4月~5月) ○当会を含めた九州各県整備振興会が義援金を出しあい、中央団体(日整連)を通じて東日本地区振興会へ届ける。(23年5月中)	095-839-6670 (岸川 昭典)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)長崎県バス協会	長崎県長崎市興善町4-6 上田 惠三		○日本バス協会の呼びかけにより、東日本大震災支援のための義援金を会員より募集し、日本赤十字社に寄付。(指定口座に6月末まで直接振り込み) △長崎県バス協会が法人として行う寄付は、5月の総会決議を経て実施する予定。	095-822-9018 (塚部)	
(特社)長野県自動車整備振興会	長野県長野市西和田1丁目35番2号 宇都宮 保	○国土交通省の要請により、宮城県の被災地において被災自動車の点検を実施し、ユーザーからの今後の使用の可否の照会についてアドバイスを行うためのボランティアとして会員4名と職員1名を派遣した。(平成23年4月10日~4月12日)	△会員からの寄付金と当法人としての寄付金を合わせた450万円を、長野県北部地震で被災した会員と東日本大震災の被災地域の整備振興会に送付することとしている。	026-243-4839 (田中 光義)	
(特社)中津青色申告会	大分県中津市殿町1383-1 渡辺 昭		△(6月14日の総会時に実施予定)15周年記念式典が開催されるが、会場に義援金箱を設置し、義援金を募ることとしている。	0979-23-0364(代表)	
(特財)中董奨学会	東京都渋谷区渋谷1-4-13 理事長 中島 美奈子		○東日本大震災緊急支援のための義援金を寄附。	03-3407-7111 (事務局)	
(特社)長野県銀行協会	長野県松本市大手3-1-1 会長 山浦 愛幸	○「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震にかかる災害に対する手形交換に関する特別措置について」県下手形交換所参加金融機関あて通知 ○休日営業を行う店舗および、休日の相談窓口受付の店頭掲示等利用者に周知を図るよう会員銀行あてに通知		0263-32-7122(林部)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)長野県商工会議所連合会	長野県長野市七瀬中町 276 加藤 久雄	<p>○長野県知事に長野県内経済団体会長連名の「東北地方太平洋沖地震及び長野県北部地震に係る緊急要請書」提出(3/17)</p> <p>○長野県、経済団体他と「被災地地方々を支援する県民共同宣言」(3月18日)</p> <p>○東北地方太平洋沖地震被害に係る経済団体連絡会会議に出席し、状況報告。また、県内会議所に対して県の対応等情報提供(3月24日)</p> <p>○東北地方太平洋沖地震の関する金融・雇用関係(休業手当)等について県内会議所に情報提供</p> <p>○日本商工会議所から長野県連に「被災地商工会議所への経営指導員等派遣」協力依頼(4/5)を受け、県内会議所にアンケート実施。4会議所から派遣について回答を受け、派遣登録手続きを行う。4月11日～20日長野会議所が釜石・宮古会議所、4月18日～4月28日松本会議所が釜石会議所にそれぞれ1名派遣。その他、松本・飯田・下諏訪各1名派遣登録済</p> <p>○東日本大震災及び長野県北部地震について県内19会議所に震災影響・支援活動等のアンケート調査実施(4月5日～14日)</p> <p>○長野県知事に県連会長と18会議所会頭連名で「東北地方太平洋沖地震及び長野県北部の地震に伴う自粛緩和及び財政出動の要請」提出(4月15日)</p> <p>○日本商工会議所会頭に長野県連会長と18商工会議所会頭連名で「東北地方太平洋沖地震及び長野県北部の地震に伴う自粛緩和の要請」提出(4月19日)</p> <p>○被災地の商工会議所の人的支援として経営指導員の派遣を県内商工会議所に呼びかけ、実際に長野商工会議所が1名盛岡・釜石・宮古商工会議所(4月11日～4月20日)、松本商工会議所が1名釜石商工会議所(4月18日～28日)へ派遣した。</p> <p>○長野県議会議長に県連会長と18会議所会頭連名で「東北地方太平洋沖地震及び長野県北部の地震に伴う自粛緩和及び財政出動の要請」提出(4/26)</p>	<p>○長野県からの提案に基づく「東日本大震災支援県民本部の設置」に伴う負担金について、18会議所に協力依頼。県連も一部負担。※経済4団体とJAが同額負担。</p>	026-226-6432 (事務局長 柳澤 泉)	
(特社)長野県トラック協会	長野県長野市南長池71 0-3 会長 宮崎 一治	<p>○長野県知事との協定に基づき、東北地方太平洋沖地震関係で27台、長野県北部地震関係で5台が緊急救援物資等の輸送活動を実施。</p>	<p>△(社)全日本トラック協会の協力要請に基づき、県トラック協会として義援金を募るべく準備中。</p>	026-254-5151 (上原)	
(特社)長野法人会	長野県長野市七瀬中町 276 山浦 愛幸		<p>○東日本大震災、長野県北部地震緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。(募集期間4月1日から5月31日まで)</p>	026-227-0011 (高橋 克典)	http://www.naganohouinkai.or.jp
(特財)中村積善会	東京都中央区銀座2-7- 18 中村 恒義	<p>○被災地4県(青森、岩手、宮城、福島)の大学に対し、学生及び家計支持者の被災による生活困窮を考慮し、奨学生募集数を増やした。</p> <p>○災害救助法の適用を受けた当会の在学中奨学生本人及び家族に、見舞金を支給する。(対象者調査中)</p> <p>△当会の貸費奨学金支給中の被災学生について、給費奨学生に切りかえることを検討中</p> <p>△当会の貸費奨学金返還中の被災学生の返済について、返還猶予又は免除を検討中</p>	<p>○公益財団法人公益法人協会に義援金を寄附した。</p>	03-3564-1645 (瀧村)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)中山報恩会	大阪府大阪市中央区西 心斎橋1-4-5 中山 景子		○東日本大震災支援のため、日本赤十字社へ義 援金2百万円を寄附	06-6243-5577 (育英事業本部事務局 坂浦 勝男)	
(特財)名古屋観光 コンベンション ビューロー	愛知県名古屋市中区栄 2-10-19 理事長 大澤 和宏		○財団窓口及び名古屋市内の3か所の観光案内 所において東日本大震災義援金として募金箱を設 置	052-201-5733	
(特財)名古屋ケー ブルビジョン	愛知県名古屋市北区大 曽根3-4-12 理事長 川口 文夫	△日本CATV連盟経由で三陸ブロードネット(株)と気仙沼ケーブルネットワーク(株)より幹線アンブ等 機器の提供要請があり、保守品の中から仕様適合しているものがあるかを確認中 △高所作業車及び作業員の応援についても検討中 ただし、アナログ放送停波までは加入者対応が優先されるため、支援時期は8月以降になる。	○東日本大震災緊急支援のため、日本CATV連盟 経由で公的機関に寄付(5万円) ○東日本大震災緊急支援のため、NHK経由で公 的機関に寄付(100万円) ○東日本大震災緊急支援のため、役職員が義援 金を中日新聞経由で公的機関に寄付(8万5千円)	052-917-2900 (企画総務部 甲田)	
(特財)名古屋港船 員厚生施設運営会	愛知県名古屋市港区入 船1-6-3 理事長 森 俊裕	○東日本大震災緊急支援のため当分の間 被災地、被災者のお客様の宿泊料を船員料金適用 (小学生以下は無料)している。 被災地、被災者の宿泊客 ○大人 船員料金(例)4,000円→3,300円 ○大人 船員料金(3泊目以降200円引き) (例)3,300円→3,100円 ○子ども(小学生以下) 料金無料(例)1,500円→0円	○東日本大震災緊急支援のため、募金箱により寄 付を募り、日本赤十字社へ寄付を行う。(3月中旬 ～6月中旬迄実施する)	052-652-1426 (吉田 千恵子)	
(特財)名古屋みな と振興財団	愛知県名古屋市港区港 町1-3 理事長 山田 孝嗣		○社団法人日本動物園水族館協会より東北地方 太平洋沖地震の被災園館支援についての依頼が あり、義援金を募集し寄付を行った。募集方法は、 来館者向けに名古屋港水族館館内に募金箱を設 置、また本財団職員及び協力会社の従業員からも 別途義援金を募った。 ○本財団独自で被災者への義援金を募り、社会福 祉法人中央共同募金会へ寄付をした。募集方法 は、名古屋港水族館内及び名古屋港ポートビル内 に募金箱を設置し来館者から義援金を募集した。	052-654-7080 (総務部総務課 名古 美香)	http://www.nagoyaqua.jp/agua/topi/20110315_1/index.html
(特社)名古屋南労 働基準協会	愛知県名古屋市港区港 楽1丁目2番2号 会長 福井 博		○(特社)全国労働基準関係団体連合会による「東 北地方太平洋沖地震等の被害に対する義援金」 募集に寄附(4/27)	052-651-9246 (伊藤)	http://www.meinan-roukikyo.or.jp/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)那覇市観光協会	沖縄県那覇市牧志2-1-4 米村 幸政		△那覇ハーリーのイベント会場内で募金箱を設置し、東日本大震災義援金を受け付け、日本赤十字社を通じて被災者の方々に寄附を行う。(5月3日～5月5日)	098-862-1442 (那覇ハーリー実行委員会)	
(特社)那覇法人会	沖縄県那覇市鏡原町27-1鏡原産業ビル2階 松本 行雄		○チャリティーボーリングの収益金を日本赤十字社へ寄附(青年部会) ○仙台市で開催予定だった全国会議の旅費等相当額を日本赤十字社へ寄附(女性部会)	098-857-0352 (沖縄県法人会連合会照屋専務理事)	
(特社)奈良県自動車整備振興会	奈良県大和郡山市額田部北町977-6 海保 勝雄	○被災地の自動車整備業者の復興のために直接役立つ支援を行う。 ○被災地の自動車整備振興会(商工組合)の職員に対し直接的、物的な支援が必要と思われるため。 宮城・岩手・福島3県の自動車整備振興会(商工組合)を対象としてオアシスジャンパーを近畿各府県自動車整備振興会が取り纏め各府県自動車整備振興会(商工組合)に割当を行い(奈良県は25枚)支援した。 ○奈良県からの要請により、マスク2,000枚を県を通じて宮城県に送付した。(年3月29日)	○近畿ブロックが義援金の拠出目を定め、これを受けて(社)奈良県自動車整備振興会(商工組合)の傘下会員(組合員)へ義援金の拠出方を要請し、集まった義援金については、近畿ブロックが傘下各府県団体分を一括して日整連(整商連)へ送金し、全国の方をとり纏め被害状況に応じた配分を行い被災地の各自動車整備振興会へ支援を行う。	0743-59-5050 (吉川)	
(特社)奈良県銀行協会	奈良県奈良市登大路町36-2 会長 植野 康夫	○「東北地方太平洋沖地震に係る災害に対する金融上の措置」への対応として、手形の不渡り処分に柔軟な対応を行う旨、各社員銀行に要請	△東日本大震災支援のための義援金を日本赤十字社へ寄付することを検討中	0742-22-7722 (藤本啓介)	
(特社)奈良県バス協会	奈良県奈良市三条町511-1 奈良交通第二ビル5F 会長 中村 憲児		○近畿バス協議会に所属する近畿2府4県の各バス協会は東日本大震災に被災された東北地区の各バス協会が所属している東北バス協議会に対して義援金200万円を送る。(奈良県バス協会10万円)	0742-25-2110 (西本)	
(特社)奈良県労働基準協会	奈良県奈良市法蓮町163-1 代表 中村 憲児	○東日本大震災緊急支援のためタオル530本を奈良県東北地方太平洋沖地震支援連絡会議事務局生活物資支援班へ寄附(3月29日に実施)		0742-36-2040 (榎本)	
(特財)成田国際空港振興協会	千葉県成田市古込字1番地1 松井 和治		○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附。(平成23年度に当協会が主催する各種大会及びイベントにて実施)	0476-34-6343 (松本)	http://www.npf-airport.jp
(特社)南薩法人会	鹿児島県南九州市川辺町平山6978 大久保 久道	○4月20日、(社)南薩法人会青年部総会後にチャリティーを実施し、集まった金額で支援物資を購入し発送した。		0993-58-3681(代表)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL	
		活動	寄附			
(特財)新潟観光コンベンション協会	新潟県新潟市中央区白山浦1丁目613-69 理事長 敦井 榮一			○新潟商工会議所取りまとめの被災地支援及び被災地商工会議所の復旧・再建を目的にした義援金募金で、2口6000円を募金。	025-265-8000 (総務課 日根)	
(特社)新潟県銀行協会	新潟県新潟市中央区上大川前通七番町1236番地1 会長 小原 雅之	○東京電力・福島第一原子力発電所事故の拡大に伴い、避難指示区域の住民が、当県へ多数避難している。緊急避難のため生活資金等に預貯金を充当したいとする避難住民が増加していることに鑑み、県内地元銀行と協力して他行預貯金の代理払戻しを行うことにより金融上の支援活動を行った。 ○取扱情報等は新潟県と協力し、災害対策本部を通じて県内避難所に通知、掲載され、利用されている。 ○本件の事例が、全銀協による他行預金代理払い制度の拡大スキームに繋がった。 ○福島、茨城両県銀行協会ならびに東邦、常陽両行、新潟県内地元行との間で代払協定が成立し、3月23日から本格化 ○このほか、第2地銀、信金・信組各業態へも働きかけ、避難者の要望に応えるべく体制を整備した。			025-222-7845 (寺澤・小林)	
(特社)新潟県自動車整備振興会	新潟県新潟市中央区東出来島12番6号 大竹 和夫	○自動車整備用手工具の募集と寄贈。(宮城県自動車整備振興会に軽トラック4台分の工具を4/5、4/13の2回に分けて寄贈) ○義援金の募集。(継続中) ○移動整備相談所に人員派遣。(4/13、14、宮城県で実施された相談所に人員を派遣)		○北陸信越ブロックで見舞金を取り纏め、東北、関東ブロックに贈呈。(継続中)	025-285-2301 (専務理事 斎藤、又は総務部長 石沢)	http://www.jaspa-niigata.or.jp
(特財)新潟県自動車標板協会	新潟市中央区東出来島14-28 会長 白井 昌武			○東北大地震及び長野県北部地震に対して、4月8日に新潟県を通じて10万円を寄付しました。 ○東北大地震に対して、4月5日に新潟商工会議所を通じて9千円を寄付しました。	025-284-7722 (行方 博彦)	
(特社)新潟県商工会議所連合会	新潟県新潟市中央区万代島5-1 敦井 榮一	○東日本大震災による避難者受け入れのための社宅・研修施設の提供を県内の商工会議所を通じて呼びかけた。(3月18日から実施) ○被災地の商工会議所の人的支援として経営指導員の派遣を県内商工会議所に呼びかけ、実際に新潟商工会議所が1名福島商工会議所へ派遣した。(4月11日～4月15日。今後も予定されている。)			025-290-4424 (小沢 謙一)	
(特社)新潟県トラック協会	新潟県新潟市中央区新光町6番4 会長 小林 和男	○3/11地震発生後、災害対策地方本部を設置し、新潟県災害対策本部からの緊急支援物資輸送を実施し 3月末現在、130台のトラックで福島県はじめ宮城・岩手県に物資輸送を行った。4月15日現在では延べ145台の物資輸送を行ってきた。		○新潟県災害対策義援金をはじめ、合計600万円を義援金として実施した。 ○義援金の取扱いは既に下越支部村上分会で取り組み、村上市役所経由で被災地に届けられるよう村上市長に手交した。(4/11)	025-285-1717 (山下)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)新潟県労働衛生医学協会	新潟県新潟市中央区川岸町1丁目39番地5 会長 笹川 力	○新潟県医師会と、日本医師会災害医療チーム(JMAT)への派遣申請を行い、宮城県が指定する石巻赤十字病院の指揮下に入り、医療救護活動を行った(4月26日から4月28日)。チームは、医師、看護師、薬剤師、事務職員の計4名。担当避難所は、石巻市立女子高等学校、石巻市立住吉小学校。	○東日本大震災緊急支援の為の義援金(10,000,000円)を、日本赤十字社へ寄附	025-267-1200 (総務部 鈴木 修)	http://www.niwell.or.jp
(特社)新津法人会	新潟県新潟市秋葉区新津本町3-1-7 高橋三吉	○会員から日用品(タオル1,214枚)を募り、法人会で取りまとめの上、新潟県対策本部緊急物資班へ申し込んだが、被災地の対応ができていないため断念し、地元の医療機関へ配布した。(3月14日)		0250-23-3488 (桐生事務局長)	
(特社)西川口法人会	埼玉県川口市西川口3-1-2 リブレ川口一番街1号館112 永井 曜	△募金団体を設立し、募金要綱・募金趣意書を基に、広く一般の方々を対象に義援金を募集する。(平成23年6月以降)		048-258-5811(高橋)	
(特財)西日本産業衛生会	福岡県北九州市小倉北区室町3-1-2 理事長 難波 幸雄	○東日本大震災支援のための募金箱を診療所に設置し、職員・受診者に呼びかけ募集(地元自治会商業部主催の「震災救援チャリティーイベント」(5/1実施)において実施する募金活動に協力し、4月5日から先行して募金箱を設置)	○東日本大震災緊急支援のための義援金を、3月30日に西日本新聞社を通じ寄附(北九州病院グループの一法人として寄附を実施) ○東日本大震災緊急支援のための義援金を職員から募集し、3月30日に西日本新聞社を通じ寄附(3月18日から3月24日に募金を実施)	093-591-2530 (中野)	
(特財)西日本産業貿易コンベンション協会	福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目8番1号 理事長 利島 康司	○北九州市の支援及び義援金等の活動に参加・協力している。		093-511-6848	
(特社)西日本不動産流通機構	広島県広島市南区的場町1-1-21 クリスタルタワー6F604号 会長 田中 武弘	○被災された方の住宅確保支援のため賃貸住宅の情報提供を構成団体へ文書で要請(4月7日) ○ホームページ(トップページ)にバーナー「東北地方太平洋沖地震に伴う物件情報の提供について」を設け、積極的な住宅確保支援を要請(4月8日)		06-4394-1321 (事務局 原田)	http://www.nishinoh-reins.or.jp/
(特社)西日本プラスチック製品工業協会	大阪府大阪市西区北堀江1-1-27 会長 原 襄輔		○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行う(5月上旬に予定)。	06-6531-8791(松山)	
(特社)虹の会	東京都中央区日本橋人形町3丁目11番地8号 伊東 貞行	○東日本大震災被災地住民支援、当虹の会会員アントニオ・古賀・安倍律子コンサート、と被災者へ食事の提供(まぐろのづけ丼2000食)当会理事、東京築地すしざんまい木村社長の提供で、福島市へ第1会場ふくま自治研修センター(被災者200名を想定)／第2会場あづま運動公園体育館(被災者1300名想定)で 4月14日に、キャラバンカー1台・大型冷凍車トラック1台、職人20名で実施、今後も当虹の会会員と、当会理事東京築地すしざんまいの食事の提供活動を実施 △近県・埼玉・東京に来られてる被災者にお届けしたと、現在会場を探しています。 ○虹の会会員よる(プロ)コンサートと食事(東京築地まぐろのづけ丼)の提供(すべての機材等こちらで持参・食事大型冷凍車で持参、安全性はクリアしています。)		03-5642-8400 (常務理事・事務局 辰己 直樹)	http://www.niinokai.or.jp

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)西野田労働 基準協会	大阪府大阪市此花区西 九条5-3-60 会長 仲松 敏夫			○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ5万円を寄附(4月18日)	06-6462-4451 (事務局長)
(特財)2001年日本 委員会	東京都千代田区三番町6 -2三番町弥生館4階 今野 由梨	○2009年に『危機の時代における社会企業の役割』研究会から始まり、2010年に『迫りくる新しい脅威とその対応』シンポジウムを実施し、新しいタイプの危機管理に関する研究を行ってきた。今次、東日本大震災が発生し、今や待ったなしの状況。これまでの私たちの提案の意義を検証し、再評価のうえに立って、経験と人脈をそのまま活かして、復興の為の政策提言の為の研究会実施している。		○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し寄附を行う。(3月中旬から実施中)	03-6238-7411 (伊藤) http://www.year2001ion.org/
(特財)日米医学医 療交流財団	東京都文京区本郷3-27 -12 本郷デントビル6階 会長 小玉 正智	△東日本大震災と原発事故による被災と復興の支援をしたいという海外医療従事者からの強い要望に答え、海外からのクレジットカード決済での支援金受付窓口を新たに開設し、その支援金によってこの財団活動の強みを活かし、海外からの先進的な医療従事者の招聘等を通して、特に原発事故復興に向けての最新医学セミナー等を実施し、被災者のみならず広く国民に対し有用な教育・情報提供を実施していく。		△近々クレジットカード決済システムを当財団ホームページ内に立ち上げ予定	03-6801-9777(内山)
(特社)日米協会	東京都港区赤坂 1-11-28 赤坂一丁目森ビル8階 大河原 良雄	○ホームページで米国日米協会の支援活動を紹介			03-3588-6344 http://www.aistokyo.org/ais_ishome-j.html
(特社)日米平和・ 文化交流協会	東京都千代田区永田町2 -9-8 会長 久間 章生	○4月13日から15日にかけて岩手県宮古市田老町を訪問し機動隊、自衛隊に対し差し入れを実施した。 △海外メーカーの仮設住宅を寄付すべく米国メーカー代理店と各県の調整をしている。			03-6206-1240 (秋山 直紀)
(特財)日弁連交通 事故相談センター	東京都千代田区霞ヶ関1- 1-3 弁護士会館14階 宇都宮健児	○被災地住民の交通事故問題に関するQ&A(【1】地震や津波による事故と自動車保険、【2】地震や津波による免責の範囲、【3】原子力関係の事故と自動車保険、【4】地震等と労災保険(※自動車保険ではありませんが、関連情報として。)、【5】地震等と自賠責保険をとりまとめ、当センターホームページ上で公開している。今後様々な問題点が生じるものと考えられるので、随時更新版を掲載していく予定である。			03-3581-4724 (伊藤) http://www.n-tacc.or.jp/
(特財)日航財団	東京都品川区東品川2- 4-10 大西 賢	△世界中のごもたちを対象に俳句普及事業を行っており、その活動の一環として、俳句コンテストの優秀作品を書籍として出版し、国内外の公立図書館、教育機関に寄贈している。本年3月末に発行された作品集については、配布部数が限られる中で、東北・北関東地区を重点対象に配布する。(5月末から実施)			03-5460-3900 (中川、浜崎)
(特財)日産厚生会	東京都港区西新橋1-1- 15 中嶋 昭	○日本医師会災害医療チームに4チーム16名を登録。医療スタッフ58名が活動OK状態。 ○日本透析医会からの要請に基づき、被災地からの透析患者受入3名について登録。現在1名を受入中		○東日本大震災緊急支援のための職員より義援金を募集し、日本赤十字社へ1000万円を寄附(平成23年3月30日実施)	03-3700-1151 (玉川病院 桜井)
(特財)ニッセイ聖隷 健康福祉財団	大阪府大阪市北区太融 寺町3-24 脇 英太郎	○静岡県ボランティア協会の要請により、同協会が静岡県等とともに活動する岩手県遠野市の遠野災害ボランティア支援センターを拠点に、社会福祉法人聖隷福祉事業団等の関連法人と合同で、介護職員チームを継続派遣し、避難所及び在宅の要介護・要支援者向けの介護サービスの提供及び介護ニーズ調査等に取り組んでいる。(3月29日より活動開始し、現在活動中)		○当財団が運営する有料老人ホーム等、施設入居者や利用者、役員より、総額4,074,316円(4月20日現在)の義援金を集め、今後、日本赤十字社等へ寄附を行う。 ○募金活動は継続実施中。	06-6315-0243 (企画総務部 雲井)

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)日中医学協会	東京都千代田区岩本町1-4-3 住泉KMビル6階 安達 勇	<p>○協会は、日本財団が行っている義援金活動に賛同し、協会HPに日本財団が実施している義援金活動に協力を求める文書、リンクを掲載した。</p> <p>○当協会が実施している笹川医学奨学金で来日したことのあるOBや中国の政府機関等から届いたお見舞い状をHPに掲載した。</p> <p>○元笹川研究者OBで現在仙台に在住する研究者の寄稿文をHPに掲載した。</p>	<p>○協会事務局内で募金活動を行い、事務局で集めたお金と協会のお金を加算し、日本財団に寄付した。</p>	03-5829-9123(比留間)	http://www.ipcnma.or.jp
(特社)日中産業技術交流協会	東京都中央区日本橋茅場町1-5-2 稲垣 正夫	<p>△震災後直近の5月27日開催の理事会で、関連企業からの義援金の寄付、物資の提供等の可能性等について、団体としてなにが実行可能かあらゆる面から討議を行う予定</p>		03-3668-1657(三堀)	
(特社)日展	東京都台東区上野桜木2-4-1 会長 中山 忠彦	<p>△被災地への長期的な支援活動について検討中(例:日展作家を中心にチームを編成し、被災地の施設などで出張ワークショップを行う、など)</p>	<p>△東日本大震災緊急支援のため日本赤十字社へ一定額の寄附を行う。(5月中旬 300万円を寄附予定)</p> <p>△今秋開催予定の第43回日展(会期:10月28日~12月4日)および巡回展の会場内に義援金募金箱を設置し、日本赤十字社へ寄附を行う。</p>	03-3821-0453 (瀬戸口)	
(特社)日本アクチュアリー会	東京都中央区晴海1-8-10 晴海アイランドトリトンスクエア オフィスタワーX2階 理事長 野呂 順一		<p>○日本赤十字社を通じて30万円の義援金を拠出</p>	03-5548-6033(事務局)	
(特社)日本アスファルト合材協会	東京都中央区八丁堀2丁目5番1号 会長 滝田 裕久		<p>△東日本大震災の被災者に義援金250万円を送るべく5月13日の総会で決議を予定</p>	03-3553-3746 (新道)	
(特社)日本アマチュアオーケストラ連盟	愛知県豊橋市立花町46 光陽ビル3F 理事長 足木 準治	<p>○東日本大震災緊急支援のための募金寄付を、全国各地の当連盟正会員が開催する演奏会にて来場者その他に呼びかけ募集(3月27日浜松交響楽団から実施)</p>	<p>△東日本大震災緊急支援のための義援金を次の要領で募集し寄付を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当連盟正会員の行う演奏会にて来場者その他へ呼びかけ義援金を募集する。 ・当連盟正会員は8月末までに行った演奏会で集まった義援金を一旦当連盟へ送付する。 ・当連盟は、各正会員から集まった義援金を、日本赤十字社及び被災した当連盟正会員分に振り分け、9月中に寄付を行う。 	0532-33-6885 (事務局長 須藤 悦孝)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本アマチュア無線連盟	東京都豊島区巢鴨1-14-5 原 昌三	<p>○非常通信の実施 3月11日の災害発生時以降、当連盟が開局しているアマチュア無線設備を稼働させて被災地の各地から発射される非常通信を把握するとともに、必要に応じて自ら電波を発射して通信を行い、現地の災害対策本部、警察署等関係機関に通報するなど、災害対策に寄与</p> <p>○被災地に無線機を送付 被災地の避難所相互間、避難所と災害対策本部等との間の情報連絡を実施するために必要な無線機をアマチュア無線機器製造メーカーより300台寄贈。被災自治体に195台貸出</p> <p>○中継用無線機の設置 トランシーバーの電波を中継する無線機を東海村に移設し、周辺のアマチュア無線を使用した緊急通信の実施に供している。</p>		03-5395-3101(大橋)	http://www.iarl.or.jp/
(特社)日本アミューズメントマシン工業協会	東京都千代田区九段南3-8-11 飛栄九段ビル8F 里見 治	△被災地の子どもたちに向け、ゲームセンターのクレーンゲーム機で提供されているぬいぐるみなどの提供を検討している。	<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォームへ寄付(3月18日)</p> <p>○海外企業から提供された見舞いを義援金として特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォームへ寄付(3月22日)</p>	03-3556-5522 (片岡)	www.iamma.or.jp
(特社)日本アロマ環境協会	東京都中央区八重洲1-5-20 石塚八重洲ビル6F 理事長 宇田川僚一	<p>○「日本アロマ環境協会 東日本大震災被災者支援プロジェクト」を立ち上げ、被災者の方々への支援活動を開始</p> <p>○義援金口座を開設し、義援金募金を募集中</p> <p>○協会名義の募金箱を法人会員の店舗、スクール等に設置いただき、義援金募金活動を実施中</p> <p>△協会会員の皆様の協力を得て、被災された方にアロマハンドトリートメントを行うなどのアロマを活用したボランティア活動の実施を検討(実施の時期は、被災地の復旧の状況や現地側のニーズと受け入れ態勢等を把握の上、決定)</p>	○1000万円の協会義援金を日本赤十字社へ寄附(3月31日付)。	03-3548-3401 (猿渡、土屋)	http://www.aromakankyo.or.jp/news/index.php#news328
(特社)日本アンカー協会	東京都千代田区三崎町2-9-12 会長 中原 巖	<p>○国、地方公共団体の要請等への対応(平成23年3月より実施)</p> <p>○被災地の会員企業の会費の減免(平成23年4月より実施)</p> <p>○被災地の「グラウンドアンカー施工士」の認定証再発行手数料の無料化(平成23年4月より実施)</p>	○被災地の地域住民の皆様への災害義援金として、日本赤十字社へ『100万円』を寄附(平成23年3月17日に実施)	03-5214-1168 (武山 光成)	http://www.japan-anchor.or.jp
(特財)日本遺族会	東京都千代田区九段南1-6-5 会長 古賀 誠		○遺児による慰霊友好親善事業参加者(20周年記念洋上慰霊)から集められた義援金を日本赤十字社へ寄附(4月7日、日本赤十字社本社を訪問し実施)	03-3261-5521 (増矢)	http://www.nippon-izokukai.jp/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)日本イタリア 京都会館	京都府京都市左京区吉 田牛ノ宮町4 理事長 天野 恵	△復興支援として今年度連続的に「日本イタリア京都会館東日本大震災チャリティーセミナー」を開催し、そのセミナー受講料を被災地へ全額寄附する。現在第1回セミナー開催に向け広報活動準備中 第1回 京都 「災害と文化ー中世イタリアの場合ー」(仮) 講師 天野 恵 第2回 京都 「震災と復興ー日本とイタリアの相違点ー」(仮) 講師 尾池 和夫 第3回 大阪 「ポンペイが残したもの」(仮) 講師 酒井 聡 第4回 京都 「大災害とパニックーイタリア17世紀のベスト禍ー」(仮) 霜田洋祐	△セミナー受講料(一般2500円、会員1500円)を義援金として全額日本赤十字社へ寄附する。	075-761-4356 (片山 智士)	
(特社)日本医薬経 営コンサルタント協 会	東京都中央区東日本橋1 -1-7 野村不動産東日本橋ビ ル3階 会長 木村 光雄		△東日本大震災の被災者支援のため、義援金として寄附することを検討中	03-5822-6996 (管理部長 村上)	
(特財)日本移動通 信システム協会	東京都品川区大崎2丁目 1番1号 シンクパークタ ワー 鷺田 五郎	○MCA無線機(端末局)の貸出 当該協会備蓄のMCA無線機100台を確保し、被災自治体に10台貸出		03-6365-7907(浜名)	http://www.iamta.or.jp/
(特財)日本医薬情 報センター	東京都渋谷区渋谷2-1 2-15 理事長 村上 貴久	○HPIに「災害関連の医薬情報の提供」として以下のご案内を開始(3月22日から実施) ・「錠剤鑑別」の電話での受付 ・医薬品添付文書情報、文献学会情報等のデータベースである「iyakuSearch」を無料公開 ・当財団書籍「薬剤識別コード一覧」無償提供 ・震災関係の文献複写無料サービス ○(社)日本薬剤師会を通して被災地の病院・薬局に当財団書籍[「医療用医薬品集」、「医療用医薬品集 普及新版」、「薬剤識別コード一覧」、「一般用医薬品集」]を贈呈(3/23)。		03-5466-1812 (事務局業務渉外担当 部長 多田)	
(特社)日本医薬品 卸業連合会	東京都中央区八重洲1- 7-20 八重洲口会館4 階 会長 別所 芳樹	○被災地域においては、当会会員卸企業も多数存在し、物流センター、支店等では周辺住民と同様に震災に遭い、通常の医薬品供給活動が困難な中で、医薬品の配送に尽力した。地元医療機関や自治体から直接、医薬品供給を依頼されるほか、厚生労働省経由で首相官邸対策本部から要請があった大学病院等に対し、医薬品供給を行った。また、当連合会においては、3/14対策本部を設置し、医薬品供給業務を行う会員卸企業と厚生労働省との連絡調整に当たった。(震災発生当初から対応、現在も継続中)	○当連合会では今回の震災で被害が大きかった5県(岩手、宮城、福島、茨城、千葉)の県庁等へ、義援金等として総額3,200万円を贈った。また、予てより友好関係にある韓国医薬品都売協会から当連合会に贈られた4,106千円についても、同様に被災5県に寄付した。その他、会員卸企業が独自に義援金を交付している。	03-3275-1573 (市山)	http://www.jpwa.or.jp/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本医療法人協会	東京都千代田区富士見2-6-12 日野 頌三	<p>○ 平成23年3月11日(金)14時46分に発生した「平成23年東北地方太平洋沖地震」に対して、3月12日(土)に本部長を日野会長とする医療法人協会災害対策本部を設けた。</p> <p>○ 医療法人災害対策本部の活動</p> <p>1. 会員の被災状況の情報収集</p> <p>○ 青森県、岩手県、宮城県、福島県、秋田県、山形県、茨城県、栃木県、千葉県、長野県及び新潟県の175会員に安否確認連絡を電話等で行ったが、一部の会員とはなかなか連絡が取れず、震災発生後11日経過した22日現在でも岩手県の2会員とは連絡がとれなかった。(この2会員には、現地へ出向き被災状況を確認した。)</p> <p>2. 被災会員に対する人的・物的・経済支援</p> <p>○ 被災地への救援活動は日本医療法人協会と全日本病院協会の合同で行っている。</p> <p>○ 緊急不足物資の援助を岩手県宮古市・大船渡市、宮城県気仙沼市、福島県会津若松市・いわき市及び茨城県大洗町の7病院に行った。→これらの病院の被害は大きいため引き続き人的・物的要望を聴取している。</p> <p>3. 会員からの義援物資、経済的支援</p> <p>△ 今後の支援方策を検討するためには、被災状況・被災額を把握する必要があるため、提出期限を5月20日とする被災報告を求めている。</p>		03-3234-2438 (清)	http://www.aihc.or.jp
(特社)日本インダストリアルデザイナー協会	東京都港区六本木5-17-1 AXISビル4F 浅香 嵩	<p>○協会内部に災害問題研究会を発足:全体討議及び、東日本エリア・中日本エリア・西日本エリアで分科会の開催を行い、情報収集からネットワーク構築及び復興支援と今後のマニュアルづくりなど検討。</p> <p>○ホームページ上で、デザインに係る被災者支援及び復興支援活動リンク集を開設</p> <p>○デザイン&トレード委員会にて、現地情報収集及び必要とされる支援物資を収集し現地に持参</p> <p>△被災地活性化イベント「あかりメッセージ in 仙台」を開催予定(12月頃の開催を想定)</p> <p>○デザイン義援金活動を募集(第一次4月15日、第二次6月30日)。集まった義援金は「足なおじさん基金」等検討中</p>		03-3587-6391 (山口)	http://www.ida.or.jp/site/supporting.html
(特社)日本インテリアデザイナー協会	東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー8F 喜多 俊之	<p>○東日本大震災義援金を募集中</p> <p>△デザイナーズエイド等で支援活動が出来るか検討折衝中</p>		03-5322-6560	
(特社)日本インテリアファブリックス協会	東京都港区浜松町2-3-23 フクダビル6F 吉川 一三	<p>△当協会主催の第30回JAPANTEX2011(11月9日～11日)においてチャリティー等を行うことにより、支援金に振り向けることを予定</p>		03-3433-4521 (元宮)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)日本インドネシア協会	東京都中央区日本橋小網町11-5 福田 康夫	△経済連携協定に基づいて来日しているインドネシア人看護師、看護師候補者、介護福祉士候補者の多くはインドネシアで地震の被災地に派遣された経験を持っているので、その経験を生かし、インドネシアとフィリピンの候補者の有志による災害ボランティアグループを被災地に派遣し、「心のケア」を中心とした活動を行う。(5月から実施予定)		03-3661-2956 (和久井事務局長)	http://www.iapinda.or.jp
(特社)日本植木協会	東京都港区赤坂6-4-22 水城 清志	○自然環境の保護、緑化に対する意識高揚、普及等を図り地域社会の環境改善に資するため、記念樹等の樹木を贈呈する「記念樹等贈呈事業」の対象となる取組に、震災復興に関わる植樹活動の取組を追加した。 △震災地復興に当たってシンボルとなる公園等に植栽する緑化樹木を、地方公共団体に提供することについて検討している。(緊急避難から復興に重点が移っていく時期から開始)	○東日本大震災緊急支援のための義援金30万円を日本赤十字社へ寄附を行った。(4月20日実施) ○東日本大震災緊急支援のための義援金を会員から募り、日本赤十字社へ寄附(4月11日から5月末日まで実施中)	03-3586-7361 (立石 凱義)	http://www.ueki.or.jp
(特社)日本ウエルポイント協会	東京都新宿区本塩町23番地 伊東 芳夫	○茨城県神栖、潮来、鹿嶋地区において、液状化による水道設備及び下水道設備破損の復旧工事のため、排水工法としてウエルポイント工法(真空ポンプで地下水位を低下させる工法)を実施している。(3月20日から実施) △震災地である浦安市災害対策本部防災課に液状化有効なウエルポイント工法を説明に訪問。(4月13日)	△東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。(5月下旬から実施予定)	03-3226-6221 (伊東)	
(特社)日本ウォーキング協会	東京都文京区湯島1-2-4 会長 村山 友宏	○会報「ウォーキング ライフ」4月に今回の東日本大震災の被災者の方々へのお見舞いを掲載。また、全国の会員及び県協会に向け、全国で行われる「ウォーキング大会」において復興支援の義援金を募る活動の展開のお願いと、各大会においてそれぞれ日本赤十字社及び地元新聞社に寄託していただくよう奨励 △3月28日開催の理事会において東日本大震災の被災者に対して慰霊の黙祷を捧げ、今後加盟団体と県協会が主体となって全国で開催するウォーキング大会において復興支援のための募金活動を展開することを決議。義援金においては日本赤十字社及び地元の新聞社に寄託することも申し合わせ。開催後に協会に報告しまとめることとした。 △4月29、30日開催予定であった「ウォーキングフェスタ東京」が中止となったので、9月以降に復興支援のおウォーキング大会と位置付けて開催する。また、災害時における「帰宅支援ウォーク」(仮称)を東京の市区町村及び企業に提案し実施を検討する。 ○会報「ウォーキング ライフ」4月号に、携帯電話事業者と連携して「被災地支援 義援金サイト」の案内を掲載	○東日本大震災、被災地の復興支援のための義援金を募る活動を実施。3月12、13日「第24回瀬戸内倉敷ツーデーマーチ」3月13日大分県「おおいだ遺産ウォーキング大会」4月2、3日「おいでませ！山口国体 山口大会開催記念 第4回周南路まるごと2daysウォーク」4月16、17日「久留米つつじマーチ」にて募金活動を展開 ○4月29、30日に小金井公園において開催予定であった「ウォーキングフェスタ東京」の事前参加費を収めた方々に東日本大震災の復興支援の義援金として良いか伺い、4月末でまとめ義援金として共催団体である「朝日新聞社」に寄託する。 △ウォーク日本1800実行委員会においては「1km歩いて10円」の募金活動を展開し、日本赤十字社を通じて被災地の復興支援にあてさせていたたく。	03-5256-7855	
(特財)日本宇宙フォーラム	東京都千代田区大手町2-2-1 理事長 間宮 馨	○被災した子ども達の制作したメッセージや絵画、子ども達自身の写真などを募集し、それらをDVDに収録し国際宇宙ステーションの「きぼう」に打上げ、保管するという取組を実施している。 本取組は、当財団が昨年度から「きぼう」有償利用事業者として進めている「地球人の心」というプロジェクトの一環として、被災した子ども達に夢と希望を与えるために特別なキャンペーンとして実施するもの。参加は無料で、第1回締切りは4月20日、DVDの打上げは平成23年6月を予定している。第2回以降も実施予定である。		03-5200-1303 (山中 勉)	http://www.isforum.or.jp/event/education/terahart/kibo.html

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本埋立浚渫協会	東京都港区赤坂3-3-5 住友生命山王ビル 村重 芳雄	<p>○3月11日、国土交通省、東北地方整備局等から、災害応急対策業務協定に基づき、作業船等の動員について要請有り。</p> <p>○3月12日、東北地方整備局等と第1回対策会議(支部)。以後継続して開催。</p> <p>○3月13日、被災した港湾施設の緊急復旧作業の関係者からなる第1回対策会議(本部)を開催。作業船の広域的な調達、支部への支援、について。以後継続して開催。</p> <p>○3月14日、被災各港湾に、起重機船、ガット船、台船、曳船、潜水士船、ダンプトラック、バックホウ等投入</p> <p>○3月16日、緊急輸送路確保のため、八戸港、久慈港、宮古港、釜石港、石巻港、仙台塩釜港、相馬港、小名浜港、茨城港、鹿島港において、航路等の啓開作業(船舶等の航行に支障を及ぼす障害物、浮遊物の撤去)を開始</p> <p>啓開作業の内容:航路等の浮遊物の撤去、水中障害物の撤去、水中での潜水調査、港内の水深測量および各港への必要な作業船の手配</p> <p>○3月17日現地での活動を確保するための、燃料(軽油10KL)の陸上輸送。地方整備局の要請を受け、協会各支部から支援物資を陸上輸送(輸送先:仙台市)</p> <p>○啓開作業が円滑に実施できるようA重油を確保し、横浜港から現地に輸送(4月)</p> <p>○4月15日現在、八戸港、仙台塩釜港、石巻港、相馬港において、啓開作業を実施中。その他の港湾については、確認測量等の作業に移行。</p> <p>○小型テント等約300張、関係自治体に寄贈</p>		03-5549-7468 (補)	
(特財)日本英語検定協会	東京都新宿区横寺町55 理事長 道明 文夫		○被災地に対する財政支援(寄附)や、被災者の受験料の減免等を検討中	03-3266-6555	http://www.eiken.or.jp/
(特社)日本衛生検査所協会	東京都千代田区紀尾井町3-27 剛堂会館3階 代表者 伊達 忠一	○物資(食料品等)を集荷し、被災地(茨城県、岩手県、宮城県)へ搬送(3月18日)送付(3月18・19日)した。	<p>△ 2011年度予算、3,000万円計上、東日本大震災への寄付(日本赤十字社)予定</p> <p>△ 会員、賛助会員に対し、一口5万円を東日本大震災義援金募集を実施(3月18日)、受付期間(3月22日~4月30日)、日本赤十字社へ送付予定</p>	03-3262-2326 (事務局長 山田)	http://www.ircla.or.jp/info/info/info_42.html

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本栄養士会	東京都千代田区神田神保町1-39 会長 中村 丁次	<p>○被災地へのボランティア管理栄養士・栄養士の派遣</p> <p>①在宅医療支援型:医療チームとの連携を行い、管理栄養士が在宅療養者・高齢者を訪問し、栄養問題に対応。栄養相談の実施(気仙沼市、石巻市)</p> <p>②避難所支援型:献立作成の指導、炊き出し(大量調理)。災害弱者個人々人への栄養支援 避難所での食事提供状況調査(栄養を中心に)(山元町、石巻市、気仙沼市) ビタミン強化米の提供(自衛隊と協力)(気仙沼市、女川町) 災害弱者(約120名)への食事提供業務(石巻市)</p> <p>③施設支援型:高齢者等の施設での栄養アセスメント業務等(調理業務支援)(岩手県内の要望施設)</p> <p>○ボランティア管理栄養士・栄養士の派遣旅費の一部助成</p> <p>○支援物資等の確保と配布(気仙沼市、石巻市、女川町、岩手・福島県・茨城県自治体/栄養士会)</p> <p>急性期には、濃厚流動食、高タンパク/高エネルギー飲料およびゼリー、たんぱく質粉末の活用 亜急性期からは、VB強化米、食物繊維、ビタミン/ミネラル粉末等を、食事に混ぜ込んだりふりかけたりする形式で活用 乳幼児対応としては、アレルギー対応食/ふつつ離乳食の提供 高齢者対策としては、上記と同様にVB強化米、食物繊維、ビタミン/ミネラル粉末等を、食事に混ぜ込んだりふりかけたりする形式のほか、ペースト食、とろみ食としての提供 食器やポット等の提供(気仙沼市、女川町) 消毒用アルコールやマスクなどの衛生品を用意し、スタッフにも配布</p> <p>○避難生活のためのリーフレット(栄養食生活/衛生管理/高齢者/赤ちゃん、妊婦・授乳婦)の作成及び配布(国立・健康栄養研究所との共同作成)(全地域)</p> <p>○被災者救済のため支援金および被災地支援活動のための寄付の募集(全国)</p>		03-3295-5151 (八綴)	http://www.dietitian.or.jp/eq/index.html
(特財)日本エルピーガス機器検査協会	東京都港区新橋1-18-6 共栄火災ビル 寺崎 和典	○特定製品の検査において、被災地向けの供給物資に係る検査の期間が最大限短縮されるよう、一定期間24時間態勢にて対応するなどの運用を図り、緊急出荷体制の構築に貢献した。	○(特社)エルピーガス協会が募集した「東日本大震災」に対する義援金の募集に賛同し、本年3月25日に50万円拠出した。 ○(特社)日本簡易ガス協会が募集した「東北地方太平洋沖地震」に対する義援金の募集に賛同し、本年3月25日に10万円拠出した。	03-5512-7921 (矢嶋)	
(特社)日本エルピーガスプラント協会	東京都港区虎ノ門3-20-4 虎ノ門鈴木ビル3F 石井 宏治	○被災地に本社を置く検査事業者に対し連絡を行い、早急に必要な救援物資(食料、水、オムツ等)を確認。協会内の検査事業者委員会活動として、全国の検査事業者から生活物資を募集し、配送(3月17日から募集、翌日から発送)	○東日本大震災緊急支援のため、協会会員(正会員・法人賛助会員)から義援金を3月18日から募集し、日本赤十字社へ寄付を行う。	03-5777-6167 (猿田)	
(特社)日本煙火協会	東京都中央区日本橋小網町11-9 トーカービル3F 小勝 一弘	○会員の被災状況、火薬庫の被災状況及び火薬類の管理状況の確認	○東日本大震災緊急支援のための義援金を、日本赤十字社へ寄附	03-5652-7855 (石田)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本演奏連盟	東京都港区新橋3-1-10 石井ビル6階 理事長 伊藤 京子	<p>○岩手、宮城、福島、茨城4県に居住する日本演奏連盟の被災した会員に対し1年間の会費免除を通知</p> <p>△日本演奏連盟の一般会員に対し、被災した会員への義援金を募集し、連盟負担分とあわせて見舞金をおくる(機関紙5月号で通知)</p>	<p>○東日本大震災支援のため、募金活動を行い、日本赤十字社へ寄付(3/24開催の都民芸術フェスティバル東京芸術劇場公演で実施)</p> <p>△東日本大震災支援のため、チャリティ公演として収益の一部を寄付する予定(5/17開催の日本演奏連盟第23回クラシックフェスティバル東京文化会館で実施予定)</p>	03-3539-5131 (澤)	3/24公演についてはHPで公表 http://www.ifm.or.jp
(特社)日本オーケストラ連盟	東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル7階 理事長 児玉 幸治	<p>△まずは、オーケストラ所在地や近くの避難所に、もう少し落ち着いたら被災地にも楽員を派遣して、アンサンブルを提供し慰問する。特に、学校など子どもたちを中心とし、希望するお年寄りや父兄も対象とする。</p> <p>○加盟するオーケストラの一部は既に復興支援コンサートを実施した、また、これから実施する予定になっている。避難所慰問も始めている。</p> <p>△情勢がもう少し落ち着いたら、加盟する全オーケストラが参加する大きなコンサートを開催するなど、復興へ希望が持てるようなイベントを企画実施する。</p>	<p>○加盟する31のオーケストラが主催する演奏会および連盟が主催する演奏会において募金を呼びかけ、現在までに、計2800万円余をそれぞれの団体から寄附をした。(3月13日から実施した。)また、今後も引き続き募金活動をする。</p> <p>△海外のオーケストラなどから「被災地の音楽活動支援」に活用してほしいと義援金が寄託される予定なので、意向に沿った活用、寄附をする。</p>	03-5610-7275 (常務理事 支倉 二二男)	http://www.orchestra.or.jp
(特社)日本オートキャンプ協会	東京都新宿区三栄町12 清重ビル2F 会長 長谷川 純三		<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集(4月9日・10日に代々木公園で行なった「アウトドアデejapan2011」において)し、集まった776,756円を4月22日に日本赤十字社へ寄附の予定。</p> <p>○当協会ホームページにおいて、東日本大震災緊急支援のための義援金を募集中。4月20日までの義援金を集計して、4月22日に日本赤十字社へ寄附の予定。</p> <p>△全国の会員キャンプ場に義援金箱を設置して、東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。(5月初旬から6月にかけて実施予定)</p>	03-3357-2851(事務局 小俣 幸男)	http://autocamp.or.jp
(特社)日本オフィス家具協会	東京都中央区日本橋人形町1-12-11 会長 中村 喜久男		<p>△東日本大震災緊急支援のための義援金100万円を日本赤十字社へ寄付(5月中に実施)</p>	03-3668-5588 (事務局 河川)	
(特社)日本音楽家協会	東京都港区赤坂一丁目1番17号 会長 石井 一	<p>△東日本大震災復興支援公演</p> <p>8/6(土)サマージャズリポリューションVOL3 日経ホール</p> <p>8/21(土)第43回サマージャズ 文京シビックホール</p> <p>10/15(土)栄光のラテンビッグバンド 日比谷公会堂</p> <p>11/13(日)(仮称)復興支援チャリティジャズコンサート 文京シビックホール</p>	<p>△左記公演の入場券1枚につき100円の寄付金を募集し、日本赤十字社へ寄付。</p>	03-3585-3903 (佐藤 美枝子)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本温泉協会	東京都中央区新川1-1-7 会長 滝 多賀男	<p>△震災による会員温泉地と会員旅館の被害状況(建物への被害、温泉源への影響、ライフライン等の状況、営業状況、キャンセル状況、被災者の受入状況)について調査を実施した。これらのなかから、温泉源に影響のあった温泉地、旅館等への復旧支援、相談窓口の開設を検討。</p> <p>△東日本大震災にともなう温泉地の状況の総合調査(仮称)を実施することにより、復興に向けての指針をまとめることを検討。</p> <p>△協会発行の「温泉」誌において震災の特集号を刊行する。風評被害を抑えるために温泉地の現状をまとめ、東北の温泉地を支援する。</p>	<p>○新聞社の復興支援広告を通じ、日本赤十字社に見舞金を寄付した。 △被災温泉県の団体に見舞金を贈呈する。</p>	03-5941-8610(専務理事 寺田 徹)	http://www.spa.or.jp/
(特社)日本海員救済会	東京都中央区明石町1-29 玉置 佑介	<p>○本会名古屋病院においては、災害支援ナースとして看護師5名が、3月26日から4日間、宮城県石巻市避難所において、避難者を対象に、「健康相談」「感染対策」「衛生面のアドバイス」「医師の診療補助」の活動をした。</p> <p>○本会名古屋病院においては、地震発生後、DMAT(注1)事務局からの派遣要請を受けるなどして、次の活動を行った。(一部予定)</p> <p>○派遣期間:2011.3.11~2011.3.14 メンバー:DMAT1班(医師2名・看護師2名・事務1名) 派遣先:北茨木市・羽田空港 活動内容:資器材等を準備し東北地方(茨城県)に向け病院車で20:30に出発。 翌日4:30に筑波メディカルセンターに到着。統括DMATの指示のもと被災地へ向かい漁港の住民の避難状況の把握や避難所(体育館)の情報収集をして北茨城市役所に報告。午後からは北茨城市民病院の患者全てを被災地外の病院へ救急車と当院病院車で転送。搬送は翌日2:30で終了となる。宿泊施設がなくお願いしてホテルのロビーで仮眠し、朝9:00には本部でミーティングを済ませ当班は羽田空港に向け出発。13:55到着、宮城県石巻空港から自衛隊機で域外搬送される患者を受け入れ都内の活動を行い、翌日11:30ミッション終了となる。</p> <p>○派遣期間:2011.3.12~2011.3.14 メンバー:DMAT2班(医師2名・看護師2名・事務2名) 派遣先:羽田空港 活動内容:3月12日14:00羽田空港到着、空港内でSCU(注2)を立ち上げ、被災地から自衛隊機で搬送される患者の受け入れを行った。13日同様にSCU活動。14日13:32ミッション終了。</p> <p>○派遣期間:2011.4.17~2011.4.21 メンバー:医療救護班第1班(医師3名・看護師2名・薬剤師2名・事務1名) 派遣先:宮城県南三陸町 入谷小学校 活動内容:南三陸町の避難所の1つである入谷小学校で被災者の診療や往診を行う。</p> <p>○派遣期間:2011.5.5~2011.5(予定) メンバー:医療救護班第2班(医師3名・看護師2名・薬剤師2名・事務2名)、派遣ナース1班 派遣先:宮城県南三陸町 入谷小学校 活動内容:南三陸町の避難所の2つである入谷小学校で被災者の診療や往診を行う。</p>	<p>○日本財団へ東北地方太平洋沖地震支援基金の寄附。(3月)</p> <p>○宮城県利府町へ寄附。(3月)</p> <p>○全国福祉医療施設協議会へ東北地方太平洋沖地震の被災地支援活動として、義援金を寄附。(3月)</p>	03-3541-4661 (北川・永田)	
(特社)日本外航客船協会	東京都千代田区平河町2-6-4 今崎慎司		<p>○東日本大震災の被災者の救援、被災地の復旧・復興のために、義援金として総額500万円を日本赤十字に寄附した。(3月25日振込み)</p>	03-5275-3710 (安田)	http://www.jpca.or.jp クルーズニュース2011年3月

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本外交協会	東京都港区麻布台3-1-2 専務理事 池浦 泰宏	○被災地で必要とされる特殊車両を、一時的に貸し出し利用してもらう。開発途上国支援のために供出を受けた中古の特殊車両について、海外へ寄贈するまでの間、国内被災地で活動するNPOや自治体で具体的な利用計画がある場合、期間を決めて車両を貸し出す。現在、利用予定団体との協議を進めており、まずは図書館車の貸し出しを通じた巡回図書館活動の支援を実施見込である。(最初のプロジェクトは5~6月に実施予定)		03-3584-6200 (事務局長 寺田)	
(特財)日本海港湾福利厚生協会	新潟県新潟市中央区竜が島1丁目7番13号 理事長 藤田 紀雄		○被災された「東北協会」並びに「茨城協会」に対し、7万円を贈呈した。(4/8)	025-247-8437 (三善 正俊)	
(特社)日本介護福祉士会	東京都港区虎ノ門1-22-13 西勤虎ノ門ビル3階 会長 石橋 真二	○被災地避難所において中期的に、体位交換やトイレ誘導を中心とした生活支援活動、話し相手、レクリエーション等の実施。1人あたり概ね3泊4日以上の日程で派遣中。(宮城県仙台市、亶理町、女川町、石巻市で3月19日から実施中、岩手県陸前高田市は4月28日より介入予定、今後福島県でも活動を予定し県支部と調整中) ○「生活機能対応専門職チーム」に参画し、生活不活発病に対する支援を実施。(宮城県仙台市に4月3日より派遣)	○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集中。今後内部会議において取りまとめ、寄付時期を決定。社会福祉法人中央共同募金会へ寄附予定	03-3507-0784 (川端)	http://www.iaccw.or.jp/special/saigai-info.html
(特財)日本海事科学振興財団	東京都品川区東八潮3-1 森田 文憲	○日本財団が立ち上げた「東日本大震災支援基金」の募金箱の設置 ○日本財団が行った「東日本大震災支援基金」の街頭募金活動に参加 ○日本財団が行っている「東北地方太平洋沖地震に対する緊急支援策」の一環として、死者・行方不明者の遺族・親族に対する見舞金の支給活動の応援として職員を現地へ派遣 ○被災地への救援物資を運搬する水産庁の船への荷物積み込み作業	○日本財団が立ち上げた「東日本大震災支援基金」の募金活動に対し、職員に募金の呼びかけを行い寄附 △(財)日本博物館協会が募集する「(財)日本博物館協会加盟の被災博物館」に対する義援金活動へ寄附	03-5500-1110 (総務課長 浅川)	http://www.funokagakukan.or.jp
(特社)日本海上起重技術協会	東京都中央区日本橋馬喰町1-3-8 寄神 茂之	○被災した港湾施設の緊急復旧作業に係る関係者からなる第1回対策会議(本部)に参画。今後も継続して実施する予定。 ○港湾施設の緊急復旧事業等に必要となる作業船や作業機械の円滑な手配等を支援。今後も継続して実施する予定。		03-5640-2941 (引地)	
(特社)日本外食品卸協会	東京都千代田区内神田2-16-8 第五氏家ビル 菅澤 運一	○当協会東北・北海道支部を通じ、被災状況の確認を行うとともに、当協会会員企業は安全・安心な飲・食料品を安定的に供給する通常業務の実施に則り、こうした災害時にも業務を行うことが被災地支援に繋がることから、在庫飲・食料品の被災地への輸送のための緊急車両通行証を取得する情報を先ず協会から提供 ○東日本の会員企業を中心に情報の交流を行いながら、被災地への飲・食料品の輸送、提供に協力している。 ○農林水産省の協力要請に対応して、全会員企業に対し、被災地に提供できる飲・食料品のリストアップを行い、被災地に緊急食料を供給	○東日本大震災支援のための義援金を募集中で、日本赤十字社へ寄附することで進めている。(募集期限は4月28日まで)	03-5296-7723 (専務理事 椋田 高義)	http://www.gaishokukyo.or.jp/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本海難防止協会	東京都港区虎ノ門1-15-16 会長 宮原 耕治	○東北・関東地区における津波による被害状況等に関する情報の収集及び復旧・復興に向けた関係方面からの問合せに対する航行安全・海洋汚染面の助言等(3月11日から実施)	○東日本大震災緊急支援のために日本財団の「東北地方太平洋沖地震支援基金」に寄付(3月17日実施) ○東日本大震災緊急支援のために全国漁業協同組合連合会の「がんばれ漁業募金」に寄付(3月30日に実施)	03-3502-2231 (中村)	
(特社)日本海洋少年団連盟	東京都中央区湊2-12-6 鈴木 邦雄	○地震発生後、被害のあった地域に所在する各海洋少年団の安否及び被害状況を調査し、その結果を監督官庁、日本海洋少年団各地区連盟等に通知した。	○地震発生後、3月15日から各地区連盟をつうじて全国の海洋少年団に「津波にあった子供達を応援します。」として、街頭募金を行っている。	03-3553-1818 (堀川)	http://www.isf-japan.or.jp
(特財)日本海洋レジャー安全・振興協会	神奈川県横浜市中区太田町4-47 会長 戸田 邦司	○全国の「海の駅」(132カ所)に対し、日本財団が実施している募金活動への協力をメールにて依頼。(3月16日実施) △東日本大震災により被災された「海の駅」4カ所に対し、NPO法人海の駅ネットワークと合同で見舞金を送付するとともに、全国の「海の駅」に対しても見舞金の募集を行い、それらも合わせて送付することとしている。(5月実施予定) △5月1日、3日～5日に船の科学館で開催されるワールド・シー・ワールドで体験乗船会を実施する際、参加者から義援金を募集し、日本財団が実施している募金活動へ寄附予定。(5月1日、3日～5日実施予定)	△東日本大震災により被災された「海の駅」4カ所に対し、NPO法人海の駅ネットワークと合同で見舞金を送付するとともに、全国の「海の駅」に対しても見舞金の募集を行い、それらも合わせて送付することとしている。(5月実施予定) △5月1日、3日～5日に船の科学館で開催されるワールド・シー・ワールドで体験乗船会を実施する際、参加者から義援金を募集し、日本財団が実施している募金活動へ寄附予定。(5月1日、3日～5日実施予定)	045-228-3061 (天野)	http://www.umi-eki.jp/imukyoku.html
(特財)日本カウンセリング・センター	東京都新宿区下落合3-14-39 平河内 健治	○昨年度まで当法人は対面で行なうカウンセリングに限定して活動を行ってきたが、今年度より東日本大震災被災地を含めた隔地に住む方や、病気などの理由で外出困難な方のために電話相談を開始した。実施日は毎週木・土曜日12:00～20:00。相談料無料。	△当法人利用者・職員・役員から義援金募集。日本赤十字社に寄附予定。 連絡先:(略) URL:(略)当法人ウェブサイトトップページに記載)	TEL 03-3951-3637/03-3951-1808 (尾崎)	http://w01.tp1.jp/~a198412514
(特社)日本科学飼料協会	東京都中央区新川2-6-16 石橋 晃	○3月17日から、被災地域の畜産農家へ飼料及び飼料添加物を早急かつ安定的に供給できるように、会員各社に対して、緊急車両確認標章の発行手続きに係る支援(必要資料の整備等)及び指導を行った。この結果、3月17日～21日の間に、飼料等輸送のための緊急車両確認標章が31枚発行された。	○一般社団法人道道府県畜産振興協議会に法人として地震義援金の寄付を行った。	03-3297-5631 (米持 千里)	http://kashikyo.lin.gr.jp
(特社)日本歌曲振興会	東京都新宿区新宿1-17-2 第3遠藤ビル501号 会長 西岡 光秋		○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附。(3月21日開催の関西支部第七回定期演奏会において実施) △東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。(6月以降開催の各演奏会において実施予定)	06-6614-0506 (関西支部事務局)	
(特財)日本学術協力財団	東京都港区西麻布3-24-20 吉川 弘之		○日本赤十字社へ寄附を行うための東日本大震災に係る義援金を募集している。(4月30日まで受付)	03-3403-9788	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本加工食品卸協会	東京都中央区日本橋室町2-5-11 江戸ビル4階 國分 勸兵衛			○東日本大震災緊急支援の義援金を会員から募集し、日本赤十字社へ1億964万5千円を送付(4月4日)	03-3241-6568 (奥山 則康) http://homepage3.nifty.com/nsk-nhk
(特社)日本火災報知機工業会	東京都台東区台東4-17-1 借楽ビル(新台東) 田上 征	○火災報知設備に関する「計画停電」の影響についてホームページに掲載 ○LEDライトストラップを宮古地区広域行政組合消防本部と気仙沼・本吉地区広域行政事務組合消防本部と塩釜地区消防事務組合消防本部の3箇所へ送付(4月15日)		○(社)全国消防機器協会社会貢献委員会を通じ日本赤十字社に義援金を寄附(3月25日)	03-3831-4318(小川)
(特社)日本ガス石油機器工業会	東京都千代田区神田多町2-11 会長 内藤 弘康			○東日本大震災緊急支援のための義援金(2,000万円)を、理事会で書面審議を行い、日本赤十字社を通じて寄付を4月初旬に行った。 ○東日本大震災緊急支援のため、全国燃焼機器整備業連合会(全燃整連)に見舞金(200万円)の拠出を4月初旬に行った。	03-3252-6101 (吉田)
(特社)日本家畜商協会	東京都中央区新川2-6-16 馬事畜産会館7F 高橋 勝			○東北地方太平洋沖地震の義援金を会員に対して募集中(募集期間:4月24日～5月31日、4月18日現在の支援金額88万円)	03-3297-5545 (村松事務局長)
(特社)日本靴協会	東京都台東区蔵前4-1-6-3 東京靴会館 猪瀬 昇一	○被災された子どもたちに寄附するためにランドセルを約8,000個準備し、現地の対策本部及び教育委員会と調整中 ○福島県教育庁(学習指導課)から相談があり、県立浪江高等学校(現在は安達高等学校に間借り中)にスクールバック200個を準備するべく調整中		△義援金100万を寄附	03-3862-3516 (内田) http://www.kaban.or.jp/
(特社)日本画府	東京都練馬区中村北1-13-18 理事長 樋渡 洵二	△事業名・東日本震災復興支援チャリティ美術展 内容・当会会員の日本画、洋画、彫塑、工芸の小品を廉価にて展示即売し、売上金は開催事業費を差引いた全額を東京新聞社会事業団を通じて寄付する。 会期・平成23年5月17日～22日 会場・東京、京橋 ギャラリーくぼた別館2階 備考・チャリティ美術展会場に募金箱も設置。		△支援チャリティ美術展の実施は決定済みであり、終了後、東京新聞社会事業団を通じて寄附する予定。	044-987-4897 (佐藤 勝昭)
(特財)日本カメラ財団	東京都千代田区一番町2-5番地 理事長 森山 真弓	△津波の影響で被害を受けた写真やアルバムの修復・復元作業に関し、被災地からの要請があれば、当方の学芸員を現地に派遣する。		○(財)日本博物館協会を通して、被災した博物館への義援金として寄附を行った。(4月1日送金) △東日本大震災緊急支援のための義援金を日本赤十字社などへ法人会計から寄附を行う。(5月23日理事会承諾予定)	03-3263-7111 (田村) http://www.icij-camera.or.jp/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本火薬銃砲商組合連合会	東京都港区六本木5-18-17 見上 攻	○会員の被災状況、火薬庫の被災状況及び火薬類の管理状況の確認 △南相馬市内の会員の火薬庫が管理不能になった時の火薬類移送を検討	○東日本大震災緊急支援のための義援金を、日本赤十字社へ寄附	03-5549-9041 (金子)	
(特社)日本眼科医会	東京都港区芝2-2-14 一星ビル7階 会長 高野 繁	<p>〈概要〉(社)日本眼科医会は、(財)日本眼科学会と連携を図り、東日本大震災に対する支援等の活動を行なっている。</p> <p>○内閣総理大臣宛「東北地方太平洋沖地震被災地の医療機関に対する支援体制の構築について(緊急要望)」の要望を行なった。(23. 3. 17)</p> <p>○日本眼科医会と日本眼科学会の合同で東日本大震災災害対策本部を設置(23. 3. 14)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害義援金募集の口座開設 ・被災地会員の消息及び地域医療機関の被災状況の把握 ・眼科関連物資(CL、点眼薬、手術デバイス製品等)の確保 ・日本眼科医会(会長)による現地での情報収集及び現地対策本部との調整等の対応を行なった。 <p>○東北3県(岩手・宮城・福島)の医科大学と地元眼科医会の連携による巡回診療の支援を行った。</p> <p>○眼科関連企業への協力要請及び眼科関連物資の提供・搬送等の支援に係る調整を行った</p> <p>○ヴィジョンヴァン(眼科診療巡回バス)の米国からの借り入れ調整及び東北3県の被災地巡回診療に係る調整及びマンパワーの確保を行った。</p> <p>○被災者の目に関する電話相談窓口を設置した。</p> <p>△医療施設間の医療機器等の提供体制を計画している。</p> <p>△23年度予算の補正予算(被災地の地域医療の推進)を計画している。</p>	<p>○県眼科医会(岩手、宮城、福島、茨城)の被災医療活動に対する支援(各150万円)</p> <p>○東北3県(岩手、宮城、福島)の医科大学に対し、医科大学と県眼科医会が行なう巡回診療に係る義援金の支出(各300万円)</p> <p>△県眼科医会(岩手、宮城、福島)が行なう巡回診療に係る義援金の支出</p> <p>△ヴィジョンヴァン巡回診療に必要な経費に対する義援金の支出</p> <p>△日本赤十字社への義援金の寄付</p>	03-5765-7755 (総務部 企画 高須 賢)	http://www.gankaikai.or.jp/
(特社)日本環境アセスメント協会	東京都千代田区集町2-13 US半蔵門ビル7F 会長 梶谷 修		○東北地方太平洋沖地震被災地への義援金10万円を日本赤十字社を通じ提供(4月20日(水)理事会で決定後実施)	03-3230-3583 (事務局次長 三堀 健一郎)	http://www.ieas.org
(特社)日本環境衛生施設工業会	東京都中央区日本橋堀留町2-8-4 羽矢 惇	<p>○東日本大震災に伴う廃棄物処理施設の被害状況の収集・把握を行い、あわせて、廃棄物処理施設の復旧、稼働開始の見込みなどを国に提供した。</p> <p>○災害廃棄物の処理に関する過去の経験、情報を国に提供している。</p> <p>○廃棄物処理施設の復旧や災害廃棄物対策に対応するため、企画・技術の合同委員会の中に東日本大震災対策委員会を設置し活動している。</p> <p>△災害廃棄物の処理について、引き続き技術的支援を行う。</p>	△震災支援のため日本赤十字社へ寄付を行う予定	03-3668-1881(井上)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)日本環境衛生センター	神奈川県川崎市川崎区 四谷上町10-6 奥村 明雄	<p>○3月13日に大臣官房廃棄物・リサイクル対策部が「環境省災害廃棄物対策特別本部」を設置したのに伴い、当財団職員1名を本部要員として派遣し、災害廃棄物の適正処理に関する総合調整業務に従事させている。4月1日からは「環境専門調査員」として出向させ、引き続き業務に当たらせている。</p> <p>○当センター内に、「東日本大震災災害対策支援班」を設置し、被災者及び被災地における「生活と環境」の早期の復旧・復興に向けて、関係者と協力・連携して、組織の総力を挙げて支援活動を行う旨、ホームページにてお知らせした。これまでに下記の活動を展開している。 ・被災地の廃棄物処理施設の復旧方策、ヘドロ処理方法、野焼きの際の健康影響、衛生害虫等の発生防止などに関する国、自治体への情報提供並びに処理施設復旧支援に係る現地調査</p> <p>○宮城県保健環境センターの被災に伴い、酸性雨測定局である「のの岳」の降水等の分析について、アジア大気汚染研究センターがサンプルを受け入れ、分析を実施。</p> <p>○被災地自治体の要請に基づき、廃棄物、環境、衛生関係等の技術スタッフを適宜派遣し、ガレキ対策など、早期復興の支援を行う。</p> <p>○4月28日、被災地自治体の保健所向け情報として、「東日本大震災に係る衛生害虫等対策の進め方」について情報提供を行った。</p> <p>△第55回生活と環境全国大会を10月24～26日に仙台市にて開催する。「東日本大震災被災地復興支援大会」として、復興をテーマとしたシンポジウムなどを催し、微小ながらも全国からの参加者による経済効果を期待する大会とする。</p>	<p>○アジア大気汚染研究センター(新潟市西区曾和1182)において、被災地への救援物資を各職員が拠出し、3月20日に新潟市指定搬入場所へ届け出た。また、新潟県知事による「被災者救援のための県民募金のお願い」に賛同し、3月31日、県民募金事務局に寄附した。</p> <p>○社)全国浄化槽団体連合会の特別会員として、東北関東大震災に伴う被災地会員団体への見舞金の募金協力を賛同し、4月12日に同団体特別口座に寄附した。</p> <p>○大震災被災地支援のための義援金を4月15日締め切りで役職員宛て募集し、4月28日、朝日新聞厚生文化事業団等を通じて被災地へ寄附した。</p>	044-288-4896 (横田) 活動内容については 044-288-5093 (企画国際室)	http://www.icsc.or.jp/saigaitaisaku/01.html
(特財)日本環境整備教育センター	東京都墨田区菊川2-2 3-3 理事長 入山 文郎	<p>○岩手県、宮城県、福島県の浄化槽指定検査機関にお見舞い、被害状況等の確認のため、訪問(4月7日～8日)</p> <p>○環境省依頼による浄化槽被害状況緊急調査に協力。浄化槽の被害が大きい地域において、浄化槽の被害状況確認のためのチェックシートを作成し、岩手県、宮城県、福島県の各浄化槽指定検査機関と協力して緊急的に現地調査を行い、浄化槽の被害状況の特性について整理・解析し、今後本格化する浄化槽の応急措置及び復旧工事の円滑化に資する活動を行っている。一方、地域住民の一刻も早い生活を取り戻すため、行政機関、浄化槽設備士、浄化槽管理士をはじめとする浄化槽関係技術者、浄化槽使用者に対して技術アドバイス、照会に積極的に対応している。</p>	○岩手県、宮城県、福島県の浄化槽指定検査機関へお見舞い金として寄附	03-3635-4883 (早瀬)	
(特社)日本環境測定分析協会	東京都江戸川区東葛西2 -3-4 橋場 常雄	○会員である有志の環境測定分析事業者と協力して、4月1日より、水や土壌等の測定分析を無償で行う「JEMCAボランティア環境測定分析(放射線測定を除く)」を実施しています。(試料(サンプル)採取は依頼者が実施)(4月1日から実施)		03-3878-2811 (事務局 ボランティア環境測定分析 担当)	http://www.jemca.or.jp/info/earthquake/pdf/volunteer_info.pdf
(特社)日本玩具協会	東京都墨田区東駒形4- 22-4 高須 武男	○当協会会員企業26社から提供を受けた玩具、子供服、文具などをNPO法人エデュケーショナル・フューチャーセンターに寄贈し、被災地で活動するRQ市民災害救援センター(事務局:NPO法人日本エコツーリズムセンター)、NPO法人だがしや楽校の協力のもと、被災された各地の子供さん達に届けた。(10t積トラック5台程度、3月25日に天童市センター到着)		03-3829-2513 (事務局長 山口)	http://www.tvos.or.jp/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本観光振興協会	東京都中央区新川1-6-1 アステール茅場町4F 西田 厚聰	<p>○東日本大震災における被災地の復興を目的に観光関係団体及び企業、関係機関等集結し、被災地の方々に哀悼の意を表するとともに、被災地域の復興に向けた積極的な観光面での取り組みを行うことで、被災地域の復興を支援することを関係者間で確認する機会とするため、東北復興支援の集いを開催する。(4月21日開催)</p> <p>○東北地方の活性化に資する目的として、当協会の「総会」を東京で開催する予定を変更し、宮城県仙台市で開催する。(6月9日開催)</p> <p>△東日本大震災関係支援事業の一環として、</p> <p>1. 被災状況の調査及び正確な情報提供として、①被災地域の情報を当協会の「全国旅そうだん」サイトにより情報提供する。②被災地域の観光地、観光施設等に関する現況調査及び当協会の「全国旅そうだん」サイトの情報更新と提供。</p> <p>2. 夏場の電力需給対策として、①業界と協力し、需給緩和に資するキャンペーン、旅行促進等を図る②長期滞在旅行の促進方策を検討。</p> <p>3. 東北の観光復興として、①東北新幹線復旧を契機としたキャンペーン、送客事業等を行う。②消費者モニター、メディア等のツアー実施と情報発信を行う。③東北観光をアピールする観光展等の実施。④当協会季刊誌「観光とまちづくり」で特集記事等の掲載。⑤全国規模の会議は、極力東北地方で開催する。</p> <p>4. 全国的な観光需要喚起による観光の活性化として、①旅行マインド回復のためのイベント、キャンペーン等を実施する。</p> <p>5. インバウンド対策として、①日中韓観光大臣会議、ITF(台北国際旅行博)、日台観光サミット、WTTC(世界旅行ツーリズム協議会)等の機会を活用し観光客誘致の宣伝を行う。</p>	△義援金箱の設置	03-6222-2531 (企画・総括グループ小澤)	
(特社)日本観光通訳協会	東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル9階 会長 柴田 祐秀	<p>○他の通訳案内士団体と連携して全15団体で「東北地方太平洋沖地震対策チーム」を形成。当協会は世話役5団体の1つとして活動の中心となる。これは、人命救助及び被災者救済と被災地の復興のために、国や地方自治体の要請に基づき、通訳案内士によるボランティア要員の派遣活動を行い、またボランティア要員に対する協力体制を築く、というものである。</p> <p>○当協会内では全会員の約10%余りにあたる100名余り9か国語の正会員がボランティアとして登録した。JNTO(日本政府観光局)が運営するTIV(ツーリスト・インフォメーション・センター)の24時間体制による外国人向け電話案内サービスに中国語1名、韓国語1名を派遣した(2011年3月17日から開始)。</p>	○東日本大震災緊急支援のための義援金口座を設けた(2011年3月22日)。第1回目として、日本赤十字社へ236,895円を寄附した(2011年4月4日)。	03-3213-2706(坂本久美)	http://www.iga21c.or.jp/
(特財)日本漢字能力検定協会	京都府京都市下京区烏丸通松原下ル五条烏丸町398 理事長 高坂 節三		<p>○職員有志の募金に協会として募金額と同額を上乗せする予定。現在、募金として約80万円が集まっている。募金は日本赤十字社等(寄付先は検討中)を通じて贈られる予定</p> <p>○職員有志による募金の他に、協会として2000万円を上限に寄付を予定。寄附先は検討中</p>	075-352-8300	http://www.kanken.or.jp/index.php
(特社)日本肝臓学会	東京都文京区本郷3-28-10 理事長 小池 和彦	<p>○被災地の会員の消息を把握し、肝臓病患者の診療活動について情報収集をしている。また、医薬品の供給について製薬会社の在庫状況を被災地の会員に情報提供した。</p> <p>○被災地住民のうちB型肝炎で治療中の患者さんに向けて治療上の注意事項を当学会HPに掲載するとともに、被災地で連絡できる会員に情報提供した。</p> <p>○6月2・3日の第47回日本肝臓学会総会において緊急企画として被災地の会員からの報告会「東日本大震災:その時、肝臓医は」を行うこととし、義援金募金箱を配置し、参加者の協力を得ることとした。</p>	△第47回総会終了後日本赤十字社に寄附を行う予定	03-3812-1567 (事務局長 箱守 春樹)	http://www.ish.or.jp/citizen/index.html

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)日本がん知識普及協会	東京都千代田区有楽町1-7-1 小濑 雅亮			〇東日本大震災緊急支援のための義援金を千代田区医師会へ寄附	03-3213-0091(佐々木)
(特社)日本缶詰協会	東京都千代田区神田東松町10-2 翔和神田ビル3F 五十嵐 勇二	〇会員企業に対し、食料・物資等の協力・支援を依頼 〇食料等の無償提供 ・各会員各社にて自社製品(缶詰・レトルト食品)の提供 〇緊急通行車両確認標章の円滑な交付のために、農林水産省総合食料局長名の文書を会員企業に配信			03-5256-4801(金村)
(特社)日本機械工業連合会	東京都港区芝公園3-5-8 伊藤 源嗣			〇「東北地方太平洋沖地震」被災地支援に関する協力依頼を行うとともに、当会および当会役員有志からの義援金を中央共同募金会口座に振込	03-3434-5381(河野)
(特社)日本機械土工協会	東京都台東区東上野5-1-8 会長 向井 敏雄			△東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。	03-3845-2727(保坂 益男) http://www.iemca.jp/
(特財)日本規格協会	東京都港区赤坂4丁目1-24 理事長 田中 正躬	〇原子力関係のJIS、ISO、IEC規格のHPでの紹介 〇ISO暫定最終国際規格原案(preFDIS)社会セキュリティ危機管理一危機対応に関する要求事項(22320)邦訳版のHP掲載 △専門家による品質管理・リスク対応・信頼性対策等に関する意見を月刊誌、標準化と品質管理全国大会等を通じ情報発信 △リスク対策、事業継続等の分野における規格開発の加速化と説明会等普及の促進 〇審査登録事業における費用請求に関する応談、審査時期の延期、プロセス変更に関する相談受付		〇東日本大震災緊急支援のための職員有志から義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附した。 〇本部ビルライブラリーに募金箱を設置 △標準化全国大会における収入を寄付する。(10月開催)	03-3583-8000(総務企画部総務課下境) http://www.isa.or.jp/
(特社)日本奇術協会	東京都新宿区百人町1-20-3-402 会長 渚 晴彦(本名:末原晴幸)	〇東日本大震災緊急支援のための募金寄付を、当協会の主催の公演会場及び電話・メール・HP・その他呼びかけで募集(3月21日から実施) △震災地(主として避難所・仮設住宅地)におけるふれあい拠点にて集団で他地域に避難した方々や地元の方々の奇術公演の鑑賞やワークショップにてふれあいを推進し、夢と希望を創造し続けること、人間関係の絆や新たな地域の仕組みづくりを継続的に実践(緊急避難から暮らしに重点が移っていく時期から開始)する。		〇東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、公益社団法人シャンティ国際ボランティア会へ寄附。(4月11日定例公演Magic of MAGICにおいて実施) △なお、これらの義援金募集は弊協会が主催する公演事業において、継続的に行うこととしている。	03-3361-5221(事務局長ドルフィン:本名:加藤 明彦) http://www.jpma.net/
(特社)日本基礎建設協会	東京都中央区八丁堀4-14-7 第一中央ビル705 会長 陣内 孝雄	〇国からの応急対策や計画停電に伴う節電等協力要請に対し、傘下会員に周知徹底し全面的に協力した。		〇東日本大震災緊急支援のための義援金を日本赤十字社へ寄附。	03-3551-7018(山田 嘉基)

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本絹人織 織物工業会	東京都千代田区九段北 1-15-12 渡邊 隆夫	○東北・北関東地区に所在する当会会員組合を通じて被災状況の確認を実施し、逐一監督官庁である経済産業省に報告。また、東京電力福島原子力発電所の事故による風評被害等を確認し、経済産業省にこれの改善をお願いした。	○当会会員の福島産地(福島県川俣町)が東日本大震災で被災し、更に東京電力福島原子力発電所事故の影響で一部避難地域に指定された。このため川俣町に対し内閣府被災者生活支援本部より連絡のあった「企業等から地方自治体等への寄付の方法について」に基づき寄付を行った。	03-3262-4101 (小島)	
(特財)日本救急医 療財団	東京都文京区湯島3丁目 37番4号CIC湯島ビル 島崎 修次		○災害救護をはじめとする活動資金として、日本赤十字社へ毎年寄附を行っている。	03-3835-1199(高木)	
(特社)日本競走馬 協会	東京都港区麻布台1-2-1 河野 太郎		○日本赤十字社へ義援金100万円を寄附	03-3505-3445 (高宮)	
(特社)日本橋梁建 設協会	東京都港区西新橋1-6 -11 須賀 安生	○3月11日(地震発生直後)に「災害時即応体制ガイドライン(平成17年制定)」に基づき、「災害対策本部」を設置 ○緊急点検調査を実施 ※対象エリア:宮城県、岩手県、福島県、千葉県、茨城県、新潟県など ※点検橋梁数: 3,371橋 (4月19日現在) ※調査実施延べ人数:2,281人 (938パーティー) (4月19日現在) ○補修・復旧工事を実施 ※異常が認められた沓・伸縮装置・変位制限装置の復旧工事 ※応急橋対応(仮橋の設置で対応) (今後の要請に備え、仮橋については、更なる準備・手配を実施中) ○今後の復旧・復興に向け、各方面からの技術的な問い合わせ・相談事に対応できる体制を整えている。		03-3507-5225 (高見)	http://www.jasbc.or.jp/
(特財)日本吟剣詩 舞振興会	東京都港区虎ノ門1-15 -16 (海洋船舶ビル) 理事長 河田 和良	○東日本大震災復興を支援するための日本財団CANPANプロジェクト「東日本大震災支援基金」の募金を当会役員並びに関係者に呼びかけて寄付金を募っている。 ○5月5日に広島市文化交流会館で開催する平成23年度全国名流吟剣詩舞道大会の副タイトルに東日本大震災支援基金協賛を謳い、会場内外において募金活動を行った。	○公益財団法人日本財団へ義援金として、3月18日に115万円を、5月10日に1,300万円を寄附した。 △今後も集めた義援金を公益財団法人日本財団を通じて寄附する予定。	03-3502-1092 (矢萩 保三)	
(特社)日本金属プ レス工業協会	東京都港区芝公園3-5-8 晝田 眞三	○震災によって生産活動に支障が生じているプレス企業に対して本業界が一時的に生産を肩代わりするものづくり支援体制をホームページで広報	△東日本大震災緊急支援のための義援金を日本赤十字社へ寄附を行う。(5月中旬から実施予定)	03-3433-3730 (濱中)	
(特社)日本空気清 浄協会	東京都中央区日本橋浜 町2-7-5 山崎 省二		△「クリーンテクノロジー講座」(7月21日開催予定)の収益の一部を日本赤十字社へ寄附を行う。	03-3665-5591(武田)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本空調衛生工事業協会	東京都中央区新富2-8-1 会長 有馬 修一郎	○震災および電力需給ギャップに関する通達等の情報を会員に知らせると共に、協会ホームページ、機関誌に掲載し周知を図った。	△東日本大震災支援のため、協会として寄附するとともに、全国の会員、賛助員に対して募集を行い日本赤十字社へ寄附を行う予定(5月上旬)	03-3553-6431 (事務局長 高樋)	http://www.nikkuei.or.jp/
(特社)日本グライダークラブ	東京都港区新橋1-18-1 吉田 正	○東日本大震災緊急支援のための義援金・緊急支援物資の寄付を会員に呼びかけた。 ○会員からの義援金を募集し関係する、都、市、町(実際は東京都、栃木市、群馬県板倉町経由で日赤を通し最終的には被災者への義援金として寄付を行った。 ○東日本大震災の被災グライダークラブへの義援金は、会員が募集を行っている。 △震災地に於けるボランティア活動については、検討中である。		03-3591-7728 (東京事務所長 余田)	
(特財)日本グラウンドワーク協会	東京都中央区日本橋人形町3-7-3 NCCビル 辻井 達一	○震災直後から宮城県気仙沼市等に物資搬入や炊き出しを行っていたグラウンドワーク寒河江と気仙沼市を、当法人とグラウンドワークのネットワーク団体が協働活動や後方支援で応援することに合意し、当法人を震災復興支援対策本部、グラウンドワーク寒河江を前線基地とし、気仙沼市に現地詰め所を置くこととした(4月21日付けで本部設置要領決定)。その後、詰め所用地を同市本吉町津谷大沢区に確保し、仮設事務所の資金の目途が付き、現地採用職員を求めている。 ○当法人が参加する新宿区主催の「農山村ふれあい市場」(7/3開催)で、被災地を支援する趣旨から、「道の駅大谷海岸」で売っている気仙沼市特産の水産物(塩蔵わかめ等)を販売した。 ○被災者の生活再建を支援するため、 ①被災児童を夏休みに家庭で預かる取組(この取組は福島県相馬市などを対象に計画が先行) ②全国からのボランティアの派遣(7月下旬から実施) ③被災集落のコミュニティ再生支援活動(専門家を呼び、地域の方とのワークショップの開催など)等について実施または検討中。 ※これらに要する経費については、当法人及びグラウンドワーク活動団体が、行政や民間が募集する助成金等に応募するほか、募金活動を実施中である。		03-5645-8539 (高藤、中村、高橋)	http://www.groundwork.or.jp/
(特社)日本クラシック音楽事業協会	東京都品川区上大崎2-21-16-402 田中 珍彦	△楽器や音響機器を災害地の教育機関、吹奏楽団等に届けることを検討中 ※なお、各会員社により、チャリティーコンサートやハーモニカの寄贈が実施、検討されている。	△「心の復興音楽基金(仮称)」を設立し、中長期にわたる支援を行う予定	03-5718-7601 (善積 俊夫)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本クラフト デザイン協会	東京都渋谷区代々木1- 37-20 酪農会館404 相川 繁隆	<p>○全国で活動する会員の地の利を活かし、会員の作品による小さなチャリティー展を全国で開催する。</p> <p>○当協会の総会時(5月28日)に会員作品を持ち寄り家庭クラブ会館(東京都代々木)において”東日本大震災チャリティー展「とどけ」in 東京”を開催し、収益を義援金とする。</p> <p>○6月19日より一ヶ月間富山県高岡市で北陸地区の会員を中心にチャリティー展を開催し、収益の一部を義援金とする。</p> <p>○6月中旬、中部東海地区の会員を中心に名古屋のギャラリーでチャリティー展を開催。(予定)</p> <p>○4月24日～6月26日まで札幌芸術の森で「富山クラフトワークス2011 in Sapporo展」を後援し収益の一部を義援金とする。</p> <p>△5月17日～21日まで、東京オリエアートギャラリーで開催される「東日本大震災義援金チャリティーアート展」の開催を協力し収益の一部を義援金とする。</p>		03-3370-1324 (事務局長 川瀬 たつ子)	
(特社)日本クレジット協会	東京都中央区日本橋小 網町14-1 住生日本橋小網町ビル6 階 堀部 政男	<p>○災害対象地区の被災者から、クレジット取引に関わること返済及びクレジットカードの限度額等についてご相談やお問い合わせがあった場合、特別な配慮をもって対応するよう会員各社に要請(3月14日HP掲載)</p> <p>○クレジットの支払やクレジットカードの再発行などに関するクレジット会社のお問い合わせ窓口をHPに掲載(3月28日)。また、協会においても被災者の方々の専用相談窓口を設け、カードの紛失、支払、限度額等、クレジットに関するご相談やお問い合わせを受け付けている。</p>	○義援金として、1000万円を日本赤十字社を通じ寄附した。(3月30日)	03-5643-0011	http://www.j-credit.or.jp/
(特社)日本クレ ン協会	東京都江東区新木場1 -11-7 会長 鈴木 浩平		○東日本大震災緊急支援のため、協会職員有志から義援金を募り、4月20日に日本赤十字社に寄附	03-5569-1911 (総務部 名須川)	
(特社)日本経営士 会	東京都千代田区二番町 12-12 会長 佐藤 敬夫	○被災した中小企業に対して、経営コンサルタントの立場から、政府の緊急支援施策(融資制度、保証制度、雇用助成制度等)の活用促進の働きかけを行うよう、会員宛てに到達しています。	○日本経営士会として、東日本大震災緊急支援のための義援金を、日本赤十字社へ寄附しました。 ○各支部に対し、義援金を募り中立機関に寄附すように促進しています。(実行済みの支部と現在進行中の支部がある)	03-3239-0691 (専務理事 上田 隆一)	www.keieishikai.com

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本経済団体連合会	東京都千代田区大手町1-3-2 米倉 弘昌	<p>《組織的な対応》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東日本大震災対策本部の設置(3月14日) ○「震災復興特別委員会」の設立(3月24日) <p>《提言等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○3月16日 未曾有の震災からの早期復旧に向けた緊急アピール ○3月31日 震災復興に向けた緊急提言 <p>《被災者・被災地支援の取組み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「救援物資ホットライン便」による救援物資の提供 海ルート、空ルート、陸ルート、自衛隊ルートで救援物資を被災地にお届け ○災害ボランティアセンターへの支援 「災害ボランティア活動支援プロジェクト会議」に参加、「うるうるパック」(被災者が必要とする物資を一旦被災地外で集約し、各世帯に配付できるよう袋詰めて届ける救援物資)に協力 ○東北・関東地方の安全な農水産物・食品等の消費回復を通じた被災地支援 社員食堂や企業内での産直市(企業マルシェ)等での被災地応援フェアを実施いただくよう、会員の皆様方をお願い <p>《その他》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本会ホームページにおいて、電力使用抑制の要請や計画停電に関する情報の提供、復旧・復興支援情報等を提供している。(3月13日から実施)等 	<p>《義援金・支援金等の協力》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資金と物資の寄附を会員企業・団体をお願い 	03-6741-0154 (東日本大震災対策本部)	http://www.keidanren.or.jp/index.html
(特社)日本経済調査協議会	東京都港区南麻布5-2-32 前田 晃伸	<p>○2007年7月に「魚食をまもる水産業の戦略的な抜本改革を急げ」との提言を行い、2009年11月にシンポジウムを開催し「水産業改革高木委員会」が終了した。しかしながら、同委員会では今次震災の及ぼした水産業への甚大な被害に鑑み、水産業者、学識経験者等の旧メンバーを急遽招集し、「中長期的な観点から、流通を含めた水産業復興のための緊急提言」を作成したものである。陸前高田市出身の委員(大学教授)が提言書を執筆。(6月3日公表)</p>	<p>○東日本大震災で被災された方々の生活再建支援のための義援金を中央共同募金会に寄附(6月6日)</p>	03-3442-9400 (三室)	http://www.nikkeicho.or.jp/
(特社)日本警察犬協会	東京都台東区東上野4-13-7 倉田 寛之		<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金募集に特化した郵便口座を新設してホームページに掲載告知した。また、協会役員に対しては、郵便文書で義援金としての寄付を要請した。集められた義援金は、5月中旬から下旬ころに寄付を行う予定。</p>	03-5828-2521(安達)	http://policedog.or.jp/info2/note15.htm
(特社)日本軽種馬協会	東京都港区新橋4-5-4 河野 洋平	<p>○被災地の軽種馬農家への飼料を提供(3月30日から実施)</p> <p>△被災地の軽種馬の移動に係る輸送費等を支援</p>	<p>△日本赤十字社へ義援金を寄附</p>	03-5473-7091 (馬関連・岡崎生産育成対策部長、その他：柴田総務部長)	
(特社)日本計量振興協会	東京都新宿区納戸町25-1 飯塚 幸三		<p>△東日本大震災緊急支援のための義援金を会員団体に募集し、計量団体としてまとめ、日本赤十字社へ寄附を行うことを検討(4月理事会、5月総会にて審議承認後実施予定)</p>	03-3268-4920 (総務部部长 加藤 寛)	http://www.nikkeishin.or.jp

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本競輪選手会	東京都板橋区蓮根3-14-29 富原 忠夫		<p>○東日本大震災被災者に対し、(社)日本競輪選手会に所属する競輪選手から復興支援のための義援金及び水・食料・毛布などの救援物資を日本赤十字社等支援団体を通じて寄付(3月15日より実施)</p> <p>○東日本大震災復興支援のための募金を地元主要部にて街頭募集するとともに、競輪開催時には競輪場内募金箱への募金の呼びかけやチャリティイベントなどで義援金を募集し、日本赤十字社など支援団体を通じて寄付(3月18日より実施)</p>	03-5970-6700 (木曾)	http://keirin.jp/pc/dfw/portal/guest/info/shien2011/index.html
(特社)日本CATV技術協会	東京都新宿区新宿6-28-8 ラ・ベルティ新宿6階 理事長 安藤 彰	<p>○NHK及びJEITA(社)電子情報技術産業協会)と連携して、宮城県、岩手県の各地の避難所にテレビ受信機の設置工事を実施。初動として、平成23年3月24日から30日までの7日間、関東地方の会員社に要請して14クルー28名が参加。その後の避難所対策については、東北地方の会員社が対応中(14クルー対応)。</p> <p>○東日本大震災で被災した集合住宅や共同受信施設の管理者から被災状況の調査や技術相談に応じるための専用の電話を設置</p> <p>○被災したケーブルテレビ事業者の復旧・復興に向け、(社)日本ケーブルテレビ連盟と連携して、設備・機材・機器・工事の支援を実施中</p> <p>△津波で被災したCATV施設の実態把握のため調査を予定。岩手県沿岸部の約70施設については、NHKと連携し4月中に実施するため準備中(岩手県、宮城県の会員社11クルー予定)</p>	<p>○「東北地方太平洋沖地震の被災者への義援金のお願い」(平成23年3月16日)を当(社)日本CATV技術協会の全会員及び全役職員に依頼済み。当技術協会に義援金用口座を開設している。集まった義援金は、一旦6月末で締め切り、一般の被災者の方々へ日本赤十字社などの公的機関を経由してお届けする予定。</p>	03-5273-4671 (総務部長 馬場 博康)	http://www.catv.or.jp/
(特社)日本ケーブルテレビ連盟	東京都中央区京橋1-12-5 京橋YSビル4F 西條 温	<p>○東日本大震災で甚大な被害を受けた会員事業者向けを中心に生活支援物資及び業務用必要物資を会員各社の協力も得て調達・配送を実施し、一日も早い視聴者・ユーザーに対する公共メディアとしてのケーブルテレビのインフラ・ライフラインの復旧支援を実施している。</p> <p>○東京電力が実施する計画停電において視聴者・ユーザーが継続してサービスを受けられ、ライフラインを確保出来る為に、非常用電源の軽油の備蓄を実施</p> <p>○会員事業者のサービスエリア内にある避難所にケーブルテレビのサービスを無償で提供中</p> <p>○東日本大震災緊急支援の為に募金活動を3月15日よりHP・ケーブルテレビの番組などで呼びかけ募集中。集まった一般視聴者等からの募金は被災した自治体等に拠出予定</p> <p>○被災された方々を応援する「応援メッセージ募集のCM」を制作し、HP掲載及びケーブルテレビの番組で放送し、視聴者の皆様から簡単な動画・静止画の投稿を募集中</p>	<p>○東日本大震災緊急支援の為に義援金を3月15日より会員各社及び一般視聴者等から募集中。集まった義援金は被災した自治体(県及び市)及び甚大な被害を受けた会員事業者にライフライン復旧支援等の為に拠出予定(4月18日時点で合計184百万円となる。自治体向け110百万円、被災事業者向け74百万円で4月中には第1回目の支払を予定している。)</p>	03-3566-8200 (水野)	http://www.catv-icta.jp/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本劇団協 議会	東京都新宿区西新宿3- 12-20 芸能花伝舎3階 会長 西川 信廣		○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集している。 ○現在、570,873円が集まり、3月31日に300,649円(うち、『オトカ』公演中の募金箱70,649円)を第一弾として日本赤十字社に送金いたしました。今後も継続の予定。	03-3341-8151 (兼坂 久美子)	http://gekidankyo.blog59.fc2.com/blog-entry-3.html http://gekidankyo.blog59.fc2.com/blog-entry-6.html
(特社)日本下水道 協会	東京都千代田区内神田2- 10-12 内神田すいすいビル 倉田 薫	○震災地に設置された「下水道現地支援本部」に職員を派遣し、国及び公共団体と供に下水道施設の被災状況の取りまとめや、復旧支援の調整にあたるとともに、協会本部においては、地震発生直後に「対策本部」を設置し、24時間体制で連絡調整にあたった。		03-6206-0251 (佐藤 広二)	
(特社)日本下水道 処理施設管理業協 会	東京都中央区八丁堀3- 25-9 KSKビル西館2 階 金 俊和	○対策本部を事務局に設置、被災状況の確認を実施し、会員各社へ情報を発信 ○被災した会員会社への見舞金支払いと今年度の会費の減免(4/18 実施)	○東北地方太平洋沖地震緊急支援のため、協会より日本赤十字社へ寄附(4/15実施(50万円))	03-6228-3291 (常務理事 猪狩一 彦、業務部長 梅本一 雄)	http://www.gesui-kanrikyo.or.jp/contents/disaster_measures.html
(特財)日本健康開 発財団	東京都中央区日本橋蛸 殻町1-29-4 日本橋蛸殻 町東急ビル 菊田 薫		○東日本大震災緊急支援のため義援金100万円を日本赤十字社へ寄附(3月実施済)	03-3668-1261 (伊澤)	
(特財)日本健康文 化振興会	東京都杉並区阿佐谷南1- 14-1 小原 康正		○東日本大震災緊急支援のため、3月31日に当財団から義援金として100万円を日本赤十字社へ寄附した。	03-3316-1111(五宝)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本建設機械化協会	東京都港区芝公園3丁目5-8 会長 辻 靖三	<p>○国土交通省東北地方整備局との「災害時における東北地方整備局所管施設の災害応急対策業務に関する協定」に基づき、(社)日本建設機械化協会会長名で緊急通行を要する車両であることを証明し、資機材の現地への運搬の迅速化を図った。</p> <p>○防衛省陸上幕僚監部装備部施設課の依頼により、グラブルの保有業者、個数、規格等の調査を行い調達のための情報提供をした。</p> <p>○災害復旧・復興に必要となる水中ポンプ、自走式リサイクル機械、グラブプル、鉄筋切断機などの保有台数や所有者等の調査を行い、国土交通省へ情報提供した。</p> <p>○福島原発の現場で建設機械を使うことを前提に、電装関係、ICチップへの放射線の影響の有無について調査し必要な情報を国土交通省へ提供した。また、日本原子力研究開発機構の「建設重機の耐放射線性に関する検討会」に当協会担当部長2名、会員建機製造メーカー9名が出席して、対応について意見を述べた。</p> <p>○中部地方整備局が東日本大震災の災害復旧活動として、排水ポンプ車等の災害対策用機械を派遣し排水作業を行っている。中部地方整備局中部技術事務所から当支部との協定「広域災害等における災害対策用機械の運転支援に関する協定書」に基づく運転支援業務の要請があり、当支部の協力会員会社が災害対策用機械(中部技術事務所所管の排水ポンプ車、照明車等)の運転支援業務を行っている。(中部支部)</p> <p>△今後、出水期を迎えるに当たり、東北地方整備局管内の河川管理施設であるダム・堰、水門用ゲート設備について、点検と被災状況の調査のため調査チームを派遣する。(出水期前を想定:関西支部)</p> <p>△東日本大震災の支援活動として四国地方整備局が排水ポンプ車による排水作業を実施しているが、今後の実施について、当支部会員を派遣して同業務を支援することを検討中である。(四国支部)</p> <p>○中国地方整備局中国技術事務所より、支援活動中の排水ポンプ車、待機支援車等の災害対策用機械の移動のための運転員の補充要員確保の可能性について依頼があり、支部会員に対して意向調査を行い中国技術事務所へ情報提供した。(中国支部)</p> <p>○東北地方整備局施工企画課と排水機場や水門など機械設備の被災状況確認や点検方法について協議し、点検体制確保並びに緊急点検体制を作成し東北整備局へ協力支援(東北支部)</p> <p>○災害対策緊急応援協定に基づき、水陸両用ブルドーザの提供について東北地方整備局へ情報提供(待機中:東北支部)</p> <p>○国土交通省東北技術事務所が津波被災のため、災害対策協定に基づきローダを派遣しヘドロ除去など震災復興を開始(東北支部)</p> <p>○東北地方整備局の要請を受け、水没した仙台空港滑走路等の排水のため、排水ポンプ車3台、照明車2台を現地据付及び稼働のための支援をした。(東北支部)</p> <p>○河川用水門、排水機場等機械設備緊急点検作業車両に「緊急車両指定証」取得のための認定用書類を発行、被災現場への高速道路使用及び燃料確保の円滑化を図った(東北支部)</p> <p>○津波被災冠水地域の遺体捜索活動支援のため、当支部職員4名が排水ポンプ車、最適配備箇所調査を実施(東北支部)</p> <p>○災害対策緊急応援協定に基づき無償貸与提供のトラックローダーについて、東北地整災害対策本部に情報提供。災害対策本部で派遣先検討中(東北支部)</p> <p>○平成23年度建設機械施工技術検定試験の申込み受付期間を延長した。</p> <p>○政府の要請により、当協会として電気の使用削減目標を本部は昨年度比20%カット、施工技術総合研究所は25%カットとして節電に努めている。</p>	<p>△当協会が実施する各種の行事において義援金を募集し、日本赤十字社などに寄付を行う。</p> <p>△平成23年5月23日に開催を予定している支部総会時、義援金募集を実施し、募金を支援活動に寄付したい(東北支部)</p> <p>△東日本大震災支援のため、当支部総会時に義援金を募金し、日本赤十字社へ寄付を行う。(四国支部:6月7日)</p>	03-3433-1501 (両角)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本建設業 連合会	東京都中央区八丁堀2- 5-1 会長 野村 哲也	<p>○「震災時対応行動」を発動し、会員に応急危険度判定支援への対応準備(3月11日)</p> <p>○本部四委員長および専務理事を東北支部(仙台市)派遣して、被災地の状況把握とともに、東北支部での対応策を協議(3月17日)</p> <p>【東北支部の活動】</p> <p>○東北地方整備局および東北6県との災害協定に基づき、被災地域に救援物資として40種類以上の多種の生活用品および資機材を収集し、搬入</p> <p>○震災以降、10市7町2村の救援物資の要請に対し、123回出動(総額4億円余)。主な救援物資は以下のとおり。</p> <p>生活用品→飲み物:31,300本(3市1村)、食料・生活用品:トラック17台(3市1町)</p> <p>資機材→仮設トイレ・簡易トイレ:3,700個(4市2町1村)、仮設ハウス:279棟(4市2町)</p> <p>ブルーシート:15000枚(2市)、土嚢:23,300袋(1市2町)</p> <p>【北陸支部の活動】</p> <p>○北陸地方整備局との災害協定に基づき、被災地支援として、100個の仮設トイレを調達し、運搬(3月16,17日)</p> <p>○避難者に開放できる施設の調査(3月16日)</p>	<p>○東日本大震災緊急支援のため、義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附(総額:8億8700万円)</p>	03-3553-0701 (事務局長 吉田)	
(特財)日本建設情報 総合センター	東京都港区赤坂7-10-20 アカサカセブンスアヴェ ニュービル 理事長 門松 武	<p>○災害復旧支援ソフト(Photog-CAD)無償配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単に測量、設計・積算のできる災害復旧支援ソフトの無償配布 ・東北・関東地方の地方公共団体に35ライセンス分を配布(4月18日現在) ・岩手県・宮城県で災害査定支援を行う東京都職員を対象に、4月26日に講習会を実施 <p>○宮城県及び仙台市における災害査定の積算支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙台市積算システムの災害査定積算の環境整備のため、4月7日～8日、2名(延べ4名)派遣 ・同県・市を支援する地方公共団体に対して、無料提供積算ASPサービス(遠隔地から積算支援ができる)を4月19日より開始 <p>○積算システム操作習得支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮城県で災害査定申請のための設計書作成支援を行う東京都職員を対象に、4月26日に講習会を実施 <p>○建設副産物・建設発生土情報交換システムによる支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続契約の手続きができない状態になっているため、後契約によって両システムの継続利用を可能とした。 ・契約者でなくとも、両システムを無償利用することを可能とした。(対象:全国の市区町村) <p>○コリンズ・テクリスの検索利用の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災したための継続契約ができない地方公共団体に対して、当分の間手続きなしの利用を可能とした。 <p>○東日本大震災からの復旧に向けて、ベンダー各社が建設関連(CALS/EC)分野のソフトウェア・サービスなどを無償提供することを受け、JACICとつながりのある協力業者の支援策(アプリ無償貸し出し等)のリンク集を作成</p>		03-3584-2404 (瀬戸)	http://www.jacic.or.jp/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本建築家協会	東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館 会長 芦原太郎	<p>○宮城県の要請により仙台市泉区・青葉区・若林区で応急危険度判定を実施</p> <p>○千葉県の要請により旭市で応急危険度判定を実施</p> <p>○宮城県名取市の要請により被災RC公共建築物の調査を実施</p> <p>○宮城県の要請により亙理町で応急危険度判定を実施</p> <p>○長野県の要請により栄村で被災住宅相談と被災公共建築物の被災度調査を実施</p> <p>○宮城県の要請により仙台市で被災住宅相談を実施</p> <p>○宮城県の要請により名取市で罹災証明被害認定調査を実施</p> <p>○宮城県の要請により亙理町で被災住宅相談を実施</p> <p>○宮城県の要請により女川町で応急危険度判定を実施</p> <p>○長野県栄村の要請により罹災証明被害度調査を実施</p> <p>△宮城県の要請により岩沼市・山元町・南三陸町で被災住宅相談を予定</p> <p>△災害復興支援について特別委員会を設置して検討中</p>		03-3408-7125 (原田)	http://www.iaa.or.jp
(特社)日本建築構造技術者協会(JS CA)	東京都千代田区三番町 24番地 林三番町ビル 木原 碩美	<p>○宮城県(仙台市)、福島県、茨城県、千葉県及び新潟県において行政からの要請により「建築物応急危険度判定」の判定員として各地域のJSCA会員が参加</p> <p>○JSCA東北支部、県建築士事務所協会及び仙台構造事務所協会の3者により、民間建築物を対象として、建物所有者からの依頼に対し、被災建築物復旧再建相談を実施中(4月初旬)</p> <p>○岩手県において、県からの要請により、県建築士事務所協会とともに「住宅ホットライン」を立ち上げ、住宅の安全性確認等に対応(4月初旬)</p> <p>○東京都内の被災建築物所有者を対象として、JSCA東京に技術的な相談窓口を開設し、個別の相談に会員が対応(3月下旬)</p> <p>△今後とも、要請に応じて、被災した公共建築物や民間建築物の安全性確認のための調査等の実施に協力するとともに、現地における会員のみでは対応困難な場合に備え、東京をはじめ他地域のJSCA会員を応援派遣する体制を敷いている。</p>	<p>(参考)</p> <p>△行政等からの要請による被害調査活動等にかかる費用は、当協会の災害対策積立金を取崩して充当することとしているが、今後不足する場合は、災害対策活動にかかる支援金を会員から募集して対応する予定。</p>	03-3262-8498 (福島)	http://www.isca.or.jp/iscabbs2/InfoBbsDispC.php?Group=7&Category=1&Bbs=1&Item=3

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本建築士 事務所協会連合会	東京都中央区八丁堀2- 21-6 八丁堀NFビル6階 会長 三栖 邦博	<p>○都道府県の建築士事務所協会(以下、単位会という)を通じた被災建築物応急危険度判定活動の実施、建築相談窓口の設置、市町村等の行政への相談員の派遣等災害対策に関連する諸事業を積極的に行っている。</p> <p>○被災地の単位会の活動を支援するため、東日本大震災対策本部を設置</p> <p>○3月16日に、会長声明「東日本大震災への取り組みについて」で、震災の復旧と復興に必要な知識と技術を駆使して、その支援に努めていくことを表明した。</p> <p>○単位会同士の状況把握に役立てるため、ホームページで震災発生後の状況を逐次情報発信している。</p> <p>○今後、被災した建物に対し必要になるとされる技術者養成のため、「震災復旧のための震災建築物の被災度区分判定基準及び復旧技術指針講習会」講師養成講習会を、4月19日に財団法人日本建築防災協会と共同で実施した。</p> <p>○東日本大震災対策本部のメンバーが被災地の単位会(岩手県、宮城県、福島県、茨城県)を訪問し、現地の役員等と被災状況、単位会の取組状況、課題等について意見交換を行い、今後の支援策等の検討材料とした。</p>	<p>○被災地の単位会が災害対策活動を積極的に実施できるよう、4月1日に本会の北海道・東北ブロック協議会及び関東甲信越ブロック協議会を通じて関係単位会に600万円の義援金を寄附した。</p>	03-3552-1281 (前田)	http://www.nir.or.jp/list/news/2011/00264.html
(特財)日本建築設備・昇降機センター	東京都港区虎ノ門1-13-5 宮地 謙一	<p>△災害復興住宅融資の工事審査業務を受託予定</p> <p>△被災地へ住宅相談員を派遣準備中</p>		03-3591-2426 (増野)	
(特財)日本建築総合試験所	大阪府吹田市藤白台五丁目8番1号 辻 文三		<p>△東日本大震災緊急支援のための義援金として、日本赤十字社へ100万円の寄附を行う。(4月20日付)</p>	06-6872-0391 (山本)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)日本建築防災協会	東京都港区虎ノ門2-3-20 岡田 恒男	<p>○全国被災建築物応急危険度判定協議会事務局として、判定の実施事務を行うとともに、地震後実施されている応急危険度判定の実施状況等をホームページに逐次更新掲載している。(3月12日から実施)また、職員を国土交通省東北地方整備局に派遣し、宮城県、福島県等における応急危険度判定の実施方針等の調整把握を実施(3月12日～3月14日)</p> <p>△今回の地震により被災した建築物等の調査を公的機関等で実施する際に、調査費等の支援を行う予定(5月以降)</p> <p>△今回の地震前に耐震改修を実施していた建築物の地震後の被害・無被害状況を調査し、検証を行う予定(5月以降)</p> <p>△今回の津波で被災した地域の復興及び今後の津波対策の1つのツールとして、津波避難ビルの検討を行う予定(5月以降)</p> <p>○被災した建築物の復旧、復興のため、震災建築物の被災度区分判定・復旧技術者を養成するための講習会を、全国の建築士事務所協会と協力して実施する。(4月2日から逐次実施)</p> <p>○震災建築物の被災度区分判定・復旧技術者を養成するための講習会の講師を養成する講習会を、全国の建築士事務所協会と協力して実施(4月19日)</p> <p>△建築物の所有者・管理者等からの震災住宅・建築物の被災度区分判定及び復旧計画の相談、実施に資するため、建築士事務所協会と協力して被災度区分判定・復旧技術建築士事務所を都道府県別にホームページに掲載する予定(4月下旬以降)</p>		03-5512-6451 (高橋)	<p>応急危険度判定の実施状況等、震災建築物の被災度区分判定講習会の開催状況及び被災度区分判定・復旧技術事務所についてはホームページに掲載</p> <p>http://www.kenchiku-bosai.or.jp/</p>
(特社)日本港運協会	東京都港区新橋6-11-10 久保 昌三	<p>○「東北地方太平洋沖地震対策本部」を設置(3月12日)</p> <p>○被災港における会員事業者の被害状況調査を行った。</p> <p>○会員企業等からトラックを募り、三次にわたって(計14台)救援物資の輸送を行った(3月14日～4月6日)</p> <p>△被災事業者の損失資産に対し、「東日本大震災復興対策基金」により支援を行うべく準備を進めている。</p> <p>△被災港の荷役機器等が殆どすべて損傷或いは水没等により使用不能なため、これら機器等を現地に提供すべく準備を進めている。</p> <p>○被災事業者に対し港湾近代化促進協議会を通じて荷役機械の整備並びに荷捌き施設等の物流施設整備に対する助成の実施を決定した(4月18日)</p>	<p>○被災地域の港運事業者に2億円の災害支援金を贈った(4月14日)</p> <p>○上記の2億円の支援金とは別に、3月30日に「東日本大震災復興対策基金」を設置し、被災地域のより一層の復興支援に向けて、会員有志による寄付を募った(3月30日)</p>	03-3432-1050 (金子)	<p>http://www.ihta.or.jp/saigaitaisaku/html</p> <p>http://www.ihta.or.jp/saigaikikin.html</p>
(特社)日本公園緑地協会	東京都千代田区神田富山町10番地2 丸田 頼一	<p>○仙台市を中心に都市公園や緑地の被災状況の調査(3月18日から31日)を実施</p> <p>○引き続き、仙台市、東松山市、石巻市、岩内市、名取市の都市公園や緑地被災状況を調査(4月21日～23日実施予定)</p> <p>△今後、被災地における公共団体等のニーズを把握しつつ、みどりに関係する法人と連携して支援活動を行うことを検討中</p>		03-6328-3829 (溝本)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本航空技術協会	東京都大田区羽田空港1-6-6 今井 孝男	△当協会発行の航空工学図書につきまして、学校・図書館等からのご要望があればご支援する準備を進めている。(6月以降に実施する計画)		03-3747-7600 (総務部長 小柳)	
(特社)日本航空機操縦士協会	東京都港区西新橋1-18-14 大内 学	○東日本大震災被災者への支援のため義援金募集。(3月22日から実施)	△東日本大震災被災者支援のため義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。(6月末まで募集)	03-3501-0433 (事務局 田島)	http://www.iapa.or.jp
(特社)日本広告業協会	東京都中央区銀座7-4-17 電通銀座ビル 理事長 俣木 盾夫		○3月28日、東日本大震災復興支援のための義援金を100万円、日本赤十字社へ寄附した。	03-5568-0876 (河西 悟)	
(特財)日本鋼索交通協会	東京都台東区小島2-18-15 新御徒町妙見屋ビル3階 星野 寛		△東日本大震災緊急支援のため日本赤十字社へ義援金10万円を寄附(4月中に実施予定)	03-3866-3163 (阿部)	
(特社)日本交通計画協会	東京都文京区本郷3-2-3-1 谷川 和穂	○常時開設している「交通計画相談室」について、被災地域の地方公共団体からの相談は優先して受け付け、通常は窓口相談に限っているところ、現地への技術者派遣、復興整備計画の立案についても可能な範囲内で支援を行う予定(常時受付。5月より被災地域に対し本格的に広報の予定) ○復興整備計画立案の参考資料収集のため、仙台市及び近郊地域に技術者を派遣し、現況調査を実施した。(4月14日～15日実施) △復興整備計画立案の参考資料収集のための現地調査を、状況を勘案しながら他地域においても実施の予定(5月以降実施予定)	○都市交通計画の立案について協働作業で調査を行っている仙台市に対し義援金の寄附を行った。(4月14日実施)	03-3816-1791 (中田、石川)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)日本交通公社	東京都千代田区丸の内1-8-2 新倉 武一	<p>当財団の自主財源をもとに、以下の3項目に取り組む。</p> <p>○東北地区を対象に、観光関連施設の現状把握、観光客の動向、各地におけるイベントや情報提供等についての調査・とりまとめを行う。また、国民の旅行意欲に関する意識調査も実施する。(4月上旬より実施)</p> <p>○当財団がこれまでに調査等で深く関わってきた陸中海岸地域を対象に、観光復興に関する調査・検討を行い、提言をまとめる。(4月中旬より実施)</p> <p>△過去の震災復興における実践者への取材などをもとに、当財団の機関誌『観光文化』にて復興のあり方についての特集を組む。また、マーケット調査や業界関係者インタビュー等から得られた調査結果について、当財団主催の『観光基礎講座』(6月開催予定、被災された方は参加費免除及び当財団が交通費を負担)や『海外旅行動向シンポジウム』(7月開催予定)にて発表を行うとともに、海外に対しても情報提供を行う。さらに、毎年当財団にて調査・発行を行っている『旅行者動向』『マーケット・インサイト』においても、調査結果を踏まえた分析を行う。(5月から実施予定)</p>		03-5208-4734 (牧野 博明企画課長)	http://www.itb.or.jp/ (今後、シンポジウム等の情報提供や調査結果の公表を行う予定)
(特社)日本港湾協会	東京都港区赤坂3-3-5 会長 三村 明夫	<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集。HP・情報誌その他を通じて呼びかけ。</p> <p>○東北地方整備局と連携して震災被災地港湾管理者の技術者派遣要望を集約、発信することを提案し、被災地管理者に通知。</p> <p>○東北・北関東地区の港湾被災状況の現地踏査と復旧に向けての提案及び青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県からの要望の整理。</p>	○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄付を行う。	03-5549-9575 (花澤)	http://www.phaj.or.jp/whatnew/20110316.html
(特社)日本港湾タグ事業協会	神奈川県横浜市中区山下町1番地 小野 耕一		○全国の普通会員各社に東日本大地震支援のための見舞金を募集し、関係会社6社に対して見舞金を贈呈。(4月11日贈呈)	045-641-3552 (松林事務局長)	
(特財)日本語教育振興協会	東京都渋谷区代々木1-58-1 石山ビル2階 理事長 佐藤 次郎		△東日本大震災のため、日本語教育機関等から義援金を募集中(4月1日~5月10日)	03-5304-7815 (上月 敏信)	www.nisshinkyoo.org
(特社)日本工業倶楽部	東京都千代田区丸の内1-4-6 今井 敬		○東日本大震災緊急支援のための義援金を日本赤十字社へ寄附を行った。(3月22日)	03-3281-1711(大石)	http://www.kogvoclub.or.jp/
(特社)日本広報協会	東京都新宿区新宿1-15-9 会長 石原 信雄	<p>○自治体の皆さまの震災に関する情報交換・情報共有の場として、当協会ウェブサイトの「広報コミュニティ」内に「東北地方太平洋沖地震 特設ラウンジ」を開設(3月17日から実施)</p> <p>○月刊誌「広報」4月号で、「自治体広報に見る被災地からの報告」ほか災害関連情報の記事を掲載(4月19日発行)</p> <p>△全国広報広聴研究大会のテーマを、「災害と広報(仮称)」に変更(7月15日に富山県富山市で開催予定)</p>		03-5367-1701 (総務部・有泉)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)日本広報センター	東京都千代田区平河町 二丁目2番3号 二階堂 譲治	<p>○スポーツ界、エンターテインメント界などと連携し、被災地と日本に“元氣と希望”を取り戻し真の復興を目指すため、復興支援のための支援金や支援物資を管理・運営する。</p> <p>○被災地災害対策本部、地方自治体等を通じて、復興支援を行う。</p>		03-3265-4461 (担当 武藤)	http://www.info.or.jp/work/shienkin.html
(特社)日本紅卍字会	東京都中央区銀座5-9-12 会長 黒川 謙介		○日本紅卍字会は、東日本大震災への義援金として、200万円を日本赤十字社へ、横浜分会は100万円を中央共同募金会を通じ被災地に送りました。	03-3572-8243	
(特社)日本郷友連盟	東京都新宿区若葉一丁目21番地 会長 寺島泰三	△23.4.27(予定)陸・海・空自衛隊の災害派遣隊員に対する慰問品の提供	○23.3.25岩手、宮城、福島被災3県郷友会に30万円の見舞金送金 △6月下旬、各県郷友会に対する被災者支援募金により被災者義援金の寄附を予定している。	03-3353-2342 (事務局長 中村 弘)	http://www2.gol.com/users/golyu
(特財)日本語教育振興協会	東京都渋谷区代々木1-58-1 石山ビル2階 佐藤 次郎	<p>○東日本大震災のため、日本語教育機関の人的被害及び建物等被害の状況調査を実施(3月11日～継続中)</p> <p>○東日本大震災のため、日本語教育機関の学生の動向等調査を実施(3月16日～4月7日)</p> <p>○東日本大震災のため、日本語教育機関の学生の動向等調査を実施(4月18日～4月28日(継続中))</p> <p>○関係各省へ「東北地方太平洋沖地震に伴う留学生の特別措置について」要望(3月17日・18日)</p> <p>○在日25か国・地域大使館の大使等へ「東北地方太平洋沖地震による日本語教育機関の被災状況等について(連絡)(3月24日)</p> <p>○関係各省へ「東日本大震災による日本語教育機関留学生等への公的支援のお願い」要望(4月7日)</p>	○東日本大震災のため、日本語教育機関等から義援金を募集中(4月1日～5月10日)	03-5304-7815 (上戸)	http://www.nisshinkyo.org/
(特社)日本語教育学会	東京都千代田区西神田2-4-1 東方学会新館2階 会長 尾崎 明人	<p>○社団法人日本語教育学会Webサイト状での情報提供(外国語による支援情報一覧)(震災直後から)</p> <p>○日本学術会議からの協力学術研究団体宛「東日本大震災への学術としての対応についての意見募集」呼びかけに応じた意見提出(4月12日)</p> <p>△日本語を母語としない「情報弱者」に対する情報発信と受信の実態調査</p> <p>△被災外国人と日本人のコミュニケーション問題に関する実態調査</p> <p>△被災外国人への支援や活動の実態調査</p> <p>△在住外国人・留学生の不安感の実態調査</p>	○社団法人日本語教育学会役員・職員有志による募金(日本赤十字社に送金済み)	03-3262-4291 (大竹 和子)	http://www.nkg.or.jp/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)日本語教育 振興協会	東京都渋谷区代々木1- 58-1 石山ビル2階 佐藤 次郎	<p>○東日本大震災のため、日本語教育機関の人的被害及び建物等被害の状況調査を実施(3月11日～継続中)</p> <p>○東日本大震災のため、日本語教育機関の学生の動向等調査を実施(3月16日～4月7日)</p> <p>○東日本大震災のため、日本語教育機関の学生の動向等調査を実施(4月18日～4月28日(継続中))</p> <p>○関係各省へ「東北地方太平洋沖地震に伴う留学生の特別措置について」要望(3月17日・18日)</p> <p>○在日25か国・地域大使館の大使等へ「東北地方太平洋沖地震による日本語教育機関の被災状況等について(連絡)(3月24日)</p> <p>○関係各省へ「東日本大震災による日本語教育機関留学生等への公的支援のお願い」要望(4月7日)</p>	<p>○東日本大震災のため、日本語教育機関等から義援金を募集中(4月1日～5月10日)</p>	03-5304-7815 (上戸)	www.nisshinkyō.org
(特財)日本国際協 カシステム	東京都新宿区富久町10- 5新宿EASTビル 佐々木 高久	<p>○「被災地の学校に、世界の子供たちの絵を届ける」プロジェクト 当財団が復興支援事業等で関わった各国の子供達に絵やメッセージを書いてもらい、被災地の再開または再開準備を行っている学校等で受入可能な所へ届ける。(5月上旬頃までに絵を収集し、翻訳等を行った上で6月頃に第1便を被災地に届ける予定)</p>	<p>○東日本大震災緊急支援のために有志により義援金を募集し、ジャパン・プラネットフォーム及びあしなが育英会(東日本大地震・津波遺児)への寄付を行った(3月30日実施)</p>	03-5369-9516 (プロジェクト担当:桃井) 03-5369-6960 (総務課:高田)	http://www.jics.or.jp/soshiki/special/201104.html
(特財)日本国際協 力センター	東京都新宿区西新宿8- 14-24 松岡 和久	<p>○岩沼市災害ボランティアセンターに当センター東北支所スタッフ1名を派遣。同センターでは「事務局ボランティアスタッフ」として、主にボランティア活動希望者の受付、ボランティア派遣依頼者との連絡調整、マッチング等を担当(3月30日から実施)</p> <p>○東アジア青少年大交流(JENESYS)事業の協力団体であるNPO法人遠野山・里・暮らしネットワークからの要請に応じて、同法人の関係団体への物資支援を実施中。活動資金は、同事業関係者有志によるカンパ これまでに先方のニーズに応じた食材(カップ麺、野菜、卵、納豆等)を以下に届けた。5月も継続して実施予定 ①遠野市災害対策本部②宮城県東松島市内の避難所の炊き出しボランティアグループ③岩手県大槌町の避難所</p> <p>○滋賀県大津市の全国市町村国際文化研修所内(JIAM)に設置された東北地方太平洋沖地震多言語支援センターにボランティアを派遣。主な活動内容は4月4日まではJIAM内に設置された多言語支援センターにおける電話通訳。4月5日以降は在宅における電話転送を利用した在宅通訳ボランティア対応を行った。 4月20日現在延べ76人日(中国語21人日、英語40人日、スペイン語15人日)の通訳ボランティアに対応した。</p> <p>○当センターでボランティア休暇制度(無給休暇扱い)を設立。この制度を利用して2名のスタッフが中野区の中野ボランティアセンターを通して宮城県亘理町に派遣された。</p> <p>○茨城県災害多言語支援センター及び群馬県国際課よりの震災関連の翻訳(10件、9ヶ国語)を無償で行った。(3月16日から実施)</p> <p>○JICEで作成したJICETシャツ1,411枚を、特定非営利活動法人日本ユニバーサルデザイン研究機構を通じて、被災地に送付した。</p>	<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、社会福祉法人中央共同募金会(赤い羽根)に寄附した。</p>	03-5925-7172(菊池)	http://sv2.jice.org/news/2011/04/jice-2.htm

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL	
		活動	寄附			
(特社)日本国土調査測量協会	東京都千代田区麹町2-2-31 麹町サンライズビル9階 会長職務代行 那須 充			△東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、寄附を行う。(5月末実施を予定。)	03-3239-3867 (林)	
(特財)日本穀物検定協会	東京都中央区日本橋兜町15-6 製粉会館3階 山本 徹	△福島原発事故による放射性物質が拡散している中、食の安全の確保に係る検査機関としての責務を果たすため、第一段階のモニタリング検査に使用するシンチレーションサーベイメーターを導入するとともに、4月1日に放射能測定室を設置し、ゲルマニウム半導体分析装置を発注。今後、放射能検査を実施。	○会員に対し東日本大震災緊急支援のための義援金を募集中であり、日本赤十字社へ寄附する予定	03-3668-0911 (総務課長 入江)	http://www.kokken.or.jp/	
(特社)日本ゴルフトーナメント振興協会	東京都港区赤坂2-15-16 赤坂ふく源ビル5F 理事長 日枝 久			○東日本大震災支援のため義援金として(社)日本ゴルフトーナメント振興協会より金3百万円を日本赤十字社に寄付をした。(平成23年4月14日)	03-3585-7741 (事務局長 山田 広道)	http://www.golf-gtpa.or.jp
(特社)日本ゴルフ用品協会	東京都千代田区外神田6-11-11 神田小林ビル 水野 正人			○東日本大震災緊急支援のための義援金を日本赤十字社へ寄附(3月25日振り込)	03-3832-8589 (中村)	http://www.igga.or.jp/
(特社)日本コントラクトブリッジ連盟	東京都新宿区四谷一丁目13番地 虎ノ門実業会館四谷ビル 会長 細田 博之	○子供の娯楽用に在庫のトランプ1000個(約20万円相当)を寄附	○日本赤十字社に義援金1000万円を寄附。うち300万円は積み立てたチャリティ基金から、700万円は一般会計から支出した。 △交流のある韓国、台湾のプレイヤからの義援金をプール中。今後チャリティゲームなど義援金募集の大会を計画し、国内の公認ブリッジクラブからの義援金とまとめて寄附を行う予定	03-3357-3741 (事務局長 大政 哲人)		
(特財)日本サイクリング協会	東京都港区赤坂1-9-3 会長 谷垣 禎一	○東日本大震災緊急支援のための募金寄附を、HP・情報誌その他呼びかけで募集(3月22日から実施) △寄贈された自転車を、県協会を通じて、震災地の避難所に寄附する。(7月中旬から開始)	○被災した県協会に寄附を行う。(5月中旬から実施)	03-3583-5628 (石井)	http://www.j-cvcling.org	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)日本サイクルスポーツセンター	東京都港区赤坂1-9-3 会長 阿部 毅一郎		<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集するとともに、財団・財団役職員・共済会・職員組合・テナント社員からの義援金も加算して、合計10万円をSBS静岡新聞・静岡放送を通じて寄附。(3月19日～3月21日開催の春のサイクルカーニバルにおいて実施)</p> <p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集するとともに、財団役職員からの義援金も加算して、合計3万6千円をSBS静岡新聞・静岡放送を通じて寄附。(3月27日～3月28日開催のサイクリングジャムにおいて実施)</p>	0558-79-0006 (土屋)	
(特社)日本サインデザイン協会	東京都文京区本郷3-25-11 植木ビル2F 会長 横田 保生	<p>○全国全会員に対し、電話、メールにて、本人・自宅・会社などの被害状況確認(3月14日～実施)</p> <p>○震災に関連する情報コミュニケーション用に、会員が自由に書き込める掲示板を開設(3月14日) http://signdesign.bbs.fc2.com/</p> <p>○理事会にて「東北地方太平洋沖地震で被害を受けたサインデザイン関係者を支援」するプロジェクトを発足(3月18日)</p> <p>○SDAができる支援とは何かを議論。プロジェクトの推進アイテムを募ると共に、会員に一口5,000円以上の支援金募集を開始(3月23日)</p> <p>○プロジェクト委員3名が現地状況を調査(4月8・9日)</p> <p>○被災者に罹災見舞金20,000円+支援金80,000円を支弁決議(4月10日)</p> <p>△SDAができるプロジェクト 1、ハートポスターデザイン 2、仮設情報ポール 3、仕事のマッチングネットワーク 4、復興支援に関する情報計画の企画書(3ヶ月以内)</p>		03-3818-8537 (齊藤)	
(特社)日本サウナ・スパ協会	東京都千代田区九段南4-8-30アルス市ヶ谷907 中野 憲一	<p>○会員加盟店のフロントに東日本大震災義援金箱を設置し義援金を受け付け、日本赤十字社へ寄付を行う。(3月14日から9月中まで実施中)</p> <p>○被災地住民の衛生の確保とエコノミー症候群の緩和のため日本初の薪ストーブによるテントサウナを設置、積まれた石に水を掛けロウリュで蒸気を発生させる発汗システムの入浴サービスを実施中です。(宮城県牡鹿郡女川町避難所)</p> <p>○加盟会員(神戸サウナ&スパ)による数カ所の被災避難所でのマッサージサービスをおこないました。(宮城県仙台市並びに石巻市)</p> <p>○被災地住民の衛生の確保するため加盟会員(サイエンス(株))の技術で本格的浴場「石巻・希望の湯」をつくり入浴サービスを実施中です。(宮城県石巻市)</p> <p>○東京都調布市の味の素スタジアムに避難している被災者の衛生を確保するため加盟会員の温浴施設(深大寺温泉ゆかり)に招待し入浴サービスを行いました。(東京都調布市)</p> <p>△東京都内の加盟会員が無料入浴サービスの受け入れを都に協力の申し入れを行っています。</p>		03-5275-1541(若林 幹夫)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本作業船協会	東京都中央区八重洲2-9-7 石興ビル 武井 俊文	<p>○災害復旧に必要な作業船の情報を国土交通省に提供(3月14日から実施)</p> <p>○協会会員会社等に対して、東日本大震災緊急支援のための義援金の申し込みを協会ホームページ上に掲載した。(3月16日から実施)</p> <p>○近畿地方整備局及び関東地方整備局の国有作業船を被災地へ回航する場合の船体強度等の技術相談(3月18日に実施)</p> <p>○被災作業船の状況調査及び被災作業船の明細の証明方法の手順について、国土交通省に提案(3月25日から実施)</p> <p>○原発事故における汚染水処理のための作業船情報を国土交通省に提供(3月29日に実施)</p> <p>○国有作業船の損傷等の現地調査(4月18日から実施)</p> <p>△協会会員会社等に対して、東日本大震災緊急支援のための義援金の申し込みを機関誌「作業船」に掲載予定(4月25日に実施予定)</p>	<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金の申し込みを協会ホームページ上に掲載。(3月16日から実施)</p> <p>△東日本大震災緊急支援のための義援金の申し込みを機関誌「作業船」に掲載予定。(4月25日に実施予定)</p>	03-3271-5618 (野村 剛専務理事)	http://www.s-iwa.or.jp
(特社)日本皐月協会	東京都台東区池之端二丁目6番11号 ピレッタ池之端206号室 会長 國見 和男		○義援金として、4月4日に日本赤十字社へ10万円寄附した。	03-3821-8430 (松崎 真知子)	
(特社)日本作曲家協会	東京都港区六本木3-4-7 会長 服部 克久	<p>△東日本大震災復興支援のコンサートを開催する。また、大船渡市出身の新沼謙治氏ほか出演歌手とともに会場で募金活動を実施する。(平成23年10月3日実施)</p> <p>△作曲家がそれぞれチャリティコンサートを行い、そこで集まった義援金を当協会ですべて寄附する予定</p>	△理事会で集めた義援金100万円及び総会で集めた義援金4万3千円を日本赤十字社を通じて寄附する予定	03-3585-4970 (小澤)	
(特社)日本山岳ガイド協会	東京都新宿区三栄町25番地堀木ビル5階 会長 谷垣 禎一	<p>○特定非営利活動法人災害人道医療支援会(HuMA)が宮城県南三陸町で展開している被災地における人道医療支援活動に対して、医師、看護師チームの活動が円滑に、かつ安全に進捗するよう支援。3月20日に着任したJMGA第1次隊を4月30日まで、HuMAの活動に歩調を合せ、被災地医療のサポートを継続。具体的には、医療活動を行うにあたり必要な施設の設営整備と安全管理、物流の支援、医師看護師への生活支援・身辺保護・食事等の配膳、新たな医療地域が発生する場合の調査活動等々。(3月20日より実施)</p> <p>△震災で被災した子供たちを白馬、上高地、尾瀬などに招待し、社団法人日本山岳ガイド協会認定ガイドの指導のもと、登山や自然観察、冒険家による講演会、「ふれあおう！自然体験キャンプ」など複数の自然ふれあいプログラムの体験のひとつを過ごしていただく催しを7~8月に計画している。</p> <p>△東北を活動拠点とするガイドを中心に、「東北、ヤマノチカラ！」をスローガンに東北の山に出かけるキャンペーンを展開、東北地域の活性化、側面的支援を目的に、観光業界などに働きかけを行う。(5月から10月まで)</p>	○義援金を会員ほか広く募集し、宮城県南三陸町で医療支援活動を展開している特定非営利活動法人災害人道医療支援会へ寄附を行う。(3月18日より実施)	03-3358-9806(手塚)	http://www.ifmga.com/index.html

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本産業衛生学会	東京都新宿区新宿1-29-8 理事長 大前 和幸	<p>○学会HPによる情報発信を行っている。(平成23年3月19日から実施)</p> <p>○産業歯科保健部会HPに災害後の口腔保健についての情報を掲載している。(平成24年4月5日から実施)</p> <p>△産業衛生学雑誌を活用し、情報の整理と発信をはかる。 1.「災害時における産業保健」に関する論文(総説、原著、調査報告)を募集し、特集号を発刊する。 2.「災害時における産業保健」に関する連載を開始する。</p> <p>○学会員を中心としたフィットテスト研究会による「復興現場作業者のための呼吸用保護具(防護具)の適正使用に関する緊急特別セミナー」の開催を後援した(平成23年3月19日)</p> <p>△緊急時や防災のマニュアル作成に関して就労女性および育児や介護など多くの家庭役割を担っている男女労働者に対しての必要な配慮について提言する。</p> <p>○被災地とされていないところでの配慮について事例や情報を収集、平成23年5月19日の研究会で検討。</p> <p>△地震による大学研究室や企業の研究室の被害状況の情報を整理し、今後の耐震対策に役立つ情報を提示する。</p> <p>△被災地区の企業で働く人の健康支援をしている看護職のための相談窓口を看護部ホームページに設置する。</p> <p>△被災者への中期、長期的 面談・保健指導技術の修得へ向けての情報発信</p> <p>△大規模災害に見合う産業看護対応マニュアルの作成、見直し</p> <p>○第84回日本産業衛生学会(平成23年5月18-20日、東京)において震災関連の緊急セッションを開催</p> <p>△放射線による健康リスク評価に関する小委員会を許容濃度委員会内に設置する。</p> <p>○外資系発電機メーカーから、避難区域内外での作業についての問い合わせに対し、放射線管理の方法を指導した。</p>		03-3356-1536 (近藤)	
(特社)日本産業カウンセラー協会	東京都港区新橋6-17-17 安藤 一重	<p>○東日本大震災被災者とその家族及び関係者に対し、支援活動の一つとして「こころの無料電話相談」を4月1日より立ち上げ6ヶ月間の予定で午後1時から午後8時まで無休で対応している。</p> <p>○全国の支部会員による各避難所への訪問による心のケアを開始している。</p> <p>○被災地で活動するボランティアのために、防塵マスク、手袋、雨合羽を購入し仙台支部に配送</p> <p>○5月中旬より東北3県を中心に、巡回カウンセリングを開始</p>	○協会からの義援金として岩手県、宮城県、福島県へ各200万円、茨城県、千葉県に各100万円を寄附	03-3438-4568 (総務部 甲斐 信一)	http://www.counselor.or.jp/news/110331.html
(特財)日本産業協会	東京都千代田区内神田2-11-1 会長 歌田 勝弘	<p>○消費生活アドバイザー称号の有効期限が平成23年度末となっている被災地の方に対して、有効期限の更新を猶予する措置を実施(平成23年3月24日に公表)</p> <p>△今年の消費生活アドバイザー試験は第1次試験が10月、第2次試験を11月に予定しているが、今後の事態の推移を踏まえ、必要な対応策を検討</p>		03-3256-7731 (川口)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本産業広告協会	東京都中央区日本橋蛸 殻町2-11-3 澤部 肇				http://www.iaai.or.jp
(特社)日本産業退職者協会	東京都中央区築地2- 15-14 会長 山本 恵朗	△社会福祉施設入居者を招待し毎年開催しているチャリティコンサートを、本年は東日本大震災避難者を招待して開催することを検討中(時期・場所未定) △「竹とんぼ同好会」による児童訪問を検討中		○東日本大震災緊急支援のための義援金を理事会で募集し、当協会と関係ある福島県双葉町に寄附(4月13日) △当協会情報提供誌の頒布収入の1%と今後の募金について寄附を行う予定	03-3544-5038 (森)
(特財)日本産業デザイン振興会	東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー 5F 飯塚 和憲	○2011年度における当会の事業方針を、以下3項を中心としデザインを通して日本の復興に寄与することを公言した。(4月1日) * 日本のデザイン振興を推進する立場から、被災地域のデザイナー・企業への支援を行う。また復興を支援しようとするデザイナーの活動に積極的に協力する。 * デザインを通じて被災地域の産業復興、再生への支援と創業に向けた活動を担う。 * 新たな常識、社会価値、そして個々人に芽生えた従来とは異なる価値観を探求し、これを具現化しようとするデザインを推進する。 ○経済産業省や複数のデザイン関連組織と連携し、復興支援を目的に「Design for Japan ~日本再生を推進するオープン・デザイン・プラットフォーム(仮称)」を4月初旬に発足し当会が事務局を担う。今後様々な活動を展開することを検討中。 ○当会が展開する復興支援情報をウェブサイトで公開を開始した。(4月1日) △当会の主催事業である「グッドデザイン賞」の応募にあたり、東北6県及び茨城県からの応募費用等を免除することを検討中。 △その他、上述の公言を実践するため、研究会の発足や、シンポジウム、展示会などの開催を検討中。			http://www.iidpo.or.jp/ http://www.iidpo.or.jp/activity/fukkou.html
(特財)日本産業廃棄物処理振興センター	東京都中央区日本橋堀 留町2-8-4 理事長 岡澤 和好	○被災地の講習会受講者に対する受講日振替等の配慮 ○震災対応ネットワーク(国立環境研究所、学会、関係団体等専門機関のネットワーク)への参画 △被災地に係る電子 manifests システム利用料金の減額を検討 △災害廃棄物の処理状況に関する調査の検討 △被災地の医療廃棄物の適正処理支援活動 ・職員を現地に派遣し、医療機関への医療廃棄物保管容器及び処理マニュアルの配布 ・災害廃棄物一時保管場所における医療廃棄物の保管状況の調査		○東日本大震災義援金として日本赤十字社へ100万円を寄附(3月28日実施)	03-3668-6511 (総務部 山岡) http://www.iwnet.or.jp
(特社)日本塩工業会	東京都港区六本木7-15- 14 塩業ビル9F 相澤 英之	○国内製塩業者に対し、地方自治体等から食用塩提供の要請があった場合の迅速な対応についての要請文書を発信			03-3402-6411(魚住)

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本歯科医師会	東京都千代田区九段北4-1-20 大久保 満男	<p>○警察庁からの出動要請を受けて、3月15日(3月14日出発)から岩手県、宮城県、3月17日(3月16日出発)から福島県において身元確認を行っている。なお福島県における身元確認は原子力発電所問題により、現在は国会からの派遣ではなく、自衛隊所属の歯科医師がその任にあたっている。ただし今後の事態収束等の状況によって改めて派遣を行う予定</p> <p>○3月24日、緊急支援物資を岩手県歯科医師会、宮城県歯科医師会、福島県(いわき市総合保健福祉センター、郡山市保健所、福島市保健福祉センター)にトラック5台で搬送</p> <p>○3月30日、緊急支援物資を岩手県歯科医師会、宮城県歯科医師会、福島県(いわき市総合保健福祉センター、郡山市保健所、福島市保健福祉センター)にトラック3台で搬送</p> <p>○3月31日、千葉県より岩手県に向けて移動診療車を派遣(歯科医師、歯科衛生士、運転士同乗、~4月14日まで)</p> <p>○4月1日、広島県より宮城県に向け、移動診療車派遣(運転士同乗、宮城県が必要とする期間派遣)</p> <p>○4月1日、緊急医薬品を、岩手県歯科医師会、宮城県歯科医師会、福島県(いわき市総合保健福祉センター、郡山市保健所、福島市保健福祉センター)に配送</p> <p>○4月3日、愛知県より岩手県に向けて、移動診療車派遣(歯科医師、歯科衛生士、運転士同乗)</p> <p>○4月3日、栃木県より宮城県に向けて、移動診療車派遣(歯科医師、歯科衛生士同乗)</p> <p>○4月7日、徳島県より宮城県に向けて、移動診療車派遣(4月8日に歯科医師、歯科衛生士を現地に派遣)</p> <p>○厚生労働省の協力により、4月10日から被災地における巡回歯科診療、口腔ケアのため、歯科医師、歯科衛生士派遣(現在宮城県入り中)</p> <p>○4月14日、岐阜県より岩手県に向けて、移動診療車派遣(運転士、運転助手1名同乗)</p> <p>△岩手県、福島県より歯科医師、歯科衛生士の派遣申請があり現在調整中</p> <p>△来週(4月28日予定)、緊急支援物資の追加搬送として、宮城県歯科医師会、福島県歯科医師会にトラック2台で搬送予定</p>	<p>△3月16日から東北地方太平洋沖地震義援金を募集しているが、寄付先については募金活動終了後に検討</p>	<p>総括:03-3262-1142 (高橋) 支援物資:03-3262-9215(保険医療課 鈴木) 歯科医療従事者派遣、診療車:03-3262-9211(地域保健課 伊丹) 身元確認派遣:03-3262-9321(庶務課 沼上)</p>	<p>http://www.ida.or.jp/</p> <p>http://www.ida.or.jp/earthquake110311/index.html</p>
(特社)日本歯科衛生士会	東京都新宿区大久保2-11-19 金澤 紀子	<p>○被災地住民の口腔ケア対策として、口腔ボランティアの名簿登録を行い、被災地の行政(県)から厚生労働省歯科保健課を通して日本歯科医師会に要請があり、本会に連絡がされる。本会は日本歯科医師会と打合せを行い、登録者と個別に相談のうえ、日本歯科医師会及び都道府県歯科医師会の支援チームの一員として派遣している。</p> <p>○東北関東大震災緊急支援のための募金寄付をHP、歯科衛生士だよりに掲載し、また、各都道府県歯科衛生士会に文書で協力を呼びかけている。(募集期間 4月1日~6月30日)</p> <p>○岩手、宮城、福島各県歯科衛生士会が被災住民への歯科医療支援活動を行っていることから、この支援のための活動資金を交付した。</p> <p>○ホームページ、歯科衛生士だより「避難所等の口腔ケアの実際、ポイント」等について掲載し、情報提供している。</p>	<p>○東北関東大震災緊急支援のための義援金を募集し、岩手、宮城、福島各県歯科衛生士会を通じて各行政(県)に寄付を行う。(4月1日~6月30日)</p>	<p>03-3209-8020 (青木 彰男)</p>	<p>http://www.idha.or.jp</p>
(特社)日本歯科技工士会	東京都新宿区市谷左内町21-5 古橋 博美	<p>○被災地住民の口腔衛生を守るため、歯科医師会、歯科衛生士会と協力して歯科技工士を派遣し、入れ歯の紛失・不具合による口腔衛生の悪化の防止に対応している。</p>		<p>03-3267-8681 (事務局長 浜島 幸雄)</p>	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本歯科先端技術研究所	東京都港区芝1-8-25 芝TKビル4F 会長 築瀬 武史	○平成23年3月13日(土)より20日(土)まで、会長が宮城県岩沼市にて身元確認作業に従事	△東日本大震災緊急支援のための義援金を会員より募集し、宮城県岩沼市へ寄附を行う。(3月28日に全会員へ一斉メール配信及び書面での通知)	03-5476-2004(事務局)	
(特社)日本資金決済業協会	東京都千代田区神田小川町2-8 福原 紀彦	○協会会員である前払式支払手段発行者及び資金移動業者に対して、被災者からの前払式支払手段及び資金移動業の利用等について、被災者の相談内容や被災状況に配慮して対応するよう要請した。(4月15日実施) ○東日本大震災の被災者向けの相談窓口を設置し相談に応じている。(4月15日から実施)	○東日本大震災緊急支援のための義援金として日本赤十字社へ寄附(4月19日実施)	03-3219-0601(永澤)	http://www.s-kessai.jp/news/news07/index.php?Kijj_List
(特社)日本支承協会	東京都中央区京橋1-1-1 住吉 幸彦	○直ちに地震対策本部を設置。橋梁支承の損傷状況調査、点検、復旧に協力出来る旨を関係先に通知。現在東日本高速道路会社関東支社及び東北支社の依頼により、支承損傷状況の調査を実施		03-3272-4476 (比志島)	
(特社)日本地すべり学会	東京都港区新橋5-30-7 丸井 英明	○斜面災害の現地調査(随時) ○東日本大震災の緊急報告会(4月22日) △東日本大震災で被災された会員の会費免除を検討中(予定)		03-3432-1878 (学会事務局 鈴木英則)	http://japan.landslide-soc.org/
(特財)日本視聴覚教育協会	東京都港区虎ノ門1-19-5 虎ノ門一丁目森ビル 井上 孝美		○寄附事業を実施。 金額:90万円(役員及び会員等関係者からの募金) 寄附先:日本赤十字社	03-3591-2186 (下川 雅人)	http://www.javea.or.jp
(特財)日本自転車競技会	神奈川県横浜市西区桜木町6-31 小林 盾夫	○本年4月の委託料収入のうち10%を震災支援金として寄付する予定	○東日本大震災にかかる災害支援として、(財)日本自転車競技会 に設置される全国自転車競技会労働組合協議会(組合員、役職員)より福島県いわき市に義援金を寄付(4月11日)	045-664-1792 (相田)	http://keirin.jp/pc/dfw/portal/guest/info/shien2011/index.html
(特財)日本自転車普及協会	東京都港区赤坂1-9-3 会長 阿部 毅一郎	△被災地の本会バイロロジー地方組織を通じての復興支援を検討中	○東日本大震災支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。(5月の自転車月間に実施するイベントで実施)	03-3585-7578 (大島)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本児童文学者協会	東京都新宿区神楽坂6-38中島ビル502 会長 那須 正幹	<p>○協会の編集図書の一部を、テープ録音や放送に無償で使えるよう提供する。これは、被災地の子どものために、お話をテープに録音して届けているボランティア団体からの求めがあり発案されたことだが、こうした場合、著者の許諾が必要。ただ、そうした団体が個々の著者から許諾を得ることは事実上困難であり、今回の事態に即応できない。そこで、協会では、編集図書の一部を、著者と出版社の了解を得た上で、被災地の子どものための利用に限定して、テープへの録音、ラジオ放送での使用などについて、無償で提供する。対象とするのは、とりあえず「ほんとうに心があつたくなる話」「ごちそう大集合」「動物だいすき！」の3シリーズ。状況によっては、本自体も提供する。</p> <p>△被災地の学校図書館の再建プロジェクトへの協力。協会が団体として加盟している「学校図書館整備推進会議」では、被災地の学校図書館再建のためのプロジェクトを立ち上げ、活動を開始しようとしている。これに協会としても参加協力し、応分の拠出をしたい。</p>		03-3268-0691 (藤田)	
(特社)日本視能訓練士協会	東京都千代田区鍛冶町1-8-5 新神田ビル2階 会長 臼井 千恵	<p>○協会HPに「東日本大震災関連情報」として下記を掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・義援金協力のお願 ・視能訓練士のボランティア募集 ・被災された会員の皆様の年会費免除に関するお知らせ ・厚生労働省からのお知らせ (被災された国家試験合格者に対する免許申請手続きに関して) (東日本大震災に関する『生活支援ニュース』について) (医療関係職種の受験資格及び学校養成所の運営等に係る取扱いについて) ・日本コンタクトレンズ学会からのお知らせ(コンタクトレンズを使用されている被災者の皆様へ) ・日本眼科医会からのお知らせ(眼の放射能汚染についての情報) <p>○眼科分野の災害対策会議(日本眼科医会・日本眼科学会立ち上げ)に参加</p> <p>○2011年度事業に震災支援活動事業を加え、ボランティア派遣等に必要の予算を計上</p> <p>○岩手、宮城、福島県の3県の視能訓練士会(任意団体)に対して、被災状況調査を実施</p> <p>○岩手、宮城の2県の視能訓練士会(任意団体)に対して、被災地での眼科診療に於けるボランティア活動調査を実施</p>	<p>○協会から義援金を日本赤十字社へ寄附(3月17日)</p> <p>○3月20日・21日開催 生涯教育制度 新人教育プログラム講義日程にて義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附(3月31日)</p>	03-5209-5251 (協会事務局事務局長)	http://www.jaco.or.jp
(特社)日本自動車機械工具協会	東京都新宿区新宿7-23-5 中谷 良平	<p>△6月17日から19日に東京ビッグサイトにおいて開催するオートサービスショーの会場に、東日本大震災緊急支援のための募金箱を設置して義援金の募金を呼びかけるとともに、ショーの入場料金の一部を合わせて寄付する。</p> <p>△社団法人日本自動車整備振興会連合会に対し「東日本大震災自動車整備義援金」を贈る。</p>	<p>△東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行う予定。(6月中旬から実施)</p> <p>△社団法人日本自動車整備振興会連合会は被災した傘下地方振興会の会員の復興支援の一助とする。</p>	03-3203-5131 (薄井)	
(特財)日本自動車査定協会	東京都港区西新橋2-34-4 横田捷宏		△東日本大震災緊急支援のための義援金を日本赤十字社へ寄附を行う。(4月下旬予定)	03-5776-0901 (三浦)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本自動車整備振興会連合会	東京都港区六本木6丁目10番1号 森タワー17階 坪内 協致	<p>本法人は、日本自動車整備商工組合連合会とともに、以下について実施。</p> <p>○被災した整備事業者等に対する復興支援のための義援金制度を創設し、募集を実施。(3月22日から開始)</p> <p>○被災地の振興会から要望のあった救援物資について、調達し提供</p> <p>○国土交通省が被災地での開設を始めた「移動自動車相談所」に、ボランティアによる整備士の参加を募り自動車の無料点検、技術相談等を実施。(4月7日から実施)</p> <p>○3月20日に実施した自動車整備技能登録学科試験について被災の影響で受験できなかった方に対し、追加試験を実施(6月19日、7月24日)。</p> <p>○自動車整備近代化資金制度において、返済据置き期間特例の適用及び貸出期間延長の特例を措置</p> <p>○FAINES会員について、被災によりFAINESシステムが利用できない事業者に対して、4月以降サービス料金免除を実施</p> <p>△整備工場として復旧するのに必要な、工具セット、リジトラック、ジャッキ、洗車機等が不足しているが、新品の品薄・値上がりを踏まえ、今後、全国振興会の協力を得て、中古品の収集や格安販売業者の斡旋等を行うことが可能かどうか検討</p> <p>△被災地で働き場所を失った整備士等を全国の整備事業者にも雇用していただけるような方策の可能性について検討</p>	<p>本法人は、日本自動車整備商工組合連合会とともに、以下について実施。</p> <p>○東日本大震災被災者等支援のため義援金を日本赤十字社へ寄附。(3月28日実施)</p> <p>○東日本大震災被災事業者等支援のための義援金について、被災地振興会を通じて配付する。(5月以降予定)</p>	03-3404-6141 (日本自動車整備振興会連合会総務部 高橋)	http://www.iaspa.or.jp/
(特社)日本自動車販売協会連合会	東京都港区芝大門1-1-30 日本自動車会館15F 会長 天野 洋一	<p>○ホームページを通じ、東日本大震災に伴う政府の支援策について周知</p> <p>○東日本大震災に伴う自動車登録手続き(車検有効期間延長、登録関係手続きの特別措置、損壊自動車撤去処理の際の手続き等)について周知</p>	<p>○東日本大震災支援義援金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄付先 日本赤十字社 1,000万円 ・寄付日 平成23年3月31日 ・寄付先 宮城、福島、茨城 3支部に計1,510万円 ・寄付日 平成23年4月7日 	03-5733-3100	
(特社)日本社会福祉士会	東京都新宿区四谷1-13 カタオカビル2F 会長 山村 睦	<p>○宮城県下の地域包括支援センターへ相談員を派遣している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★東松島市地域包括支援センター:毎日2名を継続して派遣(4月1日から実施) ★南三陸町地域包括支援センター(2箇所):毎日4名を継続して派遣(4月20日から実施) ★石巻市地域包括支援センター:毎日2名を継続して派遣(4月28日から実施予定) <p>○岩手県下の地域包括支援センターへ相談員を派遣している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★大槌町地域包括支援センター:毎日2名を継続して派遣(4月27日から実施) ★山田町地域包括支援センター:毎日2名を継続して派遣(5月1日から実施予定) <p>○岩手県庁の生活支援・再建相談へ相談員を派遣している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★岩手県庁(盛岡市):毎日1名を継続して派遣(4月1日から実施) <p>○東京・埼玉・神奈川の避難所で被災者への生活相談を実施している。(3月下旬から実施)</p> <p>△スクールソーシャルワーカーの派遣について検討中</p>		03-3355-6541 (事務局 小笹 知彦)	http://www.iacsw.or.jp/15_TopLinks/SaigaiTaisaku/index.html

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL	
		活動	寄附			
(特社)日本写真文化協会	東京都新宿区四谷1-7 会長 大石 直臣			○協日本写真館協会と共同で「東日本大震災救援写真館団体全国本部委員会」を設立し、2団体会員から9月30日最終期限で義援金を募集。寄附された義援金は東北ブロック会長を通じて被災された写真館会員に適正に配分予定	03-3351-2463 (堀江 一久)	
(特社)日本シャッター・ドア協会	東京都千代田区九段北1-2-3 フナトビル 岩部 金吾	○東日本大震災に関するお見舞いと、シャッター及びドアの安全な操作に関するお願い文を、ホームページ上に掲載。		○加入団体である(特社)建設産業専門団体連合会を通じ、義援金を送った。	03-3288-1281 (栗原)	
(特社)日本砂利協会	東京都千代田区神田駿河台3丁目4番 日光ビル5階 会長 高橋 徹			○日本赤十字社へ500万円の義援金を寄附(4月26日予定)	03-5283-3451 (土屋 智圭男)	
(特社)日本獣医師会	東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館23階 会長 山根義久	<p>○地方獣医師会を通じて、構成獣医師の被災状況の確認を実施中(3月14日から実施)</p> <p>○被災地等における動物救護活動、獣医療の提供状況及び本会の支援対応に関する情報をホームページに掲載(3月14日から実施)</p> <p>○地方獣医師会では、以下の活動(*)を開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7の地方獣医師会で被災動物救護本部を設置して、動物救護 ・上記以外にも12の地方獣医師会で被災動物の一時保護や診療 <p>(※本会作成の「災害時動物救護の地域活動マニュアル策定のガイドライン(H19. 8)」に基づいて策定したマニュアルや自治体との協定に基づく活動)</p> <p>○地方獣医師会、動物関係団体及び企業等に対し、被災地等における動物救護活動の推進及び獣医療の復旧に関する協力を要請(3月18日から実施)</p> <p>○本会からの協力要請を受けて(社)日本動物用医薬品協会から供与された動物用医薬品等を上記の被災動物救護本部へ送付(4月1日から実施)。</p> <p>○本会会長が現地での活動状況等を視察(宮城・福島、4月11～14日)</p> <p>○「緊急災害時動物救援本部(NGO)」の構成団体として、被災地自治体及び地方獣医師会等へペットフードなどの動物用支援物資送付等の動物救護活動を実施。(3月14日から実施)</p>	<p>○本会として、「東北関東大震災動物救護活動等支援義援金」の応募を開始(3月18日から実施)</p> <p>△5月末を目途に、上記義援金の中間集計を行い、被災獣医師に分配予定(6月上旬に実施予定)</p> <p>○緊急災害時動物救援本部の構成団体として、被災動物やその飼育者の支援を行うため募金を募集(3月14日から実施)</p> <p>△同本部では4月中旬に上記募金を支出</p>	03-3475-1601 (古賀・四宮)	http://nichiuu.jin.gr.jp/	
(特社)日本住宅協会	東京都千代田区神田小川町1-11 会長 西岡 喬	<p>○復興に向けた官民の取り組みを収集し、当協会誌「住宅」平成23年3月号にて「震災特集(1)」と題し、会員への情報提供に努めた。併せてホームページ上及びメールマガジンにおいても、より新しい情報の提供を行った。この情報提供は、今後も引き続き行っていく。</p> <p>△復興に向けた官民の計画や取り組みの実績が蓄積された時点で会員向けの講習会等を企画開催する。既存の研修会においても適宜、その取り組み等の発表に努める。</p>		○個人的寄付を促進するため、職員に対し寄付金先を周知した。	03-3291-0881 (谷川)	http://www.ih-a.or.jp/
(特社)日本住宅建設産業協会	東京都千代田区麹町5-3 神山 和郎			○東日本大震災緊急支援のため会員から義援金を募集し、4/11に日本赤十字社へ寄託	03-3511-0611 (松岡)	http://www.nichiukvo.or.jp

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)日本住宅・木材技術センター	東京都江東区新砂3-4-2 理事長 岸 純夫	<p>○被災地の日本合板工業組合連合会会員企業へ救急用品等支援物資を提供した。</p> <p>○(社)住宅生産団体連合会の依頼により住宅相談現地対応窓口へ職員1名を派遣した。(4月18~25日)</p> <p>△震災復興に向けて、木造建築物の被害状況について現地調査を行う予定。</p>	<p>○法人として、日刊木材新聞社による「合板木材業界東北大地震救援募金」に寄付金を寄託した。併せて役員より寄付を募り、同募金に寄託した。</p>	03-5653-7663 (亀下)	http://www.howtec.or.jp/
(特社)日本柔道整復師会	東京都台東区上野公園16番9号 萩原 正	<p>○福島県の避難所(ビックパレットふくしま)等で、全国から募集した会員により救護ボランティア活動を実施 救護活動に参加したのは、栃木、愛知、千葉、静岡、長野、香川、静岡の会員(4月4日から5月20日)</p> <p>○宮城県(気仙沼等)の避難所等で、全国から募集した会員により救護ボランティア活動を実施 救護活動に参加したのは、愛知、大阪、佐賀、福井、兵庫、熊本、宮崎、福岡の会員(4月15日から5月27日)</p> <p>○栃木県の会員が、栃木県内避難所の被災者に対し、救護ボランティア活動を実施。支援物資等を福島県等の被災県へ送付</p> <p>○群馬県の会員が、日本赤十字社群馬県支部の医療チームのメンバーとして、宮城県、岩手県で活動(3月26日から4月27日現在も活動中)</p> <p>○埼玉県の会員が、埼玉スーパーアリーナへの避難者(福島原発等の被災者、福島県双葉町の住民等)に対し、救護ボランティア活動を実施(3月21日から3月29日)。アリーナから旧騎西高校に移動した被災者(1200名)に対し支援を継続(4月1日から)</p> <p>○神奈川県が、岩手県大船渡市にて救護ボランティア活動を実施(3月27日から3月29日)</p> <p>○神奈川県が、宮城県亘理町にて救護ボランティア活動を実施(4月16日、4月17日、4月23日、4月24日)</p> <p>○東京都の会員が、東京武道館への避難者(福島原発周辺の住民約300名)に対し、救護ボランティア活動を実施(3月30日から4月13日)</p> <p>○新潟県の会員が、新潟県への避難者(主に福島県からの避難者)に対し、救護ボランティア活動を実施(3月14日から)</p> <p>○新潟県の会員が、長野県北部の被災者に対し、救護ボランティア活動を実施(3月14日、3月15日)</p> <p>○長野県の会員が、日本赤十字社長野県支部からの参加要請で、支援物資搬出作業に参加(3月18日、3月22日、3月25日)</p> <p>○兵庫県の会員が、兵庫県からの要請で「兵庫県ボランティア派遣隊」として、宮城県内の避難所にて救護ボランティア活動を実施(3月18日から3月20日)</p>	<p>△各会員の施術所に義援箱を設置。当義援金を日本赤十字社等へ寄付予定</p>	03-3821-3511(杉浦)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL	
		活動	寄附			
(特社)日本ジュウリーデザイナー協会	東京都中央区八丁堀4-11-7 アライビル8階 菅沼 知行	<p>○東北・北関東地区を重点対象に、所属会員を通じて安否及び被災状況の確認を実施(3月12日から実施)</p> <p>○第1次的に見舞金募金を被災会員のために全国会員に呼びかけ募集(3月31日から実施)おって被災地チャリティ募金等の一般へのよびかけ実施を検討中</p> <p>○本会の平成23年度事業計画に支援事業を盛り込むことを確認(3月31日)</p> <p>○加盟している日本デザイン団体協議会(D-8)とともにデザインによる社会的役割を検討しつつ、デザイン関連団体とともに共同で支援することを決定(4月18日)</p> <p>△被災状況と支援ニーズをより詳細に調査し、ライフスタイルの中でジュエリーデザインが中・長期的に支援する具体的活動に取り組む。</p>		03-3523-7344 (上田)		
(特社)日本ジュエリー協会	東京都台東区東上野2-23-25 会長 堀 奉之	△業界としての募金活動を検討中		○協会として日本赤十字社に義援金100万円送金済み(3/15実施)	03-3835-8567 (事務局長 磯)	
(特財)日本手芸普及協会	東京都新宿区千代田3-23 ヴォーグビル8F 会長 森山 多喜子	○福島県いわき市の女性会員からの支援の要望を受け、広く手作りの子ども用手提げカバンの寄付を呼びかけ、集まったカバンをいわき市の幼稚園や小学校に贈った。現在は、被災地からの要望に応じて県内の他の地域や宮城県、岩手県等へも寄贈をしている。4月18日時点で国内外から約57,000枚が集まっている。		03-5261-5096	http://www.ihia.org/	
(特財)日本出版クラブ	東京都新宿区袋町6番地 会長代行 上野 徹	<p>○当財団維持員社向けに大震災における被害状況調査を行った。(3月下旬まで)</p> <p>○被災地における子どもの情緒安定化を目的とする文部科学省の要請により、児童書を中心に約30,000冊の図書を被災地・避難所に寄贈した。(3月24日)</p> <p>○大手出版社を中心に集められた図書約10,000冊を幼児向け・小中学生向け・高校生(一般)向けとパッケージし、被災地・避難所へ寄贈。その際、実際被災地に赴き、避難所の事態調査を行ない、現地ボランティア・NPO法人とのネットワーク化を図る。(4月13日~15日)</p> <p>△当財団主催、5月13日の全出版人大会においては、出版界復興のための決意の場とする。そして、会費の一部を被災地の書店復興のために役立っていただく予定である。</p>	<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を出版界に向けて募集(4月28日締切)、5月下旬に日本赤十字社に寄託予定。</p> <p>○東日本大震災支援のための義援金を各雑誌媒体において読者向けに募集(8月末日締切)、9月中旬に日本赤十字社に寄託予定。</p>	03-3260-5271 (和田)	http://www.shuppan-club.jp/index.html	
(特社)日本出版取次協会	東京都千代田区神田駿河台1-7 山崎 厚男			○日本書店商業組合に復興義援金を寄附(3/29送金)	03-3291-6763 (事務局 鈴木 薫)	http://www.shoten.co.jp/nisho/gien/okyo.html

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)日本傷痍軍人会	東京都千代田区九段南1-5-13 会長 奥野 義章		△大韓民国傷痍軍人会から被災者に対する義援金が届いており、現在寄附の方法を検討している。 ○県傷痍軍人会が義援金募金活動をしており、その義援金に日本傷痍軍人会の義援金を上積みして被災県傷の会員に配分する予定。現在、そのための被害調査を被災県傷痍軍人会にお願いしている。	03-5211-8271 (竹内)	
(特社)日本消火器工業会	東京都台東区蔵前3-15-7 近藤 勝	△被災地の仮置き場又は一時集積所に仮保管された消火器を、当工業会のリサイクルシステムにおいて、回収・処分予定	○(社)全国消防機器協会社会貢献委員会を通じ日本赤十字社に寄附(3月30日)	03-3866-6258(宮崎)	
(特社)日本消火装置工業会	東京都港区西新橋2-18-2 藤本 二郎	○消火設備に関する地震及び計画停電への対応についてホームページに掲載	○(特社)全国消防機器協会社会貢献委員会を通じ日本赤十字社に義援金を寄附 ○全国消防長会を通じ、震災により死亡又は安否不明の消防職員等に対する義援金を寄附	03-5404-2181 (小林)	
(特社)日本証券投資顧問業協会	東京都中央区日本橋茅場町1-5-8東京証券会館7階 会長 岩間陽一郎	○被災地域に所在する会員の安否確認を実施した。(4月1日、4月15日) ○被災地域に所在する会員について、年会費の納入期限を2か月延期(4月20日理事会決議)	○加盟している(社)日本経済団体連合会の呼びかけに応じ、社会福祉法人中央共同募金会へ義援金をお贈りした。(3月29日実施)	03-3663-0505 (事務局 高谷)	
(特社)日本商工倶楽部	東京都千代田区神田小川町3-3 大塚 壽郎		○「東日本大震災救援義援金のお願い」を会員宛に送付し、義援金を募集(取扱期間4月18日~5月17日)。講演会会場に義援金箱を設置し、義援金を募集 △会員よりお預かりした義援金と弊法人の寄附金と合わせて、日本赤十字社へ寄附を行う。	03-3219-0141 (事務局長 松井)	
(特財)日本醸造協会	北区滝野川2-6-30 髙沼 誠	△この度の東日本大震災では、多くの醸造産業が被災し、施設・設備等のもとより、醸造にとって必要不可欠な微生物、例えば”家付き酵母”などの損失が報告されており、百年以上にわたり酵母等の微生物の探索・保存・育種に携わってきた本会は、わが国の伝統的な醸造飲食品が国民の豊かな食文化の形成にとって大きな柱になっていることにかんがみ、被災した醸造産業の一日も早い復興を願って、以下の事業を無償で行うことを計画しています。 ・製造場に適した酵母の提供。 ・施設・設備等の有害な汚染菌を除去・洗浄し、その後の汚染を防止するための微生物管理技術及び微生物、汚染検査資材の提供。 ・醸造用水、原料米等の醸造原料の醸造適性等の分析、検査。 ・その他、醸造業を復活するにあたって、必要とする技術的事項に対する相談への対応。	△日本赤十字社を通して、東日本大震災支援のための義援金の寄附を予定	03-3910-3853(曾我部)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)日本消防協会	東京都港区虎ノ門2-9-16 高木 繁光	<p>○東日本大震災では、県消防協会を通じた支援金・支援物資(岩手県、宮城県及び福島県は各500万円、非常用食料各600食、茨城県及び千葉県は各100万円、青森県は50万円等)の交付(3月14日、31日)</p> <p>○全国の消防団員に対して義援金募集をホームページ等で呼びかけ、義援金の第一次交付(岩手県、宮城県及び福島県は各2,000万円、青森県、茨城県及び千葉県は各200万円)を行った。(4月19日)</p> <p>△津波により消防車両及び資機材等が滅失したことから、被災地での消防団活動に役立ててもらうため、被災地以外の消防団から提供可能な消防車両等を提供することを斡旋することとし、準備中である。</p>		03-3503-1481	http://www.nissho.or.jp/
(特財)日本消防設備安全センター	東京都港区虎ノ門2-9-16 長澤 純一	○被災した方に対して各種点検資格者免状再交付手数料及び自衛消防業務講習修了証の免状再交付手数料を免除		03-3501-8296 (永山)	http://www.fesc.or.jp/
(特社)日本消防放水器具工業会	東京都港区新橋2-2-10 米田 豊彦		○(社)全国消防機器協会社会貢献委員会を通じ日本赤十字社に義援金を寄附	03-3591-0657(北島)	
(特社)日本消防ポンプ協会	東京都港区芝大門2-1-15 新村 鋭男		○(社)全国消防機器協会社会貢献委員会を通じ日本赤十字社に40万円を寄附	03-5777-5333(森)	
(特社)日本醸友会	千代田区神田錦町1-21 轟神田ビル702号 蓮尾 徹夫	△会報により被災者に対する支援の要請を行う。	△日本赤十字社を通して、東日本大震災支援のための義援金の寄附を予定	03-3295-0063(若林)	
(特財)日本醤油技術センター	東京都中央区日本橋小網町3-11 眞鍋 勝	<p>○東北・北関東地区のしょうゆ工場の被災状況の確認を実施。関係省庁に報告を行うとともに、その結果を踏まえて、被災工場のニーズに基づくJAS格付の実施及び格付製品の出荷の状況と今後の対応について、関係省庁に要望を行っている。</p> <p>○東北・北関東地区の組合の検査機関において、震災に伴い一時的に品質管理のための分析や格付の為の検査の受託が出来なくなっているものについて、一時分析の受託等を実施している。(4月初旬から実施)</p> <p>△東北・北関東地区の被災工場のニーズに基づき技術支援のために、当センター登録の技術指導員の派遣を検討中</p>		03-3666-4521 (松本 秀樹)	
(特社)日本食鳥協会	東京都千代田区神田東松下町17番地 ファーストビル4階 芳賀 仁	○東日本大震災で被害を受けた会員への支援として、義援金を募集(期間:5月31日まで)		03-5289-7890 (平加)	http://www.j-chicken.jp
(特社)日本食肉加工協会	東京都渋谷区恵比寿1-5-6 ハム・ソーセージ会館 福原 康彦	○会員等向け震災関連情報の提供 会員に対して、震災による食品衛生法等の特例措置に関する情報や国等が実施している被災地復興のための支援対策などについて情報提供を行っている。	○物資の支援の実施 被災地に向け、物資(会員が提供したレトルト製品・缶詰ほか)の支援を日本ハム・ソーセージ工業協同組合と協力して実施(3月30日から実施)	03-3444-1772 (道免)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)日本食肉流通センター	神奈川県川崎市川崎区 東扇島24番地 高橋 賢二	○全国食肉事業協同組合連合会が被災者へ支援物資の提供を行った際に、当センターの冷蔵施設を支援物資の集送拠点として提供。また、当センターからも食料品、消毒薬、練炭等の支援物資を提供(3月29日~4月1日)	○東日本大震災により被災した畜産生産者支援のため、当センターの役職員及び関係団体に義援金を要請。5月末までにとりまとめ、(社)畜産生産者団体協議会、(社)都道府県畜産振興協議会を通じて寄付	044-266-1172 (佐藤)	http://www.jmtc.or.jp/info/pdf/omimai.pdf
(特社)日本食品衛生協会	東京都渋谷区神宮前2-6-1 鶴岡 良平	○東北・北関東地区を重点対象に、当協会の現地食品衛生協会等を通じて被災状況の確認を実施。それらを踏まえて当協会及び当協会特別会員等の企業から提供された緊急支援物資約76トン(マスク・エタノール含浸ガーゼ・消毒用アルコールジェル等の衛生用品約24トン、ミートボール・グラムチャウダー・無洗米等の食料品約51トン、タオル・食器類等の生活用品約1トン)を岩手県、宮城県、福島県、茨城県に配送(3月18日から実施) ○厚生労働省等の東日本大震災に係わる通知等関連情報を各都道府県市の食品衛生協会や関係企業(団体)に送付するとともに国民に対する情報提供としてホームページに掲載(3月17日から実施) △食品衛生法に基づく登録検査機関として食品中の放射性物質に関する検査体制を整備中。検査機器手配済み(6月初旬を目処に検査開始)		03-3403-2111(土屋)	http://www.n-shokuei.jp/
(特財)日本食品分析センター	東京都渋谷区元代々木町52-1 齋藤 文一		○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、4月5日に日本赤十字社へ寄附	03-3469-7138 (新井)	
(特社)日本植物学会	東京都文京区本郷2-27-2東真ビル 会長 福田 裕穂	○会員支援掲示板設定。被災者支援サイトとして東日本大震災:研究者支援掲示板を設営し、支援を必要とされる会員と支援が可能な研究者と間の情報交換の場を提供する。 ○会費を免除。被災されたことを証明する書類を添えて学会事務局まで申し出た会員には、直近の会費を1年間免除する。 ○本年9月に開催予定の大会への発表申込について、被災地の会員には状況により要旨の提出期限を1ヶ月猶予する措置をとっている。		03-3814-5675 (事務局 二宮 三智子)	http://bsj.or.jp/osirase/osirase_open.php?shu=1&did=385 http://bsj.or.jp/osirase/osirase_open.php?shu=1#381 http://bsj.or.jp/bsi75/
(特社)日本植物蛋白食品協会	東京都港区西新橋2-4-1森山ビル4F 片山 務	○会員事業者による支援物資の無償提供	○会員事業者による義援金の寄附	03-3591-2524 (森本専務理事)	
(特社)日本植物油協会	東京都中央区日本橋3-13-11 油脂工業会館 榎田 純和	○日本経団連の「救援物資ホットライン便」から食料支援(家庭用食用油)の要請があり、当協会が窓口となり、会員企業に対し協力の要請を行った。この結果、会員企業(3社)から家庭用食用油等の無償提供がなされた。	○義援金の寄附	03-3271-2705 (事務局長 小原 勉)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本助産師会	東京都台東区鳥越2-12-2 会長 加藤 尚美	<p>○被災地の妊産褥婦へ向けてパンフレットを提示し、電話相談窓口を設置(3月15日)</p> <p>○被災地の妊産褥婦に対して、携帯電話サイトによる無料メール相談を実施(3月15日)</p> <p>○希望する被災地の妊婦・産後の母子及び家族を全国の助産所で一時受け入れする旨を公表(3月18日)し、3月30日より受け入れ開始</p> <p>○厚生労働省医政局からの事務連絡「被災地への看護師等の医療従事者の派遣について」(3月18日発出)を受けて、被災地へ派遣する助産師を調整。これまでに宮城県で9人が活動(4月25日現在)</p> <p>○株式会社危機管理研究所と協働し、産後の母子に必要な支援物資を岩手県大船渡市、陸前高田市へ支給(3月19日～29日)</p> <p>○財団法人 家族計画国際協力財団と協働し、女性・妊産婦に必要な支援物資を岩手県、宮城県、福島県、茨城県の助産所等を中心に支給(3月25日より実施)</p> <p>○産後の母子に必要な支援物資について、個別の要望に対応して支援(4月18日より実施)</p> <p>○妊婦・母子の心のケアのための「ほかほかママサロン」を岩手県と日本助産師会岩手県支部が中心に企画し実施(4月28日～5月2日八幡平温泉)</p>		03-3866-3054 (市川)	http://www.midwife.or.jp/
(特社)日本女性航空協会	東京都千代田区二番町1-2番町ハイム803号 鐘尾 みや子	<p>○女性パイロットの世界組織であるNinetyNinesの日本在住会員の作成した仙台空港支援ウェブサイトhttp://sendaitsunami.web.fc2.com/ を広く関係者に紹介している。</p> <p>△帯広で使用事業を営んでいる会員が仙台空港に駐機していた飛行機を津波により失ったことを機関紙で紹介し、被災した使用事業各社への支援を訴える。</p>	○理事長が日本赤十字社へ寄附(3月17日)	03-6380-9506 (鐘尾)	
(特社)日本ショッピングセンター協会	東京都中央区勝ちどき3-12-1 フォアフロントタワー 会長 木村 恵司		<p>○協会は、「東北関東大震災被災地」に対し、日本赤十字社を通じて義援金1,000万円を寄贈(3月31日実施)</p> <p>○協会会員企業に対して、義援金の募集をホームページで実施中(3月22日～4月28日まで)</p>	03-3536-8121 (広報担当:前田、蛭原、瀧澤)	http://www.jcsc.or.jp/release/pdf/press110331.pdf
(特財)日本書道教育学会	東京都千代田区西神田2-2-3 理事長 石橋 桂一	<p>○7月4日～7月10日開催の「第19回新和様・漢字造型書作家協会選抜展」をチャリティー展覧会とし、展示作品をすべて入札方式で希望者に販売。最低落札価格は3万円とし、収入をすべて義援金として日本赤十字社に寄付する。</p> <p>○7月25日～31日開催の「第50回文鳳會展」をチャリティー展覧会とし、展示作品をすべて入札方式で希望者に販売。最低落札価格は3万円とし、収入をすべて義援金として日本赤十字社に寄付する。</p> <p>△伊豆川奈にある東洋文化不二研修所を、不二誌会員の被災者に対する避難所として解放。既に岩手・宮城在住の支部長に対し入居者の打診をお願いしているが、現状では実際の入居者は出ていない。</p>	<p>○通常事業の一環として写経の納経を行っているが、4月1日より9月30日までの6ヶ月間に集まった写経の納経料(一口500円で口数は任意)をすべて義援金として日本赤十字社に寄付する。寄付は月末を締め日として1ヶ月ごとに行い、寄付金額は日本書道教育学会のHPにて公表予定。</p>	03-3234-3955 (鶴岡)	http://www.nihonshodou.or.jp/topics/aien.html
(特財)日本書道美術院	東京都千代田区小川町3-2-2 理事長 飯島 春美		△東日本大震災緊急支援のため5月24日開催「秀華書展」の祝賀会を中止し、その費用全額を義援金として毎日新聞東京社会事業団(日本赤十字社)へ寄付を行う予定	03-3291-1656 (小林)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本私立歯科大学協会	東京都千代田区九段南3-3-4 ニューライフビル内 会長 中原 泉	○東日本大震災発生直後から、日本私立歯科大学協会加盟大学の教員(歯科医師)は、警察庁等の依頼に基づき被災地域で支援活動を実施した。その後、支援物資の支援や人的支援については、社団法人日本歯科医師会からの依頼に基づいて全面的に支援活動を行った。さらに、厚生労働省からの支援要求を受けて、加盟校すべてに協力依頼を実施し、現在、避難所や在宅での医療活動をはじめとして組織的支援の要の一つとして活動している。	○日本私立歯科大学協会加盟大学では、学内外で義援金の募金活動を行い、日本赤十字社等へ寄附を行っている。(現在も継続中)	03-3265-9068 (川島)	
(特社)日本新工芸家連盟	東京都北区田端3-13-2 谷中田美術第2ビル4階 会長 寺池 静人	○連盟作家から作品を寄贈してもらい、5月11日から22日まで国立新美術館において行う第33回日本新工芸展でチャリティーを実施。(全額を「NHKたすけあい」を通じて寄附)		03-3828-5470 (小嶋)	http://www.nihon-shinkogei.or.jp/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)日本心臓財団	東京都千代田区丸の内 3-4-1 新国際ビル835区-A 志立 託爾	<p>○避難所での生活を余儀なくされている人が数多くいる中、体調を壊し病に倒れる人、持病の心臓病が悪化する人もいるものと危惧される。ストレス時には、心臓突然死の発生が増加すると言われており、避難所で突然の心停止が起こることもある。そこで救命に活躍するのがAED(自動体外式除細動器)である。想定外の心停止を予測し、それを想定内の事故として対処できるようにするには、AEDを予め、避難所に設置しておくことが望まれる。われわれは、そのまさかのときに救える命を救いたいと考え、関係各社および日本循環器学会の協力を得て、AEDの設置を求める避難所に対し、被災地で活動する医師を通じて管理者等の状況を把握した上で無料で貸し出しを行う。(4月21日より実施)</p> <p>○日本心臓財団ホームページのトップページに、長期の避難所生活にて起こりやすい肺塞栓症(エコミークラス症候群)の予防について、関係学会と合同で掲載している。</p>	○事務局にて義援金をまとめ、日本赤十字社に寄附(3月)	03-3201-0810(細田)	http://www.jhf.or.jp/aed/aed-disaster.html http://www.jhf.or.jp/
(特財)日本人造真珠硝子細貨検査協会	大阪府和泉市尾井町2-2-19 理事長 吉田 秋夫		△東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。(5月中に実施予定)	0725-41-2133 (事務局長 池田)	
(特社)日本新聞販売協会	東京都中央区日本橋人形町2-7-10 エル人形町5階 坂本 収	○当業界の特性から、情報インフラとしての新聞が1日も早く全地区で機能復旧することが大きな使命との認識で、当面、当協会として被災地区配達体制の再生に向けた支援が公共の公益にかなうものとして推進	<p>○被災各県の新聞配達インフラの1日も早い復旧の後押しに向け、義援金を募集(進行中)</p> <p>○最寄の避難所への新聞配置(会員の自主取組み)</p> <p>○定期献血活動に際して、会場での義援金の募集(3/15)をし、日本赤十字社へ寄附(4.15/96,160円)(近畿地区組織での取組み、継続推進)</p>	03-5643-7681 (事務局長 渡部 俊美)	
(特社)日本図案家協会	京都府京都市左京区岡崎成勝寺町9-1 会長 日比 昭彦	○東日本大震災の発生を受け、平成23年3月15日(火)~3月16日(水)において弊協会にて開催した「第145回日図展」の入場料を無料とし、会場に募金箱を設置して、義援金を募った。その結果、25,642円の寄附が集まった。この義援金は日本赤十字社へ寄附予定。	○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附予定。 ・「第145回日図展」において実施分…25,642円 ・その他、協会関係者による個人の寄付…5,010円 合計30,652円	075-761-5381 (井上 千代)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本水道協会	東京都千代田区九段南4-8-9 会長 石原 慎太郎	<p>○発災後直ちに、東日本大震災救援本部を設置し、24時間体制で運営。3月11日深夜から4月28日までの間、本会東北地方支部長の仙台市、及び各県支部長である盛岡市・郡山市に職員2名ずつ、のべ38名が駐在。被災地側の東北地方・関東地方の支部長(仙台市と横浜市の各水道局)、ならびに応援側の北海道地方・中部地方・関西地方・中国四国地方・九州地方の支部長(札幌市・名古屋市・大阪市・広島市・福岡市の各水道局)と連携し、被害状況の情報収集、応急給水や応急復旧活動の調整を実施</p> <p>○応急給水の活動…全国約450の水道事業者(都府県市町・一部事務組合など)から協力申し出があり、最大時には約350台の給水車が被災地域において活動〔数値については後日訂正の可能性あり〕</p> <p>○応急復旧の活動…最大時には約50隊の漏水調査・復旧部隊が被災地域において活動〔数値については後日訂正の可能性あり〕</p> <p>○原子力発電所関連の活動…山形市・宇都宮市の各水道局などの協力により、水道水中の放射性物質(ヨウ素131とセシウム137)を測定する体制を構築。福島県及び近隣地域の水道事業者の希望により測定を実施。また、水道事業者に対し、放射性物質測定器の必要性や、原子力発電所作業後の除洗用水の提供可能量について調査を実施〔除洗用水については対応可能な事業者から提供〕</p> <p>○厚生労働省健康局水道課の他、水道関係7団体会する「水道復旧対策特別本部」会議に水道事業者を代表して参加。上記活動により得た情報を提供し、円滑な復旧に向けて、国や水道資機材製造業者、管工事事業者の団体等との連携を強化</p> <p>○上記活動の実施に伴い、水道事業者の懸念材料となる事項に関して、国との連携をとりながら調査活動を実施</p>		03-3264-2281 (関根)	http://www.iwwa.or.jp/
(特社)日本水道工業団体連合会	東京都千代田区九段南4-8-9 幡掛 大輔	<p>○東北地方太平洋沖地震水道施設復興対策本部設置</p> <p>○厚生労働省から定期的に発表される水道における被害状況、並びに日本水道協会及び全国から支援している同協会支部の対応・活動状況を随時会員へ提供している。</p> <p>○被災地及び政府からの応援要請に対応できるよう、会員の支援活動を把握するとともに、提供できる資機材の集約及び情報提供を行っている。</p> <p>○提供できる資機材の情報提供、被災地支援に赴く際の緊急車両取扱措置等について連携を取っている。</p>	<p>△東日本大震災緊急支援のための義援金を日本赤十字社へ寄附を行う。(5月13日予定)</p> <p>△東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、本会義援金とは別に寄附を行う。(寄附先は調整中)</p>	03-3264-1654(須納瀬)	<p>東日本大震災の被害状況及び対応について(厚生労働省提供<水道関係抜粋>)</p> <p>http://www.suidanren.or.jp/action/dmg_rep.html</p>

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)日本水士総合研究所	東京都港区虎ノ門一丁目 21番17号 虎ノ門NNビル 森田 昌史	<p>○当研究所の職員5名が宮城県と福島県を現地調査(4月1日～2日)し被害状況を確認した。この時の被災状況の視察報告により早急に義援金を送ることとした。</p> <p>○当研究所は工事中のダムの技術検討委員会で技術的課題について調査研究を行っていることから、今回、被災した福島県の羽鳥ダム及び西郷ダムに技術検討委員長を当研究所の職員とともに派遣(4月7日～8日)し、状況の把握と復旧工法等について現地調査を行い、この調査結果は、農林水産省に報告している。</p> <p>○東北地方の既設農業用ダムの点検結果を受けて、全国のダム及びため池や大規模な農業用施設についての大规模地震の想定に対する早急な対策の検討を行い、今後の基本方針について検証するための技術検討委員会を開催するよう提言した。</p> <p>○農林水産省に対し、津波により被災した農地の塩害除去工法について緊急の対策工法等として技術意見書を提案し、現在、現地において実証事業を実施している。</p> <p>○農業農村整備に関連する公益法人(9法人、1連盟)は大規模な自然災害が発生した場合に、情報を共有し災害復旧に貢献することを目的として、「土地改良大規模災害支援協議会」を組織している。当研究所は、本協議会の事務局を担当している。7月1日までに11回の会議を開催した。</p> <p>○「東日本大震災に伴う農業農村復興・振興に関する提言」及び「福島県鏡石町における東日本大震災に伴う農業農村復興・振興に関する具体的な提案」を作成し、被災地域の行政機関などに配布し災害からの復旧と復興に関する提案をしている。</p>	<p>○日本水士総合研究所として義援金(職員32名分等)28万円を日本赤十字社に拠出した。(4月12日)</p>	03-3502-1387 (藤田)	http://www.iid.or.jp/
(特社)日本炊飯協会	東京都豊島区南池袋2-31-5 南大和ビル8階 川島 弘士	<p>○被災者に大量炊飯が可能な連続蒸気炊飯機を搭載した車両を派遣し、炊きたての温かいご飯(約1万2千食)を提供(3月15日、16日に実施) (協会が会員企業3社の協力を得て、宮城県石巻市において支援活動を実施)</p>		03-3590-1589 (三橋 昌幸)	http://www.rice-cook.com
(特財)日本水路協会	東京都大田区羽田空港1-6-6 第一総合ビル6階 山本 長	<p>○航海用電子参考図「new pec(本州東岸)」の無償配布を実施。五月の発行を予定していた本new pecの包含海域が被災地域とほぼ一致していたことから緊急発行し、3月24日、当協会webサイトからの無償ダウンロード提供を開始した(当初予定定価2万5千円)。ダウンロード回数は海洋土木会社、海運会社、官公庁を中心に4月18日現在500超。また、CDIによる配布は250枚。</p> <p>△岩手県水産技術センターへの職員の派遣。岩手県水産技術センターが地元漁協と連携して実施する沿岸海域における定置網再設置のための海底地形調査の技術アドバイザーとして職員1名を岩手県に派遣(調査船への乗船及び海底地形調査の技術指導)。(4月21日から派遣)</p>	○日本財団を通じた寄付。	03-5708-7074 (二ツ町 悟)	http://www.iha.or.jp/jp/whatsnew/2011/03/25/newpec_free-download.pdf
(特財)日本スペイン協会	東京都新宿区信濃町33-6階 理事長 鼓 直	<p>○当文化センターに集まった物資(薬品、栄養ドリンク、歯ブラシ、ウエットティッシュ、オムツ、スペインからの物資を含む)について、被災地(宮城県、福島、岩手)の被災会員を中心に寄贈を行った。</p>	○協会に募金箱を設置し、寄付金を募集中	03-3353-0428 (臼居事務局長)	
(特社)日本スポーツ用品工業協会	東京都千代田区神田小川町3-28-9 和田 清美		△東日本大震災緊急支援のための300万円を、日本赤十字社へ寄附を行う予定	03-3219-2041 (専務理事 宮地 弘孝)	http://www.iaspo.org/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL	
		活動	寄附			
(特財)日本セーリング連盟	東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育館内 会長 河野 博文	<p>○東日本大震災の支援募金を3月13日評議員会で決議し、日本セーリング連盟に加盟する団体や個人に呼びかけている。(3月14日から実施) 岩手県・宮城県・福島県を中心に加盟する団体のセーリング関係者と相談し、震災からの復興に活用する予定である。</p> <p>○被災団体の会員に対して、メンバー登録を一年間自動更新する。新規のジュニアや高校生などに対しては無償更新とする。</p> <p>△「がんばれ東日本！」キャンペーンを実施して、震災・津波支援フラッグ&ステッカーを掲げ、チャリティ・セーリングレースを実施する。</p> <p>△被災地からの要望を伺い、テンダーボートの提供や、ヨットの中古艇などを提供する。また、域外練習や、予選を含む全日本セーリング選手権大会について支援協力する。</p>		03-3481-2357 (前田)	http://www.isaf.or.jp/	
(特社)日本生産技能労務協会	東京都港区芝浦2-16-8 芝浦相澤ビル5階 清水 唯雄			○東日本大震災緊急支援のための義援金を会員より募集し、日本赤十字社へ寄附	03-5439-1251 (柿沼)	http://www.js-zino.org/topics/gienkin.pdf
(特社)日本精神神経科診療所協会	東京都渋谷区代々木1-38-2 ミヤビル8F 三野 進	<p>○災害支援対策本部を設置、現地に当協会理事を先遣隊として現地入りし調査を開始するとともに、現地からのニーズにより医薬品・医師・を派遣(3月13日から実施)</p> <p>○東北・北関東東地区を重点対象に当協会の会員診療所の被災状況・震災状況・支援ニーズを調査し協会HPに掲載し各地区協会からの活動にも活用(3月18日から実施)</p> <p>○宮城県の原敬造理事の要請により、仙台市精神保健福祉総合センターの活動を支援する。(3月24日から実施)</p> <p>○医師、看護師、精神保健福祉士、臨床心理士、作業療法士等のボランティアスタッフの協力を要請し、仙台市宮城野区、若林区の避難所を中心に被災者の精神医学・心理学的な相談をする。(3月24日から実施)</p> <p>○協会員である石巻市の宮城秀晃医師の活動を支援し、石巻市内の被災者の診療・アウトリーチに参加し、児童・生徒や教員のメンタルヘルス相談をしていく。(4月11日から実施)</p>		○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、岩手、宮城、福島、茨城の地区協会へ寄付を行う。(3月22日から実施、現在も継続中)	03-3320-1423 (日精診療事務局) 03-3232-1622 (事務局長 紫藤昌彦)	http://www.iapc.or.jp/
(特社)日本精神科看護技術協会	東京都港区港南2-12-33 会長 末安 民生			○厚生労働省医政局からの事務連絡「被災地への看護師等の医療従事者の派遣について」(3月18日発出)を受けて、被災地へ派遣する看護師を調整。これまでに宮城県で9人が活動(4月21日)		http://www.jpna.or.jp/index.html
(特社)日本精神科病院退職金共済会	東京都港区新橋3-6-4 会長 淵野 耕三			○当会に加入している被災病院(24病院)に対して慶弔規程第3条に基づく罹災見舞金を(社)日本精神科病院協会あて義援金として送金	03-3508-0769 (事務局次長 篠原)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL	
		活動	寄附			
(特社)日本精神保健福祉士協会	東京都新宿区大京町23-3 竹中 秀彦	<p>○災害対策本部の設置(3月12日から実施)</p> <p>1)被災地における精神保健福祉に関する情報収集及び構成員等への情報提供(3月12日から実施)</p> <p>2)被災地支援活動等に係る構成員間の募金活動(3月14日から実施)</p> <p>3)被災地の行政機関等からの要請等に基づく構成員(精神保健福祉士)等の支援活動への参加調整</p> <p>4)その他の被災地支援活動</p> <p>○災害対策本部ウェブサイトの開設(3月12日から実施)</p> <p>○被災地(青森県、宮城県、岩手県、福島県、茨城県)構成員の安否確認(3月28日から実施)</p> <p>○被災地視察(第2回)(宮城県、岩手県、福島県)</p> <p>○支援活動参加登録者の募集(第1次)(3月28日から4月30日まで)</p> <p>○被災地支援活動(第1次)実施要綱の制定(4月8日)</p> <p>○被災地支援活動拠点の設置(宮城県:4月11日から実施、福島県:4月18日から実施)</p> <p>○日本障害フォーラム(JDF)東日本大震災被災障害者総合支援本部「みやぎ支援センター」への事務局員の派遣(4月18日から1週間)</p> <p>△被災地支援活動拠点の増設(宮城県、岩手県、福島県)</p>		03-5366-3152(木本・大塚)	http://www.iaosw.or.jp/s-honbu/index.html	
(特財)日本生物科学研究所	東京都青梅市新町9-2221-1 上田 進			<p>○当該法人及び関連会社の役員に対し義援金を募り、日本赤十字社に対し寄附を行った。</p> <p>○当該法人として日本赤十字社に対し義援金の寄附を行った。(4月14日)</p>	0428-33-1001 (朱通市次郎)	http://nibs.lin.gr.jp/
(特財)日本税務研究センター	品川区大崎1-11-8 日本税理士会館1F 石井 幸夫	<p>○東日本大震災の被災者を支援するため「電話による税務相談」を実施している。</p> <p>△被災地域の賛助会員の会費免除を行う予定</p>		△東日本大震災の被災者を支援するため寄附を行う予定	03-5435-0912(中尾)	
(特財)日本石油燃焼機器保守協会	東京都渋谷区東2-24-2 池田 春雄	△点検整備を強化し、使用者への相談・指導を徹底することを、石油機器技術管理(再)講習等で徹底(5月上旬より、福島県、宮城県、岩手県等で実施)			03-3499-2928(河尻)	
(特社)日本設備設計事務所協会	東京都千代田区三崎町3-10-2 みさきBLD3F 会長 尾島 勲	○東北・北関東地区を対象に被災地状況の確認を実施し、安否状況報告を本会HP会員専用ページに掲載(3月18日から実施)		○東日本大震災支援の為に義援金を募集し、被災県の各設備設計事務所協会を通じ各県庁へ寄付を行う。	03-5276-1381 (木下)	http://www.jieoa.or.jp/index.html

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本繊維機械学会	大阪府大阪市西区靱本町1-8-4 会長 木村 照夫	<p>○本学会・繊維リサイクル技術研究会が中心になり、研究会メンバーである吉田恵美子氏が理事長およびセンター長をされているNPO法人ザ・ピープル(福島)およびいわき市小名浜地区災害ボランティアセンターと連絡を取り合い、必要支援物資(マスク、大人用おむつ、消毒薬材、下着など)をメンバーが送付した。また、メンバーの一人が京都において福島産野菜販売を実施した。(5月3日～4日)</p> <p>○(特財)大阪科学技術センターがに福島県下で実施した支援事業(5月3日～6日)に、本学会も所属の「大阪科学技術センタービル共同防火管理協議会」として協賛した。</p>		06-6443-4691 (事務局)	
(特財)日本船員厚生協会	神奈川県川崎市川崎区大島2-8-7 宮原 耕治	<p>○東日本大震災の被災者を受け入れる施設(全国に6施設)を提供している。ホテルであるため、受け入れ時期及び人数については、予約状況によって変動する。宿泊料については、被災者割引での負担をお願いしている。 (被災者宿泊実績:2011.3.17～2011.4.20現在) 延べ 397人</p>		044-221-7210 (事務局長 脇 一正)	
(特社)日本船主協会	東京都千代田区平河町2-6-4 宮原 耕治		<p>○東日本大震災緊急支援のため、日本財団が独自に開始した救援活動に協力し、同財団に500万円を拠出した</p> <p>○内外関係機関や協会役職員等からの義援金を取りまとめ、これまでに約1416万円を日本赤十字社へ贈呈した</p>	03-3264-7173 (斎藤 光明)	
(特財)日本染色検査協会	東京都台東区蔵前2-16-11 理事長 駒田 展大	<p>○福島第一原発避難地域より1名採用(平成23年4月1日から)</p>		03-3861-2341 (森田 唯雄)	
(特社)日本潜水協会	東京都港区新橋6-3-5 鉄 芳松	<p>○3月13日、被災した港湾施設の緊急復旧作業に係る関係者からなる対策会議(本部)に参画。今後も継続して実施する予定。</p> <p>○被災した港湾施設の緊急復旧事業等に必要となる潜水士の円滑な手配等を支援。今後も継続して実施する予定。</p>		03-5425-1033 (平野)	
(特社)日本船舶電装協会	東京都港区虎ノ門1-11-2 会長 小田 道人司	<p>○被災地(宮城県気仙沼市)の会員等が業務再開に向けて準備をしていることから、若手経営者を中心とした委員会の有志で、工具、測定機器、資材の支援を行っている。</p> <p>○津波等で流されてしまった、技術関係資料の無償提供</p> <p>△被災された会員への義援金の募集を行う。</p> <p>△被災(地震・津波・浸水)された会員の年会費の免除について、理事会等で検討</p>	<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を日本財団に寄附。併せて会員企業にも協力の要請を行った。</p>	03-3504-0858 (佐藤)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本船舶品質管理協会	東京都千代田区神田佐久間町1-9 会長 山田 信三		○東日本大震災支援基金として公益財団法人日本財団に寄付。(3月下旬に実施)	03-3253-6201 (中平)	
(特社)日本専門新聞協会	東京都港区虎ノ門1-2-12 第2興業ビル 理事長 大塚 一雄		○東日本大震災被災者支援のため義援金を募集し、日本赤十字社へ寄付を行う(3月29日から現在実施中)	03-3597-8881 (川井)	
(特社)日本専門店協会	東京都港区青山2-12-8 荒川ビル 会長 黒川 光博		○協会会員企業に対して、義援金を募集中(～5月31日まで)	03-5411-5351 (元松事務局長)	
(特社)日本造園組合連合会	東京都千代田区神田小川町3-3-2 白井 昇	○当会の東北・北関東地区の支部及び役員を通じて被災状況を確認 ○被災地より支援物資の要望を収集 ○緊急支援物資として被災地から要望のあった大型チェーンソーを20台寄贈 △災害復興のためのボランティアの募集と派遣を検討中 △被災した会員の受け入れを希望する企業の情報収集	△全国の組合員に呼びかけ義援金を募集(4月下旬～5月上旬に現地へ寄附)	03-3293-7577 (坂本)	
(特社)日本造園建設業協会	東京都文京区本郷2-17-17 藤巻 司郎	○東北地方を対象に、当協会の各県支部を通じて被災状況の確認を実施。(3月12日から実施) ○緊急支援物として、下着類を寄附。(3月31日実施) △東北地方の植栽等の被災状況調査(4月8～9日に実施予定) △千葉県内の液状化被害状況調査(4月16日に実施予定) △公共団体から潮害による松等の植栽基盤診断支援依頼。(4月20～23日実施予定)		03-5684-0011 (本間)	
(特社)日本総合書芸院	神奈川県鎌倉市二階堂4-5 会長 仙場 幸男		○東日本大震災緊急支援を募集し、日本赤十字社へ寄付	0467-23-2100 (事務局 松尾)	http://www.svozein.org
(特財)日本造船技術センター	東京都武蔵野市吉祥寺南町1-6-1 吉祥寺スバルビル3階 会長 徳留 健二		○3月18日から4月8日の期間、全役職員に東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、4月15日、日本赤十字社の専用口座に振り込んだ。	0422-40-2822 (志水)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本造船協 力事業者団体連合 会	東京都港区虎ノ門1-11 -2 日本財団第2ビル3階 会長 山口 謙吉	<p>○「支援金専用振込口座」を開設し、3月16日から4月22日までの期間、会員及び従業員に支援金募集の周知を行っている。また、(公財)日本財団の支援金振込口座も併せて周知。</p> <p>△被災地へのボランティアへのマスク等の保護具の援助</p>	<p>○4月14日現在、当会の支援専用口座に集まった17,899,261円を日本財団の支援基金へ寄付。併せて当会より1,000,000円の寄付も行った。</p>	03-5510-3161 (上村)	
(特社)日本惣菜協 会	東京都千代田区麹町4- 5-10 麹町アネックス6階 石田 彌	<p>○会員企業に対し、食料・物資等の協力・支援を依頼</p> <p>○食料等の無償提供 ・各会員各社にて自社製品(ベビーフード、介護食、レトルト等)の提供</p> <p>○緊急通行車両確認標章の円滑な交付のために、農林水産省総合食料局長名の文書を会員企業に配信</p>	<p>○会員及び賛助会員に対し、義援金を募集中(8月31日まで募集)</p>	03-3263-0957 (川中事務局長)	http://souzai.or.jp/page703.html
(特社)日本損害保 険協会	東京都千代田区神田淡 路町2-9 会長 鈴木 久仁	<p>【情報提供活動】</p> <p>○ラジオ、新聞等のマスメディアを通じて、損保各社の相談窓口(電話番号)や地震保険契約会社照会制度の電話番号等を周知している。</p> <p>○当協会ホームページ内に今般の震災に関する損保業界の対応状況等を一覧できるページを新設し、被災者への情報提供を強化している。</p> <p>○避難所に損保各社の相談窓口(電話番号)を記載したポスターを掲示している。</p> <p>【相談対応】</p> <p>○被災者からの損害保険に関する相談に資するべく、3月12日よりそんがいほけん相談室において土日の相談対応を開始した。</p> <p>○被災地において、地震保険金請求手続きに関する避難所への巡回相談を4月15日から実施している。</p> <p>○保険証券を紛失された等、どの保険会社と地震保険を契約しているか不明な方を対象に、契約している会社を調べるために、「地震保険契約会社照会センター」を3月28日に開設し、電話、インターネットを通じて照会できる環境を整備した。(各損害保険会社を通じて照会することも可能)</p> <p>【会員各社を通じた取り組み】</p> <p>○被災者への継続手続き、保険料払い込みの猶予(最長2011年9月末日まで)などの各種特別措置を実施している。</p> <p>○航空写真・衛星写真等を用いた損保各社共同の「全損地域」の認定、お客様の自己申告に基づく損害調査(書面による調査)等、地震保険金の早期支払いに資する対応を実施している。</p> <p>○捺印の省略など、保険金請求手続きの簡素化を実施している。</p>	<p>○義援金(10億円)を日本赤十字社に寄附(4月22日に実施予定)</p> <p>○協会役職員による義捐金(55万円)を日本赤十字社に寄附</p> <p>○ミネラルウォーター(720本)をNPO日本ユニバーサルデザイン研究機構日本ユニバ震災対策チームを通じて被災地に提供</p>	03-3255-1213 総合企画部 企画グループ 金泉 浩二 大道 基嗣	http://www.sonpo.or.jp/
(特社)日本測量協 会	東京都文京区小石川1- 3-4 村井 俊治	<p>○測量関係団体と連携し、「東日本大震災復興測量支援協議会」を設立し、復興測量全般に係る技術に関する助言、測量機器の簡易点検、測量機器及び関係機材の貸与、復興測量に使用するネットワーク型RTK測量の補正データの提供を行う。当協会は協議会の事務局を担う。</p> <p>○上記の協議会活動の一環として、当協会東北支所(仙台)に「復興測量支援センター」を設置し、地方公共団体等が行う復興測量全般に係る技術に関する助言などの業務を行う。</p> <p>○日本分県パズル地図、ハンドタオル、クレヨン等の子供教育用物品を、仙台市科学館及び仙台市内の幼稚園に寄付をした。</p>	<p>○東日本大震災における被災者の復興支援のための義援金を募集し、日本赤十字社及び被災会員へ寄附を行う。(5月末まで募集)</p> <p>○上記に(社)日本測量協会として、300万円の寄付をした。</p> <p>○東京都文京区が募集した「東日本大震災義援金」に協力し、寄付をした。</p>	03-3815-5751 (石田総務部長)	http://www.isurvey.jp/gienkin.pdf

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本損害保険代理業協会	東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビル3階321区 岡部繁樹	<p>○地震保険の証券を紛失してどこの保険会社・代理店で契約したのか分からない契約者の方や、保険会社・代理店が閉鎖しており連絡が取れないといった契約者の方から日本損害保険代理業協会の会員が相談を受けた場合、日本損害保険協会の相談窓口や各損害保険会社の相談窓口を紹介する。(3月31日から実施)</p> <p>○日本損害保険協会が作成した「損害保険に関する相談窓口のお知らせ」ポスターの避難所等への掲示を日本損害保険代理業協会の会員が連携して行う。(3月31日から実施)</p> <p>○損害保険協会では、木造建物(在来軸組工法)および生活用動産(家財)の「一部損」に該当すると見込まれる事案については、従来の現場立会調査に加えて、お客さまの自己申告に基づく損害調査(書面による調査)を導入しているが、自己申告と写真に基づく損害調査について、以下のサポートを行う。(4月8日から実施)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 損害保険会社の指示に基づき、お客さまを訪問して、建物や生活用動産の被害状況を確認・聴取のうえ、自己申告書を記入して署名する。 2. 損害の状況を写真撮影し、自己申告書に添付する。 3. 保険金請求書をお客さまにお渡しする。等。 		03-3201-2745(稲田)	http://www.nihondaikyo.or.jp/news/d110331.html
(特社)日本タートル協会	東京都中野区中央1-43-15-606 古藤 高良		○3月14日 日本タートル協会より、義援金を日本赤十字社へ寄付 △10月中旬 当協会主催の第40回タートルマラソン大会(1万数千人参加予定)の参加料の一部を義援金として寄付予定	03-3363-5331(篠原)	
(特社)日本ダイカスト協会	東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館502 甲斐 宏	<p>○東北・関東地区の会員企業被災状況の確認を実施し、被災企業に対し、被災者向け及び東日本大震災によって緩和された施策などを配信している。(被災中小企業対策、雇用調整助成金の条件緩和等)</p> <p>△被災地域の被災協会会員の会費減免を検討中(月会費の3か月分～1年分を目途)</p>		03-3434-1885 (総務部 矢野)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)日本太鼓連盟	東京都港区赤坂1-2-2 会長 松本 英昭	<p>○5/27(金)東京・草月ホールにて太鼓公演を行う。この公演には、被災地である岩手県から県立大船渡東高等学校太鼓部、宮城県から加茂綱村太鼓を始め全国の太鼓チームが出演し、チャリティ募金を募ることとしている。(入場無料)</p> <p>○復興支援事業は次のとおり。 ・福島県支部:6/26(日)福島県郡山市・郡山ユラックス熱海で「2011ふくしま太鼓フェスティバル」と「第20回東北太鼓フェスティバル」を合同で開催し、文化活動を通して被災された東北地方の皆様の激励と活動の原点を再確認する。 ・兵庫県支部:4/10(日)兵庫県三田市・郷の音ホール広場にて復興支援公演を実施した。 ・千葉県支部:4/16(土)・17(日)千葉県成田市・成田山新勝寺周辺において東日本大災害物故者追悼復興祈願「成田太鼓祭」を実施した。 ・静岡県支部富岳太鼓:5/3(火・祝)静岡県裾野市・裾野市民文化センター大ホールにて復興支援チャリティコンサートを実施した。 ・長野県支部:5月末～6月上旬にチャリティーコンサートとして安曇野地区と上田地区の2会場で同時開催を予定している。 ・6/11(土)立ち上がり宮城 響け！新しい未来へと題し、宮城県石巻市・日和山鹿島御児神社前でコンサートを実施予定。 ・8/21(日)がんばっべし岩手“被災地発～復興行き”絆の響と題し、岩手県宮古市の商店街でコンサートを実施予定。 8/27(土)太鼓インみのわにおいて、被災地チームを招いてチャリティーコンサートの開催を予定している。 ・大阪府支部:7/3(日)京都府木津川市・アスピアやましろにて、東日本大震災支援のために和太鼓まつりの開催を予定している。</p> <p>△被災された太鼓関係者に対する支援金を全国で募り、(3月 15日～)被災の規模が大きい岩手、宮城、福島を中心に支部に対し支援を行う予定。</p>	<p>○各地において街頭募金を行い、当財団や地元の報道機関等を通じて支援する。(現在実施中)</p>	03-6229-5577 (事務局長 大澤 和彦)	http://www.nippon-taiko.or.jp/
(特財)日本ダウン症協会	東京都新宿区西早稲田2-2-8 全国心身障害児福祉財団内 理事長 玉井 邦夫	<p>○安否及び被災状況の情報収集(北海道、青森、岩手、宮城、福島、千葉、液状化地域)</p> <p>○募金専用口座を設けホームページ及び会報で広報</p> <p>○東北各県支部に被災情報を随時収集</p> <p>○本部相談員及び全国各地に委嘱している相談員に震災に伴う心のケアの体制を敷いた。</p> <p>○全ての障害者を支援する為の、ゆめ風基金と連携し情報交換をしている。</p> <p>△臨床心理士である理事長は南三陸地区に出向き状況を把握しケアの対策を検討</p> <p>△「世界ダウン症連合」(Down Syndrome International)を通じて、世界中に広く募金を働きかける事も検討中</p>		03-5287-6418 (事務局長 中塚 幸子)	http://www.idss.or.jp
(特財)日本タオル検査協会	東京都中央区日本橋人形町3-4-5 理事長 堀田 俊彦	<p>○各事務所に募金箱を設置</p>	△義援金の寄附を検討中	03-3663-1091 (増山)	
(特財)日本宝くじ協会	東京都千代田区平河町2-4-9 遠藤 安彦	<p>○本協会が定める災害見舞基準に則り、被災地の青森県、岩手県、宮城県、仙台市、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県及び千葉市に見舞金を贈った。(3月末)</p> <p>△宝くじの社会貢献広報として公益法人等に助成事業を行っているが、事業を被災地に充てられる団体に対しては、その変更を認める方向で検討している。(現時点で具体的な事案はない)</p>		03-3261-8540(児玉)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本ダストコントロール協会	東京都港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル9階 小野木 孝二			〇東日本大震災緊急支援のための義援金を当協会理事長名にて、日本赤十字社へ出捐(平成23年3月25日付で実施)	03-6802-8691(内池)
(特社)日本たばこ協会	東京都港区西新橋3-2-1 Daiwa西新橋ビル フレデリック・テウルドゥ			〇東日本大震災緊急支援のための義援金を、日本赤十字社へ出捐。(平成23年4月25日付で実施)	03-3434-3661 (籠屋)
(特社)日本WHO協会	大阪府大阪市中央区本町橋2-8 関 淳一	〇被災地における健康問題に着目し被災医療機関支援を目的とした東日本大震災義援金募集をHP、メール、社員総会等を通じて呼び掛け、実施している。(3月14日から実施) △機関誌「目でみるWHO」で、被災現地医療機関、ボランティア災害医療、国際的取り組みなど大震災の現場第一線の当事者からの記事の特集する予定で編集を進めている。(6月発刊予定)		〇義援金募集による3月末までの入金約540万円を、被災医療機関支援に取り組んでいる(社)日本病院会に第1回分として拠出済みであり、引き続き義援金募集を継続し6月ごろ第2回拠出を行う予定	06-6944-1110(松村) http://www.japan-who.or.jp
(特財)日本ダム協会	東京都中央区銀座2-14-2 銀座GTビル7F 会長 葉山 莞児	△今後の復興を支援するため、ダム被害と復旧に関して、その解明や対応策について、専門家の知見を得て、「月刊ダム日本」等を通じて公表する。		△日本赤十字社等を通じて寄附を行うことを検討中(支援のための義援金の方策を含む。)	03-3545-8361 (横塚)
(特社)日本タンナーズ協会	兵庫県姫路市豊沢町12-9 あさひビル3階 徳永 耕造			〇東日本大震災緊急支援のための義援金100万円を日本赤十字社へ寄附(平成23年3月18日) 〇更に協会内で義援金を募集中であり、その後、日本赤十字社へ寄附を行う。	079-282-6701 (中野) http://www.tci.iibasan.or.jp/news/2011/04/post_16.html
(特財)日本地図センター	東京都目黒区青葉台4-9-6 野々村 邦夫	〇国土交通省国土地理院の指示により、3月11日以来8次にわたり、被災地域の1:25,000地形図等を首相官邸、内閣府、国土交通省、自衛隊東立川駐屯地等へ搬送した(搬送枚数合計11,310枚)。また、これにより不足した地形図等を追加印刷した。 〇当財団のWebサイトに震災関連の地図・地理空間情報及び電子国土の利用方法に関する特設ページを開設し、現在も随時更新している。 〇当財団が発行している月刊誌「地図中心」5月号(5月10日発行)に国土地理院撮影空中写真、日本地理学会による津波浸水区域の調査結果等を中心とする特集記事を掲載した。また、この号を被災地の学校、地理学研究者等に無償配布した。 〇多くの教材を失った被災地の学校等に対し、国土地理院発行の地形図・図書等を寄贈した。			03-3485-5418 (理事・地図研究所長 津澤 正晴) http://www.imc.or.jp/
(特財)日本チャリティ協会	東京都新宿区本塩町1-7千陽ビル5階 理事長 高木 金次	△当協会が実施する各種イベントに東日本大震災緊急支援策を加え、緊急支援や復興のための義援金の募集や応援メッセージの発信等を実施する。 〇ポスター・チラシ等の媒体に応援メッセージを加える。		〇義援金は東京都共同募金会を通して、被災地に届ける。(4月カルチャースクール開校式で募金開始)	03-3341-0803(事務局 長 山本 貢)

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本中古自動車販売協会連合会	東京都渋谷区代々木3-25-3 10F 会長 澤田 稔		△被災した会員である中古自動車販売店へ6月2日の理事会で承認後、義援金を寄贈予定 △会員である中古自動車販売店に対して義援金を募集しており、4月中にとりまとめ、被災した会員である中古自動車販売店等に寄贈予定 △中古自動車販売店に募金箱を設置しており、ユーザー等から義援金を赤十字等の公的機関に寄贈予定。	03-5333-5881 (永井)	
(特社)日本中小型造船工業会	東京都港区虎ノ門1-15-16 海洋船舶ビル5階 会長 楢垣 清隆	○西日本地区の会員に救援物資(飲物、食料等)の確保を要請し、集まったものから順次被災地に配送(3月15日から実施中)		03-3502-2965 (相本)	
(特財)日本中毒情報センター	茨城県つくば市天久保1-1-1 吉岡 敏治	○震災時の一酸化炭素による中毒事故に関する情報、安定ヨウ素剤に関する情報、ヨウ素を含む消毒剤の誤飲の防止等に関する説明をホームページに掲載、受信相談に応じている。	△職員を中心に東日本大震災緊急支援のための義援金を働き掛けている。	029-856-3566 (本部事務局長 渡邊 憲司)	http://www.i-poison-ic.or.jp
(特社)日本厨房工業会	東京都港区東麻布1-27-8 福島 裕		○東日本大震災復興支援のため、会員企業から義援金を募集(3月24日~4月15日)。後日、日本赤十字社へ寄附する予定。	03-3585-7251 (洪木)	
(特社)日本超音波医学会	東京都千代田区神田淡路町2-23-1 お茶の水センタービル6階 理事長 千田 彰一	○本会のホームページに掲載し、被災地医療支援のための携帯型超音波診断機器の貸与を行っている。		03-6380-3711 (永見 哲男)	http://www.isum.or.jp/
(特社)日本調教師会	茨城県稲敷郡美浦村大字美駒2500-2 JRA美浦トレーニングセンター内 尾形 充弘	○被災地支援競馬の開催を通じた義援金563万円を寄附(3月19日(土)~21日(祝・月)の出走馬1頭あたり1万円を日本赤十字社へ寄附)	○日本赤十字社へ義援金500万円を寄附	077-558-0201 (竹内総務部長)	法人のホームページはなし。 取組内容は、JRAホームページに掲載。 http://www.ira.go.jp/news/201103/032901.html
(特社)日本調査業協会	東京都千代田区神田和泉町1-5-6 竹内 明士	○東北地方太平洋沖地震支援のための義援金を、HP及び認定試験会場で呼び掛け募集(3月17日から実施)	○東北地方太平洋沖地震支援のための義援金については、日本赤十字社を通じて全額寄附を行う(義援金の受付期間終了は未定。3月28日現在、211,550円)。	03-3865-8371(中島)	http://nittyokvo.or.jp/
(特社)日本鋳造協会	東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館501号室 中谷 兼武		○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集(3月16日~4月30日)し、日本赤十字社へ寄附を行う。	03-3432-2991 (早川 浩二)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)日本賃貸住宅管理協会	東京都千代田区麹町5-3-3 三好 修	<p>(特社)全国賃貸住宅経営協会及び協働団体等との連携、協働により東北・北関東地区を重点対象にするとともに全国的な支援活動を展開</p> <p>○当財団の会員による被災状況の確認、救援物資送達を実施(3月12日より実施)</p> <p>○国土交通省の協力要請により、民間賃貸住宅の空室情報提供を開始(3月15日より実施)</p> <p>○当財団の全国の会員にて(特社)全国賃貸住宅経営協会の災害支援サイト(http://www.saigaishienjutaku.com)へ民間賃貸住宅の空室情報を提供中(3月21日からサイト公開)。掲載物件には礼金なし、家賃1ヶ月無料等の優遇措置を取られた物件もあり。</p> <p>○上記サイトの公開に併せてコールセンターを設置、被災者からの入居相談に対応</p> <p>○福島県、宮城県からの協力要請により、県が借り上げる民間賃貸住宅の空室情報を随時提供他県においても情報交換を実施しており、適宜対応予定</p> <p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を、電話・メール・HPその他呼びかけで募集。(10万円以上は日赤等への寄附、10万円未満は被災地での緊急支援物資の支給、生活支援等被災者支援のための活動に使用予定)</p> <p>○顧問弁護士チームによる被災時のためのQ&A。</p> <p>○活動内容のご案内及び被災者支援通信等の発行による、会員への被災者支援協力依頼</p> <p>○会員への現地ボランティアの募集と実施。(建物の損傷確認や事務作業のアシスト等)</p> <p>△上記団体との連携も含め当協会会員有志にて(仮)節電対策部会を開催予定。 賃貸マンションや、アパートの共用部、専用部等々の節電を入居者、オーナーに啓発</p> <p>○地震対策マニュアルの無償提供</p> <p>○メールマガジンにて外国人入居者向け設備のトラブルシューティング提供</p>	<p>△東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社等へ寄附を行う。(寄附は5月中旬)</p>	03-5276-3444 (本田・岡部)	http://www.ijm.jp
(特社)日本ツーバイフォー建築協会	東京都港区虎ノ門1-16-17 会長 小川 修武	<p>○協会に「東北地方太平洋沖地震緊急対策本部」を設立(3/24)。専務理事を本部長とし「応急仮設住宅建設WG」と「被災住宅修繕等支援WG」を設置した。</p> <p>○被災者のための応急仮設住宅の建設について協会会員一同総力をあげて取り組んでいる。</p> <p>○被災住宅修繕等支援のため、学識経験者および技術委員による「地震被災状況調査WG」を組織し、被災地域の建物被害状況の現地調査・分析を行う。</p>		03-5157-0834 (山田)	
(特社)日本通信販売協会	東京都中央区日本橋小舟町3-2 リブラビル2F 会長 宮島 和美	<p>○正会員社に対し、被災地域の顧客に対する商品代金の支払い等に関して、支払い猶予期間を設ける等の適切な配慮を要請(3月14日)</p> <p>△被災地域の消費者、事業者に対して、通信販売という特性を活かした継続的支援について、検討し、実施していく予定</p>	<p>○協会として、社会福祉法人中央共同募金会に対して1,000万円の義援金を拠出(3月17日)</p>	03-5651-1155 (理事・事務局長 万場 徹)	http://www.iadma.org/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)日本釣振興会	東京都中央区八丁堀2-22-8日本フィッシング会館3階 会長 松井義祐	○3月18日より各支部を通じて義援金募集を開始。また、義援金口座開設により義援金の受付開始。日本釣りジャーナリスト協議会を通じ、各誌において義援金募集を告知する。毎月15日までに日本赤十字社へ送金。6月15日までに累計62,431,035円の義援金を送金。また、5月末より「イベント+カンパッジ」の企画で、各地におけるイベントを利用し義援金の募集を行う。義援金に応じてくれた方に、「釣りの思いを復興の力へAnglers AID」と印刷されたカンパッジを提供している。この「カンパッジ」提供のイベントは「釣りビジョン」において常時更新している。	○全国釣具店店頭義援金箱及び義援金受付専用の銀行口座において義援金の募集(3月18日～9月20日)し、集まった義援金は、日本赤十字社へ寄付を行う。	03-3555-3232(多田)	http://www.isafishing.or.jp/info/20110316.html
(特社)日本釣用品工業会	東京都中央区八丁堀2-22-8 島野 容三		○東日本大震災緊急支援のための義援金を当工業会会員に募集し、日本赤十字社へ寄附(4月21日付けで送金済み)	03-3555-0101(館)	http://www.jaftma.or.jp/
(特財)日本データ通信協会	東京都豊島区巢鴨2-11-1 齋藤 忠夫	○大震災発生直後より、様々な内容の震災関連チェーンメールや緊急地震速報等を装って出会系サイトへ誘導したりするような悪質なメールが確認されたことからホームページを通じた注意喚起を実施(3月12日から実施) ○大震災に関連したチェーンメールや悪質なメール等が依然として確認されていたことから、専用の電子メールアドレスを設け情報収集を実施(4月4日から実施) ○専用アドレスで収集したメール情報の分析結果を公表するとともに引続きの注意喚起を実施(4月21日) ○5月22日実施の工事担任者試験を被災等で受験が困難な方に対して、次回試験への振替、試験手数料の返金、受験地変更の措置を実施 ○工事担任者養成課程(eLPIT)について、被災地域及び計画停電地域に在住する受講生に対して、受講期限の延長措置を実施		03-5907-5371(飯沼) 03-5907-6556(試験センター) 03-5907-6169(教務課)	http://www.dekvo.or.jp/soudan/eq http://www.shiken.dekvo.or.jp/news/info/charge/pdf/20110404.pdf http://www.elpit.dekvo.or.jp/elpit/pdf/shinsai20110401.pdf
(特社)日本ディスプレイデザイン協会	東京都千代田区神田錦町2-4 山田 昌之	○東北・北関東地区を重点対象に、当協会の現地会員を通じて被災状況の確認を実施 ○東日本大震災緊急支援のための募金寄付を、メールで呼びかけで募集中(4月1日から実施) ○東北地区会員へ見舞金を支給 △集まった義援金を、どう活用するか、今後は対策委員会を立ち上げ、有意義な活用方法を検討、実施する。 △今後協会で開催するすべてのイベント会場で、来場者より寄付を募る。		03-3259-1661	
(特財)日本デジタル道路地図協会	東京都千代田区平河町1-3-13 泉 堅二郎	○国土地理院が公開している「東北地方道路規制情報集約マップ」の入力・更新作業を支援している。国土地理院が被災地域の各道路管理者から収集した各種資料を基に、当協会が「東北地方道路規制情報集約マップ」の変化情報を日々更新し、国土地理院に送っている。(4月4日から実施) ○協会の保有する「デジタル道路地図データベース」を利用して、協会のホームページにすぐに使える被災地域の地図(道路を中心とした地震前の地図)を公開した。(3月22日実施) ○茨城県がウェブページで公表している「茨城県管理道路の災害・異常気象等による通行止め箇所(仮称)」に最新のデジタル道路地図を提供し、茨城県からの最新情報により随時更新している。4月22日公開開始予定		03-3222-7990(塩野、小田、廣田)	http://www.drm.jp/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本鉄道構内営業中央会	東京都千代田区飯田橋3丁目1番3号 関口ビル4F 大友 佐俊	<p>○日本鉄道構内営業中央会の「災害等のマニュアル」に基づき、東日本大震災日より、県、市、自衛隊、JR東日本、東北電力などの要請により、当中央会の東北支部、新潟支部、高崎支部などが協力し、弁当、おにぎりなどの供食業務を実施しています。</p> <p>○新潟地区(4社) …… 米沢まで、弁当を積み込み、米沢で積み替えて、仙台方面のJR東日本の復旧工事の従業員に提供した。(3月14日から3月19日まで)</p> <p>○米沢地区(2社) …… 石巻、釜石方面の東北電力社員に弁当を提供。(1日3食分)(3月14日から現在も継続中)</p> <p>○仙台地区(1社) …… 自衛隊への弁当、東北電力へのおにぎりを提供。(3月17日より現在も継続中)</p> <p>○郡山地区(1社) …… 市の要請を受け、福島原発関連の避難所へ毎日おにぎりの提供。(現在も継続中)</p> <p>○八戸地区 …… ・市の要請を受け、(3月12日より4日間)避難所(公民館)へ弁当の提供。 ・JR東日本へ(3月11日から3月12日まで)弁当を提供。 ・県の合同庁舎へ弁当の提供。</p> <p>○高崎地区 …… JRからの要請で弁当を提供。(3月11日～3月14日まで)</p>	<p>△全国の中央会会員の弁当にシールを貼り、その代金 一部を義援金として寄付する。 「(例)頑張れ東日本弁当」 5月上旬までにまとめる。</p>	03-3263-6106 (事務局長 沼本 忠次)	
(特社)日本鉄道車両機械技術協会	東京都港区西新橋1-19-4 難波ビル5階 芳賀 恒雄		<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を、当協会の機関誌「R&m」の4～6月号に義援金広告として募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。(3月28日から開始し、4月号は79社応募があり、発刊済みである。4月19日現在で、5月号に35社、6月号に12社応募中で、現在も受付中である。)</p>	03-3593-5611(代) (総務部 大野)	
(特社)日本鉄道電気技術協会	東京都台東区上野2-12-20 NDKロータスビル2階 会長 下前 哲夫		<p>○東日本大震災支援のための義援金を、日本赤十字社を通じ寄付。(5月中旬頃に実施。)</p> <p>○当協会の会員で被災された方を対象に、会誌「鉄道と電気技術」を通じ、全国の会員に義援金の募集を行う。(会誌5月号にその主旨の書面を綴じ込む。)</p>	03-3837-5481 (浦井)	
(特社)日本鉄リサイクル工業会	東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 中辻 恒文		<p>○東日本大震災緊急支援として、義援金300万円を日本赤十字社へ送付。(3月16日実施)</p> <p>○3月15日より所属会員に対して義援金を募集したところ、海外関係機関も含め140件寄せられたことから、日本赤十字社に追加で3,152万円を送付。(3月31日実施)</p> <p>○4月以降も義援金の募集を継続中。4月20日現在で1,000万円近く寄せられており、近日中に日本赤十字社に追加の送付を行う。</p>	03-5695-1541 (渡邊 啓一)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本テレマーケティング協会	東京都千代田区神田東松 松下町35 アキヤマビルディング2 4F 会長 菱沼 千明			〇東日本大震災緊急支援のための義援金100万円を、日本赤十字社へ寄附(3月22日に実施)	03-5289-8891 (大山) http://itasite.or.jp
(特社)日本テレワーク協会	東京都千代田区神田駿河台1-8-11 有馬 利男	〇震災地の復興支援を行うため、協会会員企業がそれぞれ実施している復興支援活動等(無償提供しているサービス等)の一覧を協会HPに掲載し、復興支援に活用してもらう。(平成23年4月22日から実施)			03-5577-4572 (鈴木) http://www.japan-telework.or.jp/
(特社)日本てんかん協会	東京都新宿区西早稲田 2-2-8-4F 鶴井 啓司	〇日本てんかん学会と連携し、被災地に抗てんかん薬を届けるプロジェクトを実施(3月19日に完了) 〇各自治体、マスコミなどを通じて、被災地でてんかんのある人に対して、継続した治療の必要性をメッセージとして発信すると共に、てんかん医療を提供できる医療機関の一覧を公表し、各種制度利用の特例なども情報提供している。 〇災害支援対策本部を設置し、現地支援センターを中心に各県支部の活動と連携を持ちながら、てんかん情報を発信し各種相談を受ける。(4月11日から試行開始) 〇協会会員に対しては、往復葉書作戦として安否確認および今必要としている事柄の確認を実施(3月15日)		〇「東日本大震災支援募金」を実施し、てんかんのある人の復興支援のために使用する。(3月15日～9月30日迄実施)	03-3202-5661(田所) http://www.jea-net.jp
(特社)日本電線工業会	東京都中央区築地1-12-22 吉田 政雄			〇4月27日に臨時理事会を開催して、東日本大震災緊急支援のため、当会資産から義援金を拠出することについて承認を受け、日本赤十字社に寄付	03-3542-6031 (三宅) http://www.icma.jp
(特社)日本伝統俳句協会	東京都港区三田3-4-11 三田三丁目ビル6階 会長 稲畑 汀子			△東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、当協会員被災地へ寄附を行う。(機関誌5月号より募集実施) △日本赤十字社等へも寄附を行う。	03-3454-5191 (坊城・小山)
(特財)日本統計協会	東京都新宿区百人町2-4-6メイト新宿ビル6階 竹内 啓	〇福島県立図書館長からの要望に基づき、当財団発行の月刊誌「統計」を成23年4月号から1年間寄贈する。		△東日本大震災緊急支援のための救援基金を「公益法人協会」を通じ寄附を行う。(5月上旬実施予定)	03-5332-3151 (新倉)
(特社)日本銅センター	東京都台東区上野1-10-10 仙田 貞雄	△被災地の公共・福祉施設や指定文化財などの象徴的建築物修復のため、銅板などの銅製品を寄贈する復旧支援活動を検討する。(実施時期は未定)		△東日本大震災緊急支援のための義援金を日本赤十字社へ寄附予定(5月末までに実施予定)	03-3836-8821 (幸(ゆき))

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本糖尿病協会	東京都千代田区麹町4-2-1 理事長 清野 裕	<p>○インスリン・関連機材供給体制支援 3/14より</p> <p>○患者・医療機関・ボランティアスタッフからの問い合わせ対応フリーダイヤル設置 3/15より開設</p> <p>○受診可能医療機関案内 3/17公開 随時更新</p> <p>○糖尿病患者の避難生活Q&A作成・公開 食事・運動・薬・睡眠・服装等について 3/17公開 随時更新</p> <p>○震災対応活動への寄付金受付 3/17受付開始</p> <p>△医療チーム派遣(スタッフ募集は3/23に開始)</p>		03-3514-1721 0120-151-721 (志原)	http://www.nittokyo.or.jp/
(特財)日本動物愛護協会	東京都港区南青山7-8-1南青山ファーストビル6階 理事長 中川 志郎	<p>財団法人日本動物愛護協会、公益社団法人日本動物福祉協会、公益社団法人日本愛玩動物協会、社団法人日本獣医師会で構成される「緊急災害時動物救援本部」の事務局として、下記の活動に取り組む。</p> <p>○被災地等の動物救援本部等が取り組む動物救援活動への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットフード、ペット用品、医薬品等の支援物資の供給(メーカー、一般市民へ物資の提供をお願いし、被災地へ発送) ・施設収容したペットのケアについての支援 ・被災者と同行避難したペットの一時預かり先紹介 <p>○東日本大震災に係る被災動物の救援活動のための支援金を募集し、動物救援に取り組む現地救援本部、動物愛護NGO・NPO等の申請を受けて、支援金を配布する。</p>		03-3409-1821 (吉野)	http://www.ispca.or.jp/
(特社)日本動物園水族館協会	東京都台東区4-23-1 Oウェラハイツ4階 会長 山本 茂行	<p>○被災園の状況を集約し、支援飼料の輸送、飼育動物の緊急避難等を実施</p>	<p>○被災した動物園水族館を支援するために、見舞金を受け付け</p>	03-3837-0211	http://www.jaza.jp/
(特社)日本動物用医薬品協会	東京都中央区日本橋本町4-6-10 サトービル6階 岡本 雄平	<p>○日本獣医師会からの協力要請を受け動物用医薬品等を地方獣医師会が設置した被災動物救援本部等へ送付(3月31日から実施)</p>	<p>△東日本大震災緊急支援のための義援金を、一般社団法人都道府県畜産振興協議会を通じ法人として寄附予定</p> <p>△東日本大震災に伴う動物救護活動等支援の義援金を、日本獣医師会を通じ法人として寄附予定</p>	03-5204-0440 (伊藤 治)	http://www.ivpa.jp/
(特社)日本動力協会	東京都港区西新橋1-5-8 川手ビル7階 榎本 晃章	<p>○当協会は、世界エネルギー会議(91カ国が加盟)日本国内委員会事務局を兼務していることから、このたびの大震災および福島原子力事故の詳細について、さまざまな形で「情報発信」を行い、日本の置かれた状況の正しい理解促進を図っている。なお、この活動は今後も福島が安定化するまで継続する。</p> <p>例-1)世界エネルギー会議アジア地域会議で「大震災および福島原子力事故の状況」を説明(3月末)</p> <p>例-2)世界エネルギー会議参加91カ国の国内委員会向けに「福島マンスリーレポート」をメール発信(4月末から開始予定)</p> <p>○震災に伴うピーク電力不足に対応するため、電力会社が非常用発電機を火力発電所に設置する一環として、複数のガスタービンおよびディーゼル発電機を米国のリース会社と契約しようとしている。当協会の会員等広範囲なネットワークを通して、米国リース会社から日本の許認可に詳しいコンサルタントを斡旋してほしいとの要請が当協会にあったので適任者を紹介した。</p>		03-3502-1261(鈴木)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本道路建設業協会	東京都中央区八丁堀2-5-1 東京建設会館3F 会長 林田 紀久男	<p>○被災地(9市4町1村)に対する各種資機材(仮設トイレ、発動発電機、散水車等)の設置及び提供</p> <p>○被災者向けの生活物資等(水、食料、衛生用品等)の支援提供 支援量は(2t車 3台、4t車 2台、10t車 1台 分)</p>	<p>○被災者支援のため、協会として会員から義援金の募集を行い、義援金を寄附</p> <p>○協会役職員で義援金を寄附</p>	03-3537-3056 (総務部長 沖田)	
(特財)日本道路交通情報センター	東京都千代田区飯田橋1-5-10 理事長 矢代 隆義	<p>○ 非常災害対策本部を設置し、東日本大震災の直後から被災地や被災地に通じる道路等に関する情報の収集を迅速に行うとともに、電話、ラジオ、テレビ、インターネットを通じて交通障害の発生状況・規制状況・渋滞状況等の交通情報の提供を行い、道路利用者の安全と道路交通の円滑化を図っている。</p>		03-3264-0241(長谷川)	http://www.jartc.or.jp
(特財)日本都市センター	東京都千代田区平河町2-4-1 理事長 松浦幸雄		<p>○3月23日より、日本都市センター会館内において東日本大震災緊急支援のための義援金を募集中。日本赤十字社へ寄附予定</p>	03-5216-8766(声沢)	
(特社)日本図書館協会	東京都中央区新川1-11-14 理事長 塩見 昇	<p>○図書館の被災状況の情報収集と伝達</p> <p>○被災地図書館への支援</p> <p>○被災地会員に対する会費免除</p>	<p>○被災した図書館の復旧、復興を支援するため義援金を募集</p>	03-3523-0811	http://www.soc.nii.ac.jp/ila/
(特社)日本篤工業連合会	東京都港区芝公園3-5-20 会長 中村 常男	<p>○各都道府県連を通じ、会員企業・構成員より義援金を募集中。</p> <p>○北海道・苫小牧篤土木工事業組合が被災地を支援する有志に協力し、11トンの支援物資を集め、被災地へ送った。</p> <p>○当会ホームページに、行政や関連団体より寄せられた震災関連の情報を掲載し、周知を図っている。</p>	<p>△現在募集中の義援金の集計等が終了後に、日本赤十字社へ寄附の予。</p>	03-3434-8805 (事務局長 木野)	http://www.nittobiren.or.jp/
(特社)日本塗料工業会	東京都渋谷区恵比寿3-12-8 河盛 裕三		<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を日本赤十字社へ寄附</p>	03-3443-2011 (家寿多)	http://www.toryo.or.jp

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本内燃力 発電設備協会	東京都港区芝1-5-11 吉田 藤夫	<p>○震災地区に設置されている自家発電設備の、病院等個別の緊急トラブルの対応及び復旧を最優先して実施するように、会員会社に震災直後から指導してきた。</p> <p>○総務省消防庁の「東京電力の需給逼迫による計画停電に伴う防災対策の徹底について」の通達を当協会のホームページに掲載(3月16日)して周知を図るとともに、ユーザー及び会員会社からの問い合わせに対して、防災用発電設備の消防法に基づいた適切な取り扱いを指導してきた。</p> <p>○電力需要緊急対策本部の夏期の電力需給対策の指導に基づく要請文書を会員会社に送付し、電力需要抑制の啓発を図ると共に自主規制の要請を4月末頃までに実施予定。</p> <p>○発電設備専門技術者の更新申請書の提出期限(5月18日)を、被災地区の在住の方について6月30日まで延長することとした。</p> <p>△発電設備専門技術者の資格証を被災により紛失し、再交付を希望する者に対して、再交付手数料(1,050円)を免除する予定。(5月20日理事会の承認を得て実施の予定)</p> <p>△発電設備専門技術者の資格更新について、「やむをえない理由」により1年に限り延長を認めているが、今回の震災により本年度の更新も困難で再度更新延長の申し出をした者には、理由書の提出を義務付けることで、再延期を認める予定。(5月20日理事会の承認を得て実施の予定)</p> <p>△主要官庁及び各地方自治体と調整の上、8~9月頃より非常用発電設備の地震後における稼働状況及び被害状況に関する調査を開始する予定。</p>	<p>△日本赤十字社へ1百万円を寄付する予定(5月20日総会の承認を得て実施予定)</p>		http://www.nega.or.jp/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本内分泌学会	京都府京都市中京区三条通柳馬場西入ル榎屋町75番地 日本生命京都三条ビル3階 理事長 寒川 賢治	○(3月20日より実施、継続中) 甲状腺ホルモン薬の安定供給のための対策委員会(通称T4委員会)を関連する他4学会とともに設立し、国内供給と在庫状況、処方の方、長期処方の自粛等の情報を適宜、医療機関、患者家族及び学会員に提供するとともに、それぞれからの質問に回答している。また、緊急輸入等、厚生労働省への対応もを行っている。		(横谷 進)	http://square.umin.ac.jp/endorcine/
		○(4月22日・23日に実施) 第84回年次学術総会において、緊急特別講演「福島原発事故と甲状腺放射線障害」及び緊急特別シンポジウム「災害と内分泌代謝疾患」(4テーマ)を開催し、学会員その他への情報提供及び啓蒙活動を行った。	○学術総会会期中(4月21日～23日)に義援金の募集を行ったので、日本赤十字社へ寄付を行う。	(松本 俊夫)	http://square.umin.ac.jp/endorcine/hottopics/20110414-84th.pdf
(特財)日本ナショナルトラスト	東京都千代田区麹町4-5 海事センタービル 会長 大塚 陸毅	△東北地域における自然・文化遺産に甚大な被害が及んでいる。その中には、国登録文化財に代表されるように、価値の客観的評価が明確であり、かつ所有者等に保存の意思がある自然・文化遺産にもかかわらず、広域にわたって被災による滅失や損壊に対する支援が及ばないものが少なくない。このような状況を鑑み、国等公共団体による保護が及ばない被災した自然・文化遺産に対して緊急的な復旧・復興に対する支援を実施するため、広く国内外の個人及び団体に募金を募るプロジェクトを行う。(募金期間は、5月から平成24年3月末、実際の助成活動は、平成24年度から行う予定)	○公開保護資産(旧安田楠雄邸、駒井家住宅)にて募金箱を設置。日本赤十字社に義援金として寄附する。(3月から順次実施)	03-6380-8511 (総務課長 根岸 悦子)	http://www.national-trust.or.jp/
(特社)日本ニュービジネス協議会連合会	東京都港区赤坂1-6-8 井上赤坂ビル3階 会長 長谷川 裕一	○当団体所属の各協議会を通して、各会員に義援金協力を呼びかけ(3月16日) ○当団体所属の社団法人関東ニュービジネス協議会より、3月14日、自衛隊支援物資 輸送によりパンの缶詰6,480缶を送付。また、3月17日、日本国際飢餓対策機構仙台前進基地 義援物資輸送により、パンの缶詰1,008缶、パン1,000食、牛乳200ml 1,000本、1ℓ80本、缶コーヒー1,500本、コーヒー牛乳1ℓ75本 パンの缶詰 救世鳥(大きい缶詰)750缶送付 ○当団体所属の東北及び琉球ニュービジネス協議会が、いわき市内に避難場所を確保し、福島第一原子力発電所事故による福島県双葉郡楡葉町の避難者約200名を4月22日頃までに収容予定 ○当団体所属の徳島ニュービジネス協議会会長(阿波製紙(株)社長)が徳島県とタイアップし、水1.5リットルボトル160本、マスク1万枚、毛布百枚を送付 ○当団体所属の徳島ニュービジネス協議会会員((株)河野メリクロン)が、水を1トントラックに載せて宮城県へ直接配送 ○当団体所属の徳島ニュービジネス協議会会員((株)東大)が、宮城県においてラーメン2千食を現地で炊き出し ○要望書「東日本大震災の復旧と、第三次日本復興を実現しよう」及び「津波被害による提言」を内閣府や経済産業省へ提出 ○6月開催の通常総会において、東日本大震災支援のためのチャリティーイベントを開催予定	○各協議会に東日本大震災支援の義援金を募り、1300万円(宮城県に1000万円、岩手県、福島県それぞれに150万ずつ)を寄附(5月16日) ○東北ニュービジネス協議会会長(アイリスオーヤマ(株)社長)より、義援金3億円(宮城県に2億5千万円、仙台市に5千万円)を寄附 ○徳島ニュービジネス協議会会長(阿波製紙(株)社長)より、日本赤十字社を通じ、義援金1千万円寄附。 ○徳島ニュービジネス協議会会員(富田製薬(株))より、日本赤十字社を通じ、義援金1千万円寄附。	03-3584-6077 (専務理事 福田 照雄) (事務局次長 長谷川 景一)	http://www.nbc-japan.net/
(特社)日本ネパール協会	東京都品川区大崎3-6-21 小嶋 光昭	○青森、岩手、山形、秋田、宮城、福島、茨城各県の会員を対象に維持会員系列のガソリンスタンドにて石油・ガソリンの緊急供給を行った。 ○在ネパール大使館へ、日本におけるネパール人の被災状況、対応状況等の情報提供を行った。 ○日本在住ネパール人団体による被災地域ネパール人の救済活動、いわき市での炊き出し活動に協力した。 △6月26日(日)に、協会会長小嶋光昭による被災地支援チャリティー講演会を行う。		03-3491-0314(伊藤)	http://nichine.or.jp

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本農業機械化協会	東京都中央区新川2-6-16 馬事畜産会館内 染 英昭	○農業機械のユーザー、修理整備業者向けの震災対策情報の共有・提供 農業機械化関係者が情報を共有・交換するサイトに、塩水や泥水を被った農業機械の修理回復可能性に関して、修理経験や再度故障の経験を持つ農業者や修理整備業者が情報を提供するページを立ち上げ、被災地の農業機械の保守管理や無用な故障の回避方法、効果的な修理整備に役立つ技術情報を収集し、共有・提供を行うことを準備中		03-3297-5640 (松本)	http://nitinoki.or.jp/
(特社)日本能率協会	東京都港区芝公園3-1-22 会長 山口 範雄	△復興支援の具体的な活動については、被災地のニーズや復旧・復興の現状、小会ができることのマッチング、タイミングを計り、復興支援の本旨に適うような内容の検討を行っている。小会ができることは復興の段階においても、人の育成・教育や情報提供・交流、マネジメントシステムのレベルアップ、産業振興など後々のフェーズであることや、単独での活動には限界があることを踏まえ、効果的な支援内容とすべく検討している。	○日本赤十字社を通じ、100万円の東日本大震災義援金を送った。(3月実施済み)	03-3434-1601 (管理ユニット長 清水 保)	
(特財)日本農林漁業振興会	東京都千代田区神田多町2-9-6 茂木 守	○がんばっている被災県のアンテナショップ情報をホームページで紹介(4月11日(月)から実施)。紹介している県(青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県) ○被災地の復興を支援する一環として、ホームページに被災地産産品を「食べて応援しよう」を掲載し、農林水産省ホームページにリンクすることにした。(4月22日(金)から実施)	○3月25日(金)、日本赤十字社を通じて寄附(20万円) ○解散した財団法人農林弘済会から受け入れた残余財産について、同会からの意向を体し、同財産の1/2相当額(1億7千万円)を、5月27日(金)、政府の義援金窓口を通じて寄附	03-3256-1791 総務部(高橋)	http://www.afsk.jp/
(特社)日本廃棄物コンサルタント協会	東京都千代田区岩本町2-1-20 エステック3F 浦邊 真郎	○本協会の会員企業は、災害廃棄物の処理や廃棄物処理施設の復旧の支援を行うことを見込んでいるため、国の情報を会員会社へ伝えるときに会員の事業実施体制や提案を国に伝える等の情報収集・提供活動を行っている。		03-5822-2774 (岩本 健二)	
(特財)日本博物館協会	東京都千代田区霞が関3-3-1 尚友会館 会長 銭谷 眞美	○博物館施設・資料等の補修経費に対する助成制度を国へ要望 ○被災地県の館園の被害情報を集約しHP上に公開	○地震に際し被害を蒙られた博物館に対して、被害会員館の復旧の一部に寄与し、義援金を募集	03-3591-7190	http://www.i-muse.or.jp/
(特社)日本船用機関連備協会	東京都千代田区神田岩本町4-9 サンディスク神田ビル 会長 冠 信也	○被災地区会員の技術者の受け入れ等について 当協会は、被災された会員と、技術者の受け入れが可能な会員の情報交換を円滑に行うため、技術者の受け入れ可能な会員から、受け入れ可能な技術者の人数、時期・期間などについて当協会また東北支部に連絡頂き、被災会員に連絡する。直接情報交換が行えるようホームページにも掲載		03-3256-0141 (鹿股)	
(特社)日本船用工業会	東京都港区虎ノ門1-15-16 海洋船舶ビル6階 会長 赤阪 全七	○東北・北関東地区を対象に、会員の被災状況等について確認し、それらを踏まえ、工場等が被災した会員(普通会员12社、賛助会員1社)の東京近辺の事務所を回って被災状況の詳細、今後の対応等についてヒアリングを行うとともに、見舞金を配布。(4月11日、12日実施)	○日本財団が東日本大震災緊急支援のための義援金募集活動を行われているので、工業会も募金するとともに、工業会会員に向け協力依頼の文書を発送した。(3月17日実施)	03-3502-2041 (森山)	
(特社)日本馬術連盟	東京都中央区新川2-6-16 千 玄室	○馬関連施設の被災状況を調査し、飼料の提供や馬の受入れ、輸送支援を実施(3月12日から実施) ○義援金を募集し、集まった600万円強に当法人から上乘せして1千万円とし、被災した馬牧場に復興支援として拠出	○被災地の乗馬クラブに対し見舞金(緊急支援物資代)として200万円を拠出	03-3297-5611 (小南事務局長)	http://www.equitation-japan.com

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本パッケージデザイン協会	東京都文京区本郷3-4-3 ヒルズ884ビル 6階 理事長 笹田 史仁	<p>○山形・新潟、茨城の法人・個人会員の無事を3月14日の週に確認。</p> <p>○3月18日からJPDA全会員を対象に、東日本大震災による被災者を対象とする「救済募金」をメールとFAXで3月末を目標に呼びかけた。</p> <p>○その結果、法人・個人会員を合わせた123件にJPDAからの308,140円を加え、合計504万円の義援金を集めることができた。</p>	<p>○協会及び法人・個人会員有志から寄せられた124件・504万円の義援金を下記の4カ所に各々126万円を寄託した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮城県保健福祉部社会福祉課 ・岩手県保健福祉部社会福祉企画課 ・福島県保健福祉部社会福祉課 ・日本赤十字社 <p>○併せて、宮城県、岩手県、福島県の担当窓口宛に復興祈願と義援金の寄託趣旨を文書で郵送した。</p>	03-3815-2723 (JPDA事務局 山崎次郎太)	
(特社)日本発達障害福祉連盟	東京都北区中里1-9-10/ レドール六義園北402号室 金子 健	<p>○東日本大震災緊急支援のための募金寄付を、HP・情報誌その他呼びかけで募集</p> <p>○機関紙で被災地情報と支援について特集する。</p> <p>△その他の支援については、計画中</p>		03-5814-0391 (清水)	
(特社)日本ばね工業会	東京都千代田区神田美倉町12 天木 武彦	<p>○被災者避難用住宅として会員会社の社宅、社員寮を提供している。</p>	△会員等から募金、法人としての義援金を検討中	03-3251-5234 (赤瀬)	http://www.spring.or.jp
(特社)日本パブリックリレーションズ協会	東京都港区六本木6-2-31 六本木ヒルズノースタワー 5F 片山 道憲	<p>○東日本大震災支援のため、協会として、協会会員、PRプランナー資格保持者に対し、支援募金協力をお願いをし、『東日本大震災支援募金』として開始した。</p> <p>△今回の大震災から続く一連の動きを「クライスマネジメント」の事例として捉え、総括してしるべき形で共有・発信すべきと考えている。現在、「震災事例検証プロジェクト」(仮)を立ち上げ、今後検討していく。</p> <p>※ 蛇足ですが、当協会会員会社はそれぞれ各社で支援活動・義援金募金をされておりましてご連絡させていただきます。</p>	△左記の支援募金を4月末日で締め切り、その後送付先等を5月度理事会で決める予定	03-5413-6760 (事務局長 田門)	
(特社)日本パラグアイ協会	東京都千代田区九段南2-4-13 九段光ビル9階 鮫島 絨男		<p>○義援金募集</p> <p>○募金活動で集められた義援金は、日本赤十字社を通じて被災地に送付予定。</p>	045-778-5178 (事務局長 岡山)	http://www.paraguav.or.jp/index.html

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本バリュー・エンジニアリング協会	東京都世田谷区駒沢1-1 真井ビル6階 瀬口 龍一	○震災時に役立った「バリュー・エンジニアリング(VE)」の事例として、新潟県中越地震の時に避難所での生活を余議なくされた被災者のために紙の家を建てる運動が進められた事例を弊会のホームページで紹介(3月下旬に開始)	○東日本大震災緊急支援のための義援金として、積立金の一部を弊会の職員親睦会から日本赤十字社へ寄附(3月末に実施) ○東日本大震災緊急支援のための義援金として、弊会から日本赤十字社へ寄附を行う(4月末に実施) ○東日本大震災緊急支援のための義援金を弊会に來会の会員・取引先・職員等から募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。(募金中) △海外の関係団体から寄せられた義援金を日本赤十字社へ寄附。(6月末に実施の予定) △仙台市での講座を東日本大震災復興支援講座として開催し、受講料収入の全額を義援金として日本赤十字社へ寄附。(7月末に講座開催の予定)	03-5430-4488 (鈴木)	http://www.sive.org/topics/entry/438/
(特社)日本バルブ工業会	東京都港区芝公園3-5-8 会長 田淵 宏政		○東日本大震災緊急支援のための当工業会会員を対称に義援金を募集中、日本赤十字社へ寄附を行う。(3月25日より実施)	03-3434-1811 (海上)	http://WWW.i-valve.or.jp ※ただし、会員専用サイトでの掲載のため、会員以外は見学不可
(特社)日本パレット協会	東京都中央区銀座1-20-11 銀座120ビル5F 岡田 和夫	○会員企業の複数社が取扱商品を提供:プラスチック成型品、通信機器:PHS、荷崩防止材 △会員企業の複数社が取扱商品を提供:パレット類(要望があれば適宜出庫可能)	○会員企業が義援金1000万円を地元新聞社に寄託	03-3538-4774 (岸波)	http://www.jp-pallet.or.jp/
(特社)日本版画協会	東京都杉並区高円寺南4-51-1 理事長 中林 忠良	○会員・準会員より版画作品を募り、「東日本大震災支援 チャリティー版画即売会」を開催。会場は南天子画廊(京橋)、日程 2011年5月20日・21日。	△この即売会の売り上げの全ては、被災地で不足している美術・図工教材を購入して寄附することや、義援金として寄附することを検討している。	03-6379-9596 (事務局 結城 泰介)	http://www.hangakyokai.com
(特社)日本パン技術研究所	東京都江戸川区西葛西6-19-6 パン科学会館 佐々木 堯		○東日本大震災緊急支援のための義援金100万円を3月31日付けで日本赤十字社へ寄附	03-3689-7571 (専務理事 飯島 功)	
(特社)日本ハンバーグ・ハンバーガー協会	東京都千代田区内神田3-4-3 伊田ビル4F 櫻田 厚	○会員等向け震災関連情報の提供 会員に対して、震災による食品衛生法等の特例措置に関する情報や国等が実施している被災地復興のための支援対策などについて情報提供を行っている。	○物資の支援の実施 被災地に向け、物資(会員が提供したレトルト製品・缶詰ほか)の支援を日本ハム・ソーセイジ工業協同組合と協力して実施(3月30日から実施)	03-5207-6591 (橋本)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本ピアノ調律師協会	東京都千代田区外神田 2-18-21 楽器会館5F 会長 稲村 晴光	<p>○「東北地方太平洋沖地震義援募金」として、4月に実施されている「4月4日はピアノ調律の日記念コンサート」11会場にて、ホール、出入での募金活動を行い、該当地区(札幌・弘前・飯田・東京・浜松・岐阜・金沢・大阪・広島・高知・福岡)の地元新聞社社会福祉事業団等を通じ日本赤十字社へ寄託(4月3日～4月30日)</p> <p>○(社)日本ピアノ調律師協会東北支部会員被災者に対する「東北地方太平洋沖地震JPTA募金」を(社)日本ピアノ調律師協会会員を対象に実施した。</p>	<p>○既に一部会場は地元新聞社社会福祉事業団等を通じ日本赤十字社へ寄託済</p> <p>△義援金は東北支部及び関東支部を通じ、被災者に配布予定</p>	03-3255-3897 (事務局 倉橋 義治)	
(特社)日本皮革産業連合会	東京都台東区駒形1-1 2-13 皮革健保会館7階 大澤 重見		○義援金100万円を寄附(4月に実施済み)	03-3847-1451 (柿崎)	http://www.ilia.or.jp/
(特社)日本飛行連盟	東京都港区新橋1-18 -1 中澤 愛一郎	<p>○赤十字飛行隊 3/19 日本赤十字社の依頼により、岡南飛行場から花巻空港まで物資輸送(医薬品、衛生材料) 物資調達(小倉支隊)、機体提供(熊本支隊)、燃料提供(沖縄支隊)、パイロット(岡山支隊)</p> <p>○赤十字飛行隊 3/24 日赤岩手県支部の依頼により、岡南飛行場から花巻空港まで物資輸送(ヘルメット100人分、マスク15,000枚輸送) 物資調達(小倉支隊)、機体提供(熊本支隊)、燃料提供(沖縄支隊)、パイロット(岡山支隊)</p> <p>○赤十字飛行隊 3/27 北九州空港から岡南飛行場まで物資輸送(歯ブラシ4,700本)(小倉支隊)、岡南飛行場から花巻空港まで輸送(岡山支隊)</p> <p>○赤十字飛行隊 3/16 茨城県河内町の依頼により被害状況調査飛行(大利根支隊)</p> <p>○赤十字飛行隊 4/10 日赤群馬県支部の依頼により関東地方被害状況調査飛行(群馬ヘリ支隊)</p> <p>△日本赤十字社からの依頼が有り次第、随時飛行体制を整えている</p> <p>△各自治体より依頼があった場合、隊長命令で飛行予定</p> <p>△隊員の自発的な活動意志があった時、その内容を隊長が精査し、活動予定</p>	○茨城県稲敷郡河内町に、東日本大震災に緊急支援のため、当社団及び(株)モーターグライダークラブ、会員より寄付金。	03-6268-8755 (夏目、加藤)	
(特社)日本秘書協会	東京都港区六本木6-2- 31 六本木ヒルズノースタ ワー5F 理事長 石川 愛		○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附(3月25日～6月30日まで実施)	03-5772-0701(事務局 長 安居院(あぐい))	http://www.hishokukai.or.jp/
(特社)日本PTA全国協議会	東京都港区赤坂7-5- 38 会長 相川 敬		○震災に伴う災害義援金を募集。被災地の県(政令市)PTAを通じて、被害を受けた子どもを中心とする教育関係の支援に役立てていただく予定	03-5545-7151	http://www.nippon-pta.or.jp/index.html

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本非破壊 検査工業会	東京都千代田区内神田2 -8-1 理事長 松村 康人	<p>○東北・北関東地区を重点対象に、当該地区所在の会員各社及び当該地区の原子力・火力発電等のプラントの定修・検査業務に派遣従事している会員各社の被災状況等の情報収集(3月14日から実施)</p> <p>○福島原発事故対策に関連する機器等の提供や検査点検の支援(関係先からの要請に基づき個別対応) ○被災者支援のため、当工業会主催の資格認証試験の受験期間延長の特別措置を実施</p> <p>△東日本大震災被災者・被災地の救援・復興支援のための義援金募集(HP・メール・イベント会場で呼びかけ)</p>	<p>○配筋探査技術者資格認証試験の受験期間の延長措置を実施(4月6日HPで公表)</p> <p>△東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。(5月1日から実施予定)</p>	電話03-5207-5960 (専務理事 森永紘 治、佐久間郁子)	http://www.jandt.or.jp/
(特社)日本皮膚科 学会	東京都文京区本郷4-1 -4 理事長 飯島 正文	<p>○震災数日後より、宮城県沿岸部の病院等の視察、医療支援や支援物資配布等の活動を行った。</p> <p>○被災地への皮膚科診療支援について予備調査を行い、その結果、皮膚科の診療を必要としておられる被災者が多数存在することがわかった。そこで、薬剤、機材等を手配し、全国からボランティア医師を募集し、4月20日より3泊4日(移動日含む)を1活動期間として、医師4~5名でタクシーをチャーターし、宮城県沿岸部を中心に診療活動を開始した。今回の計画では、8活動期間(8週)まで計画している。(4月20日より実施)</p> <p>△8週間後の医療支援の可否については、現地の状況により判断することとした。</p> <p>△岩手県、福島県等への医療支援については、現地の大学等の要請に基づき順次検討してゆく。</p>	<p>△現地の医療機関の被害状況を東部支部を中心に調査中であり、今後被害の状況に基づき支援等を検討する。</p>	03-3811-5099 (由利 史枝)	http://www.dermatol.or.jp
(特社)日本病院会	東京都千代田区一番町 13-3 会長 堺 常雄	<p>○3月11日に日本病院会災害対策本部を設置し、会員への調査等により被災地域の情報収集等を実施している。</p> <p>○3月28日に災害対策本部に「転院希望患者受入窓口」を設置した。</p> <p>○本会ホームページに、大震災に対する情報発信ページを設置し、災害対策本部より得られた情報、被災病院からの転院希望患者の受入情報(診療科別・男女別・重傷度別)等を掲載し、グーグルマップやグーグルアースを利用した地理情報システム(GIS)により、地図上から被災病院の位置や情報を公開している。</p> <p>○民主党の「東北関東大震災被災者健康対策チーム」に本会の副会長が参画し、上記GIS情報や各種情報を提供することにより、重要な検討資料として扱われている。また、被災地では現行法規による規制に苦慮していたことから、病院としての要望を行い、超法規的な措置が講じられることとなった。</p> <p>△今回の震災は津波による被害が大きく、地域の機能自体が喪失していることから、医療を含め教育や雇用等の地域の再生が重要な課題となる。そもそも医師不足等で地域医療が崩壊していた地域でもあることから、医療機能の復活には様々な問題が山積している。今後、中長期的な対応が迫られることから、日本を代表する病院団体として本会が主導的な役割を果しつつ、各病院団体及び行政との緊密な連携を行ない、対応していくこととしている。(随時必要に応じて進めていく)</p>	<p>○3月16日より東日本大震災緊急支援のための義援金の募集を実施している。用途については今後検討する。</p>	03-3265-0077 (災害対策本部 副本 部長 横山 直一(事 務局長))	http://www.hospital.or.jp
(特財)日本病院管 理教育協会	東京都千代田区飯田 橋4-4-9-606 神津 康雄	<p>○被災された受験者に対する資格認定試験受験料・認定料の免除または減額化</p> <p>○被災された資格取得者に対する認定証再発行無料化</p>		03-3263-8216 (櫻井)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本病院寝具協会	東京都中央区日本橋兜町16-5Y'sビル8階 理事長 安道 光二	○東日本大震災に伴う被災地への支援物資(毛布、シーツ等寝具類)の提供について、会員から寄附を募り3月18日に毛布1,000枚を政府災害対策本部を通じて宮城県災害対策本部へ送付	△東日本大震災緊急支援のため、義援金を日本赤十字社へ寄附の予定(5月中)	03-5623-0321 (専務理事 堀)	
(特社)日本病院薬剤師会	東京都渋谷区2-12-15 日本薬学会長井記念館8階 堀内 龍也	○岩手県、宮城県、福島県などを対象に、病院薬剤師ボランティアを派遣し、病院の薬剤部または避難所における医療チームの一員として薬剤業務をおこなっている。 ○東日本大震災緊急支援のための義援金を会員から募集しており、今後病院薬剤師及び被災地の医療復興活動に役立てる予定。		03-3406-0485(安岡)	
(特財)日本肥糧検定協会	東京都板橋区宮本町39-14 池田 誠		○東日本大震災支援のため、協会拠出及び役員員の任意拠出による義援金をとりまとめ、日本赤十字社を通じて15万円の寄附を行った。(4月27日実施)	03-5916-3833 (総務チーム鈴木)	
(特社)日本ビルディング協会連合会	東京都千代田区大手町1-6-1 高木 丈太郎		○東日本大震災緊急支援のため会員より義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附。(4月15日締め切りにて実施) ○会員あてに救援物資等を被災地へ寄託の呼びかけ	03-3212-7845 (渋谷)	
(特社)日本ファシリティマネジメント推進協会	東京都中央区日本橋浜町2-13-6 浜町ビル6階 会長 坂本 春生	○ファシリティマネジャーのための情報一覧サイトの開設 被災地の復興に取り組む、その他の地域で事業継続・再開に取り組む等のファシリティマネジャーや一般の人々のために、震災に関連する各種情報サイトを一覧にし、検索を簡便にした。各種情報の主なものは、政府・省庁の発表、自治体の発表、地震・津波・火災等による被災状況、道路・鉄道等インフラの被災状況・復旧状況、節電・計画停電関連、原子力発電所の損傷及び復旧状況、各地の放射線量、被爆した場合の症状と治療、避難所におけるストレスや過労対策、各種学会等 ○夏の電力不足に向けて節電セミナーの実施(4月18日、26日) 企業や自治体に向けて、夏の電力不足に備えて準備を進めるために、企業等における節電の取組の事例紹介を通じて、各種ノウハウを提示する。 △ファシリティマネジャーのための質問・相談コーナーの開設 被災地の復興に取り組む、その他の地域で事業継続・再開に取り組む等のファシリティマネジャーや一般の人々のために、質問や相談を受け付け、それらに対して、専門の識者や経験者が応じるコーナーを、ホームページに開設する。 △被災時・後の事業継続のための各種調査・研究 当協会には、リスクマネジメント、病院等医療施設や学校等教育施設の維持・保全、自治体関係者の集まる公共施設の対策等を検討する調査・研究部会があり、これらを通じて、全体的、個別的に、被災時のリスク最小化、被災後の事業継続や早期の事業再開を可能とするために、調査・研究を行い、提言を発する。		03-6912-1177 (事務局長 池田、企画部長 荻原)	http://www.ifma.or.jp/index.htm

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本フィットネス産業協会	東京都千代田区鍛冶町2-2-3 第3櫻井ビル6F 藤原 達治郎	<p>△災害時、運動指導者として出来る援助活動のスキルを講習会形式で6月15日(水)に実施する。講習会終了後、講座内容を災害時運動指導者活動テキストとしてまとめる。</p> <p>共同主催団体:(財)健康・体力づくり事業財団、(社)日本フィットネス協会、(NPO)NSCAジャパン、(NPO)日本健康運動指導士会、(社)日本フィットネス産業協会</p>	<p>△先に記載した講習会の受講費は全額義援金として日本赤十字社へ寄付することとする。</p>	03-5207-6107 (杖崎)	http://www.health-net.or.jp/shikaku/pdf/charityseminar.pdf
(特財)日本フィルハーモニー交響楽団	東京都杉並区梅里1-6-1 理事長 島田 晴雄	<p>○4月6日福島県浪江町住民の避難地(二本松市東和地区)で慰問演奏 Vn・Va・Tbのメンバーと事務局3名が参加。香港公演の関係者から預かった乾電池を届けた。</p> <p>○4月7日クラブツーリズム主催公演にて義援金募金</p> <p>○「被災地に音楽を、日本フィルメンバーを送ってください」アピール。4月16日横浜定期 募金77万円、4月17日名曲コンサート 募金47万円。</p> <p>○5月4日福島県大熊町が避難している会津若松で文化センターエントランスで演奏を行う予定</p> <p>○5月5日、宮城県多賀城市文化センターで「子供の日」にイベントを予定</p> <p>○5月6日福島県双葉町の子ども100人が通っている騎西小学校で演奏を行う予定</p> <p>○6月19日 仙台フィルのメンバーを呼び、大宮ソニックシティでチャリティコンサートを予定</p> <p>△旧騎西高校に避難した福島県双葉町の小中学生が4月に騎西小中学校に編入したので、学校の体育館で訪問コンサートの可能性を探っている。</p> <p>△4月29日にバン格拉ディッシュの方達が南三陸町でカレーの炊き出しをするので、音楽も一緒に届けてはどうかとの意見があり、コンサートの可能性を探っている。</p> <p>△柏崎コミュニティセンターに600名位の福島県原発近く(いわき?)の人が4月末まで避難しており、5月には旅館など市内に分散していくので、地域センターでコンサートができないか可能性を探っている。</p> <p>△その他チャリティ公演ができないか検討をしている。</p>	<p>○日本赤十字社へ343,985円を寄附。</p>	03-5378-6311	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本福祉用具供給協会	東京都千代田区三崎町 3-6-13-3 山下 一平	<p>○会員企業より被災した地域の自治体へ無償提供できる福祉用具の在庫数把握調査を実施。配布先・送付方法等については、現在老健局振興課福祉用具・住宅改修係と協議中</p> <p>○岩手・宮城・福島の三県について、社会援護局障害保健福祉部企画課自立支援振興室社会参加支援係の要望を受けて、当協会は障害者等福祉用具支援本部の構成員となり、福祉用具給付に関する現地コーディネーターとして、当協会の会員企業を紹介。社会参加支援係より事務連絡を4月13日に発出済</p>	<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。(3月24日付で会員に対して募集、4月28日(木)まで受け付け)</p>	03-3234-8281(中村)	http://www.fukushiyogu.or.jp/
(特社)日本フードサービス協会	東京都港区浜松町1-29-6 浜松町セントラルビル10F 佐竹 力總	<p>○会員企業に対し、食料・物資等の協力・支援を依頼</p> <p>○農林水産省と連携し、会員企業が提供する支援物資搬送のサポート、及び、炊き出し実施場所の斡旋・調整の実施</p> <p>○緊急通行車両確認標章の円滑な交付のために、農林水産省総合食料局長名の文書を会員企業に配信</p> <p>○農産物の風評被害を防止するために、「○○産の食品を使用していません」等の誤解を招く表示を行わないよう会員企業に対し注意喚起</p> <p>△会員企業の協力を得て協会による炊き出し支援の実施(5月~6月)</p> <p>△農産物の風評被害を防止するとともに、農産物等の産地を支援するため、被災地域の食材・食品を積極的に利用する活動を展開</p>	<p>○会員店舗に対し救援募金箱の設置を呼びかけ(4月20日一次とりまとめ)</p> <p>○被災県に対し、取りまとめた救援募金を贈呈(第1弾・計8000万円。内訳は、岩手県:2400万円、宮城県:2800万円、福島県:2800万円。)(5月25日)</p>	03-5403-1060 (田村・石井)	http://www.ifnet.or.jp/files/touhoku-shien.html
(特社)日本不動産鑑定協会	東京都港区虎ノ門3-11-15 SVAX TTビル 神戸 富吉	<p>○震災無料相談会を実施(岩手県及び宮城県において、4月初旬に実施済)。今後における別開催についても検討中</p> <p>○平成23年度「不動産鑑定評価の日」記念講演会において、募金活動を実施(4月11日)</p> <p>○東日本大震災のHPを開設(3月15日)</p> <p>○当協会のHPで「企業等からの地方自治体等への寄付の方法について」を広報している。</p>	<p>○東日本大震災の被災者のための義援金として、日本赤十字社へ300万円の寄付を行った。</p>	03-3434-2301 (総務課 小野田)	http://www.fudousan-kanteishi.or.jp/index.html
(特社)日本フランチャイズチェーン協会	東京都港区虎ノ門3-6-2 第2秋山ビル 会長 土方 清		<p>○協会会員企業に対して、義援金を募集中(日本赤十字社へ寄附予定)(3月17日~4月30日まで)</p>	03-5777-8701 (大久村総務部長)	
(特社)日本プロジェクト産業協議会	東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 鉄鋼会館6階 三村 明夫	<p>△当会の「日本創生委員会」内に、臨時タスクフォースとして特別委員会「(仮称)復興~未来創生特別委員会」を4月21日に新設</p> <p>1. 目的: 未曾有の大震災、国難。「日本創生委員会」は、今後我が国の浮沈を賭けて取り組むべき「震災復興」及び「日本経済復興」について、JAPIC関連委員会、外部有識者と協力・協働し、総力挙げて検討を行い、政府・関係機関等に提案・提言すると共に、その実現に向けて活動する。</p> <p>2. 時期: 平成23年4月21日より1年間程度</p> <p>3. 具体テーマ: 特別委員会にて詳細決定(例: 災害廃棄物量推計と処分方法、水力ダム統合運用等、沿岸漁業の復活について対策案、被災地流木の対策案、等)</p>	<p>○3月23日、岩手県災害義援金募集委員会、宮城県災害対策本部、福島県災害対策本部に10万円ずつ義援金を送った。</p>	03-3668-2885 (小奈 聡)	http://www.japic.org/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本ペストコントロール協会	東京都千代田区神田鍛冶町3-3-4 川口 惟敏	<p>○罹災地域以外の全国の会員に向け、東日本大震災緊急支援のための義援金を募集中(3月15日から実施)</p> <p>○海外の同様な団体に、防疫関係活動のための援助を要請、現在義援金など募集中(4月6日から実施)</p> <p>○津波を受けた地域では時間の経過・気温の上昇により、ハエ・ネズミ等衛生害虫の発生や感染症の蔓延が懸念されるため、ベストコントロールの専門知識を生かした各種対応を行っている。</p> <p>○罹災地域行政機関の求めに応じ、防疫・消毒作業についての相談対応や準備にあたっている。(岩手県大船渡市、宮城県石巻市、女川町など)</p> <p>○被災した小中学校の殺菌作業および市内の殺菌作業を50日間の予定で開始(宮城県石巻市:4/19日から実施中)</p> <p>○被災地行政機関へ避難者用の手指消毒剤を寄贈</p> <p>○当協会主導により被災地の防疫調査チームを5月5日～8日に派遣。メンバーは当協会以外に国立感染症研究所、JICA(国際協力機構)。現地で活動するNGO公益社団法人日本国際民間協力会(NICCO)等とも連携しながら、津波被害を受けた地域の瓦礫や廃墟、打ち上げられている魚類等からの害虫発生状況等を調査</p>		03-5207-6321(茂手木)	http://www.pestcontrol.or.jp/
(特財)日本蛇族学術研究所	群馬県太田市藪塚町33-18 穂山利一	<p>○当財団が運営する施設「ジャパンスネークセンター」への入場について、被災者については入場料を半額にして対応中(4月15日より実施、終了時期は未定)</p>		0277-78-5193 (鳥羽 通久)	http://snake-center.com/
(特社)日本ペンクラブ	東京都中央区日本橋兜町20-3 会長 阿刀田 高	<p>△被災地の子どもたちが、避難所の外で楽しい時間を過ごせるように、移動図書館車を使って本を届けるプロジェクト<あしたの本>を、日本国際児童図書評議会(JBBY)と出版文化産業振興財団(JPIC)と3団体共同で計画(6月下旬に始動の予定)</p>	<p>△日本ペンクラブ有志の会として、会員から寄付を募り、左記の<あしたの本>プロジェクトの経費に充当するほか、一部を日本赤十字社へ寄付を行う。(5月下旬に実施予定)</p>	03-5614-5391 (宮川 慶子)	
(特社)日本べんとう振興協会	東京都新宿区四谷2-8 安田 定明	<p>○会員企業に対し、食料・物資等の協力・支援を依頼</p> <p>○食料等の無償提供 ・各会員各社にて自社製品(レトルト食品、精米等)の提供</p> <p>○緊急通行車両確認標章の円滑な交付のために、農林水産省総合食料局長名の文書を会員企業に配信</p>		03-3356-1575 つのだ (角田事務局長)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本保安用品協会	東京都文京区湯島2-3-1-15 和光湯島ビル 会長 酒井 真一	<p>○東北地方太平洋沖地震による震災により被害を受けた建物等の解体等の安全を確保するため、防じんマスク等の保護具を被災地の各労働局等に無償提供を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年3月31日 使い捨て式防じんマスク 21,500枚(岩手県労働局他5局) ・平成23年4月 6日 使い捨て式防じんマスク 70,000枚(宮城県労働局他5局) ・平成23年4月 8日 使い捨て式防じんマスク 800枚(岩手県労働局及び宮城県労働局) ・平成23年4月20日 安全靴、安全ゴム長靴 350足(岩手県労働局及び宮城県労働局) 防じんゴーグル 500個(同 上) 皮革製作業手袋 240双(同 上) ヘルメット(保護帽) 400個(同 上) 腰痛防止ベルト 100本(同 上) 作業服(上下) 100着(同 上) 折りたたみ式バケツ 100個(同 上) <p>・平成23年4月21日(予定) 使い捨て式防じんマスク、サージカルマスク 32,400枚(岩手県環境生活部環境保全課他5県担当部署)</p>		03-5804-3125 (小島 道夫、御須 孝)	
(特社)日本ボイラ整備据付協会	東京都千代田区神田 佐久間町3-37-4 会長 梅田 昇一			△東日本大震災支援のための義援金を宮城県災害対策本部に寄附予定	03-5687-2881 (木村)
(特社)日本貿易会	東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル 会長 楠田 松壁	<p>○義援金の呼びかけ、情報交換</p> <p>○会員企業各社で薬品等支援物資の提供を実施</p> <p>○外国救援隊の通訳の申し入れ(本会が母体となって設立したNPO法人国際社会貢献センターにて地方自治体に申し入れ)</p> <p>△会員企業において東日本大震災緊急支援のための社内募金活動を実施(3月~)</p> <p>△日本貿易会事務局内において、東日本大震災被災地の子供向け支援物資を募集。地元NPOへの寄付を予定(4月)</p>	<p>○会員企業各社で義捐金24億円の提供を実施(3月24日現在)</p> <p>○日本貿易会事務局内において東日本大震災緊急支援の募金活動を実施。国連WFP協会へ寄附(4月)</p>	03-3435-5952(総務グループ 蟹田)	
(特財)日本貿易関係手続簡易化協会	東京都中央区八丁堀2-29-11 楠田 松壁	<p>○当協会が発給・管理している、我が国における輸出入業務を行う当事者を特定する上で最も基本的なコードである「日本輸出入者標準コード」にかかる更新期限を次のとおりとしている。被災地域として指定されている「茨城」「福島」「宮城」「岩手」「青森」の5県に所在する当該コードの既登録者のうち、平成23年3月から平成24年2月までの間に更新期限が到来する者については、当面1年間の期間について更新期限の延長措置を講ずることとしている。</p>	<p>○東日本大震災支援のため募金を募り、日本財団東日本大震災支援基金に寄付</p>	03-3555-6031(小澤)	http://www.jastpro.org
(特財)日本防火協会	東京都港区虎ノ門2-9-16 秋本 敏文	<p>○東日本大震災の被災地で、避難民等の支援活動を行っている、岩手、宮城、福島各県婦人防火クラブ(民間防火組織)に対する活動支援のため、文書、HPを通じて支援金を募集し、当面の措置として三県に各450万円を送金。支援金は引き続き募集</p> <p>○全国の婦人防火クラブと東日本大震災に関する支援活動について情報交換を積極的に行った。</p> <p>○東日本大震災の被災地で、避難民等の支援活動を行っている、岩手、宮城、福島、青森及び茨城の各県婦人防火クラブ(民間防火組織)に対し、当日本防火協会から活動支援金80万円を送付した。</p> <p>○被災地に問い合わせ、岩手、宮城、福島に必要支援物資各50万円分相当を送付した。</p>		03-3591-7121 (振興部 富田)	http://www.n-bouka.or.jp/pdf/sienkin.pdf

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)日本防災協会	東京都中央区日本橋室町4-1-5 澤井 安勇	○現地災害対策本部に災害用間仕切り420枚を提供	○(社)全国消防機器協会社会貢献委員会を通じ日本赤十字社に10万円を寄附 ○全国消防長会を通じ10万円を寄附	03-3246-1661 (阪本)	
(特財)日本防災通信協会	東京都千代田区麹町2-14-2 半田 嘉弘		○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附(4月8日開催の全国支部長会議において実施)	03-3263-7281(飯田)	
(特社)日本防錆技術協会	東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館309 沖 猛雄		△通常総会の懇親会を中止し、懇親会予算額を日本赤十字社へ寄付 △震災後の大きなイベントである、5月の防錆技術学校研修講義(参加予定者約250名)並びに防錆防食技術発表大会(参加者予定者約350名)の会場に東日本震災復興支援のための募金箱を設置し、日本赤十字社へ寄附	03-3434-0451(神尾)	
(特財)日本法制学会	東京都港区赤坂2丁目16番5号 理事長 澤野 次郎	○災害支援ボランティア事業 「災害救援ボランティア推進委員会」事務局内に設置し、既存事業「災害支援ボランティア講座」修了者のうち需要のある被災地へ派遣 ○ヘルメットと防塵マスクの供給		03-3589-4561	
(特社)日本包装技術協会	東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F 足立 直樹	○会員企業の複数社が取扱商品を提供:紙皿・紙コップ等 △会員企業が取扱商品を提供:緩衝材等	○東日本大震災緊急支援のための義援金100万円を日本赤十字社へ寄附(平成23年3月29日)	03-3543-1189 (酒井)	http://www.jpi.or.jp/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)日本訪問看護振興財団	東京都渋谷区神宮前5-8-2-5F 理事長 清水 嘉与子	<p>○ 訪問看護ステーションへの義援金募集(3月15日～)</p> <p>○ 災害に関する情報の収集と提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省保険局・老健局の被災地への対策(特に訪問看護関係)の周知 ・計画停電、訪問看護の請求等に関すること <p>(日本訪問看護振興財団ホームページ、ファックスサービス、財団ニュース活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスコミ等へ被災地の実態紹介 (ガソリン不足、訪問看護車に緊急通行車両の標章がなく訪問できないこと等) ・人工呼吸器装着者の電源確保の問題のフジTV放映(当財団立あすか山訪問看護ステーション)、サンケイ新聞報道(人工呼吸器の課題の説明と当財団の電話相談を掲載) ・被災地での訪問看護の実態(2～3週間訪問しないと褥瘡発生など)のフジTV放映 ・岩手県花巻市の療養通所介護(※)で3日間人工呼吸器使用者を不眠不休で看護したことに対し、福祉避難所の指定を受けることを助言する⇒岩手日日新聞に掲載される。 ・訪問看護の対応方法等をホームページで紹介 ・被災地の訪問看護ステーションの実態調査の結果を紹介 ・緊急時の対応方法 ・手動吸引装置の紹介など <p>○ 東日本大震災被災者支援緊急対策会議開催と対策本部の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災地への職員等派遣(3回)、訪問看護ニーズ調査等の結果を受け、被災者への健康管理等看護支援の企画検討(仮設住宅地の介護拠点関係) ・5月より被災地において仮設住宅の住民の健康管理を支援する予定 <p>(※)「療養通所介護」とは、通所介護であって、常時看護師による観察が必要な難病や末期がん等の患者に対して、入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行うものをいう。</p>	<p>○東日本大震災支援のため義援金を募集し、被災地の訪問看護ステーション協議会を通じ、訪問看護ステーションへの寄付や支援活動資金とする。</p>	03-5778-7001 (上野 まり)	http://www.jvnf.or.jp/
(特社)日本訪問販売協会	東京都新宿区四谷4-1 細井ビル4階 会長 加藤 澄一	<p>○震災被害に乗じた悪質な訪問販売に対する注意喚起と相談電話について協会HPに掲載</p>	<p>△会員に対し、東日本大震災緊急支援のための義援金を募集、協会として日本赤十字社へ寄附を行う。(現在、会員からの申出を受付中。寄附は5月実施の予定)</p>	03-3357-6531 (小田井 正樹)	http://www.idsa.or.jp/
(特社)日本補償コンサルタント協会	東京都港区虎ノ門2-3-20 虎ノ門YHKビル6階 吉田 昭夫	<p>○当協会のHPで「企業等からの地方自治体等への寄付の方法について」を広報している。</p>	<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を当協会の会員から募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。(3月下旬から実施)</p> <p>○当協会から岩手県、宮城県及び福島県へ寄附を行う。(5月下旬実施予定)</p>	03-3591-6618 (佐藤)	http://www.icca-net.or.jp
(特社)日本卸協会	大阪府中央区南九宝寺 町1-10-1 理事長 植村 一義		<p>△東日本大震災緊急支援のための義援金10万円を日本赤十字社へ寄付(4月中に実施予定)</p>	06-6262-4827 (事務局長 川上)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本ボディ ファッション協会	東京都江東区有明3-6- 11 TFT東館9F 会長 塚本 能交	<p>○東日本大震災緊急支援のための生活関連物資を岩手、宮城、福島災害対策本部へ提供 婦人肌着・ショーツ、紳士肌着・パンツ、子供肌着・ショーツ、生理用ショーツなど、123,000枚を 提供 (4月19日現在)。今後、さらに要請があれば、出来る限りの対応をさせていただく予定</p> <p>○会員企業が避難された方向けの、社宅提供を予定(20戸)しており、政府対策本部からの連絡 待ち</p> <p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、被災地へ寄付もしくは必要とされている物資 の提供を行う予定(5月下旬以降実施予定)</p>	<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、被災地へ寄付もしくは必要とされている物資の 提供を行う予定(5月下旬以降実施予定)</p>	03-5530-5621 (鈴木)	
(特社)日本補綴歯 科学会	東京都豊島区駒込1-43- 9 駒込TSビル3F 理事長 古谷野 潔	<p>○北海道医療大学 災害支援本部 歯科チームとして宮城県における歯科診療、岩手県における 検死を行っている。(本学会代議員、会員)</p> <p>○岩手医科大学歯学部歯科医療センター 岩手県歯科医師会との連携、依頼にて死体検案(デン タルチャートを記載しての身元確認)、被災地歯科診療支援を行っている。また、岩手医科大学歯 学部歯科補綴学講座冠橋義歯補綴学分野の医局員(学会員)についても、死体検案(デンタル チャートを記載しての身元確認)ならびに被災地歯科診療支援にて活動している。</p> <p>○東北大歯学研究科(会員)は、宮城県歯科医師会と協力して歯科医療救護班を編成、派遣し、 活動している。補綴学会員を多数擁する補綴系3分野には、在宅訪問歯科診療の経験に富むもの が多く、東北大学の歯科医療救護班を主導する立場で活動している(主な派遣先は石巻地域や山 元町)。補綴学会員が主導する救護班は、これら地域におきまして、応急処理を中心とする歯科医 療の提供、ならびに福祉避難所等の避難住民に対する継続的な口腔ケアを提供している。加えて 歯学研究科は、宮城県歯科医師会に協力し、宮城県警の遺体検案における検死(デンタル・ チャート記録)業務にも、震災直後より携わっている。こちらにも補綴学会員が多数参加している。</p> <p>○岩手医科大学歯学部歯科補綴学講座有床義歯補綴学分野(会員): 歯科医療支援として、住 田、山田、大槌、釜石地区に身元確認、歯科医療支援を行っている。</p> <p>○福島県南相馬市等における医療支援(福島県災害対策本部長(福島県知事)から長崎大学に医 療支援要請を受け、歯科のチームとして本学会員が活動している。</p> <p>○奥羽大学歯学部歯科補綴学講座の本学会員が大学からの要請により、身元確認活動、避難所 での歯科医療相談を実施している。</p> <p>○東北大学大学院歯学研究科・東北病院歯科部門 宮城県警から宮城県歯科医師会を通じ身元確認に必要な歯型の記録採取について歯学研究科 へ応援要請があった。歯学研究科、大学院歯科部門では3月14日に応援体制を整え、15日から 県内各地の遺体安置所へ歯科医師の派遣を行った。当初は、県警からの50名の派遣要請に対 し、本研究科・歯科部門から40名を派遣し、また派遣医師数の調整や日本歯科医師会からの応援 要請においても中心的な役割を果たした。4月27日までにのべ277名の歯科医師を派遣し、現在継 続中である。 これらの派遣歯科医師の約半数は、口腔システム補綴学分野、咬合機能再建学分野、加齢歯科 学分野に所属する本学会員であり、本学会員は多大な貢献を果たしている。</p>	<p>○東日本大震災緊急支援のため義援金を、日本 歯科医学会を介し寄附(3月30日実施)</p>	03-5940-5451 (加藤 路子)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)日本ボディビル連盟	東京都台東区浅草橋4-9-11 会長 玉利齊	<p>○3/18より、ホームページにて関係者への義援金を募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/5の理事会・総会にて被災者への配分金額を承認、第1回分お見舞い金として振込及び役員が持参 ・義援金額及び被災者へのお見舞い金額などをホームページに掲載 <p>○被災地へのボランティア活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4/23 宮城県仙台市若林区災害ボランティアセンターにて受付し、現地での復旧作業に従事(22名参加) ・5/3-4 岩手県陸前高田市災害ボランティアセンターにて受付し、現地での復旧作業に従事(10名参加) <p>この作業は、5/5付けの讀賣新聞に写真入りで掲載された。</p> <p>△今後、大会会場にて、復興支援金の募集とチャリティ募金箱を設置し、第2回見舞金を募集する予定</p>	<p>○義援金総額2,725,000円(6/3現在)</p> <p>○第1回お見舞い金総額2,690,000円(6/22現在支払中)</p>	03-5820-4321 (事務局 小西 康道)	http://www.ibbf.jp
(特社)日本ホテル協会	東京都千代田区大手町2-2-1 大橋 寛治	<p>○会員22ホテル(平成23年4月21日現在)において、東日本大震災被災者・避難者支援プラン・サービス実施中。</p>	<p>△協会および各会員ホテルで集めた義援金を5月に日本赤十字社へ寄附する。</p> <p>○会員32ホテル(平成23年4月21日現在)において、「がんばれ東北応援プラン」として、宿泊・飲食代金の一部を義援金とするプランを実施中。</p>	03-3279-2706 (岩佐参事)	
(特社)日本ホテルパーメンズ協会	東京都千代田区五番町5-6-902号 会長 渡邊 一也	<p>○全国12支部の支部活動(本年度)に於いて主催及び共催事業の中で義援金を募集し、その都度しかるべき義援金窓口へ寄附することとして会長名で依頼文書を発信。なお、すでに確定していた3月事業において東海支部が義援金を募集し窓口へ寄附した報告を受けている。(寄附欄に記載)</p>	<p>○東日本大震災支援のための義援金を募集し、社会福祉法人中日新聞社社会事業団へ寄附。(3月13日のHBA東海支部/NBA中日本地区本部共催による2010サントリーザ・カクテルアワード カクテルコンペティション 入賞祝賀会において実施)</p>	03-3237-0263 (専務理事 今泉 康治)	http://www.hotel-barmen-hba.or.jp/
(特社)日本ホビー協会	東京都台東区柳橋1-3-2-7 栗田 和雄	<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金プロジェクトとして、4月27日～29日(3日間)東京ビッグサイトで開催される当協会主催35th日本ホビーショー(来場者10万4千人)で、義援金募集(協会ブース等5か所程度)及びオークション(応援メッセージ入りのトートバッグを千円で販売、輸入インテリアファブリックのハギレを販売等)を行った。</p>	<p>△日本ホビーショーでの義援金プロジェクトを通じて集まった約300万円をNHK厚生文化事業団・日本赤十字社を通じて寄附を行う。(6月中旬送金予定)</p>	03-3851-6628 (宇田川)	
(特社)日本ボランティア・チェーン協会	東京都台東区東上野1-2-13 カーニープレイス新御徒町 会長 小川 修司		<p>○協会正会員企業に対して、義援金を募集中(日本赤十字社へ寄附予定)(3月17日～4月30日まで)</p>	03-5818-7321 (中津事務局長)	
(特社)日本ポルトガル協会	東京都杉並区高井戸東4-10-9 根本特殊化学(株)内 会長 高野 悦子	<p>○東北関東大震災復興支援『なごりの桜とマテイラワインの会』を開催(4月9日(土)、於:カフェ・パー レアンドロ)。80余名が参加し、義援金(122,234円)を集めた。寄付先は未定</p> <p>□</p>	<p>△日ボ協会懇親会「ポルトガル大使歓迎会」(6月17日、新宿三井クラブ)において義援金募集予定。寄附先は未定</p>	03-3333-6620 (根本事務局員)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本マーケティング協会	東京都港区六本木3-5-27 後藤 卓也			△協会の職員に対し東北大震災の義援金を募集(4月15日～30日まで)	03-5575-2101 (都丸 幸弘)
(特社)日本燻寸工業会	兵庫県神戸市中央区北長狭通5-5-12 会長 嵯峨山 章			○団体が加入する兵庫県中小企業団体中央会を通じて義援金1万円の寄付 ○団体内の若手経営者中心の集まり「昭和会」のゴルフ会で、賞品を現金として義援金に当て、3万円を兵庫県中小企業青年中央会を通じて寄付 ○会員企業でチャリティーマッチを2,500個製作し、関係取引先等の協力で1個100円で販売中。売上金全額を義援金として寄付する予定 △マッチの軸木で模型を作るイベントを開催し、軸木の売上代金を義援金として寄付することを計画中	078-341-4841 (業務課長 松本)
(特社)日本マリーナ・ビーチ協会	東京都千代田区麹町4-5 海事センタービル 松尾 道彦	○東日本大震災において被災したマリーナ、ビーチは、大きな被害をこうむった。このため、マリーナ及びビーチの被災状況を把握するための現地調査等を実施し、被害状況を明らかにし、今後その復旧のあり方等を提言することとする。		○実行委員会により、応援グッズを作成し、今後当協会が全国で実施するマリンウィーク等の行事及び会員マリーナ等において販売し、その収益を支援金とすることとしている。	03-3222-3734(向江 政秋、山岸 徹)
(特社)日本漫画家協会	東京都新宿区片町3-1 YANASEビル 会長 柳瀬 嵩	△会員から漫画を描いた色紙の寄附を募り、チャリティーオークションを開催、売り上げ金を義援金とし被災地に寄付を行う。会員からの色紙は既に集め、現在会場の調整中で、オークションは4月末～5月を予定。会員、賛助会員より文具類の寄付を頂いたため、義援金とともに被災地へ届ける予定。又、直接の支援ではないが、会員から作品を募り「震災被災者を元気づける漫画」展を開催、現在株式会社バソナウインドウにて展示、以後巡回展を行う予定		○東日本大震災支援のため、会員からの寄附により、日本赤十字社へ義援金1千万円寄附(4月12日振込済)	03-5368-3783
(特社)日本民間放送連盟	東京都千代田区紀尾井町3-23 会長 広瀬 道貞	△被災者・国民へ大災害および継続する災害情報を伝えるため、当連盟の会員社である民間放送事業者の放送・報道活動を維持するための要望活動。 △被災地3県(岩手県・宮城県・福島県)の会員社に係る関係機関等の会費、負担金等の支払猶予等の要請		○東北地方太平洋沖地震の被災者支援として、特に甚大な被害があった岩手県・宮城県・福島県の3県に対し総額1億円の義援金を贈呈した。(3分割して各県に直接贈呈)	03-5213-7711 (総務部) http://www.nab.or.jp/
(特社)日本民宿協会	東京都新宿区弘方町27-6 KSアクビル3F 小野 勝見	○被災した会員民宿のために、役員・会員より募金を呼びかけ、支援物資等に替え現地へ発送(3月31日から) △被災者受入可能な申し出があった施設を集計し情報提供を行う(福島県対象)			03-5225-9577 (小林) http://www.minshuku.or.jp
(特財)日本民謡協会	東京都品川区南品川6-8-20 理事長 三浦 朱門	○「東日本大震災」における被災会員(主に青森・岩手・宮城・福島・茨城県内)のため、全国の協会会員より義援金を募集中である。		△被災の状況に応じて、協会会員に見舞い金を配分する予定	03-3471-8888 (総務部 金子 利夫)

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本メディカル給食協会	東京都千代田区鍛冶町1-6-17 会長 西脇 司	○宮城県に対し、無洗米1,000kg、飲料水1,320リットル、お粥426kg(2,006パック)、濃厚流動食504リットル。宮城県東北大学病院へ水600本(2L入り)、無洗米100袋(10kg入り)を3月16日に支援した。	○医療機関及び社会福祉施設等の災害復旧に役立てていただくため、岩手県に300万円、宮城県400万円、福島県400万円に対し、4月21日に寄付を行った。	03-5298-4161 (専務理事 小林)	
(特社)日本綿花協会	大阪府大阪市西区鞆本町1-8-2 コットンニッセイビル 市川 胤次		△義援金の寄附を行う。(6月実施予定)	06-6445-8839 (石下)	
(特社)日本綿業倶楽部	大阪府大阪市中央区備後町2-5-8 柴田 稔		△会員を中心に広く来館者を対象として、募金活動の実施を理事会で検討	06-6231-4881 (品川)	
(特財)日本モーターボート競走会	東京都港区三田3-12-12 皆川 浩二	○日本財団が実施する被災地支援街頭募金活動に関係団体と共に銀座、渋谷、新宿など10カ所で役職員が募金活動に参加(3月19日~21日) ○日本財団が実施する第一次緊急支援策にあたり職員2名を現地派遣し、円滑な支援の実施に協力(4月14日~19日) I:死者・行方不明者1人あたり5万円の弔慰金、見舞金	○当会役員個人への支援金として、計5,069,962円を日本財団を通じて被災地へ寄附(3月17日) ○左記のとおり、募金活動の結果として、計8,301,267円を日本財団を通じ被災地へ寄附 ○当会として、1億200万円の支援金を日本財団を通じ被災地へ寄附	03-3454-5051 (澤田)	http://www.kvotai.or.jp/
(特社)日本モーターボート選手会	東京都港区虎ノ門1-11-2 日本財団第二ビル 福永 達夫	○日本財団が実施した東京都内各所で行った街頭募金活動に協力した他、全18支部においても、支部の地元である群馬県から長崎県の各所において支部独自に街頭募金活動を行い、日本財団へ支援金を贈った。(3月19日から4月12日) ○4月1日からボートレースが再開されるにあたって、全国のボートレース場選手控室等に被災地支援を目的とした募金箱を設置し、選手からの募金を募っている。この募金は、日本財団へ贈られる。(4月1日から当分の間継続) ○日本財団が行っている被災された方達へのお見舞金の支給活動に協力するため職員を派遣。(4月18日から23日まで「陸前高田」、4月21日から24日まで「石巻市」)	○被災地支援目的で日本財団へ全会員、役員、全職員からの支援金を合計11,908,000円寄付(3月17日、3月25日、3月31日、4月8日) ○震災後、全18支部が被災地支援を目的に飲料水、日用品等を中心とした救援物資を日本財団の協力を得て東北地方に贈った。(3月22日)	03-3502-2081 (総務部 大橋 慶一)	
(特財)日本木材総合情報センター	東京都文京区後楽1-7-12 伊藤 威彦	○復旧復興資材としての木材の安定供給等のための関連情報提供のため「相談窓口」を設置。(03月14日から実施) ○林野庁の開催する災害対策会議等に参加し木材の安定供給等のための関連情報(原木市売実績情報、木材製品荷動き・価格動向等)を提供(04月15日から実施)		03-3816-5595 (武田・佐藤)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本木造住宅産業協会	東京都港区六本木1-7-27 全特六本木ビルWEST棟2階 会長 矢野 龍	<p>○国土交通大臣から住宅産業界に対して速やかな応急仮設住宅の建設要請があったことを受け、3月14日に協会内に「木住協(東北地方太平洋沖地震)災害対策・支援本部」を設置し、3月17日に緊急理事会を招集し、応急住宅建設のための体制整備として「応急住宅建設部会」を設置。同日会員会社の賛同を得て、同部会による応急住宅の速やかな建設に向けた検討を開始した。</p> <p>○被災地(岩手県、宮城県、福島県)における応急住宅の建設を円滑に実施するための連絡調整並びに情報収集を行うため、会員会社の協力を得て、現地(県建設実施本部等)に必要な要員を派遣(4/20現在で5名)。</p> <p>○被災地(岩手県、宮城県、福島県)の県建設実施本部との調整しつつ、参加会員会社の協力のもと、応急住宅の建設に着手。</p>	<p>△東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。 (5月26日通常総会後に開催する「東日本大震災による被災地激励会」において実施予定)</p>	03-5114-3011 (小田川)	http://www.mokujukyo.or.jp/ (4/21運営委員会後にホームページに掲載)
(特社)日本モンゴル協会	東京都新宿区戸山1-24-1 早稲田大学文学学術院 吉田 順一	<p>○被災地域のモンゴル人留学生の安否確認。現地会員によるサポートを申し出たが、該当者はいなかった。</p> <p>○モンゴル留学生会、大使館にボランティア活動の情報提供</p>		090-8849-6811 (会長 窪田)	http://www.mongol-kvokai.or.jp
(特社)日本薬剤師会	東京都新宿区四谷3-3-1 富士・国保連ビル7階 児玉 孝	<p>○被災3県(岩手県、宮城県、福島県)、茨城県に対して、派遣人数等を県薬剤師会と調整の上、全国から薬剤師を派遣し、①医薬品集積所等での医薬品の仕分け・管理、救護所・避難所への払い出し作業、②救護所・仮設診療所等における被災者に対する調剤及び服薬説明、③医療チームに同行して、避難所等における処方支援・医薬品の識別・代替医薬品の選択、それに伴う服薬説明等、④各避難所を巡回し、医薬品に関する相談応需・服薬説明、一般用医薬品の適切な使用相談、⑤避難所等における衛生管理、防疫対策への協力等を行っている。</p> <p>○東日本大震災での被災会員の為の義援金を会員より募っている。</p>	<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金として、平成23年3月31日付けで500万円を日本赤十字社へ寄附。別途、都道府県薬剤師会において一般被災者向けの義援金を募集し日赤等に寄附しているところがある。</p>	03-3353-1170 (川上)	http://www.nichiyaku.or.jp/shin/sai/
(特財)日本薬剤師研修センター	東京都港区赤坂1-9-13 豊島 聡	<p>○当センターの認定制度において、被災地の薬剤師が認定を維持しやすいように条件を緩和している。</p> <p>△東日本大震災緊急支援のための義援金の協力を当センター研修会において呼びかける。</p>	<p>△6月27日開催の医薬品承認申請実務担当者研修会の収益を日本赤十字社に寄附する予定。</p>	03-3568-8202 (三森 耕次)	
(特社)日本薬局協会	東京都渋谷区代々木3-46-16 前納 秀夫	<p>○東日本大震災被災者支援のために、被災地会員を除く会員に対して寄附を募る。</p> <p>△被災地会員を除く会員薬局の店頭において、東日本大震災被災者支援のための募金活動を行う。</p>	<p>○東日本大震災の被災者支援を4月8日に機関決定し、当会ドネーション特別会計より1,000万円を支出し、4月末までに日本赤十字社へ寄附を行う。</p> <p>△会員薬局店頭における募金活動によって集まった義援金を日本赤十字社へ寄附する。</p>	03-3370-7171 (岩本 博己)	
(特社)日本遊技関連事業協会	東京都中央区新川2-12-15 深谷 友尋	<p>○難民を助ける会を通じ、被災地に食料品、衣料品等を提供(3月22日~23日)</p> <p>○難民を助ける会、身体障害者療護施設杏友園、ありのまま舎、宮城県遊技業協同組合の4団体を通じ、被災地に食料品、雑貨等を提供(3月29日~30日)</p> <p>△会員企業の社員を石巻に所在するボランティアセンターに派遣し、瓦礫の撤去等の活動を実施予定(4月下旬を予定。)</p>	<p>△東北地方太平洋沖地震の義援金を募集し、日遊協が会員となっているパチンコ・パチスロ産業21世紀会を通じ、寄附を行う。(寄附の対象とする団体及び時期については未定。)</p>	03-3553-4333(佐藤)	http://www.nichiyukyo.or.jp

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)日本ユニフォームセンター	東京都港区元赤坂1-4-21 理事長 北條 正明			○東北関東大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附(3月24日 日本赤十字社 持込)	03-3401-2111 (事務局長 長野 隆貴)
(特社)日本洋菓子協会連合会	東京都世田谷区池尻2-21-14 原 光雄			○連合会傘下53協会で会員からの義援金を受付中 ○青森、岩手、茨城、福島、宮城の各県協会に対し、義援金を寄附(3月22日~28日、各100万円)	03-5486-2611 (持田事務局長)
(特社)日本溶接協会	東京都千代田区神田佐久間町1-11 宮田 隆司	○ 当協会が実施している「溶接技能者・溶接管理技術者・マイクロソルダリング技術」の認証事業に関して下記の取り扱いとしています。 (1) 東日本大震災によって予定していた評価試験を受験できなくなった受験者に対し受験取消しの申し出があった受験者には、受験料金を全額返却します。 (2) 東日本大震災で被災した受験者から受験日変更の申し出があった場合は、当該受験者と相談のうえ次回受験日を速やかに決定します。 (3) 東日本大震災で被災した更新受験者に対し、特例として適格性証明書の資格有効期限を超えた場合であっても手続の遅延を認めます。 (4) 東日本大震災によって適格性証明書等の紛失・破損した本人の申し出に対して、再発行手数料を徴収せずに発行します。 上記については、詳細に付いて当協会の東北地区溶接技術検定委員会もしくは管内各県の指定機関へお問い合わせするようホームページに連絡先とともに表示しています。			03-3257-1525 (事業部 川添) http://www.iwes.or.jp/mt/shi_ki/info/
(特社)日本溶融亜鉛鍍金協会	東京都港区西新橋2-16-1 全国たばこセンタービル9階 理事長 岡田 睦夫			○当協会として義援金100万円を日経新聞社経由で日本赤十字社に寄付(5月9日) △別途当協会として会員会社等へ義援金を募集する予定	03-5776-1420 (三宅)
(特財)日本予防医学協会	東京都江東区毛利1-19-10 大河内 満	△岩手県、宮城県において、求職中の被災者を対象にした健康診断 4月末の日程で現地個別健診等の協力機関を訪問し、現状の調査を行う予定。実施の可能性があれば現地 労働局、協力機関と調整、中期的な取組みになる。(4月23日東京出発予定) △上記岩手県、宮城県現地訪問に際し、マスク、消毒液、食料等援助物資を寄付 △福島県の町村の集団避難先の住民健診 集団避難をしている役所の現状調査に入る。実施の可能性があれば夏以降に実施。今期の取組み △歯科衛生士による被災地住民のお口のチェック 九州センター歯科部門に歯科医師会などの動きを調査し、派遣ルート等の確保が可能であれば、チーム派遣を検討		○(社)全国労働衛生団体連合会が主幹となり東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、全衛連へ預託 △互助会が主幹となり、募金活動中。協会内職員被災家族支援および日本赤十字社等団体へ寄付を予定 ○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附(西日本統括センター内で募集、4/5寄付済み)	03-3635-1026 (渡辺・総務)

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)日本卵業協会	東京都中央区新川2-6-16 岩月 忠和	<p>○円滑な鶏卵流通を図るため東日本地区の需給情報を収集し関係会員に情報提供を行っている。</p> <p>○被災地域の会員の復興・早期業務再開支援のための義援金を会員より募集(3月31日まで)</p>	<p>○会員から3月31日までに義援金を募り、当該法人からの拠出と合わせて420万円を被災地の会員へ送った。</p> <p>△赤十字への寄付を計画中</p>	03-3297-5553 (庄司)	
(特社)日本陸用内燃機関協会	東京都新宿区市谷砂土原町1-2-31 林 守也		<p>○協会として、東日本大震災復興支援のため義援金として、100万円を日本赤十字社を通じ寄付いたしました。(4月18日)</p> <p>○当協会役職員から東日本大震災復興支援のため義援金を募り、日本赤十字社を通じ寄付いたしました。(3月24日)</p>	03-3260-9101 (瀧野 壽夫)	http://www.lemma.or.jp/
(特財)日本立地センター	東京都千代田区神田駿河台一丁目8番地11 岡村 正	<p>○地域経済の復興面において可能な範囲での支援を行うため、「東日本大震災復興支援本部」を設置。職員を被災地の自治体、企業等に派遣し、企業誘致支援や産業立地、新事業支援・起業化など、特に地域産業の復興に必要な分野に関する現地調査等を実施。被災地の要望・ニーズをとりまとめ、国に対して情報提供を行う。中期的には、復興計画策定を支援していく方針。(4月1日から実施)</p>		03-3518-8965 (本島)	
(特財)日本リディアオリリー協会	東京都新宿区西新宿8-5-1 野村不動産西新宿共同ビル 小川 秀興	<p>△被災地住民(被災地自治体のニーズ確認後)皮膚・毛髪、口腔内の衛生や健康に役立つ日用品生活物資の支援をおこなう。</p>		03-5348-1453 (重松)	
(特社)日本リモートセンシング学会	東京都千代田区神田小川町2-8-16 三恵ビル2F 会長 六川 修一	<p>○学会ホームページに震災のリモートセンシング画像へのリンクを設置し、情報アクセスをしやすいようにしている。</p>		03-3293-0514 (事務局)	http://www.rssi.or.jp/sinntyakuiyouhou/RsEarthquakeLink2.html
(特社)日本料理研究会	東京都中央区築地2-15-15-201 三宅 洋子	<p>○主に宮城・岩手・福島(被害が顕著であった支部に限る)の当会所属計8支部に対して救援物資の提供を行った。具体的には、当会が当会スポンサー企業から水、調味料、カツプシ、出汁パック、胡麻、などを買い付けて送付。物資は日持ちのする物を選定し、当面の生活の一助か若しくは会員の店舗営業再開時に寄与しようというもの(3月中旬から実施・4月15日に発送済。リアクション待ち)</p>	<p>○東日本大震災のための義援金を全国の当会の構成団体146支部に案内。5月18日を期限とし、その額に当会より10万円~20万円(予定)を上乗せした額を給付対象支部(被災地支部)に寄付(3月16日より実施)</p>	03-3545-1651 (理事 三宅 健介)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)日本緑化センター	東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル2F 上島 重二	<p>○当財団は、従来より「日本の松原再生運動事業」を推進してきており、今回の震災で被害を受けた岩手県、宮城県、福島県の海岸松原の再生に向けて、関係団体と連携し、新たな対策を検討していくこととしたところである。</p> <p>△特に、陸前高田市の高田の松原に残った「希望の松」について保存してほしいとの要請が当財団に届いており、関係行政や関係団体と一体的な方策を講じることを検討している。</p> <p>○「希望の松」の保全対策検討のための調査を関係団体と合同で実施(4/22) 今後の必要な対策の具体的検討の参考に資する。</p>		03-3585-3561 (瀧 邦夫)	
(特社)日本臨床工 学技士会	東京都文京区本郷3丁目 4-3 ヒルズ884・お茶の水 ビル4F 川崎 忠行	<p>○(特社)日本透析医会災害情報ネットワーク拠点担当へ当会災害対策システム委員長を派遣し、各地からの医療機関の被災状況、患者移送の調整、医療機関へのボランティア派遣などに関し、情報の一元化を図った。(3月11日夜間から)</p> <p>○山形県(山形市)、宮城県(仙台市、石巻市、気仙沼市、等)、岩手県(釜石市、大船渡市、陸前高田市)、福島県(いわき市)、茨城県(水戸市)の被災状況調査のため先遣隊として3回派遣した。(3月18~4月1日)</p> <p>○当会、(特社)日本透析医会、日本腎不全看護学会との3団体連携で、ボランティアを募集し、被災地の診療や被災地からの患者受入施設へのボランティア派遣を行っている。 ・水戸T病院、看護師2名(3月25日~3月30日) ・石巻N病院、臨床工学技士1名、看護師3名(4月8日~4月16日)、その後も臨床工学技士及び看護師の3名単位1週間交代にて5月末まで継続予定</p> <p>○被災地医療機関職員の過酷な現状を後方支援する目的にて、ボランティアにて開始した行動を拡大・組織化して、3月28日より当会事務局に支援物資供給センターを立ち上げ、全国の会員から食料や生活用品を募集し、宮古、釜石、大船渡、気仙沼、石巻、仙台、名取、相馬、いわき等の地域の拠点病院へ、支援物資を約1300ヶ(大箱換算)送った。(4月21日現在)</p> <p>○当会ホームページに東北地方太平洋沖地震関連情報ページを立ち上げ情報の一元化を図った。</p> <p>○水道水の放射線物質汚染に関し、透析用水処理装置での除去データを当会ホームページにて公開し、水道水から作成する透析液の安全性を啓発している。</p> <p>○東京電力管内の計画停電対策として、当該地域での透析医療機関における自家発電機設置状況調査を実施し、そのデータを基に厚生労働大臣宛に「透析医療施設(病院、診療所)に対する自家発電機の優先設置等のお願いについて」4月8日(特社)日本透析医会発が要望された。</p> <p>△医療機関における省電力化についての研究及び啓発活動</p>	<p>△財団法人日本腎臓財団と関連団体の連携にて寄付金の募集を予定(連携団体:日本腎臓学会、日本透析医学会、日本臨床腎移植学会、日本泌尿器科学会、日本臨床工学技士会、日本腎不全看護学会、日本腎と薬剤研究会、日本栄養士会、日本透析医会)</p>	03-5805-2560 (事務局長 那須野 修一)	http://www.iacet.or.jp
(特財)日本労栄協会	東京都中央区日本橋富 沢町11-1 理事長 佐々木 勝幸			△東日本大震災緊急支援のための義援金を日本赤十字社へ寄附を行う。(5月中に実施予定)	03-3249-4007(甲斐)
(特財)日本老人福祉財団	東京都中央区日本橋堀 留町1-7-7 理事長 田島 誠一	<p>○避難所や在宅における支援の必要な被災高齢者を対象に入浴介助・相談等の福祉・介護支援活動を実施。社会福祉士・介護福祉士の3名~4名構成を基本とする福祉・介護支援チームが9日間で単位として活動している。(3月28日から岩手県大槌町を中心に実施。4月18日現在第4次隊を派遣中。延14名)</p> <p>○東日本大震災緊急支援のための募金寄附を、HPや掲示物等で呼びかけて募集</p>	<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社・共同募金会へ寄附</p> <p>○東日本大震災の緊急支援活動資金として寄付金を募集し、ボランティア協会、地元社会福祉協議会、NPO等に寄附</p>	03-3662-3611 (総務部 佐々木 隆)	http://www.vuvunosato.or.jp/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL		
		活動	寄附				
(特社)日本労働安全衛生コンサルタント会	東京都港区芝4-4-5 会長 相澤 好治			○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、寄附を行う。(5月27日開催の通常総会後の「情報交換会」において実施)	03-3453-7935 (天笠 和徳)		
(特財)日本労働会館	東京都港区芝4丁目8-2 理事長 服部 光朗			○連合が実施する東日本大震災救援カンパの募金箱を会館施設に設置 ○5月27日の労使研の研究会、8月1日の「友愛会創立を記念する会」の集会等で連合が実施する東日本大震災救援カンパの募金を予定	03-3451-5898 (兼次 朝信)		
(特社)日本労働者信用基金協会	東京都文京区後楽1丁目4番14号 理事長 金子 憲彦	○全国の労働金庫の取り扱う被災者支援を目的とした無担保融資(限度額500万円)に係る保証料を引き下げた。*労働金庫の会員を構成する労働者について0.4%(通常より0.3%減免)、それ以外の労働者について0.8%(通常より0.4%減免)とした(取扱期間は2011年3月14日~2011年9月末日)。 ○東北労働金庫の既往融資利用者(※)について、被災者支援を目的に返済の猶予を実施することとした。(猶予期間について保証料を免除。3月の返済金より実施。猶予期間は最大6ヶ月) △なお、本制度については他の労働金庫で借入をしている被災者についても拡大を予定している。 (※)既往融資利用者とは、震災以前に東北労働金庫から借入をし、契約に基づき定例返済をしている者のことを指す。		○東日本大震災緊急支援のための義援金を日本赤十字社へ寄附(拠出日は3月30日)	03-3818-2811 (企画部長 青木 孝)		
(特財)寧波旅日同郷会	東京都中央区銀座6-13-7 傅 健興			△東日本大震災緊急支援のため、日本赤十字社に寄付を行う。金額等について5月の役員会にて決定、併せて義援金の募集等も審議の予定(6月下旬までに実施)	03-3541-9989 (事務局長 三瓶)		
(特財)年金住宅福祉協会	東京都港区西新橋1-10-2 理事長 香西 力	○当協会ホームページに、被災者に対する災害のお見舞いと年金住宅融資の返済に関する相談窓口を掲載 ○独立行政法人福祉医療機構が定めた、震災被害を受けた年金住宅融資返済者への返済猶予等に準じた対応 △被災地域の年金住宅返済者へお見舞い状を兼ねた被災状況確認書の送付を予定(平成23年5月下旬予定)		△寄附を検討中	03-3501-4703(大石)	http://www.nik.or.jp/	
(特財)年金融資福祉サービス協会	東京都港区虎ノ門1-9-5 理事長 真屋 尚生			○被災地域の年金担保融資借入れに対して当協会が行う保証に関し、融資の返済期間の延長が認められたことに伴い生ずる追加保証料の免除	△寄附を検討中	03-3580-0421(田中)	
(特社)農業土木機械化協会	東京都港区新橋5-34-4 黒田 正治			○東北農政局からの支援要請により、以下の地区の排水機場の被災状況の調査確認と復旧手法の検討を行った。このことにより、稼働可能なポンプの暫定稼働手法を提案し、近々の復旧対策につなげた。 ・3月23日・24日 宮城県河南地区、亘理地区 ・4月5日・6日 宮城県名取川地区、仙台東部地区		03-3434-5827 (市野)	http://www.iacem.or.jp/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)農業農村整備情報総合センター	東京都中央区日本橋富沢町10-16 MY ARK日本橋ビル 高橋 強	<p>○被災地の農地災害及び農業用施設災害の復旧事業の事務軽減につながる「災害復旧事業事務システム」について、宮城県、岩手県、山形県、茨城県、栃木県、青森県土連、宮城県土連、千葉県土連、市町村等19団体にソフトを無償で配布した。(3月24日～7月中旬まで)</p> <p>なお、現在、当該ソフトの配布先での活用状況を聞き取り中であり、必要に応じ操作説明や基礎データ作成などのフォローアップも行う予定</p> <p>○各県等に提供している「補助事業積算システム」について、震災に伴う災害復旧工事の発注により、システム利用が増加し、各県等において契約利用台数の不足が見込まれることから、一時的な追加利用について柔軟に対応する予定(2県・2県土連に対応。)</p>		03-5695-7170 (北澤)	http://www.aric.or.jp/
(特社)農協流通研究所	東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 小森 芳夫		○東日本大震災緊急支援のためのJAグループ義援金へ拠出(法人及び職員募金)	03-5643-3666 (牧野)	
(特財)納税協会連合会	大阪府大阪市中央区谷町1-5-4 野村 明雄	<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金支出について、理事会で議決した。</p> <p>○国税庁及び中小企業庁からの依頼に基づき、HPに東日本大震災関連情報のバナー広告を掲載した。</p>	○東日本大震災緊急支援のための義援金を日本赤十字社の指定口座へ寄附した。(3月下旬振込)	06-6942-2917 (事務局長 土橋)	
(特財)農民教育協会	茨城県水戸市鯉淵町5965 高橋 隆三	<p>○3月15日に、茨城県立友部病院へ、物資(人参40kg、キャベツ20kg、かんしょ30kg、いちご10箱(4パック入り))を直接支援</p> <p>○3月16日に、茨城県立友部病院へ、物資(キャベツ20kg、ほうれんそう30束)を直接支援</p> <p>○3月17日に、常総生活協同組合(同生協が取りまとめ被災地へ送る)へ物資(米300kg)を無償提供</p>		029-259-2811 (北川 晴三 事務部長)	
(特社)農林水産技術情報協会	東京都中央区日本橋兜町15-6 製粉会館6階 和田 宗利		○一般社団法人畜産生産者団体協議会及び一般社団法人都道府県畜産振興協議会の「東北地方太平洋沖地震に係る被災畜産生産者支援のための義援金」の受付に対し、3万円の寄附を行った。(3月26日)	03-3667-8931 (武政)	
(特財)農林水産奨励会	東京都港区赤坂1-9-13 大貫 仁人		<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金(50万円)を日本赤十字社へ寄附(3月18日)</p> <p>○東日本大震災緊急支援のための義援金(20万円)を募集団体である(特社)大日本水産会へ寄附(4月14日)</p>	03-3582-7451 (事務局 清水 寛道)	
(特社)農林水産先端技術産業振興センター	東京都港区赤坂1丁目9番13号 三会堂ビル7階 荒蒔 康一郎		△災害支援金の募金活動を予定(詳細検討中)	03-3502-5530 (松田)	
(特財)野村生涯教育センター	東京都渋谷区代々木1-47-13 理事長 金子 由美子		○日本赤十字社等(寄付先は現在検討中)を通じて1億5000万円を寄付予定	03-3320-1861	http://www.nomuracenter.or.jp/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
は 行					
(特財)廃棄物研究財団	東京都墨田区両国5-25-5 JE 1両国ビル8階 杉戸大作	<p>○当財団では、阪神淡路大震災後、「震災廃棄物対策指針」の作成、「大規模災害における廃棄物処理支援システム開発研究」を実施するなど、震災廃棄物対策に係る数多くの知見を有している。</p> <p>○4月当初から、当財団のホームページやメールマガジンに「東日本大震災情報ページ」を開設し、当財団の知見等を情報提供するとともに、併せて、環境省、(独)国立環境研究所、廃棄物資源循環学会など関連団体とのHPリンクもできるようにしているところである。</p> <p>○(独)国立環境研究所、(一社)廃棄物資源循環学会災害廃棄物対策・復興タスクチームが現地調査を踏まえて策定した「分別・処理戦略マニュアル素案」の意見具申に加えて、阪神淡路大震災で豊富な経験と実績のあるメンバーが集結した「廃棄物対応技術検討懇話会(がんばれ関西)」に参加し「災害に強い焼却施設の設計」など検討を行っている。なお、被災地での一刻も早い震災廃棄物の除去処理に資するよう、現地調査や知見の整理などの業務に参加することとしている。</p>		03-5638-7161 (藤波 博)	http://www.iwrf.or.jp/
(特財)ハイパーネットワーク社会研究所	大分県大分市東春日町51-6 大分第2ソフィアプラザビル4階 公文 俊平			△東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し寄附を行う。(4月末実施予定)	097-537-8180 (青木 栄二)
(特社)函館銀行協会	北海道函館市若松町15番7号 函館北洋ビル4階 高橋 正幸			○全国銀行協会を通じ、東北被災地区3銀行協会に見舞金	0138-23-0731 (常務理事 吉田 勝則)
(特社)函館国際観光コンベンション協会	北海道函館市元町33-14 会長 木村 孝男	○当協会の管理運営施設(旧イギリス領事館、観光案内所、元町観光案内所)に義援金箱を設置(3/17~4/10)及びミスはこだてによる募金活動(4/10函館まるい今井前)を実施し、合計金額83,702円を函館市へ寄付した。		○当協会の管理運営施設(旧イギリス領事館、観光案内所、元町観光案内所)に義援金箱を設置(3/17~4/10)及びミスはこだてによる募金活動(4/10函館まるい今井前)を実施し、83,702円を函館市へ寄付した。	0138-27-3535 (木村)
(特社)函館地区トラック協会	北海道函館市西桔梗町555-32 会長 柏葉 孔	○北海道からの要請により、3月20日に被災地へ緊急支援物資の輸送。札幌、函館、室蘭地区トラック協会と連携して札幌・函館・室蘭方面より食料品、医薬品等を車両15台に積み、宮城県・岩手県の被災地へ輸送。		○東日本大震災の為の義援金を募集(3/25~4/20)北海道トラック協会・全日本トラック協会を経由、関係自治体等へ寄附を行う。(4/15現在350万募金)	0138-49-1777 (石塚)
(特社)函館地方自動車整備振興会	北海道函館市西桔梗町555-36 会長 河村 祥史			○東日本大震災緊急支援のための義援金を日本赤十字社へ3月30日寄附(80万円)を行った。	0138-49-1411 (熊川)
(特社)函館地方方法人会	北海道函館市五稜郭町16-13 中野 豊	○支援物資調達・物資届け・物資仕分け		○全会員に募集し、日本赤十字社へ振り込む予定(4月28日まで)	0138-54-9636(山村) http://www.hakodate-hojinkai.or.jp/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)畑地農業振興会	東京都港区芝大門1-3-11 Y.S.Kビル 三野 徹	△被災した農業用水路等の復旧の効率的(低コスト)な実施を支援する観点から、当法人の知見を活かし、これらに資する新技術等を中心に、被災地に対し情報提供を行うこととしている。(情報提供は、5月又は6月から、ホームページや情報誌において行う予定)		03-3438-2581 (宮本)	http://www.1a.biglobe.ne.jp/hatasin/
(特財)パブリックヘルスリサーチセンター	東京都新宿区西早稲田1-1-7 奥島 孝康	△被災地住民、災害支援者、近県避難者の心のケアを中・長期的に支援していく。具体的には①心の健康相談室に災害専用電話回線を新設し電話相談を実施する。相談員に対して実施前に教育研修を行う。②心の健康相談カードを作成し、配布する。③自律訓練法等を紹介するイベントを開催し、リラクゼーション技法を普及する。		03-5287-5070(中山)	
(特財)原総合知的通信システム基金	大阪府大阪市天王寺区小橋町11-19 原 信太郎		△財団関係者や財団主催セミナー開催時に参加者に対して義援金を募集する予定(詳細検討中)	06-6765-5593 (事務局長 田中 寛治郎)	
(特財)阪神高速地域交流センター	大阪府大阪市中央区上町A番12号 岡本 誠介		○東日本大震災緊急支援のための義援金として、特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォームへ寄附を行った。(3月18日)。 ○東日本大震災緊急支援のための義援金を募り、職員有志として朝日新聞厚生文化事業団へ寄附を行った。	06-6761-8451 (事務局長 田中)	
(特財)阪神高速道路管理技術センター	大阪府大阪市中央区南本町4-5-7 石崎 浩	○東日本大震災の被害調査に土木学会地震工学委員会の一員として阪神高速道路(株)が調査員を派遣。阪神高速道路(株)、財団法人阪神高速道路管理技術センター、関西ライフライン研究会の共催で、被害調査に参加された学識経験者をお招きし、各分野の被害状況についての報告会を実施する。参加費無料。定員370名(既に応募者多数のため受付締切)(4月26日実施予定)	○東日本大震災緊急支援のための義援金として、特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォームへ50万円の寄附を行った。(3月23日) ○東日本大震災緊急支援のための義援金を募り、役職員有志として日本赤十字社へ8万5千円の寄附を行った。(3月25日)	06-6244-6030 (事務局長代行(兼)総務課長 近藤 和博)	http://www.tech-center.or.jp/japanese/index.html
(特財)韓哲文化財団	東京都千代田区丸の内1-11-1 パシフィックセンチュリープレイス丸の内31F 理事長 韓 昌祐	○3月14日、平成22年度助成金授与式の際に開催したチャリティーコンサートにおいて募金を募った。	○「朝日新聞厚生文化事業団」の救援活動事業に寄付いたしました。 寄付金額=172,030円 (寄付日3月29日)	03-5221-7973 (鄭勝典(チョン・スンジョン))	http://www.hantetsu.or.jp/
(特財)判例調査会	東京都千代田区集町4-2 山崎 敏充		△当法人からの寄付を検討中である。	03-3239-1616(佐藤ひとみ)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)微生物応用 技術研究所	静岡県伊豆の国市浮橋 1601番地1 志賀 政雄	<p>他法人等と協力し、以下の活動を実施</p> <p>○当法人の活動に協力頂いている農家等の安否確認、同農家を通じ、周辺集落に対する救援活動、救援物資配達、被災者送迎(3月12日～ 宮城県南三陸町・気仙沼市、岩手県釜石市・大槌町・盛岡市)</p> <p>○物資輸送手配等(3月18日～ 熱海市(災害対策本部の運営の支援))</p> <p>○救援物資輸送(3月15日～ 宮城県仙台市・栗原市、岩手県盛岡市・奥州市、埼玉県朝霞市、群馬県前橋市、福島県福島市、栃木県宇都宮市)</p> <p>○当法人の活動に協力頂いている被災農家の被害状況調査及び復興計画の作成支援(4月22日～ 岩手県大船渡市・釜石市、宮城県気仙沼市・仙台市・登米市、福島県飯館村・大玉村)</p> <p>○当該法人の大仁農場および松木台農場から農作物を寄附</p> <p>△被災農家の復興支援を予定(岩手県奥州市・大船渡市)</p>	<p>○当該法人の大仁農場(静岡県)にて、災害支援金の募金活動を実施中。今後、一般社団法人MOAインターナショナルを通じ、被災した当法人会員へ寄附(4月18日現在、約14万円)</p>	0558-79-1111 (総務部長 山岸 正博)	
(特財)ヒートポンプ・蓄熱センター	東京都中央区日本橋蛸 殻町1-28-5 理事長 小宮山 宏	<p>○財団出向職員の被災住民の避難場所等への派遣、支援活動の実施(4月24日から適宜開始)</p> <p>△被災地におけるヒートポンプ・蓄熱システムの設備点検、改修・運転アドバイス実施(6月中開始を目的に準備中)</p> <p>○震災に伴うヒートポンプ・蓄熱システム相談専用サイトの開設(財団ホームページに開設済み)</p>	<p>○財団が全国主要都市で開催するセミナー・シンポジウム会場での義援金募金箱の設置(5月26日:大阪シンポジウム会場から実施)及び財団としての義援金を合わせて日本赤十字社へ寄附</p>	03-5643-2401 (総務部 斎藤)	http://www.hptci.or.jp/
(特社)人吉地区法人会	熊本県人吉市上青井町 354-29 尾方 芳樹	<p>△5月23日に開催予定の(社)人吉法人会定期総会において、出席者に1口千円の義援金を募る予定</p>		0966-23-3636(代表)	
(特財)東日本不動産流通機構	東京都千代田区鍛冶町2-3-2 神田センタービルディング2F 理事長 池田 行雄	<p>○会員宅地建物取引業者が震災対応物件情報を円滑に探索できるよう、登録不動産物件情報のうち、被災者向けの支援が可能な物件情報など震災対応物件情報については「備考欄に【震災】」と統一的に記載するよう周知(3月23日)</p> <p>○「電力需給緊急対策本部(閣僚級)」の方針を受け、国土交通省総合政策局長(及び資源エネルギー庁)が開催した関係業界団体等に対する「今後の電力需給の見通しの説明と節電の要請」会に参加(3月29日)</p> <p>○「REINS Market Watch」(23年3月度月例速報)において、「東日本大震災の影響で2011年3月度のREINS成約件数が大幅減少」した旨をホームページで公表(4月12日)</p> <p>○「首都圏不動産流通市場の動向」(平成22年度、平成23年1～3月)において、「東日本大震災の影響で成約件数が減少」した旨をホームページで公表(4月19日)</p>	<p>○日本赤十字社を通じ、義援金60万円(機構50万円、事務局10万円)を送付(3月30日)</p>	03-5296-9350 (事務局長 大矢)	http://www.reins.or.jp/
(特財)東日本労働衛生センター	東京都中央区京橋1-6-1 三井住友海上テブコビル3F 理事長 大浦 研二	<p>○避難所へボランティア派遣 3/15～21 児童スポーツセンターにて炊き出し支援(AM7:00～9:00)</p> <p>○被災地へボランティア派遣(日本赤十字社依頼) 4/16～4/18 宮城県気仙沼市「沼沼市災害ボランティアセンター」にて被災者支援(現地2泊3日間)</p> <p>活動内容 ①避難所でのニーズ調査 ②救援物資の輸送・配分 ③ボランティアの連絡調整</p> <p>△日本赤十字社から依頼があれば、上記活動を継続的に協力予定</p>	<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を次の団体に寄附 ・(公社)全国労働衛生団体連合会 ・全国商工会連合会 ・(特社)日本作業環境測定協会</p> <p>○3/23～4/20の期間において職員より義援金を募り、日本赤十字社へ寄附</p>	03-5250-0300 (総務部 吉田 佑介)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)東松山法人会	埼玉県東松山市神明町 2-12-27 伊藤一久	○法人会会員に対して、東日本大震災の義援金の協力を呼びかけるとともに、一般市民に対してもHPで義援金を募集(4月1日から実施)	△義援募金活動で集まった義援金を日本赤十字社に寄附を行う予定(5月末)	0493-24-3254 (事務局長 吉田輝雄)	http://www.h-hojin.jp/
(特社)病院管理研究協会	東京都新宿区新宿1-2 9-8 北川 定謙	△東日本大震災支援のための募金寄付を、今年度5月以降に予定している20回程度の研修会参加者及び6月に行われる当協会の総会時の参加者に呼び掛けて募集する予定である。 △直接的な被災者支援には直結しないが、昨年度たまたま被災地に近い岩手県南藤沢町(一関市と気仙沼市とのほぼ中間地)の町民病院(54床)を中心とする保健・医療・福祉の包括的活動を調査した。震災直後、自治医大出身者を院長とする藤沢町民病院が、全国からはせ参じた多くの自治医大出身の医師の多様な医療活動の支援拠点として積極的な機能を果たしていることは周知のとおりである。それらの支援実態を調査することによって、将来の大災害時の支援体制をいかに構築するかは重要である。そのような観点から、今年度は調査研究を実施し、有効な指針の策定を行う。	△東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。	03-3352-2575 (川島 英樹)	
(特社)兵庫県小型船舶工業会	兵庫県神戸市中央区海岸通8 神港ビル 鹿瀬 博		△東日本大震災支援のため、義援金を日本財団へ寄附。(5/26の通常総会で承認取得後)金額は、10万円を予定	078-391-5980 (加藤)	
(特財)兵庫県雇用開発協会	兵庫県神戸市中央区相生町1-2-1 東成ビル1階 理事長 藤川 泰延		○(特財)兵庫県雇用開発協会(ひょうごしごと情報広場を含む)において、3月下旬から協会職員はもとより利用者へも募金を募り、「東日本大震災兵庫県募金委員会」へ寄附	078-362-6583 (事務局次長 山本)	
(特社)兵庫県自動車整備振興会	兵庫県神戸市東灘区魚崎浜町33 会長 橋本 一豊	○支援活動を行うため、被災地振興会と連絡をとり、阪神淡路大震災の経験で、単車・ブルーシート・カセットボンベ等が役立つことをアドバイスした。 ○現地からの要望の自転車に併せ、ポリタンク、災害緊急備蓄品に加え、単車3台を3月25日に宮城県自動車整備振興会に手渡した。※支援物資は、その後岩手県自動車整備振興会・福島県自動車整備振興会にそれぞれ振り分けられた。	○当会会員に対し、東日本大震災緊急支援のための支援金を募集し、(4月19日現在、7,428,265円)日本自動車整備振興会連合会を通じ寄附を行う。なお、当会からも併せて400万円の支援金を寄附する。	078-441-1601 (総務部 田中 護)	
(特社)兵庫県信用金庫協会	兵庫県神戸市中央区八幡通3-2-1 会長 橋本 博之	○近畿地区信用金庫協会が実施した被災地への毛布、不織布マスク等支援物資(10トン積トラック1台分)の輸送作業に協力(3月19日)	○全国信用金庫協会の呼びかけによる「東北地方太平洋沖地震救援2千円募金」に役職員一同で協力 △全国信用金庫協会から依頼の支援見舞金の拠出について近畿地区信用金庫協会と調整中	078-232-1960(下村)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)兵庫県トラック協会	兵庫県神戸市灘区大石東町2丁目4番27号 会長 福永 征秀	<p>○当協会内に震災対策本部を設置(3月12日)</p> <p>○会員事業者の被災状況の調査</p> <p>○緊急物資輸送:兵庫県と当協会の間で締結した「災害時における物資等の輸送に関する協定書」に基づき、兵庫県からの要請に対応 延べ出動車両数 112台(3月13日~4月20日)但し、本部が手配したもの(支部が手配したものは除く)</p> <p>○情報の提供:兵庫県トラック協会ホームページ上で、全日本トラック協会のホームページとリンクさせ、東日本大震災に関する最新情報を会員に提供</p>	<p>○義援金の募集 東日本大震災による被災者支援のための義援金の募集について会員に対し協力要請(3月17日)</p>	078-882-5556 (総務部 川原 啓嗣)	http://www.hyotokyo.or.jp/
(特社)兵庫県バス協会	兵庫県神戸市中央区下山手通4-15-8 会長 上杉 雅彦		<p>○近畿バス協議会に所属する近畿2府4県の各バス協会は東日本大震災に被災された東北地区の各バス協会が所属している東北バス協議会に対して義援金200万円を送る。(兵庫県バス協会100万円)</p>	078-391-0543 (小西)	
(特社)兵庫労働基準連合会	兵庫県神戸市中央区雲井通4丁目2番2号 マーカー神戸ビル 会長 金子 明		<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金の募集を、任意団体である労働基準協会に声をかけ、集まった義援金を神戸新聞社厚生事業団に4月8日寄附</p>	078-231-6903 (事務局次長 山口)	
(特財)肥料科学研究所	東京都北区西が原1-26-3 農業技術会館内 熊澤 喜久雄	<p>○東日本大震災に伴う東京電力福島原子力発電所の事故による放射性物質の農業生産に及ぼす影響調査及び今後の対策樹立のために、ビキニ水爆実験以後の過去における降下放射性物質(137Cs及び90Sr等)の土壌集積・作物吸収等に関する文献調査を行い関係方面に提供した。</p> <p>△海水の影響を受けた土壌の処理に対する知見を得るために塩類土壌についての研究、除塩方法などについて文献調査をし情報を提供する。</p>		03-3915-7140 (高遠 宏)	
(特財)ビル管理教育センター	東京都千代田区大手町1-6-1大手町ビル7階743区 篠崎 英夫		<p>○東日本大震災緊急支援のため、関係団体の行う義援金募集を通じ、日本赤十字社などに寄付を実施(3月30日実施)</p>	03-3214-4627 (中山)	
(特社)広島県自動車整備振興会	広島県広島市西区観音新町4丁目13-13-3 会長 古谷 敏明	<p>○仙台市の被災地域に当会尾道支部として4.5m排土板つきつまみ式回転大型重機を6か月間無償貸与した。(4月11日14:30~出発式挙行)現地リサイクルパーツSPN東北ブロックオペレーターにより、4月13日より活動開始。同時に支援物資を積載した。</p>	<p>○東日本大震災支援の為義援金を日整連を通じ行った。(3月31日)</p> <p>△東日本大震災支援の為の義援金を各会員より募り、地元新聞社を通じて寄付を行う予定。</p>	082-231-9201 (碓木)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)広島県清港会	広島県広島市南区宇品 海岸三丁目12番72号 深山 英樹		○全国の清港会で構成されている全国清港連絡協議会(構成26港、内4港が被災)及び新規参加予定の(社)山口県周南清港会の23港で寄附をまとめ、被災清港会である(社)八戸清港会、石巻清港会、小名浜清港会、相馬清港会の4港に支援金を送る計画。 (5月下旬に各被災港に送金する予定。)	082-254-4093 (事務局長 永尾 陽一)	
(特社)広島大学東雲同窓会	東広島市鏡山1-1-1 広島大学教育学部内 間田 泰弘		△(国)広島大学が人的・医療的・経済的支援活動を行っている。これに対して校友会が各同窓会に協力要請をしているので理事会・総会において支援の呼びかけを行うとともに、本同窓会に提供された義援金は広島大学を通して寄附を行う。(5月から実施予定)	082-425-1806 (間田 泰弘)	
(特財)ファインセラミックスセンター	愛知県名古屋市長久区 六野2-4-1 庄山 悦彦	○東北大学の研究室が震災被害のため研究できない状態であり、同大学へ着任予定であった研究者1名を同種の研究が可能な当財団において受け入れている。(4月1日から2ヶ月程度)		052-871-3500 (水野)	
(特社)福井県自動車整備振興会	福井県福井市西谷1丁目 1401番地 会長 浮田 啓三		○東日本大震災緊急支援のための義援金を各会員に3月18日から募集しており、日本赤十字社または福井新聞社を通じ寄附する。 △当振興会からも被災状況を今後検討し各振興会へ直接寄附する予定である	0776-34-3434 (今城 真治)	
(特社)福井県タクシー協会	福井市西谷1丁目1401番地 会長 蒲田 貞男		△東日本大震災緊急支援のため義援金を全々連を通じて、被災地協会へ送金予定(4月28日開催の理事会において決定、実施)	0776-34-1722 (専務理事 勝木 巡)	
(特社)福井県トラック協会	福井県福井市別所町17-18-1 会長 清水 則明	○3/11「緊急物資輸送連絡室」を立上げ情報収集と関係機関との連絡を取る。 ○3/14「災害緊急救援物資輸送対策本部」を設置し福井県と連携した輸送体制を確立。 ○3/15~3/31 福井県からの要請に基づき、延べ10トン車30台、4トン車17台を出動して、飲料水やカップ麺・缶詰・粉ミルクなどの保存食・毛布・紙おむつ等の救援物資を、岩手・宮城・福島各被災地へ輸送。 ○4/1以降 その後も出動要請は続いており、継続的に輸送活動を実施。 ○その他、各市町村から直接会員事業者への要請については、各々輸送活動を実施。		△義援金については、全日本トラック協会が募金団体として、各地方のトラック協会へ協力要請があり、当協会では現在、義援金300万円を寄附する方向で検討中。	0776-34-1713 (清水 雅弘)

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)福井県眼鏡協会	福井県鯖江市新横江2-3-4 めがね会館内 会長 黒田 一郎	○老眼鏡(22,000本)及び眼鏡フレームとレンズ(3,200セット)を福井県及び鯖江市等を通じ、被災地域の自治体(福島県、宮城県、岩手県、仙台市、大船渡市等)、被災地域(福島、宮城、岩手県下)及び被災者避難地域(新潟県下)の協力小売店に寄付(震災直後の3月より開始。被災地域の要請に応じ今後も継続して実施の予定)		0778-52-9111 (専務理事 坂野)	
(特財)福井県予防医学協会	福井県福井市和田2-1006 理事長 田中 猛夫	○東日本大震災緊急支援のための救援物資を福井県庁へ寄附(3月16日)	○東日本大震災緊急支援のための義援金を福井県庁へ寄附(3月15日) ○東日本大震災緊急支援のための義援金を福井新聞社へ寄附(3月22日)	0776-23-4810 (上坂 通子)	
(特社)福岡県自家用自動車協会	福岡県福岡市東区千早3丁目9-23 会長 石橋 友之祐		○東日本大震災により被災した岩手、宮城、福島、青森各自家用協会及び岩手、宮城、福島各事業協同組合に対し、(社)全国自家用自動車協会を通じ寄付(4月15日)	092-681-7166 (原)	
(特財)福岡県自動車標板協会	福岡県福岡市東区千早3-9-23 杉本 豊		○東日本大震災支援のため、義援金として100万円を中央共同募金会を通じ、3月25日に寄附をいたしました。	092-681-7226 (喜田 秀生)	
(特社)福岡県水難救済会	福岡県福岡市博多区東公園7-7福岡県庁舎9F 福岡県総務部消防防災安全課内 井出 善来		○会員から東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、4月末に日本水難救済会へ送付予定	092-631-1416 (柴田)	
(特社)福岡県タクシー協会	福岡県福岡市博多区比恵町11-1 田中 亮一郎		△上部団体「全国乗用自動車連合会」を通じ、東北3県へ見舞金を送る予定(4月中)△見舞金500万円	092-474-8350 (奥野 藤雄)	
(特社)福岡県トラック協会	福岡県福岡市博多区博多駅東1丁目18-8 会長 原 重則	○3月11日当協会内に災害対策本部を設置し、緊急物資の輸送依頼、物資提供の問合せに対応		092-451-7841 (鶴)	
		○福岡県、福岡市等の行政機関の要請を受けて、緊急救援物資輸送車両を手配し、輸送を行う。			
		△全日本トラック協会に500万円を寄託する予定(5月中旬) 当協会内に募金箱を設置し、協会長、職員、来訪者から募集中		092-451-7841 (宮崎)	
		△災害時の支援物資輸送を一元的に行うとともに、近隣住民の避難施設となる緊急物資輸送センターを福岡県内4カ所に建設する予定。 なお1カ所目となる「筑後緊急物資輸送センター」は5月10日に落成する。		092-451-7841 (石橋)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)福岡国際交流協会	福岡県福岡市中央区天神1-10-1 佃 亮二	○当協会のHPにおいて、日本語を母語としない方々に役立つと思われる、東日本大地震に関する外国語のサイトを多言語(日、英、中、韓)で紹介している。 併せて、福岡市の取り組みも多言語(日、英、中、韓)で掲載している。 (3月14日から実施)	○東日本大震災緊急支援のための義援金を当協会職員より募集し、福岡市の義援金窓口へ寄附。 (4月5日に振込済)	092-733-5630(井上)	http://www.rainbowfia.or.jp/
(特社)福島県銀行協会	福島県福島市大町4-15 北村 清士	○金融庁・日本銀行・東北財務局・福島財務事務所からの示達・指示に基づき、社員銀行・手形交換所・参加金融機関あて都度示達し、周知徹底を図っている。災害に対する金融上の措置、災害等を踏まえた年度末金融の円滑化、手形交換に関する特別措置の実施、など。 ○銀行とりひき相談所において、被災者からの預金の払い出しやローンの返済、手形の取立て等に関する問い合わせに対して、手続きの説明・金融機関への取次ぎなどを、案内している。 ○便宜扱いによる預金の払い出し方法や他行での代理支払い等の案内情報を、県の災害対策本部へ提供して、インターネットのホームページに掲載し、取引者に周知している。 ○臨時休業(原発災害により再開できない)している手形交換所の決済機能を維持するため、当局・関係機関と協議・調整し、被災地外の手形交換所へ機能を移管して再開した。 △臨時休業している手形交換所の再開に向けて、関係金融機関と協議・調整のうえ対応していく。	△災害復旧等の財源として、福島県に寄付金の贈呈(4月を予定)。	024-522-6535 (阿部 哲夫)	
(特社)福島県労働基準協会	福島県福島市本庁5番8号 福島第一生命ビル3F 会長 佐久間 洋	○震災により紛失・滅失した技能講習修了証は無償で再交付している(平成23年8月31日まで)。	○日本赤十字社福島県支部へ義援金10万円を寄附	024-522-6717 (専務理事 大山 久)	http://www.fukurou.or.jp
(特財)福島県労働保健センター	福島県福島市沖高字北貴船1-2 理事長 佐藤 喜三郎	○当財団においても、震災による被害を受けておりますが、津波や原発事故の避難者に対し、医療支援活動を実施した。内容は、福島市内の避難所に午後6時半から午前8時半の間、医師、看護師、保健師等を派遣し、避難者の体調管理に当たった。活動期間は3月中旬から約2週間実施した。		024-554-1133 (総務課長 長澤 宏之)	
(特社)福島労働基準協会	福島県福島市大町4-4 東邦スクエアビル2F 会長 佐久間 洋	○震災による紛失等に対する技能講習・特別教育の修了証等の再交付を無料で交付し書留にて送付している(期間の定めなし)。		024-522-6717 (専務理事 片寄 一郎)	
(特財)福山通運渋谷長寿健康財団	広島県福山市明神町2-5-22-3階 理事長 大田 浩右	○陸前高田市へ事務用品、衛生用品を福山市議へ委託し寄付。物資は4月17日にトラックにて出発し、19日到着。市民へ配布された。	○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附(4月22日開催の市民公開講座において実施)	084-922-9757 (貝原)	http://www.zaidan-shibuva.com/activ_2011.html
(特財)フジシールパッケージング教育振興財団	大阪府大阪市淀川区宮原4-1-9 藤尾正明	○財団本来事業である奨学金給付事業に関して、震災による被災地東北3県の国立大学(岩手大学、東北大学、福島大学)に2011年度奨学生新規採用として、各大学からの推薦依頼を行う。(4月14日発送) 大学からの推薦者より選考を行い、奨学生を決定する。認定者には規程に定める奨学金を給与する。		06-6350-1089 (香坂 弘之)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)復光会	千葉県船橋市市場3-3-1 土井 豊	<p>○日本精神科病院協会千葉県支部の要請により「光が丘保養園(宮城県気仙沼市内)」へ医師1名、看護師1名、PSW1名、事務1名 計4名の医療支援チームを派遣。活動日程H23.4.18~4.24</p> <p>△上記医療支援チーム第2回目派遣、5.23~5.29を予定</p> <p>△兵庫県より兵庫県精神科病院協会に委託した医療支援チームに5月より参画する予定</p> <p>○日本精神科看護技術協会に協力し緊急支援物資を発送(3月23日実施)</p>		<p>047-422-2171(総武病院代表)</p> <p>078-994-1151(垂水病院 利根川)</p>	
(特社)不動産協会	東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル17F 理事長 岩沙 弘道	<p>○会員企業に対する救援金の寄託要請及び法人法人ホームページにアップ(3月14日)</p> <p>○被災者支援のために必要な措置について、できる限りの対応を各社に対し要請(3月14日)</p> <p>○自社分譲住宅・賃貸ビル等の点検、安全確認、修補を各社に対し要請(3月14日)</p> <p>○節電(計画停電への協力)要請(3月14日)</p> <p>○「業務用ビルの節電の徹底のお願い(緊急)」を各社に対し要請(3月17日)</p> <p>○主なビル事業者の節電対策についての取りまとめ(3月25日)</p> <p>○「電力需給緊急対策本部(閣僚級)」の方針を受け、国土交通省総合政策局長(及び資源エネルギー庁)が開催した関係業界団体等に対する「今後の電力需給の見通しの説明と節電の要請」会に参加(3月29日)</p> <p>○民主党国土交通部門・陳情要請対応本部 合同団体ヒアリングに参加し復興等に向けた要望を行った。(4月7日)</p> <p>○電力対策自主行動計画の策定(4月21日)</p>	<p>○会員企業より62件・約30億450万円、当協会より社会貢献活動基金から1,000万円(3月17日)が中央共同募金会等を通じて寄託</p>	<p>03-3581-9421 (保母)</p>	<p>http://www.fdk.or.jp/info/index.html</p>
(特財)不動産適正取引推進機構	東京都港区虎ノ門3-8-21 第33森ビル3F 会長 平井 宜雄	<p>△被災地域における宅建試験の協力機関との連絡、協力体制を一層強化し、通常の電話回線が使用不能な事態に対処できるように衛星電話の設置を行うこと、被災地域の受験者に対し他県での受験機会を付与すること等、被災地域での宅建試験の実施に特段の配慮をする方針。</p> <p>△被災者支援として、大震災と不動産取引の問題点をテーマにした講演会を開催するとともに、過去の震災事例の蓄積を活用して、業界団体、消費生活センター等綿密に連携を行い、相談業務の充実を図る。</p>	<p>△年間3回実施している講演会の収益金を義援金として、日本赤十字社等を通じて被災地に寄附する。また、講演会当日に会場で募金箱を設置し、参加者から募金を募り合わせて寄附する。</p> <p>○業界紙2紙にお見舞い、応援メッセージを掲載し、その広告料金は、日本赤十字社を通じて被災地に寄附された。</p>	<p>03-3435-8111 (総務部長 福田)</p>	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)不動産流通 近代化センター	東京都千代田区九段南4 -8-21 山脇ビル8F 理事長 伊藤 博	<p><不動産ジャパン関連></p> <p>○震災後のホームページ運営サービスについて「不動産ジャパンからのお知らせ」掲載(3月14日)</p> <p>○不動産ジャパンに参加する不動産流通4団体を通じて「東北地方太平洋沖地震に係る被災者の民間賃貸住宅への円滑な入居の確保を図る上での情報提供サイトの活用について」を各地方団体、会員会社に要請(3月16日)</p> <p>※1. 不動産流通4団体とは、(社)全国宅地建物取引業協会連合会、(社)全日本不動産協会、(社)不動産流通経営協会及び(社)日本住宅建設産業協会</p> <p>※2. 不動産ジャパンとは、4団体が有する情報を統合した消費者向けの不動産情報サイト</p> <p>○トップページに「東北地方太平洋沖地震に関するお知らせ」のバナーを設置(3月17日)</p> <p>○「被災された方のための住宅確保対策について」を掲載(3月17日)</p> <p>○不動産流通4団体から各地方団体、会員に対し、不動産ジャパンへ震災関連情報を付記した賃貸物件情報の積極的な登録を要請(3月17日)</p> <p>○4月18日の官民連携した民間賃貸住宅の情報誌の発行に際し、不動産関係団体や民間企業とともに積極的に協力(震災対応物件の情報提供)</p> <p><被災者支援関連></p> <p>○実施した講習における被災地エリア受講生の受講不能による受講料の返還、受講日程及び会場振替措置の優遇、郵送物等の期限の延長などの特別措置</p> <p>○被災各県、業界団体、地方行政機関に対して、支援要望内容のヒアリング(電話)を開始、ヒアリングを基に次の対策を策定。</p> <p>△被災者支援等の対策(予算計:2,250万円)</p> <p>(1)「不動産相談ホットライン」(無料電話相談サービス)の実施(5月下旬～)、相談者の連絡先の記録</p> <p>① 不動産に関わるあらゆる相談を受けるためフリーダイヤルの設置、専門相談員を当センター内に配置</p> <p>② 専門家(弁護士、税理士、建築士)との連携による専門的内容のカバー</p> <p>③ 無料電話相談サービスにより不動産相談キャラバンの実施エリア、回数、相談員の構成を検討</p> <p>(2)不動産相談キャラバンの実施(7月、8月～)</p> <p>① 被災地に向向き、無料相談会を実施(1回あたり5名程度派遣)</p> <p>② 1県当たり2回～3回、延べ10回程度、時期及びエリアは「不動産相談ホットライン」の実施結果等を参考に検討</p>		03-5843-2070 (総務部長 小林)	http://www.fudousan.or.jp/new/index.info.html
(特社)不動産流通 経営協会	東京都港区虎ノ門3-25 -2 ブリヂストン虎ノ門ビル5 F 理事長 大橋 正義	<p>○「電力需給緊急対策本部(閣僚級)」の方針を受け、国土交通省総合政策局長(及び資源エネルギー庁)が開催した関係業界団体等に対する「今後の電力需給の見通しの説明と節電の要請」会に参加(3月29日)</p> <p>○4月18日の官民連携した民間賃貸住宅の情報誌の発行に際し、不動産関係団体や民間企業とともに積極的に協力(震災対応物件の情報提供)</p>	○日本赤十字社を通じ、義援金500万円を送付(3月17日)	03-5733-2271 (事務局長 玉原)	http://www.homenavi.or.jp/information/bn/contents/info_09.html
(特財)富徳会	東京都墨田区本所1-3 -7 ライオンビル内 小林 健二郎		△法人会計から日本赤十字社へ寄付することの検討(4月末までに決定)	03-3846-5158(武者)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)不白流白和会	東京都杉並区高円寺南 5-10-12 理事長 川上 震人	○4月10日福岡県久留米市大善寺玉垂宮献茶式において、チャリティー茶会を実施し、無料で呈茶、義援金を募った。	○左記の義援金を日本赤十字社に寄附する予定。また、5月3日の春季茶会や7月17日の夏期講習会のチケット代の一部を義援金として寄附する予定。	03-3315-2700 (川上 幸子)	
(特社)部落問題研究所	京都府京都市左京区高野西開町34-11 成澤 榮壽	○月刊誌『人権と部落問題』の特集の中で、随時震災関連の問題を取り上げて掲載している。5月号は、「保育問題」の論考の中で取り上げて、既に刊行。7月号、「公害問題と人権」(仮題)の論考の中で取り上げる予定。8月号「平和学習を考える」(仮題)の論考の中で取り上げる予定。9月増刊号は「震災から人権を考える 地域の再生」(仮題)の予定で、10人の各分野において執筆を依頼、準備中		075-721-6108 (今村)	
(特財)フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団	東京都新宿区百人町1丁目25番1号 理事長 池田 茂		△東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附(弊財団主催の研修会・講演会並びにセミナーにおいて実施予定、5月13日開催のセミナー研修会より実施)	03-3363-7461 (事務局長 高巢)	
(特財)ブルーシー・アンド・グリーンランド財団	東京都港区虎ノ門1-15-16 梶田 功	○日本財団(CANPANプロジェクト)が実施する「東日本大震災支援基金」を通じた役職員による街頭募金活動を実施(3月19~21日) ○宮城県石巻市を中心に日本財団が実施する被災地復旧活動に職員派遣(3月30日~4月11日) ○日本財団が実施する弔慰金・見舞金支給活動に職員派遣(宮城県女川町・岩手県宮古市)(4月2~6日・4月13~17日) ○被害を受けたB&G海洋センターの状況確認と見舞金支給(4月7日~) △「B&G体験クルーズ」「B&G海洋体験セミナー」「B&G全国スポーツ大会」事業を「子どもたちに笑顔を=日本元氣復活事業=」として実施する。(7~8月)	○全国のB&G海洋センター(被災地除く)に対し、日本財団(CANPANプロジェクト)が実施する「東日本大震災支援基金」を通じた募金を依頼(3月15日~)	03-5521-6740 (朝日田)	http://www.bf.or.jp/
(特社)プレハブ建築協会	東京都千代田区神田小川町2-3-13 和田 勇	○被災者のための応急仮設住宅の建設について、協会会員一同総力をあげて取り組んでいる。		03-5280-3121 (田口)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)米穀安定供給確保支援機構	東京都中央区日本橋小伝馬町15-15 木村 良	<p>○一般社団法人超人シェフ倶楽部との共催により、「がんばれ福島！がんばれ東北！」をテーマに、5月8日福島県会津若松市避難所において、“米粉”を使用した料理、郷土料理等の炊出し支援活動を実施。併せて、地元の食材を使うことで、福島県の食材の安全性をPR</p> <p>○東日本大震災関連情報の提供。農林水産大臣メッセージ、福島第一原子力発電所事故による農林水産物等への影響など関係省庁などが公表する情報を本機構ホームページでも提供</p>	<p>○ホビークッキングフェア2011(4月27日～29日、東京ビッグサイト)において、東日本大震災チャリティーとして米粉を販売した売上金23万4千円を日本赤十字社を通じて寄附</p> <p>○全国米穀販売事業共済協同組合、(特社)日本精米工業会との合同により東北地方太平洋沖地震被害への支援に係る義援金募集を実施。日本赤十字社、被災県及び被災会員(組合員)へ寄附(募集期間3月24日～3月31日。応募総額2,000万円(うち本機構200万円拠出))</p>	03-4334-2150 (総務部長 長谷川)	http://www.komenet.jp
(特財)ベターリビング	東京都千代田区富士見2-7-2 那珂 正	<p>○「被災地自宅修補・再建相談」のため、八戸市(4/1～4/6)、郡山市(4/11～4/18)に職員3名を派遣した。</p> <p>○応急仮設住宅(輸入住宅資材活用)の事業者リスト作成業務に職員1名を派遣した。(4/14～5月中旬)。</p>	○恒例の(特社)リビングアメニティ協会との共催による意見交換会を中止し、その予算を義援金に活用する。	03-5211-0556 (高橋)	
(特社)別府法人会	大分県別府市光町22-19 菅 健一		○別府支部、国東支部、日出支部、安岐支部、武蔵支部、国見支部、姫島支部の各支部長名で、大分合同新聞社を通じて寄附した。	0977-25-3311(代表)	
(特財)保安電子通信技術協会	東京都墨田区太平4-1-3 吉野 準		<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を日本赤十字社へ寄附</p> <p>○東日本大震災緊急支援のために職員から募金を募り日本赤十字社へ寄付</p>	03-6381-3100(田中)	
(特社)防衛協力商業者連合会	東京都新宿区市谷本村町3-20 会長 梅田泰弘	○全国から被災地域に派遣された部隊が所在する駐屯地等において、当会に加盟する店舗が営業時間の延長、隊員からの要望が多い商品の確保等に努めることにより、部隊活動の円滑化や隊員の士気の高揚に寄与している。		03-5261-8521 (事務局長 山田暁)	
(特財)防衛弘済会	東京都新宿区本塩町21-3-2 理事長 小澤 毅	○全国から被災地域に派遣された部隊が所在する駐屯地等において、当会の運営する店舗が営業時間の延長、隊員からの要望が多い商品の確保等に努めることにより、部隊活動の円滑化や隊員の士気の高揚に寄与している。		03-5362-9134 (経営企画室長)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)防衛施設周辺整備協会	東京都港区芝3-41-8 会長 塩田 章	<p>・平成23年度の全期間、東北防衛局及び東松島市の要請の下、東北支所の全職員(5人)が公益事業(非収益事業)として様々な業務支援を実施 現在まで以下の業務に参画済み</p> <p>○東北支所において、被災した住宅防音補助事業者の苦情・相談を受け、東北防衛局に対し適宜情報提供 (3月22日～)</p> <p>○東北支所において、東北防衛局からの要請を受け、住宅防音補助事業者の安否確認を実施(4月7日)</p> <p>○東北支所において、4月7日発生の余震に伴う断水対策として、東松島市の要請を受け市内各避難所に飲料水を配達 (4月8日)</p> <p>○東松島市が実施する被災市民の罹災証明書発行に伴う「家屋判定現地調査」に東北支所が支援 (4月11日～)</p>	<p>○東日本大震災で記録的な被害を受けた東松島市に対し、義援金300万円(第1段階)を拠出済み(3月25日)</p> <p>△今後、東松島市の要請を踏まえ、更なる義援金の拠出を予定</p>	03-3451-9221 (永井)	
(特財)放射線影響研究所	広島市南区比治山公園5番2号 大久保 利晃	<p>○東京電力福島第1原発事故による避難住民に対する汚染検査活動に人的支援を行い、汚染検査測定活動に参加した。(福島県に職員1名を派遣:3月16日-22日、)</p> <p>○東京電力福島第1原発事故による避難住民の避難施設において、汚染測定訓練を実施した。また、避難住民の不安を軽減するために、放射線についての正しい情報を、現地のマスコミの取材に答える形で提供した。(山形県に職員2名を派遣:3月17日-24日)</p> <p>○東京電力福島第1原発事故のため広島に避難してきた住民や、原発事故支援活動から帰郷した人たちに対して、当研究所において汚染測定検査を実施している。(測定実施総数:30名(4月21日現在))(3月15日から実施)</p> <p>○東京電力福島第1原発事故により、放射線に対する不安や関心が高まる中、放射線とその健康影響についての正しい情報を、HPを通じて配信している。HPは、原発事故対応版にリニューアルした。(3月17日から実施)</p> <p>○東京電力福島第1原発事故に関連した、一般の人々やマスコミからの質問に対応している。(主席研究員と広報担当スタッフを中心に対応。)(3月11日から実施)</p> <p>○東京電力福島第1原発事故に係る原子力災害対策に関して、被災者の被ばくに係る長期的な医療、健康管理などについて助言を与える原子力災害専門家グループの一員として児玉和紀主席研究員が内閣官房政策調査委員に任命された。(4月1日)</p> <p>△東京電力福島第1原発事故において高線量被曝が発生した場合には、染色体検査に支援・助言を行う。(児玉 遺伝学部長が放射線医学総合研究所から待機要請を受けている。)</p> <p>△東京電力福島第1原発周辺住民に対する長期的健康調査が計画・実施される場合には、当所の持つ長期的疫学調査のノウハウを提供する。(大久保理事長が放射線影響研究機関協議会(放射線影響研究所、放射線医学総合研究所、広島大学、長崎大学、京都大学、環境科学技術研究所)に協力を呼びかけた。3月29日)</p>	<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を職員から募集し、寄附(4月13日)</p>	082-261-3131 (内線 120) (事務局次長 小笠原優)	http://www.ref.or.jp/index.html
(特財)放射線利用振興協会	茨城県那珂郡東海村白方白根2-4 田中 治	<p>△文部科学省原子力災害対策本部からの要請に応じ、福島第一原発事故により福島第一原発周辺の方々の健康不安(放射線被ばくに対する不安)に対応するため、文部科学省が実施している「健康相談ホットライン」に協力し、電話窓口を開設(4月27日から実施予定)</p> <p>○職員1名の東日本大震災被災者支援ボランティア活動に対し特別休暇を付与(宮城県石巻市において津波に被災した家屋の家財、畳、瓦礫等の撤去、ヘドロの除去及びこれらの廃棄作業 4月8日～12日)</p>		029-282-9533 (秋山)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)墓園普及会	東京都新宿区西新宿6-5-1 大澤 秀行	○東日本大震災一週間後、当財団5霊園(関東・関西)の受付カウンターに募金箱を設置し、墓参にいられた方々からの義援金を募っております。 △当財団からも義援金として100万円程度の寄附を検討しておりますが、5月末の決算役員会の承認を経たうえで実行することになります。	△墓参者からの募金と当財団からの寄附金とを合算し、日本赤十字社等への寄附という形で、義援金活動の実施を考えております。(6月頃を予定)	03-6304-5593(野口)	
(特社)北勢自動車協会	三重県四日市市八田3丁目1-19 会長 伊藤 恵智		○大震災後、当協会窓口に震災募金箱を設置し、現在も継続中	059-364-7783 (小坂)	
(特社)北部九州河川利用協会	福岡県久留米市宮ノ陣 松尾 新吾	○公益事業活動の中で市民団体と協働で募金活動を行った。	○久留米市を經由して30,000円寄付する。	0942-34-6733 (山本)	
(特財)北陸経済研究所	富山県富山市丸の内1丁目8-10 理事長 犬島 伸一郎	△74先が加盟する「地方シンクタンク協議会」の幹事として、震災後の全国観光産業振興へ向けたフォーラムを6/24・25金沢市で開催予定	○所内有志の義援金179千円を「北陸銀行役職員一同義捐金」の一部として北陸銀行あて送付	076-433-1134 (事務局長 吉岡)	
(特社)北陸建設弘済会	新潟県新潟市江南区亀田工業団地2-3-4 大林 厚次	○宮城県内における河川、道路などのインフラの被災状況を把握するため、被災現場の写真撮影等の現地調査等を実施。3月24日から4月18日までの間、1班2名体制(派遣期間は一週間)で4班、延べ約52人日を派遣。 ○生活物資(非常食、保存食、飲料水等)及び事務用品の緊急支援として職員が直接運搬。	○東日本大震災緊急支援のための義援金として岩手県、宮城県、福島県、日本赤十字社、中央共同募金会へ寄附。(3/28寄附実施)	025-381-1020 (入村 清次郎)	
(特社)北陸地区信用金庫協会	石川県金沢市尾張町1-4-15 山地 清		○傘下の信用金庫の窓口で、来店者から被災地域への義援金を募集し、日本赤十字社へ寄付(3~4月) ○傘下の信用金庫役員に、義援金として一人二千元以上の募金を呼びかけ、日本赤十字社へ寄付(3~4月) ○傘下の信用金庫から義援金として日本赤十字社へ寄付(3~4月)	076-261-2836(永井)	
(特社)北陸電気管理技術者協会	富山県富山市神通町三丁目4-3 西辻 秀美		○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。(3月下旬から実施)	076-442-3332 (北村 芳文)	
(特財)北陸電気保安協会	富山県富山市桜橋通り3-1 長田 武嗣	○電力会社、東北電気保安協会からの応援要請に対応できるよう、資機材を含め応援体制を整えた。 ○富山県5団体から被災地での緊急支援物資提供の要請を受け、提供できる物資を報告済。要請待ち。 ○北陸電力総連からの要請により被災地救援ボランティア活動へ職員を派遣した。	○全国の電気保安協会(被災した東北、関東を除く)で義援金を日本赤十字社へ寄附した。(3月23日)	076-441-6350 (鉛井)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)北陸予防医学協会	富山県富山市西二俣 277-3 理事長 永田 義邦	○被災地である福島県医師会並びにいわき市医師会からの要請により、日本医師会災害医療チーム(JMAT)の一員として、福島県いわき市に富山県医師会災害医療チームとして派遣(3月19日以降)があり、その一陣として医師・看護師・事務員の班編成の中の事務員2名を協会内からボランティアとして募集し、参加(4月29日～5月5日)	○協会内で義援金を募集し、北日本新聞社を通じ寄附(3月17日寄附、総額109,000円)	0766-24-3131 (保科)	
(特財)輔仁会	長崎県長崎市坂本1丁目 7-1 長崎大学病院内 理事長 野崎 章裕	○長崎県薬剤師会からの要請で、医療支援として宮城県気仙沼市の大島小学校(避難所)へ薬剤師1名を派遣した。(4月7日～4月12日)	○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附(現在義援金を募集中。4月末で終了し、取りまとめのうえ寄附する。)	095-849-7571 (島田)	
(特社)北海道観光振興機構	北海道札幌市北区北4条 西4丁目 伊藤加藤ビル6階 会長 坂本眞一	○「がんばろう日本応援プロジェクト」 北海道が元気の源となり、これまで行ってきた催しやイベント、経済活動等を委縮することなく実施し、その中で「心 ONE FOR ALL, ALL FOR ONE」HOKKAIDO FOR JAPAN」というメッセージのもと、オール北海道で心をひとつにして元気を無くしている日本全体への応援の気持ちを込めて被災者への支援活動が続けて行く。 プロジェクト内容 ポスター及びロゴマークの提供によるイベント開催、チャリティ・募金活動の促進。(平成23年4月12日～24年3月31日)	○東日本大震災緊急支援のための義援金を会員から募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。(募集期間 3月16日～4月30日)	011-231-0941 (企画部次長 加賀谷博司)	http://www.visit-hokkaido.jp/
(特財)北海道港湾福利厚生協会	北海道小樽市港町4番4号 理事長 鈴木 信一		○上部組織である全国港湾福利厚生協会を通じ、被災地の東北港湾福利厚生協会及び茨城港湾福利厚生協会へ4/11義援金を寄附した。	0134-23-4656 (圓山)	
(特社)北海道小型船舶工業会	北海道小樽市港町4番4号 会長 津村 英輔		○東日本ブロックの東海の小型船舶工業会へ集約し、被災地の小型船舶工業会及び船用工業会へ4月上旬に義援金(各5万)を寄附した。	0134-25-5407 (事務局長 下河道)	
(特社)北海道商工会議所連合会	北海道札幌市中央区北1条西2丁目 高向 巖	○道と自衛隊の連携による民間企業からの無償救援物資の輸送について、全道商工会議所会員企業に支援物資提供を要請(3月17日) ○日商からの依頼を受け、被災地区事業所の巡回相談や総合指導などの円滑化のため、全道商工会議所に被災地商工会議所(仙台、福島、盛岡等)への、経営指導員、OB、一般職員(経営指導の経験者)、各種専門家の派遣を要請(4月7日)	○被災地の商工業の復興に役立ててもらうため、全道商工会議所に義援金募金を依頼中 ・募集期間 平成23年3月24日～5月31日 ・義援金は日本商工会議所を通じ、被災地商工会議所、商工業者に寄贈	011-241-6305 (守山)	
(特社)北海道信用金庫協会	北海道札幌市中央区北5条西5丁目 北村 信人	○東北地区信用金庫協会に対する物資の支援を実施	○被災者に対して、役職員による支援見舞金 △全国信用金庫協会が取りまとめる業界における被災信用金庫への支援見舞金拠出を検討	011-221-3273 (事務局長 江端 稔)	
(特社)北海道信用組合協会	北海道札幌市中央区北4条西5丁目 松本 征人	○会員信用組合からの特別分担金(臨時の会費)により、当会会員で被災した1信用組合に対し見舞金として拠出したほか、宮城県内4信用組合に対して物資による支援を実施	○全国信用組合協会を通じて義援金を拠出	011-271-7070 (専務理事 中兼 寿彦)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)北海道東北地域経済総合研究所	東京都千代田区神田駿河台3-3-4 新飯田 宏			○東日本大震災の被災者支援のため河北新報社を通して日本赤十字社に義援金を寄附(3月30日)。	03-5217-2441 (桑山)
(特社)北海道トラック協会	北海道札幌市中央区南9条西1丁目1-10 会長 杉本 守巧	○北海道からの要請により、3月15日と18日に被災地へ緊急支援物資の輸送。札幌地区トラック協会と連携して後志総合振興局等6カ所から原子力防災資機材を新千歳空港まで輸送。 ○北海道からの要請により、3月20日に被災地へ緊急支援物資の輸送。札幌・函館・室蘭地区トラック協会と連携して札幌・函館・室蘭方面より食料品、医薬品等を車両15台に積み、宮城県・岩手県の被災地へ輸送。		○東日本大震災緊急支援のため、会員から義援金を募集し、全日本トラック協会を經由して被災地の自治体へ寄附をする。(4月1日から実施)	011-531-2215 (総務部 西田)
(特社)北海道ハイヤー協会	北海道札幌市中央区南8条西15丁目4-1 会長 加藤 欽也			○東日本大震災緊急支援のための義援金として、日本赤十字社へ4月4日寄附(50万)を行った。 ○上部組織である全国乗用自動車協会を通じ、被災地のハイヤー協会へ義援金(150万)を寄附した。	011-561-1171 (総務部 鈴木)
(特社)北海道法人会連合会	北海道札幌市中央区北1条西2丁目 北海道経済センター 光安 規美男			○女性部会連絡協議会において、全道の女性部あてに「東日本大震災」復興活動支援の協力要請を行った。支援金は、仙台局連女連協を通じ被災した各県女連協へ送金。	011-251-3463(高橋)
(特財)北海道陸運協会	北海道札幌市東区北30条東1丁目1-54 理事長 神林 英二郎			△復興に長い年月を要すると考えており、新法人移行申請を来年中旬に準備を進めており、寄付金による援護活動事業として支援活動計画を公益目的支出計画に折り込む予定。(平成24年夏)	011-721-3326 (花坂)
(特財)帆船日本丸記念財団	神奈川県横浜市西区港みらい2-1-1 岡本 坦			○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社と日本財団へ寄附。(第1回3月31日締切り実施済み)	045-221-0280 (加藤)
(特財)本州四国連絡高速道路協会	兵庫県神戸市中央区雲井通4-1-2 有川 正治			△東日本大震災緊急支援のための義援金として、日本赤十字社へ寄附予定。	078-242-0581 (事務局長 船岡)
(特財)本田財団	東京都中央区八重洲2-6-20 川島 廣守	△科学技術振興推進事業の一環として、災害の予知、対応技術、復旧復興技術エネルギー問題を議論する場を設けるべく、財団の役員で構成される検討会を設置。本年夏以降、日本で科学技術と社会システムを基盤として、安心安全を議論する国際シンポジウムを検討中。		03-3274-5125 (野寄)	http://www.hondafoundation.jp

ま 行

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)舞鶴労働基準協会	京都府舞鶴市上安久小 安久高原381番地2 会長 若野 昇一		○義援金を寄附	0773-75-4731 (事務局長 福山 義朗)	
(特財)毎日書道会	東京都千代田区一ツ橋1 -1-1 理事長 北村 正任	○被災地での書道芸術活動の再開支援。公募展である第63回毎日書道展(7月開催)への応募について、被災者には出品料を減免することを決定。また、財団法人毎日書道会の賛助会員の被災者に対しても、会費の減免措置をとることを決定。4月初めから被災状況調査を進めている。	○毎日書道会の賛助会員を中心に全国の書道愛好家に対して、東日本大震災の被災者への救援募金を呼びかけている。具体的には、日本赤十字社に募金を送っている毎日新聞東京社会事業団を紹介している(3月中旬から)。	03-3212-2918 (西村 修一)	maishodo@pluto.plala.or.jp
(特社)前橋法人会	前橋市日吉町1-8-1 四方 浩		△本会として20万円を上毛新聞社へ寄附予定 △3部会(大胡部会・宮城部会・粕川部会)で3万円(各1万円)を上毛新聞社へ寄附予定 (いずれも平成23年4月20日 理事会にて決定し近く実行予定)	027-234-2248(関口専務理事)	
(特社)街づくり区画整理協会	東京都千代田区平河町2 -4-13 ノーブルコート平河町4階 矢田 立郎	△今後の復興を支援するため、区画整理をはじめとした街づくりについて、専門家の知見を得ながら、機関誌「区画整理」、街づくりに関する「相談室」を通じて、幅広く情報提供等を行う。		03-3262-2089 (栗坂)	
(特財)松岡科学研究所	東京都小金井市緑町5- 19-21 松岡 研司		○4月より始まった狂犬病予防注射事業に関連して、仙台市獣医師会に対し資材(狂犬病ワクチン)の寄付を行った。(4月5日)	042-381-0075 (松岡 研司)	http://www13.ocn.ne.jp/~mris/index.html
(特社)松本法人会	長野県松本市本庄1-3- 10大同生命ビル5F 神澤 陸雄		○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。(5月2日から義援金受付)	0263-35-8080(野村事務局長)	
(特財)松山観光コンベンション協会	愛媛県松山市大街道3- 2-46 会長 関谷 勝嗣	○4月2日開催の中四国J2クラブ合同チャリティーマッチの義援金募集に協力した。 ○被災地支援バナーの作成および貸出	○東日本大震災支援のための義捐金を募集し、全国都市コンベンションプロパー会へ寄付を行った。(3月28日開催の当協会理事会等において実施)	089-935-6711 (石本)	
(特社)漫才協会	東京都台東区西浅草2- 1-2 マチダビル2F 会長 青空 球児(本名: 下地康夫)	△被災地への慰問を検討中	○4月1日~9日 浅草で募金活動を行いNHKを通じて寄付 ○4月10日 日暮里での公演で募金活動を行い荒川区を通じて寄付	03-5828-5030 (池沼 貴彦)	http://www.manzaikyokai.org/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)マンション管理センター	東京都千代田区一ツ橋 2丁目5-5 岩波一ツ橋ビル7階 理事長 亀本 和彦	<p>○東北地方太平洋沖地震に伴い、分譲マンション管理組合等からの地震被害及び計画停電等に関する相談に対応するため、震災関係相談専用窓口を設置し管理組合等からの電話相談等を実施(3月14日から実施中)</p> <p>○青森・岩手・宮城・福島・茨城の登録管理組合については、1年間の登録更新料を無料とする措置を実施</p>		03-3222-1516 (山下)	http://www.mankan.or.jp/06_consult/tel.html
(特社)三重県自動車会議所	三重県津市雲出長常町 字六ノ割1190-1 会長 竹林 武一	○東日本大震災緊急支援のため募金寄付を関係団体連絡会議(三木会)で呼びかけ募集。(実施期間 3月17日~3月31日)	○4月4日 中日新聞三重総局へ寄付 義援金 199,709円	059-234-7215 (山口)	
(特社)三重県旅客自動車協会	三重県津市雲出長常町 字六ノ割1190-1 会長 宮田 準		○東日本大震災緊急支援のための義援金を三重県自動車会議所を通じ、中日新聞へ寄附。 △東日本大震災緊急支援のための義援金を全タク連を通じ寄付を行う。(5月総会決定後実施予定。)	059-234-8438 (景山和)	
(特財)三笠保存会	神奈川県横須賀市稲岡 町 82番19 会長 増田 信行		△東日本大震災緊急支援のための義援金を募集して寄附予定(5.14の記念演奏会及び5.21の講演会において実施)	046-822-5225 (総務課長 豊崎健二)	http://www.kinenkan-mikasa.or.jp/
(特財)水と緑の惑星保全機構	東京都港区西新橋2-1 6-2 進士 五十八	△東日本大震災緊急支援を実施しているNGO・NPO等への支援金を募り、取りまとめ団体((特非)日本NPOセンター等)に寄附を行う。(5月以降実施予定)		03-3433-4454(島田)	
(特財)みずほ育英会	東京都中央区八重洲2- 4-1 常和八重洲ビル 吉田 達夫	<p>○今年度の奨学生募集につき、震災の影響により授業開始時期等を変更した大学経由での願書提出期限を一部延長</p> <p>△奨学生の応募状況に応じ、採用奨学生数の見直しも検討予定</p> <p>○奨学生(現役学生並びに被災地在住の返還猶予中の学生)の無事確認済</p>		03-3275-1601 (磯野)	
(特財)みずほ教育福祉財団	東京都千代田区内幸 町1-1-5 みずほ銀行本店内 森 信博	<p>○被災地小学校に文具類を寄贈 福島県南相馬市内小学校16校を対象に、南相馬市教育委員会宛てノート類6種11,000冊、消しゴム2種6,400個、鉛筆4種9,600本、計27,000点を寄贈(4月15日)。 更に、宮城県、岩手県に対しても、現地の受入れ体制出来次第寄贈の予定</p> <p>○仮設住宅入居者のためのカレンダー等の寄贈(4月8日) 親会社みずほフィナンシャルグループの協力を得て、カレンダー2,700枚、手帳1,000冊を(特財)全国老人クラブ連合会のルートを通じ、寄贈</p>		03-3596-4530 (常務理事 鎌田 栄次郎)	
(特財)三井生命厚生事業団	東京都江東区新大橋1- 8-11 上村 修三		○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、三井生命へ寄附。金額67,000円。(3月22日)実施済み。	03-3846-3751 (濱野)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL	
		活動	寄附			
(特財)三菱UFJ環境財団	東京都千代田区大手町1-1-1 理事長 室町 鐘緒	△NPO法人「森は海の恋人」(宮城県気仙沼市)が開催する、河川流域への植樹祭にクスギ等の苗木800本を寄贈(6月5日)		03-3214-5553(芳賀)		
(特社)南後志法人会	北海道虻田郡倶知安町南2条西1丁目 石本 達雄			○日本赤十字社へ義援金振込み	0136-22-1108(高野)	
(特社)宮城県観光連盟	宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号 村井 嘉浩	○宿泊施設や日帰り入浴情報をホームページ等で掲載したり、電話対応により情報提供を実施。 ○イベント情報や観光施設情報の収集及び情報提供 ○チャリティーグッズ(Tシャツ、リストバンド)を作成・販売		022-211-1864 (佐藤係長)	http://mivagi-kankou.or.jp/index.php	
(特社)宮城県銀行協会	宮城県仙台市青葉区一番町2-4-1 氏家 照彦	○今般の震災を受けて、下記のような国・県および当協会からの要請・依頼等を協会傘下の社員銀行に周知した。 ・東北財務局長から、「年度末金融の円滑化について」の要請を受けて周知。 ・東北財務局長から、「金融上の措置について」の要請を受けて周知。 ・宮城県保健福祉部長から、「被災者に対するサービスの提供について」の要請を受け、避難所で生活している被災者等における口座の新規開設や通帳・カードの再発行手続きについて、最寄りの支店が避難所を訪問して手続きに応じるなどの便宜を図るように周知。 ・宮城県警本部から、津波で流されたATMや金庫から現金が盗難された事件に係る手がかりを把握するため、銀行に汚れた現金の入金や交換依頼があった者に対する情報を当協会に提供するように銀行に周知。 ・手形交換に関する特別措置(①呈示期間が過ぎても呈示可能とする措置、②呈示期間が過ぎても振出人と連絡が取れれば決済を可能とし、また、連絡が取れなくても、それが今般の災害に起因されるものと推察される場合には決済を可能とする措置、③手形交換に係る不渡り猶予)について、当協会から周知。 ・休業している手形交換所の交換参加店の取扱いについて、仙台手形交換所で手形交換を行う措置を講ずる旨を周知。		022-221-6391 (金原)		
(特社)宮城県自動車協会	宮城県仙台市宮城野区扇町3丁目3-1 木皿 喜吉	○当協会事務室が被災し現在復旧作業中(3月11日から実施) ○被災した地区協会(石巻市、塩釜市)の復旧を支援(4月11日から実施)		△東日本大震災緊急支援のため宮城県へ寄附する予定。(金額を確定次第実施予定)	022-232-5677 (高橋 博)	http://www18.ocn.ne.jp/~mjk/
(特社)宮古島観光協会	沖縄県宮古島市平良字西里935-53 豊見山 健児	○「第27回全日本トライアスロン宮古島大会」にて、被災地復興支援イベントとして位置づけ、ポスター、大会冊子、Tシャツ、バナー等に応援メッセージを入れる。「国民は一つ痛みもいっしょ復興に向けて被災地へ愛の手を」メッセージ入りラバーバンドを販売し、売上金全額を宮古島トライアスロン実行委員会事務局を通じ、義援金として届ける。		○東日本大震災緊急支援のための募金寄付を、会員企業へ電話、FAX、メール、理事会にて呼びかけで募集(3月17日から実施)。日本赤十字社へ寄付(4月6日) ○「サンゴの楽園未来まで集まれ遊ぼう宮古島の海びらき」で、被災地へ宮古島から元氣と勇氣を届けようと会場において義援金を募り(4月3日)、日本赤十字社へ寄付(4月6日)。 △「第12回ビーチバレー宮古島大会2011」会場にて、義援金を募り日本赤十字社へ届ける。	0980-73-1881 (根間)	www.miyako-guide.net

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)宮崎県公共 嘱託登記土地家屋 調査士協会	宮崎県宮崎市旭2丁目 2番2号 土屋 洋二	△本県に避難した被災者に対し、県が用地を提供する場合、それに伴う表示登記について当協会が積極的に対応する。(今後県からの依頼を受けて実施)	○東日本大震災支援のための義援金を当協会の 全国組織である全国公共嘱託登記土地家屋調査 士協会連絡協議会(以下「全公連」という。)を通じ て被災者に届けた。(3月31日全公連に送金済)	0985-22-8885 (黒原 憲一郎)	
(特社)宮崎県自家 用自動車協会	宮崎県宮崎市大字本郷 北方糺戸尾2735-26 荒木 久治		○東日本大震災で被災した、宮城、岩手、福島、 青森各県自家用自動車協会に対し、(社)全国自 家用自動車協会を通して義援金を拠出(3月24日) ○東日本大震災被災者への義援金を募集し、社 会福祉法人宮崎県共同募金会へ寄附(4月11日)	0985-51-1333 (橋本 憲二)	
(特社)宮崎県商工 会議所連合会	宮崎県宮崎市橋通東1丁 目8番11号 米良 充典		○宮崎県、(社)宮崎県商工会議所連合会、宮崎商 工会議所及び宮崎県経済団体協議会の関係者で 「届けよう、私たちの思い」をキャッチフレーズに、 「イオンモール宮崎」「こどものくに」において、「東 日本大震災」に対する義援金の募金活動を実施 (3月27日実施)	0985-22-2161(木原)	
(特社)宮崎県タク シー協会	宮崎県宮崎市大字本郷 北方字糺戸尾2735-2 4 工藤 龍一	○4月1日から、宮崎県内一円のタクシー車内に「ペットボトル」などで作成した募金箱を設置し、利 用者に呼びかけている。	○4月末を目途に集計し、日本赤十字社へ振込予 定。	0985-51-8081 (黒木 勝博)	
(特社)宮崎県トラッ ク協会	宮崎県宮崎市恒久1丁目 7番21 会長 草水 正義	○宮崎県が行う被災地までの支援物資の輸送に対し、会員事業者の協力を得て車両の手配を行 うとともにかかった経費(運賃)の負担を行っている。	△平成23年度予算にて新たに予算化を行い、寄 付を行う。	0985-53-6767 (事務局長 牧 富士 夫)	
(特社)宮崎労働基 準協会	宮崎県宮崎市広島2丁目 10-20 坂下ビル5階 会長 岩切 達郎		○被災地義援金を、緊急持ち回り理事会で決議 ・宮崎県経営者協会経由日本赤十字社へ寄附 ・直接日本赤十字社へ寄附 ・労働保険事務組合連合会の呼びかけに応え関 係被災者への義援金を寄附 ・全国労働基準関係団体連合会の呼びかけに応 え関係被災者への義援金を寄附	0985-25-1853 (専務理事 柏田)	
(特財)未来工学研 究所	東京都江東区深川2-6 -11 平澤 冷	△ターゲットを「首都圏直下型地震への備え」に置き、①過去の震災に係る本研究所の成果からの 有用な知見の抽出とまとめ、②東日本大震災における適時情報の収集と分析、③上記のファック ス情報から得られる教訓と「首都圏直下型地震への備え」に関する提言(ホームページ上で5月末 から順次公開)		03-5245-1355 (柄沢)	http://www.iftech.or.jp

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)民間都市開発推進機構	東京都江東区豊洲3-3-3 武藤 英二			△被災者支援のため、機構職員共済会を通じて義援金を日本赤十字社に寄附(5月中旬実施予定)	03-5546-0781 (福留 秀一) http://www.minto.or.jp
(特社)村上法人会	新潟県村上市小町4-10 村上商工会議所内 齊藤 茂	○法人会事務局へ募金箱を設置(3月18日から設置) ○青年部会・女性部会の通常総会の受付に際し、出席した役員・会員等に寄附を募った。(4月14日に実施) △今後開催予定の村上支部総会及び本会総会の場において、出席した役員・会員等に寄附を呼びかける予定(4月22日及び5月23日に実施予定)		△集まった義援金は、日本赤十字社へ寄附する予定(5月下旬以降)	0254-50-1871(佐藤正 榮治)
(特社)室蘭地区トラック協会	北海道室蘭市日の出町3丁目4-13 会長 石見 國雄	○北海道からの要請により、3月20日に被災地へ緊急支援物資の輸送。札幌、函館、室蘭地区トラック協会と連携して札幌・函館・室蘭方面より食料品、医薬品等を車両15台に積み、宮城県・岩手県の被災地へ輸送。		○東日本大震災の為の義援金を募集(3/25~4/20)北海道トラック協会・全日本トラック協会を経由、関係自治体等へ寄附を行う。(4/15現在350万募金)	0143-44-5662 (田野崎)
(特社)室蘭地方自動車整備振興会	北海道室蘭市日の出町3丁目4番13号 会長 古戸 真雄			○東日本大震災緊急支援のための義援金として、日本赤十字社へ寄附を行った。 ○道内7振興会より北整連に集約して、日整連に送金し、整備事業者向けに寄附を行った。	0143-44-5640 (滝沢)
(特社)室蘭地方法人会	北海道室蘭市海岸町1丁目58番地 入江臨海ビル1階 萩 濟			○理事会会場で義援金募金活動をした。	0143-23-3103(伊勢)
(特財)明治安田厚生事業団	東京都新宿区西新宿1-8-3 米田 克巳	○岩手県の「被災地 ところのケア」に世界の医療団(MdM)がチームを派遣。当事業団の体力医学研究所研究員 泉水宏臣が参加(4/2~4/7)派遣場所は大槌町。ストレッチ・ヨガ・マッサージなどの方法により疲労・不安・トラウマなどの精神的ストレス緩和のためリラクゼーションを実施。同研究員を4/15に再び現地に派遣した。 △4/22より東北大学と協力して当体力医学研究所の職員が被災者のメンタルケア改善のため現地訪問予定 ○4/19より新宿区と協力し、現在百人町都営住宅に避難されている約350人を対象に健康診断(まごころ健診-無料)を実施予定(5/9~5/31)。郵送、ポスティングにより4/19より呼びかけを開始。(別紙チラシ参照)また、健診センターに来られた避難者にはウェルネス開発室の運動指導を受けるように声掛けを計画		○明治安田生命保険相互会社グループ全体従業員からの義援金へ当事業団も参加(3/28)。現在明治安田生命で寄付金先を検討	・研究員の派遣 体力医学研究所 042 6-91-1163(永松) ・健診センター まごころ健診 健診センター業務部長 03-3349-2828(近藤) http://www.my-zaidan.or.jp/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)明治安田こころの健康財団	東京都豊島区高田3-19-10 理事長 山本 和雄	<p>○ コミュニケーション支援ボードのPDFデータ送付(2011.3.22)</p> <p>1) 送付物 支援ボードとは、話し言葉によるコミュニケーションにバリアのある自閉症や知的障害、あるいは聴覚障害のある人、外国人などに絵によるコミュニケーション支援を考え開発されたものです。</p> <p>① 救急用コミュニケーション支援ボード(当財団主催) 同マニュアル</p> <p>② 災害用コミュニケーション支援ボード(当財団協力) 同マニュアル</p> <p>2) 送付先</p> <p>① 茨城県発達障がい者支援センター ② 福島県発達障がい者支援センター ③ 岩手県発達障がい者支援センター ④ 青森県発達障害者支援センター ⑤ 茨城県自閉症協会 ⑥ 福島県自閉症協会 ⑦ 宮城県自閉症協会 ⑧ 岩手県自閉症協会</p> <p>3) 反応、そのほか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6箇所から連絡あり「被害の大きかった沿岸部への訪問で活用する」など ・財団ホームページからのダウンロードは無償であり、必要に応じて活動いただきたい。 		03-3986-7021(広報・支援部長 青山 均)	
		<p>○ 被災地住民ケアにあたる専門家研修開催計画(1): 岩手県盛岡市で開催される夜間講座(5月20日~6月24日(金曜日)午後6時30分から90分間を5回)を震災前から予定していた。震災後、当初の日程はそのまま開催内容を震災で子どもと家族をケアする人と対象とした講座として実施予定</p> <p>○ 被災地住民ケアにあたる専門家研修開催計画(2): 宮城県子ども総合センター(本間博彰所長)からの要請により、10月15-16日「(仮)子どものトラウマとそのケア及び治療」講座開催を計画中(今回の震災のような大きなショック後の子どもは、専門家による長期にわたるケアが必要である。しかし、東日本大震災では被災者が多く専門家が不足している。そのため、教諭など子どもに関わる職種の人に正しい知識を習得してもらい子どもに対して適切なケアが行われるようにすることを目的とする。</p>		03-3986-7021(研修事業部長 大塚 茂樹(おおなぎ しげき))	
		<p>○ 避難所に避難している「財団療育相談室を利用した方の親」からの支援依頼に対する対応メールにて財団へ依頼(福島県相馬市)</p> <p>1) 近隣の施設の様子がまったくわからないので心配している。</p> <p>2) また、在宅の方々の救護策も考えてほしい。</p> <p>3) どこに相談すればよいかわからないので当財団に依頼メール。 ⇒ 日本自閉症協会に設けられた、災害情報掲示板(福島県)を紹介。その後、福島県内の情報交換はさらに活発になり、会員の安否確認、ライフライン等の情報、困っている個人宅への対応、さいたまスーパーアリーナ避難者へのサポートのほか、医療チーム出発のサポートなどの活動がなされている。</p>		03-3986-7021(広報・支援部長 青山 均)	
(特社)名北労働基準協会	愛知県名古屋市北区清水1-13-1 会長 岡田 邦彦		<p>○ (特社)全国労働基準関係団体連合会を通じ、義援金2口を寄附した。</p> <p>○ 協会事務局内に募金箱を設置し、会員、受講者、職員等から募金を募り、関係団体へ寄附</p> <p>○ 平成23年4月26日開催の第61回定時総会時に募金箱を設置し、来場者から募金を募り関係団体へ寄附</p>	052-961-3655(山田)	http://www.meihokurouki.or.jp/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)メンタルケア協会	東京都渋谷区神宮前2丁目5番8号 カーデ青山201 理事長 長木 瑳季子	○法人の認定資格「精神対話士」「メンタルケア・スペシャリスト」の資格者から「心のケア・ボランティア」を募り、被災地へ派遣		03-3405-7270	http://www.mental-care.jp/
(特財)綿スフ織物検査協会	東京都豊島区駒込1-10-5 理事長 上野 忠雄		○東日本大震災緊急支援の為、義援金として日本赤十字社へ寄附(3月30日実施) ○東日本大震災緊急支援の為、役職員より義援金を募集の為、各事業所に募金箱を設置(4月より実施中) ○家電エコポイント22,000点分を義援金として申請(実施中)	03-3943-3173 (総務部 染谷)	
(特社)真岡労働基準協会	栃木県真岡市荒町1203 会長 高岡 洋海		○寄附金3万円を(特社)全国労働基準関係団体連合会を通じて日本赤十字社に寄附	0285-82-5185 (専務理事 赤松 圭三)	
(特財)盛岡観光コンベンション協会	岩手県盛岡市中ノ橋通1-1-10 永野 勝美	○協会ホームページで独自の震災に係る情報提供を行っている。(観光客、修学旅行・コンベンション誘致等の視点から盛岡広域における観光地、見学施設及び交通面での安全性を随時提供。)	△指定管理を受けている盛岡市観光文化交流センター内に募金箱を設置し、義援金を募集中。全職員からの寄附とあわせて、岩手県災害義援金募集委員会へ寄附予定(5月中予定)	019-621-8800 (玉掛)	http://hellomorioka.jp/mtca/
(特社)紋別漁業無線協会	北海道紋別市南が丘町1-7-18 会長理事 佐藤 昭秀	△5月の連休中に、当協会の漁業無線局に所属している船舶局の無線通信士会があることから、支援金の呼びかけ・仲介を行うこととしている。 <参考>当協会の事業計画の中に、無線通信士会の育成指導有り。		01582-4-3195(紋別漁業無線局 局長 西田 博)	

や 行

(特社)八重山法人会	沖縄県石垣市浜崎町1-1-4石垣市商工会館2階 大原 正啓		○東日本大震災緊急支援のための義援金を石垣市に寄附	098-857-0352(沖縄県法人会連合会 照屋専務理事)	
(特財)安田記念医学財団	大阪府大阪市住吉区長居西2-10-10 田代 裕	△東日本大震災緊急支援として義援金の送付を含め、援助活動について検討中		06-4700-4556(加納)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)山形県観光物産協会	山形県山形市城南町1-1-1 武田 吉則	<p>○東日本大震災の被災者向けに仙台からのバス送迎付宿泊プラン等を当協会ホームページにバナー広告を無料で掲載、企画温泉地と被災者への利便を図った。</p> <p>△仙台市内の百貨店地下催事場において「希望へ宮城・復興へ仙台！がんばろう市」を4月22日～7日間開催予定。被災地県民が日常生活を取り戻す支援を行う。</p> <p>△仙台市内の百貨店催事場において「希望へ宮城・復興へ仙台！がんばろう市(東北六県展)」を4月22日～5日間開催予定。被災地県民が日常生活を取り戻す支援を行う。</p> <p>△仙台市内の百貨店催事場において「希望へ宮城・復興へ仙台！がんばろう市(山形単県展)」を5月13日～6日間開催予定。被災地県民が日常生活を取り戻す支援を行う。また、御買い上げの方の中から抽選で100名を山寺・天童温泉に招待(500円負担)予定。</p>	<p>△同左物産展の売上金の1%以上を仙台市災害復興本部(経由日赤)に寄附予定。</p> <p>△同左物産展の売上金の一部を寄附予定。</p> <p>△同左物産展の売上金の1%以上を仙台市災害復興本部(経由日赤)に寄附予定。</p> <p>△当協会管理施設「いこいの村庄内」のイベント5月3日～5日において東日本大震災支援の義援金を募集し、日赤等へ寄附予定。</p> <p>△当協会管理施設「やまがた観光情報センター」において3月23日～5月末日まで東日本大震災の義援金を募集し、日赤等へ寄附予定。</p>	023-647-2333 (梅津、石澤)	http://www.yamagatakanko.com
(特社)山形県自動車整備振興会	山形県山形市大字漆山 字行段1961 鈴木 重行	<p>○3月20日に実施された自動車整備技能登録試験において、宮城県及び福島県の試験会場が被災により対応が困難な状況となったことから、国土交通省から(社)日本自動車整備振興会連合会を通じ、両県の受験生300名の受入要請があり、これを受け入れ、試験会場の追加及び試験監督者の増員等により対応した。(3月20日実施済み)</p> <p>○被災県及び近県一帯においてガソリン不足が深刻化したことから、(社)宮城県自動車整備振興会からその調達要請があり、当県内のガソリンスタンドを回り、ガソリン200リットルを調達するとともに、タオルや軍手等と併せて物資の提供を行った。(3月22日実施済み)</p> <p>○(社)福島県自動車整備振興会から、原発の事故により水の提供依頼があったことから、ミネラルウォーターを提供するとともにポリタンク等に当県の水を詰め、ウェットティッシュやマスク等を併せて、当会職員が同県振興会に赴き提供を行った。(3月24日実施済み)</p> <p>○(社)岩手県自動車整備振興会から、軍手やつなぎ、安全靴等の物資の提供依頼があったことから、これらの提供を行った。(3月24日実施済み)</p> <p>○東北運輸局から、被災地の避難所に「移動自動車相談所」を開設し、冠水した自動車等の使用に係る技術的相談や無料点検を実施するため、自動車整備士の派遣要請があったことから、4月7、8日当会職員を含め6名を宮城県に派遣し、被災者の相談等にに応じた。(4月7、8日実施済み)</p>	<p>△東日本大震災支援のため、会員からの義援金を募集し、日本赤十字社等に寄附する予定。(現在募集期間中であり、5月末に締切り、6月上旬に寄附を予定)</p>	023-686-4832 (佐藤 光芳)	http://www.jaspa-yamagata.or.jp/
(特社)山形県トラック協会	山形県山形市流通センター4-1-20 武田 忠一		<p>○東日本大震災緊急支援のため会員より義援金を募集し、全国トラック協会へ集約した。</p>	023-633-2332 (奥山)	http://www.vta.or.jp/
(特財)山口県自動車振興センター	山口県山口市葵一丁目5-58 理事長 大原 博之	<p>○当財団は、自動車のナンバープレートを交付している。希望ナンバーの交付有効期限は本来1ヶ月以内となっているが、震災日以降の予約については6月30日まで期限延長を実施した。ホームページに延長する旨、掲載中。</p>	<p>○日本赤十字社に東日本大震災義援金として、50万円の送金を役員会で決定。4月中に支出予定。</p> <p>○財団窓口に義援金募集の募金箱を設置。</p>	083-922-7655 (大島)	http://www.viss.jp/
(特社)山口県観光連盟	山口県山口市滝町1-1 県政資料館内 会長 大谷 峰一		<p>○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附を行う。(3月28日開催の理事会において実施)(今後、理事会や総会にて実施予定)</p>	083-924-0462 (吉本)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)山口県自動車整備振興会	山口県山口市葵1丁目5-58 会長 末富 喜昭	△中央団体(日整連)の要請に従い今後の可能な限りの支援を行う予定。日整連を窓口として、要請があれば中古車の提供や被災事業者・従業員等の受け入れ等も検討する。	○被災した自動車整備事業者を支援するため、中央団体(日整連)が提案した自動車整備業義援金の募集を3月24日から開始し、4月下旬に日整連を経由して被災業者らへ寄付する予定。会としても3月末に一回目の義援金を提供しており、今後も提供する予定。 ○窓口に募金箱を設置し、4月4日の集まった募金を日本赤十字社へ寄付した。現在も募金活動を継続中。	083-924-8123 (斉藤)	
(特社)山口県周南清港会	山口県周南市築港町13番38号 藤井 律子		○全国の清港会で構成されている全国清港連絡協議会(構成26港、内4港が被災)及び新規参加予定の(社)山口県周南清港会の23港で寄附をまとめ、被災清港会である(社)八戸清港会、石巻清港会、小名浜清港会、相馬清港会の4港に支援金を送る計画。 (5月下旬に各被災港に送金する予定。)	0834-21-9902 (事務局長 菱川 司)	
(特社)山口県バス協会	山口県山口市葵1丁目5-58 会長 楞川 幸太郎	○東日本大震災支援のため協会会員に対して募金を要請している。これを日本バス協会を通じ日本赤十字社へ寄付の予定。 ○東日本大震災支援のため「やまぐちバス博」の開催時バスの部品等をチャリティー販売しこの収益を日本バス協会を通じて日本赤十字社へ寄付の予定。	○東日本大震災支援のための会員に義援金を要請を募集し、日本赤十字社へ寄附。(4月14日に募金要請) ○「やまぐちバス博」のためのバス部品等のチャリティー販売を行った	083-922-5031 (原田)	
(特財)山口県予防保健協会	山口県山口市吉敷下東3-1-1 会長 木下 敬介		○上部団体である結核予防会、対ガン協会を通じて、寄附を行った。	083-933-0008 (総務課長 山田 勇)	
(特社)山口県労働基準協会	山口県山口市旭通り2-9-19 会長 石崎 茂則		○上部団体である全基連を通じて義援金を寄附	083-925-1430 (専務理事 正司 博)	
(特社)山梨県銀行協会	山梨県甲府市相生1-1-17 会長 芦澤 敏久		○東日本大震災緊急支援のための義援金を、(財)山日YBS厚生文化事業団へ寄附。(3月25日振込み)	055-228-6013(大石)	
(特社)山梨県自動車整備振興会	山梨県笛吹市石和町唐栢790 会長 荻原 公明		○東日本大震災緊急支援のための義援金を会員から募集し、日本赤十字社/共同募金会へ寄附。(3月30日NHK甲府放送局を窓口に届出)	055-262-4422 (総務課 横内)	
(特社)山梨県バス協会	山梨県笛吹市石和町唐栢1000-7 小澤 建雄		○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、山日YBS厚生事業団を通して被災地県対策本部へ寄付を行う。(4月一杯)	055-262-1201 (笠井)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL	
		活動	寄附			
(特社)山梨県法人 会連合会	山梨県甲府市中央4-12- 21 櫻井洋			○募金箱を会議開催時に設置し、参加者から義援金の寄附を募り、被災地に寄附する。	055-237-7774(専務理事 大石俊夫)	
(特財)山路ふみ子 文化財団	東京都港区元赤坂1-1-7 赤坂モータービル1201 理事長 岩崎 光洋	△例年実施している映画を通して「地域と連携しての教育文化および福祉事業」の開催に係る被災地での実施に向けて検討している。		○平成23年3月29日開催の当財団の「理事会」「評議員会」において、被災者支援として金1,000,000円を日本赤十字社を通して支援することにした。	03-3479-1087	http://www18.ocn.ne.jp/~yamai/
(特社)有信会	福岡県福岡市城南区七 隈8-19-1 福岡大学内 理事長 川畑 懿子			○東日本大震災緊急支援のための義援金として、当法人から2,000,000円及び法人会員からの募金30,484円を(学)福岡大学の教職員等の募金と合わせて、福岡大学より総額10,000,000円を、西日本新聞社へ寄託した。	092-871-6631 (事務局長 大神 治 幸)	http://www.yushin.jp
(特財)ユースワー カー能力開発協会	東京都港区新橋1-1- 1 理事長 井上 義郎	○海外の青少年団体からの問合せ窓口となり、留学生や過去のホストファミリーの安否確認を行ったり、また海外ボランティアからの支援要望に対して助言・コーディネートを行っている。(3月11日から実施) △被災地において復興活動のリーダーシップをとる地元の若者を「ユースリーダー」と位置付け、専門的ノウハウの提供や財政支援を通じて長期的な活動ができるようバックアップする(6月頃の開始を想定)			03-3508-2048 (堀添 英人)	
(特財)ゆうちょ財団	東京都千代田区三崎町3 -7-4 理事長 朝日謙治			○ 公益法人協会の「東日本大震災」被害者緊急支援のための救援基金に寄附 ・ 寄付先 公益財団法人 公益法人協会 ・ 寄附額 50口、50万円 ・ 寄附日 平成23年4月26日	03-5275-1810 (総務部長 大原)	
(特社)友和協定会	和歌山県和歌山市湊 1850番地 会長 森川 隆	○被災地である住友金属鉱業(株)鹿島製鉄所に緊急支援物資を送る。		○東日本大震災緊急支援のための義援金を日本赤十字社へ寄附 ○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、日本赤十字社へ寄附	073-451-5128 (塩治)	
(特社)雪センター	東京都中央区日本橋堀 留町1-3-17 日本橋三洋 ビル7F 桐越 信			△役員職員を対象に義援金を募集し、寄付を検討中(5月中旬から実施)	03-6740-2941 (総務部 小林)	http://www.yukicenter.or.jp/
(特財)油脂工業会 館	東京都中央区日本橋3- 13-11 宇野 允恭			○東日本大震災緊急支援のための義援金を日本赤十字社へ寄附	03-3271-4307 (下野)	http://www.yushikaikan.or.jp

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL	
		活動	寄附			
(特財)ユニオン造 形文化財団	大阪府大阪市西区南堀 江2-13-22 理事長 立野 純三			○公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団 へ4月末日、寄付・義援金の送金を予定	06-6532-8764 (事務局 目黒 智子)	
(特財)ユニベール 財団	東京都新宿区四谷2-14- 8 YPCビル5階 理事長 伊藤 勲	△ユニベールボランティア東京(当財団組織)により、東京都内に避難されて来た方の話し相手となる心のケア・ボランティアに取り組む。 △ユニベールボランティア神戸(当財団組織)により、兵庫県に避難されて来た方の話し相手となる心のケア・ボランティアに取り組む。 △宮城県仙台市で、被災者の心のケア(傾聴)に取り組むボランティア団体と共同で、米国のソーシャルワーカー、日本の臨床心理士によるボランティアの教育研修を実施する。(本年7月の予定)			03-3350-9002(事務局 長 小木曾利英)	
(特社)横浜銀行協 会	神奈川県横浜市中区本 町3-28 会長 小川 是	○被災者の口座開設に係る便宜扱いについて周知(社員銀行部店長例会) ○預金通帳等を紛失した場合の便宜扱いについて依頼(社員銀行部店長例会)			045-201-9853(石川)	
(特社)横浜港湾福 利厚生協会	神奈川県横浜市中区山 下町279-1 藤木 幸夫	○横浜港の港湾厚生施設に募金箱を設置(3月23日~4月中) ○被災した地区港湾福利厚生協会に救援物資及び義援金を持参(4月6日東北協会、4月7日茨城協会) ○港湾労働者住宅への被災者の受け入れを東北協会に申し入れ		○全国港湾福利厚生協会専務理事会を通じ、20 万円を寄附 ○従業員に寄附の呼びかけを実施	045-681-6751 (安倍)	
(特社)横浜清港会	神奈川県横浜市中区山 下町25 飯泉 牧太郎	○連絡のついた(社)八戸清港会、石巻清港会について、状況の把握を(社)横浜清港会が中心と なって行っている。		○全国の清港会で構成されている全国清港連絡 協議会(構成26港、内4港が被災)及び新規参加 予定の(社)山口県周南清港会の23港で寄附をま とめ、被災清港会である(社)八戸清港会、石巻清 港会、小名浜清港会、相馬清港会の4港に支援金 を送る計画。 (5月下旬に各被災港に送金する予定。)	045-661-0392 (堀 義一、内藤 博 子)	
(特社)横浜貿易協 会	神奈川県横浜市中区海 岸通1-1 西田 義博	○経済産業省からの被災地支援の要請を受け、被災地への物資提供の申し出を行った。(3社)		○東日本大震災緊急支援のための寄付金を募集 し、神奈川新聞経由で日本赤十字社へ寄附(3月 16日開催の通常総会において実施)	045-211-0282(馬場)	
(特社)米沢観光物 産協会	山形県米沢市丸の内1- 3-60 小嶋 彌左衛門	○姉妹観光協会である(社)石巻観光協会への義援金を募るため、会員への呼び掛けによる募金 と街頭募金を実施した。 ○「がんばろう東北」の缶バッジを製作販売し、売上金を義援金とする。 ○石巻駅前において、「芋煮」700食、「玉こんにゃく」300本、「甘酒」1,000杯の炊き出しを実施した。 (4月11日)		○東日本大震災緊急支援のための義援金を、石 巻観光協会を通じ石巻市へ寄附。(4月11日)	0238-21-6226 (手塚 正)	http://www8.ocn.ne.jp/~yozan/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財) 予防接種リサーチセンター	東京都中央区日本橋 大伝馬町14-1 下田 智久	<p>○被災地域に住む予防接種健康被害者及び地域保健相談員の安否の確認を行った。</p> <p>○感染症の蔓延を防止するため予防接種に関する冊子の寄付を行った。(壊滅的な被害を受けた35市町村の財政負担を軽減するため)</p> <p>35市町村に対する部数、金額(見込額)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予防接種ガイドライン : 400冊 (7万円相当) ・予防接種と子どもの健康 : 7,000冊 (55万円相当) <p>(合計62万円相当)</p>		03-6206-2113 (深見)	http://www.yoboseshu-rc.com/

ら 行

(特社) 落語協会	東京都台東区上野1-9-5 会長 郡山 剛藏	<p>○「復興支援寄席」を次の日程で行った。同時に募金活動も行う。</p> <p>4月11日、15日 上野 鈴木演芸場(昼席開演前)</p> <p>4月22日、29日 新宿 末廣亭(夜席終演後)</p> <p>5月1日、5日 上野 鈴木演芸場(昼席開演前)</p> <p>5月11日、15日 池袋 池袋演芸場(昼席開演前)</p> <p>5月21日、28日 浅草 浅草演芸ホール(昼席開演前)</p> <p>△奇数月で、各寄席1日予定で「復興支援寄席」を行い、同時に募金活動を行う予定</p> <p>7月9日 上野 鈴木演芸場(10時~11時30分)</p> <p>7月15日 新宿 末廣亭(21時30分~23時)</p> <p>7月24日 浅草 浅草演芸ホール(9時30分~11時)</p> <p>7月30日 池袋 池袋演芸場(11時30分~13時)</p> <p>△7月25日に国立劇場大ホールで読売新聞社と合同で「東日本大震災チャリティ落語会」を行う予定</p>	<p>○協会より義援金として4月25日に日本赤十字社を通じ100万円を寄付した。</p> <p>○協会会員等が個人で募金活動をして集めた約395万円を6月6日に日本赤十字社を通じて寄附</p> <p>△「復興支援寄席」で得た入場料や募金は、日本赤十字社を通じて寄附する予定</p>	03-3833-8563 (田川)	http://www.rakugo-kyokai.or.jp/Topics/Details/ba9524a8-846e-4d77-936c-f9bdae1bbbf
(特社) ランドスケープコンサルタンツ協会	東京都中央区東日本橋3-3-7 近江会館ビル 大塚守康	<p>○東北地方太平洋沖地震対策本部の設置</p> <p>○東日本大震災の被害状況を調査するため、日本造園学会と共同して現地(仙台市若林区、松島地区、石巻地区、女川地区)調査を実施した。(4月3日実施、5月の連休に第2次調査の実施を予定)</p> <p>△ランドスケープコンサルタンツ協会として、緑を生かした復旧・復興のプランを立案し、関係団体と連携しつつ現地支援することを検討している。</p>		03-3662-8266 (椎谷)	http://www.cla.or.jp
(特社) リース事業協会	東京都千代田区平河町2-6-2 セコム損保ビル9階 陶浪 隆生	<p>○相談窓口において、被災された事業者の方々からのリースに関するお問い合わせを受け付けている。また、取引先のリース会社が不明な場合には、協会のリース相談窓口にて会員会社の相談窓口をご案内している。</p>		03-3234-1501	http://www.leasing.or.jp/

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)リバーフロント整備センター	東京都中央区新川1-17-24 ロフター中央ビル7F 理事長 竹村 公太郎	<p>△東日本大震災による津波被害等を受けた地域の復興計画に対し、耐水まちづくりに関する当法人の蓄積された技術力による支援を行う。</p> <p>△東日本大震災による津波被害等を受けた地域の、塩水、油等の河川、地下水等への水環境汚染の状況を分析・解析をするとともに、今後の改善・再生対策に対し、技術支援を行う。</p> <p>△津波被害により、被災した沿岸環境を津波高潮等に対する緩衝地帯としての活用を踏まえつつ、自然環境再生を図るための技術支援を行う。</p>		03-6228-3862 (柏木)	
(特社)リビングアメニティ協会	東京都千代田区富士見2-7-2 会長 木瀬 照雄	<p>○応急住宅建設本部((社)プレハブ建築協会)に参画</p> <p>○関係工業会の参加協力のもと当協会内に「応急住宅等関連住宅部品連絡会議」(4回開催)を設置し、応急住宅に関連する住宅部品・部材の供給状況や課題について把握するとともに、応急住宅建設本部等との連絡調整を図っている。</p>	○恒例の(特財)ベターリビングとの共催による意見交換会を中止し、その予算を義援金に活用する。	03-5211-0545 (細井)	
(特社)龍ヶ崎労働基準協会	茨城県龍ヶ崎市川原代町6336-7 会長 倉沢 修市		○東日本大震災緊急支援のための義援金として、日本赤十字社へ寄附	0297-62-7923 (小林)	
(特財)琉球大学後援財団	沖縄県中頭郡西原町字千原1 松本 行雄		○東日本大震災緊急支援のための義援金を、財団法人琉球大学後援財団として日本赤十字社へ寄附(3月30日実施)	098-895-5793 (宮城 教)	
(特財)流通システム開発センター	東京都港区赤坂7-3-37 井上 毅	○東北6県と茨城県について、復旧の見通しがつくまで該当企業に対するコード登録の更新案内・請求をストップしている。 (4/20現在 JANコード登録企業 約250件、共通取引先コード登録企業 約70件)	○震災後、当センター内役員等から東日本大震災緊急支援のための義援金をお願いしており、4月末に日本赤十字社へ寄附予定 ○国際的な流通標準化団体であるGS1のアイランド支部より当センターに義援金を寄付したい旨申し出があったため、日本赤十字社の寄付窓口を紹介した。	03-5414-8500 (総務部 木下 政章)	http://www.dsri.jp/
(特社)流通問題研究協会	東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館 会長 三浦 功	<p>△当該協会と日本ホビー協会の共催による「ホビークッキングフェア2011」に於いて以下の取組を実施(4月27日～29日、東京ビックサイトにて開催予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全農宮城県本部と協力し、会場にて「お米作り応援プロジェクト」を募集(プロジェクト参加者を一口5,000円で募集し、全農宮城県本部を通じて、宮城県農家の米づくりを支援。参加者には秋に一口当たり新米5kgが届く予定) ・宮城県・福島県の物産紹介・販売コーナーの場所を無償提供 	<p>△当該協会と日本ホビー協会の共催による「ホビークッキングフェア2011」に於いて以下の取組を実施(4月27日～29日、東京ビックサイトにて開催予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年に生産された岩手県、宮城県、福島県の米の販売を実施し、売上金を日本赤十字社へ寄附 ・会場内に義援金募金箱を設置し、集まった金額を日本赤十字社へ寄附 	03-3436-1686 (毛利事務局長)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特社)倫理研究所	東京都千代田区三崎町3-1-10 理事長 丸山 敏秋	○被災地に救援対策本部を設け、下部組織(「家庭倫理の会」「倫理法人会」)の状況を確認し、支援策について検討中	○日本赤十字社を通じて3千万円を寄付 ○被災した子供や青少年のために、教育環境の整備に役立てることを目的として「東日本大震災教育支援基金」(通称「りんりん基金」)開設。倫理研究所が3億円を拠出し、今後は有志の方々から寄付を募って基金を充実させていく。 ○講演会において募金箱を設置。集計後、公的機関に寄附予定	03-3264-2251	http://www.rinri-jpn.or.jp/index-s.html
(特財)レイ・パス トータル医学研究センター	京都府京都市左京区田中門前町103-5 理事長 片山 傳生	○京都府医師会の要請により、所属研究員(医師)がいわき市へ3月17日より入り、救護活動に当たった。 ○放射能と免疫機能あるいは癌との関係について、必要に応じてマスコミ等の取材対応を行っている。 △近代消防社の依頼により「東日本大震災における原発と放射線治療について」(仮題)100ページ原稿を執筆中である。 △7~8月に開催予定のバイオ・ソサエティ医学入門講座において、放射能と免疫機能あるいは癌との医学的関係についての講座を実施する。	○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集している。(5月末締切)	075-712-6009 (津久井)	
(特社)レジャー・スポーツダイビング産業協会	東京都千代田区平河町2-12-18-9A 河野 洋平	△被災地域の海底などのごみの除去活動に協力するため、ボランティアダイバーの派遣に向けて参加者の募集を行う。	△東日本大震災の被災者支援のための募金活動中。6月末日を締切としてダイビング関連事業者やダイビング愛好家からの寄付を被災自治体へ寄付を行う。	03-5276-3227 (河合)	
(特財)労災サポートセンター	東京都千代田区九段北4-1-3 飛栄北ビル10階 会長 馬杉 則彦	○町役場から宮城労災特別介護施設(ケアプラザ富谷)に地域住民の給水場として駐車場を貸してほしい旨の依頼があり、駐車場を提供(提供期間3月19日から同月31日まで) ○その他、宮城労災特別介護施設(ケアプラザ富谷)の周辺住民からトイレを貸してほしい旨の依頼があったため、トイレの提供も行った。	○東日本大震災緊急支援のため、下記対策本部等に寄附(3月31日実施) 1 岩手県災害義援金募集委員会 2 宮城県災害対策本部 3 福島県災害対策本部 4 茨城県災害対策本部	03-6834-2510 (新井)	
(特財)労働衛生協会	東京都杉並区高井戸東2-3-14 会長 林部 弘		○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、社団法人全国労働衛生団体連合会へ寄附を行う。(4月末実施予定)	03-3331-2253 (人事総務G 藤原 明雄)	
(特社)労働保健協会	東京都板橋区南町9-11 会長 大坪 修		○協会として(特社)全国労働衛生団体連合会を通じて義援金の寄附	03-3530-2131 (石渡)	

法人名	住 所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
(特財)労務行政研 究所	東京都港区東麻布1- 4-2 理事長 矢田 敏雄		○東日本大震災緊急支援のため、義援金を日本 赤十字社を通じて寄附(3月31日実施)	03-3979-5448 (前田)	

法人名	住所 代表者名	支援活動の概要		連絡先(担当者名)	URL
		活動	寄附		
わ 行					
(特財)ワイ・エフ・ユー日本国際交流財団	東京都港区南青山1-15-9第45興和ビル2階 理事長 大河原 良雄	○東日本大地震被災地復興支援に向けて「YFU復興支援基金」を設立(2011年4月6日)。この基金は被災した生徒たち及び保護者に対する支援や、あるいは当該地域から留学を希望する高校生たちに奨学金を提供する基金とする。支援基金を申受ける銀行口座を開設。期間は2011年4月12日から2011年8月末日まで。		03-3404-0141 (江夏 啓子)	
(特財)和歌山県人権啓発センター	和歌山県和歌山市手平二丁目1番2号 湯川 カ	○被災地に向け、啓発物資として作成した絆創膏を送付。 △毎年開催している「ふれあい人権フェスタ」にて、今年度は震災復興支援をテーマに、NPOなど民間団体、企業、行政機関を含め約150の参加団体と協力し企画する予定。詳細は未定。		073-435-5420 (橋本、辻野)	
(特社)和歌山県トラック協会	和歌山県和歌山市湊14-14番地 会長 龍田 潤三	○和歌山県からの依頼により、緊急物資の輸送を行っている。		○会員事業者から東日本大震災緊急支援のための義援金を募集している(5月末まで)。義援金については、和歌山県が行っている義援金活動に拠出致します。(日未定) ○全日本トラック協会が行っている義援金活動に一般会計より、支弁して協力する。	073-422-6771 (上西)
(特社)和歌山県バス協会	和歌山県和歌山市湊1106 会長 井上 慎治			○近畿バス協議会に所属する近畿2府4県の各バス協会は東日本大震災に被災された東北地区の各バス協会が所属している東北バス協議会に対して義援金200万円を送る。(和歌山県バス協会10万円)	073-422-8090 (中川)
(特財)渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団	栃木県栃木市藤岡町藤岡1778 鈴木 藤一郎	○東日本大震災緊急支援のための募金寄付を、湿地資料館と渡良瀬遊水地利用者に対しレンタサイクル受付所に箱をおいて呼びかけ、義献金を募る。		○東日本大震災緊急支援のための義援金を募集し、下野新聞社へ寄附を行う。(4月上旬から実施)	0282-62-1161 (飯村)
(特財)和同会	東京都文京区湯島1-5-45 東京医科歯科大学内 理事長 森谷 弘			○国立大学法人東京医科歯科大学における東北地方太平洋沖地震への「緊急災害募金」を通じて、日本赤十字社宛に義援金として300,000円の寄附を行った。(4/12付)	03-3814-0101 (平澤)